

令和4年度

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書

つくば市

目 次

一般会計	1
歳入予算執行状況	9
事業の目的、概要及び成果	
1 議会費	22
2 総務費	25
3 民生費	92
4 衛生費	190
5 労働費	234
6 農林水産業費	236
7 商工費	261
8 土木費	288
9 消防費	332
10 教育費	352
11 災害復旧費	434
12 公債費	435
13 諸支出金	435
14 予備費	443
国民健康保険特別会計	445
後期高齢者医療特別会計	467
作岡財産区特別会計	475
つくば市等公平委員会特別会計	479
介護保険事業特別会計	483
附 表	
基金の状況について	527
常勤特別職員給与関係経費明細	528
一般職員給与関係経費明細	528

注)歳入予算執行状況及び各事業別執行状況の数値は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び合計額と一致しない場合があります。

一 般 会 計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市一般会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度つくば市一般会計予算執行の概要について

令和4年度は、未来構想に掲げる2030年の未来像の実現に向け、つくば市戦略プランにおける施策を着実に推進しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を的確に見通すことが困難な中、市民の生活や雇用を守り、市民が安全・安心を実感できるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策や地域の経済対策、さらに感染拡大を契機に顕在化した課題への対応など、時期を逸することなく確実に進めてきました。

当初予算編成に当たって、歳入面は、人口増加に伴い個人市民税や固定資産税の増加により税収の増加を見込みました。歳出面では、これまで取り組んできた保育環境の充実や放課後児童対策、医療や高齢者に対する地域包括支援などの福祉事業、児童生徒の急増による小・中学校の整備等、市民生活に必要な事業を滞りなく実施しました。

決算については、歳入が前年度比12,975,068千円増の118,626,683千円、歳出が前年度比14,118,769千円増の113,045,702千円となりました。

歳入の主な増額要因としては、個人市民税や法人市民税などの市税が前年比2,788,695千円増の50,595,798千円となったこと、つくば市土地開発公社貸付金元金収入などにより、諸収入が前年度比7,248,488千円増の9,261,168千円になったことがあります。市債は、学校建設事業債などの増加に伴い、前年度比2,676,793千円増の8,384,200千円となりました。

歳出の主な増額要因としては、教育費が研究学園・小中学校建設工事などにより、前年度比7,293,374千円増の19,544,795千円となったこと、また、諸支出金が財政調整基金積立金などにより、前年度比7,627,017千円増の11,400,424千円となったことなどがあります。

収支状況は、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支が5,580,981千円となっています。前年度との実質収支の比較である単年度収支は1,946,326千円となり、単年度収支に財政調整基金への積立額を加え、取崩額を差し引いた実質単年度収支は、5,154,984千円となっています。また、経常収支比率は前年度から0.7ポイント減少し88.9%となりました。

決算規模	歳入総額	118,626,683千円
	歳出総額	113,045,702千円
	歳入歳出差引額	5,580,981千円

以上、令和4年度つくば市一般会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和4年度 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減額 A-B	増 減 率
歳 入 総 額 C	118,626,683	105,651,615	12,975,068	12.3
歳 出 総 額 D	113,045,702	98,926,933	14,118,769	14.3
歳入歳出差引額 (C-D) E	5,580,981	6,724,682	△ 1,143,701	△ 17.0
翌年度に繰り越すべき財源 F	1,262,518	459,893	802,625	174.5
実 質 収 支 (E-F) G	4,318,463	6,264,789	△ 1,946,326	△ 31.1
単 年 度 収 支 H	△ 1,946,326	1,898,209	△ 3,844,535	—
積 立 金 I	7,845,776	2,285,376	5,560,400	243.3
繰 上 償 還 額 J	0	0	0	0.0
積立金取崩し額 K	744,466	275,600	468,866	170.1
実質単年度収支 (H+I+J-K) L	5,154,984	3,907,985	1,246,999	—

款 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	収 入 割 合		
						予 算 対	調 定 対	歳 入 計
市 税	04	50,001,029	51,883,331	50,595,798	594,769	101.2%	97.5%	42.7%
	03	47,186,830	49,046,545	47,807,103	620,273	101.3%	97.5%	45.2%
地 方 譲 与 税	04	993,243	972,105	972,105	21,138	97.9%	100.0%	0.8%
	03	920,654	974,466	974,466	53,812	105.8%	100.0%	0.9%
利 子 割 交 付 金	04	21,601	15,400	15,400	6,201	71.3%	100.0%	0.1%
	03	29,671	26,698	26,698	2,973	90.0%	100.0%	0.1%
配 当 割 交 付 金	04	157,518	225,836	225,836	68,318	143.4%	100.0%	0.2%
	03	165,645	256,780	256,780	91,135	155.0%	100.0%	0.2%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	04	254,368	180,000	180,000	74,368	70.8%	100.0%	0.1%
	03	173,828	307,119	307,119	133,291	176.7%	100.0%	0.3%
法 人 事 業 税 交 付 金	04	620,863	829,320	829,320	208,457	133.6%	100.0%	0.7%
	03	558,338	728,041	728,041	169,703	130.4%	100.0%	0.7%
地 方 消 費 税 交 付 金	04	5,768,127	6,180,863	6,180,863	412,736	107.2%	100.0%	5.2%
	03	5,180,378	5,692,072	5,692,072	511,694	109.9%	100.0%	5.4%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	04	81,433	81,827	81,827	394	100.5%	100.0%	0.1%
	03	79,614	81,174	81,174	1,560	102.0%	100.0%	0.1%
環 境 性 能 割 交 付 金	04	94,624	93,777	93,777	847	99.1%	100.0%	0.1%
	03	85,162	83,844	83,844	1,318	98.5%	100.0%	0.1%
地 方 特 例 交 付 金	04	385,668	390,561	390,561	4,893	101.3%	100.0%	0.3%
	03	771,604	772,204	772,204	600	100.1%	100.0%	0.7%
地 方 交 付 税	04	17,248	272,074	272,074	254,826	1577.4%	100.0%	0.2%
	03	1	258,857	258,857	258,856	25885700.0%	100.0%	0.2%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	04	29,981	28,853	28,853	1,128	96.2%	100.0%	0.1%
	03	30,391	30,810	30,810	419	101.4%	100.0%	0.1%
分 担 金 及 び 負 担 金	04	1,237,854	1,207,867	1,149,793	88,061	92.9%	95.2%	1.0%
	03	1,115,121	1,122,404	1,058,145	56,976	94.9%	94.3%	1.0%
使 用 料 及 び 手 数 料	04	1,248,439	1,460,716	1,273,100	24,661	102.0%	87.2%	1.1%
	03	1,290,084	1,440,107	1,241,997	48,087	96.3%	86.2%	1.2%
国 庫 支 出 金	04	25,059,883	23,422,338	22,369,043	2,690,840	89.3%	95.5%	18.8%
	03	26,464,871	26,113,209	24,874,896	1,589,975	94.0%	95.3%	23.5%
県 支 出 金	04	7,796,387	7,281,389	6,941,933	854,454	89.0%	95.3%	5.8%
	03	7,774,218	6,558,925	6,533,568	1,240,650	84.0%	99.6%	6.2%
財 産 収 入	04	153,621	301,737	301,737	148,116	196.4%	100.0%	0.2%
	03	122,404	224,386	224,386	101,982	183.3%	100.0%	0.2%
寄 附 金	04	439,149	216,992	216,991	222,158	49.4%	100.0%	0.2%
	03	393,437	236,142	236,142	157,295	60.0%	100.0%	0.2%
繰 入 金	04	2,290,088	2,137,623	2,137,623	152,465	93.3%	100.0%	1.8%
	03	1,922,538	1,750,679	1,750,679	171,859	91.1%	100.0%	1.7%
繰 越 金	04	6,724,681	6,724,681	6,724,681	0	100.0%	100.0%	5.6%
	03	4,992,547	4,992,547	4,992,547	0	100.0%	100.0%	4.7%
諸 収 入	04	9,317,314	9,431,323	9,261,168	56,146	99.4%	98.2%	7.8%
	03	2,169,526	2,173,161	2,012,680	156,846	92.8%	92.6%	1.9%
市 債	04	12,586,300	8,384,200	8,384,200	4,202,100	66.6%	100.0%	7.1%
	03	8,493,808	5,707,407	5,707,407	2,786,401	67.2%	100.0%	5.4%
歳 入 合 計	04	125,279,419	121,722,813	118,626,683	6,652,736	94.7%	97.5%	100.0%
	03	109,920,670	108,577,577	105,651,615	4,269,055	96.1%	97.3%	100.0%

市 税 収 入 実 績 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年 度	区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	徴 収 率
市 民 税	R04	現年課税分	23,676,696	24,299,713	24,015,586	72	286,918	98.8%
		滞納繰越分	156,961	522,641	151,546	47,930	323,471	29.0%
		計	23,833,657	24,822,354	24,167,132	48,002	610,389	97.4%
	R03	現年課税分	21,787,425	22,353,335	22,185,136	701	167,995	99.2%
		滞納繰越分	181,302	612,456	201,393	51,157	359,956	32.9%
		計	21,968,727	22,965,791	22,386,529	51,858	527,951	97.5%
固 定 資 産 税	R04	現年課税分	21,873,496	22,225,129	22,035,308	0	193,360	99.1%
		滞納繰越分	207,853	487,334	160,084	42,349	285,035	32.8%
		計	22,081,349	22,712,463	22,195,392	42,349	478,395	97.7%
	R03	現年課税分	21,003,769	21,286,070	21,111,063	72	178,961	99.2%
		滞納繰越分	241,658	658,665	291,324	56,211	311,414	44.2%
		計	21,245,427	21,944,735	21,402,387	56,283	490,375	97.5%
軽自動車税	R04	現年課税分	576,525	597,257	579,425	4	17,890	97.0%
		滞納繰越分	10,957	58,934	10,221	9,105	39,628	17.3%
		計	587,482	656,191	589,646	9,109	57,518	89.9%
	R03	現年課税分	535,893	556,385	538,022	38	18,332	96.7%
		滞納繰越分	9,983	59,016	8,974	7,667	42,375	15.2%
		計	545,876	615,401	546,996	7,705	60,707	88.9%
市 た ば こ 税	R04	現年課税分	1,551,299	1,689,340	1,689,340	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	0.0%
		計	1,551,299	1,689,340	1,689,340	0	0	100.0%
	R03	現年課税分	1,549,199	1,576,492	1,576,492	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	0.0%
		計	1,549,199	1,576,492	1,576,492	0	0	100.0%
入 湯 税	R04	現年課税分	2,100	5,872	5,872	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	986	0	986	0	0.0%
		計	2,101	6,858	5,872	986	0	85.6%
	R03	現年課税分	2,100	2,288	2,288	0	0	100.0%
		滞納繰越分	1	4,267	3,281	0	986	76.9%
		計	2,101	6,555	5,569	0	986	85.0%
都 市 計 画 税	R04	現年課税分	1,924,805	1,952,208	1,933,097	0	19,111	99.0%
		滞納繰越分	20,336	43,917	15,319	3,172	25,426	34.9%
		計	1,945,141	1,996,125	1,948,416	3,172	44,537	97.6%
	R03	現年課税分	1,853,845	1,880,092	1,863,021	9	17,062	99.1%
		滞納繰越分	21,655	57,479	26,109	4,507	26,862	45.4%
		計	1,875,500	1,937,571	1,889,130	4,516	43,924	97.5%
合 計	R04	現年課税分	49,604,921	50,769,519	50,258,628	76	517,279	99.0%
		滞納繰越分	396,108	1,113,812	337,170	103,542	673,560	30.3%
		計	50,001,029	51,883,331	50,595,798	103,618	1,190,839	97.5%
	R03	現年課税分	46,732,231	47,654,662	47,276,022	820	382,350	99.2%
		滞納繰越分	454,599	1,391,883	531,081	119,542	741,593	38.2%
		計	47,186,830	49,046,545	47,807,103	120,362	1,123,943	97.5%

収入済額には、還付未済額 6,924,199円を含む。

内訳 現年課税分：市民税 2,863,464円、固定資産税 3,538,178円、軽自動車税 62,200円
 滞納繰越分：市民税 305,608円、固定資産税 134,149円、軽自動車税 20,600円

入湯税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区分	令和4年度 決算額	財 源 内 訳			一般財源	充当額	
		特 定 財 源					
		国県支出金	市債	その他			
環境衛生施設整備事業	386	0	0	0	386	12	
消防施設等整備事業	153,179	0	77,900	135	75,144	2,376	
観 光	振 興 事 業	104,995	120	0	50	104,825	3,315
	施 設 整 備 事 業	30,009	3,871	0	20,812	5,326	169
	計	135,004	3,991	0	20,862	110,151	3,484
計	288,569	3,991	77,900	20,997	185,681	5,872	

入湯税の充当可能事業

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興(観光施設の整備を含む。)に要する費用に充てるものとする。(地方税法第701条)

都市計画税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区 分			令和4年度 決算額	
都市計画事業費等	街	路		
	公	園	274,489	
	下	水 道	2,092,404	
	そ	の 他		
	市 街 地 開 発 事 業			
	都 市 計 画 事 業 計	A	2,366,893	
	土 地 区 画 整 理 事 業	B	88,285	
	地 方 債 償 還 額	C	340,294	
合 計 (A + B + C)		D	2,795,472	
Dの財源内訳	地	方 債	E	211,400
	国	県 支 出 金	F	210,403
	負 担 金	そ の 他	G	26,300
	都 市 計 画 税 収 入 額	H	1,948,416	
	一 般 財 源 等	I	398,953	
	D - (E + F + G + H)			
合 計		J	2,795,472	

都市計画税の充当可能事業

都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業(下水道、公園など)又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるものとする。(地方税法第702条)

款 別 歳 出 内 訳

(単位:千円)

区 分	令和4年度 決算額	構成比 (%)	令和3年度 決算額	構成比 (%)	令和4年度と 令和3年度の 増減額	増減比 (%)
議会費	383,792	0.3	381,452	0.4	2,340	0.6
総務費	7,073,172	6.3	6,729,647	6.8	343,525	5.1
民生費	43,725,215	38.7	43,697,915	44.1	27,300	0.1
衛生費	7,430,437	6.6	7,388,806	7.5	41,631	0.6
労働費	39,022	0.1	55,826	0.1	16,804	30.1
農林水産業費	1,584,710	1.3	1,364,699	1.4	220,011	16.1
商工費	1,166,877	1.0	1,590,604	1.6	423,727	26.6
土木費	10,558,375	9.3	11,012,533	11.1	454,158	4.1
消防費	3,793,678	3.4	3,952,951	4.0	159,273	4.0
教育費	19,544,795	17.3	12,251,421	12.4	7,293,374	59.5
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費	6,345,205	5.6	6,727,672	6.8	382,467	5.7
諸支出金	11,400,424	10.1	3,773,407	3.8	7,627,017	202.1
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	113,045,702	100.0	98,926,933	100.0	14,118,769	14.3

令和4年度 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 3,264,156千円

(歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 39,045,458千円

(単位:千円)

事業名	事業費	特 定 財 源			一 般 財 源		
		国 県 支 出 金	市 債	そ の 他		地方消費税交付金 (社会保障財源分)	
社会 福祉	障害者福祉事業	5,583,302	3,824,601	0	15,787	1,742,914	322,512
	高齢者福祉事業	327,054	15,771	43,500	5,009	262,774	48,624
	児童福祉事業	22,094,037	12,666,460	225,900	1,190,065	8,011,612	1,482,483
	生活保護扶助事業	2,193,701	1,402,193	0	30,483	761,025	140,821
	小計	30,198,094	17,909,025	269,400	1,241,344	10,778,325	1,994,440
社会 保険	介護保険事業	2,197,026	119,527	0	0	2,077,499	384,424
	国民健康保健事業	1,227,863	698,141	0	0	529,722	98,021
	小計	3,424,889	817,668	0	0	2,607,221	482,445
保健 衛生	高齢者医療事業	2,130,352	261,080	0	8,877	1,860,395	344,251
	医療福祉事業	1,881,419	710,116	0	115,984	1,055,319	195,278
	予防接種事業	817,010	5,119	0	257	811,634	150,186
	成人健診事業	265,394	21,180	0	13,360	230,854	42,718
	母子健診事業	328,300	27,943	0	4,002	296,355	54,838
	小計	5,422,475	1,025,438	0	142,480	4,254,557	787,271
合計	39,045,458	19,752,131	269,400	1,383,824	17,640,103	3,264,156	

平成26年4月1日からの消費税率引上げに伴い、引上げ分の地方消費税収については、消費税法第1条第2項に規定する経費
その他社会保障施策に要する経費に充てるものとする。(地方税法第72条の116第2項)

職 員 数 及 び 人 件 費 の 調

区 分	職 員 数 (人)					職員に要した 人件費(千円)
	一 般 職	単 労 職	教 育 職	医 療 職	計	
議 会 関 係	12 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	94,534
総 務 関 係	297 (9)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	302 (9)	3,186,678
税 務 関 係	67 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	67 (0)	478,733
民 生 関 係	561 (64)	11 (4)	0 (0)	41 (2)	613 (70)	4,323,782
衛 生 関 係	63 (2)	4 (3)	0 (0)	45 (0)	112 (5)	862,016
労 働 関 係	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	18,896
農 林 関 係	42 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (6)	322,620
商 工 関 係	41 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (0)	326,305
土 木 関 係	137 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	137 (6)	1,221,456
消 防 関 係	339 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	339 (7)	2,983,598
教 育 関 係	99 (7)	14 (4)	91 (0)	10 (0)	214 (11)	1,824,620
合 計	1,660 (102)	32 (11)	91 (0)	98 (2)	1,881 (115)	15,643,238

職員数は、令和4年4月1日現在

職員数欄の()内は、再任用職員数を内書き

地 方 債 借 入 先 別 現 在 高 と 償 還 状 況

(単位:千円)

借 入 先	令 和 3 年 度 末 現 在 高	令 和 4 年 度 発 行 額	令 和 4 年 度 償 還 額		令 和 4 年 度 末 現 在 高
			元 金	利 子	
財 政 融 資 資 金	17,875,422	4,383,200	2,335,170	62,039	19,923,452
旧 郵 政 公 社 資 金	1,501,387	0	448,128	5,020	1,053,259
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	10,916,779	2,494,200	1,278,447	51,528	12,132,532
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	776,470	0	103,460	15,495	673,010
市 中 銀 行	12,789,478	1,103,000	1,174,716	37,705	12,717,762
そ の 他 の 金 融 機 関	1,112,223	0	177,795	12,891	934,428
共 済 等	733,769	288,700	101,286	1,496	921,183
そ の 他	8,299,080	115,100	537,892	2,137	7,876,288
合 計	54,004,608	8,384,200	6,156,894	188,311	56,231,914

財政融資資金には、旧資金運用部資金を含む。

令和4年度発行額には、財政融資資金起債前貸等借入金を含む。

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01				一般	101,532,000	5,972,924	17,774,495	125,279,419	121,722,813	118,626,683	94.7
				市税	48,474,998		1,526,031	50,001,029	51,883,331	50,595,798	101.2
	01			市民税	22,307,626		1,526,031	23,833,657	24,822,355	24,167,133	101.4
		01		個人	18,729,833		607,132	19,336,965	19,952,354	19,336,645	100.0
			01	現年課税分	本年度 18,589,774 前年度 17,963,742 比較 626,032		607,132 291,114 316,018	19,196,906 18,254,856 942,050	19,467,006 18,478,264 988,742	19,191,385 18,321,061 870,324	100.0 100.4
			02	滞納繰越分	本年度 140,059 前年度 149,503 比較 9,444			140,059 149,503 9,444	485,349 541,633 56,284	145,260 159,688 14,428	103.7 106.8
		02		法人	3,577,793		918,899	4,496,692	4,870,000	4,830,488	107.4
			01	現年課税分	本年度 3,560,891 前年度 2,930,741 比較 630,150		918,899 601,828 317,071	4,479,790 3,532,569 947,221	4,832,707 3,875,071 957,636	4,824,202 3,864,074 960,128	107.7 109.4
			02	滞納繰越分	本年度 16,902 前年度 31,799 比較 14,897			16,902 31,799 14,897	37,293 70,823 33,530	6,286 41,705 35,419	37.2 131.2
	02			固定資産税	22,081,349			22,081,349	22,712,462	22,195,391	100.5
		01		固定資産税	21,974,052			21,974,052	22,605,163	22,088,092	100.5
			01	現年課税分	本年度 21,766,199 前年度 20,549,485 比較 1,216,714		344,094 344,094	21,766,199 20,893,579 872,620	22,117,829 21,175,878 941,951	21,928,008 21,000,871 927,137	100.7 100.5
			02	滞納繰越分	本年度 207,853 前年度 241,658 比較 33,805			207,853 241,658 33,805	487,333 658,665 171,332	160,084 291,324 131,240	77.0 120.6
		02		国有資産等所在市町村交付金	107,297			107,297	107,300	107,300	100.0
			01	現年課税分	本年度 107,297 前年度 110,190 比較 2,893			107,297 110,190 2,893	107,300 110,193 2,893	107,300 110,193 2,893	100.0 100.0
	03			軽自動車税	587,482			587,482	656,190	589,646	100.4
		01		環境性能割	35,377			35,377	30,136	30,136	85.2
			01	現年課税分	本年度 35,377 前年度 19,086 比較 16,291			35,377 19,086 16,291	30,136 18,142 11,994	30,136 18,142 11,994	85.2 95.1
		02		種別割	552,105			552,105	626,054	559,510	101.3
			01	現年課税分	本年度 541,148 前年度 516,807 比較 24,341			541,148 516,807 24,341	567,121 538,243 28,878	549,289 519,880 29,409	101.5 100.6
			02	滞納繰越分	本年度 10,957 前年度 9,983 比較 974			10,957 9,983 974	58,934 59,016 82	10,221 8,974 1,247	93.3 89.9
	04			市たばこ税	1,551,299			1,551,299	1,689,340	1,689,340	108.9
		01		市たばこ税	1,551,299			1,551,299	1,689,340	1,689,340	108.9
			01	現年課税分	本年度 1,551,299 前年度 1,549,199 比較 2,100			1,551,299 1,549,199 2,100	1,689,340 1,576,492 112,848	1,689,340 1,576,492 112,848	108.9 101.8
	05			入湯税	2,101			2,101	6,858	5,872	279.5
		01		入湯税	2,101			2,101	6,858	5,872	279.5
			01	現年課税分	本年度 2,100 前年度 2,100 比較			2,100 2,100	5,872 2,287 3,585	5,872 2,287 3,585	279.6 108.9
			02	滞納繰越分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1	986 4,268 3,282	3,281 3,281	328100.0
	06			都市計画税	1,945,141			1,945,141	1,996,126	1,948,416	100.2
		01		都市計画税	1,945,141			1,945,141	1,996,126	1,948,416	100.2
			01	現年課税分	本年度 1,924,805 前年度 1,847,896 比較 76,909		5,949 5,949	1,924,805 1,853,845 70,960	1,952,208 1,880,092 72,116	1,933,097 1,863,021 70,076	100.4 100.5
			02	滞納繰越分	本年度 20,336 前年度 21,655 比較 1,319			20,336 21,655 1,319	43,917 57,479 13,562	15,319 26,109 10,790	75.3 120.6
	02			地方譲与税	991,747		1,496	993,243	972,105	972,105	97.9
		01		地方揮発油譲与税	222,791			222,791	235,325	235,325	105.6
			01	地方揮発油譲与税	222,791			222,791	235,325	235,325	105.6
			01	地方揮発油譲与税	本年度 222,791 前年度 214,608 比較 8,183			222,791 214,608 8,183	235,325 246,145 10,820	235,325 246,145 10,820	105.6 114.7

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
02	02			自動車重量譲与税	738,032			738,032	704,360	704,360	95.4
		01		自動車重量譲与税	738,032			738,032	704,360	704,360	95.4
			01	自動車重量譲与税	738,032			738,032	704,360	704,360	95.4
				自動車重量譲与税	本年度			738,032	704,360	704,360	95.4
				自動車重量譲与税	前年度			682,150	703,765	703,765	103.2
				自動車重量譲与税	比較			55,882	595	595	
		03		森林環境譲与税	30,924		1,496	32,420	32,420	32,420	100.0
			01	森林環境譲与税	30,924		1,496	32,420	32,420	32,420	100.0
			01	森林環境譲与税	30,924		1,496	32,420	32,420	32,420	100.0
				森林環境譲与税	本年度			32,420	32,420	32,420	100.0
				森林環境譲与税	前年度			23,896	24,556	24,556	102.8
				森林環境譲与税	比較			7,360	7,864	7,864	
03				利子割交付金	21,601			21,601	15,400	15,400	71.3
	01			利子割交付金	21,601			21,601	15,400	15,400	71.3
		01		利子割交付金	21,601			21,601	15,400	15,400	71.3
			01	利子割交付金	21,601			21,601	15,400	15,400	71.3
				利子割交付金	本年度			21,601	15,400	15,400	71.3
				利子割交付金	前年度			29,671	26,698	26,698	90.0
				利子割交付金	比較			8,070	11,298	11,298	
04				配当割交付金	157,518			157,518	225,836	225,836	143.4
	01			配当割交付金	157,518			157,518	225,836	225,836	143.4
		01		配当割交付金	157,518			157,518	225,836	225,836	143.4
			01	配当割交付金	157,518			157,518	225,836	225,836	143.4
				配当割交付金	本年度			157,518	225,836	225,836	143.4
				配当割交付金	前年度			165,645	256,780	256,780	155.0
				配当割交付金	比較			8,127	30,944	30,944	
05				株式等譲渡所得割交付金	254,368			254,368	180,000	180,000	70.8
	01			株式等譲渡所得割交付金	254,368			254,368	180,000	180,000	70.8
		01		株式等譲渡所得割交付金	254,368			254,368	180,000	180,000	70.8
			01	株式等譲渡所得割交付金	254,368			254,368	180,000	180,000	70.8
				株式等譲渡所得割交付金	本年度			254,368	180,000	180,000	70.8
				株式等譲渡所得割交付金	前年度			173,828	307,119	307,119	176.7
				株式等譲渡所得割交付金	比較			80,540	127,119	127,119	
06				法人事業税交付金	620,863			620,863	829,320	829,320	133.6
	01			法人事業税交付金	620,863			620,863	829,320	829,320	133.6
		01		法人事業税交付金	620,863			620,863	829,320	829,320	133.6
			01	法人事業税交付金	620,863			620,863	829,320	829,320	133.6
				法人事業税交付金	本年度			620,863	829,320	829,320	133.6
				法人事業税交付金	前年度			558,338	728,041	728,041	130.4
				法人事業税交付金	比較			62,525	101,279	101,279	
07				地方消費税交付金	5,768,127			5,768,127	6,180,863	6,180,863	107.2
	01			地方消費税交付金	5,768,127			5,768,127	6,180,863	6,180,863	107.2
		01		地方消費税交付金	5,768,127			5,768,127	6,180,863	6,180,863	107.2
			01	地方消費税交付金	5,768,127			5,768,127	6,180,863	6,180,863	107.2
				地方消費税交付金	本年度			5,768,127	6,180,863	6,180,863	107.2
				地方消費税交付金	前年度			5,180,378	5,692,072	5,692,072	109.9
				地方消費税交付金	比較			587,749	488,791	488,791	
08				ゴルフ場利用税交付金	81,433			81,433	81,827	81,827	100.5
	01			ゴルフ場利用税交付金	81,433			81,433	81,827	81,827	100.5
		01		ゴルフ場利用税交付金	81,433			81,433	81,827	81,827	100.5
			01	ゴルフ場利用税交付金	81,433			81,433	81,827	81,827	100.5
				ゴルフ場利用税交付金	本年度			81,433	81,827	81,827	100.5
				ゴルフ場利用税交付金	前年度			52,421	81,174	81,174	102.0
				ゴルフ場利用税交付金	比較			29,012	653	653	
				ゴルフ場利用税交付金			27,193	79,614	81,174	81,174	
				ゴルフ場利用税交付金			27,193	1,819	653	653	
09				環境性能割交付金	94,624			94,624	93,777	93,777	99.1
	01			環境性能割交付金	94,624			94,624	93,777	93,777	99.1
		01		環境性能割交付金	94,624			94,624	93,777	93,777	99.1
			01	環境性能割交付金	94,624			94,624	93,777	93,777	99.1
				環境性能割交付金	本年度			94,624	93,777	93,777	99.1
				環境性能割交付金	前年度			85,162	83,844	83,844	98.5
				環境性能割交付金	比較			9,462	9,933	9,933	
10				地方特例交付金	356,204		29,464	385,668	390,561	390,561	101.3
	01			地方特例交付金	334,505		29,464	363,969	363,969	363,969	100.0
		01		地方特例交付金	334,505		29,464	363,969	363,969	363,969	100.0
			01	地方特例交付金	334,505		29,464	363,969	363,969	363,969	100.0
				地方特例交付金	本年度			334,505	363,969	363,969	100.0
				地方特例交付金	前年度			358,370	330,377	330,377	100.0
				地方特例交付金	比較			23,865	33,592	33,592	
				地方特例交付金			57,457	33,592	33,592	33,592	
	02			新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	21,699			21,699	26,592	26,592	122.5
		01		新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	21,699			21,699	26,592	26,592	122.5
			01	新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	21,699			21,699	26,592	26,592	122.5
				新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	本年度			21,699	26,592	26,592	122.5
				新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	前年度			943,461	441,827	441,827	100.1
				新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	比較			921,762	419,528	415,235	
				新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金			502,234	441,227	441,827	441,827	
				新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金			502,234	419,528	415,235	415,235	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
11				地方交付税	17,248			17,248	272,074	272,074	1577.4
	01			地方交付税	17,248			17,248	272,074	272,074	1577.4
		01		地方交付税	17,248			17,248	272,074	272,074	1577.4
			01	地方交付税	本年度 17,248			17,248	272,074	272,074	1577.4
				前年度	1			1	258,857	258,857	25885700.0
				比較	17,247			17,247	13,217	13,217	
12				交通安全対策特別交付金	29,981			29,981	28,853	28,853	96.2
	01			交通安全対策特別交付金	29,981			29,981	28,853	28,853	96.2
		01		交通安全対策特別交付金	29,981			29,981	28,853	28,853	96.2
			01	交通安全対策特別交付金	本年度 29,981			29,981	28,853	28,853	96.2
				前年度	30,391			30,391	30,810	30,810	101.4
				比較	410			410	1,957	1,957	
13				分担金及び負担金	1,219,070		18,784	1,237,854	1,207,867	1,149,793	92.9
	01			分担金	1			1			
		01		農林水産業費分担	1			1			
			01	農業費分担金	本年度 1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
	02			負担金	1,219,069		18,784	1,237,853	1,207,867	1,149,793	92.9
		01		民生費負担金	1,199,416		18,784	1,218,200	1,186,702	1,128,627	92.6
			01	社会福祉費負担金	本年度 29,443			29,443	16,641	16,641	56.5
				前年度	30,009			30,009	20,445	20,445	68.1
				比較	566			566	3,804	3,804	
			02	児童福祉費負担金	本年度 1,169,973		18,784	1,188,757	1,170,061	1,111,986	93.5
				前年度	1,069,808		4,329	1,065,479	1,082,244	1,017,984	95.5
				比較	100,165		23,113	123,278	87,817	94,002	
		02		衛生費負担金	2,278			2,278	4,002	4,002	175.7
			01	衛生費負担金	本年度 2,278			2,278	4,002	4,002	175.7
				前年度	2,468			2,468	2,552	2,552	103.4
				比較	190			190	1,450	1,450	
		03		土木費負担金	17,375			17,375	17,164	17,164	98.8
			01	共同溝維持管理費負担金	本年度 17,375			17,375	17,164	17,164	98.8
				前年度	17,164			17,164	17,164	17,164	100.0
				比較	211			211			
14				使用料及び手数料	1,263,493		15,054	1,248,439	1,460,716	1,273,100	102.0
	01			使用料	648,852			648,852	852,849	665,233	102.5
				総務使用料	49,296			49,296	52,621	52,621	106.7
			×	イノベーション ラザ使用料	本年度 2,604			2,604	1,402	1,402	53.8
				前年度	2,604			2,604	1,402	1,402	
				比較							
			01	行政財産使用料	本年度 49,296			49,296	52,621	52,621	106.7
				前年度	47,824			47,824	49,735	49,735	104.0
				比較	1,472			1,472	2,886	2,886	
		02		民生使用料	31,511			31,511	29,941	29,941	95.0
			01	老人福祉センター 使用料	本年度 541			541	411	411	76.0
				前年度	541			541	250	250	46.2
				比較					161	161	
			02	福祉支援センター 使用料	本年度 567			567	189	189	33.3
				前年度	442			442	183	183	41.4
				比較	125			125	6	6	
			03	地域交流センター 使用料	本年度 19,835			19,835	17,022	17,022	85.8
				前年度	19,655			19,655	14,214	14,214	72.3
				比較	180			180	2,808	2,808	
			04	市民ホール使用料	本年度 10,082			10,082	11,803	11,803	117.1
				前年度	10,082			10,082	7,379	7,379	73.2
				比較					4,424	4,424	
			05	行政財産使用料	本年度 486			486	516	516	106.2
				前年度	515			515	591	591	114.8
				比較	29			29	75	75	
		03		衛生使用料	55,839			55,839	64,244	64,244	115.1
			01	保健衛生使用料	本年度 478			478	626	626	131.0
				前年度	478			478	435	435	91.0
				比較					191	191	
			02	メモリアルホール 使用料	本年度 52,800			52,800	61,043	61,043	115.6
				前年度	59,400			59,400	54,919	54,919	92.5
				比較	6,600			6,600	6,124	6,124	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
14	01	03	03	行政財産使用料	本年度			2,561	2,575	2,575	100.5	
				前年度	2,373		2,373	2,356	2,356	99.3		
				比較	188		188	219	219			
			04	労働使用料	本年度	10		10	10	10	100.0	
				01	働く婦人の家使用料	本年度	10		10	10	10	100.0
					前年度	10		10	10	10	100.0	
			05	農林水産業使用料	本年度	39,893		39,893	29,362	29,362	73.6	
				01	ゆかりの森施設使用料	本年度	20,847		20,847	13,814	13,814	66.3
					前年度	20,836		20,836	8,250	8,250	39.6	
			02	ふれあいの里施設使用料	本年度	18,967		18,967	15,451	15,451	81.5	
				前年度	18,238	6,928	11,310	10,848	10,848	95.9		
				比較	729	6,928	7,657	4,603	4,603			
			03	行政財産使用料	本年度	79		79	97	97	122.8	
				前年度	68		68	96	96	141.2		
				比較	11		11	1	1			
			06	商工使用料	本年度	71,750		71,750	64,431	64,431	89.8	
				01	筑波山駐車場使用料	本年度	43,325		43,325	40,889	40,889	94.4
					前年度	43,325		43,325	37,244	37,244	86.0	
				比較					3,645	3,645		
					02	おもてなし館使用料	本年度	121		121	127	127
				前年度	121		121	125	125	103.3		
				比較					2	2		
				03	産業振興センター使用料	本年度	16,713		16,713	13,279	13,279	79.5
					前年度	14,238		14,238	15,896	15,896	111.6	
				比較					2,475	2,617	2,617	
					04	六斗の森施設使用料	本年度	11,348		11,348	9,820	9,820
			前年度	11,273		11,273	7,656	7,656	67.9			
			比較					75	2,164	2,164		
			05	行政財産使用料	本年度	243		243	317	317	130.5	
				前年度	243		243	230	230	94.7		
			比較					87	87			
			07	土木使用料	本年度	378,342		378,342	587,485	399,869	105.7	
				01	公園使用料	本年度	49,017		49,017	55,377	55,377	113.0
					前年度	51,016		51,016	48,954	48,651	95.4	
				比較					1,999	6,726	6,726	
					02	広場使用料	本年度	2,216		2,216	2,235	2,235
				前年度		2,194		2,194	2,136	2,136	97.4	
				比較					22	99	99	
				03	駐車場使用料	本年度	47,945		47,945	57,729	57,729	120.4
					前年度	73,643		73,643	51,541	51,541	70.0	
				比較					25,698	6,188	6,188	
				04	駅前広場使用料	本年度	7,000		7,000	9,461	9,461	135.2
					前年度	10,756		10,756	7,287	7,287	67.7	
				比較					3,756	2,174	2,174	
				05	市営住宅使用料	本年度	159,851		159,851	343,139	155,680	97.4
前年度	162,634		162,634		355,510	157,703	97.0					
比較					2,783	12,371	2,023					
06	道路占用使用料	本年度	110,000		110,000	117,565	117,409	106.7				
	前年度	107,000		107,000	114,822	114,822	107.3					
比較					3,000	2,743	2,587					
07	行政財産使用料	本年度	2,313		2,313	1,978	1,978	85.5				
	前年度	2,491	101	2,592	1,795	1,795	69.3					
比較					178	101	279	183				
08	消防使用料	本年度	130		130	140	140	107.7				
	01	行政財産使用料	本年度	130		130	140	140	107.7			
		前年度	128		128	131	131	102.3				
比較					2	9	9					
09	教育使用料	本年度	22,081		22,081	24,615	24,615	111.5				
	01	幼稚園使用料	本年度	480		480	174	174	36.3			
		前年度	480		480	314	314	65.4				
		比較					140	140				
	02	視聴覚使用料	本年度	2,245		2,245	3,306	3,306	147.3			
前年度		2,245		2,245	2,424	2,424	108.0					
比較					882	882						

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率						
14	01	09	03	体育館使用料	本年度	14,151			14,151	13,611	13,611	96.2					
				前年度	14,151			14,151	13,000	13,000	91.9						
				比較					611	611							
				04	テニスコート使用料	本年度	4,033			4,033	4,516	4,516	112.0				
					前年度	4,033			4,033	4,140	4,140	102.7					
					比較					376	376						
				05	野球場使用料	本年度	236			236	1,507	1,507	638.6				
					前年度	1,485			1,485	1,303	1,303	87.7					
					比較					1,249	204	204					
				06	ソフトボール場使用料	本年度	80			80	71	71	88.8				
					前年度	80			80	94	94	117.5					
					比較					23	23						
				07	サッカー場使用料	本年度	251			251	312	312	124.3				
					前年度	251			251	291	291	115.9					
					比較					21	21						
				08	行政財産使用料	本年度	605			605	1,117	1,117	184.6				
					前年度	606			606	944	944	155.8					
					比較					1	173	173					
				02	01	02	01	手数料		614,641		15,054	599,587	607,867	607,867	101.4	
								総務手数料		85,537		15,054	70,483	76,564	76,564	108.6	
								01	戸籍住民登録手数料	本年度	48,651		7,100	41,551	45,190	45,190	108.8
									前年度	51,170		987	52,157	47,053	47,053	90.2	
									比較					2,519	1,863	1,863	
								02	事務手数料	本年度	17,811		4,010	13,801	14,913	14,913	108.1
前年度	19,079		1,443						20,522	17,423	17,423	84.9					
比較										1,268	2,510	2,510					
03	徴税手数料	本年度	17,410						3,944	13,466	14,974	14,974	111.2				
	前年度	16,601						90	16,691	15,601	15,601	93.5					
	比較									809	4,034	3,225	627	627			
04	自動車臨時運行許可手数料	本年度	1,665							1,665	1,487	1,487	89.3				
	前年度	1,515							1,515	1,564	1,564	103.2					
	比較									150	77	77					
02	民生手数料		320							320	690	690	215.6				
	01	民生手数料	本年度					320			320	690	690	215.6			
		前年度	320							320	115	115	35.9				
比較										575	575						
03	衛生手数料		503,755							503,755	499,729	499,729	99.2				
	01	廃棄物処理手数料	本年度					497,654			497,654	493,423	493,423	99.1			
		前年度	489,948							489,948	505,445	505,445	103.2				
比較										7,706	12,022	12,022					
02	畜犬登録等事務手数料	本年度	6,024							6,024	6,024	6,024	100.0				
	前年度	5,802							5,802	6,245	6,245	107.6					
	比較					222	221	221									
03	塵芥処理手数料	本年度	77			77	282	282	366.2								
	前年度	77			77	157	157	203.9									
	比較						125	125									
04	農林水産業手数料		16			16	14	14	87.5								
	01	農林水産業手数料	本年度	16			16	14	14	87.5							
		前年度	12			12	20	20	166.7								
比較						4	6	6									
05	商工手数料		152			152	216	216	142.1								
	01	商工手数料	本年度	152			152	216	216	142.1							
		前年度	150			150	256	256	170.7								
比較						2	40	40									
06	土木手数料		23,028			23,028	28,000	28,000	121.6								
	01	土木手数料	本年度	22,929			22,929	27,854	27,854	121.5							
		前年度	22,839		486	22,353	27,151	27,151	121.5								
比較						90	576	703	703								
02	駐車場手数料	本年度	99			99	146	146	147.5								
	前年度	287			287	252	252	87.8									
	比較					188	106	106									
07	消防手数料		1,833			1,833	2,655	2,655	144.8								
	01	消防手数料	本年度	1,833			1,833	2,655	2,655	144.8							
		前年度	1,618			1,618	2,321	2,321	143.4								
比較						215	334	334									

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
15			国庫支出金	18,379,053	3,337,337	3,343,493	25,059,883	23,422,338	22,369,043	89.3
	01		国庫負担金	12,147,966	732,758	534,800	13,415,524	12,534,961	12,534,961	93.4
		01	民生費国庫負担金	12,144,110		158,565	12,302,675	11,633,194	11,633,194	94.6
		01	心身障害者福祉費負担金	本年度 2,591,557		2,598	2,594,155	2,502,732	2,502,732	96.5
			前年度 2,207,628		111,295	2,318,923	2,251,204	2,251,204	97.1	
			比較 383,929		108,697	275,232	251,528	251,528		
		02	児童福祉費負担金	本年度 4,334,255		124,628	4,458,883	4,252,777	4,252,777	95.4
			前年度 3,994,814		387,671	4,382,485	4,430,511	4,430,511	101.1	
			比較 339,441		263,043	76,398	177,734	177,734		
		03	生活保護費負担金	本年度 1,676,769		142	1,676,911	1,399,375	1,399,375	83.4
			前年度 1,629,637		50,570	1,680,207	1,681,969	1,681,969	100.1	
			比較 47,132		50,428	3,296	282,594	282,594		
		04	国民健康保険事業費負担金	本年度 184,657		10,599	195,256	195,256	195,256	100.0
			前年度 190,305		6,137	196,442	196,442	196,442	100.0	
			比較 5,648		4,462	1,186	1,186	1,186		
		05	児童扶養手当負担金	本年度 230,610			230,610	220,662	220,662	95.7
			前年度 221,683		8,926	230,609	232,012	232,012	100.6	
			比較 8,927		8,926	1	11,350	11,350		
		06	児童手当負担金	本年度 3,049,963		18,180	3,068,143	2,984,389	2,984,389	97.3
			前年度 2,965,296		55,802	3,021,098	3,014,594	3,014,594	99.8	
			比較 84,667		37,622	47,045	30,205	30,205		
		07	介護保険事業費負担金	本年度 76,299		2,418	78,717	78,002	78,002	99.1
			前年度 74,744		2,139	76,883	75,304	75,304	97.9	
			比較 1,555		279	1,834	2,698	2,698		
		02	衛生費国庫負担金	3,856	732,758	376,235	1,112,849	901,767	901,767	81.0
		01	衛生費負担金	本年度 3,856	732,758	376,235	1,112,849	901,767	901,767	81.0
			前年度 4,132		2,027,701	2,031,833	2,030,179	2,030,179	99.9	
			比較 276	732,758	1,651,466	918,984	1,128,412	1,128,412		
		×	消防費国庫負担金							
		×	消防費負担金	本年度						
			前年度					1,214	1,214	
			比較					1,214	1,214	
	02		国庫補助金	6,163,626	2,604,579	2,808,693	11,576,898	10,814,883	9,761,588	84.3
		01	総務費国庫補助金	757,917	2,222	1,057,162	1,817,301	1,763,873	1,757,923	96.7
		01	総務管理費補助金	本年度 124,040	2,222	36,494	162,756	132,874	126,924	78.0
			前年度 248,703	12,100	19,696	241,107	192,249	177,927	73.8	
			比較 124,663	9,878	56,190	78,351	59,375	51,003		
		02	地域活性化交付金	本年度 264,943			264,943	239,980	239,980	90.6
			前年度 41,078			41,078	35,251	35,251	85.8	
			比較 223,865			223,865	204,729	204,729		
		03	地方創生臨時交付金	本年度 368,934		1,020,668	1,389,602	1,391,019	1,391,019	100.1
			前年度		755,549	755,549	757,150	757,150	100.2	
			比較 368,934		265,119	634,053	633,869	633,869		
		02	民生費国庫補助金	1,463,695	1,420,638	1,443,088	4,327,421	3,686,922	3,686,922	85.2
		01	社会福祉費補助金	本年度 190,269	968,245	1,053,885	2,212,399	1,582,906	1,582,906	71.5
			前年度 94,295		2,541,582	2,635,877	2,224,073	2,224,073	84.4	
			比較 95,974	968,245	1,487,697	423,478	641,167	641,167		
		02	児童福祉費補助金	本年度 1,273,426	439,614	389,203	2,102,243	2,091,237	2,091,237	99.5
			前年度 1,073,438		4,451,465	5,524,903	5,421,683	5,151,304	93.2	
			比較 199,988	439,614	4,062,262	3,422,660	3,330,446	3,060,067		
		×	文化芸術振興費補助金	本年度						
			前年度	4,241		1,952	2,289	4,248	4,248	185.6
			比較	4,241		1,952	2,289	4,248	4,248	
		04	老人福祉費補助金	本年度	12,779		12,779	12,779	12,779	100.0
			前年度	7,730	17,758	25,488	25,487	12,708	49.9	
			比較	5,049	17,758	12,709	12,708	71		
		03	衛生費国庫補助金	75,020	245,669	404,497	725,186	666,077	455,812	62.9
		01	保健衛生費補助金	本年度 75,020	245,669	404,497	725,186	666,077	455,812	62.9
			前年度 50,084	297,782	487,320	835,186	885,891	885,891	106.1	
			比較 24,936	52,113	82,823	110,000	219,814	430,079		
		04	農林水産業費国庫補助金	1,560			1,560	480	480	30.8
		01	農業費補助金	本年度 1,560			1,560	480	480	30.8
			前年度 1,280		880	400	400	400	100.0	
			比較 280		880	1,160	80	80		
		×	商工費国庫補助金							
		×	商工費補助金	本年度						
			前年度	104,710		11,260	93,450	75,135	75,135	80.4
			比較	104,710		11,260	93,450	75,135	75,135	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
15	02	05		土木費国庫補助金	1,092,540	275,615	24,892	1,343,263	1,341,494	1,021,949	76.1
		01		土木費補助金	435,395	72,836	56,457	451,774	451,775	332,573	73.6
				前年度	327,690	42,196	55,498	314,388	314,388	241,552	76.8
				比較	107,705	30,640	959	137,386	137,387	91,021	
		02		都市計画費補助金	469,800	123,350	26,882	620,032	618,263	474,663	76.6
				前年度	226,610	175,951	306	402,255	402,160	278,810	69.3
				比較	243,190	52,601	27,188	217,777	216,103	195,853	
		03		住宅費補助金	187,345	79,430	4,683	271,458	271,457	214,713	79.1
				前年度	282,348	166,528	23,481	425,395	425,395	345,966	81.3
				比較	95,003	87,098	28,164	153,937	153,938	131,253	
		x		消防費国庫補助金							
		x		消防費補助金							
				本年度							
				前年度	5,486		5,486				
				比較	5,486		5,486				
		06		教育費国庫補助金	2,772,894	660,435	71,162	3,362,167	3,356,037	2,838,502	84.4
		01		小学校費補助金	1,856,100	393,505	4,064	2,253,669	2,252,229	1,931,360	85.7
				前年度	588,038	21,486	112,376	721,900	856,394	462,378	64.1
				比較	1,268,062	372,019	108,312	1,531,769	1,395,835	1,468,982	
		02		中学校費補助金	790,357	243,295	53,373	980,279	977,040	840,890	85.8
				前年度	194,157	78,886	128,986	402,029	458,499	214,205	53.3
				比較	596,200	164,409	182,359	578,250	518,541	626,685	
		03		社会教育費補助金	34,166		4,688	29,478	27,970	27,970	94.9
				前年度	18,176		2,689	15,487	15,281	15,281	98.7
				比較	15,990		1,999	13,991	12,689	12,689	
		04		保健体育費補助金	69,692			69,692	74,079	16,461	23.6
				前年度			1,222	1,222	1,222	1,222	100.0
				比較	69,692		1,222	68,470	72,857	15,239	
		05		幼稚園費補助金	22,579	23,635	17,165	29,049	24,719	21,821	75.1
				前年度		4,876	23,179	28,055	33,067	6,714	23.9
				比較	22,579	18,759	40,344	994	8,348	15,107	
		03		委託金	67,461			67,461	72,494	72,494	107.5
		01		総務費委託金	3,367			3,367	3,479	3,479	103.3
		01		総務管理費委託金	3,367			3,367	3,479	3,479	103.3
				前年度	2,994			2,994	3,652	3,097	103.4
				比較	373			373	173	382	
		02		民生費委託金	60,272			60,272	66,360	66,360	110.1
		01		国民年金事務委託金	59,500			59,500	65,587	65,587	110.2
				前年度	52,922			52,922	64,636	64,636	122.1
				比較	6,578			6,578	951	951	
		02		児童福祉費委託金	772			772	773	773	100.1
				前年度	736			736	740	740	100.5
				比較	36			36	33	33	
		03		土木費委託金	3,822			3,822	2,655	2,655	69.5
		01		河川費委託金	3,822			3,822	2,655	2,655	69.5
				前年度	3,681			3,681	2,778	2,778	75.5
				比較	141			141	123	123	
16				県支出金	7,315,885	51,694	428,808	7,796,387	7,281,389	6,941,933	89.0
	01			県負担金	4,665,997		50,683	4,716,680	4,440,249	4,440,249	94.1
		01		民生費県負担金	4,664,069		50,683	4,714,752	4,438,049	4,438,049	94.1
		01		社会福祉費負担金	2,945		1,079	4,024	1,217	1,217	30.2
				前年度	1,009			1,009	842	842	83.4
				比較	1,936		1,079	3,015	375	375	
		02		児童福祉費負担金	1,914,315		35,169	1,949,484	1,761,501	1,761,501	90.4
				前年度	1,813,565		13,177	1,826,742	1,656,212	1,656,212	90.7
				比較	100,750		21,992	122,742	105,289	105,289	
		03		生活保護費負担金	25,127			25,127	31,000	31,000	123.4
				前年度	26,250			26,250	26,845	26,845	102.3
				比較	1,123			1,123	4,155	4,155	
		04		国民健康保険事業費負担金	496,106		6,778	502,884	502,885	502,885	100.0
				前年度	550,296		20,586	570,882	570,883	570,883	100.0
				比較	54,190		13,808	67,998	67,998	67,998	
		05		障害福祉費負担金	1,276,999		1,299	1,278,298	1,207,191	1,207,191	94.4
				前年度	1,084,858		53,500	1,138,358	1,082,865	1,082,865	95.1
				比較	192,141		52,201	139,940	124,326	124,326	
		06		後期高齢者医療事業費負担金	255,932		5,149	261,081	261,080	261,080	100.0
				前年度	242,138		5,978	248,116	248,116	248,116	100.0
				比較	13,794		829	12,965	12,964	12,964	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
16	01	07		児童手当負担金	本年度	654,496			654,496	634,173	634,173	96.9		
				前年度	635,261		11,993	647,254	649,836	649,836	100.4			
				比較	19,235		11,993	7,242	15,663	15,663				
		08		介護保険事業費負担金	本年度	38,149		1,209	39,358	39,001	39,001	99.1		
				前年度	37,372		1,069	38,441	37,652	37,652	97.9			
				比較	777		140	917	1,349	1,349				
		02	01		衛生費県負担金		1,928			1,928	2,200	2,200	114.1	
					衛生費負担金	本年度	1,928			1,928	2,200	2,200	114.1	
					前年度	2,066			2,066	1,688	1,688	81.7		
				比較	138			138	512	512				
		x	x		教育費県負担金									
					社会教育費負担金	本年度								
					前年度	20,000		10,320	9,680	9,680	9,680	100.0		
				比較	20,000		10,320	9,680	9,680	9,680	9,680			
		02	01			県補助金	2,032,419	51,694	395,835	2,479,948	2,134,343	1,915,438	77.2	
	総務費県補助金					4,591			4,591	4,428	4,428	96.4		
	統計調査費補助金					本年度	46			46	42	42	91.3	
				前年度	44			44	56	56	127.3			
				比較	2			2	14	14				
	02					総務管理費補助金	本年度	4,545			4,545	4,386	4,386	96.5
						前年度	30,207		19,489	10,718	10,870	10,870	101.4	
						比較	25,662		19,489	6,173	6,484	6,484		
	02			01		民生費県補助金	1,531,573	26,338	460,678	2,018,589	1,765,594	1,614,574	80.0	
						社会福祉費補助金	本年度	40,248		690	39,558	38,363	38,363	97.0
						前年度	37,221		451	36,770	36,664	36,664	99.7	
					比較	3,027		239	2,788	1,699	1,699			
				02			老人福祉費補助金	本年度	157,592		2,350	155,242	153,697	2,677
前年度							5,291		36,195	41,486	41,029	41,029	98.9	
比較							152,301		38,545	113,756	112,668	38,352		
03					心身障害者福祉費補助金	本年度	2,275			2,275	2,647	2,647	116.4	
					前年度	2,210			2,210	2,060	2,060	93.2		
					比較	65			65	587	587			
04					医療福祉費補助金	本年度	678,263		60,170	738,433	710,116	710,116	96.2	
					前年度	609,989		58,535	668,524	626,180	626,180	93.7		
	比較				68,274		1,635	69,909	83,936	83,936				
05				児童福祉費補助金	本年度	651,695	26,338	403,848	1,081,881	855,710	855,710	79.1		
				前年度	590,087		178,618	768,705	645,087	645,087	83.9			
				比較	61,608	26,338	225,230	313,176	210,623	210,623				
06				防犯対策費補助金	本年度	1,500		300	1,200	1,200	1,200	100.0		
				前年度			1,500	1,500	1,500	1,500	100.0			
				比較	1,500		1,800	300	300	300				
07			生活保護費補助金	本年度					3,862	3,862				
			前年度											
			比較					3,862	3,862					
03	01			衛生費県補助金	41,170		53,688	94,858	32,368	32,368	34.1			
				保健衛生費補助金	本年度	41,170		53,688	94,858	32,368	32,368	34.1		
				前年度	37,606		1,900	35,706	33,951	33,951	95.1			
	比較	3,564		55,588	59,152	1,583	1,583							
04	01			農林水産業費県補助金	417,287	25,356	116,986	325,657	303,440	235,555	72.3			
				農業費補助金	本年度	416,417	25,356	116,986	324,787	302,589	235,504	72.5		
				前年度	309,870	785,440	75,181	1,020,129	223,654	198,298	19.4			
		比較	106,547	760,084	41,805	695,342	78,935	37,206						
	02			畜産業費補助金	本年度	70			70	51	51	72.9		
				前年度	486			486	306	306	63.0			
				比較	416			416	255	255				
	03			林業費補助金	本年度	800			800	800				
				前年度	22,400		9,232	13,168	11,998	11,998	91.1			
比較				21,600		9,232	12,368	11,198	11,998					
05	01			商工費県補助金	8,337			8,337	4,729	4,729	56.7			
				商工費補助金	本年度	8,337			8,337	4,729	4,729	56.7		
				前年度	71,879		181	72,060	62,560	62,560	86.8			
	比較	63,542		181	63,723	57,831	57,831							
06	01			土木費県補助金	15,098		1,118	13,980	14,072	14,072	100.7			
				都市計画費補助金	本年度	15,098		1,118	13,980	14,072	14,072	100.7		
				前年度	7,000		6,540	13,540	13,743	13,743	101.5			
	比較	8,098		7,658	440	329	329							

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
16	02	07		教育費県補助金	14,363		427	13,936	9,711	9,711	69.7
		01		小学校費補助金				127	235	235	185.0
				本年度	127			127	235	235	185.0
				前年度	526			526	347	347	66.0
				比較	399			399	112	112	
		02		中学校費補助金				6,443	3,304	3,304	51.3
				本年度	6,443			6,443	3,304	3,304	51.3
				前年度	8,944			8,944	1,228	1,228	13.7
				比較	2,501			2,501	2,076	2,076	
		03		社会教育費補助金				7,246	6,154	6,154	84.9
				本年度	7,793		547	7,246	6,154	6,154	84.9
				前年度	6,831		990	5,841	4,108	4,108	70.3
				比較	962		443	1,405	2,046	2,046	
		x		消費費県補助金							
		x		消費費補助金							
				本年度				491	528	528	107.5
				前年度	491			491	528	528	107.5
				比較	491			491	528	528	
		04		保健体育費補助金				120	18	18	15.0
				本年度			120	120	18	18	15.0
				前年度							
				比較			120	120	18	18	
03				委託金	617,469		17,710	599,759	706,797	586,246	97.7
	01			総務費委託金	608,373		17,710	590,663	697,830	577,279	97.7
		01		総務管理費委託金							
				本年度	11,415			11,415	13,436	13,436	117.7
				前年度	18,656			18,656	11,505	11,505	61.7
				比較	7,241			7,241	1,931	1,931	
		02		徴税费委託金				405,212	535,530	414,979	102.4
				本年度	405,212			405,212	535,530	414,979	102.4
				前年度	392,131			392,131	398,404	398,404	101.6
				比較	13,081			13,081	137,126	16,575	
		03		戸籍住民登録費委託金				209	213	213	101.9
				本年度	209			209	213	213	101.9
				前年度	215			215	210	210	97.7
				比較	6			6	3	3	
		04		選挙費委託金				169,843	144,363	144,363	85.0
				本年度	187,553		17,710	169,843	144,363	144,363	85.0
				前年度	182,362		47,030	135,332	130,304	130,304	96.3
				比較	5,191		29,320	34,511	14,059	14,059	
		05		統計調査費委託金				3,984	4,288	4,288	107.6
				本年度	3,984			3,984	4,288	4,288	107.6
				前年度	9,625			9,625	9,063	9,063	94.2
				比較	5,641			5,641	4,775	4,775	
		02		民生費委託金	8,945			8,945	8,816	8,816	98.6
		01		社会福祉費委託金							
				本年度	4			4	28	28	700.0
				前年度	4			4			
				比較					28	28	
		02		心身障害者福祉費委託金				8,940	8,787	8,787	98.3
				本年度	8,940			8,940	8,787	8,787	98.3
				前年度	8,460			8,460	8,800	8,800	104.0
				比較	480			480	13	13	
		03		児童福祉費委託金				1	2	2	200.0
				本年度	1			1	2	2	200.0
				前年度					1	1	
				比較					1	1	
		03		商工費委託金	120			120	121	121	100.8
		01		商工費委託金							
				本年度	120			120	121	121	100.8
				前年度	118			118	121	121	102.5
				比較	2			2			
		04		教育費委託金	31			31	31	31	100.0
		01		教育費委託金							
				本年度	31			31	31	31	100.0
				前年度	31			31	31	31	100.0
				比較							
17				財産収入	154,235		614	153,621	301,736	301,736	196.4
	01			財産運用収入	77,809		614	77,195	78,703	78,703	102.0
		01		財産貸付収入							
				本年度	76,314			76,314	77,866	77,866	102.0
				前年度	69,703			69,703	75,081	75,081	107.7
				比較	6,611			6,611	2,785	2,785	
		02		利子及び配当金				881	837	837	95.0
		01		利子及び配当金							
				本年度	1,495		614	881	837	837	95.0
				前年度	1,957		146	1,811	1,261	1,261	69.6
				比較	462		468	930	424	424	
		02		財産売払収入	76,426			76,426	223,034	223,034	291.8
		01		不動産売払収入							
				本年度	1,001			1,001	30,300	30,300	3027.0
				前年度	1,001			1,001	30,300	30,300	3027.0
				比較					15,426	15,426	1541.1
				比較					14,874	14,874	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
17	02	02		物品売払収入	75,425			75,425	192,734	192,734	255.5
		01		物品売払収入	75,425			75,425	192,734	192,734	255.5
				本年度	49,889			49,889	132,618	132,618	265.8
				前年度							
				比較	25,536			25,536	60,116	60,116	
18				寄附金	422,449		16,700	439,149	216,991	216,991	49.4
	01			寄附金	422,449		16,700	439,149	216,991	216,991	49.4
		01		一般寄附金	1		5,000	5,001	5,000	5,000	100.0
		01		一般寄附金	1		5,000	5,001	5,000	5,000	100.0
				本年度	1			1			
				前年度	1						
				比較			5,000	5,000	5,000	5,000	
		02		アイラブつくばまちづくり寄附金	412,448			412,448	178,284	178,284	43.2
		01		アイラブつくばまちづくり寄附金	412,448			412,448	178,284	178,284	43.2
				本年度	132,104		236,132	368,236	210,848	210,848	57.3
				前年度							
				比較	280,344		236,132	44,212	32,564	32,564	
		03		つくばこどもの青い羽根寄附金	10,000		4,200	14,200	14,862	14,862	104.7
		01		つくばこどもの青い羽根寄附金	10,000		4,200	14,200	14,862	14,862	104.7
				本年度	8,600		5,500	14,100	14,193	14,193	100.7
				前年度							
				比較	1,400		1,300	100	669	669	
		05		企業版ふるさと納税寄附金			7,500	7,500	18,846	18,846	251.3
		01		企業版ふるさと納税寄附金			7,500	7,500	18,846	18,846	251.3
				本年度			11,100	11,100	11,100	11,100	100.0
				前年度							
				比較			3,600	3,600	7,746	7,746	
19				繰入金	1,458,845		831,243	2,290,088	2,137,623	2,137,623	93.3
	01			基金繰入金	1,458,842		663,884	2,122,726	1,970,261	1,970,261	92.8
		01		基金繰入金	1,458,842		663,884	2,122,726	1,970,261	1,970,261	92.8
				本年度	1,458,842		663,884	2,122,726	1,970,261	1,970,261	92.8
				前年度	1,377,867	50,000	382,398	1,810,265	1,638,406	1,638,406	90.5
				比較	80,975	50,000	281,486	312,461	331,855	331,855	
		02		特別会計繰入金	3		167,359	167,362	167,362	167,362	100.0
		01		国民健康保険特別会計繰入金	1		12,767	12,768	12,768	12,768	100.0
		01		国民健康保険特別会計繰入金	1		12,767	12,768	12,768	12,768	100.0
				本年度	1		16,772	16,773	16,772	16,772	100.0
				前年度	1						
				比較			4,005	4,005	4,004	4,004	
		02		後期高齢者医療特別会計繰入金	1		7,605	7,606	7,606	7,606	100.0
		01		後期高齢者医療特別会計繰入金	1		7,605	7,606	7,606	7,606	100.0
				本年度	1		4,616	4,617	4,617	4,617	100.0
				前年度	1						
				比較			2,989	2,989	2,989	2,989	
		03		介護保険事業特別会計繰入金	1		146,987	146,988	146,988	146,988	100.0
		01		介護保険事業特別会計繰入金	1		146,987	146,988	146,988	146,988	100.0
				本年度	1		90,882	90,883	90,883	90,883	100.0
				前年度	1						
				比較			56,105	56,105	56,105	56,105	
20				繰越金	1,500,000	459,892	4,764,788	6,724,680	6,724,681	6,724,681	100.0
	01			繰越金	1,500,000	459,892	4,764,788	6,724,680	6,724,681	6,724,681	100.0
		01		繰越金	1,500,000	459,892	4,764,788	6,724,680	6,724,681	6,724,681	100.0
				本年度	1,500,000	459,892	4,764,788	6,724,680	6,724,681	6,724,681	100.0
				前年度	1,500,000	625,967	2,866,580	4,992,547	4,992,547	4,992,547	100.0
				比較		166,075	1,898,208	1,732,133	1,732,134	1,732,134	
21				諸収入	2,425,758		6,891,556	9,317,314	9,431,323	9,261,168	99.4
	01			延滞金、加算金及び過料	50,322			50,322	64,912	64,881	128.9
		01		延滞金	50,319			50,319	64,868	64,868	128.9
				本年度	50,319			50,319	64,868	64,868	128.9
				前年度	50,899			50,899	107,434	107,434	211.1
				比較	580			580	42,566	42,566	
		02		加算金及び過料	3			3	43	13	433.3
		01		加算金及び過料	3			3	43	13	433.3
				本年度	3			3			
				前年度	5			5			
				比較	2			2	43	13	
		02		市預金利子	114			114	155	155	136.0
		01		市預金利子	114			114	155	155	136.0
				本年度	114			114	155	155	136.0
				前年度	120			120	432	432	360.0
				比較	6			6	277	277	
		03		貸付金元利収入	71,476		6,848,922	6,920,398	6,946,604	6,919,442	100.0
		01		民生貸付金元利収入	4,476			4,476	30,682	3,520	78.6
				本年度	540			540	25,997	571	105.7
				前年度	540			540	26,507	510	94.4
				比較					510	61	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率				
21	03	01	02	災害援護資金貸付金元利収入	本年度	3,936		3,936	4,685	2,949	74.9				
				前年度	4,042		4,042	4,226	3,362	83.2					
				比較	106		106	459	413						
	02	01	01	商工費貸付金元利収入	本年度	67,000		67,000	67,000	67,000	67,000	100.0			
				前年度	67,000		67,000	67,000	67,000	100.0					
				比較	8,000		8,000	8,000	8,000						
	03	01	01	土木費貸付金元利収入	本年度			6,848,922	6,848,922	6,848,922	6,848,922	100.0			
				前年度			6,848,922	6,848,922	6,848,922	6,848,922	100.0				
				比較			6,848,922	6,848,922	6,848,922	6,848,922					
	04	01	01	受託事業収入	本年度	430,885			430,885	421,598	421,598	97.8			
				前年度	430,885			430,885	421,598	421,598	97.8				
				比較											
				01	01	01	後期高齢者医療制度健診実施受託事業収入	本年度	54,574			54,574	45,288	45,288	83.0
							前年度	48,556			48,556	41,310	41,310	85.1	
							比較	6,018			6,018	3,978	3,978		
02				01	01	県給食受託事業収入	本年度	19,284			19,284	19,284	19,284	100.0	
						前年度	23,015			23,015	22,839	22,839	99.2		
						比較	3,731			3,731	3,555	3,555			
×				01	01	学びの広場サポートプラン事業受託事業収入	本年度			2,311					
						前年度	2,311		2,311						
						比較	2,311		2,311						
03	01	01	流域貯留浸透施設整備受託事業収入	本年度	357,027			357,027	357,026	357,026	100.0				
			前年度	136,055	30,305	136,055	30,305	27,653	27,653	91.2					
			比較	220,972	30,305	136,055	326,722	329,373	329,373						
×	01	01	スマートIC用地事務受託事業収入	本年度					1,617	1,617					
			前年度												
			比較					1,617	1,617						
×	01	01	オリンピック・パラリンピック教育推進事業受託事業収入	本年度			450	450	385	385	85.6				
			前年度			450	450	385	385						
			比較			450	450	385	385						
×	01	01	働き方改革実践モデル校事業受託事業収入	本年度			770	770	466	466	60.5				
			前年度			770	770	466	466						
			比較			770	770	466	466						
×	01	01	国道354号谷田部バイパス用地事務受託事業収入	本年度					5,820	1,410					
			前年度												
			比較					5,820	1,410						
05	01	01	雑入	本年度	1,872,961		42,634	1,915,595	1,998,054	1,855,091	96.8				
			前年度	1,872,961		42,634	1,915,595	1,998,054	1,855,091	96.8					
			比較												
			01	01	01	総務費雑入	本年度	64,249			64,249	82,865	81,874	127.4	
						前年度	72,897			72,897	72,305	68,915	94.5		
						比較	8,648			8,648	10,560	12,959			
			02	01	01	民生費雑入	本年度	221,034		27,554	248,588	382,980	277,244	111.5	
						前年度	217,492		38,232	255,724	387,026	288,824	112.9		
						比較	3,542		10,678	7,136	4,046	11,580			
			03	01	01	衛生費雑入	本年度	202,737		3,640	206,377	149,195	148,869	72.1	
						前年度	212,233		8,997	221,230	221,605	220,782	99.8		
						比較	9,496		5,357	14,853	72,410	71,913			
			04	01	01	労働費雑入	本年度	131			131	246	246	187.8	
						前年度	131			131	104	104	79.4		
						比較					142	142			
05	01	01	農林水産業費雑入	本年度	12,151		3,158	15,309	13,104	13,104	85.6				
			前年度	15,231			15,231	12,167	12,167	79.9					
			比較	3,080		3,158	78	937	937						
06	01	01	商工費雑入	本年度	2,801			2,801	3,579	3,184	113.7				
			前年度	4,220		16,203	20,423	20,993	20,991	102.8					
			比較	1,419		16,203	17,622	17,414	17,807						
07	01	01	土木費雑入	本年度	26,356			26,356	31,474	31,082	117.9				
			前年度	4,715			4,715	8,215	8,215	174.2					
			比較	21,641			21,641	23,259	22,867						
08	01	01	消防費雑入	本年度	43,505		3,697	47,202	44,002	44,002	93.2				
			前年度	42,302		9,605	51,907	38,979	38,947	75.0					
			比較	1,203		5,908	4,705	5,023	5,055						
09	01	01	教育費雑入	本年度	63,924		4,585	68,509	65,708	65,706	95.9				
			前年度	97,381		1,280	96,101	90,195	90,143	93.8					
			比較	33,457		5,865	27,592	24,487	24,437						

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率				
21	05	01	10	学校給食費	本年度	1,236,073			1,236,073	1,224,900	1,189,779	96.3			
				前年度	1,213,465			1,213,465	1,023,882	997,175	82.2				
				比較	22,608			22,608	201,018	192,604					
22	01			市債		10,524,500	2,124,000	62,200	12,586,300	8,384,200	8,384,200	66.6			
				市債		10,524,500	2,124,000	62,200	12,586,300	8,384,200	8,384,200	66.6			
				01	01	総務債		300,500			300,500	191,100	191,100	63.6	
						総務債	本年度	300,500			300,500	191,100	191,100	63.6	
						前年度									
				比較	300,500			300,500	191,100	191,100					
				02	01	01	民生債		700,400	100,000	9,900	790,500	627,600	627,600	79.4
							社会福祉事業債	本年度	698,700	100,000	9,900	788,800	627,600	627,600	79.6
							前年度	281,400		77,000	358,400	235,200	235,200	65.6	
				比較	417,300	100,000	86,900	430,400	392,400	392,400					
				02	02	02	災害救助事業債	本年度	1,700			1,700			
							前年度	1,700			1,700				
							比較								
				03	01	01	衛生債		729,800	27,900		757,700	27,900	27,900	3.7
							×メモリアルホール事業債	本年度							
							前年度	11,200			11,200	9,900	9,900	88.4	
				比較	11,200			11,200	9,900	9,900					
				01	01	01	廃棄物処理事業債	本年度	729,800			729,800			
							前年度								
							比較	729,800			729,800				
				02	02	02	水道事業債	本年度		27,900		27,900	27,900	27,900	100.0
							前年度	454,100	33,700	28,000	459,800	427,100	427,100	92.9	
							比較	454,100	5,800	28,000	431,900	399,200	399,200		
				04	01	01	農林水産業債		85,800		7,200	93,000	22,800	22,800	24.5
							農林水産業債	本年度	85,800		7,200	93,000	22,800	22,800	24.5
							前年度								
				比較	85,800		7,200	93,000	22,800	22,800					
×	×	×	労働債	×働く婦人の家事業債	本年度										
					前年度	17,500			17,500	16,000	16,000	91.4			
					比較	17,500			17,500	16,000	16,000				
×	×	×	農林水産業債	×農林水産業債	本年度										
					前年度	21,700			21,700	11,200	11,200	51.6			
					比較	21,700			21,700	11,200	11,200				
05	×	01	01	商工債		67,800			67,800	59,600	59,600	87.9			
				×商工業振興債	本年度										
				前年度	151,700			151,700	110,600	110,600	72.9				
比較	151,700			151,700	110,600	110,600									
01	01	01	01	観光債	本年度	67,800			67,800	59,600	59,600	87.9			
				前年度	128,200	35,500		163,700	145,300	145,300	88.8				
				比較	60,400	35,500		95,900	85,700	85,700					
06	01	01	01	土木債		2,129,600	592,800	54,300	2,668,100	1,940,100	1,940,100	72.7			
				道路事業債	本年度	1,054,100	391,200	47,800	1,397,500	972,000	972,000	69.6			
				前年度	989,700	283,500	34,800	1,238,400	792,400	792,400	64.0				
				比較	64,400	107,700	13,000	159,100	179,600	179,600					
				都市計画事業債	本年度	904,400	201,600	15,700	1,090,300	824,200	824,200	75.6			
				前年度	516,100	479,900	48,400	947,600	657,300	657,300	69.4				
				比較	388,300	278,300	32,700	142,700	166,900	166,900					
				住宅事業債	本年度	144,700		9,200	153,900	119,300	119,300	77.5			
				前年度	200,400		28,600	171,800	171,500	171,500	99.8				
				比較	55,700		37,800	17,900	52,200	52,200					
				河川事業債	本年度	26,400			26,400	24,600	24,600	93.2			
				前年度	59,400	46,500	8,700	97,200	90,400	90,400	93.0				
				比較	33,000	46,500	8,700	70,800	65,800	65,800					
				消防債		238,000	18,000	16,400	239,600	190,300	190,300	79.4			
				01	01	01	消防債	本年度	238,000	18,000	16,400	239,600	190,300	190,300	79.4
				前年度	397,400		11,600	385,800	282,800	282,800	73.3				
比較	159,400	18,000	4,800	146,200	92,500	92,500									
08	01	01	01	教育債		6,272,600	1,385,300	11,200	7,669,100	5,324,800	5,324,800	69.4			
				学校建設事業債	本年度	5,230,000	1,385,300	51,100	6,666,400	4,911,600	4,911,600	73.7			
				前年度	2,270,900	654,600	921,008	3,846,508	2,136,907	2,136,907	55.6				
比較	2,959,100	730,700	869,908	2,819,892	2,774,693	2,774,693									

令和4年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
×	×	×	×	社会教育事業債	本年度							
					前年度	457,200		5,300	451,900	451,900	451,900	100.0
					比較	457,200		5,300	451,900	451,900	451,900	
				02 保健体育事業債	本年度	1,042,600		39,900	1,002,700	413,200	413,200	41.2
					前年度	178,100		9,200	168,900	168,900	168,900	100.0
					比較	864,500		30,700	833,800	244,300	244,300	

事業名：議員報酬等に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
01	01	01	01	本年	254,681		7,407		247,274		244,447	98.9	
				前年	256,926		792		256,134		254,413	99.3	
				比較	2,245		6,615		8,860		9,966	-	
【参考】前々年度				259,974		2,052		257,922		257,261	99.7		
節別支出済額(単位:千円)													
報酬				147,423	職員手当等		45,687	共済費		49,050	旅費		2,286
概要及び成果													
<p>1 議員報酬支払・厚生等事務 報酬及び期末手当の支払手続(報酬：毎月(21日)、期末手当：6月、12月)(令和4年4月から10月においては議員28名、11月から12月においては議員27名、令和5年1月から3月においては議員26名分) 議会招集時(定例会、臨時会、各委員会)の費用弁償の支払手続 議長等の秘書的業務 議員共済会への一時金・遺族年金請求 支出に関する事務、会派に関する事務及び議員履歴の整理等</p> <p>【成果】 毎月の議員報酬、期末手当6、12月分、本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会等の費用弁償の支払業務を行った。議長等の秘書的業務(178件)、遺族年金の請求・権利の消滅等事務(6件)、議員報酬及び費用弁償等の支払事務は適正に行われ、行事予定表による業務管理により、議長公務は滞りなく業務が遂行できた。</p>													

事業名：議会運営に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	56,050		535		56,585		44,811	79.2
				前年	56,355		11,630		44,725		40,179	89.8
				比較	305		12,165		11,860		4,632	-
【参考】前々年度					75,773		9,109		66,664		55,434	83.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	100	旅費	2,934	交際費	90	需用費	7,098
役務費	284	委託料	17,595	使用料及び賃借料	6,452	備品購入費	120
負担金補助及び交付金	10,138						

概要及び成果

1 本議会・委員会等運営管理事務

定例会、臨時会、各委員会の開催、運営を行う。
議案、請願等の審査及び議会全般の調査、執行部との調整を行う。
各委員会の研修等の計画、調整を行う。
タブレット端末の使用により、ペーパーレス化及び情報伝達の迅速化を図る。

【成果】

令和4年度は、定例会4回(会期117日、会議日数23日)、臨時会3回、常任委員会84回(うち理事会13回、分科会27回)、議会運営委員会43回、特別委員会10回、全員協議会3回、広報広聴委員会12回及び会派代表者会議8回を行った。一般質問及び議案質疑並びに委員会の事務調査を通じて、執行機関に対する監視及び議案等の審議を行い、より良い地域振興と市民福祉の向上が図れた。

2 議会会議録作成管理事務

3月、6月、9月、12月の定例会、臨時会、各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会等の会議経過を詳しく記録した会議録の作成
会議録の議会ホームページ等での公表
H21年4月から情報収集を瞬時に行うことができる会議録検索システムを本稼働させている。

【成果】

今年開催の会議のうち、定例会4回、臨時会3回、常任委員会90回(うち理事会15回、分科会30回)、議会運営委員会38回、特別委員会7回、全員協議会1回及び広報広聴委員会11回分の会議録を作成し、HPで公開した。また、会議録について、中央図書館での閲覧用配布、市政情報コーナーへの配置及びHP上での検索環境構築を通じて、会議公開の原則に基づく議会運営へ寄与することができた。

3 資料収集及び調査事務

議員からの依頼に基づき、市執行部に対し行政資料の要求を行う。
他市へ先進事例の資料を請求して情報収集する。
全国市議会議長会、茨城県市議会議長会、茨城県市町村課、他市及び関係研究機関等からの調査に回答し、その結果を収集することで、他市の状況を把握し、本市の参考とする。

【成果】

議員からの行政資料要求27件、茨城県及び県内市町村からの調査13件、県外市町村からの調査6件、その他研究所及び各種団体等からの調査5件について回答を行った。また、本市から県内外3市区に調査を依頼し、回答を得た。他市の情報を収集することで、議会運営の参考となり、議会活性化を図ることができた。また、各種照会を通じて他市町村等と情報をやり取りすることで、他自治体の状況が把握できた。

4 政務活動費事務

各会派に構成人数分(議員1人当たり月額3万円)の政務活動費を年2回に分け支給する。
支給された政務活動費が適正に使用されているかを収支報告書、実績報告書により確認をする。

【成果】

10会派に構成人数分の政務活動費を支給した。また、政務活動費が適正に使用されているか、収支報告書、実績報告書により確認した。先例事例の調査研究等により、議員個人の資質向上が図られ、ひいては市民の福祉向上につながった。

令和4年度 支出額8,523千円 / 予算額10,080千円

5 資産等報告書関連事務

政治倫理条例に基づく、議員の資産等報告書届出の受付及び市長への報告
資産等報告書の閲覧告示及び政治倫理審査会意見書の閲覧を告示

【成果】

議員28名から資産等報告書の提出を受け、書類の不備等を確認し政治倫理審査会にて審査を受けた。
審査終了後、資産等報告書及び政治倫理審査会意見書の閲覧を告示し閲覧に供した。つくば市議会議員の倫理性の向上と透明性の確保が図られた。

6 議会だより発行事業

年5回市議会だよりを発行し、ポスティングにより市内全世帯に配布する。（音訳・点訳含む）

【成果】

審議内容及び議決結果等をまとめた議会だよりを、市内全世帯及び各窓口センター等に配布し、議会活動の周知を図り、市政運営の透明性に寄与することができた。
ポスティング部数511,701部。印刷部数522,900部。

議会だより発行部数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ポスティング部数	部	511,701	504,402	496,100	490,430	389,523
印刷部数	部	522,900	515,000	506,400	501,500	396,000

7 議会インターネット中継事業

本会議の審議状況をインターネットにより生中継及び録画映像を配信する。
機器の設置、保守及び配信用ホームページの作成を行う。

【成果】

本会議を生中継することで、会議の様態を迅速に公表することができた。また、録画映像を配信することで、後日も議会を視聴することができた。年度内の4回の定例会（6月、9月、12月、3月）、3回の臨時会において実施した。生中継閲覧8,275件。録画配信閲覧20,210件。

インターネット配信アクセス数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
生中継アクセス数	件	8,275	9,772	9,399	7,615	6,903
録画配信アクセス数	件	20,210	22,491	20,978	23,571	18,105

事業名：文書管理に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	15,809		390		16,199		14,250	88.0
				前年	14,732				14,732		13,679	92.9
				比較	1,077		390		1,467		571	-
【参考】前々年度					17,168		714	256	17,626		16,287	92.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	90	旅費	11	需用費	2,871	役務費	1,221
委託料	10,030	備品購入費	27				

概要及び成果

1 歴史公文書評価選別

歴史公文書評価選別基準に基づく評価選別を実施し、特定歴史公文書として市長へ移管する。

【成果】

歴史公文書評価選別を実施し、歴史公文書について市長へ移管した。また、旧町村文書の評価選別計画を策定し、荃崎町文書の目録化と桜村文書、谷田部町文書の評価選別に着手することができた。評価選別に当たっては公文書管理推進会議へ意見聴取を行った。

2 文書事務の指導及び改善

文書事務が適切かつ効率的に遂行できるよう、職員に対して必要な指導及び助言を行う。また、文書管理に関する研修を幅広く実施する。

【成果】

研修動画を活用し、文書事務に関する職責別研修や職層別研修を実施し、文書管理に関する知識を周知した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新任職員研修	人	91	62	70	92	154
文書管理主任研修	人	40	53	60	71	208
文書取扱研修	人	156	173	212	260	180

文書管理主任研修：平成30年度は、公文書管理指針の運用を開始したため、対象者を「未受講者」から「文書管理主任全員」へ変更したことにより受講者増。令和元年度以降は従来通り未受講者のみ。

文書取扱研修は、職層ごと（主事級・主任級・主査級・係長級）に実施。

3 公文書等の管理

公文書等の整理、保管、保存、引継ぎ及び廃棄を行う。

【成果】

公文書等の整理、保管、保存について外部倉庫を活用しながら円滑に行った。引継ぎはデータ活用により作業を効率化できた。保存期間を満了した文書については適正に廃棄を実施した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
引継文書	箱数	1,915	1,939	2,319	1,963	1,400
廃棄文書	箱数	2,226	2,180	1,636	1,609	1,269

令和元年度の委託開始に伴い、出先機関の文書も外部倉庫への引継ぎ対象としたため、件数増加

令和5年3月31日現在の保存文書箱数 14,432箱

令和3年度以降の廃棄文書の箱数は、これまで外部倉庫から廃棄していた分に加え、庁舎から直接搬出して廃棄した分も追加したため、廃棄文書の箱数が増加

4 行政文書の管理状況の点検・監査

公文書等管理指針に基づき、行政文書の管理状況について、事前に各課等における点検及び任意に抽出した課等に対し監査及び指導を実施し、管理状況の改善を図る。

【成果】

点検結果の提出を求めた。令和3年度発生文書について監査を行い、概ね良好な結果であったが、一部については現地で指導を実施し、引継ぎ前に改善を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
監査の実施課等数	課	9	(12)	(11)	(12)	(12)

()は令和3年度まで実施していた文書ファイリング維持管理実地指導の実施課等数。

事業名：通信運搬に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	12	本年	14,957		4,620		19,577		16,647	85.0
				前年	13,721		702		14,423		13,070	90.6
				比較	1,236		3,918		5,154		3,577	-
【参考】前々年度					14,837		1,964	61	16,740		15,487	92.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	33	役務費	12,049	備品購入費	4,565
-----	----	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

1 文書等の收受

市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に收受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。

【成果】

郵送により市に到着した文書の收受及び各課への仕分け、書留等の收受及び配布等が適正に対応できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
書留	件	9,651	9,747	10,632	13,034	12,402
金券(定額小為替等)	件	11	12	52	145	199
受領文書	通	295,846	305,230	373,381	336,280	288,950

2 文書の集配

本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。

【成果】

各窓口センターを巡回し、集配業務の実施(毎日)

3 郵便料金(後納料金)の管理

予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。

【成果】

- (1) すぐ対応室で一括予算計上することにより、支出集計時間の短縮を図った。
- (2) 郵便区内特別の割引制度を利用し、経費削減に努めた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
すぐ対応室(通数)	通	34,030	25,889	46,616	28,342	26,879
すぐ対応室(割引額)	円	374,330	284,779	512,776	323,812	268,790
全体(通数)	通	114,705	83,482	105,161	68,289	74,926
全体(割引額)	円	1,261,753	918,302	1,156,771	780,886	749,260

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	13	本年	3,876				3,876		3,785	97.7
				前年	3,656				3,656		3,574	97.8
				比較	220				220		211	-
【参考】前々年度					4,631		1,003		3,628		3,450	95.1

節別支出済額(単位:千円)

旅費	10	需用費	265	役務費	412	委託料	1,597
使用料及び賃借料	1,363	備品購入費	11	負担金補助及び交付金	128		

概要及び成果

1 法令審査事務

条例、規則、告示、訓令等の制定改廃に係る審査並びに指導及び助言を行う。

【成果】

政策の実現に資するための条例、規則等を審査することができた。

法令審査の件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
条例	件	53	65	66	85	52
規則	件	144	120	115	140	80
告示	件	60	66	47	54	34
訓令	件	32	36	39	60	51
基準等	件	18	32	18	72	6
合計	件	307	319	285	411	223

* 告示については、要綱に限る。

2 訴訟等に係る事務処理

担当部署への助言や担当部署と弁護士との訴訟の協議等の調整に関する事務を行う。

市長及び各行政委員会等に対する審査請求に係る審査庁業務を行う。

【成果】

争訟事案について、政策法務監及び顧問弁護士と連携しながら、担当部署に法的な助言を行うことにより、市側の主張を的確に述べることに寄与することができた。

審査庁業務について、公平公正な立場から裁決することができた。

訴訟の係属件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
民事訴訟	件	2	2	1	1	1
行政訴訟	件	1	1	1	0	1
住民訴訟	件	3	2	0	0	0

審査請求件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
審査請求	件	7	8	5	1	-

3 つくば市例規集の編集

イントラネット版(庁内職員用)及びインターネット版(つくば市ホームページ用)の電子データを更新する。

【成果】

遅滞なく電子データを更新し、市民の利便性を高めることができた。

つくば市例規集の加除

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加除例規数	件	288	253	341	240	279

4 公告式の手続

公告式掲示場へ掲示することにより条例等の公布等を行う。

【成果】

施行に合わせ掲示し、市民に周知することができた。

つくば市公告式掲示場への掲示

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
掲示件数	件	1,065	1,099	1,020	1,255	1,658

令和4年度の内訳

- 条例 44件 ○訓令 15件
- 規則 113件 ○外部からの掲示依頼 99件
- 告示 794件

5 顧問弁護士への法律相談

担当部署からの相談を受け、法的な課題解決に向けて、顧問弁護士からの適切な助言を受ける。

【成果】

顧問弁護士へ適宜相談を行うことで、高度な判断を要する案件について適切な助言を受けることができた。

顧問弁護士への法律相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	件	18	19	13	10	20

事業名：総合賠償保険に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	14	本年	5,227				5,227		5,225	100.0
				前年	4,539				4,539		4,498	99.1
				比較	688				688		727	-
【参考】前々年度					4,477		6		4,471		4,415	98.7

節別支出済額(単位:千円)

役務費	5,225
-----	-------

概要及び成果

1 市民総合賠償補償に関する事業

・賠償責任保険

市が、自らの所有又は管理する施設の瑕疵や業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合にその損害をてん補する。

・補償保険

市主催行事等での事故で入院した場合、賠償責任の有無に関係なく見舞金をてん補する。

保険料は、市の人口によって決定(3月1日時点の住民基本台帳データ)

【成果】

保険に加入することで、市の施設の瑕疵による事故や、市主催行事等の参加者のけがに対し、賠償又は補償する制度を整えることができた。

支払実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
賠償責任保険 件数	件	6	2	0	2	6
賠償責任保険 金額	円	880,436	228,200	0	572,196	950,056
補償保険 件数	件	0	2	1	1	2
補償保険 金額	円	0	35,000	5,000	5,000	35,000
合計件数	件	6	4	1	3	8
合計金額	円	880,436	263,200	5,000	577,196	985,056

事業名：総務事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	01	15	本年	645		249	96	492		385	78.2		
				前年	514		2,496	90	3,100		2,937	94.7		
				比較	131		2,745	6	2,608		2,552	-		
【参考】前々年度					1,160		820	1,846	2,186		1,578	72.2		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					120	旅費		38	需用費		30	役務費		26
使用料及び賃借料					26	負担金補助及び交付金		44	償還金利息及び割引料		100			
概要及び成果														
<p>1 議会における執行部調整事業 つくば市議会定例会、臨時会及び全員協議会での日程調整 提出案件の取りまとめ 一般質問等の調整など市議会における執行部局の総合調整</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会について、議会事務局と連絡を密にし、また、事前に審査の流れ等を庁内に周知することにより円滑な審査が行えるようにした。関係部署と協力し、円滑に執行部の調整を行うことができた。 ・定例会4回開催、臨時会3回開催 														
<p>2 総務に関する事業 組織及び事務分掌の総合調整、部長・次長等連絡会議、行政不服審査会、総合教育会議、適正な事務執行の推進、事務執行の是正措置等に関すること等</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部へのヒアリングや情報分析を通し、限られた人員を効率的に配置し、市の施策の実行に適した組織改編を行うことができた。 ・不適正事案等の再発防止策及び内部指導監査の実施により、適正な事務執行を推進することができた。 ・行政不服審査会を5回開催（諮問案件の審議、答申書の作成等） ・総合教育会議2回開催（教育大綱についての議論） ・次長等連絡会議10回開催（部局間の協力要請、事業結果の報告、全庁的な政策課題の議論等） 														

事業名：情報公開等に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	16	本年	1,071		427		644		543	84.3
				前年	791		350		441		284	64.5
				比較	280		77		203		259	-
【参考】前々年度					1,311		503		808		596	73.8

節別支出済額(単位:千円)

報酬	272	旅費	77	需用費	22	委託料	132
負担金補助及び交付金	40						

概要及び成果

1 情報公開・個人情報保護事務

開示請求等受付

請求受付により担当課と協議、開示時の立会い

情報公開・個人情報保護制度等の研修、個人情報ファイル簿の登録及びホームページへの掲載

つくば市情報公開・個人情報保護審査会に関する事務

【成果】

情報公開を行うことにより、行政運営の透明性の向上に資することができた。

また、情報公開・個人情報保護制度等の研修の実施、個人情報ファイル簿の公開のほか、4つの事務について特定個人情報保護評価の第三者点検を実施した。

(1) 情報公開請求書の受付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
請求書受付件数	件	194	138	118	85	148

(2) 情報公開請求に対する処理内容及び件数 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開示	件	158	95	94	77	105
部分開示	件	95	83	39	31	60
不開示	件	23	20	48	32	94
合計	件	276	198	181	140	259

(3) 個人情報開示請求書の受付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
請求書受付件数	件	30	35	25	46	22

(4) 個人情報開示請求に対する処理内容及び件数 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開示	件	15	17	12	34	15
部分開示	件	9	15	5	4	5
不開示	件	9	2	12	15	4
合計	件	33	34	29	53	24

(5) 情報公開・個人情報保護審査会 2

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
審査会の開催回数	回	6	2	5	5	1

1 受付件数と処理件数が一致しないのは、1件の請求書に対し、複数の決定処理を行うことがあるため。

2 令和4年度開催案件 特定個人情報保護評価(PIA)の第三者点検 3回、個人情報保護法改正に伴う
条例改正 3回

事業名：すぐ対応室に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	17	本年	10,017		3,327		6,690		6,563	98.1
				前年	6,267				6,267		5,311	84.8
				比較	3,750		3,327		423		1,252	-
【参考】前々年度					6,305		57	1,217	7,465		7,465	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				32	委託料		6,450	備品購入費		81		
概要及び成果												
<p>1 ハチ駆除業務委託事業 市民からのハチの営巣の駆除依頼に対し、ハチ駆除業者に委託し駆除を行う。</p> <p>【成果】 依頼を受けたスズメバチ及びアシナガバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止等）を確保し生活環境の向上に寄与した。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
ハチ営巣駆除件数					件	881	550	835	499	438		

事業名：政治倫理審査会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	18	本年	280				280		120	42.9
				前年	350				350		130	37.1
				比較	70				70		10	-
【参考】前々年度					280				280		140	50.0
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				96	旅費		24					
概要及び成果												
<p>1 政治倫理審査会の運営事務 条例に基づく資産等報告書の審査、市民からの調査請求に係る調査等を行う政治倫理審査会の運営事務を行う。</p> <p>【成果】 政治倫理審査会を運営することにより、公正で開かれた市政の発展に寄与することができた。</p> <p>(1) 会議の開催：政治倫理審査会（委員7名）を2回開催 (2) 資産等報告書の審査件数：議会議員28件 市長1件 副市長2件 教育長1件 計32件 (3) 市長等の資産等報告書の閲覧件数：0件</p>												

事業名：教育特区に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	19	本年	210		140		70	0	3	4.9
				前年	210		140		70		4	5.6
				比較	0		0		0		1	-
【参考】前々年度					241		151		90		4	4.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					3							
概要及び成果												
<p>1 教育特区認可学校に関する事務（旧：私学振興に関する事務） 令和元年度末で閉校した松実高等学校（構造改革特別区域法により規制の特例措置の適用を受けた学校設置会社による私立学校）に関する証明書（卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書等）の発行を行う。</p> <p>【成果】 証明書発行マニュアルにのっとり、適切に各種証明書を発行することができた。 証明書10件発行（証明書発行事務は令和2年度から市が行っている。）</p>												

事業名：職員研修に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	10,835			115	10,720		8,055	75.1
				前年	26,038		2,776		23,262		22,061	94.8
				比較	15,203		2,776	115	12,542		14,006	-
【参考】前々年度					26,696		5,275	3,586	17,835		14,123	79.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	362	旅費	157	需用費	818	役務費	2,803
委託料	2,621	負担金補助及び交付金	1,294				

概要及び成果

1 職員研修事業

多様化する行政課題に対して、自ら考え、創意工夫しながら主体的に行動する職員を育成するため、必要な知識や技能を習得させるとともに、各自の能力開発のための自己啓発を支援する。

【成果】

職層や研修内容に即した効果的な研修機会を確保し、業務遂行上必要な知識・技能の習得を促した。特に新規採用職員については、対面型の研修やグループワークを実施することで、職員同士がコミュニケーションをとる機会を創出した。

(1)基本研修(職層ごとに共通した知識及び技能の習得)9課程 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了人数	人	377	374	409	497	631
修了率	%	96.2	98.7	100	91.0	98.6

(2)特別研修(特定の課題を解決するために必要な知識及び技能の習得)8課程 2

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了人数	人	1,293	649	264	1,376	2,428
修了率	%	94.1	99.2	98.9	94.7	93.8

(3)専門研修(専門的な知識及び技能の習得)4課程 2

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了人数	人	546	542	58	1,110	1,349
修了率	%	98.9	93.8	100	93.4	94.1

(4)派遣研修(国等への長期派遣、外部セミナー等短期派遣等)7課程 3

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了人数	人	80	74	25	52	69
修了率	%	100	96.1	100	100	100

(5)自己啓発支援(通信教育受講支援、資格取得支援)4

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了人数	人	8	15	9	14	16
修了率	%	100	100	100	100	100

- 人事評価の評価項目で比重の高い項目の能力と意識を向上させるための科目を学ぶことで、各職層に求められる能力の育成を図るもの。
- 令和2年度については、感染症の影響による研修方法の見直し等に伴い、修了人数が過年度水準と比較し減少。
- 国等派遣先は、文部科学省、一般財団法人地方自治研究機構等。外部セミナー派遣先は茨城県自治研修所等。
- 令和4年度の支援実績は、資格取得支援7件、自主研究グループ活動支援1団体。

事業名：給与事務・福利厚生に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	12	本年	49,955				49,955		49,357	98.8
				前年	48,743			919	49,662		48,823	98.3
				比較	1,212			919	293		534	-
【参考】前々年度					48,897		1,681	690	47,906		47,437	99.0

節別支出済額(単位:千円)

災害補償費	10	需用費	714	委託料	46,168	負担金補助及び交付金	2,464
-------	----	-----	-----	-----	--------	------------	-------

概要及び成果

1 職員の給与・福利厚生事務

例月給与、期末・勤勉手当、児童手当及び給与の引き上げに伴う差額の支給、社会保険料等の各種控除事務、年末調整、マイナンバーの収集・保管・管理及び福利厚生に関する事務の外部委託を導入。平成30年10月に委託契約を締結し、平成31年1月から本稼働。

【成果】

給与、厚生 of 各事務について、委託業者との連携のもと、事業計画のとおり遅滞なく実施できた。

社会保険・雇用保険の資格取得及び喪失の処理件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
処理件数	件	808	862	1,096	934	1,083

・社会保険は常時勤務の4分の3以上(週29時間以上)、雇用保険は週20時間以上勤務する会計年度任用職員が対象。

事業名：人事管理に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	13	本年	12,316	110			12,426		11,448	92.1
				前年	12,427		1,430	919	12,938	110	10,868	84.9
				比較	111	110	1,430	919	512	110	580	-
【参考】前々年度				12,670		1,557	151	11,264		10,296	91.4	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	9	需用費	300	役務費	41	委託料	10,576
使用料及び賃借料	29	負担金補助及び交付金	493				

概要及び成果

1 職員採用試験事業

事務職のみならず、専門職等の即戦力となる人材及び次世代のつくば市を担う人材を採用する。優秀な人材を採用するため、選考を段階に分けて実施する。

- 例) (1) 1次試験 基礎能力試験等
(2) 2次試験 集団面接等
(3) 最終試験 個別面談

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策として、web試験等を導入し、受験機会損失回避、受験者層新規開拓を行うことができた。また、他の競合自治体の試験日に日程を合わせることにより、選考中及び選考後の辞退を減らすことができた。4月及び10月の定期的な採用の他に、育児休業代替任期付職員採用、障害者採用(3回)、任期付職員(ファンドレイジング推進監、放課後児童支援員)、経験者消防士、追加採用(4月)等の採用・選考を行った。

職員の採用試験

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
4月1日採用試験 採用者	人	65	70	55	60	84
4月1日採用試験 応募者	人	629	663	1,677	1,300	1,097
10月1日採用試験 採用者	人	27	19	20	8	53
10月1日採用試験 応募者	人	297	256	371	156	830
その他の採用試験・選考等 採用者	人	36	41	9	13	5
その他の採用試験・選考等 応募者	人	267	167	128	26	50

「その他の採用試験・選考等」は、任期付職員や障害者採用等の、定例ではないものである

2 人事制度に関する事務

国家公務員における人事制度の取組及び地方公務員法の趣旨に基づき、人事に関する諸制度の検討・運用を行い、適切な人事管理を行う。

【成果】

人事異動については、定期異動以外に、新型コロナウイルス感染症及びスマートシティの実現に向けた取り組み等への対応として、非課税世帯等給付金室、スマートシティ戦略課への人員配置を行った。人事交流については、国、県、外郭団体等へ13人の派遣を行い、国、県教育委員会、外郭団体等から、17人の研修員等の受入れを行った。人事評価については、前年度と比較し、課長補佐以下の職員で上位以上の層が約0.7%上昇した。職員の休暇制度については、家族のための看護休暇(特別休暇)として取得できる日数を拡大する改正を行った。会計年度任用職員制度については、休暇の適切な付与、育児のための休暇(特別休暇)の対象期間の拡大などを行った。

職員数(4月1日時点)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
職員数(フルタイム)	人	1,987	1,937	1,936	1,926	1,861

人事評価結果

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
課長級以上 特に優秀	%	4.4	2.8	8.8	12.9	4.7
課長級以上 優秀	%	37.1	31.9	27.7	22.1	17.4
課長級以上 普通	%	58.5	65.3	62.8	65.0	77.2
課長級以上 劣る	%	-	-	0.7	-	0.7
課長級以上 特に劣る	%	-	-	-	-	-
課長補佐以下 特に優秀	%	0.3	0.5	0.6	0.3	0.2
課長補佐以下 優秀	%	21.2	20.3	19.0	16.0	14.7
課長補佐以下 普通	%	77.7	77.9	79.1	81.1	81.4
課長補佐以下 劣る	%	0.8	1.2	1.2	2.6	3.3
課長補佐以下 特に劣る	%	-	0.1	0.1	-	0.4

事業名：ワークライフバランス推進に要する経費 総務部 ワークライフバランス推進課/政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	14	本年	28,525				28,525		22,758	79.8
				前年	27,461		826	2,871	31,158		26,653	85.5
				比較	1,064		826	2,871	2,633		3,895	-
【参考】前々年度				27,136		5,844		32,980		26,717	81.0	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,200	報償費	308	旅費	139	需用費	183
委託料	11,083	使用料及び賃借料	7,818	負担金補助及び交付金	28		

概要及び成果

1 職員の労働安全衛生事務

職員の健康管理と心の健康作りを保持推進する。

【成果】

- ・労働安全衛生法に定められた定期健康診断を実施した。(令和4年12月、令和5年1月)
健康診断の結果、所見がある職員については、産業医や保健師による定期的な体調管理を行った。
- ・ストレスチェックは、受検者が自らのストレス状況について気づく機会を与え、メンタルヘルス不調の一次予防につなげた。また、高ストレス者のうち面談希望者には、産業医面談を実施し、高ストレス者に対するフォローを行った。

健康診断の受診状況(正職員) 消防本部を除く

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診率	%	96.9	98.3	98.2	96.9	98.5
未受診者数	人	52	27	30	40	29

健康診断の受診状況(非正職員) 常時勤務の4分の3以上勤務する会計年度任用職員(消防本部を除く)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診人数	人	719	656	594	532	523

ストレスチェックの実施

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	2,734	2,663	2,602	2,582	2,528
受検者数	人	2,494	2,326	2,443	2,366	2,437
受検率	%	91.2	87.3	93.9	92.0	96.4
高ストレス者率	%	9.7	12.3	12.2	11.0	9.6

上記の人数は、正職員と会計年度任用職員の合計

2 働き方改革推進事業

働きやすい職場環境等の整備や働き方の見直しに重点をおき、職員の意識改革、時間外勤務の縮減、業務改善活動等に取り組む。

【成果】

- ・テレワークを実施するにあたり、閉域SIMを用いた端末50台と自治体テレワークシステムアカウント205アカウントを運用
- ・ワークライフバランス推進強化月間の設定(令和4年10月~11月)
- ・職場復帰面談シートを活用し、育児休業から復帰する職員と所属長の面談を実施するよう周知
- ・産前休暇、子の看護休暇等の制度改正、介護のための制度や利用例について周知
- ・年度中に子どもが生まれる男性職員とその所属長に対し、個別説明を随時実施し、育児休業取得を推奨
- ・職員向け「ワークライフバランスハンドブック」の発行・周知

時間外勤務実施状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総時間数	時間	151,103	144,937	141,525	154,778	152,575

年次休暇の取得状況 消防本部を除く

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
平均取得日数	日	14.2	14.6	13.6	13.8	13.6

ノ－残業デー達成状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
達成率	%	90.1	89.2	90.0	92.2	93.6

男性職員の育児休業取得状況（2週間以上の育休取得者）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	41	48	47	31	38
取得者数	人	34	43	35	13	11
取得率	%	82.9	89.6	74.5	41.9	28.9

出産補助休暇取得状況（男性職員のみ対象。2日間の特別休暇）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	41	48	47	31	38
取得者数	人	31	36	44	26	33
取得率	%	75.6	75.0	93.6	83.9	86.8

育児のための休暇取得状況（男性職員のみ対象。5日間の特別休暇）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	41	48	47	31	38
取得者数	人	26	36	36	18	22
取得率	%	63.4	75.0	76.6	58.1	57.9

育児のための休暇は、平成30年4月に新設

3 業務改善推進事業（情報政策課）

ICTを活用して各部署の業務改善を行うことで、職員のワークライフバランスを実現するとともに、政策立案や市民対応のための時間を生み出し、よりよい行政サービスを市民へ提供する。

【成果】

RPA / AI - OCR導入部署は39部署、RPA講習は17部署39名に対して実施し、AI議事録の実施件数は350件超、DBソフト支援部署6部署、その他各課の業務効率化に対する助言等を行った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	02	15	本年	7,685			15	7,700		7,693	99.9	
				前年									
				比較	7,685			15	7,700		7,693	-	
【参考】前々年度													

節別支出済額(単位:千円)

報償費	12	旅費	41	需用費	31	役務費	33
委託料	4,500	使用料及び賃借料	29	負担金補助及び交付金	3,048		

概要及び成果

1 組織開発事業

自ら考え行動できる主体的な職員を育成し、コミュニケーションを取りながら心理的安全性の高いチームでゴールを達成する組織を目指す。

(1) コーチング研修の実施

コーチングの手法を活用して、心理的安全性の高い組織を目指すため、令和4年度も3チーム18名の職員に対して、コーチングの手法を習得することができる研修を実施した。そのうち、メインで受講した3名の職員は、新たに認定コーチ資格を取得した。

(2) 庁内コーチングの実施(個別コーチング)

職員の働きがいや働きやすさを向上させるとともに、職場内のコミュニケーションを活発化するため、認定コーチ資格を取得した職員が、コーチングの手法を用いて職員と対話を行った。

(3) 各部署における組織開発意見交換会の実施(集団コーチング)

各部署の心理的安全性の現状を把握し、さらに高めていくとともに、各部署が目指す方向性について、職員が互いに認識を合わせることで、更なる行動に繋げ、最大限にポテンシャルを発揮していくことを目的に、部署ごとの組織開発意見交換会を実施した。

【成果】

令和3年度にコーチング研修を受講した職員が、令和4年度に認定コーチ資格を保有する庁内コーチとして個別及び集団コーチングを実施した。これらの取組により、組織のゴールの達成促進や所属内のコミュニケーションの活発化、各組織の使命を達成するための心理的安全性を高める行動指針を新たに策定するなど、組織開発の成果が上がっている。

(1) コーチング研修に関わった職員数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
職員数	人	61	74	-	-	-

(2) 庁内コーチングを実施した回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	108	-	-	-	-

(3) 組織開発意見交換会を実施した部署数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施部署数	部署	27	6	-	-	-
実施回数	回	142	34	-	-	-
参加職員数	人	312	70	-	-	-

事業名：秘書業務に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	9,731			320	10,051		8,443	84.0
				前年	8,723				8,723		5,870	67.3
				比較	1,008			320	1,328		2,573	-
【参考】前々年度					9,277		709		8,568		5,790	67.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	320	報償費	200	旅費	1,224	交際費	440
需用費	785	役務費	1,126	使用料及び賃借料	170	備品購入費	231
負担金補助及び交付金	3,946						

概要及び成果

1 秘書業務

特別職が出席する会議や催事等日程について調整及び事前確認を行い、必要に応じて随行する。
全日程関連資料を特別職へ事前に共有する。

【成果】

スピードを重視する案件は、担当部署より至急案件に関する報告書を提出してもらうことで優先度の明確化を図るとともに、関連資料を特別職へ事前に共有することで、短時間での円滑な議論が行われるなど、効率的なスケジュール管理を行うことができた。

2 市長車等特別職運転・管理業務

市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。

【成果】

特別職の公務スケジュールどおりに、安全かつ迅速に移動することができた。

3 渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）

・後援名義については、申請に対し審査の上、市以外が主催する事業において「つくば市」の名義使用を承認する。

・つくば市長賞については、申請に対し審査の上、賞状を交付する。

・叙勲（叙位）については、地方自治に功労のあった公選職を対象に候補者を把握し、内申対象者が発生した場合は経歴・功績等を調査し、国・県に報告する。

・社会の発展に著しい功績があり、市民の誇りとして等しく尊敬される者に対し、つくば市名誉市民の称号を贈り顕彰する。また、市民の生活と文化の向上に特に功績があったもの及び特に市民の模範となる行為があったものの事績をたたえ、功労表彰または善行表彰として表彰する。

【成果】

感染対策をしながら経済活動が徐々にコロナ以前に戻りつつある中で、イベント開催も少しずつ増えてきたことにより、後援名義の申請件数も昨年度より増加した。今年度も、「つくば市後援名義使用承認ガイドライン」に基づき、後援名義承認事業開催の際は感染対策の徹底を求めることができた。つくば市民の日に式典を開催し、つくば市名誉市民の顕彰（2名）及び市政功労者の表彰（124名）を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
死亡叙勲	件	0	1	0	1	0
高齢者叙勲	件	0	1	0	0	0
春の叙勲	件	0	1	0	0	1
秋の叙勲	件	0	0	0	0	1
叙位	件	1	0	1	0	3
つくば市長賞承認	件	5	5	2	6	9
後援名義承認	件	143	108	66	221	215

事業名：広報デザイン事業に要する経費

市長公室 広報戦略課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	66,947		4,783	774	61,390		53,072	86.4
				前年	63,155		10,616	298	52,241		43,522	83.3
				比較	3,792		5,833	476	9,149		9,550	-
【参考】前々年度					64,050		10,209	520	54,361		49,205	90.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	24,892	役員費	66	委託料	26,245	使用料及び賃借料	1,182
備品購入費	620	負担金補助及び交付金	68				

概要及び成果

1 市民目線の広報推進事業

広報紙(かわら版含む)、市勢ガイド(マイシティつくば)等の編集・発行など

【成果】

広報紙満足度の向上を図るため、広報つくばでは、感染予防ガイド(保存版)やスーパーシティなどの特集記事や、身近なイベント情報など幅広い情報を掲載した。また、新たに「つくばSDGsアワード」を実施し、市民等のSDGsの取組事例を紹介することで、SDGsの取り組みの輪を広げるとともに、市民参加型の紙面とすることで親しんでもらえる広報紙づくりに努めた。

市政情報かわら版では、一つのテーマについてこれまでの経緯や今後の取り組みなどを深く掘り下げつつ、分かりやすい表現で情報発信を行った。

(1)「広報つくば」の発行

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
月毎発行部数	部	約109,200	約107,700	約105,500	約103,900	約103,600
月毎配布部数	部	約105,700	約104,600	約103,400	約102,600	約102,600

(2)「市政情報かわら版」の発行

第9号(R4.5.16発行)から第20号(R5.4.17発行)まで、毎月発行した。第9号ではスーパーサイエンスシティ、第10号では旧筑波東中の活用、第14号では高エネ研南側未利用地をテーマとするなど、旬な話題を取り上げた。

2 職員向けの広報力スキルアップ等事業

職員向け広報力向上セミナー等の実施、チラシデザイン等のチェック作業の実施など

【成果】

・職員向けの広報力向上セミナーを実施し、職員一人一人の業務形態に合わせて受講できるよう動画配信も行うなど、受講しやすい環境を整えた。また、年間を通じて各課が作成したチラシについて、デザイン性や訴求力向上に必要な要点等を助言した。

【内容】
 もっと伝える！伝わる！プレスリリース 講師：酒井参事
 もっと伝える！伝わる！文章の書き方 講師：吉成広報企画員
 新・公式ホームページの活用・運用方法 講師：酒井参事

【受講者】
 動画視聴 62名
 動画視聴 100名
 会場参加 22名、オンライン参加22名、動画視聴53名 合計 259名

・年間373件のチラシデザインチェックを実施し、ブランドイメージの統一を図った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	12	本年	36,387			486	36,873		33,459	90.7
				前年	14,358			298	14,656		13,773	94.0
				比較	22,029			188	22,217		19,686	-
【参考】前々年度					18,483		108	20	18,355		11,394	62.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	30	需用費	682	役務費	379	委託料	25,761
使用料及び賃借料	787	備品購入費	20	負担金補助及び交付金	5,800		

概要及び成果

1 市民目線の広報推進事業

市公式HPのリニューアル及び運用、ケーブルTV等の活用、定例記者会見やプレスリリースの実施など

【成果】

市公式HPをリニューアルし、スマホ表示の閲覧性改善や各種SNSとの連携機能の拡充、アクセシビリティへの適切な対応について改善を図った。新型コロナウイルス感染症に係る市独自の取組やワクチン接種情報など、市民生活に必要な情報をホームページ等の様々な媒体で広く市民に発信した。

(1) 管理運営業務及びHPのリニューアル

HP管理者としてアクセシビリティ等の承認作業を毎日実施した。また、トップページのカラーセルは最新の新型コロナウイルス感染症の関連情報等を周知するため、随時更新を行った。令和5年3月にはHPのリニューアルを行い、各課所管ページの整理を実施した。

(2) 記者会との連絡調整

定例記者会見（毎月1回）、臨時記者会見（年1回）、市政情報のプレスリリース（年248回）による情報提供を実施した。

2 シティプロモーション・関係人口創出拡大事業

市の魅力的な取組や地域で行っているイベント等についてのPR

【成果】

つくばの魅力を公式YouTube動画「つくば市かわら版チャンネル」やSNSを使って発信した結果、チャンネル登録者数が1,780人（昨年比+630人）に増加するなど、幅広い年齢層の市民に向けて情報発信することができた。

(1) SNSを活用した情報発信

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
フェイスブック投稿数	件	543	685	617	591	587
フェイスブックいいね数	件	11,296	11,218	10,095	9,608	8,911
ツイッター投稿数	件	839	650	533	935	1,197
インスタグラムフォロワー数	人	5,130	4,816	4,059	2,667	1,642

フェイスブックいいね数は、ページへのいいね機能の集計方法が変更されたため、令和3年度からはフォロワー数を採用。

令和4年度つくば市かわら版チャンネルを5回公開（スーパーサイエンスシティ構想、周辺市街地など）

(2) プロモーションサイト「TSUKUBA TOMORROW LABO」等による情報発信

サイトを活用し、市の先進的な取組として筑波大学との連携事業である「医療ビッグデータで健康を見る化するプロジェクト」について紹介した。

(3) 市への愛着心の醸成を図る企画

「つくジェニックMAP（市内インスタ映えスポットの紹介）」を筑波大学・同大学学園祭実行委員会と制作。印刷発行部数 12,400部

3 移住・定住促進事業

移住相談の実施、移住支援金の交付、クラフトライフの周知など

【成果】

市が提案する新しいライフスタイル「クラフトライフ」の魅力について、市ホームページに特設サイト「つくばクラフトライフ」を開設したほか、広報つくばへの掲載や冊子「つくばスタイルCRAFT」の配布により広く発信した。また、対面・リモート・電話など様々な方法による移住相談の実施や移住支援金交付などにより、移住促進を図った。

(1) わくわく茨城生活実現事業（移住支援金 補助率…国1/2、県1/4、市1/4）

移住に伴う経済負担の軽減と、県内中小企業への就業を促進するため、引き続き移住支援金を交付した。
交付件数：7件（単身3件、世帯4件） 5,800千円

事業名： 広聴事業に要する経費

市長公室 広聴室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	13	本年	307				307		250	81.4
				前年	311				311		209	67.2
				比較	4				4		41	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

需用費	200	役務費	11	委託料	39
-----	-----	-----	----	-----	----

概要及び成果

1 市長と住民の意見交換会事業

市長と市民との直接的なコミュニケーションの場としてタウンミーティングを開催
市長が市内6地区に向く地区別タウンミーティングのほか、市内全域を対象としたもの等も開催
大学生に市政への理解・関心を深めてもらい、学生ならではの意見を聴くため、学生懇談会を開催（筑波大学との協働事業）

【成果】

昨年に引き続きタウンミーティングをオンライン形式で開催するとともに、新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで3年ぶりに対面形式で開催し、オンライン形式に参加しにくい層とも意見交換することができた。オンラインで開催した中高生対象の会及び学生懇談会については、オンラインに慣れている参加者のためスムーズに意見交換できた。いずれの会においても、市長と参加者の直接的なコミュニケーションを通じ、参加者が市政をより身近なものとして認識する効果が得られた。

懇談会事業の開催回数・合計参加者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
タウンミーティング	回	8	3	-	9	8
タウンミーティング	人	167	39	-	302	301
学生懇談会	回	1	1	1	1	1
学生懇談会	人	19	15	27	33	30

2 市長へのたより・メール等広聴事業

市庁舎や地域交流センター等に設置している「市長へのたより」の専用はがきや、市ホームページに設置している「市長へのメール」送信フォーム、Eメール、はがき、封書、要望書、電話、面会による意見等の聴取

聴き取った意見、提案等を「市民の声支援システム」に登録し、特別職、関係部署、政策員等と情報共有の上、必要に応じて市から相談者に対する回答の調整等

【成果】

市民の声を関係部署と迅速に共有・調整を行い、速やかな対応・回答に努めた。苦情等は市民の主張を丁寧に聴取し、関係部署と市民の仲立ちとしてコミュニケーションの円滑化に寄与した。できる限り市民の理解・納得を得られるよう、市民に寄り添う分かりやすい回答を作成した。

意見・要望等への対応状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般要望	件	51	51	67	49	52
市長へのたより(専用はがき等)	件	105	81	176	169	230
Eメール(市長へのメール等)	件	703	785	1,017	534	520
相談カード・その他	件	364	359	302	341	313
合計	件	1,223	1,276	1,562	1,093	1,115

事業名：総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営に要する経費

市長公室 広報戦略課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	14	本年	22,525			288	22,813	0	22,514	98.7
				前年	22,454				22,454		21,843	97.3
				比較	71			288	359	0	671	-
【参考】前々年度					22,764			500	22,264		21,652	97.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	160	需用費	1,616	役務費	202	委託料	10,453
使用料及び賃借料	10,083						

概要及び成果

- 1 つくば総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営事業
チラシやパンフレット、書籍等の配架、PR動画の放映、打合せや待合せ、休憩等で気軽に利用できる場の提供、大学や研究機関と連携したセミナーやイベントの開催など

【成果】

前年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による利用制限がある中でも、大学や研究機関等と連携して催事や展示を行った。令和3年11月に設置した「ストリートピアノ」の演奏者数は令和4年度末に3,000人を達成し、つくばセンタービル周辺の賑わい創出に寄与したほか、前年度に引き続き、JAXAの協力を得て日本人宇宙飛行士の活躍について動画配信やポスター展示などを実施し、機運醸成を図ることができた。

なお、交流サロンは令和5年3月31日に閉館した。

(1) 市の主催事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
親子で科学実験工作延べ参加人数	人	124	108(内オンライン6)	79(内オンライン19)	162	200
親子でペーパークラフト講座延べ参加人数	人	231	180(内オンライン5)	134(内オンライン35)	164	204

(2) 催事開催状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
催事実施回数	回	129	40	30	161	201
参加人数	人	2,116	645	485	11,374	12,272

(3) 来館者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
計	人	20,657	15,007	10,937	40,265	41,478

事業名：財政事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	11	本年	954				954		541	56.8
				前年	955				955		573	60.0
				比較	1				1		32	-
【参考】前々年度					1,252		17		1,235		699	56.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	526	備品購入費	16
-----	-----	-------	----

概要及び成果

1 予算編成事務

各会計（一般会計外5会計）の当初予算及び補正予算の編成を行う。

【成果】

補正予算編成については、緊急性及び法令の改正等を配慮し、効果的な予算を編成することができた。また、新型コロナウイルス感染症への対応を含めて、一般会計で8回の補正予算を編成した。

令和4年度当初予算編成では、国県補助金や市債に加え、必要に応じて基金を活用し、学校の新設事業や公共施設の整備事業等を予算化するとともに、予算の要求状況や編成結果を市民に周知することができた。

なお、当初予算書の印刷を外注せず、自課で印刷することで経費を縮減した。

補正予算実施回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般会計	回	8	13	16	7	7
国民健康保険特別会計	回	3	3	4	3	3
後期高齢者医療特別会計	回	2	2	3	3	3
作岡財産区特別会計	回	-	-	-	-	-
つくば市等公平委員会特別会計	回	-	1	1	1	1
介護保険事業特別会計	回	3	2	5	4	3

2 決算事務

地方自治法第233条第5項に定める「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」を調製し、決算書と併せて、監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

地方財政状況調査、健全化判断比率等の算定及び統一的な基準による財務書類の作成を行い、公表する。

【成果】

決算及び健全化判断比率を議会に提出するとともに、市ホームページで公表することで、市民に決算等の情報を周知することができた。

3 財政状況の公表事務

地方自治法第243条の3及び「つくば市財政事情書の作成及び公表に関する条例」に基づき、告示及び市ホームページへの掲載（年2回：5月末・11月末）を行う。

当初予算の概要及び決算の概要、当初予算書、補正予算書について、市ホームページ等へ掲載を行う。

【成果】

財政状況を市ホームページ等で公表することにより、市民への的確な情報提供ができた。

4 理財事務

市債充当事業の契約額や国県支出金等から起債計画書を作成し、市債の借入を行うとともに、既発行市債の償還管理を行う。

普通交付税、特別交付税の算定基礎数値等を調査し、茨城県に報告する。

基金の状況等を取りまとめ、総括管理を行う。

【成果】

学校新設等により起債件数の多い状況が継続しているが、遅滞なく借入れをすることができた。

また、地方公共団体金融機構からの借入れに当たっては、引き続き金利見直し方式を採用することによって、支払利息を低減することができた。

また、茨城県や庁内担当部署と緊密に連携することで、適切に交付税算定を実施することができた。

市債（一般会計債）の借入額（前年度繰越分を含む）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
政府資金、銀行等	千円	8,269,100	5,062,900	4,019,568	4,108,400	4,429,500
茨城県	千円	115,100	644,507	3,029,193	1,873,732	676,245
借入額合計	千円	8,384,200	5,707,407	7,048,761	5,982,132	5,105,745

年度末市債残高、年度末利子支払予定額（各年度末の時点から、全額償還するまでの利子の支払総額）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年度末市債残高	千円	56,231,914	54,004,608	54,817,726	53,970,037	53,912,029
年度末利子支払予定額	千円	1,541,406	1,127,206	1,179,960	1,467,186	1,831,296

地方交付税の交付額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
普通交付税	千円	-	-	-	-	-
特別交付税	千円	260,645	258,857	248,907	317,424	266,060
震災復興特別交付税	千円	11,429	-	28,826	2,279,731	2,689,898

(1) 政府資金、銀行等からの借入額は、前年度比3,206,200千円の増となった。増額要因としては、（仮称）研究学園小学校建設事業債（1,584,100千円）、（仮称）研究学園中学校建設事業債（1,233,700千円）及び（仮称）香取台小学校建設事業債（1,225,600千円）等の借入が発生したことが挙げられる。

また、茨城県からの借入額は、前年度比529,407千円の減となった。主な借入として（仮称）研究学園小学校等建設事業債（43,900千円）がある。

(2) 普通交付税は、不交付団体となったことから交付されていない。

また、震災復興特別交付税は、11,429千円の交付となった。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	11	本年	12,296			12	12,308		10,296	83.7
				前年	12,592				12,592		10,050	79.8
				比較	296			12	284		246	-
【参考】前々年度					10,135		93		10,042		9,412	93.7

節別支出済額(単位:千円)

旅費	10	需用費	410	役務費	1,443	委託料	7,965
使用料及び賃借料	152	備品購入費	284	負担金補助及び交付金	32		

概要及び成果

- 1 指定金融機関、収納代理金融機関等及び公金預金の管理に関する事務
市の公金収納及び支払事務を委任している指定金融機関の(株)常陽銀行については、3か月に一度の割合で指定金融機関の検査を実施する。
収支日計表を調整し、毎日の支払いについて小切手を振り出す。
公金預金の管理については、「つくば市資金管理及び運用基準」に基づいて、資金に一時的に余裕ができたときは、定期預金に積み立て、確実かつ有利な方法により保管する。

【成果】

指定金融機関検査により、指定金融機関である常陽銀行つくば市役所支店が取り扱っている公金の収納、支払事務及び預金の整理が正確に行われるのを確認できた。歳計現金の保管については、安全、確実に行うことができた。

- 2 公金の出納保管、例月出納検査、源泉所得税及び法定調書に関する事務
歳入歳出予算に基づく支出命令及び収入調定により適正かつ円滑な事務処理を行う。また、監査委員による出納検査を受検する。
1か月における歳入・歳出伝票を日付毎に科目の順に整理し、通し番号を付し検査を受ける。また、預金等の現金保管状況等を報告する。
源泉所得税の適正な徴収及び納付。法定調書の検収及び税務署・市町村への報告。

【成果】

公金の出納保管について、適正な事務処理を行うことができた。会計事務局において例月出納検査を受検するとともに(年度内12回)、庁内、及び出先機関において書類提出による現金取扱検査をし、現金出納簿の適正な管理と、手持ち現金の残高を確認することができた。

- 3 支出負担行為及び支出命令の審査事務及び債権者登録事務
支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと、支出負担行為に係る債務が確定している等の確認、及び支出命令に対する審査。
適正な債権者情報の登録及び管理。

【成果】

適正かつ円滑な事務執行を行うことができた。
web形式による出納事務研修会、イントラ掲示板、テロップによる注意喚起の徹底等しているが、電子決裁の導入に伴う操作誤り等により返却数が増加。返却率が前年比0.11%増加した。

歳入・歳出伝票件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
歳入伝票(調定票は含まない)	件	51,081	48,634	47,729	52,275	52,399
歳入伝票(調定票)	件	4,752	5,651	5,168	5,028	4,422
支出伝票(支出負担行為票は含まない)	件	92,193	87,017	89,228	90,456	89,300
支出伝票(支出負担行為票)	件	12,779	11,647	11,386	40,854	38,509

事業名：決算調製に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	12	本年	262				262		257	98.2
				前年	269				269		249	92.5
				比較	7				7		8	-
【参考】前々年度					343				343		325	94.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					257							
概要及び成果												
<p>1 決算書調製事業 出納整理期間終了後3か月以内に歳入歳出及び証書類を整理し、各会計の事項別明細書・実質収支に関する調書・財産に関する調書を調製する。</p> <p>【成果】 令和3年度会計において、歳入歳出の適正な予算執行実績を決算書により示すことができた。また、つくば市公式ホームページに掲載することにより、市民に対する行政運営の透明性の向上と市政への理解と信頼の充実に繋げることができた。 決算書 190冊作成</p>												

事業名：共同物品調達に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
02	01	06	13	本年	14,134			12	14,122		14,050	99.5																																										
				前年	13,569				13,569		11,315	83.4																																										
				比較	565			12	553		2,735	-																																										
【参考】前々年度					16,152				16,152		14,931	92.4																																										
節別支出済額(単位:千円)																																																						
需用費					14,050																																																	
概要及び成果																																																						
<p>1 共同物品調達（コピー用紙・封筒） コピー用紙、封筒については、一般競争入札により単価契約を行い、購入する。 コピー用紙及び封筒の在庫を管理し発注する。</p> <p>【成果】 全庁で使用するコピー用紙、封筒については、業者と単価契約を締結し、一元的に購入・管理することにより、購入価格のコスト削減と事務処理の軽減を図ることができた。</p> <p>購入枚数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー(A3、A4、B4、B5)</td> <td>枚</td> <td>17,375,000</td> <td>15,275,000</td> <td>20,995,000</td> <td>17,297,500</td> <td>18,032,500</td> </tr> <tr> <td>封筒(角0、角1、角2、長3)</td> <td>枚</td> <td>319,500</td> <td>337,000</td> <td>370,000</td> <td>402,000</td> <td>349,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>購入金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー(A3、A4、B4、B5)</td> <td>千円</td> <td>10,979</td> <td>8,442</td> <td>11,754</td> <td>10,367</td> <td>8,368</td> </tr> <tr> <td>封筒(角0、角1、角2、長3)</td> <td>千円</td> <td>2,693</td> <td>2,621</td> <td>2,861</td> <td>2,614</td> <td>2,549</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	コピー(A3、A4、B4、B5)	枚	17,375,000	15,275,000	20,995,000	17,297,500	18,032,500	封筒(角0、角1、角2、長3)	枚	319,500	337,000	370,000	402,000	349,000		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	コピー(A3、A4、B4、B5)	千円	10,979	8,442	11,754	10,367	8,368	封筒(角0、角1、角2、長3)	千円	2,693	2,621	2,861	2,614	2,549
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																
コピー(A3、A4、B4、B5)	枚	17,375,000	15,275,000	20,995,000	17,297,500	18,032,500																																																
封筒(角0、角1、角2、長3)	枚	319,500	337,000	370,000	402,000	349,000																																																
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																
コピー(A3、A4、B4、B5)	千円	10,979	8,442	11,754	10,367	8,368																																																
封筒(角0、角1、角2、長3)	千円	2,693	2,621	2,861	2,614	2,549																																																

事業名：庁舎維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	11	本年	900,361	2,618	6,835	12,076	921,890	32,980	803,326	90.7
				前年	536,479		7,708	14,356	558,543	2,618	549,672	98.9
				比較	363,882	2,618	873	2,280	363,347	30,362	253,654	-
【参考】前々年度					536,710		2,154	10,241	549,105		527,618	96.1

節別支出済額(単位:千円)

旅費	16	需用費	86,124	役務費	15,825	委託料	232,183
使用料及び賃借料	232,682	工事請負費	226,403	備品購入費	10,037	負担金補助及び交付金	55

概要及び成果

1 庁舎等維持管理事業

本庁舎・大穂庁舎・コミュニティ棟の維持管理（設備管理、清掃、警備、電話交換、総合案内、植栽管理、廃棄物運搬、修繕・改修工事等）、旧庁舎解体までの維持管理等、備品管理システムの運用管理及び庁舎現品調査、新規備品購入及び備品修繕、人事異動に伴う庁内レイアウト変更、PCB廃棄物の処分場所への運搬及び処分

【成果】

- ・庁舎等の適切な維持管理を行い来庁者等への市民サービス向上及び職員の執務環境の維持を図ることができた。
- ・庁舎設備の適正維持のため、吸収冷温水機の更新工事や本庁舎の防水改修工事を実施した。
- ・旧桜庁舎の解体工事を実施した。
- ・令和5年4月から開始となる庁舎の省エネ調査業務委託、植栽管理業務委託を債務負担行為で準備をし契約締結することができた。

(1)主な委託 平成30年度から清掃と警備、総合案内と電話交換は分割して委託

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
清掃	千円	48,065	44,796	44,715	43,050	30,311
警備	千円	57,189	53,427	53,550	35,137	34,976
総合案内	千円	13,710	13,710	10,582	10,486	10,390
電話交換	千円	16,250	16,250	8,140	8,214	11,718
設備運転・管理	千円	53,245	53,314	48,338	48,056	39,076
植栽維持管理(旧庁舎含む)	千円	7,033	7,421	6,906	5,063	5,994
大穂庁舎外清掃業務委託	千円	11,061	9,900	9,988	8,160	8,085
大穂庁舎外設備設備管理業務委託	千円	8,762	7,991	7,948	6,669	6,608
大穂庁舎外警備業務委託	千円	7,541	6,864	6,864	5,183	5,136
電気保安業務委託料(大穂、桜庁舎)	千円	357	333	518	487	461

(2)庁舎等の修繕

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修繕・工事件数	件	102	91	116	81	73
施設修繕料・工事費	千円	235,712	18,719	31,525	18,983	14,928

事業名：市有土地建物の管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	12	本年	16,811		2,068	352	18,527		18,210	98.3
				前年	13,872			1,395	15,267	14,711	96.4	
				比較	2,939		2,068	1,747	3,260	3,499	-	
【参考】前々年度				9,830		29	5,052	14,853		13,141	88.5	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,928	役務費	388	委託料	8,878	使用料及び賃借料	537
工事請負費	6,452	負担金補助及び交付金	28				

概要及び成果

1 市有土地の管理事業

市有土地の処分、貸付等について、庁内各部及び市民からの要請に基づき随時実施する。
未利用の普通財産については、生活環境保全等のために年2回の除草作業を行う。

【成果】

- ・市有地（普通財産）を維持管理し、良好な状態に保つことができた。市有地の除草作業を行うことにより土地の荒廃を防止し周辺住民の生活環境の維持が図られた。
合計45箇所、約22,533㎡を2回除草実施。
- ・申請のあった未利用地等（廃道敷地含む）の払下げ及び売払いを行い、管理面積の削減及び市の財源確保ができた。
- ・市有土地の貸付を行い、市有財産の有効活用を図った。

公有財産管理委員会の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	4	6	4	4	1
案件数	件	4	6	4	8	2

処分件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
筆数	筆	23	20	4	9	18
面積	㎡	4,039.31	1,915.26	326.85	633.38	960.12
売買価格	円	30,300,326	15,425,740	3,348,297	5,309,246	10,756,369

2 市有建物の管理事業

建物保全のため各種定期点検を実施し、必要に応じて修繕等を行う。
市有建物の貸付契約を締結し、貸付料を徴収する。

【成果】

市有建物を維持管理、安全性を確保することができた。

事業名：車両管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	13	本年	98,681			3,909	94,772		93,274	98.4
				前年	99,692			7,261	92,431		91,079	98.5
				比較	1,011			3,352	2,341		2,195	-
【参考】前々年度					106,234		3,000	11,270	91,964		85,815	93.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	31,938	役務費	2,403	使用料及び賃借料	58,264	負担金補助及び交付金	21
公課費	648						

概要及び成果

1 公用車管理事業

公用車の維持管理等（車検、定期点検、任意保険加入、修繕、リース契約、車両購入、廃車、運行予約、記録入力 of 管理）

【成果】

- ・老朽化した公用車を廃車しリース車への入替を行った。
- ・予約時間の適正化を図ることができた。
- ・有料道路の利用申請について、基準の見直しを行い、事務効率の改善を図った。

(1) 公用自動車の修理及び車検整備（車検についてはリース車を除く）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修理件数	件	57	61	47	66	116
修理費用	千円	4,296	3,607	3,404	3,606	6,596
車検件数	件	25	25	26	29	36
車検費用	千円	3,652	3,311	3,523	3,138	4,467

(2) 公用自動車のリース及び購入 リース台数には再リース契約を含み、廃車台数にはリースアップ車を含む

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
購入台数	台	0	0	0	0	0
購入費用	千円	0	0	0	0	0
リース台数	台	55	33	48	34	44
廃車台数	台	1	3	30	29	18

(3) 公用自動車の台数（年度末時点） 管財課予算計上分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
リース車	台	235	235	236	242	238
買取車	台	37	38	36	42	49
合計	台	272	273	272	284	287

(4) 【参考】市全体の公用自動車の台数（年度末時点） 管財課予算計上分を含む

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
リース車	台	282	278	277	268	260
買取車	台	157	163	161	177	185
合計	台	439	441	438	445	445

事業名：事務機器管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	14	本年	33,539		6,086	352	39,977		39,977	100.0
				前年	24,069		14,682	3,573	35,178		35,062	99.7
				比較	9,470		8,596	3,925	4,799		4,915	-
【参考】前々年度					23,820		6,558	2,756	33,134		33,025	99.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				37,159	委託料		43	使用料及び賃借料		2,775		
概要及び成果												
<p>1 事務機器の管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合機及び印刷機等の管理運用を行う。 ・消耗品等の発注及び在庫管理を行う。 ・故障等の修繕依頼をする。 ・各種契約事務、料金支払をする。 ・事務機器の管理：複合機（コピー・プリンタ兼用）39台、印刷機（カラー2台、モノクロ2台）、コインベンダー付複写機（お客様用1台）、紙折り機1台、シュレッダー14台を管理する。 <p>【成果】 事務機器を適正配置及び管理することにより、効率的な事務事業の遂行に寄与した。機器の導入、消耗品の管理により、事務作業の効率化に努めた。</p>												

事業名：事業契約に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	15	本年	8,010				8,010		7,604	94.9
				前年	7,707				7,707		7,237	93.9
				比較	303				303		367	-
【参考】前々年度					8,095		386		7,709		7,554	98.0

節別支出済額(単位：千円)

報償費	100	需用費	403	役務費	54	委託料	3,254
使用料及び賃借料	3,478	負担金補助及び交付金	316				

概要及び成果

1 入札・契約事務事業

入札及び契約に関する事務（つくば市入札審査委員会の開催、入札の執行、契約書（売買、賃借、請負その他の契約）の作成）を実施している。

入札参加資格の登録に係る申請受付及び書類審査を、年5回（2月・6月・8月・10月・12月）実施し、業者情報のシステム登録を経て、有資格者名簿を作成の上公表する。なお、登録業者情報は、庁内イントラネット業者照会システムにより、事業担当課が発注時の業者選定等に活用できるようにしている。

【成果】

入札参加資格要件等を入札審査委員会に諮り、案件に応じた適切な要件を設定することで、競争性の確保や入札事務の透明性等を図ることができた。

登録申請の審査及び登録業者の変更届処理を行い、入札参加有資格者名簿を適正に管理することで、業者管理システムを活用した入札・契約関係書類の作成事務、事業担当課による業者選定及び入札参加条件の設定に係る事務等の効率化が図られた。

入札審査委員会の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	17	17	17	17	12
臨時開催数	回	2	2	0	0	1

入札の実施（上下水道事業会計含む）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般競争入札	件	804	728	716	793	786
指名競争入札	件	23	19	14	9	19
総合評価方式	件	42	30	26	13	5

いばらき電子入札共同利用システム運営委託（工事、測量、建設コンサルタント業務）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般競争入札	件	344	316	305	362	372
指名競争入札	件	0	0	0	0	0
総合評価方式	件	42	30	26	13	5

茨城県電子調達システムの利用（物品、役務、印刷、リース）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般競争入札	件	460	412	411	431	414
指名競争入札	件	23	19	14	9	19

入札参加資格審査申請受付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
6月（電子申請）	者	42	58	101	-	-
9月（令和2年度より8月）	者	24(内紙申請6)	38(内紙申請17)	78(内紙申請42)	88	193
10月（電子申請）	者	24	21	51	-	-
12月（電子申請）	者	15	43	102	-	-
2月	者	3,200(内紙申請318)	67(内紙申請26)	181(内紙申請80)	3,044(内紙申請1,314)	226

- ・令和2年2月より電子申請の運用開始
- ・令和元年度及び令和4年度(2月)は定期受付
- ・入札参加有資格者名簿登録者数
〔30-元年度〕：3,688者
〔2-4年度〕：3,865者(令和5年2月1日現在)

2 入札監視委員会運営事業

入札監視委員会定例会議を年2回(7月～8月、1月～2月の各1回)開催、当番委員が抽出する市発注事業の入札及び契約に係る手続等について質疑・評価等を受けて適正な事務事業の執行に資する。

【成果】

入札監視委員会は外部委員で構成されており、第三者の立場から市民目線の意見や専門的見地に立った助言等を得ることができた。この委員会の会議概要をホームページで公表することで、入札・契約関連の事務手続の透明性の向上に寄与することができた。

入札監視委員会の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	2	2	2	2	2
抽出事案数	件	13	14	14	14	14

事業名：業務検査に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	16	本年	727				727		553	76.1
				前年	638				638		430	67.5
				比較	89				89		123	-
【参考】前々年度				938		300		638		632	99.1	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	289	需用費	223	役務費	9	負担金補助及び交付金	32
-----	-----	-----	-----	-----	---	------------	----

概要及び成果

1 工事・業務の検査事務

工事等検査規程に基づき、下記の検査を行う。なお、契約金額が130万円以上の工事等を対象とする。

- (1) 工事等の完成及び完了を確認するために行う工事完成検査及び業務完了検査
- (2) 工事等代金の部分払いをするとき、工事等を中止するとき、及び契約を解除するときに行う出来高検査
- (3) 中間検査として行う部分使用検査、中間履行検査、中間技術検査

【成果】

市が発注する工事等の契約に基づいた適正な履行が確保された。また、中間検査時における指導助言により、適正な施工、技術水準の向上、安全管理など施工管理の向上が確認できた。

建設工事

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
完成検査	件	228	231	209	222	246
中間検査	件	91	81	103	76	102
出来高検査	件	0	0	1	0	1
手直し検査	件	0	0	0	0	0
計	件	319	312	313	298	349

設計業務委託

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
完了検査	件	91	80	85	98	92
中間検査	件	0	0	0	4	2
出来高検査	件	0	0	0	0	0
手直し検査	件	0	0	1	1	0
計	件	91	80	86	103	94

検査合計

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
検査合計	件	410	392	399	401	443

2 優良建設工事業者表彰

(1) 優良工事建設業者褒賞

以下の建設工事の区分ごとに、成績評定の点数が高い工事から順次表彰する。なお、表彰者数は要綱で定められた算式により決定する。

ア 土木一式、イ 建築一式、ウ 舗装、エ 電気・機械設備、オ その他の工事、カ 小規模工事

(2) 特別褒賞

優良工事建設業者褒賞を受けた回数が5回、10回又は15回に達した者を表彰する。

【成果】

建設工事の優れた功績をたたえ表彰することや、表彰を受けた事業者に対して1年間入札時に手持ち工事件数の制限を緩和する等の優遇措置を行うことにより、建設工事受注者に対し、公共工事の品質向上に関する意識付けが図れた。

表彰件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
優良工事建設業者表彰者数	者	13	13	13	12	18
特別褒賞表彰者数	者	2	1	1	3	-

令和元年度より特別褒賞を新設した。

事業名：駐車場維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	07	17	本年	14,769			520	15,289		15,216	99.5	
				前年	13,174			1,639	11,535		11,493	99.6	
				比較	1,595			2,159	3,754		3,723	-	
【参考】前々年度					11,180			2,339	8,841		6,536	73.9	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費					2,281	役務費		123	委託料		1,941	使用料及び賃借料	9,936
工事請負費					935								

概要及び成果

1 庁舎駐車場の管理事業

駐車場料金の徴収、管制装置等の機器管理、駐車場全般の維持管理等

【成果】

・職員駐車場2の土日祝日の一般開放を継続して実施し、駐車場維持管理のため財源確保ができた。

(1) 駐車場の維持管理（平成22年度から料金徴収開始）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消耗品購入	千円	2,076	425	2,266	2,315	1,265
修繕料	千円	206	275	383	231	892
工事請負費	千円	935	429	0	1,268	303
修繕・工事件数	件	5	5	3	4	11

(2) 駐車場使用料金の徴収（平成22年度から料金徴収開始）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来庁者駐車場分	千円	3,473	1,592	1,303	2,022	2,245
職員駐車場分(庁舎及び出先施設)	千円	45,814	44,413	43,588	39,621	37,304

平成27年度から土・日・祝日に職員駐車場2の一般開放を開始（料金は来庁者駐車場に計上）

事業名：公共施設マネジメントに要する経費

財務部 公共施設マネジメント推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	18	本年	2,928				2,928		2,848	97.3
				前年	5,763				5,763		5,427	94.2
				比較	2,835				2,835		2,579	-
【参考】前々年度					714		21		693		525	75.7

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	138	負担金補助及び交付金	2,707
----	---	-----	-----	------------	-------

概要及び成果

1 点検マニュアルの運用

法定点検や「公共施設自主点検マニュアル」による点検を実施し、劣化の兆候や不具合箇所が判明した場合は、早期の段階で修繕や改修を行い、大規模修繕を未然に防止する。

【成果】

各種点検結果や修繕工事履歴及び維持管理費などを「公共施設マネジメントシステム」に入力した結果、各公共施設の状況について全庁的に情報の共有化が図られた。

2 市民ニーズに合った利用促進策の検討

各施設所管課等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、提供しているサービスが市民ニーズに即しているか分析を行うとともに、環境への配慮、防災機能の強化、ユニバーサルデザインの導入等の施設機能の充実を推進する。

【成果】

「ユニバーサルデザイン化」、「省エネ化」等の様々な市民ニーズに配慮した計画が1計画（つくばメモリアルホール）策定され、施設利用向上に向けた取組みが進んだ。

3 施設整備事業の複合化・集約化指針の作成

各施設所管課等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、各施設のあり方や必要性について、人口動向や社会情勢の変化等を踏まえ、市民ニーズや費用対効果などの面から総合的に評価を行い、必要なサービスや施設機能を確保しつつ、集約化・複合化による施設整備を推進する。

【成果】

施設所管課が「個別施設計画」策定時に「個別施設計画策定ガイドライン」を用いて、集約化・複合化を検討するよう指導・助言を行った。

4 公共施設マネジメント推進事業

「公共施設自主点検マニュアル」による点検結果について、施設の劣化度・優先度を判定する基準を策定し、予算要求の方策を構築する。施設やインフラの基礎情報、点検、修繕の履歴、利用状況、維持管理費などの情報を定期的に記録更新し、蓄積することで施設に関する情報を体系的に整理する。各施設所管課等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、新技術等の導入によるコスト低減や効率化を検討するよう推進する。

【成果】

施設所管課の積極的な取組みや「個別施設計画策定ガイドライン」を活用したアドバイスにより、今年度3計画が策定され、つくば市が保有する全施設の延床面積の約8割分をカバーする計画が策定済である。

個別施設計画策定数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
目標値	計画	8	7	6	5	-
実績(年度)	計画	3	2	4	5	-
累計	計画	14	11	9	5	-

事業名：コミュニティ棟維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	19	本年	8,006				8,006		7,962	99.5
				前年	7,219				7,219		7,043	97.6
				比較	787				787		919	-
【参考】前々年度					8,690				8,690		8,539	98.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	339	委託料	7,567	使用料及び賃借料	57
-----	-----	-----	-------	----------	----

概要及び成果

1 コミュニティ棟維持管理事業

利用者に対し、生涯学習及びコミュニティの場を提供するため、コミュニティ棟1階の受付業務を行う。

【成果】

令和元年5月にオープンした施設の適正な管理運営を図るため、必要な受付業務委託と備品等の整備を行った。

利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	897	573	596	1,316	-
延利用者数	人	3,958	4,525	14,482	33,357	-

利用件数は会議室のみ計上

事業名：企画調整に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	11,582		3,000		8,582		7,101	82.7
				前年	8,388				8,388		7,500	89.4
				比較	3,194		3,000		194		399	-
【参考】前々年度					5,046		295		4,751		4,207	88.5

節別支出済額(単位：千円)

報酬	600	報償費	320	旅費	17	需用費	92
役務費	122	委託料	5,909	使用料及び賃借料	5	負担金補助及び交付金	35

概要及び成果

- 1 市長公約事業のロードマップ事業
市長が選挙時に掲げた公約における6本の柱、135事業について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成することで、進捗管理や評価を実施し公表する。

【成果】

2期目の市長公約事業の情報を更新し、ホームページ等で公表することにより、各事業の状況等を市民に共有することができた。

- 2 国・県に対する予算等要望
広域的な対応が必要な課題については茨城県市長会を通して「県政要望」を行うとともに、つくば市固有の課題については独自に「茨城県の予算編成等に対する要望」を行う。

【成果】

予防接種等に関する財政措置、地元企業への経済支援、県立高等学校への進学環境の充実など、当市が推進する事業に関連した要望を実施することができた。

令和4年5月 茨城県市長会へ県政要望を提出

令和4年8月 茨城県知事へ予算編成等に対する要望を提出

- 3 地方版図柄入りナンバープレート事業
つくばナンバー交付対象の13自治体と「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」を構成し、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を、地域一体となって実施するとともに、地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金を活用した助成事業について検討を進める。

【成果】

地方版図柄入りナンバープレートの普及促進を行ったことで、交付件数は関東運輸局管内で1位を維持するなど、市民からの関心が寄せられている。

申込状況（年度末時点の累計）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録車	件	7,180	6,075	4,813	3,477	1,829
軽自動車	件	9,723	5,817	3,438	2,306	1,086
合計	件	16,903	11,892	8,251	5,783	2,915

つくば市単独分ではなく、交付対象13自治体の合計数。

- 4 つくば市OB人材活動支援事業
高度な知識や専門技術を持つシニアの方々を「つくば市シニア・エキスパート」として登録し、講師派遣や助言等を希望する一般市民、団体、企業等に紹介する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、パンフレットの配布やホームページ等における周知を継続的に行うことで、終息後を見据えた事業の推進につなげた。

活動実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録者数(年度末時点)	名	225	222	246	242	236
活動回数(延べ)	回	4	6	123	668	686

5 バリアフリーマスタープランの策定

つくば市バリアフリーマスタープランを策定することで、本市のバリアフリー化の方針を示す。

【成果】

令和5年度の策定に向け、庁内における理解・連携を深める「つくば市バリアフリーマスタープラン 庁内検討会議」、有識者・当事者等で構成する「つくば市バリアフリーマスタープラン策定協議会」を設置し、議論を深めている。令和4年度は、市民アンケートによる統計的な分析や、各関係団体へのヒアリング調査により顕在化した具体的な困りごと等を把握するとともに、実際に街中を歩いてバリアフリーの現状を点検する「まち歩き点検」といった各種基礎調査を実施することができた。

事業名：アイラブつくばまちづくりに要する経費

政策イノベーション部

持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	12	本年	174,799				174,799		78,557	44.9
				前年	63,782		118,138		181,920		95,929	52.7
				比較	111,017		118,138		7,121		17,372	-
【参考】前々年度				49,997		8,552	27,689	86,238		86,221	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	155	役務費	15	委託料	78,354	負担金補助及び交付金	33
-----	-----	-----	----	-----	--------	------------	----

概要及び成果

1 アイラブつくばまちづくり事業

市の発展を願う方々からの寄附金を市の事業や地域貢献に取り組む方々への支援に役立てるとともに、寄附金の活用状況の公表や関係者の表彰などを通して、つくばを思う方々の輪を広げていく。ふるさと納税専用サイト等による寄附金を受け付けるとともに、寄附に対する返礼品を送付する。返礼品を通じてつくば市の特産物や魅力を知ってもらい、地域振興や観光PRにつなげ、本市を応援していただける方を増やしていく。

【成果】

三つのふるさと納税専用サイトで寄附を募集し、特産品のPRや体験型の返礼品を通して、全国に向けて市の魅力を発信することができた。特定の返礼品に人気偏らないように、返礼品の種類を追加するとともに、返礼品の協力事業者に情報発信を促進するなどの業務改善を行った。

寄附実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	9,625	11,250	11,643	7,978	2,117
寄附金額	円	178,283,721	210,848,463	192,762,632	107,454,609	47,553,855

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																	
02	01	08	13	本年	2,136				2,136		1,167	54.6																																																	
				前年	2,247			176	2,423		1,414	58.4																																																	
				比較	111			176	287		247	-																																																	
【参考】前々年度					3,234		465	400	2,369		952	40.2																																																	
節別支出済額(単位:千円)																																																													
報償費				1,100	旅費		7		需用費		27	使用料及び賃借料	33																																																
概要及び成果																																																													
<p>1 未来構想・戦略プランの推進 つくば市未来構想に掲げる2030年の未来像の実現に向け、「第2期つくば市戦略プラン（令和2年3月策定）」における施策を推進する。</p> <p>【成果】 令和2年度に構築した未来構想等推進本部（主に部長級職員）、幹事会（主に次長級職員）、専門部会（次長級職員と関係課）の開催を通じて戦略プランの進行管理（令和3年度の取組状況の確認、令和5年度の事業計画の検討）を行った。また、未来構想等推進会議（外部委員で構成、計2回）にて戦略プランの進行管理の状況について報告を行った。</p>																																																													
<p>2 行政評価の実施 効果的・効率的で質の高い行政サービスを目指し、事務事業の点検・評価を行う事務事業評価制度を運用する。</p> <p>【成果】 令和3年度事務事業（881事業）に関して、事業所管課による自己評価を実施した。事務事業の改善、見直しを行うことで、効果的・効率的で質の高い行政サービスの提供に寄与した。</p>																																																													
<p>3 パブリックコメントの実施 市が計画、条例等の策定等に当たり、計画案を事前に公表し、意見募集を行うことで、市民の市政への参加を促し、市民に対する説明責任を果たすとともに、政策形成過程の公平性・透明性の向上を図る。</p> <p>【成果】 市民から寄せられた意見を計画、条例等に反映させた。</p> <p>パブリックコメント実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施案件数</td> <td>案件</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>意見提出案件数</td> <td>案件</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>内訳 延べ人数</td> <td>人</td> <td>(18)</td> <td>(98)</td> <td>(118)</td> <td>(125)</td> <td>(95)</td> </tr> <tr> <td>内訳 意見数</td> <td>意見</td> <td>(53)</td> <td>(378)</td> <td>(480)</td> <td>(341)</td> <td>(386)</td> </tr> <tr> <td>修正した案件数</td> <td>案件</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>内訳 修正箇所数</td> <td>箇所</td> <td>(10)</td> <td>(21)</td> <td>(52)</td> <td>(82)</td> <td>(79)</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	実施案件数	案件	10	5	17	13	12	意見提出案件数	案件	7	5	16	13	11	内訳 延べ人数	人	(18)	(98)	(118)	(125)	(95)	内訳 意見数	意見	(53)	(378)	(480)	(341)	(386)	修正した案件数	案件	5	3	12	9	6	内訳 修正箇所数	箇所	(10)	(21)	(52)	(82)	(79)
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																							
実施案件数	案件	10	5	17	13	12																																																							
意見提出案件数	案件	7	5	16	13	11																																																							
内訳 延べ人数	人	(18)	(98)	(118)	(125)	(95)																																																							
内訳 意見数	意見	(53)	(378)	(480)	(341)	(386)																																																							
修正した案件数	案件	5	3	12	9	6																																																							
内訳 修正箇所数	箇所	(10)	(21)	(52)	(82)	(79)																																																							
<p>4 指定管理者制度運用 公の施設（公園、文化・体育施設、福祉施設等）の管理について、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図るため、指定管理者制度の庁内手続きを運用する。</p> <p>【成果】 6施設の指定管理者選定実施のほか、導入中の全7施設（令和3年度時点）について、令和3年度事業分の指定管理者実績評価（所管課評価）を行い、結果を市HPに公表した。また、指定管理業務の開始から3年経過した1施設を対象に第三者評価会議（令和4年11月～令和5年1月：計3回）を開催し、第三者評価結果報告書を市HPに公表した。</p>																																																													

5 大規模事業評価制度運用

「つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針（平成30年9月策定）」に基づき、大規模事業評価制度を運用する。

【成果】

当該制度の庁内周知を行うとともに円滑な評価実施のため、案件照会による評価候補・予定案件の事前把握や相談対応等を行った。また、令和4年度は、制度の適用除外とした1件について、「評価対象適用除外事業調書」を市HPに公表した。

6 市民参加の推進

「つくば市市民参加推進に関する指針（平成30年3月策定）」に基づき、市民参加の推進を行う。

【成果】

会議等に参加する市民委員の募集予定案件について庁内照会を実施し、結果を市HPにて公表した。また、令和3年度市民委員経験者を対象としたアンケート調査を実施し、意見聴取を行った。さらに、つくば市行政経営懇談会（令和4年8月～令和5年1月：計3回）において、平成29年度に策定した「つくば市市民参加推進に関する指針」の検証にあたり、これまでの市民参加の取組状況の報告を行い、多角的な視点による議論を踏まえた提言を受けた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	14	本年	18,811		18,823		37,634		36,897	98.0
				前年	26,308		12,086	7,349	45,743		45,100	98.6
				比較	7,497		6,737	7,349	8,109		8,203	-
【参考】前々年度					65,718		2,898		68,616		67,698	98.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	320	報償費	14	旅費	53	需用費	28
役務費	1,145	委託料	29,260	使用料及び賃借料	3,234	備品購入費	641
負担金補助及び交付金	2,202						

概要及び成果

1 情報化推進事業

電子申請サービス、茨城県域統合型GIS、チャットツール等の活用を推進し、庁内各課の課題解決を図る。

【成果】

電子申請サービスについては、国民健康保険や手話通訳などの手続においてフォームの作成をサポートし、電子申請の拡大を図った。チャットツールについては、活用を推進した結果、令和5年度当初から全正職員を対象にアカウントを配布する方針とした。

電子申請の届出種類及び申請・届出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
手続種類	手続	1,376	938	578	584	354
申請・届出件数(合計)	件	89,362	97,378	66,024	29,601	22,794

茨城県域統合型GISへの庁内からのログイン件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
庁内からのログイン件数	件	11,393	10,516	9,735	8,271	6,957

2 つくば市デジタル・ガバメント推進体制の活用

つくば市情報化推進計画における各施策を総合的かつ全庁横断的に推進する。

また、番号制度推進のための庁内の総合調整を行うことで、番号利用法の改正及び番号制度の変更に即時かつ的確に対応する。

【成果】

デジタル窓口WGにおいて、窓口支援システムの運用における課題を抽出し、対応策の検討を行った。行政手続オンライン化WGにおいて、ぴったりサービスの対応や手続棚卸調査の更新を実施した。基幹系システム標準化WGにおいて、国が定めた標準仕様書に準拠したシステム移行を円滑に進めるため、機能・帳票要件の比較分析作業を実施した。デジタル・ガバメント推進方針(案)の整理を行った。外部委託によりマイナポイント取得補助を実施した。

- (1) デジタル・ガバメント推進本部会議(CIO:副市長)の開催:3回
- (2) 各専門WG(デジタル窓口推進、電子申請拡大など)の開催:合計37回
- (3) 番号利用法29条の2に基づく職員研修(オンライン開催)の受講者数:477人
- (4) 特定個人情報保護評価書の見直し:
26事務(基礎項目評価16事務、重点項目評価8事務、全項目評価2事務)
- (5) マイナポイント取得補助を行った数:13,817人(令和4年度から市民窓口課に移管)

事業名：情報通信ネットワークシステム運用に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	15	本年	130,114		24,068		106,046		102,033	96.2
				前年	123,235		9,169		114,066		109,291	95.8
				比較	6,879		14,899		8,020		7,258	-
【参考】前々年度					86,185		839	7,000	78,346		77,966	99.5
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				141	役務費		9,742	委託料		47,670	使用料及び賃借料	27,173
工事請負費				148	備品購入費		310	負担金補助及び交付金		16,850		
概要及び成果												
<p>1 全庁ネットワークの保守及び管理・運営 本庁舎を中心として、市内に点在する約200施設を広域ネットワークで結び構築した全庁ネットワークの保守及び管理運営を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)ネットワークトラブル(メンテナンス等の計画停止を除く)による市民サービスの停止を発生させることなく、サービスを提供することができた。</p> <p>(2)耐用年数の経過に伴い、出先拠点用ルータ機器(12月)、不正侵入防御システム機器(1月)の更改を行い、ネットワークの安定稼働に寄与することができた。</p> <p>(3)必要な修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。</p>												
<p>2 公開系ネットワークの運用・管理 市民等にWebサービスを提供するための公開系ネットワークの保守及び管理運営を行う。また、外部ネットワークからの攻撃に対する監視及び対策を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)公開系ネットワークの安定的な運用により、市民への安定したサービス提供に寄与することができた。(粗大ごみシステム、図書館システム、施設予約システム等)</p> <p>(2)令和4年度において、外部ネットワークからつくば市のネットワークへの不正侵入・攻撃等の件数は約1万7千件であったが、これらに対しセキュリティシステムが有効に機能し、円滑に事務を執行することができた。</p>												

事業名：科学技術振興に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	08	16	本年	18,741			61	18,681		16,397	87.8		
				前年	17,213	2,100		297	19,610		15,953	81.4		
				比較	1,528	2,100		358	929		444	-		
【参考】前々年度					15,520		689		16,209	2,100	12,583	90.6		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					221	旅費		43	需用費		151	委託料		800
使用料及び賃借料					113	負担金補助及び交付金		15,068						
概要及び成果														
<p>1 国際戦略総合特区推進事業 組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。</p> <p>【成果】 TGIを中核組織として、技術相談のワンストップ窓口支援や、「つくばライフサイエンス協議会」等のプロジェクトごとの運営会議を定期的開催し、研究実施機関や企業のマッチング機会を創出した。</p>														
<p>2 Society 5.0社会実装トライアル支援事業 IoTやAIなどの革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けたトライアル(実証実験)を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案15件のうち5件の実証実験を採択及び支援した。 ・市SNS、区会回覧、広報誌等への掲載に加えて、審査会だけでなく報告会の一般公開を行うことで、市民への認知度拡大に努めた。 ・フォローアップ調査により、事業の特徴や課題が明確となった。 <p><令和4年度採択案件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・光通信地上局設置による未来の通信技術「光通信ネットワーク」の構築(ワープスペース(株)) ・グラフデータベースを活用した組織内での情報共有を円滑にするシステム「Oudan Sharing」の実証実験(合同会社大人検索) ・未病対策を加速化する漢方のDXとSaaS開発(VARYTEX(株)) ・「浄化槽+維持管理オペレーションシステム」で世界から未処理排水をなくす!(Nocnum) ・専属助産師による妊婦の身体づくり伴走サポートサービス「MamaWell」(MamaWell) 														
<p>3 市場・市民ニーズ調査事業 市域で実証した未来技術について、市民や市内事業者が技術やサービスを一定期間試してもらい、市場性や改善すべき点などの調査を実施する。なお、調査方法としては、開発事業者がその技術やサービスの提供を行い、そのために必要な事前の改良費用やモニター利用料などを市が負担する形で、開発事業者と市が共同で行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2件の共同事業を実施した。 ・歯垢検査ライトについて、つくば歯科医師会と連携し、茨城県歯科医学会で発表する等、取り組みの周知に努めた。 ・多言語デジタル問診票について、つくば市医師会を紹介し、医療機関への周知の支援を行った。 														

事業名：科学の街つくば推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	08	17	本年	13,892			490	14,382		12,505	86.9		
				前年	21,074			297	20,777		17,162	82.6		
				比較	7,182			787	6,395		4,657	-		
【参考】前々年度					17,302		2,993	60	14,249		12,450	87.4		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					95	旅費		3,692	需用費		617	役務費		121
委託料					4,585	使用料及び賃借料		31	負担金補助及び交付金		3,364			
概要及び成果														
<p>1 市内大学・研究機関等との連携事業 市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴を活かしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。</p> <p>【成果】 庁内関係課と連携し、独立行政法人教職員支援機構との連携協定の締結に至った。また、JAXAとの連携により、筑波宇宙センター50周年記念事業として広報協力のほか、小学生向けの絵はがき募集イベントを企画・開催した。</p>														
<p>2 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業(科学教育推進事業) つくば科学教育マイスター制度や体験型科学教育事業等を通じて科学教育を推進する。 つくばサイエンス・アカデミーと連携し、飛躍的な研究成果が期待できる若手研究者につくば奨励賞を授与する。 科学の甲子園全国大会等の科学イベントを市内で開催する。</p> <p>【成果】 「つくばちびっ子博士2022」と連携し、市内研究機関等の動画を配信することで、科学技術に興味関心を持つ多くの子どもたちに、科学技術を身近に感じる機会を提供することができた。(延べ再生回数41,954回)「つくばスタイル科」の一環で、STEAM教育授業を規模の異なる市内小・中学校3校で実施し、学校規模に応じた授業運営方法を構築し、マニュアル化した。つくば奨励賞を実用化研究部門1件及び若手研究者部門2件に授与した。</p>														
<p>3 国際科学技術都市「つくば」の推進事業 G7のレガシー継承事業として、科学技術分野への女性の参画拡大や女性人材育成のための事業を実施。 ハイレベルフォーラム等の国際会議への参加などを通じてつくばの国際的な認知度向上を図るとともに、国外の都市や研究者との連携・交流を深める。 海外からの視察対応や異業種・異分野間の交流機会を創出する。</p> <p>【成果】 フィンランド・タンペレ市で開催されたハイレベルフォーラムに市長が参加し、市のスマートシティの取組を発表するとともに、海外の優良事例に関する情報収集を実施した。 「つくばで輝く研究者」として研究者5人のロールモデルを地域フリーペーパーで発信した。</p>														

事業名：ロボットの街つくば推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
02	01	08	18	本年	7,528			430	7,099		6,447	90.8
				前年	5,594				5,594		4,804	85.9
				比較	1,934			430	1,505		1,643	-
【参考】前々年度					9,954		48,943	160	59,057		58,139	98.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				165	役務費		215	負担金補助及び交付金	6,066			
概要及び成果												
<p>1 ロボットの街つくば推進事業</p> <p>搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ、Global Innovation Challenge等のロボット実験を通じて、国に規制緩和を要望していくなど、ロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。</p> <p>国のMaaS(Mobility as a Service)の取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携など、次世代モビリティの社会実装に係る取組を推進する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> つくばチャレンジについて、現地開催（実験走行9日間、本走行1日間）を実施した。 つくばチャレンジで運営体験会を開催し、小中学生に自走ロボットと触れ合う機会を設けた。 Global Innovation Challenge2023に向けてリハーサルを実施した。 												

事業名：スマートシティ推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)	
02	01	08	19	本年	109,381		25,720		135,101		121,445	89.9	
				前年	5,341				5,341		5,099	95.5	
				比較	104,040		25,720		129,760		116,346	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報酬				1,740	報償費		76	旅費		276	需用費		50
委託料				105,207	使用料及び賃借料		33	負担金補助及び交付金		14,063			
概要及び成果													
<p>1 スマートシティの推進</p> <p>国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで規制緩和を図り、大学・研究機関、企業等が持つ革新的技術と多様なデータ連携による新しいサービスの社会実装を推進する。具体的には、AI、IoT、ロボティクス、CASE、MaaS、ブロックチェーンといった先端技術を活用し、次世代モビリティサービス、多言語情報ポータルサイト、ネット投票などの地域課題の解決に資するサービスを展開する。</p> <p>【成果】</p> <p>内閣府のスーパーシティ型国家戦略特別区域としてつくば市が区域指定され、令和5年3月につくば市スーパーシティ型国家戦略特別区域区域計画が認定された。</p> <p>スマートシティ化に向けた産学官の連携による取組として、つくばスマートシティ協議会の5つの分科会活動、インターネット投票の模擬投票やパーソナルモビリティ等の走行実証など先端的サービスの実装に向けて様々な実証実験に取り組んだ。</p>													
<p>2 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進</p> <p>国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「デジタル情報プラットフォーム」（データ連携基盤、都市OS）を構築し、産学官民が連携し活用することで、市民等に様々なサービスを提供する。</p> <p>【成果】</p> <p>つくばスマートシティ協議会において、分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤整備及び市民向けに様々な情報を提供する多言語ポータルアプリ「つくスマ」を実装し、市民へサービス提供した。</p>													

事業名：SDGs推進に要する経費

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	20	本年	4,975				4,975	27	4,818	97.4
				前年	4,892				4,892		4,675	95.6
				比較	83				83	27	143	-
【参考】前々年度					5,264		226		5,038		4,766	94.6
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				129	需用費		144	委託料		4,544		
概要及び成果												
<p>1 SDGs未来都市事業 つくば市は平成30年(2018年)6月に国からSDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として、社会・経済・環境の三側面が相乗的に発展する持続可能都市を目指し、つくば市SDGs未来都市計画の進捗管理を行う。</p> <p>【成果】 つくば市SDGs未来都市計画(計画期間:令和3年~令和5年)の進行管理を行うとともに、令和3年度の進捗評価を取りまとめ、内閣府に報告した。</p>												
<p>2 つくばSDGsパートナー講座 課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していく「つくばSDGsパートナーズ」の会員を認定するため、つくばSDGsパートナー講座を開催する。 講座では、SDGsの17ゴールに関する取組について、学識経験者やNPO等の市民活動団体からの講義を受け、自らが活動していくためのきっかけづくりを行っている。</p> <p>【成果】 オンラインでの講座を6月、9月、11月、2月と4回開催し、参加者への事後アンケートで講座の満足度が「非常に満足」「やや満足」と合わせて85.1%となっており、高い評価を得ることができた。個人会員449名、団体会員160団体。(令和5年3月31日時点)</p>												
<p>3 社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」事業 ワークショップを開催し、本市の課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していくことを目指す。地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材が育つ環境づくりを行うため、これから活動を始めるに当たって参考となる有識者からの講演や課題の現場における意見を取り入れる機会をつくるための交流イベント等を開催することで、市民への波及効果を図る。</p> <p>【成果】 オンラインでのワークショップを3回実施し、参加5チームがSDGsの17ゴールと地域課題とを結びつけた具体的な活動を企画した。 令和5年2月に開催したつくばSDGsフォーラムでは各チームが中間発表を行い、チームを超えた協力に関する意見が出た。また、参加者への事後アンケートで、89.6%が満足と回答した。</p>												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	08	21	本年	8,910				8,910		5,919	66.4	
				前年									
				比較	8,910				8,910		5,919	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
旅費				2	需用費		48	委託料		5,863	負担金補助及び交付金	5	
概要及び成果													
<p>1 保有データの活用環境整備 データを日常業務や政策検討に活かせる人材を育成するため、職層に応じたデータ利活用研修を実施する。また、保有するデータを庁内横断的に共有し、活用できる仕組みを構築するとともに、データの可視化・分析ツールの導入を検討する。公開可能なデータについては、利用しやすい(機械可読性のある)形式で積極的にオープンデータとして公開する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職層別(主事・主任級、主査級、課長補佐級)にデータ利活用研修を実施することによって、職員のデータリテラシーが向上した。 ・庁内データ共有システムを活用し、庁内横断的に人口などの基礎データの共有を図った。 ・データを活用した課題解決型ワークショップ「Hack My Tsukuba(1)」を開催した。 ・データを可視化・集計することで分析を補助するためのツールを作成し、庁内に共有した。 <p>(1) データ利活用研修受講者数 研修 (主事・主任級) 67人、研修 (主査級) 31人、研修 (課長補佐級) 27人</p> <p>(2) 利用しやすいオープンデータ公開件数(2) 161件</p> <p>(3) Hack My Tsukuba開催回数 1回 1 令和4年度は、筑波大学においてHack My Tsukubaに代わり、別事業を実施することになったため、特別編の1回のみ開催 2 PDFを除くオープンデータの公開件数</p>													
<p>2 証拠に基づく政策立案(EBPM)の推進 各課からの相談に応じたナッジ活用支援や好事例の調査研究、庁内への情報提供を実施する。また、他自治体の情報収集や筑波大学との勉強会等を通じて、EBPMの事例や効果検証の手法について見識を深め、市の事業への導入を進める。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常のナッジ相談に加え、集中して相談を受け付けるナッジ相談会を開催し、各課からの相談に対応した。 ・庁内への情報提供として、ナッジ通信を発行した。 ・筑波大学と実施しているプロジェクト型共同研究実習において、「自治体におけるEBPM推進の在り方の検討」をテーマに、学生と共同研究を実施した。 <p>(1) ナッジ相談件数 14件 (2) ナッジ通信発行数 8件</p>													
<p>3 市民意識調査 市の現状やまちづくりの取組に対する満足度及び市が進める主要な施策に対する市民の意見を把握するため、隔年でアンケート調査を実施する。</p> <p>【成果】 市民意識調査は隔年で実施しており、令和4年度は非実施の年であったが、第2期つくば市戦略プランの数値目標の進捗確認のため、必要な設問のみとした市民意識アンケートを令和4年8月に実施した。本アンケートによって、市の現状や課題、まちづくりの満足度等を把握し、今後の市政運営の参考とすることができた。調査結果は、令和4年12月にホームページで公表した。</p>													

概要

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回収率	%	50.7	58.4	-	49.4	-
住み心地の満足度	%	82.9	84.6	-	80.1	-

隔年実施。ただし、令和4年度は簡易調査を実施。

事業名：電子情報システムの管理に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	09	11	本年	241,095		5,994		235,101		232,401	98.9
				前年	201,623		2,665	326	198,632		197,922	99.6
				比較	39,472		3,329	326	36,469		34,479	-
【参考】前々年度				195,396		10,733		184,663		183,757	99.5	

節別支出済額(単位：千円)

需用費	676	役務費	46	委託料	32,575	使用料及び賃借料	198,472
備品購入費	632						

概要及び成果

1 庁内グループウェアの運用・管理

庁内グループウェアの導入により、約200施設をネットワークで結び、約30のシステム(掲示板、スケジュール、行事予定表、予約、個人・課メール、職員名簿、電子書庫、文書管理、電子決裁、休暇等請求・時間外申請、出退勤管理等)の円滑な運用・管理を行う。

【成果】

庁内グループウェアの安定した運用・管理により、事務の停滞を防ぐことができた。

2 L G W A N 接続系パソコン及びインターネット接続系パソコンの運用・管理

庁舎内及び出先施設で使用しているLGWAN接続系パソコン約2,000台、インターネット接続系パソコン230台及びシステムの運用・管理を行う。

【成果】

- (1)耐用年数の経過に伴い、10月に庁内LGWAN接続系パソコン455台の更改を行い、職員が利用するパソコンの安定稼働に寄与することができた。
- (2)利用するパソコンに係る脆弱性のうち対象となるものについて修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。
- (3)パソコン等の不具合に対して迅速に対応し、事務の停滞を防ぐことができた。

事業名：基幹電算業務の運営に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
02	01	10	11	本年	379,654		8,419		371,235		370,914	99.9			
				前年	363,877		1,590	2,556	359,731		359,217	99.9			
				比較	15,777		6,829	2,556	11,504		11,697	-			
【参考】前々年度				353,346		6,190		347,156		346,609	99.8				
節別支出済額(単位:千円)															
旅費		3		需用費		731		役務費		5,010		委託料		305,199	
使用料及び賃借料		54,984		備品購入費		780		負担金補助及び交付金		4,207					
概要及び成果															
<p>1 基幹電算システムの安定した運用・管理 基幹電算業務に使用するシステムについて、法改正への対応及びカスタマイズ等により、適正なシステムの提供と業務の効率化を図るとともに、メンテナンスや機器監視を行いトラブルによる停止回数を減らし安定した運用を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)年間を通して、大きなトラブルなく基幹電算システムを運用することができた。また、制度等の改正に対して、機能追加やカスタマイズ等を行うことで、安定した市民サービスの提供に貢献することができた。</p> <p>(2)基幹系パソコン及びシステムを利用する際の生体認証を徹底し、ユーザの権限を必要最低限とすることで、データの保護に寄与することができた。</p>															
<p>2 基幹系パソコンの運用・管理 庁舎内及び出先施設で使用している基幹系パソコン約580台及びシステムの運用・管理を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)耐用年数の経過に伴い、選挙用パソコン機器の更改(10月)を行い、より安定したシステム稼働及び運用負荷の低減に寄与することができた。</p> <p>(2)利用するパソコンに係る脆弱性のうち対象となるものについて修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。</p> <p>(3)パソコン等の不具合に対して迅速に対応し、事務の停滞を防ぐことができた。</p>															

事業名： オンブズマン事務に要する経費

オンブズマン事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	11	11	本年	2,345				2,345		2,227	95.0
				前年	2,345				2,345		2,194	93.6
				比較	0				0		33	-
【参考】前々年度					2,355		33		2,322		2,113	91.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	2,000	旅費	100	需用費	20	役務費	83
備品購入費	25						

概要及び成果

1 オンブズマン事務

2名のオンブズマンが交代で月4回の定例相談日を設け、苦情申立や相談に対応する。

苦情申立に対して、申立人及び市の関係機関への調査を行い、その調査結果を申立人及び市の関係機関へ通知する。

必要に応じて市の関係機関へ勧告・提言等を行う。

【成果】

苦情申立書案件0件(前年度3件)、苦情申立書によらないオンブズマン相談4件(前年度3件)、事務局処理案件8件(前年度10件)であった。

つくば市ホームページ、広報つくばによる制度の周知と作成した活動状況報告書を各公共施設に配布し、閲覧できるようにした。

苦情申立、相談の受付、処理状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
苦情申立書によるもの	件	0	3	1	0	2
苦情申立書によらないオンブズマン相談	件	4	3	3	3	4
事務局への相談	件	8	10	12	13	7
合計	件	12	16	16	16	13

苦情申立書によるものの処理結果

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1 処理したもの	件	0	3	1	0	2
改善するよう勧告・提言したもの	件	0	1	0	0	1
改善に向けて意見をしたもの	件	0	0	1	0	0
申立を棄却したもの	件	0	0	0	0	1
申立を却下したもの	件	0	2	0	0	0
2 取り下げられたもの	件	0	(1)	0	0	0
3 次年度へ繰り越したものの	件	0	0	0	0	0
合計	件	0	3	1	0	2

()は苦情申立内容の一部を取り下げたもの

主な内容

- ・介護保険サービスについて
- ・学校徴収金について
- ・福祉サービスの利用方法の変更について
- ・耕作圃場進入に係る市道通行障害の解消について

活動状況の報告

令和4年度つくば市オンブズマン活動状況報告書を作成し、市長、議会に報告、市民への公表を行う。

事業名：自衛官募集事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	12	11	本年	285			4	289		286	98.9
				前年	285			90	195		190	97.4
				比較	0			94	94		96	-
【参考】前々年度					321		121		200		191	95.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		174	使用料及び賃借料	94	負担金補助及び交付金	18						
概要及び成果												
<p>1 自衛官募集事務 自衛隊地方協力本部、自衛官募集相談員、協力団体等と連携し、自衛官募集に関する広報活動を実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)市広報紙への自衛官募集案内の掲載7回 (2)自衛隊協力会役員会及び総会(7月)、視察研修(防衛省)の実施(11月) (3)自衛官募集の広報活動(自衛官募集啓発品の作成・配布) (4)自衛官募集の横断幕設置(市内歩道橋4か所7月~8月)</p>												

事業名：固定資産評価審査委員会に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
02	02	01	11	本年	783				783		56	7.2																					
				前年	1,204				1,204		191	15.8																					
				比較	421				421		135	-																					
【参考】前々年度					962		90		872		114	13.1																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報酬		41	旅費	12	需用費	3																											
概要及び成果																																	
<p>1 固定資産評価審査委員会 審査の申出を受けたときは、つくば市固定資産評価審査委員会において合議体を形成し、必要と認める事実審査・調査を行い、審査の決定を行う。 決定のあった日から10日以内に審査申出人及び市長あてに文書で決定内容を通知する。</p> <p>【成果】 令和4年度は審査の申出がなかった。</p> <p>審査・決定する審査会(合議体)の開催</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査申出</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>審査会開催</td> <td>回</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	審査申出	件	-	2	1	2	1	審査会開催	回	-	6	3	7	6
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
審査申出	件	-	2	1	2	1																											
審査会開催	回	-	6	3	7	6																											

事業名：税務事務に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	01	12	本年	715				715		620	86.7
				前年	684				684		529	77.4
				比較	31				31		91	-
【参考】前々年度					798				798		558	69.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		499		負担金補助及び交付金		121						
概要及び成果												
<p>1 市税の証明事務 納税証明申請書を受理 申請人の本人確認や権限確認 申請内容を精査し、証明書を作成 手数料を徴収し、証明書及びレシートを交付</p> <p>【成果】 市税等の納税関係証明書の申請受付・発行にあたり、概要にあるとおり適正に処理を行うことで、市民サービスの向上に寄与した。また、各課が行っている補助金交付等の事業で、市税等の滞納がないことが条件となっているものについて、各課からの滞納状況調査に適切に回答し、各種補助金の適正な支出を担保することができた。</p>												
納税証明書の発行実績												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
各年度の発行件数		件	5,285	4,104	4,454	4,403	4,307					

事業名：資産税賦課に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	11	本年	122,231		16,501		105,730		105,469	99.8
				前年	88,909				88,909		83,442	93.9
				比較	33,322		16,501		16,821		22,027	-
【参考】前々年度					95,033	1	3,868		91,166		90,068	98.8

節別支出済額(単位:千円)

旅費	7	需用費	1,269	役務費	8,920	委託料	92,745
使用料及び賃借料	2,119	備品購入費	244	負担金補助及び交付金	165		

概要及び成果

1 土地に係る事務

土地の地目変更等の異動に応じて、その土地の条件を考慮しながら適正な価格を決定する。
委託業務（土地評価支援業務・固定資産地図情報システム保守管理業務）
評価替えに向けて、標準宅地の不動産鑑定を行う。また、地価下落に伴う時点修正の不動産鑑定を行い、価格変動を把握し適正な価格に修正する。

【成果】

経験年数にとらわれることなくチェック作業を行い、係内でサポート体制を充実させることにより、職員間の時間外勤務時間の偏りの解消に向け取り組むことができた。

土地課税台帳の異動処理

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
処理件数	件	約23,900	約22,500	約22,900	約22,300	約25,600

法務局からの通知...約20,500件、農地法関連...約2,900件、区画整理地の台帳整備...約200件
現況調査約300件

2 固定資産税の賦課に係る共通事務

納税義務者の管理を的確に行い、正しい課税（納税通知の発送）を行う。
固定資産税及び都市計画税の事務について、必要な調査・企画・連絡等の事務を行うとともに各種研修に参加する。

【成果】

令和5年度の課税に向けて、被相続人の相続人代表者を設定させ、死亡者に対する課税を回避することができた。また、課税保留処分をしていた件について、資産を使用する者を探索し、その者を納税義務者に設定することができ令和5年度に向けた適切な課税を行うことができた。

固定資産税の推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
納税義務者数	人	89,755	88,168	86,981	85,759	84,346

3 都市計画税の賦課に関する事務

市街化調整区域内にあっては上下水道業務課より、下水道供用開始図面・区域外流入データ・受益者負担金データ等の情報を得て、精査し次年度賦課対象区域を選定する。賦課データは固定資産税課税システムに入力するとともに、固定資産地図情報システムに反映させその後の管理事務に活用する。

【成果】

上下水道業務課との連絡・調整を行ったことにより、適正に課税されていることを確認できた。
また、上郷、野畑の一部区域、令和4年中に個別に下水道が供用開始となった区域について、課税台帳の更新をした。

都市計画税納税義務者推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
納税義務者数	人	74,787	73,103	71,756	70,294	68,421

4 家屋に係る事務

建築確認申請概要書及び市内巡回確認により家屋調査台帳を作成し、完成した家屋の調査を実施する。

【成果】

1,914棟の家屋について、家屋課税台帳の登録を行い、それによって財源を確保した。評価要領に基づき、1,914棟の内、1,397棟を比準による評価を実施した。

新築家屋の評価

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
評価件数	件	1,914	1,889	1,886	2,020	2,142

課税漏れ家屋の調査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
課税漏れ件数	件	37	56	47	48	70

現況調査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
現況件数	件	82	77	57	60	98

5 償却資産に係る事務

償却資産については、納税義務者からの申告書が課税事務における基礎資料となるため、調査等により申告内容が正確であるかを確認する。未申告事業者については、申告書の催告依頼や申告指導等を行う。

【成果】

実地調査を行い、課税の適正化を図った。また、未申告事業者や過年度申告漏れ事業者等への申告指導を行った。

償却資産の申告件数及び実地調査件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申告件数	件	8,303	7,978	7,702	7,489	7,473
実地調査件数	件	115	-	-	218	226

6 固定資産税証明事務

固定資産課税台帳及び固定資産補充課税台帳に登録された証明書の交付を行う。

【成果】

窓口及び郵送により固定資産評価証明等の申請を受付して証明書を交付した。
個人及び様々な機関からの申請に対して、正確かつ適正に証明書を交付することができた。
1月2日以降に異動があったものについても、迅速に処理し交付することができた。

固定資産税証明発行件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
証明発行数	件	約16,800	約16,500	約17,000	約19,000	約12,000

事業名： 市民税賦課に要する経費

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	12	本年	64,866				64,866		59,771	92.1
				前年	56,465		8,994		65,459		59,761	91.3
				比較	8,401		8,994		593		10	-
【参考】前々年度					56,593		7,160		63,753		60,578	95.0

節別支出済額(単位：千円)

旅費	5	需用費	4,212	役務費	26,951	委託料	18,456
使用料及び賃借料	143	備品購入費	226	負担金補助及び交付金	9,778		

概要及び成果

1 個人市民税賦課事務

住民税申告書、給与支払報告書等の課税資料を基に、個人市民税に係る納税義務者及びその者の所得等を把握し、個人市民税を公平・公正に課税する事務を行う。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
給与・公的年金支払報告書の受付件数	件	288,634	286,387	273,935	266,865	235,769
eLTAXでのデータ受信件数	件	213,279	208,890	187,922	160,284	156,346
期間前申告相談(2/1～2/10)	件	1,582	1,762	1,825	1,266	1,223
申告相談(2/16～3/15)	件	4,962	6,200	5,909	7,666	9,787
確定申告自主作成(PC)コーナー	件	-	-	-	1,741	2,445
確定申告自主作成(預かり分)	件	-	-	-	2,966	3,909
未申告相談受付	件	122	95	112	74	204
扶養控除の是正事務(控除是正対象者)	件	1,111	1,348	1,258	981	1,023
公的年金特別徴収対象者数	人	43,841	43,227	42,318	41,525	40,635
公的年金からの徴収者数	人	14,417	13,961	13,356	12,883	12,432
指定事業所数	社	20,010	19,311	16,625	16,284	15,760
特別徴収対象者数	人	104,121	101,340	88,298	85,816	83,128

2 諸税賦課事務

軽自動車等の所有者を把握し、軽自動車税(種別割)を課税する。

軽自動車(4輪)の新規登録の際に県が賦課して納入する軽自動車税(環境性能割)を確保する。

鉱泉浴場経営者は、宿泊利用者から入湯税を徴収し、市へ納付する。

たばこの卸売販売業者等は、小売卸売業者へ売り渡したたばこの本数に税率を乗じた税額を申告し、市へ納付する。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
軽自動車等の登録台数	台	75,441	73,868	72,304	71,669	70,153
新規・廃車及び名義変更等届出数	件	27,620	27,994	27,941	28,387	28,209

3 法人市民税賦課事務

つくば市内に事業所がある法人からの法人市民税申告、納付情報を把握し、法人市民税を課税する。

未申告法人の実態調査や県税事務所、税務署等の税務機関からの課税資料を基に、税の決定・更正等を行う。

【成果】

公平かつ適正な課税を行い、歳入の確保ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
法人市民税申告書の受付件数	件	11,249	10,844	10,565	10,291	10,451
eLTAXでの電子申告件数	件	8,819	8,324	7,882	7,328	7,147

4 市民税証明事務

個人及び市区町村等の行政関係機関より依頼のあった個人の住民税（市民税及び県民税）に関する証明（課税証明書、非課税証明書等）について、市民税課の窓口若しくは郵送で交付を行う。
軽自動車税及び法人市民税に関する証明についても、請求の都度同様に交付を行う。

【成果】

窓口及び郵送により個人住民税に係る証明等の申請を受理し、証明書を交付した。
個人及び法人、行政機関等からの申請に対して、正確かつ適正に遅滞なく証明書を交付した。
証明書の年度切替時（6月1日）以降の申請においても、新旧年度のそれぞれの証明書も正確かつ適正に交付した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
諸証明書交付件数	件	12,252	9,499	13,310	13,755	15,342

5 租税教育推進のための租税教室事務

小学校を対象とした租税教室の開催（財務部職員が講師として市内各学校に出向）や税に関する作文コンクールの表彰式の出席など。

【成果】

租税教育推進協議会の事業による租税教室を市内の小学校（6年生を対象）で実施。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
租税教室実施校数	校	8	7	-	8	7

事業名：市税徴収に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	256,588		14,740	1,150	272,478		213,396	78.3
				前年	252,438			363	252,801		216,715	85.7
				比較	4,150		14,740	787	19,677		3,319	-
【参考】前々年度					254,166		76,428		330,594		290,494	87.9

節別支出済額(単位:千円)

旅費	13	需用費	4,658	役務費	40,305	委託料	7,196
使用料及び賃借料	2,034	備品購入費	225	負担金補助及び交付金	17,376	償還金利息及び割引料	141,589

概要及び成果

1 徴収業務

年間を通して計画的な文書催告の実施

滞納整理を行うにあたり、滞納者の資産状況等に応じて滞納処分や生活困窮者への緩和措置を実施
市税の整合確認、還付・充当処理による過誤納金の整理

年度初・末における決算収納・調定管理、納税の利便性の拡充が見込める施策の検討

【成果】

地区分担制にし滞納者全体を割り振り、案件すべてに整理方針を立て実施したことで滞納者数の圧縮に一定の効果が見られた。徴収率は、97.5%であった。滞納者への督促及び催告業務も適正に実施できた。また、差押財産を周辺市町との合同公売、インターネット公売等により換価し、滞納額の圧縮につなげた。

新規滞納者及び累積滞納者への催告

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一斉催告回数	回	8	7	7	9	10
一斉催告件数	件	88,841	75,536	68,219	91,776	101,324
随時催告回数	回	48	48	46	35	43
随時催告件数	件	1,541	2,445	1,599	2,022	1,589
合計回数	回	56	55	53	44	53
合計件数	件	90,382	77,981	69,818	93,798	102,913

差押件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
差押	件	573	582	243	447	402
参加差押	件	15	14	33	27	27
合計	件	588	596	276	474	429

公売(売却件数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
不動産	件	2	5	9	7	11
動産・自動車	件	1	0	0	0	10

茨城租税債権管理機構への移管(移管額及び徴収金は本税のみの金額)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
移管件数	件	56	56	73	73	70
移管額	千円	101,346	115,245	108,230	163,450	124,420
徴収金	千円	38,545	89,894	65,609	59,394	66,718
市負担金	千円	15,278	12,622	16,308	27,871	24,110

口座振替新規登録件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規登録件数	件	2,322	2,231	2,278	2,674	2,922

市税還付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
還付件数	件	1,963	1,620	1,953	1,942	1,983
還付額	千円	139,303	165,445	236,754	157,173	142,049

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	11	本年	72,489	2,222	16,886	440	91,157	5,950	79,492	93.7
				前年	69,478	32,344	21,526		123,348	2,222	116,009	95.9
				比較	3,011	30,122	4,640	440	32,191	3,728	36,517	-
【参考】前々年度					47,993		47,230		95,223	32,344	51,252	87.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	8,013	役務費	15,140	委託料	23,945	使用料及び賃借料	20,077
工事請負費	1,537	備品購入費	5,918	負担金補助及び交付金	4,863		

概要及び成果

1 戸籍事務

戸籍届出の受理と戸籍の記載、関係市区町村への通知、人口動態統計、相続税法第58条通知、戸籍関係証明書の交付、身上調査照会及び犯歴に係る事務を執行する。

【成果】

- (1) 戸籍事務の適正な処理を通して、国籍・親族的身分関係の登録・公証を行うことができた。
- (2) 戸籍事務へマイナンバー制度を導入するため、情報提供用個人識別符号取得作業を実施した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
戸籍届出事件数	件	9,880	9,706	9,634	10,193	9,834

2 住民基本台帳事務

住民の住所に関する届出等を受理し、住民基本台帳を整備することで、住民に関する正確な記録を行う。

【成果】

- (1) 【書かない窓口】スマホの利用により申請書の記入が不要になるシステムを円滑に運用することにより利用数が約1.4倍に増加した。
- (2) 【待たない窓口】住民異動繁忙期にフロア案内や入力業務を充実させるために人材派遣を活用し、待ち時間を短縮させた。
- (3) 【行かない窓口】令和5年2月からマイナンバーカードを利用した引越ワンストップサービスを開始し、3月には転出の約3割がオンライン申請となった。
- (4) 市民の利便性のため、木曜延長窓口サービスを実施した。(令和4年8月から、月2回実施。繁忙期の3月は、月4回実施。)
- (5) 繁忙期の待ち時間短縮のため、3月26日(日)に臨時休日窓口を実施し、75件の住民異動届を受け付けた。
- (6) 郵送届出勤奨などの感染防止対策を実施し、住民が安心して届出できる窓口を維持した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
住民異動届出件数	件	29,504	29,109	29,562	29,881	31,685
オンライン転出届出件数	件	1,918	1,084	294	-	-
木曜延長窓口取扱事務件数	件	3,455	4,557	4,870	6,395	6,302
書かない窓口利用件数	件	1,023	713	-	-	-

3 証明書交付事務

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書の交付事務や臨時運行許可事務、日中来庁できない住民への対応として木曜延長窓口、土・日曜開庁窓口を実施した。(令和4年8月からは日曜開庁は廃止)

【成果】

- (1) コンビニ交付証明書の手数料を期間限定で10円としたことや、住民票記載事項証明書を追加したことによりマイナンバーカードの利便性の周知につながった。(手数料10円は令和4年11月1日から令和5年5月31日まで)
- (2) 平日に来庁できない市民への対応として、土・日曜開庁窓口を実施した。(令和4年8月からは日曜開庁は廃止)
- (3) コンビニ交付サービス、スマホを利用した証明書のオンライン申請の周知を積極的に実施し、利便性を向上させた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
住民票の写し等交付件数	件	129,204	126,078	132,439	144,454	141,513
戸籍証明書等交付件数	件	53,526	47,024	49,656	61,570	49,082
印鑑登録証明書交付件数	件	48,415	55,822	54,161	72,886	72,698
印鑑登録件数	件	10,948	10,083	10,133	11,384	10,814
コンビニ交付件数 1	件	68,598	48,675	27,462	17,069	12,805
臨時運行許可件数	件	1,980	2,016	1,975	2,027	1,986
土・日曜開庁窓口取扱事務件数	件	16,935	18,277	16,660	22,072	22,100
庁舎内証明書発行機交付件数 2	件	6,288	3,128	2,402	842	-

1 税証明書・庁舎内証明書発行機交付件数を除く

2 税証明書交付件数を含む

各取扱件数は窓口センター分を含む。

4 窓口センター事務

住民異動届の受理、住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍証明書等の交付及び臨時運行許可事務、マイナンバーカード申請補助・交付などの事務を行う。

市税等の収納、被保険者証の交付、その他本庁各担当課への取次ぎを行う。

【成果】

地域住民の身近な窓口として幅広い行政サービスを行い、丁寧で正確な事務処理を行うことにより、市民の利便性を向上させた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
マイナンバーカード交付件数	件	5,107	2,535	1,596	-	-

令和元年度以前は集計なし。

5 出張所での証明書交付事務

市内5か所の地域交流センターに出張所を設置し、住民票の写し、戸籍証明書、印鑑登録証明書等を交付する。

【成果】

住民票の写し等は3,509件、戸籍証明書等は995件、印鑑登録証明書は2,810件交付した。

事業名：旅券事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	12	本年	6,871			2	6,873		6,757	98.3
				前年	7,080				7,080		5,006	70.7
				比較	209			2	207		1,751	-
【参考】前々年度					9,073				9,073		5,121	56.4

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,741	職員手当等	560	旅費	247	需用費	24
使用料及び賃借料	185						

概要及び成果

1 旅券(パスポート)事務

一般旅券の発給申請、変更申請、増補申請、紛失届等を受付・審査し、茨城県に送付するとともに、作成されたパスポートを交付する。

【成果】

(1) 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきたことにより、申請・件数が著しく増加した。これに対応するため、窓口の設置場所の変更や対応人数を柔軟に変更するなど、安定したサービス体制を維持した。

(2) パスポートの更新のオンライン申請を開始した。(令和5年3月27日から)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
10年用パスポート発給申請	件	3,984	1,025	1,064	6,049	6,358
5年用パスポート発給申請	件	1,245	309	273	2,828	2,876
子供(12歳未満)パスポート発給申請	件	625	159	92	1,135	1,174
記載事項変更申請	件	139	45	46	276	315
増補申請	件	14	3	5	41	55
申請件数合計	件	6,007	1,541	1,480	10,329	10,778
紛失届	件	52	11	15	91	99

事業名：個人番号カード事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	13	本年	111,533		12,824		124,357		83,854	67.4
				前年	239,573	12,100	22,314		229,359	156,053	68.0	
				比較	128,040	12,100	35,138		105,002	72,199	-	
【参考】前々年度				194,210		18,589		212,799	12,100	137,968	70.5	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	19,690	職員手当等	1,872	旅費	824	需用費	2,413
役務費	45,810	委託料	8,318	使用料及び賃借料	4,168	償還金利息及び割引料	760

概要及び成果

1 マイナンバーカード事務

マイナンバー制度の根幹となるマイナンバーの通知、マイナンバーカードの交付事務などを行う。

【成果】

- (1)イオンモールつくば、イーアスつくばなど人の集まる大型商業施設や、2022年参議院議員選挙の期日前投票所出張申請受付を行うことで、申請機会の充実を図った。
- (2)大型商業施設の出張申請受付では、周辺市と連携して事業を実施した。
- (3)マイナンバーカード関連窓口の集約、交付予約システムの運営、人材派遣の活用など、円滑な運営体制を構築できた。
- (4)平日夜間、土日交付を実施することで、交付機会の充実を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
マイナンバーカード交付件数	件	53,155	38,632	32,495	9,691	6,588
窓口申請補助件数	件	11,534	6,679	9,841	4,361	3,141
出張申請補助件数	件	1,037	103	0	687	-

令和2年度の出張申請補助について、新型コロナウイルス感染症の影響のため実施を見送った。また、平成30年度以前は集計なし。

事業名：(仮称)つくばセンター市民窓口新設に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	03	01	14	本年			1,100	440	1,540		1,540	100.0	
				前年									
				比較			1,100	440	1,540	1,540	-		
【参考】前々年度													

節別支出済額(単位:千円)

委託料	1,540
-----	-------

概要及び成果

1 (仮称)つくばセンター市民窓口新設事業

つくばセンター地区に市民窓口を新設し、センター地区住民や同地区利用者にとって身近で便利な窓口を設置する。

【成果】

- ・つくば駅前商業ビル「BiViつくば」2階のつくばインフォメーションセンター交流サロンを改修し、市民窓口センターを開設することとした。
- ・窓口センター新設工事の設計を実施し、レイアウトを決定した。

事業名：委員会運営に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	01	11	本年	1,336				1,336		521	39.0
				前年	1,320				1,320		686	52.0
				比較	16				16		165	-
【参考】前々年度					1,277		212	1,573	2,638		1,809	68.6
節別支出済額(単位:千円)												
報酬					160		旅費	37	需用費	222	委託料	44
負担金補助及び交付金					58							
概要及び成果												
<p>1 選挙管理委員会運営事業 選挙人名簿定時登録、選挙時登録、在外選挙人名簿定時登録、各種選挙の執行に関する事項の決定等</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参議院議員通常選挙、茨城県議会議員一般選挙の執行について、協議・決定した。 ・選挙人名簿定時登録（6月、9月、12月、3月）、選挙時登録、在外選挙人名簿登録・抹消、令和5年度裁判員・検察審査員候補者予定者の決定を行った。 												

事業名：選挙啓発に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	822				822		507	61.7
				前年	910				910		497	54.7
				比較	88				88		10	-
【参考】前々年度					910				910		592	65.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					314		委託料	193				
概要及び成果												
<p>1 選挙啓発事業 市民の選挙への関心を高めるため、財団法人「明るい選挙推進協会」主催の明るい選挙啓発ポスター作品を、ホームページ上にて募集し、その作品を啓発用広報紙「白ばら」等に掲載した。</p> <p>【成果】 明るい選挙啓発ポスターコンクール、選挙メッセ - ジ葉書「18歳のわたしへ」の募集を通じて、未来の有権者に投票意識向上を図ることができた。（ポスターコンクール応募（6校9点）、選挙メッセ - ジ（11校1202点）） また、選挙啓発用広報紙「白ばら」を作製し、各家庭に新聞折込や各交流センター等で配布した。</p>												

事業名：参議院議員通常選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	04	03	11	本年	99,259		17,710		81,549	0	79,722	97.8	
				前年									
				比較	99,259		17,710		81,549	0	79,722	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
		報酬		8,481	職員手当等		26,008	報償費		823	旅費		37
		需用費		3,974	役務費		16,227	委託料		16,967	使用料及び賃借料		3,189
		備品購入費		4,016									
概要及び成果													
<p>1 参議院議員通常選挙に要する経費 参議院議員の任期満了に伴い、令和4年7月10日執行の参議院議員通常選挙の投票・開票事務を厳正かつ迅速に行った。</p> <p>【成果】 投票率：50.59% 当日投票所数：75箇所 期日前投票所：10箇所 公営ポスター掲示場設置場所：462箇所 投票時間：7時から19時 開票事務：開票開始20時20分（選挙区25時05分、比例代表3時00分確定）</p>													

事業名：茨城県議会議員一般選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	04	04	11	本年	88,194				88,194	0	64,578	73.2	
				前年									
				比較	88,194				88,194	0	64,578	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
		報酬		5,374	職員手当等		18,147	報償費		539	旅費		30
		需用費		2,782	役務費		12,440	委託料		16,715	使用料及び賃借料		907
		備品購入費		7,644									
概要及び成果													
<p>1 茨城県議会議員一般選挙に要する経費 茨城県議会議員の任期満了に伴い、令和4年12月10日執行の茨城県議会議員一般選挙の投票・開票事務を厳正かつ迅速に行った。</p> <p>【成果】 投票率：37.72% 当日投票所数：75箇所 期日前投票所：10箇所 公営ポスター掲示場設置場所：462箇所 投票時間：7時から19時 開票事務：開票開始20時20分（22:05確定）</p>													

事業名：統計調査員に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	01	11	本年	4,422				4,422		4,290	97.0
				前年	3,695				3,695		3,646	98.7
				比較	727				727		644	-
【参考】前々年度					8,724			102	8,622		8,066	93.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,083	職員手当等	314	旅費	150	需用費	238
役務費	114	委託料	374	負担金補助及び交付金	17		

概要及び成果

1 統計管理及び統計情報提供事務

統計調査を円滑に実施するため、調査員の確保対策事業及び登録調査員の管理など全体的な管理業務を行う。また、人口をはじめとする市勢に関するデータを収集し、冊子にまとめ、市ホームページに掲載する。

【成果】

- ・フリーペーパーなどの媒体を利用し、積極的に調査員の募集を行い、新規登録調査員の数が増加した。
- ・市勢に関する統計資料をまとめた「統計つくば」を作成し、市ホームページへの掲載や図書館等での掲示により、利用を希望する市民や庁内外関係機関へ情報提供を行った。

2 つくば市統計調査員連絡協議会事務

つくば市統計調査員連絡協議会と協働して統計調査員を対象とした研修会を開催することにより、統計調査の重要性への理解を深め調査員としての資質の向上を図る。

【成果】

統計調査の重要性や、個人情報等の管理、オンライン調査の推進等を記載した研修資料を、市に登録している調査員に対して配布し、統計調査への理解促進と能力向上を図った。

研修会参加者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加人数	名	(439)	(429)	(521)	95	147

新型コロナウイルス感染拡大防止のため講義形式では実施せず、登録されている調査員に研修資料を配布

事業名：経済センサス調査区管理に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	11	本年	23				23			0.0
				前年	23				23			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					23				23			0.0

概要及び成果

1 経済センサス調査区管理

国の基幹統計調査である経済センサス-基礎調査及び活動調査の調査区について、事業所の急激な増減や住所地の区割り変更等の対応として、地図や名簿の整理を行う。

【成果】

- ・令和6年度にまとめて調査区の変更作業を実施することとしたことから、令和4年度は当該作業を実施せず、交付金（茨城県から交付、補助率100%）も交付されなかった。

事業名：就業構造基本調査に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	05	02	12	本年	2,657			43	2,700	0	2,643	97.9	
				前年									
				比較	2,657			43	2,700	0	2,643	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
		報酬		2,084	報償費		187	旅費		166	需用費	96	
		役務費		111									
概要及び成果													
<p>1 就業構造基本調査に要する経費 国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的として、国の基幹統計調査である就業構造基本調査を実施する。</p> <p>【調査対象】 抽出された住戸に居住する15歳以上の世帯員全員</p> <p>【調査方法】 統計調査員による調査票配布、インターネット回答・郵送回収</p> <p>【調査概要】 調査周期：5年に一度、調査期日：令和4年10月1日、調査員数：53名、指導員数：5名、 調査世帯：848世帯、調査区：53調査区、県への報告：令和4年12月15日</p> <p>【成果】 【調査結果の公表時期】 令和5年7月予定</p>													

事業名：住宅・土地統計調査に要する経費

政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	13	本年	817			140	957		928	97.0
				前年								
				比較	817			140	957		928	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
		報酬		851	旅費		55	需用費		11	役務費	12
概要及び成果												
<p>1 住宅・土地統計調査に要する経費 住宅や居住可能な施設等の実態や、現住居以外の住宅・土地の保有状況を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的として、令和5年10月に実施される国の基幹統計調査である住宅・土地統計調査の事前準備として調査単位区設定を行う。</p> <p>【調査対象】 令和2年国勢調査調査区のうち、総務大臣が指定する調査区</p> <p>【調査方法】 指導員による担当調査区の巡回、住戸等の把握、単位区設定図の作成</p> <p>【調査概要】 調査周期：5年に一度、調査期日：令和5年2月1日、指導員数：30名、調査区：323調査区 県への報告：令和5年3月7日</p> <p>【成果】 指定調査区323について単位区を設定した。</p>												

事業名： 監査委員に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	11	本年	3,995				3,995		3,828	95.8
				前年	4,084				4,084		3,834	93.9
				比較	89				89		6	-
【参考】前々年度					4,038		142		3,896		3,814	97.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,660	旅費	151	需用費	18
----	-------	----	-----	-----	----

概要及び成果

1 監査委員監査の事務運営

地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員が監査、検査及び審査を実施する。また、監査委員に報酬及び費用弁償を支給するとともに、各委員が研修等に参加し資質向上を図る。

【成果】

- ・ 監査、検査及び審査の実施により、行財政運営の健全性及び透明性の確保に寄与した。
- ・ 地方自治法第242条に基づくつくば市職員措置請求に関する監査を速やかに実施した。
- ・ 監査委員に対し、報酬及び費用弁償を遅滞なく支給した。
- ・ 監査委員が都市監査委員会主催の研修会に参加し、資質向上が図られた。

監査等の種類及び実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
例月現金出納検査	日	12	12	12	12	12
定期監査 1	部署	27	17	37	47	46
工事監査(建築・土木工事) 2	日	1	-	-	2	2
決算審査及び財政健全化審査	日	4	4	4	4	4
財政援助団体等監査	団体	2	4	4	5	6
職員の賠償責任に関する監査	日	-	-	-	-	-
職員措置請求に関する監査 3	日	1	7	-	-	-
共同設置機関の監査 4	部署	1	-	1	1	1

協議会の種類及び実施回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
定例協議会	回	12	12	12	12	12
臨時協議会	回	-	3	1	-	-

1 令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、令和4年度は監査の効率化の観点から、部署を限定して実施した。

2 令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から中止とした。

3 令和3年度は、地方自治法第242条に基づく職員措置請求が4件あり、うち2件を却下、1件を棄却とし、年度末に受付した1件については、令和4年4月に却下した。

4 監査対象はつくば市等公平委員会。令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から中止とした。

事業名： 監査事務運営に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	12	本年	1,214				1,214		1,073	88.4
				前年	1,125				1,125		849	75.5
				比較	89				89		224	-
【参考】前々年度					1,517		560		957		828	86.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	758	委託料	124	負担金補助及び交付金	192
-----	-----	-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 監査等事務運営

事務局職員が、監査方針及び年間監査計画に基づき、予備調査等を実施するとともに、監査等を補助する。また、事務局職員が研修及び会議等に参加し、資質向上や情報交換を図る。

【成果】

- ・事務局職員の補助により、効果的かつ効率的な監査等を円滑に実施することができた。
- ・事務局職員が各種研修に参加し、資質の向上を図ることができた。

予備調査等の種類及び実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
例月現金出納検査 1	日	70	61	66	36	36
定期監査	部署	85	85	83	73	76
決算審査及び財政健全化審査 2	日	57	57	18	18	17
財政援助団体等監査	団体	2	4	4	5	6
職員措置請求に関する監査	件	1	3	-	-	-
共同設置機関の監査 3	部署	1	1	1	1	1

各種監査委員会総会等の種類及び延べ参加人数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
都市監査委員会総会への参加	人	3	4	-	9	9
各種監査委員会研修への参加	人	12	7	3	14	16
日本経営協会主催研修への参加	人	3	2	-	6	6

1 令和2年度以降は、下水道特別会計が公営企業会計に移行し、検査対象が2会計から3会計になったこと、さらに令和4年度は伝票の電子決裁が導入されたことから予備検査日数を増加して対応した。

2 令和2年度までは一般・特別会計の審査に要した日数のみを記載していたが、令和3年度以降は公営企業会計の審査に要した日数も追加した。

3 監査対象はつくば市等公平委員会

事業名：社会福祉推進に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																								
03	01	01	11	本年	129,268			77	129,345		106,210	82.1																																																								
				前年	133,791			990	134,781		120,048	89.1																																																								
				比較	4,523			913	5,436		13,838	-																																																								
【参考】前々年度					148,261		37		148,224		128,109	86.4																																																								
節別支出済額(単位:千円)																																																																				
報償費				152	需用費		181	委託料		14,384	負担金補助及び交付金		91,475																																																							
扶助費				18																																																																
概要及び成果																																																																				
<p>1 社会福祉協議会への助成 つくば市社会福祉事業費補助金交付要綱の規定に基づき、社会福祉法人の中核的団体である社会福祉協議会に職員人件費として補助金を交付する。</p> <p>【成果】 社会福祉協議会が実施する各種事業が安定・充実し、地域福祉活動の活性化が図られた。 ・つくば市社会福祉協議会補助金 91,475,415円</p>																																																																				
<p>2 地域福祉推進事業 住民参加型福祉サービス拡大事業（つくばさわやかサービス） 福祉教育推進・ボランティア育成事業 福祉相談事業を社会福祉協議会に委託</p> <p>【成果】 社会福祉協議会が実施する各種事業が安定・充実し、地域福祉活動の活性化が図られた。</p> <p style="text-align: center;">ボランティア育成・支援研修事業 ボランティア登録団体数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体数</td> <td>団体</td> <td>157</td> <td>152</td> <td>154</td> <td>186</td> <td>188</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">住民参加型福祉サービス拡大事業（さわやかサービス事業） 事業会員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員数</td> <td>人</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">福祉相談事業 相談件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財産・相続相談 / 司法書士</td> <td>件</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>福祉法律相談 / 弁護士</td> <td>件</td> <td>151</td> <td>122</td> <td>120</td> <td>152</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>子育て・子どもの悩みごと相談 / 学識経験者</td> <td>件</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	登録団体数	団体	157	152	154	186	188		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	協力会員数	人	47	46	50	49	46		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	財産・相続相談 / 司法書士	件	34	28	27	29	35	福祉法律相談 / 弁護士	件	151	122	120	152	137	子育て・子どもの悩みごと相談 / 学識経験者	件	27	28	21	30	39
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																														
登録団体数	団体	157	152	154	186	188																																																														
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																														
協力会員数	人	47	46	50	49	46																																																														
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																														
財産・相続相談 / 司法書士	件	34	28	27	29	35																																																														
福祉法律相談 / 弁護士	件	151	122	120	152	137																																																														
子育て・子どもの悩みごと相談 / 学識経験者	件	27	28	21	30	39																																																														
<p>3 茨城県都市福祉事務所長会事務 県内都市福祉事務所長が相互に情報交換を行い、所管業務の課題を解決するため研修会を実施する。 （年2回）</p> <p>【成果】 福祉事務所所管事業の情報共有や課題の抽出、先進地の取り組みや他市町村の対応を確認できた。</p>																																																																				
<p>4 法外援護事務 行旅に困窮し、移動が困難な者に対して原則、交通費、弁当代をそれぞれ1,000円と500円を限度として現金を給付する。 医療機関を受診した者に対しては、医療費を現物給付する。</p> <p>【成果】 申請者の希望に応じ、行旅困窮者の救済ができた。令和4年度実績：3件</p>																																																																				

5 地域福祉計画進行管理

令和3年度からは、つくば市地域福祉計画（第4期）の計画期間であるため、令和3年度から令和7年度までの5年間の各種施策の進捗状況を管理する。

令和3年3月地域福祉計画（第4期）策定、令和5年度中間評価、令和7年度最終評価。

【成果】

地域福祉計画第4期策定委員会：委員14名 令和4年度 2回開催

事業名：民生委員推薦会に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	401				401		246	61.3
				前年	401				401	91	22.7	
				比較	0				0	155	-	
【参考】前々年度					401				401	364	90.8	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	192	旅費	54
----	-----	----	----

概要及び成果

1 民生委員推薦会事務

議会議員、民生委員、教育関係者など14名の委員（福祉部長を含む）で組織し、民生委員に欠員が生じたとき、又は一斉改選時に民生委員児童委員及び主任児童委員として適正な人材を県に推薦する。

【成果】

3回の推薦会を開催し、合計296名の候補者の推薦について承認を得た。

推薦会開催数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
推薦会開催数	回	3	1	4	2	3

事業名：民生委員活動に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	13	本年	30,904		514	77	31,341		28,572	91.2
				前年	30,904			495	30,409	27,108	89.1	
				比較	0		514	418	932	1,464	-	
【参考】前々年度					30,904				30,904	26,110	84.5	

節別支出済額(単位:千円)

使用料及び賃借料	580	負担金補助及び交付金	27,993
----------	-----	------------	--------

概要及び成果

1 民生委員児童委員協議会調整事務

定例会では、行政担当者を講師として、生活保護制度、児童母子福祉、障害福祉、高齢福祉等、福祉全般に関する行政手続を研修し、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。民生委員、ふれあい相談員の連携強化のための活動支援を行う。

支部別研修・事項別研修を通し、福祉施設の現状視察や各々の事例検討を行い、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。

【成果】

事業計画に基づき、各地区ごとに研修を実施した。

研修内容：災害対策・各種福祉制度・児童福祉虐待・特殊詐欺・成年後見人制度等

民生委員・児童委員数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
民生委員・児童委員数	人	285	271	271	271	270

事業名：行旅死病人取扱いに要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	14	本年	2,956		1,079		4,035		3,627	89.9														
				前年	1,020				1,020	630	61.8															
				比較	1,936		1,079		3,015	2,997	-															
【参考】前々年度					1,020			540	1,560	1,478	94.7															
節別支出済額(単位:千円)																										
報償費				470	役務費		350	委託料		2,686	扶助費		121													
概要及び成果																										
<p>1 行旅死病人等取扱事務 行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地埋葬等に関する法律に基づき、引取人がなく火葬等を行うものがない行旅死亡人について火葬・埋葬を行う。また、行旅病人の救護についても行う。</p> <p>【成果】 火葬件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬件数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	火葬件数	件	18	6	9	4	3
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
火葬件数	件	18	6	9	4	3																				

事業名：遺族等援護に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	15	本年	3,384				3,384		2,525	74.6														
				前年	3,119		1,560		1,559	1,215	77.9															
				比較	265		1,560		1,825	1,310	-															
【参考】前々年度					3,535		1,886		1,649	1,032	62.6															
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				386	役務費		4	委託料		462	使用料及び賃借料		957													
負担金補助及び交付金				716																						
概要及び成果																										
<p>1 戦没者追悼式事業 つくば市遺族連合会の協力を得ながら、厳粛に、かつ、安全に戦没者追悼式を挙げる。</p> <p>【成果】 戦没者追悼式参列者実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参列者数</td> <td>人</td> <td>259</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>433</td> <td>416</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で中止。 令和4年度は、感染防止対策の観点から参加者の規模を縮小して開催。</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	参列者数	人	259	-	-	433	416
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
参列者数	人	259	-	-	433	416																				
<p>2 戦没者慰霊事業補助 つくば市遺族連合会に補助金を助成し、6地区の慰霊事業に要する経費の一部を助成する。</p> <p>【成果】 つくば市遺族連合会に補助金を助成することにより、慰霊事業の実施を促進することができた。</p>																										
<p>3 戦没者遺族等援護事務 戦傷病者の妻に対する特別給付金、戦没者の妻に対する特別給付金、戦没者の遺族に対する特別弔慰金などの受付・進達事務及び国債の交付等の事務を行う。 戦傷病者に対しては、無賃乗車券引換券交付等の事務を行う。</p> <p>【成果】 第十一回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求受付：292件 進達処理：239件 国債交付：173件</p>																										

事業名：国民健康保険事業特別会計に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	16	本年	1,204,874		23,172	32	1,228,014		1,227,863	100.0
				前年	1,280,458		38,208		1,318,666		1,318,493	100.0
				比較	75,584		15,036	32	90,652		90,630	-
【参考】前々年度				1,279,750		26,163		1,305,913		1,305,694	100.0	

節別支出済額(単位：千円)

繰出金 1,227,863

概要及び成果

1 特別会計繰出金事務

一般会計から国民健康保険特別会計へ繰り出しを行う。

【成果】

一般会計からの繰り入れを大幅に減らし、国民健康保険事業の安定に寄与することができた。

1 国民健康保険特別会計への繰出金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
保険基盤安定繰出	円	913,912,279	1,023,100,639	1,016,228,300	1,023,546,513	1,030,100,875
職員給与費等分	円	127,677,000	130,697,000	129,662,000	131,881,000	126,218,000
事務費分	円	102,927,000	100,066,000	96,248,000	96,129,000	88,582,000
出産育児一時金分	円	51,240,000	47,344,000	52,106,000	64,865,000	75,344,000
財政安定化支援分	円	15,165,000	16,741,000	11,450,000	8,128,000	10,158,000
臨時財源補てん分	円	0	0	0	469,149,000	719,799,000
未就学児均等割保険料繰出	円	16,942,138	-	-	-	-
合計	円	1,227,863,417	1,317,948,639	1,305,694,300	1,793,698,513	2,050,201,875

2 還付金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
過誤納還付金	円	-	40,200	-	-	259,900
過誤納還付加算金	円	-	8,500	-	-	128,400

事業名：福祉監査に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	17	本年	134				134		89	66.6
				前年	134				134		77	57.3
				比較	0				0		12	-
【参考】前々年度					195		21		174		168	96.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	29	委託料	61
-----	----	-----	----

概要及び成果

1 社会福祉法人の設立・認可事務

社会福祉法の規定による各種申請の上、法令の規定に違反していないかを審査し認可を行う。

【成果】

新規社会福祉法人設立について、法令及び他自治体への照会など明確な根拠に基づいて適切に認可を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
社会福祉法人設立認可件数	法人	3	1	1	2	0

2 社会福祉法人等の監査事務

社会福祉法及び関係法令等の規定、市指導監査方針及び実施計画に基づき、法人に指導監査調書等の事前提出を求め、実地による指導監査を行う。

【成果】

法令等に定められた遵守すべき事項について、運営実態の確認を行うことによって、適正かつ健全な運営の確保を図ることができた。

指導監査実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
社会福祉法人	法人	11	11	6	10	10
特別養護老人ホーム	施設	6	6	5	4	5
公立保育所	施設	23	2	21	22	22
特定地域型保育施設	施設	21	5	12	8	5
認可外保育施設	施設	40	30	41	47	38
介護保険施設	施設	60	51	50	35	60
障害福祉サービス事業所	事業所	3	8	6	9	2
有料老人ホーム	施設	3	2	0	2	2
サービス付き高齢者向け住宅	施設	2	0	3	5	-

事業名：非課税世帯等臨時特別給付金給付事業に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	18	本年	7,776	968,245	1,648,456		2,624,477	0	1,836,487	70.0														
				前年			2,472,981		2,472,981	968,245	1,495,232	99.6														
				比較	7,776	968,245	824,525		151,496	968,245	341,255	-														
【参考】前々年度																										
節別支出済額(単位:千円)																										
職員手当等		2,485	需用費	792	役務費	47,388	委託料	8,070																		
使用料及び賃借料		2,121	工事請負費	47	扶助費	1,182,390	償還金利息及び割引料	593,193																		
概要及び成果																										
<p>1 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付 令和3年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯（いずれも課税者の被扶養者のみからなる世帯は対象外）を対象に、1世帯当たり10万円を給付する。 また、令和3年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金において、家計急変により受給資格があるにもかかわらず、申請がないことにより受給できていない世帯に対して、令和4年度住民税課税情報を活用し、1世帯あたり10万円の現金を給付する</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活、暮らしの支援を受けることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>3,780</td> <td>14,675</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	3,780	14,675	-	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	3,780	14,675	-	-	-																				
<p>2 住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金の給付 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい令和4年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯（いずれも課税者の被扶養者のみからなる世帯は対象外）に対し、1世帯当たり5万円の現金を給付する。</p> <p>【成果】 電力・ガス・食料品等の価格高騰により、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>16,085</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	16,085	-	-	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	16,085	-	-	-	-																				

事業名：医療・介護連携推進に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	01	19	本年				272	272	0	227	83.3	
				前年									
				比較				272	272	0	227	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報酬		200	旅費	27									
概要及び成果													
<p>1 医療・介護連携推進に要する経費 医療・介護に関する各種データの横断的な健康状態の把握</p> <p>【成果】 国民健康保険、後期高齢者医療保険及び介護保険の被保険者に関するレセプト・健診・介護データを集約し、各データを横断的に集計し、地域高齢者の在宅医療等PDCAサイクルの基盤整備を行った。</p>													

事業名：在宅高齢者等福祉事業に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	33,310		3,292		30,018		25,997	86.6
				前年	35,549		11,220	100	24,229	19,158	79.1	
				比較	2,239		7,928	100	5,789	6,839	-	
【参考】前々年度					40,971		800		40,171		34,810	86.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	638	役務費	1,330	委託料	2,069	負担金補助及び交付金	635
扶助費	21,325						

概要及び成果

- 1 在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業
65歳以上で、要介護4・5認定者又は寝たきり状態などの方に布団（掛布団・敷布団・毛布）の丸洗い乾燥を年2回
布団の代えがない方には、布団の貸出を無料で行う。
- 【成果】
布団の丸洗い乾燥を無料で行うことで、高齢者の健康保持と生活環境を向上し、在宅福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	127	143	1,621	1,637	1,559
実績額	円	655,160	751,520	17,696,910	12,124,872	11,336,627

実施数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
掛布団	枚	77	97	1,348	1,329	1,262
敷布団	枚	75	85	1,325	1,305	1,247
毛布	枚	76	82	1,284	1,262	1,222

- 2 高齢者日常生活支援事業
75歳以上のひとり暮らしの方又は75歳以上の高齢者だけでお住まいの方に、部屋の清掃や草取り等の作業を依頼する際の費用の一部を助成する。
一世帯当たり500円の助成券を年間12枚交付する。

- 【成果】
日常生活を送る上で、自ら行うことが困難な部屋掃除や草取り等の軽易な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、在宅福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	1067	989	1,038	925	837
実績額	円	2,810,563	2,605,198	2,767,001	2,596,396	2,251,970

- 3 福祉有償運送事業
道路運送法第79条の登録を受けて福祉有償運送を行う特定非営利活動法人に対し、補助金を交付する。

- 【成果】
4月に福祉有償運送事業補助金交付申請を受付、3つの事業者に対し交付決定を行った。3月の実績報告書提出に基づき、事業所へ補助金を交付し支援することで、利用者の移手段の確保や社会参加の促進が図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付団体数	団体	3	3	2	3	3
交付額	円	635,000	540,000	589,000	696,000	693,000
延利用人数	人	2,375	1,917	1,947	2,693	2,846

4 高齢者用福祉タクシー助成事業

65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、又は70歳以上で市民税非課税世帯のタクシー運賃の一部を助成する。500円券×24枚の助成券を交付する。

【成果】

高齢者の外出支援、社会参加に役立つことができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	2,393	2,128	1,921	1,888	1,741
実績額	円	14,997,170	8,927,420	7,456,600	7,881,030	6,604,430

5 あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業

70歳以上の方に対し、あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術を受ける際の費用の一部を助成する。（年間最大1,000円券×8枚）

健康保険法、その他の法令により医療に関する給付として行われているものを除く。

【成果】

あん摩、マッサージ、はり及びきゅうの施術費を助成することにより、高齢者の健康維持に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	1,385	1,271	1,316	1,320	1,069
実績額	円	3,122,000	3,026,000	2,576,000	2,733,000	2,397,000

6 ねたきり高齢者理美容料助成事業

65歳以上で要介護4、5認定者又は常時ねたきりで理美容所に行くことが困難な在宅の方が、出張理美容を受ける際の利用料金助成を行う。

年間助成券（4,000円×2枚）を交付する。

【成果】

ねたきりの高齢者に対して、居宅における理美容料金の一部を助成することにより、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	151	174	161	144	154
実績額	円	395,000	491,000	536,000	548,000	580,000

事業名：老人ホーム入所措置に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	12	本年	5,332				5,332		1,958	36.7														
				前年	6,483				6,483		3,646	56.2														
				比較	1,151				1,151		1,688	-														
【参考】前々年度					6,962				6,962		5,440	78.1														
節別支出済額(単位:千円)																										
扶助費					1,958																					
概要及び成果																										
<p>1 老人ホーム入所措置事業</p> <p>環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者の中で入所判定委員会により入所が必要と認められた者に対し、市の職権により養護老人ホームに入所措置し、その生活費を支弁する。</p> <p>被措置者本人の所得に応じて、生活費の一部を徴収する。</p> <p>【成果】</p> <p>措置入所者の状況の変化に応じて、施設の担当者と連携を図り、入所者の生活の安定に寄与することができた。施設訪問をして本人と面談を実施し、継続して措置が必要であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナザレ園：継続入所者1名 																										
<p>養護老人ホーム入所者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続入所者</td> <td>名</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	継続入所者	名	1	1	2	3	3
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
継続入所者	名	1	1	2	3	3																				

事業名：ひとり暮らし等老人福祉に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	13	本年	15,990		3,232		12,758		11,492	90.1
				前年	15,724			67	15,657		14,657	93.6
				比較	266		3,232	67	2,899		3,165	-
【参考】前々年度					15,875				15,875		14,455	91.1

節別支出済額(単位:千円)

役務費	22	委託料	11,292	扶助費	178
-----	----	-----	--------	-----	-----

概要及び成果

1 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業

65歳以上の病弱又は重度の身体障害のあるひとり暮らしの高齢者、又は75歳以上のひとり暮らしの高齢者等に、緊急通報機器等を貸与する。

【成果】

緊急通報システムの通報、お伺い電話等により、救急搬送だけでなく、入院・入所等も把握でき、ひとり暮らし高齢者の不安解消、生活の安全の確保に寄与できた。36件の通報があり、救急車による搬送等の対応ができた。

・新規設置台数：43台

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延設置台数	台	183	176	181	179	193

2 ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業

見守りを必要とする70歳以上のひとりで生活している高齢者に、週に3回まで、安否確認を兼ねて乳製品を手渡しで配達する。不在時や緊急時には事業者から高齢福祉課に連絡が入り、緊急連絡先に連絡を取るなど対応する。

【成果】

ひとり暮らし高齢者の健康保持や定期的な安否確認による不安解消に寄与できた。

新規利用申込者数：6人

安否確認件数：28件

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	人	42	38	42	42	48

3 宅配食事サービス事業

ひとり暮らし・高齢者世帯の方に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配食する。配食の際、利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は、高齢福祉課が緊急連絡先に連絡を取るなど対応する。

【成果】

新規利用申込者数：47名 安否確認件数：63件

安否確認のうち2件は救急車要請に繋がった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	人	125	162	140	145	119
延配食数	食	23,280	24,901	24,474	23,884	21,440

事業名：老人生きがい対策に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	14	本年	52,699		5,201		47,498		41,844	88.1
				前年	52,866		5,150		47,716		39,496	82.8
				比較	167		51		218		2,348	-
【参考】前々年度					54,604		5,740		48,864		38,350	78.5

節別支出済額(単位:千円)

委託料	20,768	負担金補助及び交付金	21,077
-----	--------	------------	--------

概要及び成果

1 高齢者生きがい活動支援事業

シルバークラブ大会：役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等

シルバークラブ育成支援：年間を通じてシルバークラブ連合会の事務局と連携しながら支援する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためシルバークラブ大会を中止したが、委託先の社会福祉協議会と協議・検討し、顕彰事業を実施した。また、社会参加活動等を通して、高齢者の生きがいづくりに寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
シルバークラブ連合会会員数	人	6,113	6,292	6,533	6,569	6,463

2 高齢者労働能力活用事業費補助

公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように補助金を交付する。

【成果】

補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契約件数	件	2,858	2,990	3,755	4,390	4,609
会員数	人	584	619	644	679	643

補助額 11,000,000円

3 いきいきサロン事業

老人福祉センターなどの市内4か所で高齢者が自由に参加できる通常サロンを開催する。また、10人以上のグループからの依頼により講師を派遣し、出前サロンを開催する。

【成果】

・新型コロナウイルス感染症に伴い、中止となることもあったが、開催状況は改善してきており、高齢者の自立と社会参加の促進に寄与できた。

・通常サロン 実施回数204回、延べ利用者数1,286人

出前サロン 実施回数24回、延べ利用者数254人

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	1,540	670	785	2,541	2,424

4 健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会の予選会として市大会（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ）を開催する。

【成果】

高齢者が愛好するスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	536			593	592

5 シルバークラブ育成事業

補助金を交付し、シルバークラブ連合会と連合会に所属する単位シルバークラブの活動を支援する。

【成果】

補助金を交付することでシルバークラブの活動を支援することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
単位クラブ数	団体	129	133	136	137	134
実績額	円	9,860,457	9,417,131	9,844,497	11,515,300	10,874,705

6 おひさまサンサン生き生きまつり事業

障害者地域支援室と合同で実施

障害者や高齢者が協力してスポーツやレクリエーション活動を行うとともに、手作り品の展示、販売等を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
会場					桜総合体育館	研究学園駅前公園
参加者数	人	0	0	0	1,225	1,605

事業名：敬老事業に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	15	本年	44,529		20,747		23,782		23,222	97.6
				前年	51,197		16,016		67,213		65,343	97.2
				比較	6,668		36,763		43,431		42,121	-
【参考】前々年度				108,478		23,200		85,278		84,528	99.1	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	204	需用費	964	役務費	884	委託料	6,188
扶助費	14,982						

概要及び成果

1 敬老祝金給付事業

8月1日現在で市内に住所を有し、年度内に対象年齢を迎える方に対し、敬老祝金を贈呈する。

敬老祝金

- ・77歳(3,000円 口座振込)
- ・88歳(10,000円 口座振込)、101歳以上(20,000円 口座振込)
- ・100歳(30,000円分の現金)

【成果】

対象者の増加にともない、今後も持続可能な制度にしていくため、令和3年度から75歳以上の方への3,000円の給付を廃止し、節目年齢である(77歳、88歳、100歳以上)の方に給付するよう対象者を変更した。

実績額 令和2年度72,653,500円、令和3年度15,202,000円、令和4年度14,982,000円

対象者

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
75歳以上(3,000円)	人			21,579	21,244	20,688
77歳(3,000円)	人	1,442	1,774	-	-	-
88歳(10,000円)	人	753	745	783	772	702
100歳(30,000円)	人	58	48	46	47	33
101歳以上(20,000円)	人	82	69	67	61	61

2 敬老福祉大会事業

敬老の日において満70歳以上の方を対象に敬老福祉大会を開催する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老福祉大会を中止したが、その代わりに70歳・80歳・90歳・100歳の節目年齢の方に、敬老祝写真贈呈事業として、記念写真を撮影し贈呈する事業を行い、長寿を祝福し敬老の意を表する目的を果たした。

敬老祝写真贈呈事業 対象者数：6,065名 利用者数：1,125名

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	37,969	36,088	36,434	33,450	31,890
参加者数	人	-	-	-	4,381	4,374

平成29年度まではつくばカピオで開催。平成30年度からは、つくばカピオと市民ホールくきざきで開催。

3 長寿をたたえる事業

8月1日現在で市内に住所を有し、100歳を迎える方に、老人週間の前後2週間以内に市長などが訪問し、ほう状などを贈呈する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前に贈呈方法について調査し、9月に対象者61人に対して、自宅を訪問又は高齢福祉課窓口でほう状などを贈呈した。

対象者

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
100歳	人	61	48	46	47	33

事業名：ふれあい元気広場管理に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	16	本年	1,081				1,081		998	92.3
				前年	1,081				1,081		986	91.2
				比較	0				0		12	-
【参考】前々年度					1,107				1,107		994	89.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				53	役務費		12	委託料		933		
概要及び成果												
1 ふれあい元気広場管理運営事業 ふれあい元気広場のクロッカーコート・ニュースポーツコートの維持管理 ふれあい元気広場の休憩所の維持管理 高齢福祉課窓口において施設の貸出 【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用を中止していた期間があった。 グラウンドの芝の状態を把握し、芝刈り(機械)4回の実施により、高齢者が安全で快適に広場を利用することができた。 ごみ箱などの環境整備を行い、高齢者が快適に利用できるようにした。												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
利用団体数(延べ)		団体	514	497	405	558	512					

事業名：介護保険事業特別会計(介護保険)に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	17	本年	2,119,220		4,647		2,123,867		2,123,867	100.0
				前年	2,108,445		1,110		2,107,335		2,107,335	100.0
				比較	10,775		5,757		16,532		16,532	-
【参考】前々年度					1,973,239		57,351		2,030,590		2,030,590	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金				2,123,867								
概要及び成果												
1 介護保険事業特別会計(介護保険)事業 一般会計から介護保険事業特別会計への介護給付費、職員給与等、事務費及び地域支援事業費の繰出しを行う。 【成果】 事業の安定運営を図るため、繰出しを行った。												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
介護給付費(介護給付費の12.5%)		千円	1,679,498	1,679,470	1,604,707	1,559,608	1,517,471					
職員給与等(職員給与繰入分)		千円	109,613	111,712	110,534	117,100	113,795					
事務費(事務費繰入金)		千円	147,598	133,573	131,822	130,006	130,307					
指定介護予防支援職員関係経費		千円	-	-	-	-	-					
介護予防・日常生活支援総合事業		千円	33,317	31,812	37,219	31,595	31,085					
包括的支援事業・任意事業		千円	1,244	1,280	1,265	1,239	1,175					
災害臨時特例給付		千円	-	-	-	-	-					
低所得者保険料軽減分		千円	152,597	149,488	145,043	79,986	22,511					
平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上												

事業名：介護保険事業特別会計（高齢福祉）に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	18	本年	9,244		110		9,354		9,354	100.0
				前年	9,166				9,166		9,166	100.0
				比較	78		110		188		188	-
【参考】前々年度					11,203		2,740		13,943		13,943	100.0

節別支出済額(単位:千円)

繰出金 9,354

概要及び成果

1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰り出し
市町村の一般会計における負担割合は、介護給付及び予防給付に要する経費の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。

【成果】

事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰出した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
介護予防・日常生活支援総合事業	千円	832	832	1,832	1,109	1,045
包括的支援事業・任意事業	千円	7,499	7,421	9,815	9,278	9,094
事務費分	千円	1,023	913	2,296	-	-

介護予防・日常生活支援総合事業

- ・高齢者憩いの広場事業
- 包括的支援事業・任意事業
- ・在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業
- 事務費分
- ・介護台帳システムに要する経費

事業名：介護保険事業特別会計（地域支援）に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	19	本年	61,624		562		61,062		61,062	100.0
				前年	65,023		4,404		60,619		60,619	100.0
				比較	3,399		3,842		443		443	-
【参考】前々年度					71,114		2,988		68,126		68,126	100.0

節別支出済額(単位:千円)

繰出金 61,062

概要及び成果

1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰り出し
市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。

繰出金は平成29年度まで介護保険課で一括計上していたが、平成30年度からは担当課で計上している。

【成果】

事業の安定運営を図るため、指定介護予防支援職員関係経費、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業・任意事業について繰り出した。

地域支援事業費の繰り出し

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指定介護予防支援職員関係経費 1	千円	0	0	7,426	8,991	10,805
介護予防・日常生活支援総合事業	千円	481	769	462	1,176	1,721
包括的支援事業・任意事業	千円	60,581	59,850	60,238	54,574	45,300

(1) 市内全圏域に委託包括が設置され、当課によるケアプラン作成が実質なくなったため、R3から計上しなくなった。

事業名：介護保険事業特別会計（健康増進）に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	20	本年	2,743				2,743		2,743	100.0														
				前年	2,739				2,739		2,739	100.0														
				比較	4				4		4	-														
【参考】前々年度					3,089				3,089		3,089	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
繰出金					2,743																					
概要及び成果																										
<p>1 介護保険事業特別会計への繰出金 一般会計から介護保険事業特別会計へ地域支援事業費を繰り出す。市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%と定められている。</p> <p>【成果】 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰り出した。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防・日常生活支援総合事業</td> <td>千円</td> <td>2,743</td> <td>2,739</td> <td>3,089</td> <td>3,317</td> <td>2,948</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	介護予防・日常生活支援総合事業	千円	2,743	2,739	3,089	3,317	2,948
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
介護予防・日常生活支援総合事業	千円	2,743	2,739	3,089	3,317	2,948																				

事業名：介護保険低所得者負担対策に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	02	21	本年	2,208				2,208		571	25.9														
				前年	501		100		601		584	97.2														
				比較	1,707		100		1,607		13	-														
【参考】前々年度					101		500		601		331	55.1														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					571																					
概要及び成果																										
<p>1 介護保険低所得者負担対策事業 低所得者で特に生活が困難である方が、社会福祉法人等が実施する介護保険サービスを利用した場合、利用者負担が軽減される。軽減された利用料は、社会福祉法人等の負担となるため、一定額を超えた場合補助金を交付する。</p> <p>【成果】 社会福祉法人の利用者のうち、低所得者で特に生活が困難である方の負担を軽減することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉法人による減免利用者</td> <td>人</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	社会福祉法人による減免利用者	人	40	34	39	38	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
社会福祉法人による減免利用者	人	40	34	39	38	-																				

事業名：高齢者福祉推進に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	22	本年	6,528		1,595	901	4,032	1	3,843	95.3
				前年	149				149			0.0
				比較	6,379		1,595	901	3,883	1	3,843	-
【参考】前々年度				3,860	1			3,861		3,366	87.2	
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				232	需用費		5	委託料		3,606		
概要及び成果												
<p>1 つくば市高齢者福祉計画事業 老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。</p> <p>【成果】 高齢者福祉推進会議を2回開催し意見を聴取した上で、第9期計画策定に向けたアンケート調査を実施することができた。</p>												

事業名：老人福祉施設整備に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	23	本年	151,771	12,779		901	165,451	151,020	14,222	99.9
				前年	988	7,730	53,878	67	62,663	12,779	49,861	100.0
				比較	150,783	5,049	53,878	834	102,788	138,241	35,639	-
【参考】前々年度					57,952	304,640	57,410		420,002	7,730	410,487	99.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	192	需用費	64	委託料	286	負担金補助及び交付金	12,779
償還金利子及び割引料	901						

概要及び成果

- 1 地域密着型サービス整備費等補助事業
地域密着型サービス拠点等の整備を促進するため、県の施設整備補助金を活用して、事業者に補助金を交付する。
【成果】
第8期つくば市高齢者福祉計画に基づき、選定した施設整備事業者に整備の進捗状況を確認しながら、つくば市介護施設等整備費補助金の交付決定を行った。

- 2 施設指定及び指導監査業務
事業所の指定申請による指定を行う際、書類の審査及び現地確認等を実施した上で指定する。指定後は社会福祉課、介護保険課と共同で定期的な監査を行う。
【成果】
(1)社会福祉施設、居宅サービス及び地域密着型サービス事業所も含め、合計71か所の監査を行った。つくば市に指定権限のある全ての介護保険事業所を対象とした集団指導をウェブ掲載により実施した。
(2)地域密着型サービス運営委員会を3回開催した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
地域密着型サービス運営委員会	回	3	1	4	2	2

- 3 高齢者健康遊具事業
二の宮公園、荃崎運動公園、大池公園、梅園公園、谷田部多目的広場、花畑近隣公園、川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具の点検及び修繕を行う。
【成果】
11月に点検事業者による市内7か所の健康遊具の点検を実施し、高齢者が安全で快適に利用をすることができた。また、継続して高齢福祉課の窓口、各窓口センターにパンフレットを配置し、事業周知をした。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
点検委託料	円	286,000	286,000	286,000	286,000	263,520

事業名：介護施設支援に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	25	本年	3,961		59,300		63,261		61,232	96.8
				前年	4,161				4,161		2,544	61.1
				比較	200		59,300		59,100		58,688	-
【参考】前々年度					4,561				4,561		2,853	62.6

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	61,232
------------	--------

概要及び成果

1 つくば市介護人材確保事業

介護業界未経験者の方で、市内介護事業所に新規に就労する方に対し、一時金を助成する。
市内介護事業所に9か月以上就労している方で、介護職員初任者研修又は実務者研修を修了した者に研修費用の一部助成を行う。

【成果】

就労スタートアップフォロー給付金：35件（前年度比2件増）

キャリアアップ費用給付金：6件（前年度比3件減）

助成件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
就労スタートアップフォロー給付金	件	35	33	24	30	19
キャリアアップ費用給付金	件	6	9	13	5	14

2 要介護度改善ケア給付金交付事業

市内の特別養護老人ホーム（地域密着型含む）において、入所者の要介護度が改善された場合、要介護度の軽減に資するサービスの提供及び介護度改善に向けた取組を評価し、施設に給付金を交付する。

【成果】

申請者数について、昨年度は4施設（要介護度改善者数6名）であったが、今年度は5施設（要介護度改善者数6名）となった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成件数	件	6	6	18	17	-

3 看取り介護推進給付金交付事業

令和4年1月1日から12月31日までの間に、つくば市の介護保険の被保険者で、看取り介護加算の死亡日についての加算の対象者が入所していた施設において、翌年1月10日までに看取り介護死亡日加算の介護給付費等の請求を行った特別養護老人ホーム（地域密着型含む）に対し給付金を交付する。

【成果】

申請者数が、昨年度9施設（看取り数75名）であったが、今年度は14施設（看取り数91名）に増加した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成件数	件	91	75	56	53	-

4 介護サービス事業所等物価高騰対策支援金交付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格、物価高騰等の影響を受けている介護保険サービス事業所を運営する事業者の負担を軽減し、安定的かつ継続的な介護保険サービスの提供を支援するため、当該事業所を運営する事業者に対し、支援金を交付する。

【成果】

入所系51事業所、通所系68事業所、訪問系131事業所に交付した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付事業所数	件	250	-	-	-	-

事業名：成年後見制度推進事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	26	本年	5,642				5,642		5,481	97.1
				前年	5,577				5,577		5,408	97.0
				比較	65				65		73	-
【参考】前々年度					6,095				6,095		5,451	89.4

節別支出済額(単位:千円)

委託料	5,481
-----	-------

概要及び成果

1 成年後見制度推進事業

成年後見制度利用推進に向け、つくば市成年後見制度利用支援事業をつくば市社会福祉協議会に委託。中核機関業務（広報普及啓発、相談利用支援、受任者調整支援、市民後見人養成及び支援、後見人支援、地域連携ネットワーク構築）と法人後見業務（法人後見受任、後見監督人受任）を通して、安心して暮らし続けることができる地域づくりを促進する。また、市においても成年後見制度や権利擁護の相談に対応している。

【成果】

委託先のつくば市社会福祉協議会で設置している「つくば成年後見センター」（平成30年10月1日開設）と共に、市民や関係機関から相談を受け、対象者や家族、関係者、後見人等を支援し、つくば市における成年後見制度の利用を促進した。

権利擁護相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延件数	件	1,778	1,246	1,007	765	420

件数は全地域包括支援センター、障害者地域支援室、障害者支援事業所、つくば成年後見センターの合計

事業名：高齢者等買物支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	27	本年	4,000				4,000		4,000	100.0
				前年	4,000				4,000		4,000	100.0
				比較	0				0		0	-
【参考】前々年度							2,000		2,000		2,000	100.0

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	4,000
------------	-------

概要及び成果

1 高齢者等買物支援事業

身近な商店の減少や高齢化、移動の制約等により日常生活に必要な食料品及び日用品等の買物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援することを目的とし、移動販売事業者への補助を行う。

【成果】

移動販売事業者を公募し（株）カスミを選定した。市内2ルート（大穂店、万博記念公園駅前店）で移動販売を行った。
令和4年11月末からは3ルート目（学園の森店）が開始され、市内延べ151か所で販売を行った。

移動スーパーの利用者概数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
大穂店エリア利用者概数	人	13,000	15,000	9,000	-	-
万博記念公園駅前店エリア利用者概数	人	17,000	19,000	9,000	-	-
学園の森店エリア利用者概数	人	3,000	-	-	-	-

令和2年度の移動スーパーの利用者数は令和2年10月12日から令和3年3月末まで

事業名：身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	11	本年	5,521			237	5,758		5,583	97.0
				前年	5,291			208	5,499		5,303	96.4
				比較	230			29	259		280	-
【参考】前々年度					5,623				5,623		5,325	94.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	832	役務費	12	委託料	2,680	使用料及び賃借料	49
扶助費	2,010						

概要及び成果

1 身体障害者手帳認定交付事業

同手帳の交付申請に基づき、障害程度等級の審査及び認定を実施し、申請者に対して手帳を交付する。交付申請に必要な医師が作成する診断書の取得費用については、その一部を補助する。

【成果】

身体障害者手帳が交付されたことにより、補装具費の支給、日常生活用具の給付、有料道路通行料金割引制度、税の控除等が利用でき、障害者（児）及びその家族への経済的、精神的負担の軽減を図ることができた。

身体障害者手帳交付者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規申請者数	名	383	358	312	333	316
所持者数	名	5,101	5,106	5,076	5,054	5,039

診断書料補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人数	名	408	406	374	361	383
公費負担額	円	1,396,275	1,396,025	1,283,650	1,227,700	1,306,195

2 精神障害者保健福祉手帳に関する事業

同手帳の交付申請の受付及び茨城県が所管する茨城県精神保健福祉センターへ申請書類の進達を行い、県が発行した手帳を申請者に交付する。

交付申請に必要な医師が作成する診断書の取得費用については、初回のみ一部を補助する。

【成果】

ホームページに申請書類の様式を掲載し、申請者の利便を図った。

精神障害者保健福祉手帳を交付された人に、障害者福祉ガイドブックによるサービスの説明を行うことで、手帳所持者の経済的、精神的負担の軽減を図る制度があることを案内できた。

精神障害者保健福祉手帳交付者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
所持者数	名	1,923	1,658	1,476	1,365	1,195

診断書料補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人数	名	222	171	153	200	465
公費負担額	円	614,085	451,690	412,890	533,215	1,266,155

3 療育手帳の交付事務

同手帳の交付申請の受付や茨城県が所管する茨城県福祉相談センターが交付する療育手帳及び再判定結果確認通知書を手帳申請者に発行・送付する。

手帳の等級によって受けることができるサービスを説明し、案内する。

【成果】

療育手帳が交付された人に、障害者福祉ガイドブックを用いてサービス等の説明を行うことで、手帳所持者及びその家族に対して経済的、精神的負担の軽減を図ることができた。

療育手帳交付者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
所持者数	名	1,464	1,392	1,333	1,293	1,231

事業名：補装具の援助に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	12	本年	42,018		5,198	138	47,354		36,866	77.9
				前年	37,937		8,735		46,672		41,733	89.4
				比較	4,081		3,537	138	682		4,867	-
【参考】前々年度					36,117		7,412	3,791	47,320		43,046	91.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	97	負担金補助及び交付金	924	扶助費	35,845
-----	----	------------	-----	-----	--------

概要及び成果

1 身体障害者(児)補装具費(交付・修理)支給事業

失われた身体機能や障害のある部分を補完し、日常生活や労働を容易にする用具の交付・修理のための費用を支給する。

【成果】

補装具費を支給することで、身体障害者(児)及び難病患者の職業その他日常生活の能率向上を図ることができた。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
肢体不自由	件	251	217	214	247	224
視覚障害	件	11	12	14	14	16
聴覚障害	件	73	76	79	77	75
計	件	335	305	307	338	315
公費負担額	円	35,845,325	41,316,791	42,355,230	42,130,287	34,378,732

支給内容については、肢体不自由：義肢、装具、車椅子、座位保持装置など、視覚障害：視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、聴覚障害：補聴器、人工内耳(修理)

2 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助金交付事業

身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器、イヤモールド及び補聴援助システムの購入に必要な費用の一部を補助する。

補助金請求書に基づき、算定基礎額の2/3を補助する。

負担割合：申請者1/3、県1/3、市1/3

【成果】

補聴器等の購入に必要な費用の一部を補助することにより、難聴児の言語の習得及び健全な発達の支援を図れ、また保護者の経済的負担を軽減することができた。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	14	9	15	10	6
公費負担額	円	924,000	319,000	586,000	304,000	188,000

事業名：日常生活の援助に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	13	本年	44,615			458	44,157		39,888	90.3
				前年	44,525			834	43,691		38,881	89.0
				比較	90			376	466		1,007	-
【参考】前々年度					42,792		100	2,000	40,892		37,630	92.0

節別支出済額(単位:千円)

備品購入費	34	負担金補助及び交付金	231	扶助費	39,624
-------	----	------------	-----	-----	--------

概要及び成果

1 日常生活用具等の給付事業

在宅の身体障害者(児)、知的障害者(児)及び精神障害者(児)に、日常生活に必要なものを給付する。(一部入院・入所中でも認められる用具がある。)

給付条件については、給付種目ごとに定められており、助成額は基本的に9割で、品目によって定められた基準額を超える場合、実際の商品金額との差額は自己負担となる。

【成果】

日常生活用具を給付することにより、利用者の経済的負担を軽減し、より快適かつ自立した生活への手助けとなった。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	3,941	3,833	3,838	3,868	3,605
公費負担額	円	39,555,717	38,727,547	37,418,236	36,679,189	36,011,261

2 身体障害者紙おむつ購入費助成事業

在宅の重度身体障害者に対し、紙おむつ購入費用の一部を助成するための助成券を発行する。

対象者1名につき16,000円の助成額

年度中1回の交付

【成果】

在宅の重度身体障害者に紙おむつ購入費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図ることができた。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	6	7	7	7	5
公費負担額	円	68,000	107,205	111,385	111,238	54,708

3 重度障害者(児)住宅リフォーム助成事業

重度障害者(児)の居住する住宅をその重度障害者(児)に適するように改良する工事を行うにあたり、申請後に職員が事前に実地調査を行い、補助を決定する。工事完了後に実績報告書を提出してもらい、申請内容と相違がなければ補助金を交付する。

補助金は対象工事費の3/4で、上限262,000円である。

【成果】

1件の支給決定をした。リフォームすることにより移動が円滑に行えるようになり、自立した生活への手助けとなった。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	1	0	0	0	1
公費負担額	円	230,835	0	0	0	262,000

4 身体障害者（児）住宅整備資金貸付事業

心身障害者世帯又は心身障害者と同居する世帯で、障害者の専用居室・浴室・トイレ・廊下などを改築する際の資金を貸し付ける。

貸付額は一戸当たり2,020,000円以内（利息3%）

【成果】

住宅整備資金を必要とする人に、制度の案内を行えるような体制ができている。

5 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

利用者の経済的負担を軽減し、より快適かつ自立した生活への手助けとする。

【成果】

決定件数：0件

相談は数件あったが、障害者日常生活用具等の給付事業を利用することとなった。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	0	1	-	-	-
公費負担額	円	0	38,550	-	-	-

事業名：社会参加の促進に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	14	本年	15,397		4,246		11,151		8,553	76.7
				前年	14,879		4,759	1,334	8,786	7,099	80.8	
				比較	518		513	1,334	2,365	1,454	-	
【参考】前々年度					16,396		5,318		11,078		6,549	59.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	15	需用費	92	役務費	22	委託料	7,534
使用料及び賃借料	89	負担金補助及び交付金	501	扶助費	300		

概要及び成果

1 チャレンジアートフェスティバル事業

障害者(児)の社会参加促進事業として、当事者が制作した作品展示及び演劇等による舞台発表を実施するもの。事業は障害者(児)の芸術活動を支援する学識経験者や事業所等で構成する実行委員会方式により行う。

【成果】

三年振りに舞台発表をつくばカピオで開催することができ、来場者数は518名であった。作品展示はつくば美術館で実施し、来館者は1,535名であった。作品の制作を通じて障害者(児)の社会参加の促進を行い、美術館に展示することで市民に向けて障害福祉に対する理解の推進を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加・来場者数(延べ)	人	2,053	2,139	1,800	1,556	4,502
(内)障害者関係参加者数(延べ)	人	873	825	736	817	3,316

令和元年度、2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため作品展示のみの実施

2 おひさまサンサンフェスティバル事業

「高齢者いきいきまつり事業」との合同開催により、「おひさまサンサン生き生きまつり事業」として実施している。

団体競技種目、個人競争種目及び個人自由参加型種目の各競技種目を実施し、同時に高齢者及び障害者等の作品展示および物品販売やアトラクションとして市内協力団体等による発表を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止したが、次年度以降の実施を検討するための委員会を開催し、今後の感染状況や社会情勢を見据えた開催方法等を協議し、次年度以降の実施に向けた方針等を共有できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加・来場者数(延べ)	人	0	0	0	1,225	1,605
(内)障害者関係参加者数(延べ)	人	0	0	0	478	706
会場		開催中止	開催中止	開催中止	桜総合体育館	研究学園駅前公園

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止。

3 奉仕員等養成研修事業

希望する市民に、厚生労働省のカリキュラム等による手話奉仕員、要約筆記奉仕員、点訳奉仕員及び朗読奉仕員の養成講座を行い、奉仕員を養成する。

【成果】

聴覚障害者や視覚障害者の支援員として、奉仕員を養成し、障害者等の福祉の増進を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修了者数	人	41	44	40	47	44

4 障害者団体等支援事業

障害者団体育成及び社会参加の促進のため、つくば聴覚障害者協会補助事業、就学学習会事業に対して、補助交付要項に基づき、補助金に関する事業を行う。

【成果】

つくば市補助金等交付適正化規則及び交付要項に基づき、適正な執行を行い、団体等に属する障害者の社会参加の促進が図られた。

5 身体障害者自動車改造費・運転免許取得費補助事業

障害者自身が運転するために必要な自動車改造費又は自動車運転免許の取得費について、実施要綱に基づき、その費用の一部を補助する。

【成果】

障害者自身が運転するために必要な自動車改造費及び自動車運転免許取得費について、その費用の一部を助成することで、就労機会の促進を図ることができた。

自動車改造費補助交付状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	2	3	1	1	2
交付額	円	200,000	300,000	100,000	100,000	146,440

運転免許取得費補助交付状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	1	3	0	1	2
交付額	円	100,000	300,000	0	100,000	200,000

6 体験乗馬療法事業

障害者（児）及び小学部6年生までを対象とし、ポニー等による体験乗馬療法を実施する。まつりつくば内、ふれあい広場会場（中央公園）にて実施する。

【成果】

チャレンジアートフェスティバルにおいて開催し、大清水公園にて実施した。動物とのふれあいを通じて、障害者（児）の社会参加の推進を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数(延べ)	人	337	0	0	418	403

7 いす式階段昇降機保守事業

いす式階段昇降機保守管理（法期点検1回・定期点検年3回）を実施する。

設置場所：大穂交流センター・谷田部老人福祉センター・桜総合体育館・市民ホールつくばね

【成果】

保守点検を定期的に行うことにより、安全に使用することができた。

8 障害児運動教室事業

スポーツをとおして、障害児の体力の増強、他者との交流の促進、余暇の充実等を図ることを目的に実施する。また、集団活動を行うことで社会生活の基盤を築き、自立と社会参加の促進を図る。

【成果】

運動教室を開催することで、障害児の体力増強、交流、余暇活動の充実を図ることができた。今年度は全10回開催できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数(延べ)	人	204	132	125	192	176

9 生活支援事業

精神障害者等に対し、日常生活の支援や相談及び創作的活動又は生産活動の機会を提供するなど、社会との交流促進等の便宜を供与する。

生活支援事業として土浦市にある、ほびき園へ委託している。

【成果】

つくば市からの事業利用者が、適切な費用負担により社会参加の促進が行われている。

10 音声誘導装置保守事業

つくば駅周辺に設置してある音声誘導装置6箇所音声誘導標識システムを設置し、委託業者による保守管理の実施及び職員による自主管理を行う。(エキスポセンター入口、アルス正面玄関前、中央公園入口、ノバホール入口、ノバホール玄関入口、クレオ・モグ入口)

【成果】

保守点検を定期的実施することにより、安全に使用することができた。

11 合理的配慮支援事業補助金

商業事業者等が行う合理的配慮の提供のための物品購入費に費用の全部又は一部を助成する。

【成果】

前年度に制度の事業の周知に注力した結果、前年度と比較して相談と交付の件数が増加した。継続的な周知活動として、商工会会報への制度案内の掲載、筑波山周辺の観光客等の利用が見込まれそうな路面店舗を中心に制度のチラシと筆談ボードや合理的配慮を示すステッカーを配布をした。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給決定数	件	4	0	1	2	2
支給決定実績額	円	392,548	0	33,980	200,000	53,420

12 障害者の生活基盤確保と就労支援

つくば市障害者雇用促進協議会を開催し、ハローワークと連携した事業を行うことで、就労する意欲のある障害者に対して必要な情報を提供する。

【成果】

障害者雇用に関する多くの関係機関が集う事業のため、感染症拡大防止の観点から事業を中止した。

13 障害者就労施設等の活動 P R

行政機関が率先して障害者就労施設等からの物品及び役務の調達を推進する。

【成果】

障害者就労施設等からの提供可能物品一覧をまとめ、庁内に共有することで、一定の調達結果を得た。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
調達実績額	円	5,717,008	6,771,678	5,969,734	8,110,835	6,593,138

事業名：特別障害者手当等支給に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	15	本年	129,454		107		129,561		126,178	97.4
				前年	123,633		3,393		127,026		123,799	97.5
				比較	5,821		3,286		2,535		2,379	-
【参考】前々年度				120,879		234		121,113		120,142	99.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	278	役務費	20	委託料	1,201	扶助費	124,573
償還金利息及び割引料	106						

概要及び成果

1 特別障害者手当等支給事務

特別障害者手当、障害児福祉手当、在宅障害児福祉手当は認定、支給事務を行う。経過的福祉手当は支給のみ。特別児童扶養手当は県から委託されている各種申請に関わる事務を行う。(受給者の認定・手当の支払い等は県で行っている。)

特別障害者手当：精神又は身体に著しく重度の障害が重複する又は最重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の方に支給

障害児福祉手当：療育手帳の判定がマルA又は同程度の障害、身体障害者手帳1級又は同程度の障害のため、日常生活において常時介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方に支給

経過的福祉手当：昭和61年3月31日において20歳以上で、従来の福祉手当の受給者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、障害基礎年金も支給されない重度障害者に支給

在宅障害児福祉手当：療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害、身体障害者手帳1～3級程度の障害(内部疾患を含む)、下肢4級の一部のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を養育している保護者(同居者)に支給

特別児童扶養手当：療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害、身体障害者手帳1～3級程度の障害(内部疾患を含む)、下肢4級の一部のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を扶養している保護者(同居者)に支給

【成果】

身体又は精神に重度の障害を有する在宅の障害者(児)及び障害児を扶養している養育者の、日常生活における経済的負担の軽減を図ることができた。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
特別障害者手当	名	90	93	96	84	85
障害児福祉手当	名	108	117	122	124	140
経過的福祉手当	名	2	4	4	4	4
在宅障害児福祉手当	名	418	429	398	362	349
特別児童扶養手当	名	446	421	413	408	405

2 難病患者福祉金支給事務

県が指定する338種類の指定難病患者及び4種類の一般特定疾患患者に月額3,000円の福祉金を支給する。

【成果】

難病患者に対し福祉金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができた。

支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
難病患者福祉金	名	1,639	1,578	1,462	1,355	1,268

事業名：障害福祉サービスに要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	16	本年	4,893,493		85,117		4,978,610		4,828,948	97.0
				前年	4,119,680		218,900		4,338,580		4,246,002	97.9
				比較	773,813		133,783		640,030		582,946	-
【参考】前々年度				3,663,991		200,454		3,864,445		3,833,098	99.2	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,440	旅費	156	需用費	435	役務費	8,606
委託料	1,767	使用料及び賃借料	924	負担金補助及び交付金	42,350	扶助費	4,735,004
償還金利子及び割引料	38,267						

概要及び成果

1 障害福祉サービス事業

申請者の心身の状況や環境、障害福祉サービス利用に関する意向等の事情を勘案して作成されるサービス利用計画等に基づいて、障害福祉サービス等の支給決定を行う。

障害福祉サービス等は、介護等の支援を受ける「介護給付」と、訓練等の支援を受ける「訓練等給付」、相談支援員から助言を受けられる「計画相談支援」に大別されている。

【成果】

障害福祉サービスを必要とする申請者に対して、適切な内容のサービスを支給決定できた。

- ・支給決定者 1,465人
- ・支給決定件数 訪問系サービス 304件、日中活動系サービス 1,636件、施設系サービス 417件、計画相談支援 1,317件

障害福祉サービス実績(各年度2月1日現在)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
居宅介護	件	235	203	180	166	147
重度訪問介護	件	32	29	24	23	21
行動援護	件	11	10	10	9	0
同行援護	件	26	23	23	20	9
重度障害者等包括支援	件	0	0	0	0	0
療養介護	件	12	12	11	9	10
生活介護	件	336	323	313	300	282
短期入所	件	501	483	462	462	436
施設入所支援	件	141	145	147	144	140
宿泊型自立訓練	件	4	2	2	4	6
自立訓練(機能訓練)	件	12	14	14	19	19
自立訓練(生活訓練)	件	40	35	45	35	28
就労移行支援	件	89	73	65	80	69
就労継続支援A型	件	115	98	81	61	82
就労継続支援B型	件	517	439	402	366	338
就労定着支援	件	22	23	20	15	4
自立生活援助	件	2	0	0	0	0
共同生活援助	件	260	213	187	156	135
計画相談支援	件	1,317	1,174	1,096	1,010	946
地域移行支援	件	1	1	0	0	0
地域定着支援	件	1	1	2	2	3

2 障害児通所支援事業

「児童発達支援（就学前の児童）」、「放課後等デイサービス（就学後の児童）」等の利用を必要とする障害児に対して、申請に基づき、認定調査を実施した上で支給決定を行う。

【成果】

申請に基づき、必要なサービスを支給決定することができた。

- ・支給決定者数 1,377人

障害児通所支援実績（各年度2月1日現在）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
児童発達支援	件	570	515	456	388	351
放課後等デイサービス	件	803	686	595	545	478
保育所等訪問支援	件	108	82	45	3	2
居宅訪問型児童発達支援	件	0	0	0	0	0
障害児相談支援	件	328	242	186	144	103

3 障害支援区分認定事業

障害福祉サービスを必要とする方を対象に、認定調査員による面接及び障害支援区分認定調査を行う。その認定調査結果と医師意見書を基に、市町村審査会に審査判定を依頼する。

審査会による審査判定結果に基づき、障害支援区分の認定と障害福祉サービスの支給決定を行い、サービス利用までの一連の事務を行う。

【成果】

障害支援区分を認定することで、適正なサービスの利用につなげることができた。

- ・障害支援区分認定審査会開催回数 12回/年
- ・障害支援区分認定調査件数 394件（うち業務委託件数137件）
- ・茨城県障害支援区分認定審査会委員研修 1回

障害支援区分認定審査会実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	12	12	12	12	12
審査判定件数	件	394	357	289	291	302

4 重度障害者等就労支援特別事業

重度障害者等に対して、通勤における支援及び職場等における支援を行うことにより、就労機会の拡大・就労継続をサポートする。

【成果】

利用者 1名

年間を通して、利用者の就労を支援することができた。

重度障害者等就労支援特別事業実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	1	-	-	-	-

事業名：心身障害者扶養共済に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	17	本年	8,940				8,940		8,590	96.1
				前年	8,460			360	8,820		8,800	99.8
				比較	480			360	120		210	-
【参考】前々年度					8,880				8,880		8,560	96.4
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費					8,590							
概要及び成果												
<p>1 心身障害者扶養共済年金 障害者を扶養している保護者から毎月一定の掛金を納めてもらい、保護者に万一のこと（死亡又は重度障害）があったときに、障害のある方に終身一定の年金を支給する。</p> <p>【成果】 年金受給者に対しては、年金の支給を行うことにより生活の安定に資することができた。また、加入者に対しては、障害者の将来に対する不安軽減を図ることができた。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
加入者					人	68	57	54	57	58		
年金受給者					人	25	27	28	28	28		
年金支給額					千円	8,510	8,800	8,560	8,900	8,310		

事業名：地域生活支援に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	18	本年	135,026		1,354		133,672		110,702	82.8
				前年	110,862		2,223	292	113,377	109,001	96.1	
				比較	24,164		3,577	292	20,295	1,701	-	
【参考】前々年度				107,403		115	410	107,108		99,287	92.7	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,927	報償費	228	旅費	106	需用費	626
役務費	195	委託料	33,102	使用料及び賃借料	38	負担金補助及び交付金	67
扶助費	74,252	償還金利息及び割引料	146	公課費	15		

概要及び成果

- 1 障害者日中一時預かりサービス利用費助成事業
介護する家族が、施設等において、障害者（児）を一時的（宿泊を伴わない）に預けるサービスを利用した際に要する費用の助成を行う。

【成果】

障害者（児）を在宅で介護する家族の一時的の休息等を確保し、身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給決定者	人	592	559	539	510	460
延べ実施回数	回	23,437	23,812	20,802	20,327	18,888

- 2 障害者移動支援サービス利用費助成事業
障害者（児）の外出に際して、ヘルパーが付添介護をした際に要する費用の助成を行う。

【成果】

移動支援サービスの利用を促進し、障害者（児）の社会参加の機会拡大や日常生活及び余暇時間の充実に図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給決定者	人	96	84	95	91	80
延べ実施回数	回	684	560	489	547	585

- 3 重度身体障害者訪問入浴サービス利用費助成事業
家庭において介護なしでは入浴することが困難な重度身体障害者（児）が、訪問入浴サービスを利用した際に要する費用の助成を行う。

【成果】

在宅の重度身体障害者（児）の健康保持並びに介助に係る家族に身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給決定者	人	23	24	23	22	22
延べ実施回数	回	1,494	1,624	1,498	1,329	1,305

- 4 重度障害者入院時コミュニケーション支援事業
重度障害者のうち、意思疎通が困難で、かつ介護者がいない方が医療機関に入院する場合に、日頃から本人を介護し、本人の意思を医療機関従事者等に伝えることができる方をコミュニケーション支援員として医療機関に派遣する費用を助成する。

【成果】

事業について周知が図られた。

利用件数 0件

5 障害者福祉タクシー利用料金助成事業

障害者（児）が外出する際に1枚500円（1回の乗車につき3枚まで）の運賃を助成する。年間36枚（じん臓機能障害者で人工透析を行っている方は108枚）交付する。

【成果】

タクシー運賃料金の一部を助成することにより、障害者（児）の日常生活の利便性の向上や社会参加に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付冊数	冊	893	817	696	753	609
利用枚数	枚	14,972	10,616	9,369	10,544	5,417

平成30年度までは初乗り運賃（24枚綴り）の助成、令和元年度からは500円券（36枚綴り）に変更。

6 地域活動支援センター 型事業

地域において自立した日常・社会生活を営むことができるように、通所にて創作活動や生産活動の機会を提供して社会との交流の促進を図るとともに、障害者相談支援事業を行い、日常生活に必要な便宜の供与を行う事業。

【成果】

R4年度利用者数実績（延べ利用者数）

2,712名（型通所利用）+ 1,484名（相談）= 4,196名

在宅における精神障害者等に対して、創作的活動または生産活動の機会を提供を行い、あわせて、相談支援事業を実施することにより、障害者の地域生活支援の促進を図ることができた。

地域活動支援センター 型事業利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一日当たり施設利用者数	人	11	17	20	24	27

地域活動支援センター 型事業延べ利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間延べ利用者数	人	4,196	4,676	4,980	6,405	7,335

委託先（福）創志会 つくばライフサポートセンターみどりの

7 地域活動支援センター 型事業

地域において自立した日常・社会生活を営むことができるように、通所にて創作活動や生産活動の機会を提供、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行う事業。

【成果】

R4年度利用者数実績（延べ利用者数）

3,015名（型通所利用）+ 1,020名（相談）= 4,035名

在宅における精神障害者に対して、創作的活動または生産活動の機会の提供や、社会との交流の促進等の便宜を供与できた。

地域活動支援センター 型事業利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一日当たり施設利用者数	人	15	17	14	17	19

地域活動支援センター 型事業延べ利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間延べ利用者数	人	4,035	4,598	3,674	4,223	4,581

委託先（福）ゆっくら 地域活動支援センターわかば

8 意思疎通支援事業

聴覚障害者等が社会生活において意思疎通を必要とする、医療機関における受診、財産管理に係る相談、公共機関における手続き、社会参加のための講習会などの場に、手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣して情報保障をするもの。また、市庁舎での各種手続きにおける情報保障を行うため手話通訳者を設置する。

【成果】

手話通訳者及び要約筆記者を派遣することにより、聴覚障害者の社会参加の機会拡大を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
手話通訳者派遣数	件	471	425	351	385	375
要約筆記者派遣数	件	30	45	23	43	18

9 障害福祉計画策定事業

障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」、児童福祉法に基づく「障害児福祉計画」（3か年計画）、障害者基本法に基づく「障害者計画」を策定する。

【成果】

第3次障害者計画の中間見直しと第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定に向け、市民委員を公募し、アンケート調査等を行った。

10 理学・作業・言語療法指導事業（理学・作業療法指導事業）

地域活動支援事業や児童発達支援事業において、機能訓練指導、職員の指導、保護者への指導等を行う。

【成果】

- ・4か所の福祉支援センターにて、機能訓練指導を実施し、福祉支援センター利用者の心身機能の維持、向上、また機能低下を遅らせることができた。
- ・福祉支援センター職員専門研修会を4回実施し、研修後に各自の行動目標を記入する「ふりかえりシート」を作成し、研修内容を業務に活用することを促すことができた。

機能訓練指導実施者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指導実施延べ人数	人	2,355	2,697	3,071	5,968	5,654

11 重度障害者ICカード乗車券運賃助成事業

重度障害者の外出を支援し、重度障害者の社会参加の促進を図る。

【成果】

鉄道やバスの利用運賃を助成することにより、障害者の日常生活の利便性の向上や社会参加に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請者数	人	23	-	-	-	-

事業名：自立支援医療等に要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	19	本年	198,906		6,270	83	205,259		200,806	97.8
				前年	199,169		4,658	144	203,971		192,309	94.3
				比較	263		1,612	61	1,288		8,497	-
【参考】前々年度					196,968			1,791	195,177		186,378	95.5

節別支出済額(単位:千円)

役務費	1,200	委託料	660	扶助費	192,676	償還金利子及び割引料	6,269
-----	-------	-----	-----	-----	---------	------------	-------

概要及び成果

1 更生医療給付事業

更生のために医療が必要な身体障害者に対し、特定の医療（対象となる医療が障害別に定められている。）を受けた場合の医療費総額の自己負担分3割の内、2割を（生活保護受給者は10割）公費で助成する。

【成果】

身体障害者手帳に記載された障害を改善、軽減させる医療に対して、医療費を助成することにより、医療費の負担を軽減することができた。

給付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	315	299	253	166	69
公費負担額	円	192,340,583	184,788,398	183,920,277	178,070,803	163,760,190

2 育成医療給付事業

医療が必要な児童に対し、特定の医療（対象となる医療が障害別に定められている。）を受けた場合の医療費総額の自己負担分3割のうち、2割を（生活保護者は10割）公費で助成する。

【成果】

対象となる医療を受ける児童の保護者に対して医療費を助成することで、医療費の負担を軽減することができた。

給付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	9	25	22	22	27
公費負担額	円	335,657	1,099,818	1,180,821	2,412,207	2,139,059

3 精神通院医療給付事業

自立支援医療受給者証の交付申請の受付及び茨城県が所管する茨城県精神保健福祉センターへ申請書類の進達を行う。

県が発行した受給者証を申請者に交付する。

【成果】

受給者証を交付することで、精神医療を受診する人の通院医療費の自己負担を軽減できた。

受給者証交付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	3,494	3,285	3,185	2,731	2,507

事業名：福祉相談に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	20	本年	27,648				27,648		25,741	93.1
				前年	29,559			327	29,886		28,260	94.6
				比較	1,911			327	2,238		2,519	-
【参考】前々年度					32,663		134		32,529		29,418	90.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	407	需用費	117	役務費	44	委託料	24,658
負担金補助及び交付金	35	扶助費	480				

概要及び成果

1 福祉相談事業(直営)

職員、委託する身体障害者相談員、知的障害者相談員が当事者等から相談を受け、内容に応じて適切な関係機関、関係各課等の支援、手続き担当者につないだり(連絡・調整)、情報提供や助言などの支援を行う。

【成果】

相談者を適宜、関係機関等へつなげることができた。

相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来庁	件	42	56	23	63	68
電話	件	50	125	117	200	163
訪問	件	21	28	23	29	31
計	件	113	209	163	292	262

2 福祉相談支援事業(委託)

市内4か所の指定相談支援事業者に委託し実施。月曜日から金曜日まで(祝日除く)、相談窓口として相談支援員を配置し、障害者等へ情報提供や助言を行い、生活全般をサポートする。

【成果】

直営の福祉相談事業と市内委託相談支援事業所とが連携し、各地域で相談支援を実施することができた。

相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来所	件	568	317	229	406	435
電話	件	5,280	5,052	4,191	3,194	2,892
訪問	件	1,610	1,486	1,558	2,116	1,840
計	件	7,529	6,855	5,978	5,716	5,167

3 障害者虐待防止事業

地域における関係機関等の協力体制の整備・充実を図るとともに、家庭訪問等個別支援事業、普及啓発事業により、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応及びその後の適切な支援を行う。

【成果】

障害者虐待防止に対する体制を整備し、市民等からの通報があった際には迅速に行動し、適切な初動対応をとることができた。

障害者虐待防止センター通報実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
通報件数	件	13	11	8	6	5
(うち虐待であった件数)	件	2	1	0	1	-

4 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の市長申立てに要する経費（登記手数料、鑑定費用等）及び成年後見人等の報酬を支給する。

【成果】

成年後見制度の周知普及と市町村申し立ての実務体制整備により、障害者の権利擁護を行い、生活の安心・安全を図ることができた。

審判請求費用・報酬助成金支給件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給件数	件	2	3	3	-	-

5 成年後見制度推進事業

成年後見制度の普及啓発、利用支援、法人後見の受任、市民後見人養成及びその支援、後見監督人の受任を行う。

【成果】

相談体制や後見人支援等支援体制を強化することができ、また市民後見人のフォローアップを行うことができた。

6 発達障害相談支援事業

臨床心理士・臨床発達心理士等により、発達の気になる児童とその保護者に対し相談や検査を実施し、障害の早期発見・早期支援のための助言・支援等を行う。また、関係機関の職員等に対し助言等の支援や、関係機関との連絡調整を行う。

【成果】

庁舎内や子育て支援センター、保健センターなどで相談の受け入れをしており、関係各部署とも連携を図りながら相談を実施することができた。また、保護者支援として、ペアレントトレーニングとペアレントメンターグループ相談会をそれぞれ2回実施できた。

発達障害巡回相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
個別相談(来庁・電話)	件	84	241	209	327	382
巡回相談	件	311	199	217	826	906
計	件	395	440	426	1,153	1,288
(うち発達検査・知能検査数)	件	10	24	39	217	284

件数は延べ件数

7 障害者自立支援協議会

障害者が地域で自立した生活を送るための支援体制等の課題について、情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う。

【成果】

- ・全体会 1回
- ・専門部会 6回（おとな部会 3回、子ども部会 3回）
- ・事務局会議 6回
- ・プロジェクト会議 3回

部会では子育てサポートブックの配布に向けて、記載内容や構成について協議を行った。また、プロジェクト会議では、物品販売の庁舎内店舗設置等を目指し、試験的に「つくば市福祉の店」を開催した。

事業名：児童発達支援センターに要する経費

福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
03	01	03	21	本年	547	9,270			9,817		267	2.7																												
				前年	9,616				9,616	9,270	82	97.3																												
				比較	9,069	9,270			201	9,270	185	-																												
【参考】前々年度					486		54		432		57	13.1																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
報償費				12	需用費		123	委託料		99	負担金補助及び交付金		33																											
概要及び成果																																								
<p>1 児童発達支援センター事業 障害児に対する療育訓練と保護者への支援を包括的に実施する上で、中核的役割をもつ児童発達支援センターを設置する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月にペアレントメンター活用事業を開始した。 ・早期支援クラスの開始に向けて、課内担当者での協議を進めた。 ・筑波大学が事業者の公募を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で応募締切を延長しており、事業スケジュールが遅れているが、必要な事業については、順次進めることができた。 																																								
<p>2 障害児相談支援事業 障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）等を申請した障害児に対して、障害児利用支援計画の作成をし、一定期間ごとに利用計画等の再評価（モニタリング）等の支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>相談者を適切なサービス等につなぐため、児童発達支援事業所や放課後等デイサービスの視察や、地域の相談支援事業所と情報交換を行う等で連携を図ることができた。</p> <p>相談支援件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本相談</td> <td>1 件</td> <td>80</td> <td>48</td> <td>28</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計画相談</td> <td>2 件</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>継続相談支援</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 基本相談を実施した延べ件数 2 計画変更も含む</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	基本相談	1 件	80	48	28	-	-	計画相談	2 件	7	6	7	-	-	継続相談支援	件	7	12	11	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
基本相談	1 件	80	48	28	-	-																																		
計画相談	2 件	7	6	7	-	-																																		
継続相談支援	件	7	12	11	-	-																																		
<p>3 保育所等訪問支援事業（福祉支援センターとよさと） 発達に配慮が必要な児童に対し、保育所や幼稚園等において、集団参加や社会性等に関する支援を行うことにより集団生活の適応を図り社会参加を促進する。</p> <p>【成果】</p> <p>保育所や幼稚園等、関係機関への事業周知を行うことで、対象児の支援が円滑に行えるようになった。</p> <p>保育所等訪問支援実施人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所等訪問支援</td> <td>人</td> <td>49</td> <td>8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>年間で保育所等訪問支援を実施した延べ人数</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	保育所等訪問支援	人	49	8	-	-	-														
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
保育所等訪問支援	人	49	8	-	-	-																																		

事業名：後期高齢者医療に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	04	11	本年	2,190,002		7,461		2,197,463		2,175,640	99.0
				前年	2,080,380		7,971		2,088,351		2,059,850	98.6
				比較	109,622		510		109,112		115,790	-
【参考】前々年度				1,960,296		63,685		2,023,981		2,009,533	99.3	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	936	役務費	4,959	委託料	50,890	使用料及び賃借料	693
負担金補助及び交付金	1,693,181	償還金利子及び割引料	105	繰出金	424,876		

概要及び成果

1 後期高齢者医療事務

医療費給付等を行うために茨城県後期高齢者医療広域連合へ負担金を納付
後期高齢者医療被保険者に対して人間ドックや健康診査の受診機会を提供

【成果】

後期高齢者の健康診査として、市の集団健診を実施（感染防止対策のため予約制とし、1日当たりの健診人数を制限して43日間実施）したほか、医療機関健診、人間ドック、脳ドック等の受診者に対する助成を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
特別会計への繰出金	千円	424,876	400,289	391,815	337,648	351,278
広域連合への負担金	千円	1,680,566	1,594,576	1,539,329	1,511,165	1,481,842

(1) 高齢者健康診査受診率

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市受診率	%	22.63	21.87	18.77	32.27	31.36

(2) 人間ドック等助成

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人間ドック	人	608	459	352	350	343
脳ドック	人	79	71	39	15	19

事業名：医療福祉費支給に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	05	11	本年	1,862,274		98,649		1,960,923		1,915,035	97.7
				前年	1,629,362		121,832		1,751,194		1,696,867	96.9
				比較	232,912		23,183		209,729		218,168	-
【参考】前々年度				1,721,690		4,327		1,726,017		1,491,598	86.4	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	2	需用費	995	役務費	47,508	委託料	7,217
扶助費	1,859,313						

概要及び成果

1 医療福祉費支給事業

- (1)小児(外来:小学6年生まで・入院:高校3年生相当まで)・ひとり親家庭・妊産婦・重度心身障害者などが、医療保険で医療機関にかかった場合の一部負担金相当額について、茨城県制度により助成(所得制限有り)している。
- (2)小児(高校3年生相当まで)で、所得制限により県制度が非該当の方と、中学生・高校生の外来については、つくば市独自により助成している。
- (3)医療機関から請求されるレセプト(診療報酬明細書)の審査及び医療福祉費の支払い事務を県国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託し、それに伴う手数料の支払いをしている。

【成果】

県制度 受給者数は各年度末

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受給者数	人	44,052	43,786	43,078	42,625	42,487
医療費助成額	千円	1,461,383	1,386,510	1,218,240	1,375,979	1,346,950
審査支払手数料	千円	32,072	27,843	24,050	29,858	30,320

市独自制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受給者数	人	18,985	12,343	11,862	11,444	10,996
うち県制度重複受給者	人	8,721	4,723	4,484	4,334	4,302
医療費助成額	千円	397,930	262,733	226,688	260,001	239,492
審査支払手数料	千円	10,570	6,817	5,871	7,200	7,092

- ・平成30年10月1日に県制度において高校3年生相当までの入院が新たに対象となった。
- ・平成31年4月1日に県制度において精神障害者保健福祉手帳1級所持者が新たに対象となった。
- ・令和4年4月1日に市独自制度による高校生の外来及び高校生の入院で県制度非該当者(所得制限)への助成を開始した。

事業名：国民年金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	06	11	本年	10,247				10,247		9,642	94.1
				前年	10,319				10,319		9,633	93.4
				比較	72				72		9	-
【参考】前々年度					10,569		89		10,480		9,595	91.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,464	職員手当等	895	旅費	383	需用費	796
役務費	105						

概要及び成果

1 国民年金事務

法令の規定に基づく法定受託事務と国との協力・連携事務である国民年金適用関係届出、給付関係届出、国民年金保険料免除申請、国民年金保険料学生納付特例申請の相談、受付業務や広報等を行う。

【成果】

国民年金被保険者関係届出事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
国民年金被保険者関係届出事務	件	7,088	5,650	5,794	6,683	7,058

裁定請求受付事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
老齢基礎年金	件	18	14	25	30	35
障害基礎年金	件	85	95	90	86	83
遺族基礎年金	件	1	3	0	3	1
寡婦年金	件	1	1	0	1	1
死亡一時金	件	18	15	20	13	18

申請免除事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請免除事務	件	3,403	2,388	2,804	5,425	5,753

学生納付特例申請事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
学生納付特例申請事務	件	2,041	2,031	2,298	4,477	5,564

外国からの転入者が増加したことにより、窓口での関係届出書及び申請免除届出件数が増となった。

事業名：民間団体活動に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)								
03	01	07	11	本年	4,150				4,150		4,100	98.8								
				前年	4,150				4,150		4,100	98.8								
				比較	0				0		0	-								
【参考】前々年度					4,150				4,150		4,150	100.0								
節別支出済額(単位:千円)																				
負担金補助及び交付金					4,100															
概要及び成果																				
<p>1 人権啓発推進支援事業</p> <p>部落の完全解放と基本的人権の確立のため、人権・同和問題の正しい理解と認識を深める啓発活動を推進する民間運動団体で、かつ茨城県が対応している団体(市内4支部)を支援し、人権・同和問題の早期解決と差別意識の解消を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>民間運動団体は、部落差別の解消を図るべく自主的に活動する団体であり、同和問題の解決に貢献し、多くの成果をもたらしてきている。行政が実施困難な同和関係者の自立に向けた支援や相談、教育、啓発等を行い、効果は着実に表れてきている。</p> <p>補助金額内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">2,150,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部</td> <td style="text-align: right;">900,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会 桜支部</td> <td style="text-align: right;">900,000円</td> </tr> <tr> <td>茨城県地域人権運動連合会 つくば支部</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> </table>													部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部	2,150,000円	全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部	900,000円	全日本同和会茨城県連合会 桜支部	900,000円	茨城県地域人権運動連合会 つくば支部	150,000円
部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部	2,150,000円																			
全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部	900,000円																			
全日本同和会茨城県連合会 桜支部	900,000円																			
茨城県地域人権運動連合会 つくば支部	150,000円																			

事業名：地域改善対策に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
03	01	07	12	本年	2,894				2,894		2,305	79.6		
				前年	2,895		305		2,590		2,056	79.4		
				比較	1		305		304		249	-		
【参考】前々年度					2,977		163		2,814		2,402	85.3		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					1,248	旅費		184	需用費		626	役務費		3
使用料及び賃借料					143	負担金補助及び交付金		100						
概要及び成果														
<p>1 人権啓発推進事業</p> <p>市職員等への同和問題研修等の実施により、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を図るための啓発活動を推進する。</p> <p>国・県・市町村及び民間運動団体の実施する研修会・講演会等に職員を積極的に派遣し、人権・同和問題の正しい理解と認識を深め、人権意識の醸成と高揚を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 人権・同和問題の早期解決を図る啓発活動を推進した。また、広域隣保相談の実施により、関係地域住民の問題解決のための支援を行い、生活環境等の安定向上に寄与した。</p> <p>人権・同和問題研修会 市職員研修 131名 広域隣保相談 生活・人権相談所開設 相談件数 92件 人権啓発用品の作成及び配布 ウエットティッシュ 1,000個 人権啓発ポスター掲示 同和問題啓発リーフレット、えせ同和行為対応冊子の配布</p> <p>(2) 人権・同和問題の早期解決（差別意識の解消等）に向けて、以下の研修会等へ参加することで、職員の人権意識の醸成と高揚が図られ、同和問題に対する理解・認識が高まった。</p> <p>部落解放愛する会主催 6回 50名 全国人権連（茨城県地域人権運動連合会）主催 2回 9名 全日本同和会主催 4回 20名 部落解放同盟全国連合会主催 2回 5名 その他 国・地方自治体主催 研修会・講演会へ参加 7回 14名</p>														

事業名：桜老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	11	本年	24,469		756		25,225		24,072	95.4
				前年	22,297				22,297		20,405	91.5
				比較	2,172		756		2,928		3,667	-
【参考】前々年度					23,788		374		24,162		21,614	89.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	10,329	役務費	6,753	委託料	4,786	使用料及び賃借料	708
工事請負費	1,497						

概要及び成果

- 1 桜老人福祉センター管理運営事業
 入浴設備等の適正な施設管理及び整備
 各種サークル等の支援や高齢者の活動場所の提供
 社会福祉協議会主催事業への施設貸出
 経年劣化により改修を必要とする設備等の修繕

【成果】

駐車場外灯の修繕工事を行ない、その他にも配膳室の給湯器の修繕等を実施した。また、老朽化が著しい屋根と外壁について改修工事の設計を行なった。これらの事業により施設の安全と利便性が確保され、利用者の健康増進、福祉の向上を図ることができた。

工事請負費 駐車場外灯修繕工事：1,287千円 コンデンサー交換修繕工事：211千円

設計委託料 屋根外壁改修工事設計委託 1,265千円、施設修繕料 給湯器修繕他：759千円

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
施設利用者数	人	20,019	12,873	8,308	24,111	29,215

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館等により令和2・3年度の利用者数は減少した。

事業名：谷田部老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	12	本年	32,090		2,471		34,561		34,206	99.0
				前年	61,826				61,826		54,553	88.2
				比較	29,736		2,471		27,265		20,347	-
【参考】前々年度					36,247				36,247		31,991	88.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	14,282	役務費	8,001	委託料	10,513	使用料及び賃借料	700
工事請負費	693	備品購入費	18				

概要及び成果

- 1 谷田部老人福祉センター管理運営事業
 施設及び浴場設備の維持管理を行い、利用者に安心・安全で快適な環境を提供する。また、利用者の交流を促進するために、カラオケ機器や各種サークル活動のための部屋の貸出を行う。加えて、教養講座としてヨガ講座を実施し健康維持を図る。

【成果】

脱衣室床張替、屋上防水工事を行った。また、施設の適正管理に努め、入浴施設等を安定して提供し、利用者の健康増進、福祉の向上を図ることができた。

施設修繕料 空調機器修繕他：1,048千円

工事請負費 脱衣室床張替工事他：693千円

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
施設利用者数	人	45,444	27,998	27,340	59,370	54,191

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための利用制限等により令和2年度以降の利用者数は減少している。

事業名： 荳崎老人福祉センター運営に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	13	本年	91,316		17,399		73,917		71,743	97.1
				前年	21,289	1,287			22,576		21,310	94.4
				比較	70,027	1,287	17,399		51,341		50,433	-
【参考】前々年度					20,460		4,917		25,377	1,287	20,736	86.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	6,680	役務費	2,757	委託料	6,769	使用料及び賃借料	2,187
工事請負費	53,350						

概要及び成果

1 荳崎老人福祉センター及び荳崎農村高齢者交流センターの管理運営事業

各種サークル等の支援や高齢者の活動場所の提供

入浴設備の適正な施設管理及び整備

社会福祉協議会主催の事業への施設貸出

【成果】

高齢者の生きがい対策の推進を主体に健康増進、教養向上、レクリエーション活動および利用者同士のコミュニケーションを図る場を提供し、かつ利便性の向上と福祉の向上を図ることができた。

また、施設の老朽化に伴う施設建物・設備・機器の故障などの突発的な修繕に迅速に対応したことにより、施設が安全安心に利用できるようになった。

施設修繕料 作業室空調設備修繕他：1,476千円

工事請負費 空調設備改修工事：53,350千円、監理委託費 空調設備改修工事監理委託：1,089千円

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延利用者数	人	12,503	11,379	11,019	15,668	18,978

福祉支援センターくさざき通所者、社会福祉協議会事業等の利用者含む。

事業名：福祉支援センターさくら運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	11	本年	79,998			134	79,864		73,085	91.5
				前年	77,088				77,088		72,105	93.5
				比較	2,910			134	2,776		980	-
【参考】前々年度					58,847		6,173	410	65,430		59,934	91.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	10,027	職員手当等	618	報償費	46	旅費	528
需用費	4,349	役務費	593	委託料	50,510	使用料及び賃借料	2,611
工事請負費	3,389	備品購入費	382	負担金補助及び交付金	33		

概要及び成果

1 地域活動支援サービス(福祉支援センターさくら)

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。

【成果】

利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 240日
- (2) 1日当たり利用者定員 30名
- (3) 利用登録者数 30名 (身体)16名 (知的)14名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 20名

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	2,953	3,440	2,850	3,698	3,945
(内訳)身体障害者	人	1,097	1,105	935	1,173	1,373
(内訳)知的障害者	人	1,856	2,335	1,915	2,525	2,572
送迎バス利用	人	3,825	3,684	4,016	3,718	4,283
(内訳)身体障害者	人	1,561	1,761	1,616	1,670	2,246
(内訳)知的障害者	人	2,264	1,923	2,400	2,048	2,037

延べ人数

2 児童発達支援(福祉支援センターさくら)

保護者と児童に対して、小集団における指導(保育)、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、日常生活への指導や身辺自立に向けての支援や助言を行い、児童の発達を促すことができた。

- (1) 事業実施日数 232日
- (2) 1日当たり利用定員 20名
- (3) 利用登録者数 54人

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	998	1,226	1,328	1,699	2,139

延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

- (1) 児童棟空調機器交換修繕工事 1,071千円
- (2) 身体棟空調機器交換修繕工事 1,155千円 ほか

事業名：福祉支援センターやたべ運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
03	01	09	12	本年	35,494			134	35,628		29,113	81.7																																			
				前年	35,622				35,622		31,789	89.2																																			
				比較	128			134	6		2,676	-																																			
【参考】前々年度					34,940		20		34,920		33,702	96.5																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費					164	役務費		36	委託料		28,201	使用料及び賃借料		578																																	
工事請負費					134																																										
概要及び成果																																															
<p>1 地域活動支援サービス（福祉支援センターやたべ） 個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。</p> <p>【成果】 利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。</p> <p>(1) 事業実施日数 240日 (2) 1日当たり利用者定員 15名 (3) 利用登録者数 6名（身体）3名（知的）3名 (4) 送迎バス台数 2台 (5) 送迎バス利用登録者数 4名</p>																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス利用者</td> <td>人</td> <td>760</td> <td>774</td> <td>957</td> <td>1,552</td> <td>1,683</td> </tr> <tr> <td>内訳(身体障害者)</td> <td>人</td> <td>244</td> <td>274</td> <td>361</td> <td>395</td> <td>486</td> </tr> <tr> <td>内訳(知的障害者)</td> <td>人</td> <td>516</td> <td>500</td> <td>596</td> <td>1,157</td> <td>1,197</td> </tr> <tr> <td>送迎バス利用者数</td> <td>人</td> <td>640</td> <td>591</td> <td>876</td> <td>1,734</td> <td>2,072</td> </tr> </tbody> </table> <p>延べ人数</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	サービス利用者	人	760	774	957	1,552	1,683	内訳(身体障害者)	人	244	274	361	395	486	内訳(知的障害者)	人	516	500	596	1,157	1,197	送迎バス利用者数	人	640	591	876	1,734	2,072
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
サービス利用者	人	760	774	957	1,552	1,683																																									
内訳(身体障害者)	人	244	274	361	395	486																																									
内訳(知的障害者)	人	516	500	596	1,157	1,197																																									
送迎バス利用者数	人	640	591	876	1,734	2,072																																									
<p>2 施設維持管理 福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。</p> <p>【成果】 年間を通じて軽微な修繕等を適宜行い、利用者に対して快適な利用場所を提供できた。</p>																																															

事業名：福祉支援センターとよさと運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	13	本年	54,699				54,699		48,296	88.3
				前年	53,467			836	54,303		45,748	84.2
				比較	1,232			836	396		2,548	-
【参考】前々年度					41,029		115		40,914		29,299	71.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,751	職員手当等	613	報償費	104	旅費	298
需用費	2,261	役務費	382	委託料	37,196	使用料及び賃借料	1,490
備品購入費	173	負担金補助及び交付金	31				

概要及び成果

1 地域活動支援サービス(福祉支援センターとよさと)

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎サービス等の支援を提供する。

【成果】

個別支援計画に沿った事業運営を行った。作業療法士や理学療法士から指導を受け、個別の障害に適したサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 240日
- (2) 1日当たり利用者定員 20名
- (3) 利用登録者数 11名 (身体)5名 (知的)6名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 11名

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	1,299	1,543	1,763	2,081	2,399
(内訳)身体障害者	人	482	546	855	1,024	1,487
(内訳)知的障害者	人	817	997	908	1,057	912
送迎バス利用	人	2,148	2,349	2,704	3,070	3,676
(内訳)身体障害者	人	1,016	1,087	1,703	1,850	1,918
(内訳)知的障害者	人	1,132	1,262	1,001	1,220	1,758

延べ人数

2 児童発達支援(福祉支援センターとよさと)

保護者と児童に対して、小集団における指導(保育)、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、日常生活への指導や身辺自立に向けての支援や助言を行い、児童の発達を促すことができた。

- (1) 事業実施日数 232日
- (2) 1日当たり利用定員 20名
- (3) 利用登録者数 27人

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	455	700	770	1,226	1,376

延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

福祉支援センターを年間を通じて適正な管理を行い、利用者に対して快適な利用場所を提供できた。

事業名：福祉支援センターくきざき運営に要する経費

福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	14	本年	47,628				47,628		40,686	85.4
				前年	47,603				47,603		44,917	94.4
				比較	25				25		4,231	-
【参考】前々年度					47,203		87		47,116		43,222	91.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,198	職員手当等	487	報償費	15	旅費	255
需用費	210	役務費	44	委託料	33,083	使用料及び賃借料	1,145
備品購入費	240	負担金補助及び交付金	8				

概要及び成果

1 地域活動支援サービス(福祉支援センターくきざき)

個別支援計画を作成し、社会適応訓練、更生相談、スポーツ・レクリエーション・社会との交流促進、創作活動、健康指導、生産活動、介護方法の指導、送迎・入浴サービス等の支援を提供する。

【成果】

利用者個々の障害状況に応じた個別支援計画に沿ってサービスを提供することができた。

- (1) 事業実施日数 240日
- (2) 1日当たり利用者定員 20名
- (3) 利用登録者数 14名 (身体)5名 (知的)9名
- (4) 送迎バス台数 3台
- (5) 送迎バス利用登録者数 13名
- (6) 入浴サービス登録者数 2名

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	1,978	2,087	2,428	3,064	3,407
(内訳)身体障害者	人	559	541	605	720	870
(内訳)知的障害者	人	1,419	1,546	1,823	2,344	2,537
送迎バス利用	人	3,309	3,466	4,162	5,563	6,246
(内訳)身体障害者	人	921	882	996	1,238	1,498
(内訳)知的障害者	人	2,388	2,584	3,166	4,325	4,748
入浴サービス(身体のみ)	人	157	174	178	166	194

延べ人数

2 児童発達支援事業(福祉支援センターくきざき)

保護者と児童に対して、小集団における指導(保育)、ことばやコミュニケーションの指導・認知を中心とした発達指導、日常生活動作等の諸活動に対する指導、運動など基本的動作活動に対する指導などの支援を提供する。

【成果】

児童の状況及びニーズを的確に捉え、個別支援計画を策定し、その計画に基づき、療育指導を提供することができた。このことにより、児童の発達を促し、日常生活への指導、アドバイス等の支援を行なうことができた。

- (1) 事業実施日数 232日
- (2) 1日当たり利用定員 10名
- (3) 利用登録者数 26名

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サービス利用者数	人	622	749	889	1,049	1,163

延べ人数

3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

【成果】

年間を通じて軽微な修繕等を適宜行い、利用者に対して快適な利用場所を提供できた。

事業名：消費生活センターに要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	11	本年	2,210				2,210		1,733	78.4
				前年	4,445				4,445		3,957	89.0
				比較	2,235				2,235		2,224	-
【参考】前々年度					5,401		995		4,406		3,638	82.6

節別支出済額(単位:千円)

旅費	3	需用費	909	役務費	438	委託料	150
使用料及び賃借料	213	負担金補助及び交付金	21				

概要及び成果

1 消費生活相談事業

- ・消費者の安全で安心な消費生活の実現に資するため、専門の知識を有する消費生活相談員による、消費生活に関する相談や多重債務相談を実施する。
- ・年々多様化・複雑化する消費者トラブル等に対し、適切かつ迅速に対応するため、消費生活相談員が相談現場に直結する情報や知識を習得できる研修機会を確保する。

【成果】

- ・消費者からの苦情相談等に対し、助言・あっせん等を行い、消費者トラブルの解決に寄与することができた。
- ・消費生活相談員の積極的な研修受講により相談対応、問題解決へのレベルアップを図ることができた。
- ・多重債務者対策として、早期発見による問題解決のため、関係部局に協力依頼し、連携を図った。

相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助言対応	件	1,226	1,081	1,307	1,290	1,389
あっせん対応	件	153	89	137	106	125
その他(情報提供・他機関紹介など)	件	235	212	256	290	285
合計	件	1,614	1,382	1,700	1,686	1,799

2 消費者教育・啓発推進事業

- ・消費者被害の未然防止やトラブルに対応できる消費者力をつけるための出前講座を実施する。
- ・消費生活に関する悪質商法やトラブルの多い相談事例などをホームページや広報紙で情報発信し、パネル展等による啓発活動を実施する。
- ・製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づき、該当製品を販売する事業者に対し立入検査を実施し、法律の見識向上や違反製品の販売防止を図る。

【成果】

- ・出前講座や啓発チラシの回覧、広報誌、ホームページによる情報発信など、幅広い年代層に向けた消費者教育・啓発活動を行い、消費者被害の未然防止、安全の確保に寄与することができた。
- ・製品安全4法等に基づく立入検査により、事業者に対して、法律の見識向上、違反製品の販売防止を図り、消費者の身体等の危害防止に寄与することができた。

出前講座

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	14	12	5	37	30
参加人数	人	552	527	161	2,477	2,132

製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づく立入検査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
検査個数	個	234	247	373	213	179

出前講座の令和2年度から令和4年度の件数等については、新型コロナウイルス感染拡大による開催中止等の影響があった。

事業名：コミュニティ推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	12	本年	10,009		1,751		8,258		7,044	85.3
				前年	9,974				9,974		9,470	94.9
				比較	35		1,751		1,716		2,426	-
【参考】前々年度					11,137		2,944	100	8,093		8,064	99.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,224	委託料	110	負担金補助及び交付金	4,710
-----	-------	-----	-----	------------	-------

概要及び成果

1 花と緑の市民参加事業

市民団体や市内の企業、NPO、ボランティア団体と行政が協働し、センター広場やT×駅前などの公共的な空間を季節の花で飾るとともに、花壇を維持管理することで市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信する。

【成果】

花苗を市民団体等に配布し、市民協働で花壇活動が実施されたことで環境美化意識の向上を図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加団体数	団体	151	144	129	119	125
花壇管理委託費	千円	111	2,217	3,191	3,191	2,784
花苗数	本	20,150	18,850	20,113	21,353	22,750
花苗代	千円	1,813	1,788	2,020	2,264	2,141

2 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ組織に必要な備品の整備に対して助成を行う。

申請はつくば市・茨城県経由で行われ、補助金はコミュニティ組織2団体を上限に交付される。

市から事業申請できるコミュニティ組織は、市内の区会とし、抽選によって2区会を決定する。

【成果】

470万円の助成金交付により、大曽根下区会(大穂地区)と松塚区会(桜地区)に神輿等が整備され、地域コミュニティの支援ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
採択数	件	2	2	1	1	1
区会	区会	大曽根下・松塚	道角・沼田	横町	内坂	新田
助成金総額	千円	4,700	4,900	2,500	2,500	2,500

3 チャレンジいばらき県民運動

チャレンジいばらき県民運動は、県内各地域で行われる福祉、環境保全、青少年育成、防犯、防災などさまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動である。市はネットワーカー(地域活動員)を推薦し、運動を支援する。

【成果】

市内20名のネットワーカー(地域活動員)が、以下の事業に参加することにより、ネットワーカー全体での情報交換並びに交流が図れた。

- 5月26日 チャレンジいばらき県民運動令和4年度総会(水戸市)
- 5月27日 令和4年度(2022年度)つくば市ネットワーカーの会総会
- 6月10日 筑波愛児園で花植え活動
- 7月13日 ネットワーカー等連絡協議会代表者会議(水戸市)
- 11月6日 谷田部市街地のオータムフェアに参加
- 11月17日 つくば香風寮で花植え活動
- 12月6日 筑波愛児園で花植え活動
- 2月22日 令和4年度ネットワーカー活動推進大会(水戸市)

事業名：人権擁護に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	13	本年	1,182				1,182		1,139	96.4
				前年	1,210				1,210		1,021	84.4
				比較	28				28		118	-
【参考】前々年度					1,374		13		1,361		1,159	85.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	85	委託料	292	負担金補助及び交付金	763
-----	----	-----	-----	------------	-----

概要及び成果

1 特設人権相談所の開設

6月と12月に各2日間、特設人権相談所を市役所内に開設し、日常生活での人権侵害など、人権問題での困りごとについて、つくば市の人権擁護委員15名が相談を行う。

【成果】

人権相談実績(12月7日、8日)

6月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業を中止した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談数	件	4	中止	中止	16	19

特設人権相談所では、財産に絡む問題や家庭内の問題など様々な相談に対し、必要な情報の提供及び関係機関の紹介を行い、相談者の問題解決につなげられるよう支援した。

2 人権教室

人権擁護委員が講師となり、DVDや人権作文を教材として、小中学校の児童・生徒がいじめ問題などについて話し合い、人権思想の基本的な考えを学ぶ。

【成果】

人権問題は小中学校でも重要な問題であり、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐため、市立・県立・私立の学校において人権教室を開催し、人権意識の醸成が図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催小学校数	校	17	16	中止	22	20
開催中学校数	校	4	4	中止	7	7

3 人権作文

市内各中学校に、水戸地方法務局及び茨城県人権擁護委員連合会が主催する、「全国中学生人権作文コンテスト」茨城県大会への応募を募る。また、最優秀作品は「全国中学生人権作文コンテスト」中央大会に推薦される。

【成果】

令和4年度は、814作品の応募があり、1作品が県大会最優秀を受賞した。また、人権作文コンテストに参加することで、生徒の人権意識の向上が図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加中学校数	校	17	17	中止	18	17

4 人権啓発イベント

「アフリカ少年が日本で育った結果」と題した、タレント/漫画家の星野ルネ氏の講演を12月1日～22日の間、市公式Youtubeチャンネルにて限定配信を行った。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	123	153	70	82	21

1 令和3年度から市公式Youtubeにて動画配信をした。

2 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、募集を60名程度とした。

3 平成30年度は、障害者サッカー体験教室を実施した。

事業名：更生保護に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	14	本年	2,022				2,022		1,701	84.1
				前年	1,975				1,975		1,376	69.7
				比較	47				47		325	-
【参考】前々年度					2,062		431		1,631		1,297	79.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	94	役務費	204	使用料及び賃借料	247	負担金補助及び交付金	1,157
-----	----	-----	-----	----------	-----	------------	-------

概要及び成果

1 更生保護活動

保護司や更生保護女性会が中心となり、行政と連携しながら犯罪や非行のない明るい社会づくり活動を展開する。

【成果】

平成26年度から市民ホールやたべ内に設置した「つくば地区更生保護サポートセンター」を拠点として更生保護活動を行い、犯罪や非行の防止に努めるとともに、犯罪や非行をした人の立ち直りの支援に寄与できた。

2 社会を明るくする運動つくば市大会

社会を明るくする運動つくば市大会推進委員会を組織し、積極的な啓発活動等を実施する。

【成果】

7月2日に、つくば市役所会議室にて、「第72回社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、株式会社ヒューマン・コメディ代表取締役の三宅晶子氏を講師として、「Chance!!少年院・刑務所からの再挑戦!～就労支援から再犯防止を考える～」と題した講演を実施した。また、7月1日～30日の期間、庁舎1階に更生保護に関するパネル展示及びチラシ等の啓発グッズを設置し、再犯防止と罪を犯した人などの立ち直りについての啓発が図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	68	61	中止	118	95

令和3年度、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を保護司及び更生保護女性会員に限定した。

3 各種研修及び大会への参加・協力

研修及び大会に参加することで、他団体との情報交換等を行い、参加者の犯罪や非行のない明るい社会づくりの意識の向上を図る。

【成果】

10月18日 茨城県更生保護女性連盟県南ブロック研修会（稲敷市あずま生涯学習センター）

11月9日 第61回茨城県更生保護大会（ザ・ヒロサワ・シティ会館）

2月19日 県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会 中止

3月 茨城県更生保護女性のつどい（ザ・ヒロサワ・シティ会館） 中止

事業名：文化行政に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	15	本年	73,138		1,890		71,248	6	65,798	92.4
				前年	57,981		664		57,317		52,725	92.0
				比較	15,157		1,226		13,931	6	13,073	-
【参考】前々年度					57,080		5,972		63,052		60,866	96.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	360	報償費	602	旅費	107	需用費	57
役務費	310	委託料	13,085	使用料及び賃借料	46	備品購入費	50
負担金補助及び交付金	51,180						

概要及び成果

- 1 文化芸術が身近にある環境づくり
 芸術家が滞在し作品を作る「アーティスト・イン・レジデンス」を積極的に誘致し、市民がアートに触れる機会を増加させる。

【成果】

市民団体と協働し、感染症対策を講じながら、当初の計画どおり事業を実施することができた。

- 2 芸術文化公演事業

(公財)つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの芸術文化事業を実施する。

芸術性の高いクラシック公演に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールや、隣接するつくばカピオホールを会場として、ジャンルにとらわれない多様なプログラムを提供していく。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により2公演が中止となったが、それぞれ事業計画の内容を変更し代替事業を実施するなど、感染症対策を講じながら事業を実施することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
入場者数	人	12,184	5,850	8,083	17,521	23,817
事業数	事業	23	22	14	26	26

令和2年度の入場者数は、動画配信企画の視聴者数を含む。

- 3 文化団体等育成支援事業

市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。

【成果】

感染症対策を講じながら、当初の計画どおり事業を実施することができた。

- 4 (公財)つくば文化振興財団支援事業

(公財)つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。

【成果】

感染症対策を講じながら、指定管理事業や文化芸術振興事業を遂行し、財団として一定の成果を示すことができた。

- 5 つくば市文化芸術推進基本計画推進業務

平成31年3月に策定した「つくば市文化芸術推進基本計画」の実現に向け、施策の企画立案と実施検討を行う。

【成果】

文化芸術審議会に諮問し「つくば市文化芸術創造拠点基本計画」を策定した。また、令和5年度に「つくば市文化芸術推進基本計画」を改定するために「文化芸術に関する市民意識調査」を実施した。

事業名：非核平和都市宣言に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	16	本年	579				579		347	59.9
				前年	457		304		153		104	68.3
				比較	122		304		426		243	-
【参考】前々年度				1,729		1,634		95		89	93.4	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	64	使用料及び賃借料	253	負担金補助及び交付金	30
-----	----	----------	-----	------------	----

概要及び成果

1 平和体験教室

市内小学5、6年生を対象に埼玉ピースミュージアムの見学を通して平和について学習する。また、実施後は学習した内容についてパネルを作成し、市民文化祭で展示する。

【成果】

平和体験教室に参加者した小学生が、平和の大切さ・命の尊さについて考え、理解を深めることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	21	中止	中止	35	30

2 青少年ピースフォーラム派遣事業

長崎市が全国の中学生を中心に実施している平和に関する研修「青少年ピースフォーラム」事業に、つくば市の代表(平和大使)として輪番制で3つの中学校から6名の生徒を派遣し、派遣後は所属校及び地域において平和啓発活動を行う。

【成果】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、代替え事業として阿見町にある「予科練平和記念館」へ中学生を派遣した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加校	中学校	吾妻・竹園東・秀峰筑波	中止	中止	桜・並木・高崎	谷田部東・手代木・荃崎
委託料	千円	-	-	-	1,210	972

3 平和パネル資料展

市内の公共施設を利用し、平和に関する写真パネル等の展示を行い、広く市民に平和啓発活動を実施する。

【成果】

「つくば市非核平和都市宣言」に基づき、核兵器の廃絶と平和への願いを広く市民に啓発するため、写真パネルを多用し、視覚的にわかりやすい展示方法で、より多くの世代に戦争の悲惨さや平和の大切さについて訴えることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来場者数	人	17,439	2,501	-	16,932	15,367

令和4・元年度、平成30年度は、カピオのロビー展示のため、市民文化祭中央会場の来場者数を計上している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文化祭が中止となり、代替え事業として本庁舎1階中央展示スペースで「平和パネル資料展」を実施し、追加で筑波・荃崎交流センターの2か所で10日間程度実施した。

事業名：自治会関係に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	17	本年	144,391				144,391		142,193	98.5
				前年	146,900		3,944		142,956		140,964	98.6
				比較	2,509		3,944		1,435		1,229	-
【参考】前々年度				152,220		317		151,903		148,280	97.6	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	77	旅費	54	需用費	661	委託料	129,385
使用料及び賃借料	4	負担金補助及び交付金	12,012				

概要及び成果

- 1 つくば市区会連合会及び各地区(6地区)区会連合会総会の企画運営に関する連絡調整及び総会の開催
住み良いまちづくりを進める中心的な役割を担い、大規模災害時等においても互助組織として期待
される区会に対して、活発な地域コミュニティ活動ができるように支援を行う。

【成果】

正副会長会議や役員会などを通して綿密に連絡調整したことで、つくば市区会連合会及び各地区区
会連合会が自立した運営ができた。

区会等業務委託料(回覧配布業務委託、事務委託及び配送業務含む)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
委託料	千円	128,486	128,571	127,925	125,338	125,414

- 2 地区リーダー勉強会の開催

地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会(講演会)を実施することで、各地域のコミュニ
ティ活動の活性化を図る。

【成果】

「巨大地震と豪雨災害への備え」と題した、災害リスク評価研究所代表 災害リスクアドバイザー
の松島康生氏の講演を9月16日から約2週間、市公式Youtubeチャンネルにて配信を行い、地域リー
ダーとして災害への備えについて意識づけが図れた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	774	中止	中止	70	-

令和元年度は、対面形式の参加人数です。

- 3 市長・区長サミットの開催

地域住民の抱える課題とつくば市の考えるまちづくりに関して、地域の代表者である区長と自治体
の代表者である市長が懇談を行う。

【成果】

1月26日に、イーアスホールにて、「持続可能な自治会運営」をテーマに2地区の代表者が事例を
発表するとともに、市長と各地区の代表区長等、約30名が懇談を行い、活発な意見が交わされ、地域
コミュニティの重要性に対する意識の醸成が図れた。

- 4 地域コミュニティの活動拠点となる集会所等の修繕等に補助金を交付

補助率1/2、上限額：新築・改築1,000万円、増築・修繕350万円

【成果】

集会所の修繕等に対して補助を行い、地域コミュニティの活性化に寄与できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	26	34	35	53	24
交付額	千円	12,009	11,635	19,140	32,029	14,913

内訳：修繕26件

5 地区案内板の撤去

【成果】

地区案内板の倒壊等はなかった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
撤去箇所数	箇所	0	1	1	1	1
委託料	千円	0	55	58	70	76

6 回覧・配布等で行政に関する情報を区会へ周知

【成果】

区会への回覧・配布等を年間22回行い、地域コミュニティの活性化と市政運営の理解が図れた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	18	本年	8,735				8,735		7,753	88.8
				前年	9,731		777		8,954		8,413	94.0
				比較	996		777		219		660	-
【参考】前々年度					7,975		1,148		6,827		6,046	88.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	360	報償費	3,573	旅費	96	需用費	352
役務費	306	委託料	3,028	使用料及び賃借料	39		

概要及び成果

1 女性のための相談室運営事業

(1) 女性のための相談室

相談を通して、相談者自身が抱えている問題の原因に気づき、自立に向けた準備や自分自身と向き合う機会を提供するため、相談事業を行う。

(2) 男性のための電話相談

社会的性別や性別役割分担等により、問題や悩みを抱えている男性に対し、相談・支援を行う。

【成果】

(1) 女性が抱える様々な相談に対し、相談者自身が主体的に考え行動できるよう、必要な情報提供等を行った。

相談件数：延べ503件

(2) 奇数月の第2木曜日（受付時間18:00～20:30）に、電話相談を年6回実施し、計14件の相談があった。

(1) 女性のための相談室相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
電話相談	件	155	165	171	144	158
一般相談(面接)	件	167	201	124	177	188
心と生き方相談(面接)	件	139	159	126	139	159
法律相談(面接)	件	42	54	33	53	64

(2) 男性のための電話相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
男性のための電話相談	件	14	10	8	14	19

2 男女共同参画会議開催事業

- ・男女共同参画社会の形成に向けた啓発機会として、講演会や市民活動団体等のパネル展示を行う。
- ・参加者の活発な情報交換・交流の機会となるよう、参加しやすい交流の場を提供する。

【成果】

・男性学の視点から考える男女共同参画講演会及び男女共同参画創作落語、男女共同参画活動団体等のパネル展示を開催した。講演会：2022年12月4日（日）参加者数：53人、オンライン配信期間：2023年1月6日～19日 申込者数：52人（延べ101回視聴）

・男女共同参画推進標語「愛ことば」応募数：269件（市内の小学1年生～中学3年生）

3 男女共同参画セミナー事業

男女の地域リーダーの育成、女性のエンパワーメント、キャリアアップ、子育てなどをテーマに、毎年定期的に様々なセミナーを実施する。

【成果】

防災、女性のエンパワーメント、健康、性的マイノリティ等をテーマに、セミナーを計12回実施した。セミナーの開催を通して、男女共同参画に対する理解を深め、必要な知識やスキルを学ぶ機会を提供することができた。

参加者数：延べ308人（男性46人/女性262人）

4 男女共同参画社会推進事業

- ・つくば市男女共同参画推進基本計画を策定し、施策の実施状況や実施予定等について、毎年、年次報告書を作成し公表する。
- ・男女共同参画社会の形成の促進を阻害すると認められる事項に関する苦情等処理し、男女共同参画社会の実現を目指す。

【成果】

- ・男女共同参画推進基本計画の推進状況について、審議会において各施策担当課同席のもと、施策の進行状況等について年次評価の検証を行った。また、新たなつくば市男女共同参画推進基本計画（2023～2027）を策定した。
- ・苦情等処理事項：なし

事業名：国際化の推進に要する経費

市長公室 国際都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	19	本年	49,921		3,517		53,438		42,018	78.6
				前年	49,925		2,593		47,332		43,838	92.6
				比較	4		6,110		6,106		1,820	-
【参考】前々年度					52,088		2,870		49,218		42,737	86.8

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,989	職員手当等	469	報償費	2,188	旅費	979
需用費	562	役務費	101	委託料	193	使用料及び賃借料	318
負担金補助及び交付金	33,173	扶助費	47				

概要及び成果

- 1 外国人生活支援事業（旧：国際交流員・留学生交流員事業）
外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内
市が発行する文書や冊子等の翻訳
留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行
市ホームページ内に外国人向け多言語情報発信ページを設置（4言語）

【成果】

- 外国人相談窓口相談件数：合計1,171件（英語881件、中国語96件、その他194件）
- 庁内文書の翻訳件数：合計221件（英語159件、中国語39件、韓国語10件、その他13件）
- 多言語広報紙（8言語）発行部数：年4回で14,420部

(1)通訳・翻訳等の対応件数の推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談・通訳(英語)	件	881	531	443	559	696
相談・通訳(中国語)	件	96	94	91	111	80
相談・通訳(その他)	件	194	86	42	41	-
翻訳(英語)	件	159	188	97	127	72
翻訳(中国語)	件	39	33	23	17	13

(2)外国語広報紙発行部数の推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
英語	部	5,214	4,174	4,384	4,380	4,405
中国語	部	2,540	2,354	2,232	2,175	2,026
韓国語	部	1,211	1,167	1,079	1,034	992
タイ語	部	804	736	815	701	638
ポルトガル語	部	1,223	1,156	1,104	1,087	1,102
スペイン語	部	888	880	787	761	748
ベトナム語	部	1,536	1,170	1,157	1,073	1,392
インドネシア語	部	1,004	855	618	543	531
合計	部	14,420	12,492	12,176	11,762	11,834

その他言語(R4)=日本語(88)、韓国語(3)、ベトナム語(24)、インドネシア語(19)、スペイン語(23)、ポルトガル語(9)、タガログ語(3)、タイ語(13)、モンゴル語(1)、ロシア語(5)、その他(6)

2 多文化共生推進事業

第2次つくば市グローバル化基本指針の策定

児童生徒の異文化理解促進のための国際理解講座を実施

国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援

外国人住民が日本語を話したり、日本の文化・習慣等に触れることができるイベントの開催

【成果】

- ・第2次つくば市グローバル化基本指針策定
- ・市立公立小中学校向け国際理解講座の実施：市内13校で40講座を実施。1,226名参加
- ・オンライン等を活用した国際交流協会主催事業：1,175名参加（大人向け日本語講座：214名、子ども向け日本語講座及び進学相談会：のべ734名、世界お茶のみ話：194名、メディカル英会話33名）
- ・ブラジル人学校での日本文化体験イベント：20名参加
- ・子育て支援センターでの国際交流イベント：21名参加
- ・外国人向け防災講座（2回）：26名

国際理解講座受講者の推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
学校数	校	13	13	13	11	10
児童・生徒数	名	1,226	1,164	1,192	1,069	948

3 国際標準教育支援事業（旧：国際化教育支援事業）

国際基準の教育プログラム実施校として認定を受けている市内の各種学校（「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、日本において学校教育法に基づいて学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。

国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校を対象に、認定の取得・維持に係る経費に対する補助金を支出する。

【成果】

外資系企業の事務所設置や外国籍のIT人材の転入等により、インターナショナルスクールへの入学希望者が増加している。補助対象校であるつくばインターナショナルスクール（TIS）では、引き続き国際バカロレアの基準に基づいた受け入れ体制を確保し、定員も280名から335名まで拡充した。

補助対象校（つくばインターナショナルスクール）における生徒数の推移 各年5月1日現在

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
児童・生徒数	人	309	285	266	263	264

プライマリーイヤー課程（幼稚園・小学校相当）、ミドルイヤー課程（中学校相当）、アッパーイヤー課程（高校相当）の合計人数

4 姉妹・友好都市等交流事業

行政間の視察・意見交換等の実施

市民参加による交流事業の実施

市内の各種機関と海外都市等による交流事業に伴う連携・協力

市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳

海外都市・機関等に向けた情報発信

【成果】

- ・仏グルノーブル都市共同体との意見交換会(4/12)
- ・独ボーフム市との市長間意見交換会(4/22)
- ・中国深セン市との高校生間オンライン交流(7/11,7/27)と動画交換
- ・TGSWつくばスーパーサイエンスシティシンポジウム(9/28)
- ・市長による独ボーフム市ほか海外都市訪問(11/6-11/20)
- ・外務省主催中国人インフルエンサーによる地域の魅力発信動画制作(2/28)
- ・仏グルノーブル日本語補習校との小学生親子交流(3/25)

姉妹都市・友好都市交流事業への参加数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	70	40	2	112	86

グルノーブル都市共同体との意見交換6名、ポーfum市との意見交換9名、深セン市との青少年オンライン交流17名、グルノーブル日本語補習校とのオンライン親子交流16名、中国ハイテクフェア1名、韓国大田広域市とのオンライン交流16名、ドイツ・ポーfum市出張5名

(市民部 市民活動課)

事業名：市民協働推進に要する経費

市民部 市民協働課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	20	本年	7,184		1,131		6,053		5,399	89.2
				前年	7,275		3,363		3,912		2,876	73.5
				比較	91		2,232		2,141		2,523	-
【参考】前々年度					20,595		3,229	100	17,466		16,916	96.8
節別支出済額(単位:千円)												
報償費					509		需用費	231	役務費	150	委託料	225
負担金補助及び交付金					4,284							

概要及び成果

1 市民チャレンジへの支援

市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民活動団体等の新たな活動を支援する。日常的な交流の場として気軽に立ち寄りやすい地域のコミュニティ拠点の可視化を進める。市民活動情報の提供基盤を整備し、市民協働推進を図るための広報活動を実施する。

【成果】

市民活動団体の支援を行うことで、地域活動の促進に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
協働事業数	事業	178	130	121	151	138

2 アイラブつくばまちづくり補助金事業

アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体に対しヒアリング審査を実施の上、補助金交付の可否を決定する。事業実施後の実績報告により事業の評価を行う。

【成果】

アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民団体等が自主的に提案する事業に対し、補助金を交付することで、公益的な市民活動を支援し、行政との協働関係を構築することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請数	事業	35	23	23	34	35
採択数	事業	31	22	19	30	31
補助金交付額	千円	3,484	1,350	1,829	3,687	3,921

事業名：市民文化祭開催に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	01	10	21	本年	12,257		436		11,821		11,183	94.6	
				前年	11,600		10,674		926	568	61.4		
				比較	657		10,238		10,895	10,615	-		
【参考】前々年度					11,757		10,898		859		843	98.1	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費					1,851	役務費		202	委託料		8,138	使用料及び賃借料	93
負担金補助及び交付金					899								
概要及び成果													
<p>1 つくば市民文化祭開催事業 市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場として、参加団体及び個人の作品展示やステージ発表のほか、音楽会、小中学校芸術展などを実施する。</p> <p>【成果】 感染症対策を講じながら事業を実施し、当初の計画どおり市民文化祭を開催することができた。</p>													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
来場者延人数		人	28,300	-	32,233	35,503	30,458						
参加団体数(人)		団体(人)	296(4,145)	100	41	358(4,856)	379(4,879)						
<p>令和2年度の実績は、YouTube動画再生回数(上段)、Instagramの配信団体数(下段) 令和3年度の実績は、パンフレット掲載団体数(下段)</p>													

事業名：メディア芸術振興に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	22	本年	1,698				1,698		1,656	97.5
				前年	9,609		1,340		8,269		6,165	74.6
				比較	7,911		1,340		6,571		4,509	-
【参考】前々年度				10,288		9,541		747		533	71.4	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	573	需用費	121	役務費	179	委託料	446
使用料及び賃借料	337						

概要及び成果

- 1 つくばメディアアートフェスティバル
「つくばメディアアートフェスティバル」事業は、科学のまちつくばから新たな文化を発信することを目的として、筑波大学工学・芸術連携リサーチユニットと協働で開催。芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。

【成果】

隔年開催のため、令和4年度は令和5年度開催に向けて、企画内容等の計画調整を行った。

来場者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来場者数	人	-	3,046	-	-	3,727

令和3年度の実績にはプロジェクションマッピングの鑑賞者を含む

- 2 つくばショートムービーコンペティション
10分以内の映像作品を募集し、コンテストを実施する。

【成果】

感染症対策を講じながら事業を実施し、当初の計画どおり上映会を開催することができた。

応募総数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自由部門	作品	85	115	86	86	98
つくば部門	作品	5	7	7	19	9
ショートショート部門	作品	27	33	49	60	44
全天周部門	作品	9	17	6	-	-
合計	作品	126	172	148	165	151

事業名：地区相談に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	23	本年	4,622				4,622		4,376	94.7
				前年	4,622				4,622		4,501	97.4
				比較	0				0		125	-
【参考】前々年度					4,736				4,736		4,597	97.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,600	旅費	36	需用費	240	役務費	400
備品購入費	100						

概要及び成果

1 地区相談事務

地区相談課及び6地区の相談センターは、地区の振興に係る市民の要望、意見を受け、関係部署と連携・協力し、問題解決に向け業務にあたる。

積極的に地域に出向き、市民から聞き取りを行い、地域の抱える問題等の把握に努める。

地区相談課及び相談センターは、情報共有及び問題解決に向けて定期的に会議を開催する。

【成果】

市民からの要望・意見に、関係部署と連携・協力し、課題の解決に向けて業務にあたる事ができた。

相談者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
大穂相談センター	人	277	238	118	139	104
豊里相談センター	人	69	85	81	81	123
谷田部相談センター	人	129	127	94	162	239
桜相談センター	人	102	106	68	163	265
筑波相談センター	人	157	178	92	137	84
荳崎相談センター	人	302	246	126	114	133
地区相談課	人	46	18	27	43	68
計	人	1,082	998	606	839	1,016

相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
大穂相談センター	件	316	277	175	165	131
豊里相談センター	件	81	106	109	86	142
谷田部相談センター	件	135	142	109	213	249
桜相談センター	件	121	106	151	234	330
筑波相談センター	件	158	181	102	154	84
荳崎相談センター	件	310	277	161	177	162
地区相談課	件	69	35	55	64	85
計	件	1,190	1,124	862	1,093	1,183

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	11	本年	15,764			812	14,952		14,071	94.1
				前年	15,821				15,821		14,452	91.3
				比較	57			812	869		381	-
【参考】前々年度					16,938		96		16,842		14,867	88.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	2,670	需用費	2,369	負担金補助及び交付金	9,032
-----	-------	-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 交通安全啓発事業

- ・市内の幼児、小中学生、高齢者等を対象として、年齢層に即した交通安全教室を開催する。
- ・春、夏、秋、年末の交通安全キャンペーンを開催する。
- ・県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。
- ・高齢者運転免許自主返納支援事業の促進を図る。
- ・各交通安全団体と連携を図り、有効かつ効果的な交通安全啓発活動を推進する。

【成果】

年4回の交通安全キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったが、「L A L A ガーデンつくば」において、9月10日・11日の2日間にわたり、「L A L A から交通安全&防災2022」のイベントを開催した。交通安全教室については、新型コロナ感染予防対策を行い開催し、交通安全意識の向上が図られた。

交通安全教室の開催(延べ回数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
幼稚園・保育所	回	165	104	123	126	149
小学校	回	148	126	74	124	137
中学校	回	25	29	8	16	17
高校	回	0	0	0	0	0
成人	回	1	1	0	4	13
高齢者	回	2	0	1	57	72
児童館	回	4	1	6	7	8
その他	回	33	-	-	-	-
合計	回	378	261	212	334	396

交通安全教室の開催(延べ人数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
幼稚園・保育所	人	5,232	2,737	2,693	7,600	9,238
小学校	人	8,485	7,045	2,351	12,640	11,275
中学校	人	2,036	1,920	323	2,182	2,147
高校	人	0	0	0	0	0
成人	人	137	17	0	726	1,159
高齢者	人	16	0	18	1,276	1,149
児童館	人	133	20	84	390	450
その他	人	5,151	-	-	-	-
合計	人	21,190	11,739	5,469	24,814	25,418

高齢者運転免許自主返納

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
返納者数	人	389	414	341	493	255

県民交通災害共済

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加入者数	人	2,333	2,659	2,693	3,642	3,891
請求件数	件	26	44	27	48	56

事業名：施設整備に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	12	本年	21,728				21,728		21,360	98.3
				前年	21,728				21,728		21,544	99.2
				比較	0				0		184	-
【参考】前々年度					23,894				23,894		20,346	85.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	11,343	工事請負費	9,967	備品購入費	50
-----	--------	-------	-------	-------	----

概要及び成果

1 交通安全施設整備事業

区会等からの要望に対して、現地を確認し、必要な交通安全施設（カーブミラー・赤色回転灯・路面標示）の新設・修繕を行う。

【成果】

交通安全施設が必要な箇所の安全対策が図られた。

交通安全施設の新設・修繕

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
カーブミラー(新設)	基	102	117	92	113	78
カーブミラー(修繕)	基	108	165	185	225	136
回転灯(新設)	基	0	1	3	1	2
回転灯(修繕)	基	7	2	9	13	10
路面標示(新設)	箇所	3	7	4	2	8
路面標示(修繕)	箇所	5	2	9	6	0

事業名：防犯対策に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	11	本年	107,608		600	812	107,820		106,088	98.4
				前年	105,451				105,451		90,397	85.7
				比較	2,157		600	812	2,369		15,691	-
【参考】前々年度					107,770		6,380		101,390		95,884	94.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	46,545	役務費	333	委託料	1,441	使用料及び賃借料	41,003
工事請負費	9,186	負担金補助及び交付金	7,580				

概要及び成果

1 地域安全活動事業

- ・防犯・環境美化サポーターによるパトロールやジョギングパトロールを通じた地域パトロールを実施する。
- ・安全安心まちづくりコンサートなど防犯イベントを開催する。
- ・防犯ボランティア団体や防犯協会の活動を支援する。
- ・LED防犯灯、防犯カメラの設置及び管理を行う。
- ・防犯カメラ設置事業補助金の交付を行う。

【成果】

防犯パトロール活動、自警団活動、ジョグパト活動等の防犯活動及び防犯灯や防犯カメラの設置により、犯罪予防や抑止効果が図られた。

防犯サポーター活動

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
パトロール活動(金融機関)	箇所	7,358	6,447	6,936	7,311	7,889
パトロール活動(学校)	箇所	12,201	11,731	10,787	10,638	11,219
パトロール活動(コンビニ)	箇所	17,694	16,987	14,485	14,616	13,999
パトロール活動(駐車場)	箇所	9,703	9,686	10,299	10,731	11,061
パトロール活動(他事業所)	箇所	4,386	3,981	3,484	3,503	3,407
車両広報	回	12,977	13,580	25,014	29,915	31,208

自警団等への活動支援(防犯パトロール用ベスト)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給団体数	団体	8	9	6	8	8
支給枚数	枚	59	77	69	71	59
登録団体数	団体	214	206	197	191	183

ジョグパトへの活動支援(ジョギングパトロール用ビブス)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	62	54	54	30	43
支給枚数	枚	62	54	54	30	43
登録者総数	人	927	865	811	757	727

防犯灯及び防犯カメラ新規設置

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
防犯灯設置数	基	259	264	261	328	421
防犯カメラ設置数	基	4	5	1	1	10

防犯カメラ設置事業補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金交付台数	基	0	0	-	-	-

相談件数が15件あったが、補助金交付台数が0件の理由としては、新型コロナウイルスの影響により区会等の総会が開催できず、住民の賛否を得られなかったことが要因の一つと考えられる。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	12	本年	30,723		5,980		24,743		20,146	81.4
				前年	9,127		2,300		6,827		848	12.4
				比較	21,596		3,680		17,916		19,298	-
【参考】前々年度				9,319		3,335		5,984		1,710	28.6	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	504	需用費	167	委託料	18,975	負担金補助及び交付金	500
-----	-----	-----	-----	-----	--------	------------	-----

概要及び成果

1 空家等の適正管理及び有効活用事業

- ・市民からの情報提供（相談）を受けて、現況調査を行い、管理不全な状態である空き家と判断した場合には、所有者等を調査し、助言、指導、勧告を行う。さらに、その空き家が著しく危険であると判断した場合には、措置命令、公表、代執行を行う。
- ・空家所有者等を対象に空家等無料相談会（茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部、茨城司法書士会、茨城県建築士会の協力）を実施。空き家の利活用、売却等の相談を受ける。
- ・空家バンク制度（空き家を売りたい、買いたい人等の橋渡し）を実施。市ホームページ等で物件内容等を公開する。空家バンク登録物件を対象に空家活用補助金制度（改修、家財処分）を実施し、空家バンク制度による空き家の利活用を推進する。
- ・空家等を地域交流拠点に改修する助成制度を実施し、空き家を活用した地域コミュニティの活性化を支援する。

【成果】

- ・管理不全な空家等への行政指導等を実施し、地域の生活環境の悪化を防止した。
- ・空家活用補助金（改修工事費補助金）で1件の交付を行い、空家等の有効活用の促進を図った。
- ・空家等無料相談会を6月、11月、1月の3回開催（新型コロナウイルス感染症対策のため9月の1回を中止）し、所有者の多岐にわたる相談に対応した。
- ・つくば市空家等対策協議会を4回開催し、第2期つくば市空家等対策計画を策定した。計画期間は令和5年度から5カ年。

空家等情報提供（相談）件数及び対応状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
情報提供（相談）件数	件	122	135	102	86	70
うち管理不全件数	件	115	129	99	76	63
対応完了件数	件	40	45	51	58	52
うち家屋の解体	件	2	4	13	12	6
うち樹木の伐採等	件	38	41	38	46	46

空家等無料相談会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	3	2	2	4	4
参加者数	組	21	23	23	43	39

空家バンク制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
空家バンク新規登録物件数	件	3	7	8	11	2
空家バンク新規利用登録件数	件	27	46	35	31	37
成約件数	件	4	7	9	7	1
うち利用登録者による成約件数	件	0	3	1	3	1
うち利用登録者以外による成約件数	件	4	4	8	4	0

空家バンク新規登録物件数：各年度の新規登録件数、累計45件、令和4年度末登録件数3件

空家バンク新規利用登録件数：各年度の新規登録件数、累計230件、令和4年度末登録件数95件

成約件数：各年度の成約件数、累計33件、うち利用登録者9件、うち利用登録者以外24件

累計はH27年度からの合計

事業名：ノバホール維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	13	11	本年	169,540	47,674	22,674		239,888		231,525	96.5
				前年	110,785		62,953	636	173,102	47,674	119,328	96.5
				比較	58,755	47,674	40,279	636	66,786	47,674	112,197	-
【参考】前々年度					89,709		5,535		95,244		93,969	98.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	182	委託料	68,743	工事請負費	123,090	備品購入費	746
負担金補助及び交付金	32,625	補償・補填及び賠償金	6,140				

概要及び成果

1 ノバホール管理運営事業(指定管理者制度)

公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)を超える修繕については、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

【成果】

指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両者で協議の上、迅速に対応した。

ノバホール利用率

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ホール	%	74.18	56.34	33.93	79.56	84.02
小ホール	%	68.35	38.51	30.45	60.79	64.98

ノバホール延利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ホール	人	70,674	35,936	10,444	88,181	97,837
小ホール	人	5,617	6,452	2,582	14,007	16,526

ホール(控室・ホワイエ含む)

2 ノバホール施設整備事業

ノバホール内の各種設備や施設の修繕について、計画的に実施する。

【成果】

令和4年度修繕実績

「ホール空調設備改修工事」「ピアノキャスター修繕」

事業名：つくばカピオ維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	14	11	本年	506,028	52,352	8,150	8,340	558,190	49,073	502,909	98.9
				前年	268,180	7,667	118,683	5,828	400,358	52,352	344,158	99.0
				比較	237,848	44,685	110,533	14,168	157,832	3,279	158,751	-
【参考】前々年度					263,217		15,751		278,968	7,667	264,926	97.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	3,331	役務費	192	委託料	132,470	工事請負費	218,089
備品購入費	8,227	負担金補助及び交付金	43	補償・補填及び賠償金	8,317	償還金利息及び割引料	132,241

概要及び成果

1 つくばカピオ管理運営事業(指定管理者制度)

公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行い、適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。

【成果】

指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両方で協議の上、迅速に対応した。

つくばカピオ利用率

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
アリーナ	%	99.41	99.29	99.25	100.00	99.41
ホール	%	67.94	52.66	37.30	72.10	69.60
中会議室	%	88.31	86.77	77.90	93.24	95.73
会議室(3室平均)	%	89.37	88.36	75.72	94.27	94.23
リフレッシュルーム	%	97.72	98.30	96.65	98.59	98.87
リハーサル室(2室平均)	%	95.57	93.07	86.96	97.88	98.30
和室(2室平均)	%	86.09	81.35	83.15	89.58	90.25

つくばカピオ延利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
アリーナ	人	70,372	42,999	25,888	112,848	111,383
ホール	人	18,079	15,924	7,048	40,698	36,730
中会議室	人	5,999	4,615	3,686	7,438	8,075
会議室(3室平均)	人	2,448	1,888	1,269	3,688	3,783
リフレッシュルーム	人	8,637	4,915	4,163	10,558	10,536
リハーサル室(2室平均)	人	6,033	3,814	2,900	7,034	8,356
和室(2室平均)	人	1,909	970	861	1,677	1,866

2 つくばカピオ施設整備事業

経年劣化に伴い設備や施設の計画的な修繕等の整備を実施する。

【成果】

令和4年度修繕実績

「ホール音響機器更新工事」「ホール舞台機構改修工事(第1期)」「リハーサル室空調設備改修工事」「階段通路非常灯修繕工事」「アリーナ照明音響調整室空調修繕工事」「自動ドア修繕工事」「自動火災報知設備改修工事」「アリーナ壁・ベルガ床開口補修工事」「A C 10号機パネル修繕」「空調自動制御機器部品交換工事」「ホール照明設備転落防止柵設置工事」「吸収式冷凍機蒸気遮断弁用バッテリー交換工事」「A C 10号機ファンモーター修繕」

事業名：地域交流センター維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	15	11	本年	331,946	11,597	21,948	10,863	376,354	5,621	358,839	96.8
				前年	388,361	40,334	29,222	5,185	394,288	11,597	361,356	94.6
				比較	56,415	28,737	51,170	16,048	17,934	5,976	2,517	-
【参考】前々年度				211,952	4,620	54,422	7,178	278,172	40,334	204,103	87.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	64,320	役務費	10,218	委託料	114,158	使用料及び賃借料	8,097
工事請負費	142,083	備品購入費	16,545	負担金補助及び交付金	3,418		

概要及び成果

1 地域交流センター維持管理事業

市内17地域交流センターの利用者が、土日夜間を含め常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、適切な管理運営を行う。また、利用者が常に使いやすい環境を整えておくため計画的に老朽箇所等の修繕工事等を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用ガイドラインの整備を行い、利用者へ周知を行った。また、施設の除菌等にも取り組み、安全で安心な利用環境を整えた。

所長会議及び担当者会議を開催し、意見交換を行うとともに、各地域交流センターとイントラ等を活用し連絡調整を行った。

施設修繕については、優先順位をつけ実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策のための改修も積極的に実施した。

(1)令和4年度地域交流センター所長会議開催回数 5回

(2)令和4年度地域交流センター担当者会議開催回数 2回

施設整備

大穂交流センター屋上・外壁外改修工事	36,355千円
二の宮交流センター建具改修工事	10,318千円
並木交流センター高圧ケーブル修繕工事	1,284千円
広岡交流センター調理室空調機修繕工事	1,100千円
並木交流センター非常用照明修繕工事	1,034千円 ほか

利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延利用件数	件	54,155	29,492	25,798	41,511	42,670
延利用者数	人	323,115	272,389	274,245	506,845	492,958

2 (仮称)コミュニティ施設建設事業

TX沿線開発区域の人口増加に伴い、市民がコミュニティ活動を行う施設について、小学校に隣接する児童クラブに併設する施設を建設するもの。

【成果】

香取台小学校に隣接する「かとりだい交流館」が令和5年3月で工事が完了し、令和5年4月1日から供用開始した。

事業名：地域交流センター行事に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	15	12	本年	5,530			634	4,896		3,433	70.1
				前年	5,080		2,227		2,853		2,416	84.7
				比較	450		2,227	634	2,043		1,017	-
【参考】前々年度				6,751		1,383	2,283	3,085		1,636	53.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	1,915	需用費	622	役務費	393	委託料	132
使用料及び賃借料	371						

概要及び成果

1 地域交流センター主催行事

各地域交流センターにおいて、前期と後期に分けて市民ニーズに応じた講座等を企画し、参加募集を行う。応募者多数の場合は抽選の上、受講者を決定して講座を実施する。
地域交流の拠点となるたまり場としての機能を充実させ、親子サークルや地域団体の活動を支援する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、地域交流センター前期講座及び後期講座を開催した。
夜間や土日開催する講座も企画し、利用者のニーズに広く応えるものを提供した。

講座対象

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
小中学生講座数	講座	1	中止	2	2	3
小中学生延回数	回	3	中止	2	2	3
小中学生延受講者数	人	21	中止	36	14	40
一般講座数	講座	93	80	15	111	107
一般延回数	回	223	199	57	349	348
一般延受講者数	人	2,517	2,208	364	4,410	4,934
高齢者講座数	講座	6	3	2	5	6
高齢者延回数	回	25	6	10	24	32
高齢者受講者数	人	319	58	36	1,245	1,550
その他講座数	講座	8	15	1	12	15
その他延回数	回	11	22	2	16	34
その他延受講者数	人	155	362	43	262	531
合計講座数	講座	108	98	20	130	131
合計延回数	回	262	227	71	391	417
合計延受講者数	人	3,012	2,628	479	5,931	7,055

事業名：市民ホール管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	16	11	本年	128,195			1,889	126,306		115,510	91.5
				前年	89,462		2,722	7	86,733		80,147	92.4
				比較	38,733		2,722	1,882	39,573		35,363	-
【参考】前々年度				106,020		1,397	4,895	102,522		85,033	82.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	19,271	役務費	1,003	委託料	64,953	使用料及び賃借料	761
工事請負費	28,186	備品購入費	1,307	負担金補助及び交付金	28		

概要及び成果

1 市民ホール管理事業

市内4か所の市民ホール利用者が常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、適切な管理運営を行う。また、利用者が常に使いやすい環境に整えておくため計画的に老朽箇所等の修繕工事等を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染対策のため、利用ガイドラインの整備を行い、利用者へこまめに周知を行うとともにホールを利用する主催者との調整も適宜行った。また、施設の除菌等にも取り組み、安全で安心な利用環境を整えた。施設修繕については、優先順位をつけ実施した。

施設整備

市民ホールつくばねトイレ改修工事	24,750千円
市民ホールつくばね高圧ケーブル修繕工事	1,056千円
市民ホールくさざき非常用自家発電設備修繕工事	935千円
市民ホールくさざき多目的トイレ修繕工事	657千円
市民ホールくさざきコンデンサ修繕工事	583千円 ほか

利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	2172	1,827	1,176	2,100	1,827
延利用者数	人	75,007	43,096	23,938	110,948	125,158

事業名：市民活動センター維持管理に要する経費

市民部 市民活動センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	17	11	本年	9,771		1,301		11,072		9,802	88.5
				前年	10,034		1,900		8,134		7,332	90.1
				比較	263		3,201		2,938		2,470	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

報償費	316	需用費	2,918	役務費	312	委託料	4,872
使用料及び賃借料	570	備品購入費	159	負担金補助及び交付金	654		

概要及び成果

1 市民活動センター管理運営事業

市民活動を行うために必要な機能の提供（会議室、印刷機、パソコンの貸出し等）

市民活動団体等の活動情報の収集、市民活動に関する相談等の実施

【成果】

市民活動団体の活動情報を市民活動センター広報紙に掲載し、市民活動に興味がある市民と市民協働団体のマッチング促進を図ることができた。計画した講座・事業は適切に運営され、市民協働の推進に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
センター利用人数	人	2,265	1,742	1,568	3,310	3,438
会議室利用件数	件	175	219	264	377	437
会議室利用人数	人	936	801	1,199	2,567	3,178
講座開催回数	回	17	5	19	25	18
講座参加人数	人	88	36	124	103	103
相談件数	件	177	135	175	211	235
印刷機利用件数	件	319	209	245	640	696
複合機利用枚数	件	63	56			

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	30,336		4,692	539	34,489		29,870	86.6
				前年	22,131		4,237		26,368		22,047	83.6
				比較	8,205		455	539	8,121		7,823	-
【参考】前々年度					25,251		4,366		20,885		17,429	83.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	39	使用料及び賃借料	22	負担金補助及び交付金	32	扶助費	27,425
償還金利子及び割引料	2,352						

概要及び成果

1 施設入所措置事業

- ・助産施設 保健上必要があるにも関わらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入院させ、助産を受けさせる。
- ・母子生活支援施設 生活上の問題により、子どもの養育が十分できない場合などに、子どもと一緒に施設に入所させ保護する。

【成果】

母子生活支援施設に入所に関する相談が5件あったが、本人の意向や生活保護等の支援制度の活用等により、入所措置となったのは0件であった。

助産施設での入院助産については、相談5件のうち入院措置は4件で例年と比較し非常に対応件数は多かった。相談者の個々のケースに応じ、適切な対応を行い、母子等の経済的・精神的負担の軽減を図ることができた。

施設利用件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助産施設	件	4	0	1	1	0
母子生活支援施設	件	0	1	0	0	0

2 ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭等に対し、茨城県及び茨城県母子寡婦福祉連合会と連携し、就職に有利な資格取得のため養成機関で6月以上(上限48月)修学する場合の高等職業訓練促進給付金の支給や母子・父子・寡婦福祉資金の貸付など家庭の実情に応じた適切な支援を実施し生活の安定と自立の促進を図る。

・高等職業訓練促進給付金

ひとり親家庭の父又は母が、就職に有利な資格を取得するために、養成機関で6月以上修学する場合に給付金を支給する。

支給額...住民税非課税世帯：月額 100,000円、住民税課税世帯：月額 70,500円

修了月を含む最後の12月は4万円加算

支給期間...上限4年(48月)

・高等職業訓練修業者支援給付金(令和元年度より新設した市独自の上乘せ給付)

高等職業訓練促進給付金の支給決定を受けており(通信制を除く)、市内に引き続き1年以上住所を有し、かつ居住している者。また、養成期間修了後、資格を取得した日から1年以内に市内で取得した資格を必要とする業務に就労が見込まれる者に支給する。

支給額...月額 40,000円

支給期間...修了月を含む最後の12か月を除く期間(上限3年)

【成果】

- ・令和4年度は25名(新規15名、継続10名)へ給付金を支給し、8名(社会福祉士2名、美容師1名、言語聴覚士1名、製菓衛生師1名、看護師1名、准看護師1名、調理師1名)が養成機関を修了した。

高等職業訓練促進給付金利用件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高等職業訓練訓練促進給付金	件	25	18	16	16	11
高等職業訓練修業者支援給付金	件	6	3	3	3	-

3 養育費履行確保支援事業

ひとり親が受け取るべき養育費の確保を促進し、もってひとり親家庭の福祉の向上を図ることを目的とする。

【成果】

広報紙や市ホームページへの掲載や養育費に関する講演会を実施することで、養育費を受け取るべきひとり親家庭へ適切な情報提供を行うことができた。

養育費確保助成金支給人数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
養育費確保助成金支給人数	人	1	-	-	-	-

事業名：児童扶養手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	12	本年	692,729		1,695		694,424		668,713	96.3	
				前年	665,694		26,780		692,474		688,592	99.4	
				比較	27,035		25,085		1,950		19,879	-	
【参考】前々年度				676,020		40,566	2,000	714,586		707,864	99.1		
節別支出済額(単位:千円)													
報酬				20	需用費		206	役務費		547	扶助費		666,245
償還金利子及び割引料				1,695									

概要及び成果

1 児童扶養手当支給事業

父母の離婚などで、父(または母)と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として、児童を監護している父、母、又は父母に代わってその児童を養育している者に支給される。

なお、受給者、同居の扶養義務者の前年の所得により全部支給・一部支給の支給制限がある。

- ・支給対象児童：国内に住所を有する、18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までにある児童で、父又は母と生計を同じくしている児童。また、心身におおむね中等以上の障害がある場合は20歳未満まで。
- ・支給時期：年6回、奇数月に支給
- ・支給額：全部支給 児童1人 月額43,070円、児童2人 月額53,240円、児童3人 月額59,340円
一部支給 月額43,060円～月額10,160円

【成果】

ひとり親家庭の経済的・精神的負担が軽減され、生活の安定と自立の促進に寄与した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給対象者	人	1,392	1,356	1,431	1,399	1,375
支給停止者	人	344	281	302	281	262
支給額	千円	666,245	687,598	666,544	858,532	683,204

事業名：子どもの遊び場設置に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	13	本年	600				600		458	76.3
				前年	600				600		170	28.3
				比較	0				0		288	-
【参考】前々年度					600				600			0.0

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金 458

概要及び成果

1 子どもの遊び場設置事業

区会等が維持管理する子どもの遊び場について、遊具等の設置、修繕及び点検に要する経費に対し、補助金を交付する。(子供の遊び場遊具設置等補助金)
補助金の交付基準は、遊具の設置、修繕及び点検に要する経費の2分の1の額(上限額:設置500千円、修繕100千円、点検20千円)。

【成果】

広報紙(年2回)及び市ホームページで周知を行い、3件の申請を受け、同数の補助を実施した。なお、これらの媒体で周知活動を継続してきたことから、当該補助金の相談件数についても、令和3年度の7件から9件となり、区会等における「安全安心な遊び場の確保や管理」についての意識向上に寄与することができた。

実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修繕	件	1	3	0	1	0
設置	件	1	0	0	0	0
点検	件	1	0	0	-	-

「点検」に対する補助は令和2年度から開始

事業名：要保護児童対策に要する経費

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	14	本年	13,670		339		14,009		13,149	93.9
				前年	13,884		232		14,116		12,704	90.0
				比較	214		107		107		445	-
【参考】前々年度					1,686		1,289		397		197	49.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	10,620	職員手当等	1,075	旅費	607	需用費	57
役務費	56	委託料	351	備品購入費	33	負担金補助及び交付金	11
償還金利子及び割引料	339						

概要及び成果

1 家庭相談員活動事業

家庭相談員を配置し、電話や面接、訪問等により、児童に関する様々な相談に対して助言や指導を行い、問題解決に向けて援助活動をする。

【成果】

複雑な相談ケースや虐待対応について、学校や保健センター等の関係機関と連携を強化し、迅速かつ適切に支援を行うことができた。また、公認心理師によるペアレントトレーニングを実施し、子に対する接し方を助言することにより、親子関係の改善につながった。

家庭児童相談における受付相談件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規件数	件	1,186	1,045	1,041	733	543
延べ件数	件	12,232	9,944	8,479	5,773	4,668

2 子育て支援短期養育事業

児童養護施設(4施設)：つくば香風寮(つくば市)、道心園(土浦市)、窓愛園(土浦市)、筑波愛児園(つくば市)

乳児院(2施設)：さくらの森乳児院(つくば市)、日本赤十字社茨城県支部乳児院(水戸市)

里親(2世帯)と委託契約を結び、保護者の申請によりあらかじめ登録した児童を一月あたり上限7日間まで預かる。

【成果】

里親と委託契約を結んだことで、受け入れ先を増やすことができた。

子育て支援短期養育事業利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ人数	人	7	2	6	43	32
延べ日数	日	33	6	16	109	116

3 子育て支援短期養育に係るPCR検査事業

子育て支援短期養育事業を利用する児童がPCR検査を受けて、感染の有無を確認できることにより、事業の利用を促進することができる。PCR検査費用の利用者負担は無料とする。

【成果】

令和4年度子育て支援短期養育事業の利用者6名に対し、PCR検査を行い、感染拡大防止策を取り入れた子育て短期養育事業を実施できる体制を整えることができた。

4 要保護児童対策地域協議会の運営
 関係機関の代表者からなる代表者会議、実務担当者による実務者会議、個別の事例について適時検討する個別ケース検討会議を開催する。

【成果】

一時保護解除により家庭引き取りとなった児童や、要保護児童登録ケースの転出・転入時に関係機関との情報共有や役割分担を行い、支援体制の強化及び課題解決を図ることができた。

つくば市要保護児童対策地域協議会の開催回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
代表者会議	回	1	1	1	1	1
実務者会議	回	3	3	3	3	3
個別ケース会議	回	33	33	25	25	16

事業名：子ども・子育て支援に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	15	本年	13,870		55,834		69,704		68,055	97.6
				前年	13,564		166,875		180,439		178,744	99.1
				比較	306		111,041		110,735		110,689	-
【参考】前々年度				14,958		121,117	77	135,998		130,398	95.9	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	456	報償費	100	旅費	130	需用費	400
委託料	10,654	使用料及び賃借料	686	備品購入費	137	負担金補助及び交付金	258
償還金利子及び割引料	55,234						

概要及び成果

1 子ども・子育て支援事業

子育てサポートサービス事業（ファミリーサポートセンター事業）、子育て支援情報の運用管理、あかちゃんの駅推進事業、コミュニティづくり推進事業、子ども・子育て支援プランの進行管理、ホームスタート事業、結婚支援事業、公立保育所の施設整備を行う。

【成果】

子育て支援に関する各事業の実施及び情報発信により、子育て家庭を支援するとともに、子育てに対する不安感の軽減や楽しい子育ての応援、前向きな子育てへの意欲の醸成を図ることができた。

以下、主な成果

- (1)つくば市子ども・子育て支援プランの進行管理、その他子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項等を調査・審議するため、子ども・子育て会議を4回実施した。
- (2)子育て家庭を支える相互扶助サービスとして、子育てサポートサービス事業を実施した。(1)
- (3)事業者と行政が協力して、子育て家庭が外出中に授乳やおむつ替えで立ち寄ることができる施設「あかちゃんの駅」として登録している施設のうち、市内の児童館について、設備等の不足状況を確認し、おむつ替え台や授乳用イス等の設置を行い、利用者がさらに安心して利用できるよう整備した。(2)
- (4)結婚支援事業として結婚相談会及びカップリングパーティーを開催した（新型コロナウイルス感染症拡大の状況に配慮しながら、相談会を8回、パーティーを1回開催）。
- (5)子育てに悩んでいる家庭に訪問し、傾聴、協働を行うホームスタート事業を実施した。(3)
- (6)公立保育所の施設整備として、「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」に基づき、上境保育所、岩崎保育所、小田保育所の整備計画を完成させた。また、上ノ室・上広岡保育所、稲岡保育所の整備計画に着手した。
- (7)子ども子育てに関する情報発信として、ウェブサイトの子育てナビと併せて紙媒体及び電子書籍にて「子育てハンドブック2023～2024」（紙22,000部）を作成、配布した。

(1) 子育てサポートサービス事業（ファミリーサポートセンター事業）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
会員数	人	1,424	1,365	1,340	1,399	1,447
活動回数	回	2,622	2,229	2,149	3,385	3,794

(2) あかちゃんの駅推進事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録施設数	箇所	65	66	66	65	55

(3) ホームスタート事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問数	回	128	60	74	-	-

事業名：子育て支援拠点事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	16	本年	110,810		3,600		114,410		110,484	96.6
				前年	101,224		11,693	70	89,461		89,322	99.8
				比較	9,586		15,293	70	24,949		21,162	-
【参考】前々年度				92,929		9,950	77	102,956		88,740	86.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,169	役務費	16	委託料	108,229	使用料及び賃借料	70
-----	-------	-----	----	-----	---------	----------	----

概要及び成果

1 子育て支援拠点事業

子育て親子の交流の場を提供するとともに、育児相談、子育て情報の提供、一時預かり、講習会等を実施する。

【成果】

子育て家庭の交流や子育て相談などの子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て親子の交流を促進し、子育てに対する不安感や負担を軽減することができた。(子育て総合支援センター、かつらぎ保育園、さくら学園保育園、認定こども園みのり、わかば保育園分園、NPO法人ままとーん、つくばこどもの森保育園、島名杉の子保育園、にじいる保育園、花畑保育園の10箇所に地域子育て支援拠点を設置している。)

地域子育て支援拠点全般

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
地域子育て支援拠点利用者数(1)	人	63,204	50,170	60,242	127,014	151,976
つくば子育てフェスティバル来場者数(2)	人	864	2,006	-	945	923

子育て総合支援センター(指定管理)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つどいの広場利用者数	人	30,283	27,222	24,758	38,850	46,342
出張子育て広場利用者数	人	559	724	474	2,145	2,763
サークル支援利用者数	人	109	85	71	197	227
一時預かり事業利用者数	人	2,046	1,697	1,541	1,920	2,186
貸し室利用者数	人	543	522	378	498	1,470

(1) 令和4年度・3年度は10箇所(令和3年度は1箇所休所)、令和2年度・元年度・平成30年度は9箇所の合計

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は規模縮小しながら7日間開催した(令和3年度は10周年記念のため14日間)。

事業名：子どもの未来支援に要する経費

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	17	本年	53,838			908	54,746		54,411	99.4
				前年	44,447			722	45,169		44,416	98.3
				比較	9,391			186	9,577		9,995	-
【参考】前々年度					40,694		2,648		43,342		41,420	95.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,589	報償費	252	旅費	179	需用費	239
役務費	224	委託料	16,180	使用料及び賃借料	2	負担金補助及び交付金	31,731
扶助費	1,015						

概要及び成果

1 子どもの未来支援事業

(1) つくばこどもの青い羽根学習会

生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。平成29年10月事業開始。

(2) 居場所づくり支援事業(青い羽根のいえ)

原因が主に家庭にあり、生活習慣の乱れや社会性の不足などの複合的な課題を抱えている子どもに対して、居場所を提供することにより、生活習慣の改善や孤立の防止等を通じて、将来の自立へとつながる支援を行う。(食事の提供、送迎あり)

(3) 子どもの学習塾代助成

市内の中学校・義務教育学校に在籍する7~9年生のうち生活保護や就学援助受給世帯の生徒に対し学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。令和元年度事業開始。

(4) みんなの食堂事業補助金

(5) こども未来懇話会、こども未来庁内連携会議

(6) ボランティア登録説明会

(7) 学習支援団体に対する研修会の実施、データベースみまもり・アウトリーチ支援事業

【成果】

(1) つくばこどもの青い羽根学習会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施箇所数	箇所	16	16	14	13	3
利用児童・生徒数	人	341	332	299	236	80
事業費	千円	31,228	28,660	27,882	24,564	8,318

(2) 居場所づくり支援事業(青い羽根のいえ)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
居場所づくり拠点数	箇所	1	1	1	-	-
事業費	千円	16,024	9,379	5,507	-	-

(3) 子どもの学習塾代助成

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用生徒数	人	21	22	21	14	-
交付額	千円	1,015	1,080	999	575	-

(4) みんなの食堂事業補助金の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付団体者数	団体	7	5	5	4	2
交付額	千円	503	387	355	300	147

(5) つくば市こども未来懇話会の開催 2回(8/4、2/2)

こども未来庁内連携会議の開催 2回(7/22、1/20)

(6) 学習支援・居場所づくりボランティア登録説明会 2回開催(5/29 1/14)

(7) 学習支援団体に対する研修会・意見交換会 5回開催(5/12、8/25、12/12、1/14、2/10)

事業名：つくばこどもの青い羽根事業に要する経費

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	18	本年	797				797		477	59.8
				前年	712			36	676		539	79.7
				比較	85			36	121		62	-
【参考】前々年度					620				620		290	46.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	114	役務費	18	委託料	344
-----	-----	-----	----	-----	-----

概要及び成果

1 つくばこどもの青い羽根事業

つくばこどもの青い羽根基金に寄せられた寄附金を、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、すべての子ども達が夢と希望をもって成長していけるよう、子どもの未来支援事業に活用する。

(1)市内外に対し、つくばこどもの青い羽根基金の認知度向上に努める。

- ・ 広報つくばへの毎月掲載やホームページ・SNSへの掲載
- ・ 区会への啓発チラシ配布依頼
- ・ 市内事業者への啓発チラシ郵送
- ・ アニュアルレポート作成

【成果】

本年度

総額：14,861,720円（664件）
 個人：3,522,987円（291件）
 区会：3,547,576円（250件）
 企業：6,147,894円（106件）
 団体：1,643,263円（17件）

前年度

総額：14,193,324円（640件）
 個人：4,075,367円（277件）
 区会：3,161,290円（239件）
 企業：6,099,638円（116件）
 団体：857,029円（8件）

青い羽根基金の周知が浸透し、事業に対しての理解と賛同が増え、子どもの未来を支援する意識を醸成できた。

寄付金額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
目標額	円	10,000,000	8,600,000	8,600,000	7,000,000	-
実績額	円	14,861,720	14,193,324	15,479,456	8,781,446	-

事業名：子育て世帯臨時特別給付金給付事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	19	本年	24,094	238,090	170,226		432,410	0	226,195	52.3
				前年			3,978,080		3,978,080	238,090	3,738,619	100.0
				比較	24,094	238,090	3,807,854		3,545,670	238,090	3,512,424	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

役務費	100	扶助費	55,870	償還金利息及び割引料	170,225
-----	-----	-----	--------	------------	---------

概要及び成果

1 子育て世帯臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別の給付金として、対象児童1人につき、先行給付：5万円、追加給付：5万円、計10万円を支給する。

(児童手当の受給者変更により、追加給付分のみつくば市から支給した該当者1件あり。)

①令和3年9月分の児童手当支給対象児童

令和3年9月30日現在つくば市に住民票がある高校生等(平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれ)

令和3年10月1日から令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童(公務員以外は申請不要) 所得制限有り(児童手当特例給付相当を受ける世帯は対象外)

【成果】

給付金の支給によって、子育て家庭の経済的基盤の安定に寄与することができた。

市独自分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
児童数	人	73	-	-	-	-
支給額	千円	7,300	-	-	-	-

国分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
児童数	人	487	37,299	-	-	-
支給額	千円	48,570	3,729,850	-	-	-

事業名：子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	20	本年		26,338	627,242		653,580		578,197	88.5
				前年					26,338			
				比較		26,338	627,242		653,580	26,338	578,197	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

需用費	216	役務費	1,167	委託料	605	扶助費	479,200
償還金利子及び割引料	97,008						

概要及び成果

- 1 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯・その他世帯)
ひとり親世帯・その他子育て世帯の生活支援のため、対象児童1人あたり5万円の給付金を支給する。
【ひとり親世帯】給付対象者... 令和4年4月分児童扶養手当受給者
公的年金等の受給により令和4年4月分児童扶養手当が全額支給停止の者
家計が急変するなど、収入が児童扶養手当受給者と同水準となっている者
【その他世帯】給付対象者... 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当受給者で令和4年度分住民税均等割の非課税者
のほか、対象児童18歳年度末までの子(障害児は20歳未満)の養育者で令和4年度分住民税均等割非課税者と同様の事情であると認められる者
【ひとり親世帯・県事業分】給付対象者... 令和4年9月分児童扶養手当受給者
公的年金等の受給により令和4年9月分児童扶養手当が全額支給停止の者
家計が急変するなど、収入が児童扶養手当受給者と同水準となっている者
【その他世帯・県事業分】 令和4年9月分の児童手当又は特別児童扶養手当受給者で令和4年度分住民税均等割の非課税者
のほか、対象児童18歳年度末までの子(障害児は20歳未満)の養育者で令和4年度分住民税均等割非課税者と同様の事情であると認められる者

【成果】

給付金の支給によって、ひとり親家庭やその他子育て家庭の経済的基盤の安定に寄与することができた。

ひとり親世帯分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
世帯数	世帯	1,457	1,524	-	-	-
児童数	人	2,179	2,295	-	-	-
支給額	千円	108,950	114,750	-	-	-

その他世帯分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
世帯数	世帯	1,490	1,426	-	-	-
児童数	人	2,546	2,461	-	-	-
支給額	千円	127,300	123,050	-	-	-

ひとり親世帯・県事業分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
世帯数	世帯	1,476	1,422	-	-	-
児童数	人	2,216	2,148	-	-	-
支給額	千円	110,800	107,400	-	-	-

その他世帯・県事業分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
世帯数	世帯	1,431	-	-	-	-
児童数	人	2,479	-	-	-	-
支給額	千円	123,950	-	-	-	-

事業名：児童手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	02	11	本年	4,363,895			539	4,364,434		4,239,420	97.1	
				前年	4,240,175		83,227	18,939	4,342,341		4,336,262	99.9	
				比較	123,720		83,227	18,400	22,093		96,842	-	
【参考】前々年度				4,246,774		337,617	22,000	4,606,391		4,592,688	99.7		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				398	役務費		3,525	委託料		228	扶助費		4,234,730
償還金利子及び割引料				539									
概要及び成果													
<p>1 児童手当・特例給付支給事業</p> <p>15歳到達後最初の3月31日までの間(中学校修了前)にある児童を養育する者に年3回手当を支給する。</p> <p>支給時期：6月(2～5月分)、10月(6～9月分)、2月(10～1月分)</p> <p>支給額：月額、児童1人あたり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満：一律 15,000円 ・3歳以上小学校修了前：10,000円(第3子以降は15,000円) ・中学生：一律 10,000円 ・特例給付(所得制限額限度額以上の場合)：一律 5,000円 <p>【成果】</p> <p>子育てに伴う経済的・精神的負担が軽減され、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与することができた。</p>													
				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
児童手当・特例給付支給者数				人	20,547	23,994	21,826	21,457	21,227				
児童手当・特例給付支給額				千円	4,234,390	4,328,935	4,263,260	4,216,625	4,182,965				

事業名：ひとり親家庭等児童福祉金支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	03	11	本年	123,267				123,267		117,036	94.9
				前年	118,039		5,217		123,256		118,678	96.3
				比較	5,228		5,217		11		1,642	-
【参考】前々年度				118,054				118,054		114,007	96.6	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				23	委託料		396	扶助費		116,618		
概要及び成果												
<p>1 ひとり親家庭等児童福祉金の支給事業</p> <p>離別、死亡等により両親又はその一方に監護されず、かつ、これと生計を同じくしない15歳以下の児童の養育者に年1回3月にひとり親家庭等児童福祉金を支給する。</p> <p>支給額は、児童1人につき月額2,500円、児童扶養手当受給者は月額5,000円。</p> <p>【成果】</p> <p>ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与した。</p>												
ひとり親家庭等児童福祉金支給者・支給額												
				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
支給対象者				人	1,808	1,837	1,791	1,765	1,793			
支給額				千円	116,618	118,268	113,590	114,168	116,750			

事業名： 保育所運営に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	11	本年	449,908		36,432	978	487,318		446,796	91.7
				前年	402,017		27,662	896	430,575		388,115	90.1
				比較	47,891		8,770	82	56,743		58,681	-
【参考】前々年度				394,087		55,022	1,352	447,757		368,627	82.3	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	14,948	職員手当等	482	報償費	175	旅費	613
需用費	251,859	役務費	14,836	委託料	14,210	使用料及び賃借料	2,208
負担金補助及び交付金	145,396	償還金利息及び割引料	2,069				

概要及び成果

1 公立保育所運営事業

児童福祉法に基づく職員を適正に配置し、年齢にあった保育プログラムを作成し、保育を行う。
協働的な遊びや様々な体験を通じ、こどもの学びの向上の場を提供する。
児童の嗜好・食品の安全性・栄養バランスを考慮した給食の提供を行う。
児童の安心・安全な環境をつくり、保育の質を高める。

【成果】

- ・オムツ持ち帰りの慣行見直し：全23保育所で、使用済み紙オムツ廃棄を開始した。
- ・白米持参の慣行見直し：4保育所（吾妻・上横場・真瀬・北条）で令和3年4月に、12保育所（今鹿島、稲岡、二の宮、上ノ室、上境、上広岡、並木、桜南、小田、作岡、城山、岩崎）で令和4年4月に主食提供開始。このほか、7保育所（大穂、上郷、手代木南、松代、竹園、沼田、高見原）で令和5年4月からの主食提供開始に向け準備を進めた。

公立保育所児童数（3月末現在）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
児童数(23保育所総数)	人	1,705	1,726	1,739	1,727	1,730

2 児童入所事業

入所希望者の受付（随時）、入所検討会議（毎月）、民間保育園に保育実施の委託、次年度も入所を希望する児童についての継続確認（年1回）

【成果】

保育所入所希望の保護者に対して、公平・公正な入所審査を実施し、子育て環境の支援に繋がった。また、業務内容を見直し、入所結果通知の発送時期を、例年より約1週間早めることができた。

入所対応

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
入所申込児童数	人	9,109	8,699	8,008	7,543	7,174
入所児童数	人	7,987	7,718	7,175	6,711	6,310
待機児童数	人	3	2	42	131	116
保育コンシェルジュ相談件数	件	1,996	1,795	1,705	1,732	1,135

3月末時点、受託児童含み委託児童は除く、2・3号のみ

3 利用者負担額の決定・徴収事業

保育所入所児童全員について利用者負担額の算定し、決定を行う。
利用者負担額を口座振替等で行い、収納確認を迅速に行う。
利用者負担額の滞納世帯に対し納付の勧告をすることで、利用者負担額の徴収率向上を目指す。

【成果】

- ・税情報の取得に努め、適正な利用者負担額の決定を行うことができた。
- ・保育料等の収納において、保護者が納付しやすいよう口座振替を推奨し、高い徴収率を維持できた。

保育料徴収

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
現年度収納額	千円	998,491	912,353	834,314	1,264,132	1,594,752
収納率	%	99.5	99.8	99.3	99.3	99.0
滞納繰越収納額	千円	6,622	9,765	12,602	14,591	16,910
収納率	%	11.5	14.0	16.0	16.5	17.8

事業名：民間保育所運営に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	12	本年	10,352,009	158,492	980,729	978	11,490,252	192,129	10,200,931	90.5
				前年	9,614,592		262,427	18,939	9,858,080	158,492	8,758,108	90.4
				比較	737,417	158,492	718,302	17,961	1,632,172	33,637	1,442,823	-
【参考】前々年度				9,375,113	161,412	712,219	22,598	10,226,146		9,301,594	91.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	24	委託料	8,244,863	負担金補助及び交付金	1,476,316	扶助費	80,255
償還金利子及び割引料	399,474						

概要及び成果

- 1 民間保育園・市外保育園運営委託事業
民間保育園へ事業を委託し保育の実施を行う。市外の保育所へ入所決定した場合に、委託協議及び委託料の支払いをする。

【成果】

運営委託により、入所を希望する保護者支援を行うことができた。各園への委託料の支払いについて、各加算の認定を踏まえて適正に実施できた。

民間保育施設数及び入所児童数推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市内民間保育等施設数	1 園	79	71	62	52	48
市内入所児童数(1号)	2 人	781	785	779	761	772
市内入所児童数(2・3号)	2,3 人	6,282	6,094	5,436	4,984	4,580
市外民間保育等施設委託数	園	105	117	125	140	126
市外委託児童数	2,4 人	279	248	259	285	265

1 年度当初時点の園数(保育園、認定こども園、小規模保育事業、新制度移行幼稚園)

2 児童数については3月時点の人数

3 市外からの受託児童数も含む

4 1号含む

- 2 民間保育園補助事業

子ども・子育て支援事業、障害児保育事業等の各種補助事業実施施設や補給給付費等の支給対象保護者に対して補助金を交付する。

【成果】

各事業とも適正な補助を行うことで、保育内容の充実に繋げることができた。また、国の制度や保育全体の情勢を反映した補助事業を実施することができた。

補助金実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金総額	千円	478,636	405,415	329,103	235,344	215,107

- 3 民間保育園整備事業

社会福祉法人や学校法人が行う保育園の創設や増築に対し補助をし、定員を拡充をする。一時預かりや病児保育利用希望者の増加に対応するため一時預かり・病児保育を拡充する。

【成果】

子ども・子育て支援プランに基づき、需要の高い地域に適正な新設整備を実施し、合計9園、401人の定員を増加した。

施設種類別整備数及び増加定員数 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
保育園(分園含む)	園	4	1	5	5	2
認定こども園	園	0	0	1	0	0
小規模保育事業	園	5	4	4	5	2
増加利用定員数	人	401	186	736	646	240

1 2号・3号定員の設定がある施設に限る

4 保育士の処遇改善

民間保育所等に勤務する保育士及び幼稚園教諭に対し、助成金（月額30,000円）を交付する。

【成果】

保育士等の処遇を改善することで保育士の確保及び離職防止に繋げて、質の高い保育を安定的に提供することができた。

処遇改善助成金実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付決定者数	人	945	869	769	707	643
交付額	千円	302,670	282,480	249,330	228,690	211,440

5 認可外保育施設利用者への助成

幼児教育・保育無償化制度により、認可外保育施設の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。

【成果】

償還払いの手続きを案内、実施することで、保育の必要性がある家庭に対して円滑に給付をすることができた。

認可外保育施設無償化制度利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	210	225	203	183	-
給付額	千円	61,054	60,440	59,206	24,223	-

事業名： 保育所管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	13	本年	169,576		16,599		186,175	4,455	171,375	94.4
				前年	159,614		1,975	896	160,693	153,540	95.5	
				比較	9,962		14,624	896	25,482	4,455	17,835	-
【参考】前々年度				386,299	21,298	16,597	9,868	400,868		371,941	92.8	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	11,602	役務費	5,542	委託料	30,343	使用料及び賃借料	31,912
工事請負費	56,409	備品購入費	16,239	償還金利子及び割引料	19,328		

概要及び成果

1 公立保育所施設維持管理事業

- ・ 保育所機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。
- ・ 建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検（福祉施設定期点検）を実施する。
- ・ 保育所施設の修繕工事等を実施する。

【成果】

- ・ 施設管理委託事業者と連絡調整を綿密に実施し、適正な施設管理を行った。
- ・ 建築基準法第12条に基づき、8保育所の福祉施設定期点検（3年に1度）を行った。
- ・ 猛暑対策のため、空調機の入替え及び点検を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、13保育所で手洗い場の自動水栓化工事を行った。
- ・ 旧北条保育所の園舎等解体工事を行った。

事業名：児童館運営に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	11	本年	46,143				46,143		44,937	97.4
				前年	46,107				46,107		44,438	96.4
				比較	36				36		499	-
【参考】前々年度					46,883		8,976		55,859		46,209	82.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	121	需用費	4,161	役務費	3,979	委託料	28,000
使用料及び賃借料	4,582	備品購入費	773	負担金補助及び交付金	3,322		

概要及び成果

1 児童館運営事業

- 一般来館児童の遊びの指導
- 地域の利用者への対応と連携
- 児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入
- 運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕

【成果】

- ・「児童館まつり」等の不特定多数が来館するイベントは一部児童館では開催できなかったものの、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を全館で実施していることが一般来館者にも浸透してきたことから児童館利用数は令和3年度に比べ増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、運営ノウハウがある「全館対抗ドッジボール大会」を開催した。

来館者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
栄児童館	人	16,748	14,849	13,259	17,194	18,940
九重児童館	人	17,062	13,233	11,460	13,286	12,744
荃崎児童センター	人	10,609	8,903	6,689	8,372	8,101
松代児童館	人	20,788	18,525	17,707	24,519	37,347
吾妻西児童館	人	33,172	27,173	28,529	31,456	34,553
吾妻東児童館	人	6,507	7,502	7,581	13,307	13,132
手代木南児童館	人	15,359	13,591	13,313	18,208	19,975
二の宮児童館	人	21,316	18,655	22,463	39,241	45,367
谷田部児童館	人	38,364	37,175	35,788	42,800	44,525
上郷児童館	人	14,798	13,079	13,075	16,525	18,178
吉沼児童館	人	11,509	14,874	14,681	17,192	19,262
竹園西児童館	人	29,586	23,309	20,402	30,373	28,462
竹園東児童館	人	17,948	13,992	13,504	17,132	22,026
並木児童館	人	19,182	11,638	11,124	29,634	34,086
東児童館	人	23,835	26,609	26,146	32,522	32,757
桜南児童館	人	18,610	14,861	15,456	21,686	24,829
小田児童館	人	5,517	5,156	3,664	3,696	2,958
大首根児童館	人	24,278	21,178	22,913	27,954	26,390
計	人	345,188	304,302	297,754	405,097	443,632

2 児童館での交流支援

地域組織活動連絡協議会（母親クラブ）の育成及び合同事業を実施する。乳児及び保護者等の交流を助成する。

【成果】

- ・合同事業では、「段ボール迷路」に加え、筑波大生による「バルーンアートイベント」や「ハロウィン衣装での記念撮影スポットの提供」など、参加した親子が気軽に交流できる機会を創出することができた。
- ・新規クラブ員獲得のため、活動内容を子育てアプリ等で周知することができた。

事業名：放課後児童対策に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	12	本年	1,936,343	77,515	133,014		2,146,872		1,962,881	91.4
				前年	1,599,774		101,504		1,701,278	77,515	1,367,984	85.0
				比較	336,569	77,515	31,510		445,594	77,515	594,897	-
【参考】前々年度				1,167,820	50,951	336,993	4,852	1,550,912		1,216,526	78.4	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	187,992	職員手当等	526	報償費	92	旅費	9,121
需用費	18,908	役務費	4,217	委託料	744,281	使用料及び賃借料	34,148
工事請負費	749,694	公有財産購入費	7,538	備品購入費	18,110	負担金補助及び交付金	181,799
扶助費	1,374	償還金利子及び割引料	5,082				

概要及び成果

1 放課後児童クラブ事業

保護者の就労等により放課後に保育を受けることができない児童に対して、公営のみならず民間児童クラブを活用しながら、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。

【成果】

- ・公設公営の研究学園小学校児童クラブ棟及び香取台小学校児童クラブ棟の建設工事が完了し、令和5年度に開校する研究学園小学校及び香取台小学校に合わせて、公設公営児童クラブを整備することができた。
- ・公設公営児童クラブの放課後指導員を対象に、発達障害を有する児童への対応をテーマとした研修会を3回実施した。
- ・公設公営児童クラブの放課後指導員の募集に当たり、つくスマアプリを活用するとともに、近隣の大学や専門学校において募集チラシ等を配布した。

児童クラブ員数・クラブ数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公営児童クラブ 1	人(クラブ)	2,538(66)	2,429(61)	2,366(56)	2,091(44)	1,696(34)
民間児童クラブ 2	人(クラブ)	2,738(79)	2,584(71)	2,380(62)	2,221(60)	2,105(55)
合計	人(クラブ)	5,276(145)	5,013(132)	4,746(118)	4,312(104)	3,801(89)

1 児童館内の児童クラブ、サテライト方式により児童館が運営する児童クラブ、学校敷地内・隣接地の専用施設で児童クラブ長が運営する児童クラブがある。

2 市からの運営委託により、学校の余裕教室等の公共施設を利用して保護者会が運営する児童クラブ、指定管理者が運営する児童クラブ、民間事業者が自らの施設で運営する児童クラブがある。

事業名：児童館管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	13	本年	89,304		2,800		92,104		81,749	88.8
				前年	84,211				84,211		71,467	84.9
				比較	5,093		2,800		7,893		10,282	-
【参考】前々年度				155,985		23,738	1,067	131,180		121,283	92.5	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		22,728	役務費		1,438	委託料		12,262	使用料及び賃借料		1,817	
工事請負費		41,474	備品購入費		2,030							
概要及び成果												
<p>1 児童館管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 ・建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検（福祉施設定期点検）を実施する。 ・児童館施設の修繕工事等を実施する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理委託事業者と連絡調整を綿密に実施し、適正な施設管理を行った。 ・建築基準法第12条に基づき、6児童館の福祉施設定期点検（3年に1度）を行った。 ・吉沼、手代木南、竹園西児童館のプレイルームへ空調設備設置工事を実施した。 ・栄、上郷、吾妻東児童館のプレイルームの空調設備設置設計を実施した。 ・並木児童館給排水設備改修設計を実施した。 												

事業名：生活保護対策に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	2,207,194		67,044	45	2,274,283		2,193,702	96.5
				前年	2,161,859		161,258	59	2,323,058		2,302,371	99.1
				比較	45,335		94,214	104	48,775		108,669	-
【参考】前々年度					2,127,526		96,246	540	2,223,232		2,116,159	95.2

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,491	職員手当等	212	共済費	303	旅費	328
需用費	858	役務費	5,276	委託料	1,459	使用料及び賃借料	3,300
備品購入費	933	扶助費	2,110,500	償還金利息及び割引料	67,042		

概要及び成果

1 生活保護事業

国からの法定受託事務として、要保護者の困窮の程度に応じ、生活扶助、医療扶助、介護扶助等必要な支援をしながら自立を助長する。

【成果】

(1) 生活保護の動向

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請件数	件	229	269	184	180	148
保護廃止	件	173	185	147	143	116
被保護世帯(1)	世帯	1,055	1,010	964	927	906
被保護人員(1)	人	1,252	1,211	1,176	1,124	1,101
保護率(1)	%	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6

(2) 生活保護費の動向

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
生活扶助費	千円	636,787	600,458	573,425	575,663	555,527
住宅扶助費	千円	294,035	275,732	262,622	266,530	258,247
教育扶助費	千円	3,482	3,402	3,340	3,267	3,951
医療扶助費	千円	1,100,430	1,184,882	1,128,827	1,216,981	1,104,119
介護扶助費	千円	57,656	65,444	80,790	86,704	81,947
出産扶助費	千円	518	963	1,524	469	0
生業扶助費	千円	1,396	1,737	1,428	1,864	2,248
葬祭扶助費	千円	4,738	6,825	5,110	7,108	3,992
施設事務費	千円	8,725	9,236	6,699	6,226	9,384
就労自立給付金	千円	328	530	251	85	215
進学準備給付金(2)	千円	0	400	400	200	0
日常生活支援委託事務費(3)	千円	2,405	1,358	699	-	-
合計	千円	2,110,500	2,150,961	2,065,108	2,165,092	2,019,630

(1) 各年度末現在の数値

(2) 平成30年度より創設

(3) 令和2年度より創設された日常生活支援住居施設への委託事務費

事業名：生活困窮者自立支援事業に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	12	本年	53,474		5,923	245	59,152		49,997	84.5
				前年	37,421		25,621	59	63,101		55,495	87.9
				比較	16,053		19,698	304	3,949		5,498	-
【参考】前々年度					16,735		47,417		64,152		60,668	94.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	727	委託料	33,522	負担金補助及び交付金	2,000	扶助費	7,968
償還金利子及び割引料	5,781						

概要及び成果

- 1 生活困窮者自立支援事業
生活保護に至る前の支援策として、生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、住居確保給付金支給事業、一時生活支援事業を一体的に実施し、生活困窮者の自立を図る。

【成果】

住居確保給付金の新規申請件数は減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活に困窮されている方からの相談件数は増加しており、相談支援をとって生活困窮者の自立支援に寄与することができた。

(1) 自立相談支援事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談受付件数	件	4,224	3,871	3,260	70	73
新規支援プラン作成件数	件	64	15	12	20	15
就労支援対象者数(A)	人	63	101	108	20	20
就労者数(B)	人	19	28	18	11	14
就労率((B)/(A))	%	30	28	17	55	70

(2) 就労準備支援事業 令和2年度から事業開始

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
プラン作成件数	件	2	3	2	-	-

(3) 家計改善支援事業 令和2年度から事業開始

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
プラン作成件数	件	3	9	11	-	-

(4) 住居確保給付金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規申請件数	件	32	74	228	18	15
支給総額	千円	7,968	24,885	32,587	2,363	2,150

(5) 一時生活支援事業 令和4年度から事業開始

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支援対象者数	人	3	-	-	-	-

離職により住居を失った者又は失うおそれが高い者に対して、有期で家賃相当額（生活保護の住宅扶助と同額）を支給すると共に就労支援を行う。

支給限度額：単身世帯34,000円、2人世帯41,000円、3～5人世帯44,000円、6人世帯48,000円、7人以上世帯53,000円

支給期間限度：3か月間（延長可、最大9か月）

1 自立相談支援事業：生活困窮者が自立して生活するための支援をする。

2 就労準備支援事業：一般就労に向けた日常生活自立や社会生活自立を支援する。

3 家計改善支援事業：家計の状況を適切に把握することや家計改善の意欲を高めることを支援する。

4 一時生活支援事業：住居を持たない困窮者に宿泊場所の供与、食事の提供等、日常生活を営むのに必要な支援をする。

事業名：生活困窮者自立支援金支給に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	03	01	13	本年	78,246		18,261	200	96,707	0	52,115	53.9	
				前年			69,503		69,503		37,926	54.6	
				比較	78,246		51,242	200	27,204	0	14,189	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
職員手当等				274	役務費		111	委託料		10,509	扶助費		22,960
償還金利子及び割引料				18,261									
概要及び成果													
<p>1 生活困窮者自立支援金支給事業 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、総合支援資金の貸付終了などにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために支援金を支給する。 【申請期間】令和4年12月31日まで 【支給額】単身世帯：6万円、2人世帯：8万円、3人以上世帯：10万円 【支給期間】3か月 【再支給】一度に限り可（支給額、支給期間等は初回支給時と同様）</p> <p>【成果】 必要とされる世帯に生活困窮者自立支援金を支給することで自立助長に寄与することができた。</p>													
申請数及び支給額													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
申請件数(初回)		件	35	116	-	-	-						
申請件数(再支給)		件	36	46	-	-	-						
支給額		円	22,960,000	24,620,000	-	-	-						

事業名：災害救助に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	04	01	11	本年	3,845				3,845		1,035	26.9														
				前年	4,295				4,295		1,868	43.5														
				比較	450				450		833	-														
【参考】前々年度					4,745		26		4,719		1,844	39.1														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				40	委託料		627		使用料及び賃借料		45	扶助費	323													
概要及び成果																										
<p>1 被災住宅復興支援事業 東日本大震災により被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関から借り入れた場合、借り入れに係る利子の補給を行う。</p> <p>【成果】 被災者の自立助長が図られた。 ・被災住宅復興資金利子補給支給 4件</p>																										
<p>2 つくば市災害見舞金支給事業 火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。</p> <p>【成果】 被災者の自立の助長が図られた。</p> <p>災害見舞金支給件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害見舞金支給件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	災害見舞金支給件数	件	3	8	5	3	5
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
災害見舞金支給件数	件	3	8	5	3	5																				
<p>3 避難行動要支援者事務 避難行動要支援者名簿の掲載要件（介護認定や手帳の所持）に該当する者の名簿を作成する。また、掲載者に対して外部への情報提供の同意を確認し、同意した者の名簿については、平常時から避難支援者に提供する。さらに個別支援計画として、個々の避難計画を作成することで、災害時の迅速な対応に活用していく。</p> <p>【成果】 土砂災害警戒区域及び浸水想定区域を対象に個別支援計画を策定した。 個別支援計画策定済件数：141件（土砂災害・水害区域）</p>																										

事業名：竜巻災害救助に要する経費

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	04	01	12	本年	280				280		268	95.7
				前年	320				320		300	93.9
				比較	40				40		32	-
【参考】前々年度					340				340		326	95.9
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費				268								
概要及び成果												
<p>1 被災住宅復旧資金借入利子補給金の支給 竜巻で被害を受けた市民に対し、被災した住宅の復旧に要する資金の利子補給をおこなうことにより、被災者の自立の助長を図る。</p> <p>【成果】 ・被災住宅復旧資金利子補給支給 竜巻被害：3件</p>												

事業名：献血推進事務に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	596				596		595	99.9
				前年	596				596		456	76.5
				比較	0				0		139	-
【参考】前々年度					772				772		351	45.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		175	負担金補助及び交付金	420								
概要及び成果												
<p>1 献血推進事務</p> <p>(1)安全な血液製剤の安定供給のために、移動献血バスの配車計画作成、協力企業・学校等への協力依頼訪問、献血実施の広報（ポスター掲示、Twitter、Facebookでの配信）、献血協力者への粗品提供を行う。</p> <p>(2)骨髄バンクドナー登録への支援や骨髄移植提供者への助成等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症の影響により、協力企業での献血実施を控えたり、実施直前で中止になった場所があったため、年間の献血者数が減少する結果となった。</p> <p>(2)骨髄バンクドナー登録支援として市ホームページや献血の際にチラシを配布し、周知活動を行った。また、骨髄移植提供者への助成は3人であった。</p>												
○移動採血者車による献血実績												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
献血者数		人	3,084	3,521	3,659	3,653	4,211					
○骨髄移植提供者（骨髄ドナー）への助成実績												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
年間実施人数		人	3	2	0	1	4					

事業名：休日緊急医療に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	12	本年	38,773				38,773		38,453	99.2
				前年	38,655				38,655		38,581	99.8
				比較	118				118		128	-
【参考】前々年度					35,525				35,525		35,523	100.0

節別支出済額(単位:千円)

委託料 38,453

概要及び成果

1 休日緊急診療委託事業

つくば市医師会へ業務を委託し、日曜、祝日、年末年始の診療を行う。
 つくば市歯科医師会及びつくば薬剤師会へ業務を委託し、年末年始の診療体制等を確保する。
 二次救急医療機関（5医療機関）に輪番制による業務を委託し、日曜・祝日・夜間に重症患者の救急治療・診療体制を確保する。

【成果】

協力医療機関及び二次救急医療機関（5医療機関）の協力により、医療受診・救急体制が確保できた。

(1)休日緊急診療 一般内科

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
当番日数	日	72	72	72	76	73
診療患者数	人	5,050	3,332	2,649	6,197	5,882
医療機関数(延)		149	149	149	149	151

(1)休日緊急診療 歯科

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
当番日数	日	6	6	6	6	6
診療患者数	人	173	228	155	130	105
医療機関数(延)		12	12	12	12	12

(2)病院群輪番制(延患者数内訳)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
入院	人	1,568	1,425	1,285	1,404	1,661
外来	人	8,032	7,053	5,538	9,294	10,759
計	人	9,600	8,478	6,823	10,698	12,420

事業名：健康増進に要する経費

保健部 健康増進課 / 保健部 新型コロナウイルス対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	13	本年	6,351		44,000		50,351		47,105	93.6
				前年	6,525			518	6,007		5,133	85.4
				比較	174		44,000	518	44,344		41,972	-
【参考】前々年度				9,909	1	916		8,994		7,464	83.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	144	需用費	985	役務費	17	委託料	2,918
使用料及び賃借料	138	負担金補助及び交付金	42,903				

概要及び成果

1 新型インフルエンザ等対策事業

職員向けに講習会、実務訓練を行い、各部署の役割を明確にするとともに感染症の基本的な知識と技術を習得する機会とする。市民に対し感染症対策に関する講話を行い、周知・啓発を図る。

【成果】

- ・職員向け講習会を行い、各課の役割分担を再認識させるとともに、感染症の基本的知識と感染予防のための手技（手洗い方法、正しいマスク着用、予防衣着脱）を習得させることができた。
- ・市民出前講座にて感染症対策の講話を行い、周知・啓発することができた。

新型インフルエンザ等対策講習会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	41	37	38	76	102

2 健康増進計画事業（健康つくば21策定・推進事業）

健康増進法に基づき、市の実情を踏まえた「つくば市健康増進計画」を策定し推進する。計画は5年ごとに全体の評価を実施し、見直しを行う。令和4年度は第4期計画の2年度であり、重点施策及び7分野（健診の充実、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、喫煙・飲酒、歯と口腔の健康、健康管理）について関係課各課にて計画の推進、進捗管理、評価を行った。

【成果】

- ・第4期健康増進計画の重点施策である、働き世代の健康づくりやこころの健康維持を重点とした取り組みを実施できた。

○啓発チラシ配布数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
チラシ等配布数	部	174,469(1)	769(2)	0(3)	約2,200	約2,100

(1) 健康フェスタ事業終了に伴い、令和4年度から乳がん検診・骨粗しょう症・歯周病・禁煙等に関する啓発（社保加入者・レディース検診・成人歯科検診通知）に指標変更。

(2) イベント中止のため、基本健診受診者に対しチラシ等を配布。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント中止のため。

3 放射線検査費用助成事業

平成4年3月12日以降に生まれた者（東日本大震災当日18歳以下の者）で検査受診日につくば市に住民登録のある者、または検査受診日につくば市に住民登録のある妊婦に対して、甲状腺エコー検査またはホールボディカウンター検査（助成額 各検査上限3,000円）の助成を行う。助成回数は助成対象期間内においていずれかの検査1回となる。

【成果】

- ・規則を改正し、申請期間を2年間延長した。

○放射線検査費用助成申請状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	人	0	3	22	2	7
交付額	千円	0	9	66	6	21

4 健康づくり推進協議会関係
市民の健康づくりを計画的かつ総合的に推進するために本協議会を設置する。協議会では健康づくりのための施策に関すること、健康づくりのための事業に関すること、その他健康づくりのために必要と認められる事項に関して協議する。

【成果】

- ・第4期健康増進計画の具体的な施策等について委員から意見や助言を得ることができた。

5 在宅血液透析患者助成金支給事業
在宅で血液透析を一月につきおおむね10回以上行った場合に、その月の電気料及び水道料金に対して10,000円/月を支給する。

【成果】

- ・3人に対し助成することができた。

○在宅血液透析助成申請状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間実施人数	人	3	2	2	2	-

事業名：医療環境整備に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	14	本年	92,074				92,074		34,777	37.8
				前年	92,074	50,000			142,074		92,069	64.8
				比較	0	50,000			50,000		57,292	-
【参考】前々年度				92,130		29	3	92,104	50,000	42,075	100.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	30	需用費	39	寄附金	34,708
-----	----	-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 周産期医療体制の整備事業

筑波大学との連携により、つくば市バースセンター及び寄附講座を開設し、市民の出産の場の安定的な確保に努める。また、バースセンター設置の効果等について「つくば市バースセンターに関する懇話会」を設置し、検証を行う。

つくば市産婦人科施設開設支援事業助成金により、市内に病院又は診療所を開設等しようとするものに対し、その経費の一部を支援する。

【成果】

- ・「つくば市バースセンターに関する懇話会」を開催し、バースセンター再整備費用の寄附額と寄附講座継続の必要性について協議した。
- ・「つくば市バースセンターの施設再整備に関する協定書」、「つくば市総合周産期医学寄附研究部門の設置に関する協定書」、「つくば市バースセンターの運営に関する覚書」を再締結した。

分娩数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
分娩数	人	103	88	138	112	101

分娩数は年単位(1月~12月)

(保健部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室 / 感染症対策室)

事業名：新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費

保健部 新型コロナウイルス対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	15	本年	78,623	978,428	1,661,773		2,718,824	457,827	2,068,449	92.9
				前年	1	300,565	2,567,927	5,921	2,874,413	978,428	1,859,413	98.7
				比較	78,622	677,863	906,154	5,921	155,589	520,601	209,036	-
【参考】前々年度						679,603		679,603	300,565	96,813	58.5	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	108	職員手当等	1,155	旅費	16	需用費	17,330
役務費	202,964	委託料	750,677	使用料及び賃借料	5,351	備品購入費	977
負担金補助及び交付金	17,355	償還金利息及び割引料	1,072,515				

概要及び成果

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

新型コロナウイルスワクチン接種が計画的に実行できるよう接種体制を整備するとともに、国や県の方針に沿って希望する市民等へ接種を行う。

【成果】

- ・つくば市医師会と連携し市内約115の接種協力医療機関による個別接種の体制を整備し、高齢者(65歳以上)、一般(12~64歳)、小児(5~11歳)、乳幼児(6か月~4歳)へそれぞれ対応するワクチン接種を行ったほか、医療従事者、基礎疾患保持者及び介護施設従事者等へ優先接種を実施した。
- ・配送システム、配車アプリ等を活用した配送体制を整備し、ワクチンの適切な管理と医療機関への確実な配送を実施した。
- ・厚生労働省の方針に沿って、対象者に対して適切な時期に遅延なく接種券の発送を実施した。
- ・予約システムの導入、コールセンターの設置、交流センター等市内22か所での予約サポート体制により市民からの予約受付・問い合わせ等に対応した。
- ・接種協力医療機関でワクチン接種後に案内チラシを配布し、副反応や健康被害救済制度に関する情報提供を実施するとともに、電話や市窓口において看護師2名体制で相談対応を行った。

【令和4年度末時点 新型コロナウイルスワクチン接種者数】(令和3年3月接種開始からの累計)

	12歳以上	5~11歳	6か月~4歳
1回目接種者数	197,881人 96.55%	5,331人 31.77%	790人 6.41%
2回目接種者数	196,977人 96.11%	5,108人 30.44%	701人 5.69%
3回目接種者数	164,324人 80.18%	2,283人 13.61%	412人 3.35%
4回目接種者数	105,537人 51.49%		
5回目接種者数	44,091人 21.51%		

2 新型コロナウイルス感染症対策事業

- ・基本的対処方針に基づき、市主催イベントや大会等の取扱い方針の作成をすること、イベント開催時に関係部署からの相談に対応すること、つくば市各施設利用のためのガイドライン見直しを関係部署に促す。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する感染拡大防止の情報や市内感染者の情報を市ホームページやSNSに随時掲載する。
- ・備蓄品(医療物資)の管理を行い、必要に応じて医療機関や社会福祉施設へ配布する。
- ・つくば市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催する。
- ・市民等からの感染症に関する相談に対応する。
- ・茨城県が実施する新型コロナウイルス感染症業務への保健師派遣を行う。

【成果】

- ・基本的対処方針に基づき、市主催イベントや大会等の取扱い方針の作成、イベント開催時に関係部署からの相談に対応、つくば市各施設利用のためのガイドライン見直しを関係部署に促し全庁的な改訂を行うことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する感染拡大防止の情報や市内感染者の情報を市ホームページ・SNSに随時掲載することができた。
- ・社会福祉施設等に備蓄品を配布することができた。

【令和4年度実績】

- ・つくば市新型コロナウイルス感染症対策本部会議2回開催
- ・市民から感染症に関する相談件数1,347件
- ・新型コロナウイルス感染症業務に関する保健師派遣：つくば保健所保健師派遣(実/延：13/17名)

3 PCR検査事業（市独自）

・市独自PCR検査事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染者を早期に発見し、感染拡大防止及びクラスター発生防止につなげる。対象は、小学生以上のつくば市民または、在勤在学者で、濃厚接触者に該当せず発熱等の症状がない者とする。検査結果は、検査当日にメール通知、郵送または窓口交付とする。

【成果】

・令和3年10月より事業を開始した。感染拡大時には、検査枠を拡大したことで、感染の不安解消や社会生活の継続につなげることができた。
・陽性であると判明した場合には、電話にて医療機関の受診勧奨と受診の確認を行った。
・令和5年3月末で本事業終了。

【令和4年度実績】

・検査件数7,897件
・検査結果件数 陰性7,656件、陽性241件

4 自宅療養者支援事業（市独自）

新型コロナウイルスの感染拡大により市の自宅療養者が急増している状況から、市独自で療養中に必要な食料品や日用品（1人に対して約5日分）を自宅療養者宅へ無償で配送する。

【成果】

・令和3年8月より事業を開始した。申し込みのあった自宅療養者に対し、当日または翌日までには支援物資を配送できるよう迅速に対応することができた。
・令和4年5月末で本事業終了。

【令和4年度実績】

配送実績745件（陽性者本人セット745件、家族セット848件）

事業名：予防接種に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	02	11	本年	819,869		142,137		962,006		817,009	84.9
				前年	746,186		1,984		748,170		715,683	95.7
				比較	73,683		140,153		213,836		101,326	-
【参考】前々年度					710,664		85,648	10	796,302		748,387	94.0

節別支出済額(単位:千円)

旅費	5	需用費	3,153	役務費	9,551	委託料	794,050
使用料及び賃借料	184	負担金補助及び交付金	1,999	扶助費	4,854	償還金利子及び割引料	3,214

概要及び成果

1 予防接種要注意者紹介制度事業

保護者の申請に基づき、茨城県が定めた予防接種要注意者紹介制度実施要領により、指定されている専門的な医療機関に対し予防接種依頼書を交付する。

【成果】

疾病等の理由により、予防接種を受けるにあたり注意を要すると判断された児が、かかりつけ医から医療機関に紹介されたことで、予防接種を安全かつ安心して受けることができた。

依頼書発行者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人数(延べ)	人	32	29	35	29	25

2 定期予防接種事業

予防接種法に基づく予防接種を行う。対象となる市民に対し、個人通知や市ホームページ等を通して接種勧奨を行い、また、予防接種に関する知識の普及を行う。

予防接種後に何らかの健康被害が生じた場合に、相談窓口としての相談に応じる。

【成果】

個人通知を行い、必要な方が予防接種を受けることができた。

A類疾病(集団予防を目的とする感染症)接種者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ヒブ	人	9,009	9,055	9,458	9,122	9,313
小児肺炎球菌	人	9,025	9,026	9,242	9,379	9,339
四種混合	人	9,024	9,072	9,303	9,404	9,402
三種混合	人	10	1	1	1	1
BCG	人	2,300	2,251	2,289	2,350	2,297
B型肝炎	人	6,740	6,732	6,785	6,944	6,878
麻しん・風しん	人	4,821	4,928	4,961	4,781	4,837
水痘	人	4,447	4,563	4,841	4,630	4,670
日本脳炎	人	12,371	5,920	11,803	11,523	12,192
二種混合	人	2,112	2,306	2,530	2,284	2,259
ヒトパピローマウイルス	人	4,804	1,379	728	189	54
不活化ポリオ	人	3	5	3	8	53
ロタウイルス	人	5,083	4,962	2,066	-	-
大人の麻しん風しん第5期	人	223	595	618	735	-
大人の風しん第5期	人	5	10	2	10	-

B類疾病(個人予防を目的とする感染症)高齢者インフルエンザ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者	人	49,207	48,568	47,692	46,622	45,638
接種者数	人	29,860	28,364	30,852	25,017	23,329
接種率	%	60.7	58.4	64.1	53.7	51.1

B類疾病（個人予防を目的とする感染症）高齢者肺炎球菌

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	4,500	6,449	6,450	7,028	9,149
接種者数	人	1,377	1,640	1,842	1,776	3,694
接種率	%	30.6	25.4	28.6	25.3	40.4

大人の風しん抗体検査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
検査者数	人	919	2,577	2,986	3,160	-

令和元年度から高齢者肺炎球菌予防接種対象者は、65歳及び65歳以上で5歳刻みの未接種者となる

3 任意予防接種事業

予防接種法に基づかない任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜ、大人の風しん、免疫消失者の再接種）を協力医療機関に委託し実施する。

【成果】

必要な方が予防接種を受けることができた。

小児インフルエンザ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
接種者数(延べ)	人	31,065	30,181	38,909	37,102	33,691

おたふくかぜ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
接種者数	人	2,437	2,293	2,704	2,744	-

ロタウイルス

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
接種者数(延べ)	人	-	-	1,446	-	-

大人の風しん

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
麻疹風しん	人	45	42	41	97	-
風しん	人	7	3	5	0	-

骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種再接種費用の助成

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
免疫消失者再接種	人	0	0	-	-	-

ロタウイルスは、定期接種開始前の経過措置のため、令和2年度のみ事業

骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種再接種費用の助成は、令和3年度から開始

事業名：母子健康診査に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	11	本年	280,967				280,967		268,374	95.5
				前年	271,457		2,148	53	273,552		268,297	98.1
				比較	9,510		2,148	53	7,415		77	-
【参考】前々年度				270,111		948	1,756	269,303		256,185	95.1	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	430	需用費	1,931	役務費	5,191	委託料	252,842
備品購入費	101	扶助費	7,879				

概要及び成果

1 母子健康診査事業

妊婦の健康管理及び疾病の早期発見、早期治療ができるように、妊婦一般健康診査を実施する。
産後うつ等の早期発見等、産後初期段階の母子支援を強化するため、産婦健康診査を実施する。
乳児の疾病の早期発見、早期治療をはかると共に、健康管理の向上、育児不安の軽減のため、乳児一般健康診査を実施する。

対象者に個別通知を行い、1歳6か月健診、1歳6か月歯科検診、3歳健診を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の感染状況から、状況に合わせて感染対策を徹底し、健診を実施した。

妊婦一般健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診者数(延)	人	25,771	25,637	24,620	26,730	25,705

産婦健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診者数(延)	人	4,001	3,845	3,668	3,834	3,409

乳児一般健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診者数(延)	人	4,234	4,121	4,365	4,220	4,248

1歳6か月歯科検診

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	2,394	2,437	2,392	-	-
受診者数	人	1,937	2,073	1,661	-	-
受診率	%	80.9	85.1	69.4	-	-

1歳6か月健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	2,394	2,437	2,392	2,413	2,380
受診者数	人	2,329	2,360	2,423	2,236	2,316
受診率	%	97.3	96.8	101.3	92.7	97.3

3歳健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	2,574	2,527	2,517	2,541	1,643
受診者数	人	2,540	2,401	2,534	2,299	1,662
受診率	%	98.7	95.0	100.7	90.5	101.2

1歳6か月歯科検診(個別)は令和2年度から開始

事業名：母子保健指導に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	12	本年	25,644		4,169		29,813		27,610	92.6
				前年	16,304		12,366	53	28,723		18,395	64.0
				比較	9,340		8,197	53	1,090		9,215	-
【参考】前々年度					10,830		2,948	3	13,775		11,170	81.1

節別支出済額(単位：千円)

報酬	6,916	職員手当等	631	報償費	536	旅費	134
需用費	1,310	役務費	418	委託料	11,626	使用料及び賃借料	40
備品購入費	398	負担金補助及び交付金	8	扶助費	1,423	償還金利息及び割引料	4,169

概要及び成果

1 母子保健指導に関する事業

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施するため、母子健康手帳交付を始めとし、各種健康教室、育児相談、あかちゃん訪問事業等を実施する。また、より支援の必要な対象者に対し、養育支援訪問等を実施する。

【成果】

妊娠届出時、妊娠期、出産から子育て期の保護者及び児に対し、各種相談事業、教育事業、訪問事業を実施し、切れ目のない支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染対策としてマタニティサロンのオンライン開催や動画配信、電話相談、資料送付等で妊婦等の支援を行った。

母子健康手帳交付状況（再交付等を含む）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
母子健康手帳交付数	冊	2,454	2,543	2,370	2,454	2,507

利用者支援事業（母子健康包括支援センター）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
妊娠届出時面接相談数	人	2,255	2,339	2,251	2,317	2,326
内要支援妊婦数	人	377	294	257	213	211
電話相談該当者数	人	1,342	1,106	1,255	1,357	1,149

マタニティサロン

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
妊婦編参加数	人	140	105	102	134	159
育児編参加数	人	625	506	514	823	736
マタニティ講演会参加数	人	116	68	81	117	138

あかちゃん訪問

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問数	人	2,293	2,170	2,232	2,302	2,277
実施率	%	96.7	98.5	95.8	98.0	98.0

養育支援訪問

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施延べ数	人	960	913	1,077	578	276

産後ケア事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用実数	人	104	74	45	54	26

あかちゃんランド

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	31	30	31	33	36
参加数	人	274	258	277	521	571

動画配信視聴状況 R3.2月より配信

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
沐浴について	人	772	842	112	-	-
離乳食について	人	373	451	127	-	-

すこやか健康相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談延べ数	人	1,354	1,092	1,092	1,919	1,737

発達相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	88	76	84	98	82
相談延べ数	人	176	124	147	184	188

のびのび子育て教室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	48	37	32	48	48
参加実数(児)	人	39	36	35	52	56
参加延べ数(児)	人	250	226	198	316	489

出前健康講座

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	33	26	21	34	26
参加数(乳幼児、学童)	人	213	211	173	456	349
参加数(保護者)	人	211	225	174	450	323

子育て応援講座 R2年度より開始。R3年度から動画配信のため視聴数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加数(保護者)	人	108	69	6	-	-

ペアレントプログラム R元年度より開始

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース数	回数	1	1	2	4	-
参加延べ数	人	30	36	62	163	-

事業名：不妊治療助成に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	13	本年	44,663			2,808	41,855		19,511	46.6
				前年	17,168		27,440		44,608		37,264	83.5
				比較	27,495		27,440	2,808	2,753		17,753	-
【参考】前々年度					16,686			1,750	18,436		17,817	96.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	71	扶助費	19,440
-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 不妊治療費助成事業

申請による助成金の交付。

<特定不妊治療費の助成額>

令和4年4月1日から不妊治療の一部保険適用により、保険適用外の特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦で、かつ茨城県不妊治療助成の交付決定を受けた方に対して、1回の治療につき5万円を限度として助成を行う。助成回数は、治療開始が令和4年3月31日以前で、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に治療が終了したものに1回限りとする。

<不妊検査及び一般不妊治療費の助成額>

令和4年4月1日から不妊治療の一部保険適用により、令和4年3月31日までに医師が認めた不妊検査・一般不妊治療を受けた夫婦に対し、3万円を限度として助成を行う。助成回数は、夫婦1組につき1回とする。

【成果】

特定不妊治療、不妊検査及び一般不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。

特定不妊治療助成対象治療件数256件のうち130件、一般不妊治療に関しては、94件のうち15件が妊娠に至った。

(1) 特定不妊治療実施状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請者数	人	256	371	203	179	190
うち男性不妊の申請件数	件	4	0	0	2	1
助成対象治療件数	件	331	617	295	272	284

(2) 不妊検査及び一般不妊治療実施状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成対象治療件数	件	94	224	110	-	-

2 不育症治療費助成事業

不育症に悩む夫婦の経済負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じた適切な治療を開始することを促進することにより、少子化の進展を防止する。

【成果】

不育症検査及び治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することができた。

(1) 不育症治療実施状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請者数	件	14	8	-	-	-

事業名：養育医療給付に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
04	01	03	14	本年	9,997			2,808	12,805		12,805	100.0																					
				前年	10,739		1,168		11,907		10,473	88.0																					
				比較	742		1,168	2,808	898		2,332	-																					
【参考】前々年度					11,103		715		11,818		7,742	65.5																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
役務費					4	扶助費			12,800																								
概要及び成果																																	
<p>1 養育医療給付事業 未熟児に対して出生後速やかに適切な処置を講ずる必要があることから、指定養育医療機関において、必要な医療の給付を行う。</p> <p>【成果】 保護者の経済的負担を軽くし、児に対して必要な医療を提供することができた。</p> <p>(1) 養育医療券交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>人</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>対象児の入院月数(延べ)</td> <td>月</td> <td>117</td> <td>86</td> <td>65</td> <td>80</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	人数	人	40	35	31	31	34	対象児の入院月数(延べ)	月	117	86	65	80	81
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
人数	人	40	35	31	31	34																											
対象児の入院月数(延べ)	月	117	86	65	80	81																											

事業名：出産・子育て応援給付金支給に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
04	01	03	15	本年			332,233		332,233	313,702	18,120	99.9																					
				前年																													
				比較			332,233		332,233	313,702	18,120	-																					
【参考】前々年度																																	
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費					568	役務費			859	委託料	1,532	備品購入費	160																				
負担金補助及び交付金					15,000																												
概要及び成果																																	
<p>1 出産・子育て応援給付金支給に要する経費 妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、面談を通じて相談を受け、必要な支援等につなげる伴走型相談支援と、応援給付金の支給(各5万円)による経済的支援を行う。 (令和5年2月1日事業開始)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの通知を受け、早期に体制を整え、年度内に事業開始できた。 ・伴走型相談支援及び経済的支援を実施できた。 <p>応援給付金の支給決定数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出産応援給付金</td> <td>人</td> <td>273</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>子育て応援給付金</td> <td>人</td> <td>27</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	出産応援給付金	人	273	-	-	-	-	子育て応援給付金	人	27	-	-	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
出産応援給付金	人	273	-	-	-	-																											
子育て応援給付金	人	27	-	-	-	-																											

事業名：健診事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	11	本年	280,539		973	440	281,072		258,390	91.9
				前年	271,812		10,781	1,749	280,844		247,502	88.1
				比較	8,727		9,808	1,309	228		10,888	-
【参考】前々年度					288,301		136	798	287,639		199,053	69.2

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,868	職員手当等	224	報償費	72	旅費	48
需用費	3,212	役務費	16,762	委託料	235,108	備品購入費	123
償還金利子及び割引料	973						

概要及び成果

1 健(検)診事業

(1) 集団健診

生活習慣病等の早期発見のため、大穂・谷田部・桜・荳崎保健センター・豊里交流センター・市民ホールつくばね・市役所で、各種がん検診、特定健診及び後期高齢者健診を実施する。

(2) 医療機関健診

生活習慣病等の早期発見のため、医療機関で各種がん検診、特定健診及び後期高齢者健診を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、集団健診を予定どおりの日数で実施した。各種がん検診受診者数については、令和3年度と比べ増加した。

各種がん検診受診者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
肺がん検診	人	7,801	7,101	3,190	10,374	10,008
胃がん検診	人	4,092	3,920	1,166	4,554	4,430
胃がんリスク検診	人	928	298	364	482	-
大腸がん検診	人	10,677	10,232	7,815	11,613	11,458
前立腺がん検診	人	4,887	4,794	3,622	5,934	5,707
結核検診	人	9,863	9,876	8,645	12,641	12,318
肝炎ウイルス検診	人	1,523	1,091	977	1,685	1,648
成人歯科検診	人	1,360	1,299	1,243	802	716
生活習慣病健診	人	74	57	42	86	64
基本健診	人	1,324	1,395	1,726	2,536	2,569
子宮がん検診	人	11,390	11,253	10,344	10,303	10,856
無料クーポン利用者	人	61	98	71	49	67
乳がん検診	人	6,434	6,567	5,581	6,002	11,065
無料クーポン利用者	人	422	452	337	365	367
骨粗しょう症検診	人	791	639	787	641	412

令和元年度以降は、乳がん検診の受診者数は、対象区分の見直しにより、対象者が半分以下となったことによるもの。

事業名：健康教育・相談に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	12	本年	6,330	80			6,410		4,798	74.9
				前年	5,200	100			5,300	80	3,271	63.2
				比較	1,130	20			1,110	80	1,527	-
【参考】前々年度					7,330		2,435		9,765	100	4,793	50.1

節別支出済額(単位：千円)

報酬	2,150	職員手当等	170	旅費	171	需用費	1,884
役務費	376	負担金補助及び交付金	47				

概要及び成果

- 1 つくば健康マイレージ事業(いばらきヘルスケアポイント事業)
市民が取り組んだ運動や健診受診などの健康づくりの活動に対し、アプリを通し取組に応じた数のポイントを付与する。ポイント数により抽選イベントへ参加することができる。

【成果】

今年度より、県公式健康推進アプリを利用し、健康づくりの活動ポイント数により応募された方へ抽選イベントを行った。応募者数は令和3年度と比べ増加した。また、アプリを使用せず、健康づくりを取り組む方へは記録用紙を配布し、応募していただいた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
応募人数	人	1,548	1,107	848	1,236	1,002

- 2 生活習慣病予防教育事業

禁煙外来治療費助成制度：禁煙外来治療を終了した者に対し、助成金を交付する。

普及啓発活動：乳幼児健診及び大人の集団健診会場等において、乳がん予防・骨粗しょう症予防・禁煙啓発・歯周病予防のチラシの配布やミニ講話を実施する。

健康アップ講演会：健康に関する講演会を開催する。

ライフプランすこやか：各種検診・予防接種予定表「ライフプランすこやか」を発行し、配布する。

【成果】

禁煙外来助成事業により、禁煙に向けた取組を支援し、受動喫煙防止につなげることができたが、治療薬の欠品等により治療ができない人がいたため、助成人数が減少した。

普及啓発活動では、健診・教育時に幅広い年代に関わり、健康意識の向上が図れた。今年度も市民健康講座は、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、実施ができなかった。健康アップ教室・講演会では、オンライン配信を取り入れたハイブリット型で実施し、参加しやすい環境を構築した。

禁煙外来治療費助成制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請人数	人	8	25	31	-	-
助成人数	人	8	17	16	-	-

普及啓発活動

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
乳がん予防実施回数	回	61	68	57	70	61
乳がん予防実施人数	人	5,184	4,977	2,274	4,897	5,379
骨粗しょう症実施回数	回	9	9	0	6	6
骨粗しょう症実施人数	人	791	639	0	641	412
禁煙啓発実施回数	回	169	161	159	238	207
禁煙啓発実施人数	人	22,986	17,862	35,335	40,238	28,433
歯周病予防実施回数	回	61	89	120	249	405
歯周病予防実施人数	人	13,099	12,248	6,934	28,272	45,852

市民健康講座

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加人数	人	0	0	0	192	158

健康アップ教室・講演会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	2	1	0	2	17
申込人数	人	67	33	0	58	156
参加人数	人	67	28	0	43	130

健康アップ教室・講演会は、令和元年度までは、健康アップ教室として実施。令和2年度からは、健康アップ講演会として実施。（令和2年度は新型コロナ予防のため中止。）

3 生活習慣病予防相談事業

家庭訪問：家庭訪問指導を行う。

基本健診時健康相談（20～39歳）：健診時における健診結果や日常生活についての健康相談を行う。

生活習慣改善レベル者の保健指導（20～39歳）：基本健診を受診した結果、生活習慣が必要な方に、保健指導を行う。

検査高値者の受診勧奨（20～39歳）：基本健診を受診した結果、医療機関の受診が必要な方に、受診勧奨を行う。

成人健康相談：保健師・管理栄養士による個別健康相談を行う。

健康手帳：主に40歳以上の方へ健康手帳の交付と、女性の方へ女性の健康手帳の交付を行う。

【成果】

成人健康相談・家庭訪問など個別の健康相談により、相談者と食事・運動など生活習慣の振り返りと見直しを行い、健康づくりの意識づけを行うことができた。

基本健診時健康相談では、同時に実施した特定保健指導の分割実施の充実を図るため、春の集団健診では医師相談のみを実施し、秋の集団健診より保健師、管理栄養士の相談を実施した。血圧やBMIが高い人を相談の対象としているが、該当者が少ないため、減少している。

また、生活習慣改善レベル者の保健指導では、医療機関受診者への保健指導を開始し、指導人数が増加した。

健康手帳はインターネットでもダウンロードできるため、交付件数が年々減少傾向にある。

家庭訪問

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指導人数	人	68	128	128	256	291

基本健診時健康相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	22	10	12	12	12
相談人数	人	102	290	425	2,456	2,381

生活習慣改善レベル者の保健指導

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
通知数	人	600	381	810	1,195	953
指導人数	人	311	153	176	183	-

検査高値者の受診勧奨

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
通知数	人	50	49	75	115	445
受診人数	人	21	21	28	42	162

成人健康相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指導人数	人	1,045	671	566	916	949

健康手帳の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
健康手帳交付数	冊	37	19	61	151	70
女性の健康手帳交付数	冊	14	105	120	476	116

事業名：精神保健に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	13	本年	2,383				2,383		2,205	92.5
				前年	1,511				1,511		1,296	85.8
				比較	872				872		909	-
【参考】前々年度					2,126		10		2,116		1,983	93.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	893	報償費	126	旅費	72	需用費	392
役務費	41	委託料	453	負担金補助及び交付金	229		

概要及び成果

1 こころの相談事業

精神疾患や精神不健康状態の初期症状や前兆にある方とその家族等に対して適切な指導をし、社会復帰及びその自立と、社会生活を営む上での支援を行う。また、自殺予防対策として茨城県地域自殺対策強化交付金事業費補助金事業を活用し、普及啓発事業の強化を図る。

【成果】

こころの病に関して、身近なところで気軽に相談できる場の提供を行った。

こころの健康相談 相談実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施数	回	12	12	12	12	13
人数	人	18	18	18	20	21

2 精神保健指導

電話・面接・訪問等での相談

【成果】

相談内容に応じた傾聴や医療機関についての情報提供など、相談者への支援を行った。また、必要に応じて関係機関との連携を図った。

精神保健指導

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談者数	人	314	264	261	196	264

3 精神保健福祉会組織の育成及び相談

精神障害者の当事者団体である精神保健福祉会組織の運営支援を行う。

【成果】

つくば精神保健福祉会例会(やすらぎの会)の案内を市のホームページへ掲載し、運営支援を行った。

精神保健福祉会実施

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施数	回	12	9	8	11	11
会員数	人	54	69	63	64	64

4 自殺予防対策事業

- (1) ゲートキーパー養成講座の実施
- (2) いのちのSOSキャンペーンの実施
- (3) チラシや啓発グッズの配布による啓発活動
- (4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」の実施

【成果】

ゲートキーパー養成講座を、市民、市職員、ボランティア団体に加えて、中学2年生や教職員に向けても実施したことで、参加者数が増加した。啓発活動を強化したことで、「こころの体温計」のアクセス数が増加がみられた。

自殺予防対策事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ゲートキーパー養成講座実施回数	回	37	29	21	25	9
ゲートキーパー養成講座参加者数	人	959	428	613	580	259
いのちのSOSキャンペーン	人	1,600	3,200	1,600	1,600	1,600
こころの体温計アクセス数	件	43,358	31,103	29,499	40,744	68,150

5 医療保護入院に関する業務

医療保護入院が必要な案件が発生した場合、市長同意の医療保護入院手続きを速やかに行い、対象者に適切な治療を受けさせる。

【成果】

医療保護入院に市長同意をすることにより、患者に合わせて必要な治療に繋ぐことができた。

事業名：運動推進に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	11	本年	7,524			515	7,009		5,105	72.8
				前年	7,692				7,692		5,806	75.5
				比較	168			515	683		701	-
【参考】前々年度					9,803		1,363		8,440		6,042	71.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	340	需用費	735	役務費	161	委託料	1,862
使用料及び賃借料	2,008						

概要及び成果

1 運動推進事業

- ・アクティブ運動教室（40歳～64歳）：身体機能の改善、生活習慣病予防などを目的として中高年齢者を対象とした運動教室を実施する。
- ・つくばウォークの日：健康づくり・介護予防及び運動習慣の普及として、ウォーキングを推進する。
- ・健康体操教室（65歳未満も含む）：5名以上の団体に対し地区の集会所や研修センター等に出向き、体操や健康講話を実施する。
- ・運動普及推進員による事業協力：各地区での運動普及を目的として市の事業で協力連携を図る。

【成果】

- ・アクティブ運動教室、つくばウォークの日、健康体操教室：新型コロナウイルス感染症の感染対策を万全に行い、各事業を通年で開催し、いずれも参加延人数は昨年度より増加した。
- ・運動普及推進員の事業協力：感染対策を万全に行い、予定通り事業を実施することができ、昨年度より実施回数及び協力延人数も増加し、運動習慣の普及に繋がった。

(1)アクティブ運動教室（40歳から64歳対象） H30年度より年齢区分でコース変更

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース数		2	2	2	2	1
実施回数	回	86	65	50	73	43
参加実人数	人	33	36	37	65	52
参加延人数	人	1,006	959	781	1,778	1,464

(2)つくばウォークの日（主に毎月第一日曜日にウォーキングを実施）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	11	7	4	9	10
参加延人数	人	977	847	469	818	431

(3)健康体操教室（65歳未満も含む）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
団体数	団体	34	35	36	50	46
実施回数	回	317	236	229	405	358
参加延人数	人	2,593	1,813	1,668	3,564	3,447

(4)運動普及推進員による事業協力

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	304	239	179	357	352
協力延人数	人	1,159	904	604	1,273	1,091

事業名：健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
04	01	05	12	本年	7,690			515	8,205		7,793	95.0														
				前年	5,653				5,653		5,160	91.3														
				比較	2,037			515	2,552		2,633	-														
【参考】前々年度				6,178		156		6,022		4,810	79.9															
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				2,510	役務費		368	委託料		4,053	使用料及び賃借料		191													
工事請負費				671																						
概要及び成果																										
<p>1 いきいきプラザ運営管理事業 アリーナ貸出業務（施設使用料徴収事務を含む）、施設管理業務（維持管理を含む）等</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を万全に行うことで、年間を通して、アリーナ貸出業務を実施し、利用者数も昨年度より増加した。市民の健康、介護予防に役立った。 ・定期的な清掃、点検、徹底した感染症対策を実施し、施設の安全管理を実施した。 <p>アリーナ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリーナ貸出し利用者数</td> <td>人</td> <td>12,220</td> <td>8,317</td> <td>6,619</td> <td>9,058</td> <td>10,716</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度：休館なし 令和3年度：コロナにより5/6～5/31、7/30～9/26休館 令和2年度：コロナにより4/1～6/7、12/1～13、1/8～2/28休館</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	アリーナ貸出し利用者数	人	12,220	8,317	6,619	9,058	10,716
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
アリーナ貸出し利用者数	人	12,220	8,317	6,619	9,058	10,716																				

事業名：栄養改善事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	13	本年	1,940				1,940		1,936	99.8
				前年	1,906				1,906		1,659	87.0
				比較	34				34		277	-
【参考】前々年度					2,279		90		2,189		1,799	82.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	34	需用費	171	委託料	1,652	備品購入費	79
-----	----	-----	-----	-----	-------	-------	----

概要及び成果

1 栄養改善事業

市民が、食に関するさまざまな知識と食を選択する能力を身につけ、生涯にわたる健全な食生活の実現を図るために、(1)食生活改善推進員による食生活改善推進事業、(2)食育普及事業を行う。

【成果】

(1)食生活改善推進員活動では、レシピ配布等による活動が定着したことにより、前年度と比べて活動回数が増加した。

(2)食育普及事業では、調理講習会の新規参加者を獲得した。12か月連続で食育バランスランチを完売した。

○食生活改善推進事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
食生活改善推進員養成修了者数	(人)	20	10	12	8	11
食生活改善推進員活動回数	(回)	249	127	12	210	232

○食育普及事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
食育普及講座回数	(回)	6	6 (1)	9	4	4
食育普及講座参加延人数	(人)	72	68	103	75	80
食育講演会参加者数	(人)	70	88 (2)	0 (3)	0	143
庁舎レストランにおける食育バランスランチ提供食数	(食)	240	187	-	-	-
ウエルカフェ栄養サロン実施回数	(回)	9	5	-	-	-
ウエルカフェ栄養サロン参加延人数	(人)	70	26	-	-	-

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響で1回中止 2 新型コロナウイルス感染症の影響で中止
3 台風で中止

事業名：保健センター管理に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	06	11	本年	23,997		30,453	440	54,890	24,053	28,260	95.3
				前年	19,337			2,267	21,604	20,737	96.0	
				比較	4,660		30,453	1,827	33,286	7,523	-	
【参考】前々年度					22,753			814	23,567		20,982	89.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	8,198	役務費	1,932	委託料	11,608	使用料及び賃借料	2,351
工事請負費	4,137	備品購入費	34				

概要及び成果

1 保健センター施設管理

保健センターに係る保守点検及び修繕を行う。

【成果】

保健センターにおいて必要な維持管理委託、修繕工事を行うことにより、市民の利用環境の維持・向上が図られ、集団健診や相談事業等を円滑に実施することができた。

事業名：環境政策に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	11	本年	1,225				1,225		797	65.0
				前年	1,443				1,443		974	67.5
				比較	218				218		177	-
【参考】前々年度					1,343		146		1,197		885	74.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	144	需用費	13	委託料	625	負担金補助及び交付金	15
----	-----	-----	----	-----	-----	------------	----

概要及び成果

1 つくば市環境審議会運営事業

つくば市環境審議会の事務局として議事調整及び日程調整等を実施する。

【成果】

- ・令和3年度における第3次つくば市環境基本計画の実績報告等を行い、審議会委員の意見を各担当課へフィードバックして令和4年度の事業計画へ反映した。
- ・第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画の中間評価を行い、審議会委員の意見を各担当課へフィードバックした。

環境審議会開催状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	2	1	0	6	2

2 つくば市環境白書作成事業

第3次つくば市環境基本計画に掲げる関連施策の進捗状況及び前年度の市域の環境関連データを取りまとめた環境白書を作成して公表する。

【成果】

- ・第3次つくば市環境基本計画の策定時における評価指標において、現状の数値と目標値を比較できるようにした。
- ・施策の柱に基づき、各課事業を掲載することにより、進捗状況を把握できるようにした。
- ・第3次つくば市環境基本計画の実績や市内の現況を記載した令和3年度版環境白書を市HPに公表した。

3 環境基本計画進行管理事業

第3次つくば市環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の目的・目標について、関係各課に事業進行管理票の作成依頼及び取りまとめを行う。

【成果】

- ・進行管理の目的や環境基本計画に実績を転記することを考慮し、年度当初に進行管理票を作成した。
- ・5月に環境基本計画掲載事業の主管課に対して、令和4年度事業計画の作成を依頼し、環境管理委員会で事業計画の確認を行った。
- ・事業の進捗管理を目的として8月に環境審議会を開催し、9月の環境管理委員会で、審議会で頂戴した意見のフィードバックを行った。

4 つくば市役所環境負荷低減事業

課長級、出先機関の長級、新規採用職員を対象とし、環境法令及び地球温暖化対策に関する研修を行う。また、グリーン購入を推進することで間接的な環境影響を小さくする。

【成果】

- ・9月に動画配信形式で各課の長及び出先機関の長を対象に環境法令遵守と地球温暖化対策に関する研修を実施した。
- ・10月に新規採用職員向けの環境法令遵守及び地球温暖化対策に関する研修を実施した。
- ・つくば市グリーン購入推進方針では「設備」を対象としていなかったが、昨年度に実施した環境省との協議結果をもとに、令和5年度から対象とできるように推進方針の改定案を作成した。

グリーン購入品購入状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
適合率	%	96.2	99.9	99.9	99.9	97.1

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	12	本年	6,227				6,227		4,995	80.2
				前年	2,292		400		1,892		1,578	83.4
				比較	3,935		400		4,335		3,417	-
【参考】前々年度					2,791		461		2,330		1,382	59.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	11	需用費	695	役務費	54	委託料	3,213
使用料及び賃借料	865	負担金補助及び交付金	157				

概要及び成果

1 筑波山自然環境教育事業
筑波山の植物や水環境、山ろく部の自然環境及び市の中心部に残る森林等について知る機会や豊かな自然を保全する意義を考える機会を提供するため、自然環境に関する観察会等を開催する。

【成果】

- ・「里山ウォーク 桜川を歩く」(5/15実施、参加者15名)
- ・「稚魚放流」(6/24実施：参加者49名、7/1実施：参加者96名)
- ・「谷津田の生きもの調査」(7/16実施、参加者10名)
- ・「桜川探検隊：霞ヶ浦で夏のさわやかカヌー体験」(8/23実施、参加者11名)
- ・「筑波山麓の里山散策と木の葉のスケッチを通しての環境学習」(11/20実施、参加者4名)
- ・「桜川探検隊：虫たちの冬じたく、森のめぐみを学び、オリジナルクリスマスリースを作りませんか？」(11/13実施、参加者11名)
- ・「つくば市周辺の『自然』を感じて・学ぶツアー」(3/4実施、参加者20名)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	8	4	2	4	4
参加者数	人	216	82	41	114	107

2 つくば市環境マイスター活用事業
筑波大学と連携して育成したマイスターを環境に関する指導者の人材として活用するものである。市の環境事業に関わることにより、マイスター認定者の活動の場を広げ、環境活動のリーダー的役割を担う人材育成を図る。

【成果】

- ・筑波山自然環境教育事業(里山ウォーク)の実施(1回)

3 エコクッキング事業
「作りすぎない、捨てない、流さない」をキーワードに、自らできる環境に配慮した生活習慣の認識を深めるため、東京ガスネットワーク㈱と連携し実施する。

【成果】

- ・小学生を対象については、実習よりも講義に注力し、リモート形式でも実施できるようにした。
- ・サポーターズ会員対象については、親子を対象として家庭で実践できる環境に配慮したメニューで実施した。

小学生対象

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施校数	校	8	9	6	9	8
体験者数	人	414	744	525	398	446

サポーターズ会員対象

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	2	1	1	2	2
体験者数	人	20	12	12	38	48

4 夏の省エネドリル事業

小学4年生を「うちの省エネリーダー」として、家族と一緒に省エネに取り組む機会をつくるため、「省エネドリル」を実施し、環境意識の向上を図る。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加(提出)者数	人	655	1,043	1,434	1,748	1,699

令和4年度は、従前のリーフレット配布から動画配信とした。

事業名：地球温暖化対策に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	13	本年	41,530	11		41,541	11	25,030	60.3
				前年	4,159	11	944	3,226	11	3,001	93.4
				比較	37,371	0	944	38,315	0	22,029	-
【参考】前々年度				117,568	11	2,832		114,747	11	114,700	100.0

節別支出済額(単位:千円)

報償費	50	旅費	20	需用費	1,631	役務費	1
委託料	14,605	使用料及び賃借料	8,722				

概要及び成果

1 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)推進事業

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、職員研修の実施や、温室効果ガス排出削減の取組を行う。

また、公共施設の省エネ化を図るため、既存施設の省エネ診断及び設備改修を行う。

【成果】

- ・第3次つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を改定して、国の目標に貢献できる市の目標を設定するとともに、照明のLED化や公用車の低炭素化など具体的な手法や指標を記載した。
- ・10月からサステナスクエア焼却施設発電設備で発電した電力の41公共施設への自己託送を開始した。

つくば市役所の温室効果ガス排出量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
温室効果ガス排出量	t-CO2	58,251	48,704	54,022	56,198	59,100

平成30年度に計画改定(基準年度は平成25年度:51,566t-CO2)

2 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)推進事業

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、市域から排出される温室効果ガス削減の取組を実施し、市域の温室効果ガス排出量を推計する。つくば3Eフォーラムや企業、大学・研究機関、他自治体、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進め、市域における地球温暖化対策を誘導する。また、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の進捗管理を行う。

【成果】

- ・昨年度検討を行ったカーシェアリング事業を6月から市役所駐車場で開始し、合計857件、月平均94件の利用があった。
- ・「ゼロカーボンで住みよいつくば市」実現のアイデアを施策に反映するため、気候市民会議に関する協議を国立環境研究所等と行い、事業計画の検討を行った。
- ・環境省「脱炭素先行地域事業」について、2月に環境省に応募した。
- ・7月につくば市地球温暖化対策実行計画進捗管理懇話会を行い、事業所管課に懇話会意見のフィードバックを行った。
- ・ゼロエミッションに向けた産業技術総合研究所との意見交換を実施し、公共施設への再生エネルギー設備導入に関する助言を受けたことや、協働で公共施設の電力データ分析やZEH世帯の月別電力消費データ分析等を行った。

事業名：動物愛護に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	14	本年	6,416				6,416		5,161	80.4
				前年	5,546				5,546		4,995	90.1
				比較	870				870		166	-
【参考】前々年度					5,611		471		6,082		5,491	90.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	647	役務費	1,323	委託料	849	負担金補助及び交付金	2,342
-----	-----	-----	-------	-----	-----	------------	-------

概要及び成果

1 動物愛護関連事業

- (1)茨城県獣医師会の協力を得て、市内47カ所にて狂犬病予防注射を実施。
- (2)適正な飼育をサポートするため、犬猫の避妊去勢手術を行う市民に対し補助金を交付。
- (3)動物指導センターへの犬、猫引き渡し頭数削減のため、飼主の特定が容易となるマイクロチップ装着に対する補助金制度を開始。

【成果】

- (1)市内全域において、狂犬病予防集合注射を実施し、予防接種率の向上が図られた。
- (2)犬及び猫の無秩序な繁殖を抑制し、周囲に対する危害及び迷惑防止を図ることができた。
- (3)犬、猫へのマイクロチップ装着に対する補助金制度を開始し、装着を推進した。

狂犬病予防注射業務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
飼い犬登録頭数	頭	15,596	15,760	15,337	14,850	14,942
注射済票交付頭数	頭	9,841	9,505	9,045	9,603	9,034
集合注射実績頭数	頭	1,471	1,397	668	1,713	1,793

補助金交付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
避妊手術件数	頭	362	326	320	328	318
去勢手術件数	頭	272	283	271	272	246
マイクロチップ装着件数	頭	39	-	-	-	-

マイクロチップ装着補助金制度は、令和4年9月に開始

事業名：自然環境・有害鳥獣対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	15	本年	4,394		1,441		5,835	2,200	2,990	88.9
				前年	574		1,195	165	1,934		1,799	93.0
				比較	3,820		246	165	3,901	2,200	1,191	-
【参考】前々年度				9,679				9,679		7,458	77.1	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	156	旅費	7	需用費	257	役務費	2
委託料	2,111	使用料及び賃借料	165	備品購入費	220	負担金補助及び交付金	72

概要及び成果

1 墓地等経営許可事業

墓地等の新規・拡張・廃止の許可を行う。
墓地経営者・管理者変更届等の受理を行う。

【成果】

墓地等の経営者、管理者、所在地、面積等の変更・訂正をすることで、墓地台帳を適正に管理することができた。

墓地等の許可及び変更届等

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
許可等件数	件	2	2	2	1	1
変更届件数	件	8	17	17	14	17

2 自然環境・鳥獣保護管理事業

(1)鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域(銃猟)の指定に係る連絡調整、及び申請を行う。
(2)野生鳥獣の保護、及び特定外来生物の防除を実施する。
(3)生物多様性つくば戦略の令和6年度末策定に向け、作業を進める。

【成果】

(1)茨城県との調整を適切に行い、特定猟具使用禁止区域(銃猟)の再指定申請を行うことができた。
(2)貸出捕獲罟の拡充と、継続的な制度周知により、捕獲罟の貸出件数が177件から242件に増加した。
また、茨城県へアライグマを314頭引き渡した。
(3)生物多様性つくば戦略策定懇話会を3回開催し、学識経験者、市民の意見を参考としながら戦略の策定を進めることができた。

特定外来生物の防除

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
アライグマの捕獲頭数	頭	314	206	243	79	68

令和5年度からアライグマ関連業務は経済部に移管される。

事業名：合併浄化槽設置に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
04	01	07	16	本年	57,435				57,435		40,268	70.1																												
				前年	57,585		4,470		62,055		52,727	85.0																												
				比較	150		4,470		4,620		12,459	-																												
【参考】前々年度					62,628				62,628		42,414	67.7																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費					73	負担金補助及び交付金			40,195																															
概要及び成果																																								
<p>1 高度処理型合併浄化槽補助事業 高度処理型合併浄化槽の設置費の補助を実施する。</p> <p>【成果】 補助事業により、高度処理型合併浄化槽の普及を進めることができ、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止が図られた。</p> <p>高度処理型合併処理浄化槽設置補助基数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置補助基数</td> <td>基</td> <td>87</td> <td>98</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table> <p>単独浄化槽撤去補助基数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去補助基数</td> <td>基</td> <td>12</td> <td>21</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	設置補助基数	基	87	98	78	82	86		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	撤去補助基数	基	12	21	9	14	21
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
設置補助基数	基	87	98	78	82	86																																		
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
撤去補助基数	基	12	21	9	14	21																																		

事業名：水質保全に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	01	07	17	本年	2,814				2,814		2,456	87.3		
				前年	2,860				2,860		2,431	85.0		
				比較	46				46		25	-		
【参考】前々年度					2,660		23		2,637		2,384	90.4		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					423	需用費			133	役務費		62	使用料及び賃借料	81
負担金補助及び交付金					1,757									
概要及び成果														
<p>1 水質保全事業 つくば市水質監視員による月2回以上の河川等の巡視活動を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)水質監視員(19名)による河川巡回報告(445回)により、河川状況を監視し、ごみの発見等の異常があった際に適切な対応を行うことにより、河川の水質保全が図られた。</p> <p>(2)つくば市水質浄化対策推進協議会と連携し、10月に谷田川にてごみ拾いを行うことで、河川環境の向上が図られた。</p>														

事業名：水質浄化施設の維持管理に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	01	07	18	本年	7,693				7,693		6,180	80.3		
				前年	9,627			165	9,462		8,016	84.7		
				比較	1,934			165	1,769		1,836	-		
【参考】前々年度					7,895				7,895		7,210	91.3		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					2,082	役務費		10	委託料		2,440	使用料及び賃借料		916
工事請負費					733									
概要及び成果														
<p>1 生活排水路浄化施設の維持管理事業</p> <p>(1)佐地区及び上菅間地区に設置した生活排水路浄化施設の運転管理及び水質検査</p> <p>(2)生活排水路浄化施設場内管理 年間【2回×2箇所(佐・上菅間) 施設場内の草刈】</p> <p>【成果】</p> <p>(1)生活排水の水質汚濁物質を除去し、河川の汚濁防止が図られた。</p> <p>(2)施設の維持管理を通して、地域の水質浄化意識を高めた。</p>														

事業名：簡易水道事務に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	19	本年	7,604				7,604		6,625	87.1
				前年	7,630				7,630		5,967	78.2
				比較	26				26		658	-
【参考】前々年度					8,820				8,820		5,875	66.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					37	負担金補助及び交付金		6,588				
概要及び成果												
<p>1 簡易水道・小規模水道事業</p> <p>各給水組合が円滑に運営できるよう、指導・助成及び補助等の支援を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>各給水組合に維持管理に関する補助金を交付することにより、円滑な水道事業の運営を図ることができた。水質検査結果から、基準値を超過した各組合に対し、管理指導を実施し改善を図った。今後も、施設の維持管理や水質管理の知識の向上を目指し、指導を継続していく。</p>												
各地区水道組合への補助金交付												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
水質検査補助		組合	115	115	116	116	115					
給水組合老朽化対策補助		組合	11	7	11	13	4					
消毒液購入補助		組合	88	90	87	91	94					
水中ポンプ取替え補助		組合	3	2	1	4	4					
給水井戸掘削補助		組合	0	0	0	0	0					

事業名：除草事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	20	本年	1,541				1,541		1,401	90.9
				前年	1,507				1,507		1,309	86.9
				比較	34				34		92	-
【参考】前々年度					1,645				1,645		1,446	87.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	181	委託料	844	使用料及び賃借料	343	備品購入費	33
-----	-----	-----	-----	----------	-----	-------	----

概要及び成果

1 空き地等の適正管理啓発・指導事業

- (1) 雑草の繁茂した空き地の適正管理について指導、助言を行う。
- (2) 所有者等が自ら所有する土地について適正な管理ができない場合、所有者の申し出により業者をあっせんし、雑草除去を行う。

【成果】

市内パトロールを実施することで雑草の繁茂した空き地の早期発見に努め、空き地の適正管理を図ることができた。

空き地の適正管理通知件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
通知件数	件	2,459	2,265	2,174	2,219	2,036

除草業者へのあっせん実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施面積	m ²	346,121	376,231	292,510	352,224	319,141
工事筆数	筆	1,395	1,727	1,590	1,541	946

苦情対応件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対応件数	件	787	687	771	848	520

事業名：環境美化推進に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	21	本年	2,082				2,082		1,930	92.7
				前年	2,052				2,052		1,769	86.2
				比較	30				30		161	-
【参考】前々年度					3,509		174		3,335		2,805	84.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				840	役務費		90	負担金補助及び交付金		1,000		
概要及び成果												
<p>1 環境美化推進事業</p> <p>環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体に対し、清掃用具（ごみ袋・軍手・火ばさみ）の支給、傷害保険の加入等の支援を行うことで、自発的な環境美化活動を推進する。</p> <p>市と事業者が計画する環境美化活動へ市民が参加することで、環境美化意識の啓発を図る。</p> <p>以上のような市・市民・事業者の連携した環境美化活動により、快適な市民生活の確保を目指す。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)新たな取り組みとして、環境美化支援申請書の電子申請の導入、SNS等での周知や継続活動通知文の作成等を行い、環境美化ボランティア活動者数の増加を図ることができた。（環境美化ボランティア活動参加延べ人数12,860人）</p> <p>(2)きれいなまちづくり実行委員会の企画会議を毎月1回開催し、会員団体によるごみ拾い活動（6回）、落書き消し活動（2回）、環境美化フォーラムの開催（1回）を実施した。</p>												
ボランティア支援（物品配布数）												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
ごみ袋		枚	10,442	10,058	6,004	10,476	10,389					
軍手		双	1,180	1,049	590	2,068	1,549					
火ばさみ		本	493	439	373	181	287					

事業名：水道事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	22	本年	7,225	27,900	65,236		100,361		100,360	100.0
				前年	461,325	33,700	28,000		467,025	27,900	434,324	99.0
				比較	454,100	5,800	93,236		366,664	27,900	333,964	-
【参考】前々年度					399,225		8,000		391,225	33,700	355,224	99.4
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金				799	投資及び出資金		34,325	繰出金		65,236		
概要及び成果												
<p>1 上水道整備補助事業</p> <p>水道事業の経営健全化を促進し経営基盤の強化を図り、安心安全な飲料水を確保するため、一般会計から補填を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>上下水道事業の健全な財政運営に寄与できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合前水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に関する出資金6,425,312円、補助金798,762円 新規整備事業分出資金（令和3年度繰越分）27,900,000円 												
上水道整備												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
補助金		千円	799	996	1,188	1,374	1,554					
出資金		千円	34,325	433,328	354,036	402,494	197,591					

事業名：低炭素な街づくりの推進に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	23	本年	49,767				49,767		43,293	87.0
				前年	48,189		150		48,039		42,879	89.3
				比較	1,578		150		1,728		414	-
【参考】前々年度					53,355		706		52,649		44,252	84.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,407	役務費	47	委託料	1,073	使用料及び賃借料	282
工事請負費	4,835	負担金補助及び交付金	34,650				

概要及び成果

1 クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車購入補助事業

クリーンエネルギー機器設置者及びクリーンエネルギー自動車購入者を対象に、補助金を交付する。

【成果】

クリーンエネルギー機器設置補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
太陽光発電システム	件	-	-	-	-	65
太陽光発電システム出力合計	kW	1224.2	916.4	980.5	538.3	546.7
温室効果ガス排出削減量	t-CO2	659.3	420.1	449.5	264.8	250.7
蓄電池	件	177	152	174	113	95
燃料電池(エネファーム)	件	21	36	56	95	97
太陽熱温水器・給湯器	件	-	-	-	0	9
パッケージ(太陽光+蓄電池+燃料電池+HEMS)	件	-	-	-	-	52

クリーンエネルギー自動車購入補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
電気自動車(EV)	件	70	17	14	16	26
燃料電池自動車(FCV)	件	0	1	1	0	0
ビークルトゥホーム(V2H)	件	8	5	-	-	-

2 新エネルギー等普及促進事業

茨城県内の次世代エネルギーパークに登録された企業等の見学会を開催することにより、企業等の最先端のエネルギーの取組を市民に体験していただき、環境意識の啓発を図る。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	1	1	-	2	2
参加人数	人	10	10	-	76	70

令和4年度の見学先は、原子力科学館(東海村)、北越コーポレーション(株)バイオマス発電所(ひたちなか市)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため事業中止

3 EV等普及促進事業

市域における電気自動車(EV)の利便性の向上を図るため、市内3か所(つくば市役所、筑波交流センター、荳崎交流センター)に設置している急速充電器の適切な管理を行う。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
急速充電器延べ利用人数	人	3,746	5,693	6,267	7,636	5,783

- 4 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定・補助事業
 環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。
 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定事業を行い、補助要項に沿って補助金を交付することにより低炭素住宅の普及を図るとともに市域の温室効果ガスの排出削減を図る。

【成果】

つくば市低炭素ガイドラインに基づく認定（補助）件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
戸建住宅	件	111	111	83	40	27
集合住宅	件	0	0	0	0	0

つくばSMILe街区認定件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
認定街区	件	0	0	0	0	1

- 5 つくば環境スタイルサポーターズ事業

環境配慮に関する意識を高めていくため、つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、ニュースレターやSNS等で市の環境関連情報の提供や環境に関するイベントを実施する。（提供する事業：筑波山自然環境教育事業、小野川・桜川探検隊、エコ・クッキングなど）

【成果】

- ・サポーターズニュース発行による環境関連情報の提供（3回）
- ・筑波山自然環境教育事業（4回）
- ・エコ・クッキング（会員向け2回）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
個人会員	人	10,367	9,917	9,650	9,553	9,282
事業所会員	事業所	317	315	316	317	305

- 6 グリーンカーテン推進事業

気軽に取り組むことができ、室内温度の上昇を抑えることができるグリーンカーテンの普及啓発を「つくばSDGsアワード」で実施することにより、省エネ等の効果を認識し、地球温暖化防止に関する身近な取組の推進を図る。

【成果】

- ・サポーターズ会員の希望者へゴーヤ苗の配布（5月）
- ・つくばSDGsアワードの開催（2月）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
個人	箇所	158	185	58	418	400
事業所	箇所	63	63	8	80	84

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、希望者に「あさがおの種」を配布（郵送）する事業とした。

- 7 宅配ボックス設置促進補助事業

令和4年度から既設賃貸共同住宅向けに宅配ボックス設置への補助事業を開始することにより、宅配の再配達を減らし、二酸化炭素排出量の削減を図る。

【成果】

- ・宅配ボックスの交付実績（14件） 補助額：設置費の1/2（上限5万円）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付実績	件	14	-	-	-	-

事業名：公害対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	08	11	本年	11,967				11,967		9,865	82.4
				前年	18,000	2,856			20,856		19,421	93.1
				比較	6,033	2,856			8,889		9,556	-
【参考】前々年度					11,829		2,716		14,545	2,856	9,983	88.3

節別支出済額(単位:千円)

旅費	6	需用費	306	役務費	13	委託料	8,292
使用料及び賃借料	1,176	負担金補助及び交付金	73				

概要及び成果

1 公害対策推進事業

- (1)公害法令に基づく届出受理・審査事務、立入検査・指導等を行う。
- (2)法定受託事務である常時監視、本市の政策及び施策に資する一般環境調査(地下水調査等)
- (3)公害紛争処理法に基づく苦情処理(相談、調査、指導、助言)を行う。ただし、廃棄物関係を除く。
- (4)公害防止に係る「公害防止協定」、「公害防止確認書」、「実験安全委員会」等の運用、調整を行う。

【成果】

- (1)公害法令の施行及び公害防止組織の形成・推進事業を適切に実施した。
- (2)令和3年度末に終了したみどりの地区の臭気原因調査結果を踏まえ、企業に改善依頼を実施した。
- (3)環境調査結果等を市民に公表することにより、市内環境の現況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図ることができた。

所管法令に基づく届出等処理件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
水質	件	259	253	248	274	372
土壌	件	200	166	168	174	165
騒音・振動	件	176	127	144	126	119
大気・悪臭等	件	7	6	1	12	12

所管法令に基づく立入検査件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
書類検査	件	14	7	0	22	34
水質検査・臭気検査	件	12	12	11	16	12

水質事故、公害苦情等の対応件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公害苦情	件	188	181	204	119	86
公害苦情解決率	%	79.3	81.8	79.4	78.2	97.7
水質事故・地下水汚染	件	4	7	6	3	1

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	08	12	本年	851				851		595	70.0
				前年	2,855				2,855		2,388	83.6
				比較	2,004				2,004		1,793	-
【参考】前々年度				3,281				3,281		2,521	76.8	

節別支出済額(単位:千円)

委託料	539	備品購入費	48	負担金補助及び交付金	8
-----	-----	-------	----	------------	---

概要及び成果

1 放射線対策事業

主に除染事業、空間放射線量率・食品放射能の測定事業等を行う。

【成果】

1 空間放射線量率調査(外部被ばく対策)

○公共施設の空間放射線量率調査(定点測定)の実施

(1)除染実施区域内(小中学校3、保育所2):2ヶ月に1回測定

測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.09µSv/hであり、国の除染の目安値0.23µSv/hを下回ることを確認した。

(2)除染実施区域内(公園・スポーツ施設4):2ヶ月に1回測定

測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.11µSv/hであり、国の除染の目安値0.23µSv/hを下回ることを確認した。

(3)除染実施区域外(31小学校等):6ヶ月に1回測定

測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.12µSv/hであり、国の除染の目安値0.23µSv/hを下回ることを確認した。

2 放射性物質測定(内部被ばく対策)

(1)食品測定(毎日)学校給食等の測定(主:健康教育課、従:環境保全課):すべて基準値未満
基準値100Bq/kg

(2)市内で栽培された農作物等、地下水の測定

(主:農業政策課、鳥獣対策・森林保全室、環境保全課):基準値超過なし

農作物・土壌:7検体(申請数6){うち土壌1検体。土壌には基準なし。}

自生作物:8件(申請数8)

地下水:0検体(申請数0)

3 水・土壌の放射性物質濃度測定

(1)地下水の調査 3月28日採取(採取地:市内7施設):不検出

(2)河川の調査 2月22日採取(採取地:市内9地点):(水質)不検出

(底質)不検出~150Bq/kg

(3)土壌放射性物質濃度測定 3月15日、20日 採取(採取地:市内6施設)

:429.76~1115.6Bq/kg

4 除去土壌埋設場所(仮保管場所)のモニタリング実施(空間放射線量測定)

(1)実施方法

小中学校及び幼稚園保育所で仮保管している、除染に伴い発生した除去土壌の埋設地点で実施

(2)測定期間、地点 11月10~30日 小学校31地点、中学校8地点、幼稚園8地点、保育所14地点

(3)結果 すべての地点において0.23µSv/hを下回る放射線量であった。

事業名：メモリアルホールに要する経費

生活環境部 つくばメモリアルホール

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	01	09	11	本年	165,041	808	14,674		180,523		158,557	87.8		
				前年	167,813		23,889		143,924	808	137,107	95.8		
				比較	2,772	808	38,563		36,599	808	21,450	-		
【参考】前々年度					187,022		60,997		126,025		106,917	84.8		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					54,252	役務費			1,076	委託料		91,792	使用料及び賃借料	2,113
工事請負費					5,895	備品購入費			3,429					
概要及び成果														
1 メモリアルホール運営 斎場（葬祭式場、火葬場、待合及び法要施設）の貸館業務等の運営及び施設・設備の維持管理を行う。 【成果】 ・令和3年度から令和5年度まで3カ年計画で各棟の渡り廊下塗装工事を実施する。 法要棟：令和3年度実施済、火葬棟・待合棟：令和4年度実施済、式場棟：令和5年度実施予定 ・令和4年度に「つくばメモリアルホール長寿命化計画」を策定した。														
施設利用件数														
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度							
火葬		件	2,118	1,850	1,754	1,717	1,703							
待合室利用		件	1,845	1,613	1,380	1,413	1,445							
通夜利用		件	53	55	55	160	184							
仮眠利用		件	24	21	24	84	103							
式場利用		件	997	929	883	940	955							
霊安利用		件	75	142	123	177	157							
法要利用		件	45	36	25	42	56							

事業名：清掃に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	02	01	11	本年	1,006				1,006		991	98.5	
				前年	588			622	1,210	1,207	99.8		
				比較	418			622	204	216	-		
【参考】前々年度					1,091				1,091		1,062	97.3	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費					5	委託料			968	負担金補助及び交付金	18		
概要及び成果													
1 廃棄物の処理の適正化に関する事業 茨城県清掃協議会主催の研修会や視察に参加し、職員の廃棄物処理に関する知識の向上を図る。 旧町村最終処分場跡地に汚染がないか水質検査を実施する。 【成果】 ・コロナ禍の影響により、茨城県清掃協議会の研修会及び視察は実施されなかった。 ・旧町村最終処分場跡地4か所（安食、上境、上郷、研究学園三丁目）の地下水水質検査を実施し、いずれも基準値以下であり、汚染がないことを確認した。													

事業名：管路輸送施設の管理に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
04	02	02	11	本年	30,135			365	30,500	26,006	4,197	99.0		
				前年	5,030			117	4,913		4,881	99.3		
				比較	25,105			482	25,587	26,006	684	-		
【参考】前々年度					4,426				4,426		4,267	96.4		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					184	役務費		90	委託料		1,421	工事請負費		297
負担金補助及び交付金					2,205									
概要及び成果														
<p>1 管路輸送施設の管理事業 平成20年度末で事業廃止となった管路輸送施設を適正に管理する。</p> <p>【成果】 管路輸送施設について、場内警備、植栽管理、清掃、消防設備点検（総合点検1回、機器点検1回）、付帯設備の点検（4回）及び清掃（3回）を行い、安全性の確保や周辺環境の維持管理を行った。</p>														

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	12	本年	806,503		16,163	332	790,008		787,542	99.7
				前年	696,276			566	696,842		696,317	99.9
				比較	110,227		16,163	898	93,166		91,225	-
【参考】前々年度				683,847		1,411	479	685,737		684,945	99.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,975	役務費	120	委託料	780,926	使用料及び賃借料	3,511
備品購入費	59	負担金補助及び交付金	950				

概要及び成果

1 家庭ごみ収集事業

一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物(ごみ)を収集し、サステナスクエアへ運搬する。

区会・住民団体等が設置するごみ集積所について、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

補助金額については設置費用の1/2とする。(補助限度額50,000円)

【成果】

市民の協力により分別されたごみを各集積所から回収することにより、市民の生活環境を良好に保つことができた。

ごみ飛散のない集積所(ダストボックス等)の設置を進め、公衆衛生の向上を図ることができた。

ごみ減量を促進するため、資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成した。

一般廃棄物収集運搬量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
可燃ごみ	トン	45,601	46,111	46,868	46,990	47,309
不燃ごみ	トン	1,806	1,945	2,200	1,930	2,008
粗大ごみ	トン	351	391	396	316	303
資源ごみ	トン	7,157	6,963	6,369	5,527	4,945
計	トン	54,915	55,410	55,833	54,763	54,565

有害ごみ収集運搬量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
蛍光管・乾電池	トン	52	52	54	48	46

粗大ごみ予約受付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
電話受付	件	7,102	7,715	8,190	8,263	7,948
インターネット受付	件	7,020	6,798	6,117	3,746	3,066
計	件	14,122	14,513	14,307	12,009	11,014

ごみ集積所設置補助金交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金交付件数	件	22	25	26	24	35
補助金交付金額	千円	951	1,200	1,997	1,232	1,998

2 犬等死骸処理事業

道路等公共用地で発見された動物の死骸を回収し、処理する。

【成果】

迅速に回収処理することにより、公衆衛生を良好な状態に保つことができた。

回収処分数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
犬	体	10	11	15	14	16
猫	体	449	458	413	462	535
その他	体	925	792	644	559	562
計	体	1,384	1,261	1,072	1,035	1,113

事業名：サステナスクエア包括的運営管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	13	本年	1,064,784				1,064,784		1,043,009	98.0
				前年	1,006,704				1,006,704		1,002,543	99.6
				比較	58,080				58,080		40,466	-
【参考】前々年度					947,487				947,487		945,105	99.7

節別支出済額(単位:千円)

委託料 1,043,009

概要及び成果

1 可燃ごみ処理施設の発電・売電事業

- ・焼却炉の余熱で発電した電力を可燃ごみ処理施設場内で使用し、余剰電力を電力会社に売電する。
- ・平成21年度から長期包括的運営管理委託業務を実施し、余剰電力等の売電額の3分の1を分配金として委託業者へ支払う。
- ・令和4年度から自己託送事業を実施し、市の公共施設41施設に電力を供給する。

【成果】

令和4年10月から自己託送事業を実施し、市の公共施設41施設に電力を供給できた。
可燃ごみ処理施設の安定的な運転を実施することができた。

可燃ごみ処理施設の売電量及び売電金額(自己託送量を除く。)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
売電量	千kwh	9,901	16,949	16,513	16,198	11,179
売電金額	千円	86,531	147,518	150,766	146,587	98,997

2 サステナスクエア包括的運営管理事業

- ・可燃ごみ処理施設(375t/日)の包括的運営管理
- ・リサイクルセンター(資源化施設を含む。)の包括的運営管理(かん類4t/5h、びん類9t/5h、ペットボトル4t/5h等)
- ・し尿処理施設の運転管理

【成果】

サステナスクエアの適切な運営により、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。

ごみ処理量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
可燃ごみ	t	68,963	69,885	70,385	72,305	72,029
粗大・不燃ごみ	t	4,486	4,854	5,108	5,029	4,806
資源ごみ	t	7,365	7,140	6,670	5,898	5,048
有害ごみ	t	52	52	54	48	48

事業名：可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	14	本年	1,233,391				1,233,391	806,327	373,281	95.6
				前年	346,323		15,750		362,073		331,871	91.7
				比較	887,068		15,750		871,318	806,327	41,410	-
【参考】前々年度				372,409		115		372,294		326,930	87.8	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	183	需用費	1,269	役務費	1,137	委託料	362,555
使用料及び賃借料	190	備品購入費	1,211	負担金補助及び交付金	5,486	公課費	1,251

概要及び成果

1 可燃ごみ焼却処理施設維持管理事業

市内から排出された可燃ごみをサステナスクエアに搬入し、可燃ごみ処理施設にて処理するとともに、サステナスクエアから発生する残渣の適切な処分を図る。

【成果】

可燃ごみの処分を適切に行うとともに、サステナスクエアから排出される残渣について、適切な埋立処分及び資源化处理を行うことにより、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。

最終処分量及び委託料

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
最終処分量	t	9,684	10,299	11,196	12,435	10,924
最終処分業務委託料	千円	351,962	310,516	317,311	335,079	288,406

不燃残渣を含む。

事業名：粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	02	02	15	本年	82,147		7,200		89,347		85,082	95.2	
				前年	67,093		4,911		72,004		66,893	92.9	
				比較	15,054		2,289		17,343		18,189	-	
【参考】前々年度				60,887	15,778	224		76,441		70,278	91.9		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				45	需用費		24,231	役務費		1,361	委託料		46,494
使用料及び賃借料				12,572	工事請負費		89	備品購入費		200	公課費		90
概要及び成果													
<p>1 粗大・不燃ごみ処理施設維持管理事業 市内から排出された粗大、不燃、資源及び有害ごみをサステナスクエアに搬入し、リサイクルセンターにて処理後、有価物を適正に資源化する。 粗大ごみ13t / 5h、不燃ごみ13t / 5h、かん類4t / 5h、びん類9t / 5h、ペットボトル4t / 5h、有害ごみ1t / 5h、プラスチック製容器包装16t / 5h</p> <p>【成果】 有害ごみ等の処理を適正に行い、市民の公衆衛生の向上に対して重要な役割を果たした。</p>													
<p>2 施設から発生した有価物の売却・リサイクル事業 有価物の売却とリサイクル ビン（白、茶、その他）、ペットボトル（財）日本容器包装リサイクル協会等へ再商品化を委託 アルミ、鉄類、紙類、古布等 業者に売却</p> <p>【成果】 循環型社会を実現するため適正な分別を行い、再資源化を推進した。</p>													
有価物売却量													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
有価物売却量		t	5,852	5,908	5,173	4,199	3,822						
有価物売却金額		千円	220,155	143,599	62,004	79,153	98,348						

事業名：不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	16	本年	4,419			297	4,122		3,702	89.8
				前年	3,876			2,013	1,863		1,719	92.3
				比較	543			1,716	2,259		1,983	-
【参考】前々年度					4,883		1,056		3,827		2,595	67.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	890	役務費	105	委託料	2,705	使用料及び賃借料	2
-----	-----	-----	-----	-----	-------	----------	---

概要及び成果

1 市内一斉清掃事業

例年6月と12月の第1日曜日に、各区会で道路脇にポイ捨てされたごみの清掃活動を行う。活動を推進させるため、区会等への周知を行う。

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内一斉清掃を2年間中止していたが、令和4年度については、2回実施し、16,420kgのごみを回収した。
- ・広報つくば及び区会回覧等で事業を周知し、多くのごみを回収することができた。

市内一斉清掃

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回数	回	2	0	0	2	2
回収量	kg	16,420	-	-	23,330	-

2 不法投棄ごみ処理事業

防犯環境美化サポーターによるパトロール活動及び道路等における不法投棄ごみの撤去を行う。区会や土地所有者と連携して、不法投棄物の撤去作業を行い、再発防止のため警告看板を設置するなど再発防止策を講じる。区会等の不法投棄撲滅のための周知啓発を行う。

【成果】

- ・不法投棄物を迅速に撤去し清潔に保つことにより、良好な生活環境を保持することができた。
- ・不法投棄禁止看板を371枚配布し、不法投棄の抑止を図った。

不法投棄ごみの撤去

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
不法投棄回収件数	件	303	347	336	319	310
不法投棄回収量	kg	14,470	17,389	20,006	17,300	18,720

3 土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する事務

土砂等の埋立て等に関し、適正な指導・監視及び許可事務を行う。

【成果】

- ・つくば市土砂等の埋立て等の規制に関する条例に基づき、許可及び指導を実施した。特に土砂埋立て等指導員(警察官OB)による巡回を実施することにより、無許可による埋立て等行為に対する指導及び抑止を行うことができた。
- ・許可件数9件
- ・無許可指導件数2件

事業名：ごみ減量に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	17	本年	13,295	5,115		264	18,674		17,604	94.3
				前年	13,356		3,645	15,179	32,180	5,115	24,999	93.6
				比較	61	5,115	3,645	14,915	13,506	5,115	7,395	-
【参考】前々年度				6,008		697		5,311		3,527	66.4	
節別支出済額(単位:千円)												
報酬					232	旅費	66	需用費	2,349	委託料	14,732	
使用料及び賃借料					224							
概要及び成果												
<p>1 ごみ減量推進事業</p> <p>各種施策の進行状況の確認や計画の策定のため、一般廃棄物減量化等推進審議会を開催する。 ごみの出し方カレンダーの配布、ごみ分別アプリの周知等により、市民のごみ分別徹底・減量化の啓発を行う。</p> <p>日量平均100kg以上の事業系ごみ多量排出事業者に対し、ごみの減量化・資源化について指導する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物減量化等推進審議会を7月、9月及び1月に開催し、一般廃棄物処理基本計画の施策の進捗管理及び災害廃棄物処理計画の策定について答申を行った。 令和4年度版ごみの出し方カレンダーを17万部作成し、ポスティングにより各戸配布を行った。 ごみ分別アプリを広報紙等で周知し、年間で約10,000件アプリのダウンロードがあった。(アプリを導入した令和2年2月からの累計ダウンロード約33,000件) 市のごみの現状や家庭でできる取組について、つくば市かわら版及び広報つくばにより、幅広く周知啓発を行った。 多量排出事業者に対し、つくば市一般廃棄物減量化等計画書を提出させ、減量化推進・資源化率改善を図るよう指導を行った。 サステナスクエアで搬入検査(35件)を実施し、収集運搬業者及び排出事業者に指導を行った。また、排出事業者に向けた「事業系廃棄物適正処理パンフレット」を作成した。 												

事業名：リサイクルに要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	18	本年	13,006				13,006		11,083	85.2
				前年	7,689			96	7,785		6,667	85.6
				比較	5,317			96	5,221		4,416	-
【参考】前々年度					8,816			479	8,337		6,272	75.2

節別支出済額(単位:千円)

報償費	2,456	需用費	1,788	委託料	2,530	負担金補助及び交付金	4,309
-----	-------	-----	-------	-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 資源物集団回収奨励金の交付

資源物集団回収を行った自治会や子供会等の団体に対して、回収量に応じた奨励金を交付し、ごみの減量や3Rの推進を図る。

【成果】

昨年度の登録者への通知や区会回覧等による事業の広報活動により、多くの団体を登録することができた。

資源物集団回収奨励金交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回収団体数	団体	113	114	117	122	119
資源物回収量	トン	701	750	722	1,129	1,185
奨励金額	千円	2,456	2,548	2,391	3,235	3,371

2 環境教育事業

環境教育の一環として、学校への出前講座や牛乳パック回収事業を実施し、子ども達の環境に対する意識向上に努める。

【成果】

市内の各学校において、牛乳パックの回収事業を周知するとともに出前講座を14講座行い、子ども達の環境意識向上を図った。

牛乳パック回収事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回収量	kg	1,171	2,129	686	2,600	2,747

3 リサイクル推進事業

ごみの減量や3Rの推進を図るため、3Rニュースを発行し、市民意識の向上につなげる。

【成果】

3Rニュースを区会回覧したり、段ボールコンポストの無料配布することにより、市民のごみ減量、分別意識の向上を図り、家庭からのごみ減量を推進することができた。

4 生ごみ処理器等購入費補助金交付

家庭から排出される生ごみの自己処理を推進する。

生ごみ処理容器を購入した市民に対し交付要綱に基づき補助金を交付する。

[コンポスト式補助率1/2、1世帯2基まで、上限20,000円]

[電気式生ごみ処理機補助率1/2、1世帯1基まで、上限20,000円]

【成果】

補助金の予算を増額した結果、生ごみ減量に取り組む市民が増えたため、家庭からの生ごみ排出の減量化を推進することができた。

生ごみ処理容器等購入費補助金交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コンポスト式	基	200	68	38	95	95
電気式	基	208	84	78	55	68
補助金額	千円	4,309	1,601	1,330	1,264	1,460

5 家庭用廃食用油リサイクル事業

市施設、スーパー等に設置した回収ボックスに市民が持込んだ廃食用油を回収する。

回収した油は精製し、アルカリ触媒法によりバイオディーゼル燃料に精製され、サステナスクエア内公用車で軽油の代替え燃料として使用する。

【成果】

家庭用廃食用油を利活用することにより、リサイクルを促進した。また、BDF燃料を使用することにより地球温暖化防止に寄与した。

家庭用廃食用油リサイクル事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
精製量	リットル	3,287	2,718	840	1,620	2,700
回収量	リットル	13,767	14,838	11,953	10,713	11,425

事業名：し尿処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
04	02	03	11	本年	79,475		14,800		94,275		84,566	89.7
				前年	76,487	3,166		79,653		74,968	94.1	
				比較	2,988	3,166	14,800	14,622		9,598	-	
【参考】前々年度					85,100		3,182		88,282	3,166	75,303	88.9

節別支出済額(単位:千円)

需用費	58,689	役務費	338	委託料	6,281	使用料及び賃借料	31
工事請負費	18,799	備品購入費	429				

概要及び成果

1 し尿処理施設維持管理事業

サステナスクエアし尿処理施設の維持管理（運転管理を除く。）

処理能力：50kl / 日

処理方式：好気性消化処理方式

【成果】

不具合箇所の修繕等を適切に行うことにより、施設を正常に稼働し、市民の健康で快適な生活を図った。

サステナスクエアし尿処理施設の処理量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
し尿	kl	552.2	596.7	738.8	972.1	896.9
浄化槽汚泥	kl	9,803.6	9,892.7	10,218.0	9,945.9	9,511.3
計	kl	10,355.8	10,489.4	10,956.8	10,918.0	10,408.2

2 し尿処理施設維持管理事業（サステナスクエア南分所）

し尿処理施設（南分所）の維持管理

処理能力 70kl / 日

処理方式 好気性消化処理方式

【成果】

し尿処理施設を適正に運営するため、計画的に修繕工事を実施した。

サステナスクエア南分所の処理量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
し尿	kl	1,062.0	888.1	749.3	706.8	694.9
浄化槽汚泥	kl	7,465.2	7,950.5	8,581.4	8,910.7	8,982.0
計	kl	8,527.2	8,838.6	9,330.7	9,617.5	9,676.9

事業名：働く婦人の家施設管理運営に要する経費

市民部 働く婦人の家

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	6,644				6,644		6,480	97.5
				前年	29,246				29,246		26,872	91.9
				比較	22,602				22,602		20,392	-
【参考】前々年度					16,986		239		16,747		15,080	90.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	104	報償費	374	旅費	26	需用費	1,506
役務費	230	委託料	4,131	使用料及び賃借料	109		

概要及び成果

1 働く婦人の家維持管理事業

つくば市の女子勤労者及び勤労者家庭の女性などの休養・レクリエーションの場と機会を提供するとともに、施設の維持管理を行う。

【成果】

- ・一部未舗装箇所の駐車場整備をするため、設計委託を行った。
- ・働く婦人の家運営委員会を5月と2月に開催し、運営状況と今後の方針、また、利用者への快適な利用環境を提供できるよう協議した。

施設利用団体数と利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
団体(サークル)数	団体	38	38	41	39	36
利用者数(講座除く)	人	8,151	4,862	4,224	8,042	8,426

内訳

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自主サークル	団体	16	16	19	19	20
利用者数	人	2,509	1,499	1,490	3,039	3,406
育成サークル	団体	22	22	22	20	16
利用者数	人	3,788	2,713	2,351	3,681	3,691
利用者数(サークル以外の団体)	人	1,854	650	383	1,322	1,329

2 働く婦人の家自主企画事業

市民への学習機会の提供のため、市民ニーズに応じた講座等を企画し参加募集を行う。応募者多数の場合は、抽選のうえ受講者を決定する。

【成果】

- ・勤労者向けに、夜間・休日など参加しやすい講座や魅力ある講座を企画した。
- ・趣味や運動を通し交流する機会を提供し、女性勤労者等の福祉向上を図ることができた。
- ・広報誌のほか、ホームページや地域交流センターへのチラシの配布を実施したことにより、つくば市全域からの応募が増加した。

延べ受講者数と開催講座数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ受講者数	人	438	319	267	607	594
主催講座回数	回	61	44	40	70	75
平日実施講座	回	21	20	19	39	54
休日(土・日)実施講座	回	37	14	11	31	21
夜間実施講座	回	3	10	10	14	16
親子・子ども対象講座	回	22	15	14	17	10

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	02	11	本年	8,142				8,142		7,162	88.0
				前年	5,088				5,088		3,820	75.1
				比較	3,054				3,054		3,342	-
【参考】前々年度					4,685				4,685		3,761	80.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,208	役務費	290	委託料	4,228	使用料及び賃借料	100
工事請負費	1,001	負担金補助及び交付金	336				

概要及び成果

1 雇用促進対策事業

- ・多様な人材の就労機会を創出するため、つくば市ふるさとハローワークに3名の会計年度任用職員を配置し、職業相談や職業紹介の補助及び雇用制度や職業情報の周知等を行う。
- ・市内に就職を希望する求職者を対象にした、就活イベントを開催することで、市内企業とのマッチングの場を提供し、雇用の促進を図る。

【成果】

- ・つくば市ふるさとハローワークの適正な維持管理と運営により、求職者に対する雇用機会の増大に寄与することができた。
- ・就活イベントについては、企業の採用力を高めるためのセミナーや就活支援イベント(就職フェア)を開催することで、市内企業と求職者とのマッチングの機会を提供することができた。

つくば市ふるさとハローワークの運営

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来所者数(開所日数)	人(日)	8,256(243)	8,736(241)	8,401(229)	10,950(240)	13,978(244)
1日平均来所者数	人	33.9	36.2	36.7	45.6	57.3
相談件数	件	6,778	7,004	6,153	6,344	8,053
紹介人数	人	2,160	2,218	2,229	2,681	3,370
紹介件数	件	2,752	2,900	2,984	3,603	4,574
就職者数	人	572	565	525	719	878

採用力向上セミナー(企業が採用戦略の考え方や採用手法を向上させる技術を習得するセミナー)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日		11月9日 2	10月19日 2	11月10日 2	11月28日	12月15日
参加企業数	社	37	45	35	65	記録なし
参加者数	人	44	90	39	82	54

インターンシップ活用セミナー(企業がインターンシップ制度を活用した採用方法を習得するセミナー)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日		11月9日 2	10月19日 2	2月25日 2	-	-
参加企業数	社	37	45	6	-	-
参加者数	人	44	90	10	-	-

就活支援イベント(市内中小企業の魅力向上と若者のマッチングを目的としたイベント)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日		12月3日 2	12月4日 2	12月5日 2	12月21日	12月15日
参加企業数	社	40	44	34	39	50
参加者数	人	43	136	194 1	83	75
マッチング数	件	180	609	709	220	174
内定者数	人	2	4	2	4	8

セミナー及び就活支援イベントは令和4年度から「若者地域定着加速化事業」の規模を縮小して実施

- 1 対象者を若者に限定せずに開催
- 2 オンライン開催

事業名：農業委員に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	32,754				32,754		30,631	93.5
				前年	32,549		815		31,734		29,387	92.6
				比較	205		815		1,020		1,244	-
【参考】前々年度					61,832		31,074		30,758		28,109	91.4

節別支出済額(単位:千円)

報酬	27,333	旅費	1,842	需用費	771	役務費	9
委託料	238	使用料及び賃借料	370	負担金補助及び交付金	68		

概要及び成果

1 農業委員会運営事業

法令に基づきその権限に属された農地等の利用関係の調整や利用の最適化の推進等、農業委員会が行う所掌事務について適正かつ円滑に実施する。(農業委員定数24人、農地利用最適化推進委員定数28人)

【成果】

総会、現地調査会、専門委員会等を開催し、法令に基づいた許認可等の適正な審査及び農地利用の最適化を進めることにより、農業の健全な発展に寄与することができた。

- ・総会を12回、運営委員会を13回開催
- ・現地調査会を地区ごとに12回開催
- ・専門委員会を12回開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
許可申請等件数	件	1,253	1,215	1,195	1,009	2,081
届出等件数	件	650	642	607	714	722

2 農地再生チャレンジ事業

農業委員及び農地利用最適化推進委員が中心となり、JA等の関係機関と連携して、市内の遊休農地を再生し、担い手に引き継ぐことで農地の有効活用を図る。また、市民に農業の楽しさや農地の大切さを再認識してもらうため、再生農地で収穫祭を開催する。

【成果】

洞下地内の遊休農地を再生し、周辺農地と合わせて担い手に引き継ぐことができた。また、収穫したジャガイモは、公立保育所、児童福祉施設等に提供することで、有効活用が図られた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
農地再生事業面積	m ²	2,013	1,456	2,716	3,033	4,774

3 行政機関への意見書提出

農業委員会は、その所掌事務の遂行を通じて得られた知見に基づき、関係行政機関等に対し意見要望等を提出する。

【成果】

農業委員及び農地利用最適化推進委員からの意見要望等を「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」として取りまとめ、国・県・市へ提出することができた。

(主な要望内容)

農地の保全と有効利用対策、新規就農者対策、持続可能な地域農業の確立等

事業名：農業委員会事務局に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	12	本年	12,383	434			12,817		11,952	93.3
				前年	11,821		10		11,831	434	9,754	86.1
				比較	562	434	10		986	434	2,198	-
【参考】前々年度					16,072		2,955		13,117		11,750	89.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,578	職員手当等	671	旅費	348	需用費	828
役務費	731	委託料	1,988	使用料及び賃借料	66	備品購入費	434
負担金補助及び交付金	1,308						

概要及び成果

1 農地基本台帳システム管理

農業委員会総会に諮る農地法等の許可申請案件議案書作成や各種証明書発行等の事務処理を円滑に行うため、市内の農地・農家情報等について常時管理する。

【成果】

市内農地の情報を随時更新し、常に最新の状態に維持することができた。

2 農委だより発行事業

農家への広報誌「農委だよりつくば」を年2回(7月、1月)発行する。

【成果】

市内の全農家に、農業委員会の活動や農業者に必要な情報を提供することができた。

【11,000部×2回(7月、1月)】

3 農地パトロール(農地利用状況調査)

農業委員及び農地利用最適化推進委員が、市内全農地の利用状況を現地調査する。調査の結果、荒廃が進んだ農地の所有者に対しては、戸別訪問等により今後の利用意向を確認した上で、必要なあっせんや農地中間管理機構等との利用関係の調整を行う。

【成果】

市内全農地を調査することにより、荒廃農地等の実態を把握することができた。また、荒廃農地所有者の今後の利用意向等を確認することにより、農地利用の最適化を推進することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用状況調査面積	ha	10,825	10,996	11,025	11,058	11,090
荒廃農地等面積	ha	516	508	502	475	529

4 納税猶与事務

農地の相続税・贈与税納税猶予制度の適用を受けるための証明書の発行等を行う。また、制度の適正実施のため、適用者の農業経営状況等を把握し、必要に応じて特例農地の適正管理指導等を行う。

【成果】

相続等による農地の細分化を防止し、農業後継者の農業経営継続に寄与することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相続税証明書発行	人	7	6	5	8	6
贈与税証明書発行	人	4	2	1	5	1
農地確認作業日数	日	15	12	15	15	15
個別指導	人	2	2	2	2	2

事業名：農業者年金に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	13	本年	242				242		241	99.8
				前年	242				242		241	99.7
				比較	0				0		0	-
【参考】前々年度					284				284		100	35.3
節別支出済額(単位:千円)												
		旅費		48	需用費			193				
概要及び成果												
<p>1 農業者年金事業 独立行政法人農業者年金基金との業務委託契約に基づき、年金受給者に関する届出等の事務を行うとともに、農業者年金の加入対象者に対して加入推進を行う。</p> <p>【成果】 農業者年金受給者等の資格取得や現況届等の各種届出を受理し、書類点検後、関係機関に送付した。また、年金受給者に対する個別相談を行ない、適正給付となるよう指導した。さらに、年金加入推進対象者全員に対して、年金制度に関する案内資料を送付し、加入推進を行った。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
年金受給者数					人	318	348	409	464	525		
新規加入実績					人	2	6	0	6	3		
年金の受給相談					回	28	23	18	17	10		

事業名：農業担い手対策に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	14	本年	373				373		300	80.3
				前年	373				373		6	1.5
				比較	0				0		294	-
【参考】前々年度					431		409		22		6	25.9
節別支出済額(単位:千円)												
		需用費		3	委託料			297				
概要及び成果												
<p>1 農家後継者結婚支援事業 市内在住の農業後継者や農業に関心のある男女の出会いの場を提供する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでのカップリングパーティーを実施し、1組のカップルが誕生した。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
参加者					人	10	-	-	14	23		
カップル					組	1	-	-	2	4		

事業名：農業推進等に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	02	11	本年	13,805	1,605	532		14,878		13,812	92.8
				前年	12,474		250	535	11,689	1,605	8,560	87.0
				比較	1,331	1,605	282	535	3,189	1,605	5,252	-
【参考】前々年度				15,295	1	917		14,379		13,063	90.9	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,644	旅費	20	需用費	88	役務費	115
委託料	5,345	負担金補助及び交付金	601				

概要及び成果

1 農業推進事業

・農業推進委員を通じて、農業に関する情報を農家に提供するなど地域農業の振興を推進する。

農業推進委員任期：2年

農業推進委員数：349名

【成果】

農業推進委員を通じて情報提供を4回行い、市内農家へ円滑に周知等を行うことができた。

2 融資対策事業

農業近代化資金を借り入れた経営体に対し、2%以内で利子の一部を助成する。

農業経営基盤強化資金を借り入れた経営体に対し1%を超える分の利子を助成する。(県1/2助成)

農協系統農業災害資金を借り入れた経営体に対し、利子の1/2を助成する。

【成果】

融資を受けて農業経営の安定・発展を目指す農業者の支援をすることができた。

・農業近代化資金利子補助金(7件 168千円)

・農業経営基盤強化資金利子助成金(4件 79千円)

・農協系統農業災害資金利子助成金(7件 17千円)

利子助成実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
農業近代化資金	千円	168	102	131	160	225
農業経営基盤強化資金(県1/2助成)	千円	79	101	132	174	216
農協系統農業災害資金	千円	17	27	39	22	1

事業名：農業振興地域整備促進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	11	本年	1,599			110	1,709		1,113	65.2
				前年	1,613			117	1,496		1,052	70.3
				比較	14			227	213		61	-
【参考】前々年度					1,836		695		1,141		936	82.0

節別支出済額(単位:千円)

報償費	204	需用費	35	役務費	75	委託料	281
使用料及び賃借料	409	備品購入費	110				

概要及び成果

1 農業振興地域整備計画に関する事業

農振法などの関係法令に基づき、年に2回、編入、地区除外等により農用地利用計画の変更を行うほか、概ね5年ごとに市全体のつくば農業振興地域整備計画の見直しを行う。

【成果】

つくば農業振興地域整備計画に基づき、優良農地の保全と適正な土地利用の見直しを実施し、地域の実情に応じた計画とすることができた。

・農用地利用計画変更申請実績：41件7.1ha(内訳 6月：12件5.0ha 12月：29件2.1ha)

用途変更：3件

・各地区現地調査会開催 5地区：10回 ・農業振興地域整備促進協議会開催（書面決議）：2回

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請件数	件	41	31	29	30	46
編入件数	件	1	1	1	0	1
除外件数	件	39	30	28	30	44
却下件数	件	1	0	0	0	1
変更面積	ha	6.7	3.5	3.9	2.9	10.3

令和4年度申請分(41件)のうち12月受付分(29件)は、令和5年度、継続して手続きを行うため、変更件数・面積は変更見込みを含む。

事業名：都市農村交流推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	12	本年	829				829		625	75.4
				前年	829				829		825	99.5
				比較	0				0		200	-
【参考】前々年度					1,598		1,152		446		257	57.6

節別支出済額(単位:千円)

需用費	219	役務費	181	委託料	195	負担金補助及び交付金	30
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------------	----

概要及び成果

1 都市農村交流事業

市内及び首都圏沿線の都市住民に「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等の農業体験を通じて農業に触れる機会を提供する。

また、そのPRを実施する。

【成果】

「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等の農業体験事業を通じて、市民と生産者の相互交流が図られた。また、市内の農業や農産物について周知が図られた。

「農産物オーナー制度」では、参加者にアンケート調査を行うことで、参加者が希望する申込方法や効果的な周知方法について事業に反映することができた。

農産物オーナー制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
オーナー参加人数	人	472	428	285	418	314

農業サポーター制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
サポーター総登録者数	人	159	116	74	248	235
受け入れ農園数	園	12	10	7	15	17

都市農村交流イベント

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
農業体験イベント回数	回	13	6	4	7	7
農業体験イベント参加人数	人	282	162	54	102	253

事業名：畜産振興に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
06	01	04	11	本年	2,031		12,340		14,371		13,971	97.2																																			
				前年	5,804		1,380		4,424		4,244	95.9																																			
				比較	3,773		13,720		9,947		9,727	-																																			
【参考】前々年度				1,323	318	4,800		6,441		5,897	91.6																																				
節別支出済額(単位:千円)																																															
報償費				50	需用費		19	役務費		512	負担金補助及び交付金	13,391																																			
概要及び成果																																															
<p>1 家畜伝染病予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、伝染病予防に努める。 つくば市畜産協会を通じ、畜産農家に対して衛生薬剤等購入費の補助を行い、畜産経営の安定を図る。 <p>【成果】</p> <p>県や畜産農家と連携し、各種家畜検査等を適切に実施した。 つくば市特定家畜伝染病防疫対策マニュアルを改定し、発生時の対応等について再確認した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蜜蜂腐蛆病検査</td> <td>群</td> <td>268</td> <td>253</td> <td>313</td> <td>278</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>馬伝染性貧血検査</td> <td>頭</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査</td> <td>頭</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>249</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>豚熱予防注射</td> <td>頭</td> <td>1,516</td> <td>9,496</td> <td>13,495</td> <td>4,160</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>牛検査は5年ごと。豚熱予防注射は令和元年度から開始。</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	蜜蜂腐蛆病検査	群	268	253	313	278	283	馬伝染性貧血検査	頭	-	-	3	3	-	牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査	頭	-	-	249	-	-	豚熱予防注射	頭	1,516	9,496	13,495	4,160	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
蜜蜂腐蛆病検査	群	268	253	313	278	283																																									
馬伝染性貧血検査	頭	-	-	3	3	-																																									
牛ヨーネ病・牛伝染性リンパ腫検査	頭	-	-	249	-	-																																									
豚熱予防注射	頭	1,516	9,496	13,495	4,160	-																																									
<p>2 畜産振興事業</p> <p>共励会に出品した畜産農家に対して奨励金を支払い、畜産振興を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>茨城県県南肉用牛枝共励会に出品し(6名10頭)、生産技術の向上や県産牛肉のPRに寄与することができた。</p>																																															
<p>3 飼料価格高騰対策</p> <p>地方創生臨時交付金を活用し、飼料価格高騰で経営が圧迫された畜産農家の営農継続を支援する。</p> <p>【成果】</p> <p>17経営体に対し、12,340千円を交付した。</p>																																															

事業名：土地改良事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	11	本年	391,955		11,282		403,237	121,572	245,817	91.1
				前年	232,134	22,830		277	254,687		228,745	89.8
				比較	159,821	22,830	11,282	277	148,550	121,572	17,072	-
【参考】前々年度					327,946	49,754	14,848	4,306	358,546	22,830	319,065	95.4

節別支出済額(単位:千円)

旅費	11	需用費	112	役務費	4	委託料	33,341
使用料及び賃借料	2,363	工事請負費	153,049	公有財産購入費	196	負担金補助及び交付金	56,741

概要及び成果

1 県単ため池整備事業

県補助事業を活用し、農業用水の安定供給維持のため、ため池の護岸等の整備を行う。

【成果】

水田の干害対策として水源を確保し、豪雨等の災害対策としての整備を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業費	千円	48,600	33,930	46,836	77,689	55,128
実施場所		高良田四ツ谷池	倉掛町池外1地区	下横場池外1地区	北条新池	沼田堂山池

2 排水路整備事業

地元要望等により、土地改良事業区域内の排水路等の機能維持のため、整備・維持補修工事を実施する。

【成果】

排水路等の整備・維持補修工事を行うことで、農産物の生産性向上や大雨等の水害対策が推進できた。

一般単独排水路整備事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業費	千円	78,379	92,223	76,730	71,955	25,180
整備延長	m	2,235	2,222	1,435	3,123	586
実施場所		今鹿島外5地区	上郷外7地区	山木外6地区	大舟戸外10地区	上岩崎外2地区

市単ため池・排水路維持補修事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業費	千円	26,070	16,872	21,038	39,931	26,608
実施場所		谷田部外28地区	大舟戸外21地区	沼田外28地区	上岩崎外41地区	蓮沼外40地区

かんがい排水整備事業償還金補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金	千円	26,784	41,643	57,060	68,283	83,142

3 県営土地改良事業

かんがい排水、圃場、農道等の農業生産基盤の整備を行うことで、優良農地の確保を行う。

- ・ 下手地区（R5）、角内地区（R6）、明戸上口地区（R8） 各括弧内は事業完了予定年度
- ・ 調査計画地区（小和田地区、下通後田地区）

【成果】

茨城県が実施する土地改良事業について、土地改良区や地元協議会等と連携し、事業を推進できた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
下手地区負担金	千円	518	5,063	8,100	6,750	3,800
角内地区負担金	千円	24,784	12,000	3,500	5,000	1,300
明戸上口地区負担金	千円	2,900	2,500	-	-	-
調査計画地区負担金	千円	1,153	2,000	750	8,200	5,750

事業名：霞ヶ浦用水建設に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	12	本年	102,786				102,786		101,908	99.1
				前年	99,660				99,660		98,568	98.9
				比較	3,126				3,126		3,340	-
【参考】前々年度					98,036				98,036		97,450	99.4
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					101,908							
概要及び成果												
<p>1 霞ヶ浦用水建設事業 霞ヶ浦から用水を取水し、茨城県西南地域の関係13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、農業基盤の充実を図る。 つくば市の受益面積は水田2,045ha、畑1,061haである。</p> <p>【成果】 茨城県及び霞ヶ浦用水土地改良区が実施する事業について、関係13市町及び地元協議会と連携して推進できた。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
推進協議会運営負担金					千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
県営事業負担金					千円	9,574	8,105	7,372	6,177	7,325		
団体営事業負担金					千円	10,821	9,398	7,951	6,783	6,248		
国営事業負担金					千円	80,313	79,865	79,810	79,561	79,832		

事業名：土地改良振興に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
06	01	05	13	本年	193,609		128,488		322,097	7,807	311,847	99.2																					
				前年	202,418	9,900	7,054		205,264	203,541	99.2																						
				比較	8,809	9,900	135,542		116,833	108,306	-																						
【参考】前々年度				174,242	4,140	1,838	4,306	180,850	9,900	168,794	98.8																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費		26	委託料	3,850	負担金補助及び交付金	307,671	償還金利子及び割引料						300																				
概要及び成果																																	
1 水利施設管理強化事業（R3年度から名称変更。旧事業名：国営造成施設管理体制整備促進事業） 国営造成施設（霞ヶ浦用水）及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。																																	
【成果】 国や県が整備した水路等農業水利施設を管理するつくば市筑波土地改良区、南筑波土地改良区及び霞ヶ浦用水土地改良区の施設の維持管理に対して支援を行い、農業経営の安定化に寄与した。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金</td> <td>千円</td> <td>30,600</td> <td>30,600</td> <td>30,600</td> <td>30,600</td> <td>30,746</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>千円</td> <td>1,359</td> <td>1,509</td> <td>1,774</td> <td>3,417</td> <td>1,603</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	補助金	千円	30,600	30,600	30,600	30,600	30,746	負担金	千円	1,359	1,509	1,774	3,417	1,603
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
補助金	千円	30,600	30,600	30,600	30,600	30,746																											
負担金	千円	1,359	1,509	1,774	3,417	1,603																											
2 土地改良区工事補助事業 土地改良区が農業用施設の改修等のため実施する国県補助事業に対して、上乘せの補助をする。																																	
【成果】 農業用施設の改修等に対する補助を実施することにより、農業経営の安定化に寄与した。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>件</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>千円</td> <td>22,062</td> <td>44,768</td> <td>17,607</td> <td>30,983</td> <td>20,933</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	補助件数	件	13	15	10	14	16	補助金	千円	22,062	44,768	17,607	30,983	20,933
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
補助件数	件	13	15	10	14	16																											
補助金	千円	22,062	44,768	17,607	30,983	20,933																											
3 多面的機能支払事業 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など、農村の活動組織が行う農村環境保全活動を支援する。活動組織は5年間の事業計画を作成して、市の認定を受けたうえで活動を実施し、国、県及び市は、農用地の面積に応じて交付金を交付する。																																	
【成果】 地域資源の適切な保安全管理により、農業・農村の持つ多面的機能を維持することができた。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動組織数</td> <td>組織</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>交付金</td> <td>千円</td> <td>117,285</td> <td>114,863</td> <td>106,210</td> <td>98,254</td> <td>102,567</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	活動組織数	組織	47	45	42	39	36	交付金	千円	117,285	114,863	106,210	98,254	102,567
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
活動組織数	組織	47	45	42	39	36																											
交付金	千円	117,285	114,863	106,210	98,254	102,567																											
4 土地改良施設管理支援事業 排水路等の除草や浚渫（泥上げ）を行うことで、施設の機能維持と適正な管理を行う。																																	
【成果】 土地改良施設の機能を良好な状態に維持することができた。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費</td> <td>千円</td> <td>3,685</td> <td>5,159</td> <td>6,251</td> <td>2,985</td> <td>2,333</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	委託費	千円	3,685	5,159	6,251	2,985	2,333							
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
委託費	千円	3,685	5,159	6,251	2,985	2,333																											

5 湛水防除施設維持管理事業

小貝川及び桜川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期（4月～9月）に機械排水を行うため、排水機場の維持管理費用を支援する。

【成果】

各土地改良区等と連携して排水機場の適正な維持を行うことで、湛水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化に寄与した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
維持管理負担金(1)	千円	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580
運営協議会負担金(2)	千円	1,456	998	790	790	790

1 真瀬、山下、川口地区

2 桜川、新治地区

6 土地改良施設物価高騰支援事業

つくば市内に受益地をもつ土地改良区が管理する、農業用機場の用水期（4月～9月）の電気料金について、前年度と比較し高騰分を支援する。

令和4年度のみで事業終了。

【成果】

交付対象数：11土地改良区

交付総額：130,063千円

事業名：農業用廃プラスチック処理対策に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	06	11	本年	2,192			2,192		1,301	59.3
			前年	2,285			2,285		1,300	56.9	
			比較	93			93		1	-	
【参考】前々年度				2,226				2,226		2,047	92.0

節別支出済額(単位:千円)

需用費	13	負担金補助及び交付金	1,287
-----	----	------------	-------

概要及び成果

1 農業用廃プラスチック適正処理推進事業

農村環境の保全を図るため、農業用廃プラスチック等を回収し適正処理を行うことで、不法投棄や野焼きを防止する。8月から12月の間に合計7回実施。

【成果】

- ・ビニール：計2回の回収日を設定し、4,310kgを回収したことにより、リサイクルの推進に寄与した。
- ・ポリエチレン：計5回の回収日を設定し、25,850kgを回収したことにより、リサイクルの推進に寄与した。
- ・ホームページに年間の回収日程及び適正処理に関する啓発（回収日程期間中8月～12月まで掲載）を掲載した。

回収実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
使用済ビニール回収実績	kg	4,310	4,970	18,630	12,280	16,170
使用済ポリエチレン回収実績	kg	25,850	25,540	49,350	50,900	37,100
使用済緑マルチ回収実績	kg	-	590	-	-	-
登録人数	人	113	112	182	170	142

緑マルチは、令和2年度までポリエチレンとして回収していたが、令和3年度は緑マルチのみで回収。令和4年度は回収を見送り、令和5年度に回収を実施する予定。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
06	01	06	12	本年	41,753		36,480	244	5,517		4,892	88.7																												
				前年	4,340	780,112			784,452		4,032	0.5																												
				比較	37,413	780,112	36,480	244	778,935		860	-																												
【参考】前々年度					785,262		1,141		784,121	780,112	3,407	99.9																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
報償費				133	需用費		529	負担金補助及び交付金	4,230																															
概要及び成果																																								
<p>1 果樹振興事業 ブルーベリー及びワイン用ぶどうの栽培面積拡大及び品質向上に要する経費（苗木や資材等の購入費用）を補助する。補助率は総事業費の1/2以内（ただし、10a当たり150千円を限度）とする。また、ブルーベリーのアウトウショウジョウバエ対策のための生ごみ処理容器の購入費を補助する。補助率は購入費の1/3以内（1圃場当たり上限2,000円）とする。</p> <p>【成果】 圃場拡大により将来的にワイン用ぶどう、ブルーベリーの収量増大が見込まれ、果樹振興に寄与することができた。 補助実績 1,933,275円（ワイン用ぶどう3件10,811㎡、ブルーベリー2件6,061㎡）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>対象面積</td> <td>a</td> <td>169</td> <td>163</td> <td>189</td> <td>83</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>千円</td> <td>1,933</td> <td>2,277</td> <td>2,207</td> <td>861</td> <td>871</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	補助件数	件	5	5	8	3	2	対象面積	a	169	163	189	83	62	補助額	千円	1,933	2,277	2,207	861	871
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
補助件数	件	5	5	8	3	2																																		
対象面積	a	169	163	189	83	62																																		
補助額	千円	1,933	2,277	2,207	861	871																																		
<p>2 つくば芝振興対策事業 茨城県つくば芝振興協議会が行う栽培技術の講習会等の開催、校庭緑化等についての説明会、各種イベント等により芝のPRを支援する。</p> <p>【成果】 つくば芝振興協議会と連携し、4品種の原種管理を徹底したことにより、高い品質を維持することができた。 新型コロナウイルス感染症拡大のため、PRイベントへの出展はない。</p>																																								
<p>3 遺伝子組換え作物栽培連絡会事業 遺伝子組換え作物の栽培に伴う市民の不安や混乱を未然に防ぐため、研究機関等と情報を共有し、市民に周知することで相互理解の促進を図る。</p> <p>【成果】 ・つくば市遺伝子組換え作物栽培連絡会、ほ場見学会を開催し、遺伝子組換え作物の実験計画や栽培状況についての情報を共有し、委員から意見を聴取した。 ・聴取した情報を市ホームページに掲載し、遺伝子組換え作物栽培に関する正確な情報を市民に伝えることができた。</p>																																								
<p>4 儲かる産地支援事業 高品質な農産物を安定的に供給するために必要な機械・施設の導入、コスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入にかかる事業費の1/3以内を補助する。</p> <p>【成果】 一団体から申請があり、にんじん収穫機及び自動根菜洗機導入のための支援を行った。</p>																																								
<p>5 強い農業・担い手づくり総合支援 国内農産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な大規模共同利用施設等の整備を支援する。</p> <p>【成果】 令和4年度は申請なし。</p>																																								

事業名：地産地消推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
06	01	06	13	本年	3,578			851	2,727		798	29.3																					
				前年	4,067			1,739	2,328		1,960	84.2																					
				比較	489			888	399		1,162	-																					
【参考】前々年度					16,656		2,144		14,512		13,321	91.8																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
需用費					58	役務費		67	委託料		356	使用料及び賃借料		20																			
負担金補助及び交付金					297																												
概要及び成果																																	
<p>1 地産地消推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしを行うとともに、取組者を支援する。 ・地元産食材を提供する店舗を認定し、地元産食材のブランド化・消費拡大につなげる。 <p>【成果】</p> <p>農産物加工の取組への支援や地産地消店の認定及びPRを行い、農産物の消費を喚起することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化事業の相談件数：1件（1回） ・市産農産物等を使用したつくばコレクションの認定数：2件 ・地産地消レストラン（地産地消店）延べ認定数：157件 ・農産物直売イベントであるプチマルシェや農産物フェアは令和4年度で事業を終了した。 																																	
<p>地産地消レストラン（地産地消店） 令和元年度新規事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ認定数</td> <td>店</td> <td>157</td> <td>153</td> <td>126</td> <td>41</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	延べ認定数	店	157	153	126	41	-							
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
延べ認定数	店	157	153	126	41	-																											
<p>農産物フェア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数</td> <td>団体</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>約15,500</td> <td>約18,000</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	参加団体数	団体	-	-	-	23	20	来場者数	人	-	-	-	約15,500	約18,000
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
参加団体数	団体	-	-	-	23	20																											
来場者数	人	-	-	-	約15,500	約18,000																											

事業名：農道整備に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	07	11	本年	28,502				28,502		26,054	91.4
				前年	33,967				33,967		33,196	97.7
				比較	5,465				5,465		7,142	-
【参考】前々年度					52,697		100		52,597		47,542	90.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	46	委託料	6,336	工事請負費	15,360	原材料費	8
負担金補助及び交付金	4,304						

概要及び成果

1 農道整備事業

各土地改良区や区会等から、土地改良事業区域内の農道の舗装や維持補修要望を受け、必要性の高い箇所から優先的に整備・維持補修工事を実施する。

【成果】

農業生産に効果がある整備・維持補修工事を行うことで、農業経営の安定化に寄与した。

一般単独農道整備事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業費	千円	12,628	18,230	24,474	22,681	70,546
整備延長	m	251	383	754	497	1,334
実施場所		大舟戸外1地区	遠東外2地区	吉沼外2地区	百家外1地区	酒丸地区外7地区

農道維持補修工事

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業費	千円	2,732	153	3,333	7,709	9,172
実施場所		吉沼外4地区	吉沼外1地区	大井外6地区	吉沼外13地区	上岩崎外11地区

農道整備事業償還金補助

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金	千円	3,293	6,643	11,822	21,286	29,074

【一般単独農道整備事業】 土地改良事業区域内の未舗装道路に対して、舗装工事を行う。

【農道維持補修工事】 農業生産基盤維持のため、農道維持補修を行う。

【農道整備事業償還金補助】 市が実施した農道整備工事について、受益者が融資を受けた借入金に対し償還補助を行う。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	11	本年	114,269	24,922	25,182		114,009	11,981	86,789	86.6
				前年	110,264		34,600		75,664	24,922	29,989	72.6
				比較	4,005	24,922	9,418		38,345	12,941	56,800	-
【参考】前々年度					117,821	41,088	38,165	331	120,413		57,302	47.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	229	役務費	83	委託料	2,695	使用料及び賃借料	265
負担金補助及び交付金	82,737	償還金利子及び割引料	779				

概要及び成果

1 新規就農者支援

つくば市新規就農者経営支援事業、農業次世代人材投資事業を実施して、新規就農者の育成を図る。新規就農(希望)者に対し、茨城県つくば地域農業改良普及センターと連携し、就農相談を行う。

【成果】

つくば市新規就農者経営支援補助金を1名、国の農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策資金を20名に交付することで、新規就農者の経営を支援することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
農業次世代人材投資資金	千円	16,269	26,578	38,999	34,387	46,500
新規就農者経営支援補助金	千円	600	1,150	1,200	600	-
新規就農者育成総合対策資金	千円	4,500	-	-	-	-

農業経営開始直後の新規就農者を支援する農業次世代人材投資資金の新規受付は令和3年度で終了し、令和4年度からは、農業次世代人材投資資金に代わって新たに制定された新規就農者育成総合対策資金での受付となった。

2 農業経営対策事業(担い手育成総合支援事業)

・つくば市担い手育成総合支援協議会を開催し、認定農業者になることを希望する農業者の農業経営改善計画や認定新規就農者となることを希望する新規就農者の就農計画の審査を行う。

【成果】

・認定農業者の農業経営改善計画作成支援相談会を3回開催したほか、随時相談を受け付けたことにより、農業者を支援することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
協議会の開催回数	回	8	10	2	3	4
認定農業者数累計	経営体	283	287	294	298	275

3 耕作放棄地の活用

・グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し「貸し手」と「借り手」の農地貸借に係る仲介・あっせんを行い、農地の有効利用を促進する。

・グリーンバンク事業を活用し、契約が成立した農地の土壌改良に係る経費を補助する。

【成果】

・グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し、23件4.37haの貸借契約が成立した。

グリーンバンク制度実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸し手登録件数(累計)	件	59(757)	38(698)	35(660)	32(625)	40(593)
登録面積(累計)	ha	14.0(197.4)	10.1(183.4)	9.2(173.3)	6.9(164.1)	5.7(157.2)
借り手登録件数(累計)	件	15(247)	27(232)	27(205)	19(178)	29(159)
契約成立(累計)	件	23(266)	44(243)	20(199)	20(179)	16(159)
貸借面積(累計)	ha	4.3(61.6)	6.7(57.1)	2.4(50.4)	3.8(48.0)	3.4(44.2)

市民ファーマー制度実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契約件数	件	8	13	7	7	5
貸借面積	m ²	3,212	8,370	5,465	4,914	3,862

耕作放棄地土壌改良事業費補助金交付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
面積	ha	0	0	0.4	0.2	0.0
交付額	千円	0	0	102	56	0

4 肥料高騰対策

地方創生臨時交付金を活用し、肥料価格の高騰により経営が圧迫された農業者の営農継続を支援する。

【成果】

211経営体に対して、37,558千円を交付した。

事業名：農地中間管理事業に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	12	本年	26,271		14,765		11,506		10,911	94.8
				前年	44,181		27,417	25	16,789		15,086	89.9
				比較	17,910		12,652	25	5,283		4,175	-
【参考】前々年度				13,002		4,264		17,266		15,817	91.6	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,568	職員手当等	671	旅費	135	需用費	67
役務費	164	負担金補助及び交付金	4,243	償還金利子及び割引料	63		

概要及び成果

1 農地中間管理事業

茨城県農地中間管理機構（茨城県農林振興公社）が、土地所有者から農地を借受け、地域の話し合い等で選定された担い手となる農業者等へ転貸することにより、効率よく農地を利用できるよう農地の集積・集約を促進させる。

農地中間管理事業による農地の集積・集約に協力し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力を交付する。

農地中間管理事業を活用し、茨城県実施事業であるリーディングアグリプレーヤー育成・確保事業を活用した土地所有者に対し、農地貸付協力を交付する。

【成果】

- ・農地中間管理事業を活用し、41.1haの農地を担い手へ集積・集約することにより、農地利用の効率化ができた。

- ・農地中間管理事業説明会を開催し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力を交付することにより、農地の集積・集約を促進できた。

農地中間管理事業による農地集積面積

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
集積面積	ha	41.1	52.7	40.8	39.8	112.4
地域集積協力金対象	ha	13.0	15.4	33.8	0	78.7
地域集積協力金対象外	ha	28.1	37.3	7.0	39.8	33.7
対象地区	地区	2	1	3	0	11

地域集積協力の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付地区数	地区	2	1	3	0	11
対象面積	ha	13.0	15.4	33.8	0	78.7
協力金	千円	3,574	2,469	6,858	0	10,129

経営転換協力の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	1	94	62	34	29
対象面積	ha	0.5	34.7	15.7	14.0	12.5
協力金	千円	54	5,208	2,350	2,100	4,309

農地貸付協力の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	14	5	-	-	-
対象面積	ha	4.1	2.18	-	-	-
協力金	千円	615	324	-	-	-

事業名：水田農業構造改革推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	11	本年	201,519		1,447	497	200,569		200,056	99.7
				前年	198,799			3,397	202,196		200,866	99.3
				比較	2,720		1,447	2,900	1,627		810	-
【参考】前々年度				210,993		945	1,831	211,879		211,759	99.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	421	備品購入費	76	負担金補助及び交付金	199,559
-----	-----	-------	----	------------	---------

概要及び成果

1 経営所得安定対策推進事業

経営所得安定対策の実施に必要な推進活動のうち、つくば市農業再生協議会が行う水田の生産調整や補助金の交付申請書、実績報告の取りまとめ等の事務を円滑に進める。

【成果】

つくば市農業再生協議会が実施する、経営所得安定対策事業や水田の生産調整等に必要な事務費の補助を行い、農業者の経営所得安定を図ることができた。

2 市単水田農業構造改革対策事業

転作作物の圃場を現地確認し、生産調整達成者に対して助成金を交付する。

【成果】

水田の生産調整を推進し、米価の安定と農家の経営安定に寄与した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
転作配分面積	ha	1,749	1,696	1,719	1,774	1,730
転作達成面積	ha	1,972	1,762	1,626	1,603	1,620
生産調整達成率	%	112.8	103.9	94.6	90.4	93.6

3 病害虫防除薬剤購入費補助事業

イネ縞葉枯病の被害拡大防止のため、消毒用薬剤購入に対して購入費の1/3(上限10a当たり1,000円)の補助を行う。

【成果】

消毒用薬剤購入費補助を行い、イネ縞葉枯病の防除を推進することができた。(R4年度から農協等による代理申請ではなく、耕作者から直接申請となったため件数が増加。)

病害虫防除薬剤購入費補助金交付実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	125	50	89	100	123
薬剤補助実績面積	ha	1,023	1,316	984	667	602
交付額	千円	5,561	8,023	6,382	3,918	3,618

平成29年度から実施。

事業名：環境にやさしい農業推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	12	本年	13,346				13,346		11,651	87.3
				前年	10,551				10,551		9,330	88.4
				比較	2,795				2,795		2,321	-
【参考】前々年度					10,792		128	1,500	9,164		8,647	94.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,518	委託料	5,415	使用料及び賃借料	42	負担金補助及び交付金	4,676
-----	-------	-----	-------	----------	----	------------	-------

概要及び成果

1 環境にやさしい農業推進事業

- ・カバークロープ事業...冬場の作付けされていない農地からの土ぼこりと表土流出を防止するため、申請者に対して緑肥としてすき込みができる被覆植物の種子を無料配布する。
- ・環境保全型農業直接支払交付金...地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動(国際水準GAP等)や有機農業に取り組んだ農業者に対して補助する。
- ・有機資材購入費補助事業...化学合成農薬及び化学肥料を慣行栽培より5割以上削減して栽培を行い、茨城県の特別栽培農産物の認証を受けた農業者に対して、有機資材購入費の一部を助成する。

【成果】

- ・カバークロープ種子を32.2ha分(ハゼリソウ361kg、ヘアリーベッチ574kg)配布するとともに、環境保全型農業直接支払交付金を3団体に2,395,600円(19.3ha分)、有機資材購入費補助金を8団体に2,280,300円(151.5ha分)交付することで、環境保全型農業を推進することができた。

カバークロープ種子配布

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ハゼリソウ	ha	17.9	22.1	21.9	23.9	18.5
ヘアリーベッチ	ha	14.3	22.7	20.8	23.8	29.5
合計	ha	32.2	44.8	42.7	47.7	48.0

環境保全型農業直接支払交付金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	3	3	3	2	2
面積	ha	19.3	16.5	18	12	13
補助額	千円	2,396	2,049	2,106	980	1,055

有機資材購入費補助事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	8	10	9	9	8
面積	ha	152	206	202	218	209
補助額	千円	2,281	3,111	3,085	3,312	3,163

2 つくば市特産農産物廃棄物適正処理推進事業

- ・葉刈り芝の適正処理を行うため、ストックヤードを開設し回収する。
- ・葉刈り芝の堆肥化を促進するため、発酵促進剤と消石灰を配布する。

【成果】

○ストックヤード事業

- ・今鹿島、酒丸、前野、吉沼は5/1～11/30、新設した長高野は10/1～11/30の期間ストックヤードを開設した。
- ・5箇所合計114回、83,670kgを回収することで、野焼き防止に寄与した。

○堆肥化事業

- ・6件の申請に対し、発酵促進剤を17袋、消石灰を17袋配布した。

堆肥化事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	6	6	1	1	2

葉刈り芝回収事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
袋での回収事業	kg	-	-	-	670	7,970
ストックヤード事業	kg	83,670	44,610	38,330	41,340	4,260
合計回収量	kg	83,670	44,610	38,330	42,010	12,230

袋での回収事業は令和元年度で終了。

事業名：ふれあいの里施設管理運営に要する経費

経済部 筑波ふれあいの里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	01	10	11	本年	79,474		9,093		70,381		62,086	88.2	
				前年	65,544		8,523		57,021		49,530	86.9	
				比較	13,930		570		13,360		12,556	-	
【参考】前々年度					74,594		16,355		58,239		49,087	84.3	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				10,752	役務費		1,027	委託料		22,907	使用料及び賃借料		7,375
工事請負費				19,692	原材料費		174	備品購入費		159			

概要及び成果

1 ふれあいの里施設管理運営事業

筑波山麓の豊かな自然環境の保全や活用を図りながら、各施設（実習館、コテージ、キャンプ場、バーベキュー場、そば打ち体験施設、染色体験施設）の管理運営を行っている。

【成果】

- ・老朽化していたバーベキュー場トイレの洋式便座化、多目的トイレの設置、そば打ち体験施設のウッドデッキ改修及びコテージ（6人用×1棟・8人用×2棟）の空調機を更新したことで、利用者が安全かつ快適に使用できる施設を提供することができた。
- ・施設を適切に維持管理することで、快適で魅力的な施設を提供することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実習館(宿泊施設)	人	703	250	320	3,590	3,738
コテージ	人	3,179	2,392	1,846	3,398	4,175
キャンプ場	人	1,412	1,540	1,091	1,735	1,914
伝習施設(そば打ち)	人	37	20	32	853	834
管理施設(草木染め)	人	334	252	222	748	749
バーベキュー施設	人	3,403	1,658	1,759	5,941	5,886
研修室	人	701	291	214	1,206	1,508
食堂	人	0	0	66	1,574	1,975
風呂	人	2,159	1,848	1,549	2,847	2,990
合計	人	11,928	8,251	7,099	21,892	23,769

【年度別収入】 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
施設使用料	千円	15,476	10,883	10,013	29,905	31,324

【筑波山麓自然学校】 2

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	7	5	8	9	10
参加者数	人	166	122	207	380	522

1 令和2年度、3年度の施設利用人数及び施設利用料が減少した要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、施設の休所及び利用制限を行ったことによるもの。

2 令和2年度から4年度の参加者減少は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、実施日数及び募集人数を制限したことによるもの。

事業名：ゆかりの森施設管理運営に要する経費

経済部 豊里ゆかりの森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	11	11	本年	64,044		3,092		60,952		59,235	97.2
				前年	61,858		1,563		60,295		55,947	92.8
				比較	2,186		1,529		657		3,288	-
【参考】前々年度					67,895		212		67,683		59,260	87.6

節別支出済額(単位:千円)

報償費	562	需用費	9,829	役務費	1,540	委託料	25,758
使用料及び賃借料	6,049	工事請負費	15,131	原材料費	279	備品購入費	82
負担金補助及び交付金	5						

概要及び成果

1 ゆかりの森管理運営事業

敷地内平地林の自然環境保全に努め、里山の自然公園として活用し併設している宿舍「あかまつ」・工芸館・昆虫館・キャンプサイト・バーベキュー場・テニスコート等の施設の充実及び管理運営を行い、体験・滞在型余暇施設活動の場として環境づくりを推進する。

【成果】

森林内の草刈りや倒木、枯木の撤去を随時行い、所内の環境保全が図られた。また、各施設を適切に維持管理したことで、利用者に快適で魅力的な観光施設を提供することができた。

【施設利用状況】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
昆虫館	人	5,583	6,128	2,969	12,150	12,727
テニスコート	人	1,352	1,407	901	1,412	1,548
キャンプ場	人	27,033	16,350	13,962	46,339	37,642
宿舍あかまつ	人	4,469	1,898	555	8,558	7,515
工芸館	人	4,946	3,496	2,365	6,917	6,971
各種イベント	人	1,467	278	325	444	465
合計	人	44,850	29,557	21,077	75,820	66,868

【年度別収入額】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
施設使用料等	千円	14,978	9,091	6,166	22,976	18,741

新型コロナウイルス感染症が落ち着き始め、感染症拡大前の水準には達していないが、施設利用人数合計及び施設利用料が前年よりも増加してきている。

事業名：林道整備に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	11	本年	10,817				10,817	2,963	7,114	93.2
				前年	10,097				10,097		9,663	95.7
				比較	720				720	2,963	2,549	-
【参考】前々年度					10,835				10,835		9,801	90.5
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				40	役務費		5		委託料	5,987	工事請負費	1,081
概要及び成果												
<p>1 林道整備事業 林道4路線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持管理を実施する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、林道4路線及び市有林管理道の維持管理（除草、側溝清掃等）を実施し、林道利用者の安全を確保することができた。 路面清掃 L=5.0km 側溝清掃 L=2,200m 除草業務 A=6,500㎡ 												
<p>2 林道の維持補修、改良事業 林道4路線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持補修、改良事業を実施する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼田新田酒寄線の老朽化した横断溝の交換工事を4か所行った。 ・林道（筑野線、白滝線）側溝のグレーチング蓋の盗難により、グレーチング蓋19枚、コンクリート蓋設置5枚と盗難防止の溶接を行った。 ・台風15号の雨による、林道筑野線へ流入した土砂の撤去工事を行った。 												

事業名：森林保全に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	12	本年	20,977		225		20,752		16,271	78.4
				前年	37,579		15,227	729	21,623		17,599	81.4
				比較	16,602		15,002	729	871		1,328	-
【参考】前々年度					31,181		13,854		17,327		14,148	81.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	30	旅費	8	需用費	266	役務費	80
委託料	13,032	負担金補助及び交付金	556	償還金利子及び割引料	2,298		

概要及び成果

1 里山林整備推進事業

森林所有者から整備要望のあった荒廃した山林について、市が森林所有者に代わって下刈り及び間伐等の整備を実施し、翌年度から10年間は市と森林所有者とで締結した協定に基づき、森林所有者が維持管理を行う。

【成果】

森林の整備を実施したことにより、快適で豊かな森林の環境を整えることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
保全協定数	件	9	18	12	19	12
整備面積	ha	1.49	8.04	9.51	9.35	9.54

2 筑波山市有林整備事業

自然環境の保全と森林利用の増進を目的に、森林ボランティア団体などと市民協働により、市有林を整備する。

【成果】

森林ボランティア団体などの市民協働による市有林森林整備を実施し、筑波山市有林の保全を行うことができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア活動回数	回	8	3	5	6	10
年間保全面積	ha	2.0	1.5	2.0	1.7	2.5

3 造林事業

造林用苗木の斡旋を行う。

造林及び造林後の保育において、県補助事業の申請及び推進を行う。

【成果】

造林用苗木の斡旋を実施し、造林を促すことができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
造林面積	ha	0.11	0	0	0	0
保育面積	ha	0	0	0	3.16	6.13

事業名：高崎自然の森管理に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	13	本年	11,934				11,934		10,507	88.0
				前年	11,822				11,822		11,296	95.6
				比較	112				112		789	-
【参考】前々年度					14,442		1,604		12,838		12,259	95.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	457	役務費	330	委託料	5,403	使用料及び賃借料	4,316
-----	-----	-----	-----	-----	-------	----------	-------

概要及び成果

1 高崎自然の森管理事業

つくば市高崎自然の森条例に基づき活用した。

年間の管理作業として、施設の清掃、除草等を実施する。

森林ボランティアとの協働による森林保全を実施する。

NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や収穫体験イベント、森林体験を実施する。

【成果】

森林環境の保全を図り、利用者に自然とのふれあいの場を提供することができた。

イベントの実施により、里山や森林が持つ公益的機能の必要性を伝え、親子で学ぶ機会を提供することができた。

利用状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
活用許可団体数	団体	18	14	12	17	14

ボランティア団体による活動回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
森林整備	回	8	5	4	8	5

農山村体験事業(イベント)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ブルーベリー園事業参加者	人	402	0	0	308	377
自然体験事業参加者	人	30	98	134	269	249

ブルーベリー園事業の令和2年度及び令和3年度については新型コロナウイルスの影響を考慮し実施を見送り。

事業名：鳥獣被害防止計画事業の推進に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	14	本年	9,500				9,500		4,996	52.6
				前年	8,736		1,859		6,877		4,637	67.4
				比較	764		1,859		2,623		359	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

報償費	1,588	需用費	77	役務費	70	委託料	2,732
負担金補助及び交付金	530						

概要及び成果

- 1 鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業
 つくば市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会へ年4回有害鳥獣捕獲委託を行う。
 イノシシ被害防止のため、防護柵等の設置費用や狩猟免許等取得の補助を行う。
 【成果】
 有害鳥獣捕獲及びイノシシ被害予防資材購入費補助により被害防止に寄与した。

イノシシ有害鳥獣捕獲

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
捕獲頭数	頭	257	193	506	398	500

イノシシ被害予防資材購入費補助件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	18	26	29	31	30

狩猟免許等取得補助件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	0	4	3	18	-

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	16		11		5		4	80.0
				前年	18				18		7	38.9
				比較	2		11		13		3	-
【参考】前々年度					40		40					

節別支出済額(単位:千円)

需用費 4

概要及び成果

1 商工総務事業

- ・商工行政の総合調整を図るため、市商工会と産業振興連絡会等を開催し、意見交換や情報共有等を行う。
- ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行う。また、採石法に基づく採石計画に記載されている緑化事業の一環として、宝篋山ふるさとの山づくり事業（植樹事業）を実施し、宝篋山の採石場跡地の早期緑化を目指す。

【成果】

- ・産業振興連絡会を通じて、市及び商工会の事業について情報共有を図ることができた。
(産業振興連絡会の開催:9回)
- ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行うことができた。また、ふるさとの山づくり懇談会を開催し、令和5年度開催予定の植樹祭について協議することができた。

砂利採取法及び採石法

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
砂利採取に係る立入検査	件	1	2	2	2	2
岩石採取に係る立入検査	件	0	1	1	1	1
採石安全パトロール	回	1	1	1	1	1

宝篋山ふるさとの山づくり懇談会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
植樹祭	回	0	1	0	1	0
懇談会	回	1	0	1	1	3

植樹祭は隔年で実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、植樹活動のみ実施した。

事業名：商工業振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	36,445			273	36,172		33,789	93.4
				前年	33,485		253	148	33,886		33,872	100.0
				比較	2,960		253	421	2,286		83	-
【参考】前々年度					36,670		519		36,151		25,754	71.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	36	役員費	197	負担金補助及び交付金	33,556
-----	----	-----	-----	------------	--------

概要及び成果

1 商工業振興事業

- ・所管法令や権限移譲事務に基づく事務を実施する。
- ・地域経済の活性化を図るため、市商工会への事業補助金や既存商店街等の活性化を目的とした補助金を交付する。
- ・市内事業者が長年の経営を通して培ってきた経営資源を次世代に繋げるため、事業承継支援を行う。

【成果】

- ・所管法令や権限移譲事務に基づく事務を適正に実施することができた。
- ・「つくば市商工会事業補助金」を交付し、市商工会の安定的な事業運営に資することができた。
- ・「つくば市既存商店街等空き店舗活用補助金」を交付し、既存商店街等の活性化を図ることができた。
- ・市内事業者に事業承継に係るアンケートを行い、事業承継に対する考え方を把握することができた。
- ・「茨城県事業承継支援ネットワーク」に加盟し、事業承継支援体制を構築することができた。

商工会法に規定する事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業報告書受理	件	1	1	1	1	1
定款変更許認可	件	1	-	1	1	-
指導検査	件	-	1	-	1	-

中小企業等協同組合法に規定する事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
設立認可	件	-	-	-	-	1
事業報告書受理	件	3	5	5	5	4
役員変更届出の受理	件	-	-	-	-	-
解散の届出受理	件	1	-	-	-	-

大規模小売店舗立地法に基づく事務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規・変更届出に係る意見書提出	件	13	17	11	14	7

つくば市商工会事業補助金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
商工会事業補助金	千円	31,000	31,000	25,575	34,000	35,673

既存商店街等空き店舗活用補助金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
改装費補助件数	件	1	2	-	1	-
補助金額	千円	1,500	1,996	-	1,500	-
家賃補助件数	件	4	3	2	2	2
補助金額	千円	1,056	647	110	120	610

茨城県事業承継・引継ぎ支援センターへの紹介件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
紹介件数	件	15	3	-	-	-

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	12	本年	139,578		6,649	399	133,328		124,962	93.7
				前年	142,900		9,320	148	133,433		105,747	79.3
				比較	3,322		2,671	547	105		19,215	-
【参考】前々年度					143,831		7,463		136,368		92,603	67.9

節別支出済額(単位：千円)

報酬	420	旅費	140	需用費	45	役務費	131
委託料	2,753	負担金補助及び交付金	54,473	貸付金	67,000		

概要及び成果

1 融資対策事業

- ・融資あっせん審査会を開催し、自治金融利用者のための融資あっせんを行う。
- ・茨城県信用保証協会への信用保証料分の補助、自治金融利用者への利子補給を行う。
- ・台風等の災害対策融資に対する保証料補助や利子補給を行う。
- ・茨城県の創業支援融資を実行した市内事業者に対して信用保証料の補助を行う。

【成果】

毎月融資あっせん審査会を開催し融資あっせんを行うとともに、自治金融利用者や県融資制度利用者への利子補給及び信用保証料補助を実施することで、中小企業の事業資金調達の円滑化を図り、事業の安定・継続に寄与することができた。

あっせん制度の利用件数及び金額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
あっせん件数	件	221	174	102	210	291
あっせん金額	千円	1,219,020	986,700	616,000	1,091,800	1,467,800

市融資制度利用者への保証料補助の実施（茨城県信用保証協会への間接補助）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	217	156	108	218	289
補助金額	千円	31,975	22,529	6,199	31,000	37,918

市融資制度利用者への利子補給の実施（36か月分）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	576	631	816	949	1,049
補助金額	千円	19,150	17,653	24,433	28,639	31,395

関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	-	-	2	4	7
利子補給金額	千円	-	-	40	311	732
保証料補助額	千円	-	-	15	116	288

災害対策融資（令和元年度台風15号・19号災害特例）利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	7	9	11	8	-
利子補給金額	千円	1,381	1,617	2,348	45	-
保証料補助額	千円	614	1,077	1,601	378	-

つくば市創業支援融資信用保証料補助金の利用件数及び総額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	件	11	-	-	-	-
保証料補助額	千円	1,356	-	-	-	-

利子補給及び保証料補助は令和2年度で交付終了。令和3年度以降歳入のみ（保証料補助金の返戻金）

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	13	本年	17,881				17,881		12,875	72.0
				前年	18,058		2,589		15,469		13,749	88.9
				比較	177		2,589		2,412		874	-
【参考】前々年度					22,364	2,970	6,341		18,993		15,980	84.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	209	旅費	169	需用費	592	役務費	495
委託料	2,128	使用料及び賃借料	4	備品購入費	3,621	負担金補助及び交付金	5,657

概要及び成果

1 産業創出支援事業

- ・市内企業等の技術革新や国内外の販路拡大等を促進させるため、資金の補助や情報発信、産業展示会への出展等の支援を行う。
- ・市内企業等のイメージ向上や販路拡大を図るため、優れた商品やサービスの認定を行う。

【成果】

- ・展示会出展支援補助金及び中小企業経営力強化促進奨励補助金を交付することで、市内中小企業の事業拡大及び販路拡大につなげることができた。
- ・(株)PRTIMESとの業務連携による市内企業等の情報発信を支援した。(9社、12配信)
- ・市内企業等を対象に「東京都産業交流展」の出展を支援し、出展者の販路拡大につなげることができた。(5社)
- ・先端技術を有する市内企業を対象に「チャイナハイテクフェア」へのオンライン出展支援や海外企業との商談マッチングを行い、海外販路拡大につなげることができた。(2社)
- ・つくば市発の優れた商品や役務(サービス)を「つくばクオリティ」として認定することで、認定品事業者のイメージ向上や製品等の販路拡大、販売促進につなげることができた。

(1) 展示会出展支援補助金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	9	5	3	11	16
補助金額	千円	2,146	942	754	2,545	4,054

(2) 中小企業経営力強化促進奨励補助金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	2	6	8	3	6
補助金額	千円	200	600	800	281	600

(3) つくばクオリティ認定制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請数	件	12	8	26	-	-
認定数	件	9	6	23	-	-

2 創業支援事業

- ・「産業競争力強化法」により国から認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、「創業支援ネットワーク」を構成する支援機関が一体となり、創業希望者にセミナーや相談事業などの創業支援施策を実施する。
- ・市内での創業を促進するため、新規創業希望者の法人設立に係る費用に対して補助金を交付する。

【成果】

- ・創業啓発セミナーを開催し、専門家や創業経験者からのアドバイスや市のサポートメニューを案内することで参加者の創業意欲向上につなげることができた。
- ・各支援機関における事業の告知協力や情報共有により、支援体制を強化することができた。
- ・新規創業促進補助金(会社設立時の登録免許税と定款認証手数料補助)を交付することで、新規創業希望者の創業を促進することができた。
- ・創業希望者へ伴走支援とテストマーケティング機会を提供する創業サポートプログラムを開始し、創業につなげた。(2者)

(1) 支援件数及び創業者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支援件数	件	599	502	446	489	347
創業者数	人	120	87	124	102	119

(2) 新規創業促進補助金

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録免許税補助金額(件数)	千円/件	1,830(31)	2,655(39)	2,010(28)	1,320(20)	1,380(19)
定款認証手数料補助金額(件数)	千円/件	1,111(23)	1,520(32)	1,250(25)	800(16)	-
補助金額計	千円	2,941	4,174	3,260	2,120	1,380

3 技術開発支援事業

- ・「つくば技術開発クラブ」会員への情報発信等を実施する。
- ・「つくばものづくりオーケストラ技術展示会」の開催を支援する。
- ・リンカーズ㈱との業務提携により、市内企業と大手企業とのマッチング支援を実施する。

【成果】

「つくば技術開発クラブ」会員への情報発信や、技術展示会出展支援を実施したことにより、市内企業の事業拡大及び販路拡大につなげることができた。

つくば技術開発クラブ会員数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
会員数	者	283	272	272	269	264

つくば技術開発クラブ通信

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配信数	回	15	20	18	32	33

つくばものづくりオーケストラ技術展示会開催数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
展示会	回	2	1	0	7	7

リンカーズによるマッチング支援

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
紹介件数	社	6	29	43	52	68
成立件数	件	0	0	0	0	1

事業名：計量法事務に要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	14	本年	906				906		741	81.8
				前年	906				906		728	80.3
				比較	0				0		13	-
【参考】前々年度					857		119		738		601	81.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	155	役務費	120	委託料	176	使用料及び賃借料	244
備品購入費	37	負担金補助及び交付金	10				

概要及び成果

1 計量法事務事業

- ・【特定計量器定期検査】取引や証明に使用する特定計量器(はかり)は、2年に一度の定期検査が義務付けられており、市内を2地区に分け、隔年毎に集合検査方式により、特定計量器の検定証印等の確認及び外観、性能、器差検査を実施する。
- ・【燃料油メーター立入検査】燃料油メーターの検定証印、有効期間、設置状況等の確認を行う。
- ・【商品量目立入検査】計量販売している特定商品(食肉・魚介類・野菜等の食料品など)の表記、内容量公差、特定計量器の使用状況等の確認を行う。
- ・パネル展等による啓発活動を実施する。
- ・全国計量行政会議へ参加し、都市相互間の連携を図る。

【成果】

取引や証明に使用する特定計量器の定期検査及び燃料油メーターの立入検査を実施し、適正な計量が確保され、消費者の利益保護を図ることができた。

検査件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
特定計量器定期検査	個	390	338	356	351	371
商品量目立入検査	個	212	168	0	144	192
燃料油メーター立入検査	個	166	61	133	108	119

令和2年度の商品量目立入検査は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により中止した。

事業名：企業誘致推進に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	15	本年	45,482		25,266	179	20,037		14,333	71.5
				前年	69,951		24,570		45,381		45,265	99.7
				比較	24,469		696	179	25,344		30,932	-
【参考】前々年度				136,756		2,387		134,369		134,255	99.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	13	委託料	484	負担金補助及び交付金	13,836
-----	----	-----	-----	------------	--------

概要及び成果

1 企業立地推進事業

- ・市工業団地企業連絡協議会の運営を行う。
- ・新たな企業の立地につなげるため、企業誘致活動を推進するとともに、産業用地情報を収集する。
- ・企業の操業環境を把握し、企業活動の円滑化を支援するため、立地企業への訪問等を実施する。

【成果】

- ・「つくば市企業立地促進補助金」を創設し、企業誘致の推進を図ることができた。
- ・市工業団地企業連絡協議会の総会・役員会を開催し、会員企業との情報共有を図ることができた。
- ・県や宅建協会と連携しながら、産業用地情報を収集し、市内への立地を希望する事業者に対し用地の情報を提供することができた。

新規立地及び拡充等企業数(用地取得等含む) 市把握分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規立地	社	11	14	9	9	8
拡充等	社	10	6	8	1	1

市内企業フォローアップ訪問件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問実施企業	社	37	18	23	73	64

つくば市産業活性化奨励金制度に基づく奨励金の交付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	1	2	3	3	3
交付額	千円	10,000	43,025	131,749	10,578	10,817
事業計画の認定数	件	-	-	-	1	2

事業計画の認定は令和元年度で終了

事業名：物産品振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	16	本年	2,884			53	2,937		2,369	80.7
				前年	2,446		75		2,371		1,653	69.7
				比較	438		75	53	566		716	-
【参考】前々年度				1,727		26		1,701		984	57.8	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	67	旅費	27	需用費	860	委託料	497
使用料及び賃借料	288	負担金補助及び交付金	630				

概要及び成果

1 ブランド推進事業

- ・市内物産品等の普及促進を図るため、認証制度によりブランド化を行う。
- ・市内物産品等の魅力向上を図るため、物産品等の改良、新規開発等を支援する。

【成果】

市内物産品等を「つくばコレクション」として認証することにより、物産品等の販路拡大につなげることができた。

つくばコレクション認証制度

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規認証数(申請数)	品目	4(6)	5(8)	3(6)	3(4)	3(8)
更新認証数(申請数)	品目	4(4)	10(10)	10(10)	4(5)	7(11)
合計認証数(申請数)	品目	8(10)	15(18)	13(16)	7(9)	10(21)
累計認証数	品目	35	35	30	29	27

認証期間は3年

累計認証数は直近3年間の「合計認証数」の計

令和2年度認証品の取り下げ申請が1件あったため、累計認証数は35

事業名：スタートアップ推進に要する経費

政策イノベーション部 スタートアップ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	17	本年	25,695		3,894		21,801		19,894	91.3
				前年	17,113	8,910	12,959		13,064		12,448	95.3
				比較	8,582	8,910	9,065		8,737		7,446	-
【参考】前々年度				21,916		8,070		13,846	8,910	4,845	99.3	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	490	旅費	140	需用費	86	役務費	22
委託料	15,176	使用料及び賃借料	1,133	負担金補助及び交付金	2,846		

概要及び成果

1 スタートアップ推進事業

市民向けセミナー等で新たなスタートアップが生まれる土壌づくりをしたり、都内イベントで起業家等のつくばへの呼び込みを図る。また、スタートアップ向けの補助金交付や社会実装トライアルにより、スタートアップの成長を支援する。

【成果】

- ・12月に東京都虎ノ門で「つくばスタートアップナイト2022」を開催し、306人が現地又はオンラインで参加した。
- ・つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムへの参加機関（メガバンク、監査法人、証券会社等）が増え、連携強化が図られた。

補助金交付決定件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
スタートアップコンサルティング事業	件	6	5	-	4	5
技術系スタートアップ立地推進奨励補助金	件	1	3	-	5	3
ビジネスプランコンテスト参加支援補助金	件	2	0	0	2	-
創業期技術系中小企業者等事業支援補助金	件	-	-	7	-	-

スタートアップ実証実験数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
スタートアップ実証実験数 1	件	1	3	3	3	-

創業数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
創業数 2	件	10	9	10	-	-

- 1 スタートアップ推進室が支援した実証実験事業の支援者数
- 2 技術系の新規創業者数

事業名：産業振興センター施設管理運営に要する経費

政策イノベーション部 スタートアップ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	18	本年	54,843				54,843		52,930	96.5
				前年	178,038	514			178,552		150,637	84.4
				比較	123,195	514			123,709		97,707	-
【参考】前々年度					56,815		5,194		62,009	514	60,082	97.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	24	需用費	6,359	役務費	855	委託料	43,878
使用料及び賃借料	200	工事請負費	1,287	備品購入費	327		

概要及び成果

1 産業振興センターの管理・運営事業

産業振興センター施設管理運営

起業・経営に関する専門的な情報提供・相談対応

起業・経営に関する意欲醸成のためのイベント・セミナーの実施

コワーキングスペース、事業支援室の管理運営

起業の各ステージで必要となる情報の提供や相談に幅広く対応することで、スタートアップへの一貫した支援を行う。

【成果】

- ・産業振興センターでの起業数6件（オープンから累計33件）

産業振興センターの利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者延べ人数	人	10,108	11,290	7,268	2,700	-
コワーキングスペース会員利用延べ人数	人	3,096	2,636	2,200	674	-

創業数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
創業数 1	件	6	16	10	1	-

相談数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談数 2	件	163	243	151	45	-

- 1 産業振興センター利用者の中で新規創業した者
- 2 産業振興センターにおける相談

事業名：新型コロナウイルス感染症経済対策に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
07	01	02	19	本年	137,649		21,870		159,519		128,328	80.4	
				前年	62,690	56,888	156,695		276,273	199,104	72.1		
				比較	74,959	56,888	134,825		116,754	70,776	-		
【参考】前々年度						804,811		804,811	56,888	625,606	84.8		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費		341		需用費		28		委託料		10,560		使用料及び賃借料	693
備品購入費		6,480		負担金補助及び交付金		110,226							
概要及び成果													
<p>1 緊急支援給付金事業【経済支援室】 従業員が罹患し、事業収入が50%以上減少した中小法人、個人事業者への給付制度 交付額：中小法人200千円、個人事業者100千円</p> <p>【成果】 交付件数：2件（法人2件） 交付総額：400千円</p>													
<p>2 雇用促進支援事業（雇用促進交付金）【経済支援室】 失業した市民や市内在住学生を新規雇用する事業者への交付金制度 一般型交付額（1事業者最大1,000千円） 無期雇用1名につき200千円、有期雇用1名につき100千円（大法人1/2） ひとり親：週20時間以上雇用1名につき最大150千円上乗せ（大法人3/4～5/6） 学生アルバイト型交付額（1事業者最大1,000千円） 週10時間以上：1名につき最大100千円（大法人1/2） 週5～10時間未満：1名につき最大50千円（大法人1/2） 障害者学生：週5時間以上雇用1名につき最大10万円上乗せ（大法人1/2）</p> <p>【成果】 交付件数：256件（中小法人250件、大法人6件） 交付者数：166者（中小法人164者、大法人2者） 交付総額：50,450千円 雇用人数：490人（うちひとり親8人、障害者学生8人） 内訳：無期雇用118人（男45人、女73人）、有期雇用31人（男7人、女24人） 学生週10時間以上146人（男84人、女62人）学生週5～10時間未満195人（男104人、女91人）</p>													
<p>3 中小企業等販路拡大支援事業【経済支援室】 非対面型への転換などの感染症対策を含む販路拡大に取り組む事業者への補助制度 補助額：最大500千円 補助率：市内企業への発注経費：9/10、市外企業への発注経費：3/4</p> <p>【成果】 ○第1回（上半期） 交付事業者数：65者 交付総額：28,600千円 ○第2回（下半期） 交付事業者数：40者 交付総額：16,985千円</p>													
<p>4 経営支援ワンストップ窓口事業【経済支援室】 国や市の経営支援制度の案内・相談及び専門家によるコンサルティング事業 案内相談窓口開設：平日週5日 コンサルティング窓口開設：平日週5日</p> <p>【成果】 相談件数：2,543件（稼働日数243日 平均10.5件/日） 内訳：窓口707件（2.9件/日）、電話等1,059件（4.4件/日）、専門家777件（3.2件/日） 利用者アンケート結果：満足を選んだ割合79.7%</p>													

- 5 タクシー事業者支援事業（タクシー買物代行業）【経済支援室】
市民から依頼された買物と自宅配送を行うタクシー事業者への補助制度
対象者：市内タクシー事業者
補助額：買物代行1回当たり2千円又は3千円

【成果】

買物代行件数：82件（市内4店舗）
タクシー事業者数：4社
交付総額：311千円

- 6 運送事業者等原油価格高騰対策支援事業【経済支援室】

一般貨物自動車運送事業
10台以上 200千円 / 10台未満 100千円
軽貨物自動車運送事業
一律20千円
一般貸切旅客自動車運送事業
10台以上 100千円 / 10台未満 50千円
一般乗用旅客自動車運送事業（福祉限定）
一律30千円
自動車運転代行業
10台以上 50千円 / 10台未満 20千円

【成果】

一般貨物自動車運送事業
10台以上 200千円 × 46者 = 9,200千円
10台未満 100千円 × 20者 = 2,000千円
軽貨物自動車運送事業
20千円 × 44者 = 880千円
一般貸切旅客自動車運送事業
10台以上 100千円 × 6者 = 600千円
10台未満 50千円 × 4者 = 200千円
一般乗用旅客自動車運送事業（福祉限定）
30千円 × 7者 = 210千円
自動車運転代行業
10台以上 50千円 × 3者 = 150千円
10台未満 20千円 × 12者 = 240千円

事業名：観光施設整備に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	11	本年	32,975		1,263		31,712		31,142	98.2
				前年	360,194	43,877	6,267		397,804		350,914	88.2
				比較	327,219	43,877	5,004		366,092		319,772	-
【参考】前々年度				85,357			1,539	83,818	43,877	36,353	95.7	
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				17,336	工事請負費		13,025	備品購入費		781		
概要及び成果												
<p>1 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業） 筑波山梅林及びその周辺における魅力ある観光資源をいかし、訪れる人々が安全で充実した時間を過ごせる観光施設等の整備を行う。</p> <p>【成果】 以下の観光施設の整備等により、魅力的な観光地形成が図れた。</p> <p>（1）筑波山観光案内所整備 令和4年度：筑波山展望デッキ設計：展望デッキ新設（建築面積93㎡）/既存トイレ解体（鉄筋コンクリート造り延べ面積20㎡） 令和3年度：観光案内所建築工事（木造平屋（一部RC構造）/建築面積：約274㎡（延べ床面積：約296㎡）/公衆トイレ併設） デジタルサイネージシステム構築業務委託（タッチパネル式 1台） 観光案内所擁壁改築工事（ブロック積擁壁：約170㎡） 令和2年度：観光案内所解体工事（敷地面積：626.03㎡、建築面積：130.13㎡） 仮設観光案内所賃借（設置建物面積：35.59㎡） 観光案内所擁壁改築設計（擁壁改築：170㎡（長さ約47m、高さ2～4m）） 観光案内所擁壁改築工事（次年度繰越） 令和元年度：筑波山観光案内所測量（1,800㎡） 筑波山観光案内所設計（木造平屋（一部RC構造）/建築面積：約274㎡（延べ床面積：約296㎡）/公衆トイレ併設）</p> <p>（2）梅林園路・園地等整備 令和4年度：梅林園路改修設計（コンクリート舗装：80m） 令和3年度：- 令和2年度：梅林内Wi-Fi整備（3か所）、誘導サイン設置工事（1基） 令和元年度：- 平成30年度：四阿茅葦屋根ふき替え（ヤマカヤ1,500束）、菱露台再整備：20.76㎡</p> <p>（3）筑波ふれあいの里キャンプ場改修 令和4年度：筑波ふれあいの里キャンプ場土木改修測量設計（0.8ha） 筑波ふれあいの里キャンプ場建築改修設計（管理棟、サニタリー棟）</p>												
<p>2 筑波山麓整備事業 筑波山麓地域の周遊観光を促進し、地域経済に寄与するため、利便施設等を整備する。</p> <p>【成果】 以下の観光施設の整備等により、魅力的な観光地形成が図れた。</p> <p>（1）筑波山麓地域整備 令和4年度：宝篋山登山道案内看板設置工事：34基 令和3年度：駐車場整備計画地の購入交渉のため土地評価額の時点修正を実施した。 令和2年度：案内看板設置に向けた現地調査を実施した。 令和元年度：神郡駐車場用地測量及び整備：1,200㎡（収容台数36台）、神郡駐車場案内看板整備：1個所、宝篋山登山道看板設置（常願寺コース）：1個所 平成30年度：神郡駐車場用地調査</p>												

宝篋山登山道測量

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース名	-	-	-	常願寺コース	山口コース(2)	小田城コース
距離	km	-	-	0.02	2.60	2.50

令和2年度で全コースの測量が終了し、事業完了した。

3 筑波山観光用水渇水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）

筑波山観光用水の安定供給に向け、老朽化した水道施設を改良し、観光客の利便性を確保する。

【成果】

新たに判明した漏水箇所の改修の検討を関係機関と実施した。

令和4年度：-

令和3年度：管路改良工事（配水管 約1.6km 減圧槽 4基）

令和2年度：管路改良測量・設計（女体山頂 - つつじヶ丘 L=約1.6km）

令和元年度：-

平成30年度：御幸ヶ原公衆トイレ受水槽設置工事1基（20t）

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	12	本年	113,795		1,427		115,222		111,860	97.1
				前年	102,496				102,496		93,971	91.7
				比較	11,299		1,427		12,726		17,889	-
【参考】前々年度					125,085		182	2,145	127,048		119,132	93.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	15,879	役務費	3,254	委託料	62,598	使用料及び賃借料	16,847
工事請負費	3,575	原材料費	207	公有財産購入費	3,621	備品購入費	901
負担金補助及び交付金	4,977						

概要及び成果

1 観光施設維持管理事業

快適で魅力ある観光地として、市内の観光施設を適正に管理する。

【成果】

以下の観光施設を適切に維持管理することで、観光客に快適で魅力的な観光施設を提供した。

(1) 筑波山御幸ヶ原(山頂)観光施設の維持管理

公衆トイレ清掃委託(365日) 浄化システム点検委託(年8回) 浄化槽点検委託(年24回)
汚泥汲取委託(84m³) トイレの維持管理実施 筑波山頂湧水量 調査(24回)

(2) つつじヶ丘登山コースの維持管理 1

おたつ石コース除草(4,300m²) R4年度のおたつ石コース高原除草については、茨城県発注の登山道修繕工事と施工場所が被ったため、協議により茨城県が実施。

(3) 市営筑波山駐車場(2)及び山麓駐車場、公衆トイレの維持管理

市営筑波山駐車場施設運営委託(365日)

市営山麓駐車場(小田・平沢・筑波・六所・神郡)除草等を実施。小田及び神郡駐車場に仮設トイレを設置。

筑波山駐車場公衆トイレ及び浄化槽:トイレ清掃(365日)、浄化槽点検(毎月実施)

(4) 筑波山梅林の維持管理

剪定業務(910本)、施肥(年2回)

梅林内除草管理等:年間を通じて梅林内の除草等の管理を実施。

(5) 宝篋山小田休憩所及び宝篋山観光施設の維持管理

宝篋山小田休憩所運営委託:登山者等へ通年で宝篋山や小田地域の歴史的文化資源を紹介。

宝篋山パイオトイレ清掃(年24回)、山麓駐車場仮設トイレ清掃(2か所)

筑波山麓観光資源整備事業補助金交付(7団体)

(6) 筑波山観光案内所・筑波山おもてなし館の観光案内及び維持管理 3

施設運営委託(365日×2施設)

定期清掃(筑波山観光案内所年1回、おもてなし館年4回)

消防設備点検(おもてなし館年2回)

1 つつじヶ丘登山コース除草

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
おたつ石コース	m ²	4,300	4,949	3,029	6,606	4,222
つつじヶ丘高原	m ²	-	7,007	10,606	7,956	8,785

2 市営筑波山駐車場(利用台数/使用料) : 第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、第4駐車場

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
普通車	台	77,441	70,627	68,491	76,166	83,948
大型車	台	893	847	622	938	1,242
二輪者	台	1,608	1,191	1,079	1,017	1,102
合計	台	79,942	72,665	70,192	78,121	86,292
駐車場使用料総額(歳入)	千円	40,888	37,244	35,712	40,156	44,660

3 筑波山観光案内所

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来館者数	人	48,781	20,702	23,168	38,037	45,118
(うち外国人)	人	1,266	310	508	1,437	1,188
窓口案内数	件	13,139	12,849	10,924	12,437	7,416

3 筑波山おもてなし館

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来館者数	人	34,735	23,624	23,795	29,126	35,575
(うち外国人)	人	411	241	360	300	313

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束しつつあり、全体的に来館者数が増加した。

2 森林体験パーク施設管理事業

森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光を提供する。

【成果】

施設の運営支援と適切な施設管理により、利用者の満足度向上に寄与することができた。

コース修繕（キャノピーコースランディング修繕）

樹木調査（コース利用樹木10本）

害虫対策（カシナガキクイムシ）（敷地内2本伐採及び燻蒸処理）

利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
大人	人	8,702	8,052	6,277	8,828	9,873
子ども	人	5,657	5,947	4,060	4,451	4,344
合計	人	14,359	13,999	10,337	13,279	14,217
施設賃料(歳入)	円	9,906	9,726	7,169	8,708	10,525

運営支援

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市民キャンペーン利用実績	人	94	175	127	112	159
PRチラシ印刷部数	枚	7,000	-	5,500	15,000	10,000

キャノピーコース増設、エキサイトコース新設（令和2年2月15日から利用開始）

事業名：観光行事に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	13	本年	36,545		600		35,945		16,831	46.8
				前年	36,102		22,500		13,602		11,688	85.9
				比較	443		21,900		22,343		5,143	-
【参考】前々年度					37,463		34,387		3,076		2,546	82.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4	使用料及び賃借料	219	備品購入費	285	負担金補助及び交付金	16,323
-----	---	----------	-----	-------	-----	------------	--------

概要及び成果

1 まつりつくば事業

観光の振興と中心市街地の活性化を目的に、つくばならではの多様な文化をいかした魅力あるコンテンツを提供することで、まつりつくばに関わる誰もが楽しめる観光誘客イベントを開催する。

【成果】

新型コロナウイルスの影響下で規模を縮小し、研究学園駅前公園周辺での開催を目指して準備を行ったものの、新型コロナウイルスの社会的影響が大きくなったことから、開催を中止した。

まつりつくば

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催日数	日	中止	85 1	中止	2	2
来場者数	人	中止	代替イベント	中止	470,000	460,000
補助金交付額	円	12,194,352 2	10,101,175	1,867,978 2	29,999,125	25,492,451

1 スマホスタンプラリーの開催期間を引用。

2 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったものの、イベント継続に必要な費用を交付した。

2 つくばフェスティバル事業

交流人口の拡大促進と地域経済の活性化を目的に、世界各国の文化とふれあうことができる飲食・体験ブースやステージなど、国際都市つくばの魅力を発信できるイベントを開催する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、代替イベントとして、令和4年5月1日から5月31日にかけて、スマホスタンプラリーを実施した。市内店舗利用によるスタンプ、科学・国際・ジオに関するクイズスタンプを設定し、市内で新たな発見をしていただくきっかけを作った。また、経済活動を促進するとともに、市内物産品を賞品とすることで物産品のPRを行うことができた。

つくばフェスティバル

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催日数	日	31	31	中止	2	2
来場者数	人	代替イベント	代替イベント	中止	150,000	140,000
補助金交付額	円	4,128,479	1,430,448	0 1	4,299,994	4,296,723

ホームページ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ホームページ閲覧数	回	8,758	7,833	-	-	-

スタンプラリー

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
応募者数	人	362	76	-	-	-

1 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。

3 くきざき夢まつり事業

地域のふれあいの場として昭和49年から商工産業祭、平成12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。

現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして開催している。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止となった。

くきざき夢まつり

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催日数	日	中止	中止	中止	1	1
来場者数	人	中止	中止	中止	8,000	7,000
補助金交付額	円	-	0	16,800	537,784	597,665

1 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、ものの、イベント継続に必要な費用を交付した。

事業名：観光振興に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	14	本年	98,712				98,712		87,976	89.1
				前年	113,350	1	30,943		82,408		80,472	97.7
				比較	14,638	1	30,943		16,304		7,504	-
【参考】前々年度				105,695	45,204	28,144	606	122,149	1	115,124	94.2	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	312	旅費	19	需用費	1,200	役務費	1,192
委託料	15,437	使用料及び賃借料	277	備品購入費	181	負担金補助及び交付金	69,358

概要及び成果

1 つくば観光コンベンション協会補助事業

市内経済の活性化及び観光施策の強化を図るため、つくば観光コンベンション協会が実施する各種観光事業を支援する。

【成果】

つくば観光コンベンション協会が実施する各種観光事業を支援することにより、以下のことを達成することができた。

また、茨城デスティネーションキャンペーンを契機としたアウトドアイベント体験の企画開発など、社会情勢を鑑みた観光の推進を図った。

(1)観光宣伝事業

豊かな自然環境の「筑波山地区」と研究・教育機関が集積する「筑波研究学園都市」等の観光資源について市内外へのPR

メディア掲出

メディア等を活用した広報宣伝を行うことで、市内外からの誘客促進

観光キャンペーン

茨城県主催の上野駅での観光キャンペーンに参加し、つくば市の魅力を伝えることで

つくばへの誘客促進

関連機関連絡調整

各関係機関と連携し、スマートフォンを使った非接触型のスタンプラリー「YAMASTA(ヤマスタ)」を活用し「パワースポット」を巡るハイキング推進事業を展開することで筑波山への誘客促進

(2)観光客誘致事業

10月1日～1月9日の期間で、アニメと連携した筑波山ガマまつりの周遊イベントを開催したことによる筑波山の周遊観光促進

2月18日～3月19日の期間で、4年ぶりの通常開催となる第50回筑波山梅まつりを開催したことによる筑波山への誘客促進

(3)コンベンション事業

つくばエクスプレスや茨城空港等からのアクセス利便性の良さをいかし、対面とオンラインとのハイブリッドでの会議開催形態に対応することによる、関係機関と連携した国内会議開催の促進

(4)フィルムコミッション事業

つくば市の豊かな地域資源を映画やTV等を通して全国に紹介することによる、つくば市の知名度向上を目的とした、市内への誘致及び市内でのロケーション撮影支援

(1)観光宣伝事業(1)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
メディア掲載	件	44	56	70	104	74
キャンペーンの実施	回	6	2	1	17	18
関連機関連絡調整	件	4	5	4	6	5

(2)観光客誘致事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
イベント事業	件	4	4	3	4	4
筑波山ガマまつり来場者数	人	20,000	-	-	5,000	5,000
筑波山梅まつり来場者数	人	180,000	-	75,000	130,000	190,000

(3) コンベンション事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
国際会議	件	17	0	1	63	45
国内会議	件	60	17	11	100	87
ブロック会議	件	15	13	14	70	181
その他	件	94	67	46	169	111
参加者数	名	29,451	10,070	8,621	83,289	84,423
経済波及効果	千円	約2,500,000	約600,000	約700,000	約9,400,000	約8,200,000

(4) フィルムコミッション事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
問い合わせ	件	292	224	130	305	219
下見	件	91	72	26	108	64
撮影	件	70	56	17	71	61
撮影日数	日	85	70	27	222	116
撮影隊人数	人	1,901	631	722	5,010	3,783
経済波及効果	千円	約5,500	約13,000	約15,000	約65,000	約57,000

補助金交付額((1)～(4)の事業への補助合計額)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付額	千円	45,621	45,621	45,621	41,275	41,275

1 令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言下での宣伝活動を縮小したため減少。

2 観光振興事業

つくば観光コンベンション協会や関係機関と連携し、つくばの魅力ある観光資源を活用し、多様なニーズに合わせた各種事業を展開し、国内外からの観光誘客拡大を図る。

【成果】

(1) 筑波山麓秋祭り補助事業

筑波山麓地域づくり団体連絡協議会主催の筑波山麓5地区（筑波・田井・北条・平沢・小田）で3年ぶりに筑波山麓秋祭りを開催した。コロナ禍で開催できなかった2年間で作成した動画やGoogle Mapのストリートビューを活用した情報発信に加え、9月から先行版のチラシを配布開始するなど開催告知に重点をおき、約7,500人の来場者を迎えることができた。

(2) 観光案内業務

つくば総合インフォメーションセンター・観光案内所の壁面に分かりやすく観光ポスターを掲示した他、デジタルサイネージを修繕するなど、来館者への情報発信を強化した。

(3) スポーツツーリズム受入

市内スポーツ施設との連携、廃校活用を実施し、スポーツ合宿の誘致の推進を図った。

(1) 筑波山麓秋祭り補助事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催期間	日間	6	-	-	5	8
補助金交付額	千円	3,757	572	407	5,250	1,500
来場者	人	7,500	-	-	52,000	68,000

(2) 観光案内業務(窓口案内件数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
BiViつくば総合案内所	件	18,834	9,845	6,833	19,504	19,237
(うち外国人)	件	2,291	638	568	3,280	3,567

(3) スポーツツーリズムの実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用団体数	団体	24	0	3	82	87
施設利用延べ人数	名	1,186	0	210	5,597	6,071

3 つくば市学術会議支援事業

学術会議の開催を促進し、国際観光都市の形成を図り、もって観光振興及び地域経済の活性化に寄与するため、補助金を交付する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症による渡航制限も徐々に緩和されたが回復までは至らず、補助金の交付申請を受けた会議20件のうち半数の10件の開催となった。

MICE支援補助事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金申請件数	件	20	17	26	30	19
(うち交付件数)	件	10	3	0	29	18
補助金交付額	千円	6,296	1,163	0	21,905	9,405

4 筑波山交通渋滞対策事業

ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置による迂回誘導を実施する。

また、登山道においても、激しい混雑が発生していることから、女体山頂付近での状況を調査し対策を実施する。

【成果】

(1)交通渋滞対策

茨城県及び関係機関と連携し、パークアンドバスライドの実施、迂回誘導看板設置、HPやSNS等を活用した混雑情報発信を行い、交通渋滞の緩和を図った。

(2)登山道混雑緩和対策

女体山頂付近に誘導員を配置し、列整理や案内アナウンスの実施することにより、混雑緩和を図った。

昨年度の登山道の混雑状況調査に基づき、特に混雑するポイントへは混雑理由を明記した看板を設置し、来訪者への情報発信を強化した。

筑波山渋滞緩和対策の実施

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
パークアンドバスライド実施日数(春)(1)	日	2	2	-	3	3
パークアンドバスライド実施日数(秋)(1)	日	-	3	-	1	3
守谷SA迂回案内チラシ配布(2)	日	-	-	-	1	1

筑波山シャトルバスの最大所要時間(つくば駅 つつじヶ丘区間) 通常所要時間:55分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
春最大(P&BR実施)(3)	分	180	120	運休	180	160
春最大(P&BR未実施)(3)	分	50	55	運休	270	55
秋最大(P&BR実施)	分	-	180	-	55	150
秋最大(P&BR未実施)	分	195	170	270	150	220

登山道混雑誘導(つつじヶ丘 女体山頂) 通常90分

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日数	日	4	4	2	-	-
一方通行未実施	分	-	-	205	-	-
一方通行実施	分	-	140(4)	160	-	-

1 令和2年度はパークアンドバスライド未実施のため、実施時データなし。

令和4年度秋は天候不良により交通渋滞がほとんど発生しなかったため、パークアンドバスライドは実施しなかった。

2 令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、SAでの迂回案内は実施しなかった。

3 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度春のGW期間中はシャトルバスを運休した。

4 登山道混雑誘導における一方通行については、令和3年度は実施時のみの計測。

5 おもてなし観光推進事業

つくば市を訪れた方の満足度向上を目的に、つくばの魅力を案内する観光ボランティアガイドの育成事業を実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、観光ボランティア育成講座を実施したことで、ガイドの質の向上を図ることができた。

ボランティアガイド

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録人数	人	42	43	52	48	40
育成講座開催件数	回	14	9	11	16	8

筑波山ネイチャーガイド

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催日数	日	-	-	-	9	9
利用者	人	-	-	-	1,380	2,057

平成30年度は、筑波山頂駅2階に臨時のビジターセンターを設け、筑波山の自然を紹介する展示を実施した。令和元年度は、御幸ヶ原にて筑波山のネイチャーガイドを実施した。令和2年度～4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

6 フットパス事業

市内に点在する観光資源を活用し、市内周遊観光を促進するため、フットパスの企画及び道標を整備し、年間を通して魅力的な観光地を提供し、通年での誘客促進を図る。

【成果】

- フットパスマップの配布、スタンプラリー企画の実施などで、以下の成果を得ることができた。
- (1)周遊観光コンテンツの電子化事業として、上郷周辺まちめぐり電子スタンプラリーの実施により、周遊観光の促進を図ることができた。
 - (2)実施したスタンプラリー企画の結果をもとに、次年度以降の周遊観光事業に向けた計画を策定することができた。
 - (3)各種フットパスマップの情報を改訂し、市内観光施設等へ配布・設置することにより、周遊観光の促進を図ることができた。

フットパスマップの増刷

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
増刷数	部	32,000	8,000	8,000	3,000	10,000
改訂数	コース	5	2	2	3	2

周遊観光電子化事業（スタンプラリー）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	521	967	-	-	-

スタンプラリー実施地域は、令和3年度が小田地域、令和4年度が上郷地域。

7 サイエンスツアー事業

- (1)つくばに所在する研究機関等との連携を強化し、本市に集積する科学技術への理解を深めるとともに、科学教育の充実や、観光、飲食業をはじめとする地域産業の活性化を目的として、サイエンスツアー事業を実施する。

（つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（一財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託）

- (2)サイエンスツアーバスを巡回させ、市内回遊性の強化により、個人等の利便性向上を図る。
また、学校や企業をはじめとする各種団体の見学アレンジ等を行い、つくばの研究機関等への誘客を促進する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、サイエンスツアーオフィスや各研究機関と連携して、サイエンスツアーバスの運行、夏休み特別企画などの実施により、観光誘客を推進することができた。

ボランティアガイド298のメンバーを対象としたサイエンスツアーバスのガイド研修を継続して実

施したことにより、ガイドを実施できる人材を増やすことができた。

大穂交流センターや吾妻交流センター等市内施設で工作実験イベントを実施したことにより、サイエンスツアーのPRを行うことができた。

サイエンスツアー受け入れ状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受入人数	人	14,376	4,625	2,150	11,976	14,478
受入団体数	団体	217	56	34	225	257

サイエンスツアーバス利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
バス乗客者数	人	3,951	1,505	600	5,358	4,575
(うち夏休み期間)	人	2,090	376	247	2,788	1,947

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、見学施設の休館が多く、受入人数等が減少した。

令和3年4月3日～4月11日、8月20日～9月26日の期間、新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアーバスは運休、イベントは中止となった。

8 観光PRの実施

- (1) つくばフェスティバル、まつりつくば、筑波山梅まつり等のイベント情報、四季折々のつくばの観光情報などについて、各種キャンペーンやメディア等を通じて観光PRを行う。
- (2) 守谷、佐野、笠間、友部の高速道路のSA・PAにチラシを設置し、つくば市の観光PRを実施する。
- (3) SNS等を活用した観光PRを実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、状況に応じた以下のPR活動を実施したことにより、観光地としての知名度向上を図ることができた。

(1) つくば市の観光情報を新聞等のメディア(東京新聞、Couta)に提供することによる、イベント等のPR実施

(2) インバウンド向けウェブサイト(Guidoor、JFM)へ記事掲載をすることによる、外国人観光客への情報発信の強化

(3) SNSを活用し市観光情報を定期的に発信することによる、新たなフォロワーの獲得
観光PR

【令和4年度】

- (1) 寅さんサミット (2) TOKYO TORCH周年祭 (3) 茨城プレDCイベント
- (4) 茨城県人会賀詞交歓会 (5) 茨城ロボッツイベント (6) 筑波山梅まつりキャンペーン

【令和3年度】

- (1) 漫遊いばらき観光キャンペーン (2) 総理大臣表敬

【令和2年度】

いばらき応援プロジェクト(IBS)

【令和元年度】

- (1) 夏の筑波山観光キャンペーン(TX秋葉原駅構内) (2) 茨城県人会賀詞交歓会
- (3) 都庁キャンペーン (4) 寅さんサミット (5) 筑波山梅まつりキャンペーン

【平成30年度】

- (1) 総理大臣表敬 (2) 荒川区表敬、キャンペーン (3) 筑波霞ヶ浦広域観光協議会キャンペーン
- (4) 茨城県人会賀詞交歓会 (5) 茨城県知事表敬 (6) みとちゃん誕生会 (7) その他

新聞への広告掲出

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
記事掲載件数	件	1	1	1	5	2

SA/PAチラシ設置

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
梅まつり等リーフレット	枚	8,000	0	8,000	17,600	7,200

SNSによるPRの実施(観光推進課公式Twitter・Instagram)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
Twitterフォロワー数	名	6,183	5,359	3,980	3,164	2,548
ツイート数	件	84	248	52	15	-
ツイートへの「いいね」数	件	9,538	7,553	2,653	839	1,098
Instagramフォロワー数	名	1,618	578	-	-	-
Instagram投稿件数	件	39	46	-	-	-
Instagram投稿への「いいね」数	件	4,249	2,440	-	-	-

Twitterによる集計可能な数値のみ記載

Instagramは令和3年度11月より運用を開始

事業名：観光客動態調査に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	15	本年	328				328		187	57.1
				前年	328				328		309	94.1
				比較	0				0		122	-
【参考】前々年度					402				402		270	67.2

節別支出済額(単位:千円)

委託料 187

概要及び成果

1 観光客動態調査事業

市内の観光地等における観光客の動態を把握し、観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、観光入込客数の調査を実施する。

【成果】

つくば市内の代表的な研究施設(見学受入施設)等からの情報収集及び筑波山等での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。

筑波山は自動車の交通量、宝篋山は登山者数の調査を行い入込客数を集計し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。

つくば市観光入込客数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つくば市全体	人	3,133,400	2,383,500	2,344,400	4,158,800	4,489,500
筑波山全体	人	2,113,600	1,766,800	1,969,100	2,463,600	2,693,300
(うち梅まつり)	人	180,000	0	75,000	130,000	190,000
宝篋山	人	101,200	104,400	124,700	99,700	99,500

筑波山来訪県別データ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
茨城県	%	26.9	30.3	33.0	-	-
千葉県	%	22.1	26.2	22.7	-	-
埼玉県	%	17.4	19.2	15.2	-	-
東京都	%	9.7	10.7	10.3	-	-
栃木県	%	7.0	6.6	6.0	-	-
神奈川県	%	6.5	4.1	2.8	-	-
群馬県	%	2.1	1.6	1.5	-	-
福島県	%	2.0	0.0	0.2	-	-
その他	%	4.9	2.6	8.3	-	-

令和4年度は、筑波山市営第3駐車場において、4月30日、5月1日、3日、4日、5日、8日に調査を実施。なお、県別の傾向は過去3年間で変化しなかったため、令和5年度以降は調査を実施しない方針。

事業名：筑波山地域ジオパーク推進に要する経費

経済部 ジオパーク室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	16	本年	8,012		723	349	6,940		6,059	87.3
				前年	8,017		1,421		6,596		5,218	79.1
				比較	5		698	349	344		841	-
【参考】前々年度					8,266	4,453	2,374		10,345		10,165	98.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	42	旅費	349	需用費	686	委託料	55
使用料及び賃借料	346	工事請負費	99	備品購入費	22	負担金補助及び交付金	4,460

概要及び成果

1 筑波山地域ジオパーク推進事業

地球科学的に価値の高い地形・地質を含む自然遺産を保全・保護するため、以下の取組を推進し、地域の持続可能な発展を目指す。

- ・学校教育を通じた教育・普及活動（出前授業や支援プログラムの実施）
- ・保全体制の強化（保全対象の調査、保全計画の検討）
- ・ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催（ジオガイド組織の立ち上げ、ジオツアーの充実）
- ・他のジオパークとの情報交換及び連携（JGN大会への参加）
- ・ボトムアップの協議会体制の強化（各部会活動の推進、会合の定期開催）

【成果】

- ・出前授業や校外学習、教員向け研修など、学校教育を通じた教育・普及活動を推進することができた。
- ・保全サイトの候補地を選定することで、保全対象の調査を進めることができた。
- ・つくば市内でガイドが提案するツアーを2回実施し、ガイドの育成を図った。
- ・ホームページのリニューアル、SNSによる情報発信の見直しに取り組み、発信力向上を図った。

令和4年度筑波山地域ジオパーク推進協議会（6市）の活動実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
出前授業数	1	授業数 26	11	10	9	7
市民講座数	1	講座数 12	9	5	8	36
ジオツアー数	1	ツアー数 14	7	6	11	15
PRイベント数	1	イベント数 4	6	2	18	25
ジオパーク認定商品の新規認定数	2	品 0	15	14	9	13
ジオガイド育成のための講座開催数		回 5	13	16	2	4

ジオパーク室の活動実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
パンフレット印刷部数	3	部 6,500	11,000	11,000	10,000	-
総合案内・解説看板設置数		箇所 0	0	3	3	1

- 1 講座等の開催数を集計（複数日かかるプログラムであっても、開催数は1回として集計）
- 2 令和4年度は筑波山地域ジオパーク認定商品の新規認定を見送り
- 3 パンフレット4種類の印刷部数の合計数

事業名：ジオパーク中核拠点施設整備事業に要する経費

経済部 ジオパーク室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	17	本年	150,769		3,707	349	154,825		135,234	87.3
				前年	22,249		3,700		18,549		17,815	96.0
				比較	128,520		7,407	349	136,276		117,419	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				3,091	工事請負費		132,144					
概要及び成果												
<p>1 中核拠点施設整備事業 筑波山地域ジオパーク関係者及び地域住民等を対象にしたアンケートや意見交換会を実施し、広く意見や希望を反映した基本構想・計画を策定する。基本構想・計画を元に設計・改修工事を行い、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設を整備する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧筑波東中学校のリノベーション工事を完了し、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設の整備を進めることができた。 ・筑波山地域ジオパーク中核拠点施設の展示物制作業務を発注し、展示物の制作を進めることができた。 ・旧筑波東中学校に整備される新施設の総称を、公募により決定することができた。 												

事業名：こもれび六斗の森施設管理運営に要する経費

経済部 荳崎こもれび六斗の森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	04	11	本年	30,455		1,637		32,092		28,986	90.3
				前年	109,788				109,788		79,196	72.1
				比較	79,333		1,637		77,696		50,210	-
【参考】前々年度				115,020		22,567		92,453		87,208	94.3	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4,156	役務費	855	委託料	15,393	使用料及び賃借料	5,096
工事請負費	2,053	備品購入費	180	負担金補助及び交付金	1,253		

概要及び成果

1 荳崎こもれび六斗の森管理運営事業

豊かな自然保全に努めるとともに、観光施設としての適切な各施設（キャビン、バーベキュー場、テントサイト、オートキャンプサイト）の管理運営を行っている。

【成果】

- (1) 施設を適切に維持管理することで、利用客に快適で魅力的な施設を提供した。
- (2) 民間のキャンプ場予約サイト「なっぷ」の運用を開始したことや、キャンプ場内のWi-Fi通信環境を整備したことにより、利用者の利便性の向上を図ることができた。

【施設利用状況】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
キャビン	人	1,432	1,098	920	1,888	2,179
バーベキュー場	人	3,236	660 3	1,159	3,314	7,078
テントサイト	人	2,240	2,154	1,326	3,055	5,759
オートキャンプサイト 1	人	909	982	286	639	-
合計	人	7,817	4,894	3,691 2	8,896	15,016

【年度別収入】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
施設使用料	千円	10,560	8,316	4,798 2	9,472	8,904

- 1 オートキャンプサイト：平成31年4月1日から供用開始
- 2 令和2年度の施設利用人数及び施設利用料が前年度より減少した要因は、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言等による休所及び施設の利用制限を行ったことによるもの。
- 3 令和3年度も前年同様に施設の利用制限を行ったことによるもの。

事業名：道路計画事務に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	01	01	11	本年	79,491	73,307			152,798	82,754	69,555	99.7	
				前年	88,840	9,482			98,322	73,307	24,183	99.2	
				比較	9,349	63,825			54,476	9,447	45,372	-	
【参考】前々年度				11,078	12,551	45		23,584	9,482	13,886	99.1		
節別支出済額(単位:千円)													
報酬		3,600		旅費		96		需用費		106		負担金補助及び交付金	65,753
概要及び成果													
<p>1 道路計画事務に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県道のバイパス建設及び改良整備等の促進、河川等の治水事業の促進を図るため、各路線及び各河川における関係市町との整備促進期成同盟会等に参加し、国及び県への要望活動に参加する。(19団体)また、職員の技能・知識等の向上を図るための協議会等において、会議、研修に参加する。(8団体) ・市内の交通渋滞の解消と地域住民の安全と福祉に寄与するため、市内の渋滞状況を把握し、問題点や解決に向けた方策等を検討する。 ・茨城県が実施する西谷田川の河川改修事業に合わせ、県に負担金を支払い、狭隘な高山橋の架け替えを行う。(令和2年度～令和6年度継続事業 総額178,850,000円) <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各整備促進期成同盟会等が、国・県への要望活動等を実施したことにより、事業の促進が図られた。また、各構成市町間での情報共有、意識共有ができ、路線ごとの整備の進捗状況に合わせた要望をすることができた。 ・渋滞路線の中でも特に渋滞解消の要望が多い葛城西線について、迂回を促す案内看板を設置した。 ・茨城県への高山橋改築工事負担金については、令和3年度継続費通次繰越額73,306,969円から、令和3年度繰越事業である橋梁下部工事の負担金として52,927,609円を支出した。支出後の残額は、20,379,360円。また、令和4年度継続費当初予算額74,355,000円から、令和4年度事業である橋梁上部工事の負担金のうち、令和4年度としての精算額11,980,000円を支出した。支出後の残額は62,375,000円。これにより、令和3年度通次繰越及び令和4年度当初予算の残額を足した額は82,754,360円となり、令和5年度への通次繰越として充当する。 													

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	12	本年	48,371		14,368		62,739		58,835	93.8
				前年	49,221	27,120			76,341		76,000	99.6
				比較	850	27,120	14,368		13,602		17,165	-
【参考】前々年度					77,881	24,660	66		102,475	27,120	73,545	98.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,119	役務費	5,157	委託料	36,262	使用料及び賃借料	1,848
負担金補助及び交付金	14,450						

概要及び成果

1 アダプト・ア・ロード事業

市と実施団体が協働し、市道の一定区間について、地域のボランティア団体等が愛着をもって美化作業や清掃活動を行う。道路管理者は、作業道具の貸与やゴミ回収など活動の支援を行う。

【成果】

各団体に美化活動を行ってもらうことで、道路に対する市民の愛護意識を高めることとなった。また、綺麗な花による彩のある道路環境作りを推進できた。

チラシ配布等の広報活動により、参加登録団体が前年度から3団体増えた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加登録団体数	団体	26	23	20	23	22
うち活動休止団体数	団体	0	1	0	0	0

2 道路管理事務事業

- ・個人及び事業者に対し、道路占用許可書を交付し、祭事等の行為において道路使用届を受理する。
- ・法定外公共物を管理するために、使用許可書を交付する。
- ・払下げについては、法定管理期間満了後に用途廃止手続を行い普通財産管理部門に引継ぎを行う。
- ・申請に基づき、道路・水路・里道等と民有地の境界について立会による査定を行い、隣接地権者及び管理団体等の同意を得た官有地について査定図を備えつける。

【成果】

占用申請、施工許可申請等に対し適切な許認可を行い、道路機能の維持管理を行うことができた。また、道路境界立会については申請から1ヶ月以内に査定立会を実施し適正期間に処理することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
道路占用許可件数	件	1,488	1,443	1,368	1,419	1,455
道路の承認工事件数	件	240	230	204	219	311
道路の境界確認件数	件	574	538	476	526	509
法定外公共物使用許可件数	件	116	124	119	45	105
法定外公共物工事施行許可件数	件	81	78	62	17	7
道路の払下げ件数	件	12	15	6	11	14
道路の払下げ面積	m2	1,759.17	1,673.64	228.30	712.01	960.12

3 道路台帳管理事務事業

市道の路線の認定・廃止・変更等の異動を道路台帳に反映をさせる。つくば市道管理台帳の加除補正を業務委託し、毎年更新作業を実施し、市民に最新の地図情報を提供する。

【成果】

市道の認定・変更・廃止など道路台帳の更新を行い、閲覧者に対し最新の道路情報を提供することができた。また、道路の維持管理を行う上でも基礎資料になることから、適正な管理を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
道路の認定	路線	80	82	122	31	100
道路の廃止	路線	8	12	166	5	73
道路の変更	路線	11	55	40	30	25

4 道路管理協議事務事業

つくば市道について、地域の地形、地質、気象その他の状況及び当該道路の交通状況を考慮し、車両の通行に対して安全な構造とするとともに、円滑な交通を確保する。

【成果】

国、県、民間機関などが設置し市へ移管する道路について、設計・施工協議や施工段階確認を適切に行い、道路の安全確保や適切な維持管理を実施することができた。

特殊車両の通行協議について遅滞なく適切に協議回答し、安全かつ円滑な交通を確保することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開発に伴う協議	回	64	71	51	55	47
特殊車両通行協議	件	1,975	1,256	1,069	875	789

事業名：登記事務に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	13	本年	7,624				7,624		7,148	93.8
				前年	7,909				7,909		6,938	87.7
				比較	285				285		210	-
【参考】前々年度					9,207		1,687		7,520		7,225	96.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	139	役務費	18	委託料	6,357	使用料及び賃借料	635
-----	-----	-----	----	-----	-------	----------	-----

概要及び成果

1 登記事務事業

道路拡幅事業に伴う用地買収、未登記処理等に伴う様々な登記を行う。

【成果】

道路拡幅事業及び未登記処理等の登記申請件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登記件数	件	374	360	507	488	471

事業名： 営繕事務に要する経費

建設部 公共施設整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	14	本年	5,577				5,577		5,173	92.8
				前年	4,193				4,193		3,810	90.9
				比較	1,384				1,384		1,363	-
【参考】前々年度					3,967		121		3,846		3,386	88.0

節別支出済額(単位:千円)

旅費	30	需用費	1,275	委託料	254	使用料及び賃借料	1,817
備品購入費	1,102	負担金補助及び交付金	695				

概要及び成果

1 営繕工事事務

- (1)設計工事額130万円を超える営繕工事の発注支援及び監督業務を行う。
 (2)営繕工事に係る設計業務の発注支援及び監督業務を行う。
 (3)設計工事額10万円以上130万円以下の、工事請負費にて支出を行う修繕工事の発注支援及び監督業務を行う。

【成果】

監督職員の知識や技術が向上し、適正な工事内容での発注支援及び監督業務を的確に実施できるようになり、公共建築工事の品質が確保された。

(1)設計工事額130万円を超える営繕工事の発注支援及び監督業務を行った、主な工事の名称と契約金額

- ・4-5国債（仮称）みどりの南小学校・中学校建設工事 6,589,000千円
- ・4-5国補（仮称）みどりの学校プール建設工事 2,486,000千円
- ・4-6国補つくばセンタービル公共施設改修工事 803,000千円
- ・4国補（仮称）研究学園小学校児童クラブ専用施設建設工事 504,350千円
- ・4国補旧筑波東中学校リノベーション工事 250,580千円
- ・4市単旧桜庁舎解体工事 196,152千円
- ・3国補（仮称）荳崎地区幼稚園移転工事 188,463千円
- ・4市単桜学校給食センター解体工事 161,700千円
- ・その他工事 45件

(2)営繕工事に係る設計業務の発注支援及び監督業務を行った、主な業務の名称と契約金額

- ・4-5国債（仮称）中根・金田台地区小学校校舎建設基本・実施設計業務委託 175,560千円
- ・4市単（仮称）みどりの南小学校児童クラブ専用施設建設基本・実施設計業務委託 21,362千円
- ・4市単荳崎中学校中央棟長寿命化改修設計業務委託 17,817千円
- ・その他設計業務 50件

(3)修繕工事の発注支援及び監督業務を行った。

(1)営繕工事実施件数及び工事額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	53	67	58	59	45
工事額	千円	11,899,222	12,122,482	2,145,199	1,442,401	4,044,862

(2)設計業務実施件数及び委託額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	53	53	69	40	-
委託額	千円	297,655	583,386	828,929	376,252	-

(3)修繕工事依頼受理件数及び工事額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	179	234	611	712	-
うち契約件数	件	144	167	440	454	-
工事額	千円	139,518	141,453	274,278	299,262	-

当課にて発注支援及び監督業務を実施した工事及び設計業務は、すべて主管課より執行したものである。

事業名：道路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	01	11	本年	1,127,275	125,422	11,741	3,872	1,244,828	105,441	1,121,938	98.6
				前年	1,148,034	96,724	43,514	16,362	1,217,606	125,422	1,076,537	98.7
				比較	20,759	28,698	31,773	12,490	27,222	19,981	45,401	-
【参考】前々年度					1,167,968	119,784	80,734		1,207,018	96,724	1,101,863	99.3

節別支出済額(単位:千円)

旅費	89	需用費	7,551	役務費	454	委託料	355,181
使用料及び賃借料	797	工事請負費	754,181	原材料費	3,651	負担金補助及び交付金	32

概要及び成果

1 道路維持管理事業

市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。

地区要望に対応し、舗装修繕工事、排水改修工事及び通学路内での除草と、常磐道の側道と調整池及び水路の除草を実施

【成果】

舗装工事や測量設計委託の円滑な実施に伴い市民の安全な通行の確保ができた。

道路補修・維持工事

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
工事件数	件	375	363	412	338	287

通学路等の除草

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
小学校区	小学校区	21	21	21	21	21
除草面積	m ²	773,271	808,341	805,303	607,771	529,400

舗装打替え工事

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
路線数	路線	19	11	15	18	13
施工延長	m	2,005	2,654	3,557	2,960	2,589
施工面積	m ²	9,980	17,643	21,843	18,078	12,576

橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
橋梁点検数	橋	131	135	151	57	94

事業名：橋梁に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	01	12	本年	195,481	14,062	2,134		207,409	32,530	165,271	95.4
				前年	150,491	30,969			181,460	14,062	140,882	85.4
				比較	44,990	16,907	2,134		25,949	18,468	24,389	-
【参考】前々年度				127,431	210,349	80,516		257,264	30,969	202,660	90.8	
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				22,473	工事請負費		142,798					
概要及び成果												
1 橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁(橋長15m以上)の修繕・補修工事を実施するとともに、阪神淡路大震災以前の耐震基準の橋梁に対し、耐震補強工事を実施する。												
【成果】 長寿命化修繕計画に基づき、房内橋、榎橋の修繕工事を完了させたことにより、車両及び歩行者の安全な通行を確保することができた。耐震補強事業については、高速道路跨道橋耐震工事をNEXCOと調整中。												
橋梁長寿命化修繕工事												
		単位		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
施工橋梁数		橋		2	4	3	1	2				
耐震補強工事												
		単位		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
施工橋梁数		橋		0	0	2	1	1				

事業名：道路新設改良に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)				
08	02	02	11	本年	601,389	205,060	10,593		817,042	165,630	610,356	95.0				
				前年	609,352	218,603			827,955	205,060	554,636	91.8				
				比較	7,963	13,543	10,593		10,913	39,430	55,720	-				
【参考】前々年度				956,343	377,899	224,416		1,109,826	218,603	815,514	93.2					
節別支出済額(単位:千円)																
報酬				244	旅費		18		需用費		8		役務費	6		
委託料				150,665	使用料及び賃借料		32		工事請負費		348,189		公有財産購入費		32,228	
補償・補填及び賠償金				78,966												
概要及び成果																
1 道路新設改良事業 (1)道路改良 地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の拡幅整備を行う。																
【成果】 生活道路を効果的に拡幅整備することにより、幅員の狭い道路の解消、雨水の処理が行われ、歩行者及び車輛の安全が確保され、良好な道路環境が確保された。																
(1)道路改良舗装																
		単位		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度								
路線数		路線		23	21	31	24	29								
施工延長		m		2,095.9	2,068.8	4,576.9	4,254.3	4,712.6								

事業名：緊急地方道整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	03	11	本年	54,034	31,654			85,688	32,422	51,428	97.9
				前年	44,726		9,490		35,236	31,654	2,487	96.9
				比較	9,308	31,654	9,490		50,452	768	48,941	-
【参考】前々年度					68,271	132,915	63,169		138,017		124,573	90.3

節別支出済額(単位:千円)

需用費	755	役務費	36	委託料	2,057	使用料及び賃借料	631
工事請負費	47,949						

概要及び成果

1 緊急地方道整備事業

国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化するため。

(1)市道1-71号線整備事業(L=852m)

【成果】

(1)市道1-71号線

・道路改良舗装工事L=286.2mを発注し実施中(令和5年度へ繰越)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
酒丸上沢線(第2工区)用地取得	m ²	-	-	1,368.14	476.04	1,169.80
酒丸上沢線(第2工区)工事	m	-	-	-	-	-
台町萱丸線(第2工区)用地取得	m ²	-	-	3,572.73	-	-
台町萱丸線(第2工区)工事	m	-	-	-	-	-
市道1-71号線 工事	m	286.2	180	200	233	108.5

事業名：都市計画道路整備に要する経費

建設部 都市計画道路整備推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	03	12	本年	465,726	132,292	95,633		502,385	220,011	275,833	98.7
				前年	169,992	15,891	35,987		221,870	132,292	83,545	97.3
				比較	295,734	116,401	131,620		280,515	87,719	192,288	-
【参考】前々年度				172,536		112,517		60,019	15,891	39,313	92.0	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	186	役務費	1	委託料	22,715	使用料及び賃借料	926
工事請負費	31,114	公有財産購入費	108,467	補償・補填及び賠償金	112,423		

概要及び成果

1 都市計画道路整備事業

国、県の補助事業を導入し市内都市計画道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化するため。

(1)酒丸上沢線整備事業(第2工区)(L=2,520m)

(2)台町萱丸線整備事業(第2工区)(L=1,367m)

【成果】

(1)酒丸上沢線(第2工区)

・用地買収610.08㎡の契約をした。(全体の87.8%契約済)

・道路工事65mを実施した。

・交差点改良工事を一部実施した。

(2)台町萱丸線(第2工区)

・用地買収4,508.61㎡の契約をした。(全体の37.2%契約済)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
酒丸上沢線(第2工区)用地契約	㎡	610.08	3,838.78	3,694.62	-	-
酒丸上沢線(第2工区)工事	m	65	0	0	-	-
台町萱丸線(第2工区)用地契約	㎡	4,508.61	402.06	4,303.58	-	-
台町萱丸線(第2工区)工事	m	-	-	-	-	-

令和元年度以前は、緊急地方道整備に要する経費で計上している。

令和2年度については、緊急地方道整備に要する経費で取得した用地面積(酒丸上沢線(第2工区)1,368.14㎡、台町萱丸線(第2工区)3,572.73㎡)を含む。

事業名：河川維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
08	03	01	11	本年	5,207				5,207		4,036	77.5																					
				前年	5,194				5,194		4,311	83.0																					
				比較	13				13		275	-																					
【参考】前々年度					5,434		11		5,423		4,060	74.9																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
役務費				187	委託料		3,849																										
概要及び成果																																	
<p>1 河川清掃活動 小貝川クリーン大作戦 流域集落の区会を通して地区住民の参加を募り、清掃活動を実施する。 河川事務所(国)との連携事業(国が予算措置している。)</p> <p>【成果】 7月9日に小貝川クリーン大作戦実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となり清掃活動が行えなかった。</p>																																	
<p>2 小貝川排水樋管操作点検 小貝川排水樋管9箇所の操作・点検について操作員に委託を行い、適切に管理することにより災害予防を図る。</p> <p>【成果】 小貝川排水樋管9箇所を適切に管理し災害予防を図ることができた。</p> <p>小貝川排水樋管の管理</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>時間</td> <td>90.5</td> <td>89</td> <td>79</td> <td>100</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>待機</td> <td>時間</td> <td>223</td> <td>467</td> <td>239</td> <td>1,526.5</td> <td>180.5</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	操作	時間	90.5	89	79	100	39	待機	時間	223	467	239	1,526.5	180.5
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
操作	時間	90.5	89	79	100	39																											
待機	時間	223	467	239	1,526.5	180.5																											

事業名：河川整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
08	03	01	12	本年	35,775				35,775		33,340	93.2																					
				前年	81,290	49,604	12,540		118,354		109,886	92.8																					
				比較	45,515	49,604	12,540		82,579		76,546	-																					
【参考】前々年度					156,404	59,921	82,700		133,625	49,604	71,344	90.5																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
委託料				484	工事請負費		32,582		公有財産購入費		274																						
概要及び成果																																	
<p>1 市内の河川整備 八幡川河川改修事業(L=1,100m) 台風、大雨等による河川の氾濫を最小限に食い止めるために、河川改修等の整備を進める。</p> <p>【成果】 (1)用地取得 ・河川改修工事に伴う、用地買収57.14㎡を実施した。 (2)工事 ・河川改修工事L=80.0mを実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得</td> <td>㎡</td> <td>57.14</td> <td>311.8</td> <td>1,032.7</td> <td>289.6</td> <td>7,552.8</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>m</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	用地取得	㎡	57.14	311.8	1,032.7	289.6	7,552.8	工事	m	80	100	100	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
用地取得	㎡	57.14	311.8	1,032.7	289.6	7,552.8																											
工事	m	80	100	100	-	-																											

事業名：都市計画審議会に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	11	本年	616				616		162	26.2
				前年	616				616		423	68.7
				比較	0				0		261	-
【参考】前々年度					764		448		316		244	77.1
節別支出済額(単位:千円)												
報酬					128	旅費		32	需用費		2	
概要及び成果												
<p>1 都市計画審議会開催事業</p> <p>つくば市の都市計画行政推進に必要となる、都市計画決定（用途地域、道路、公園、地区計画等）の案件について、調査、審議を行う。</p> <p>つくば市都市計画審議会委員：15名（委員は15名以内）</p> <p><委員の内訳></p> <p>学識経験者：9名、市議会議員：2名、関係行政機関の職員：1名、茨城県の職員：1名、市民：2名</p> <p>【成果】</p> <p>年2回（7月及び1月）都市計画審議会を開催し、諮問4件、報告3件を行った。諮問及び報告案件について審議され、都市行政の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>(1) 第1回（7月28日）</p> <p><報告事項></p> <p>高エネ研南側未利用地（大穂地区）の都市計画の変更について</p> <p>吾妻二丁目公務員宿舍跡地（吾妻第四地区）の都市計画の変更について</p> <p>つくば市都市計画マスタープラン・立地適正化計画の策定について</p> <p>(2) 第2回（1月30日）</p> <p><諮問事項></p> <p>以下の件について諮問し、可決された。</p> <p>研究学園都市計画用途地域の変更について（大穂地区、吾妻第四地区）</p> <p>研究学園都市計画文教地区の変更について（大穂地区、吾妻第四地区）</p> <p>研究学園都市計画地区計画「大穂地区地区計画」の決定について</p> <p>研究学園都市計画地区計画「吾妻第四地区地区計画」の決定について</p>												

事業名：都市計画事業推進に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	01	12	本年	49,185		6,781		42,404	16,500	25,420	98.9		
				前年	8,605		2,045		6,560	6,180	94.2			
				比較	40,580		4,736		35,844	16,500	19,240	-		
【参考】前々年度					9,651		2,617		7,034		6,910	98.2		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					308	旅費		11	需用費		3,359	委託料		20,790
使用料及び賃借料					224	負担金補助及び交付金		728						
概要及び成果														
<p>1 都市計画情報システム管理業務 都市計画の情報をデジタルで管理し、情報提供を行う。</p> <p>【成果】 市ホームページからインターネット配信をしている都市計画マップにおいて、都市計画関連データ（用途地域、地区計画、都市施設、屋外広告物、市認定道路、建築基準法指定道路、区域指定対象区域等）の情報提供を行った。 また、データの管理業務として都市計画の変更情報の更新、地番の更新等を行った。</p>														
<p>2 各種都市計画の決定・変更 区域区分、用途地域等の土地利用に関するものや、道路・下水道・公園などの都市施設に関するもの、土地区画整理事業などの市街地開発事業に関するもの及びまちづくりに必要な地区計画などの各種都市計画を定める。</p> <p>【成果】 都市計画の決定・変更により、望ましい都市像への誘導を図ることができた。 ・研究学園都市計画用途地域の変更について（大穂地区、吾妻第四地区）（令和5年2月21日告示） ・研究学園都市計画文教地区の変更について（大穂地区、吾妻第四地区）（令和5年2月21日告示） ・研究学園都市計画地区計画「大穂地区地区計画」の決定について（令和5年2月21日告示） ・研究学園都市計画地区計画「吾妻第四地区地区計画」の決定について（令和5年2月21日告示）</p>														
<p>3 茨城県都市計画協会への加入 【成果】 協会からの派遣制度を活用し、研修に参加した。業務に関する知識拡充をすることができた。</p>														
<p>4 全国地区計画推進協議会への加入 【成果】 全国の地方公共団体間の情報交換、制度活用の検討を行うための研究会及び研修会に参加した。</p>														

事業名：屋外広告物の管理に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	13	本年	1,035		32		1,003		940	93.7
				前年	2,405		374	880	1,151		767	66.7
				比較	1,370		342	880	148		173	-
【参考】前々年度					3,076		1,324		1,752		1,549	88.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	294	役務費	55	委託料	591
-----	-----	-----	----	-----	-----

概要及び成果

1 屋外広告物申請許可事業

つくば市屋外広告物条例に基づく許可を行う。

屋外広告物の許可制度の周知等を推進する。

【成果】

つくば市屋外広告物条例の適正な運用や市ホームページ等での周知活動により、無秩序な広告物の掲出を防止し、街並み景観、道路沿道景観、都市景観等の維持保全が図られた。

申請件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新規	件	84	80	78	99	143
継続	件	126	123	103	144	143
変更	件	75	96	53	44	50

2 違反広告物除却事業

研究学園地区内、幹線道路沿線その他違反広告物の多い特定の地域において、簡易に除却できる違反広告物の定期的な除却を行う。

茨城県まちの違反広告物追放推進制度に基づき、地域のボランティア団体を推進団体に認定し、地域における違反広告物の除却を推進する。

【成果】

業務委託及び市職員による定期的なパトロールを実施したことにより、市内の景観保全が図られた。

業務委託等による違反広告物のパトロール

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日数	日	25	40	38	52	55
除却件数	件	46	106	128	50	144

茨城県まちの違反広告物追放推進団体による除却活動

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日数	日	15	54	64	76	78
除却件数	件	34	45	32	66	123

事業名：下水道事業に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	14	本年	2,009,953	79,430	45,121		2,134,504	28,427	2,098,790	99.7
				前年	2,144,381	166,528	88,526		2,222,383	79,430	2,142,953	100.0
				比較	134,428	87,098	133,647		87,879	51,003	44,163	-
【参考】前々年度				3,004,796	128,663	348,725		2,784,734	166,528	1,196,420	48.9	
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利息及び割引料					6,386	繰出金	2,092,404					
概要及び成果												
<p>1 下水道事業会計繰出事業 一般会計から下水道事業会計へ繰出しを行う。</p> <p>【成果】 一般会計から繰出しを行い、下水道事業の整備推進を図ることができた。</p> <p>一般会計から下水道事業会計への繰出金</p>												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
総務省繰出基準及びつくば市基準による繰出金		千円	1,932,577	1,933,904	989,485	2,434,646	2,411,327					
社会資本整備総合交付金		千円	105,003	209,049	206,935	154,064	109,117					
電力価格高騰対策分		千円	54,824	-	-	-	-					
合計		千円	2,092,404	2,142,953	1,196,420	2,588,710	2,520,444					

事業名：公共交通対策に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	15	本年	644,877		20,477	3,252	662,102		582,692	88.0
				前年	643,325		13,045		656,370	625,203	95.3	
				比較	1,552		7,432	3,252	5,732	42,511	-	
【参考】前々年度				578,014		106,408	1,559	685,981		657,149	95.8	

節別支出済額(単位:千円)

旅費	111	需用費	1,906	役務費	1,607	委託料	175,413
工事請負費	466	備品購入費	11,407	負担金補助及び交付金	391,755	公課費	26

概要及び成果

1 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）
つくば市地域公共交通計画に掲げた施策を着実に実行し、目標を達成していくために、交通施策の企画・調整及びアンケート調査等により、目標達成状況の点検、評価、改善等を行う。

【成果】

- ・アンケート調査を実施1,112件回答（回答率37.1%）
- ・目標達成状況の進捗状況をつくば市公共交通活性化協議会に諮り、国土交通省に報告
- ・デマンド交通の抜本的な見直し業務に着手し、令和7年度につくたくにAIオンデマンドシステムを導入するという方向性を策定

2 コミュニティバス「つくバス」運行事業
10路線において、一日317便、年間365日コミュニティバスを運行

【成果】

- 令和4年度の利用者981,786人、前年度比33%増（茎崎シャトル運行開始、バス停留所の3か所追加、通学での利用を図るため学校との調整を実施）
- ・長田広告株式会社と「広告付きバス停留所上屋整備に関する協定」により市の負担無く、14か所のバス停留所に上屋及びベンチを設置
 - ・表示灯株式会社と「つくば市コミュニティバス車内デジタルサイネージ設置事業協定」により、広告収入として300,000円の歳入とバス車内で行政情報を発信

年間利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つくバス	人	981,786	738,118	646,036	994,202	1,052,988

3 デマンド型交通「つくたく」運行事業
5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、茎崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台に運行

【成果】

- ・利用者数は令和4年度48,789人、前年度比10%増
- ・令和4年10月から乗客の利便性向上のために、運賃の現金決済に新たに対応

年間利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つくたく	人	48,789	44,380	41,071	53,887	55,858

4 支線型交通運行事業
10人乗りワゴン車を用いた支線型バスを筑波地区で令和4年10月から本格運行開始

【成果】

令和4年度（10月～3月）利用者2,469人

年間利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支線型バス(R4.10～R5.3)	人	2,469	-	-	-	-

5 路線バス実証実験事業
 路線バス実証実験事業

石下～土浦線路線変更実証実験事業：既存の民間路線バスを活用し、運行経路を一部変更して住民が定着している学園の森3丁目地区を経由する実証実験を令和4年4月から運行

松代南循環路線バス運行事業：公務員住宅解体後の戸建て住宅の建設が著しい松代五丁目や路線バス空白地帯の松野木地区で、民間路線バスを用いた実証実験を令和4年10月から運行

【成果】

- ・石下～土浦線路線変更実証実験事業の経路変更箇所のバス停利用者：1日当たり4.8人（目標4.0人）
- ・松代南循環路線バス運行事業の令和4年度（10月～3月）利用者：14,212人

1日当たり利用者数（毎月7日間のサンプル調査）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
石下～土浦線路線変更実証実験事業	人/日	4.8	-	-	-	-

年間利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
松代南循環(R4.10～R5.3)	人	14,212	-	-	-	-

6 つくば市公共交通活性化協議会の運営

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条に基づく協議会

構成員34名（令和4年度会長：筑波大学システム情報系社会工学域 岡本直久教授）

つくば市地域公共交通計画に基づき、市内公共交通の各種施策及び公共交通の利便性向上策について検討を行う。

【成果】

- ・協議会開催回数 4回（うち書面協議1回）
- ・筑波地区支線型バス「つくばね号」や実証実験路線バスの本格運行について協議
- ・つくタク事業の方向性について協議

事業名：都市景観の形成に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	16	本年	1,259		29	2	1,229		743	60.5
				前年	1,105		309		796		568	71.4
				比較	154		280	2	433		175	-
【参考】前々年度					1,828		1,184		644		502	78.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	48	報償費	45	旅費	12	需用費	627
負担金補助及び交付金	11						

概要及び成果

1 景観形成事業

市民への情報提供や意識啓発、専門講習等の受講

景観協定に関する指導及び認可、景観審議会の開催

景観法に基づき、条例で定める一定規模を超える建築行為等について計画内容を届出させ、審査する。

幹線道路の沿道において、一定規模を超える建築行為について計画内容を提出させ、協議を行う。

一定規模以上の再生可能エネルギー発電設備の設置について計画内容を届出させ、適正な設置、管理を誘導する。

【成果】

・景観審議会での審議や届出対象行為を景観形成基準に基づき規制誘導することにより、良好な景観の維持・形成を図った。

・一定規模以上の発電設備の設置について、ガイドライン及び要綱に基づき誘導することにより、適正な設置、管理を図った。

景観法及びつくば市景観条例に基づく行為の届出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
建築物	件	52	46	47	50	50
工作物	件	1	4	1	0	1
開発行為	件	4	4	4	6	4

幹線道路の沿道の景観形成に関する協議書の提出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
建築物	件	4	2	1	-	-

再生可能エネルギー発電設備の届出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
太陽光発電設備	件	19	9	9	15	10

事業名：開発審査会に要する経費

都市計画部 開発指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
08	04	01	17	本年	706				706		428	60.7																																			
				前年	740				740		460	62.2																																			
				比較	34				34		32	-																																			
【参考】前々年度					1,064		72	40	952		560	58.8																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
報酬					272	旅費		72	需用費		46	使用料及び賃借料	39																																		
概要及び成果																																															
<p>1 開発審査会事務 都市計画法第78条第1項の規定に基づき設置した附属機関であり、開発許可等の処分について、開発審査会を開催し審査を行う。</p> <p>【成果】 市街化調整区域で無秩序な開発行為を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用が図られた。</p> <p>審査会開催状況等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>審査案件</td> <td>件</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>報告案件</td> <td>件</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他(区域指定等)</td> <td>件</td> <td>213</td> <td>165</td> <td>141</td> <td>146</td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	開催回数	回	5	6	5	8	3	審査案件	件	4	7	6	11	4	報告案件	件	48	45	20	6	4	その他(区域指定等)	件	213	165	141	146	135
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
開催回数	回	5	6	5	8	3																																									
審査案件	件	4	7	6	11	4																																									
報告案件	件	48	45	20	6	4																																									
その他(区域指定等)	件	213	165	141	146	135																																									

事業名：開発指導に要する経費

都市計画部 開発指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
08	04	01	18	本年	2,569				2,569		2,377	92.5																												
				前年	2,692				2,692		2,375	88.2																												
				比較	123				123		2	-																												
【参考】前々年度					1,999		138		1,861		1,634	87.8																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
旅費		15	需用費		220	委託料		869	使用料及び賃借料		1,188																													
備品購入費		72	負担金補助及び交付金		13																																			
概要及び成果																																								
<p>1 開発許可等事務 申請のあった、都市計画法第29条、第43条等の許可及び都市計画法施行規則第60条の証明に対する許可の事務処理を行う。</p> <p>【成果】 無秩序な開発行為を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市計画法第29条の許可</td> <td>件</td> <td>375</td> <td>325</td> <td>242</td> <td>243</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>都市計画法第43条の許可</td> <td>件</td> <td>135</td> <td>125</td> <td>121</td> <td>132</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>都市計画法施行規則第60条証明</td> <td>件</td> <td>139</td> <td>87</td> <td>88</td> <td>98</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	都市計画法第29条の許可	件	375	325	242	243	275	都市計画法第43条の許可	件	135	125	121	132	101	都市計画法施行規則第60条証明	件	139	87	88	98	92
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
都市計画法第29条の許可	件	375	325	242	243	275																																		
都市計画法第43条の許可	件	135	125	121	132	101																																		
都市計画法施行規則第60条証明	件	139	87	88	98	92																																		
<p>2 開発許可等台帳管理システムの運用 電子データ化した過去の許可案件等を一元管理し、データの集積や抽出を行う。</p> <p>【成果】 データの抽出が正確かつ迅速に行うことができ、市民サービスの向上が図られた。</p>																																								
<p>3 区域指定データの情報提供 ホームページの「都市計画マップ」により、区域指定地域の情報提供を行う。</p> <p>【成果】 市民の利便性の向上が図られた。</p>																																								

事業名：地域まちづくり支援に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	19	本年	1,243		889		354		191	53.9
				前年	1,300		250		1,050		679	64.7
				比較	57		639		696		488	-
【参考】前々年度					1,901		1,596		305		154	50.7
節別支出済額(単位:千円)												
報償費				180	需用費				11			
概要及び成果												
<p>1 地域まちづくり支援事業 規則に基づき、市民等が地域で行うまちづくりについて、その活動状況を初期段階から4段階に分類し、それぞれの段階に応じた支援を行う。支援方策としては、市民向けの講座の開催や、登録グループ等へのまちづくり専門家の派遣、活動資金の助成等を行う。</p> <p>【成果】 まちづくりアドバイザーの派遣により、グループの課題や今後の活動の方向性について議論を深めることができた。</p> <p>(1)地域まちづくりグループの登録（登録団体数9） 研究学園駅センター地区協議会 松見商店会 研究学園グリーンネックレスカルチャーの会 春風台美しい村づくりの会 桜ニュータウンのこれからを考える会 フラワーフィルダーズ（FF会） 高見原4丁目青年部 つくばロケーションヴィレッジ 新しい街・研究学園駅周辺を住みやすくする会</p> <p>(2)地域まちづくり推進団体の認定（認定団体数2） テクノパーク桜まちづくりを考える会 グリーンフィールド島名</p> <p>(3)まちづくりアドバイザーの登録及び派遣 まちづくりアドバイザー登録者 13名 まちづくりアドバイザーをグループ勉強会へ派遣（2団体へ合計5回）</p> <p>(4) コンサルタントの登録 コンサルタント登録 6社</p> <p>(5) 事業周知活動 市ホームページにおいて、市民向け講座の開催内容を掲載した。</p>												

事業名：自転車のまちづくり推進に要する経費

都市計画部 サイクルコミュニティ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	20	本年	253,939		7,489	6,654	268,082	2,394	248,749	93.7
				前年	24,669		8,106		32,775	31,223	95.3	
				比較	229,270		617	6,654	235,307	2,394	217,526	-
【参考】前々年度					9,819		2,646		7,173		6,244	87.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	147	旅費	99	需用費	1,304	役務費	209
委託料	24,432	使用料及び賃借料	2,223	工事請負費	217,590	備品購入費	1,171
負担金補助及び交付金	1,574						

概要及び成果

1 レンタサイクル事業

レンタサイクルの貸出を通して、移動の利便性の向上を図り、つくば市中心市街地や筑波山麓地域、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線地域等のビジネスや地域振興に寄与する。

【成果】

移動手段の提供により、ビジネスや地域振興が図れた。外出自粛の影響により、新型コロナウイルス感染症の影響が出る以前の水準には達していないものの前年度より利用数は増加した。

レンタサイクル利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つくば駅	台	3,456	3,120	2,852	4,260	4,731
筑波山口	台	530	463	612	685	587

2 広域レンタサイクル事業

茨城県と9市町から構成される、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会の広域レンタサイクル部会において、乗り捨て可能な広域レンタサイクル事業を展開し、市域をまたいだ広範囲の移動手段を提供することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化等を図る。

【成果】

つくば総合インフォメーションセンターにおいて広域レンタサイクルの受付窓口を運営することで、観光を中心とした地域経済の活性化に貢献した。

外出自粛の影響を受けたものの、インバウンド需要の復調により、利用数の増加がみられた。

広域レンタサイクル利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
全体	台	3,876	3,161	3,044	3,115	2,594
つくば市	台	184	107	172	130	151

3 自転車のまちづくり推進事業

環境に優しく、健康増進にもつなげる自転車を重要な交通手段の一つとして位置づけ、つくば市自転車安全利用促進計画に基づき、自転車の安全で適正な利用を促しつつ、市内における自転車利用の向上を図るため、サービス環境の充実や安全教育などの各種取組を行う。

【成果】

(仮称)つくば市自転車活用推進計画の策定を目的とし、自転車のまちつくば推進委員会を開催し、策定に向けて自転車による市内の試走を実施した。

自転車競技チーム「弱虫ペダルサイクリングチーム」と令和3年度に締結した連携協定に基づき、自転車利用促進イベント(PEDAL DAY GO Mt.TSUKUBA)を開催し、約2,000人の動員を実現した。

児童自転車用ヘルメット購入補助事業について、実績は以下の件数となった。

児童自転車用ヘルメット購入補助事業(上限 2,000円/件)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助件数	件	237	238	236	-	-

4 筑波東中跡地へのサイクリング拠点整備事業

旧筑波東中学校へサイクリング拠点（自転車拠点）を整備することで、市内外のサイクリストを誘客し地域振興を実現するとともに、市民の自転車利用の機運醸成を図ることで、車から自転車への転換を推進する。

【成果】

旧筑波東中学校の自転車拠点開所に向けて、校舎リノベーション工事及びBMXコース整備を完了した。

○旧筑波東中学校に開所する施設全体の名称を公募し、「筑波山ゲートパーク」に決定した。

5 シェアサイクル

シェアサイクル実証実験（つくチャリ）を、令和3年10月から令和6年9月の3年間で運用中。本格運用を見据え、利用データの分析や、利便性向上を目指したステーション配置の最適化等を実施している。

【成果】

サイクルステーションを2か所増設し、自転車を6台増車した。令和4年度末時点で、サイクルステーション22か所、自転車56台の運用となっている。

令和4年度末の1日当たりの利用件数は、当初の目標値であった27台/日を大幅に超える62台/日となり、前年度の倍となった。市民の移動の足として定着しつつある。

デジタル田園都市国家構想交付金を充当し、一般財源の歳出を圧縮した。

シェアサイクル利用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1日当たりの利用数	台	62	31	-	-	-

事業名：公有地利活用推進に要する経費

都市計画部 公有地利活用推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	21	本年	10,268	2,651		14,597	27,516		25,692	93.4
				前年	908,791		607,076		1,515,867	2,651	1,511,815	99.9
				比較	898,523	2,651	607,076	14,597	1,488,351	2,651	1,486,123	-
【参考】前々年度				8,252	5,716	5,332,533	1,519	5,344,982		5,341,163	99.9	
節別支出済額(単位:千円)												
報償費					150	旅費	20	需用費	27	委託料	19,239	
負担金補助及び交付金					6,257							

概要及び成果

1 公有地利活用推進事業

庁舎跡地や学校跡地等未利用の公有地について、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとに、これまでの経緯、現状、地域の意向等を踏まえ、公的利活用、地域利活用、民間利活用を検討し、有効な利活用を図る。

【成果】

(1)筑波地区学校跡地（対象：小学校跡地8校、中学校跡地2校）

<新たに利活用を進めることができた施設>

- ・筑波小学校跡地：インターナショナルスクールとしての利活用について、地域住民との意見交換を行い、概ね同意を得られたことから利活用方を決定した。（産業振興課）
- ・作岡小学校跡地：クラフトジンの蒸留所としての利活用について、地元説明会を行い、概ね同意を得られたことから利活用方を決定した。

<令和3年度末までに利活用が進んでいる施設>

- ・筑波西中学校跡地：広域通信制高等学校
- ・筑波東中学校跡地：ジオパーク中核拠点施設、自転車拠点施設（ジオパーク推進室、サイクルコミュニティ推進室）
- ・山口小学校跡地：地元利用、一般財団法人による教職員を対象としたセミナー、研修会場
- ・菅間小学校跡地：民間事業者の生活支援ロボットコンテスト会場（科学技術振興課）
- ・小田小学校跡地：小田地域まちづくり振興会による利活用（周辺市街地振興課）
- ・田水山小学校跡地：文化芸術創造拠点施設（文化芸術課）

<利活用を進めるための検討を要する施設>

北条小及び田井小学校跡地

(2)高エネ研南側未利用地

- ・令和4年8月 つくば市土地開発公社が土地売買契約を締結した。

(3)春日消防本部跡地

筑波大学のPFI事業による事業者公募手続きを進めた。

(4)上郷高校跡地

陸上競技場整備基本計画の策定作業を開始した。（スポーツ施設整備室）。

(5)庁舎跡地（谷田部庁舎跡地、荃崎庁舎跡地）

- ・谷田部庁舎跡地の一部に谷田部地区交番が移設され令和4年4月に供用開始した。（茨城県警）
- ・荃崎庁舎跡地は食料品等を取り扱う店舗事業者と契約を締結した。

(6)つくば市公有地利活用方策検討会の開催

開催実績：令和5年1月20日（検討施設：筑波小学校跡地）

事業名：市街地振興に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	22	本年	508		186	240	562		374	66.6
				前年	1,195		447		748		744	99.5
				比較	687		261	240	186		370	-
【参考】前々年度					12,739		2,982		9,757		9,743	99.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	180	旅費	129	需用費	17	負担金補助及び交付金	48
----	-----	----	-----	-----	----	------------	----

概要及び成果

1 市街地振興事業

- ・国土利用計画法に基づく土地取引の届出受理、及び土地の利用目的方法の審査。
- ・都市再生特別措置法に基づく各種事務の執行、及び都市再生整備計画のマネジメントと適正な国費の執行、関係部署との連絡調整、現計画の事後評価フォローアップの実施。
- ・公有地の拡大の推進に関する法律に基づく事前届け出の受理及び買取希望の照会。
- ・低未利用土地等の譲渡に係る低未利用土地等確認書の交付。

【成果】

- ・国土利用計画法の届出を通じて、適正な土地利用の動向を把握することができた。
- ・都市再生整備計画推進のため関係各課と連携し、適切な進捗管理を行った。
- ・公有地の拡大の推進に関する法律の届け出等を通じて、都市計画施設等の計画的な整備・推進に寄与した。
- ・租税特別措置法に基づき、低額の低未利用土地の譲渡を促進することで、土地の有効活用が図られた。

国土利用計画法に基づく届け出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総届出件数	件	97	100	132	47	54

公拡法に基づく届出・申出件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総届出・申出件数	件	18	13	19	11	17

低未利用土地等確認書の交付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	13	35	11	-	-

事業名：学園地区市街地振興に要する経費

都市計画部 学園地区市街地振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	23	本年	336,333	71,885			408,218	144,869	215,551	88.3
				前年	151,167			1,363	149,804	71,885	41,082	75.4
				比較	185,166	71,885		1,363	258,414	72,984	174,469	-
【参考】前々年度					76,935		848		77,783		75,960	97.7

節別支出済額(単位:千円)

旅費	17	需用費	16,749	役務費	151	委託料	64,244
使用料及び賃借料	73	工事請負費	116,716	負担金補助及び交付金	17,601		

概要及び成果

1 魅力ある研究学園都市地域の推進事業

研究学園都市地域内で土地利用転換が見込まれる国家公務員宿舎跡地等については、地区計画や無電柱化条例等を活用し、緑豊かな市街地を創出するまちづくりを推進する。また、つくばセンター広場の維持管理、つくばセンタービル公共施設改修のほか、つくばの顔となるつくば駅周辺については、パブリックスペース活用や科学技術を取り入れた取組、エリアマネジメントの推進により、つくばらしさを感じられる場を創出し、都市の魅力を高めていく。

【成果】

(1) 国家公務員宿舎跡地

吾妻二丁目国家公務員宿舎跡地について、2022年4月22、23日に市民説明会を、4月22日から5月31日まで意見募集を実施。その後、基本的な活用のあり方(案)を策定し、8月26日から9月19日まで市民意見募集を実施。2023年2月21日に地区計画の決定告示。

(2) つくばセンタービル公共施設改修

2022年6月、実施設計の工期終了。10月、工事着手(令和6年度までの継続事業)。

(3) パブリックスペースの活用

つくばセンターマルシェを含むつくばペデカフェ要項に基づく取組を実施するとともに、ソトカフェによりパブリックスペースを活用した。(活用状況は下表参照。)

(4) エリアマネジメントの推進

2022年5月7日、つくばセンタービル内に、エリアマネジメント団体により「働く人を支援する場: co-en」がオープンした。

公共空間の活用状況(つくばペデカフェ推進要項に基づき開催された取組)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
イベント等の開催件数	件	21	11	9	24	14
イベント等の開催日数	1日	41	26	23	45	35

つくばセンターマルシェ

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
出店者数(年度末)	者	12	18	11	12	12

1 継続的かつ反復的に公共空間を使用した取組(マルシェ、展示発表等)の日数を除く

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	24	本年	26,668				26,668		24,409	91.5
				前年	27,897			880	28,777		26,863	93.3
				比較	1,229			880	2,109		2,454	-
【参考】前々年度					29,795		652		29,143		28,403	97.5

節別支出済額(単位:千円)

旅費	106	需用費	713	役務費	45	委託料	19,389
使用料及び賃借料	1,393	負担金補助及び交付金	2,763				

概要及び成果

1 地域振興推進事業

町村合併前から地域の身近な生活の拠点であった周辺市街地において、地域住民が主体となり、地域の資源や強みを引き出しながら、地域外の協力者も巻き込んだ持続的な地域づくりを推進する。

【成果】

○周辺市街地活性化協議会の運営支援

各協議会による総会、会議、イベント等開催の後方支援を実施した。

○第3回つくばR8ネットワーク会議の実施

協議会活動の自走化のため、協議会会員と有識者の情報交換や各協議会の取組事例の共有を行う会議を実施した。(12/3)

○R8シンポジウムの開催

各周辺市街地活性化協議会や地域づくり活動団体の活動内容について、講演や参加者同士の交流等をおし、将来を見据えつつその意義を再認識してもらうとともに、多くの人に紹介することでR8をより多くの人に認知してもらうことを目的にシンポジウムを開催した。(3/5)

○チャレンジショップ

吉沼地域の空き店舗を整備したチャレンジショップ「吉沼まちかどテラス」に3者が出店した。また、次年度に向けて北条に「北条イリアイテラス」として1店舗、「吉沼まちかどテラス」に追加で1店舗、チャレンジショップを整備した。

○R8アイディアソンの実施

R8の地域資源を活かした地域づくり活動の企画から実証まで行う人材を市内外から広く募集し、多様な人材の参画による持続可能な地域づくりを促進することを目的にアイディアソンを実施した。市内外から47名の参加があり、各周辺市街地で様々なアイデアを実証した。

2 周辺市街地活性化補助金

周辺市街地活性化協議会へ上限50万円の補助金を支出するなどし、地域住民が主体となった地域活性化の取組を支援する。

【成果】

補助金を活用し、各協議会が以下の取組を行った。

○北条

地域住民への情報発信を目的とした「北条新聞No.5、No.6」の発行及び「No.1～No.4」の増刷、「北条アンケート」の実施。

○小田

小田小交流プラザの環境整備、宝篋山麓「北斗の道」の整備、不動尊参道の整備。

○大曽根

地域の店舗情報、手作りマップ、大曽根の街並み特集等を掲載した「大曽根・花畑・筑穂TOWNまちあるき」の発行、「地域マスコットキャラクター」の募集・決定。

○吉沼

地元農家や近隣事業者の出店及び音楽や伝統芸能を発表する「吉沼マルシェ」を5回開催、「食と酒の祭り」の開催。

○上郷

「上郷フェスティバル」や「節分祭マルシェ」、「防災の集い」の開催、地域の偉人である竹垣代官の功績を伝える「紙芝居の作成」及び「竹垣さま祭り」の開催。

○栄

「夏休みこどもフォトコンテスト」、「まちかどフリーピアノ@栄」及び地域交流拠点「さくら交流館」を活用したワークショップの開催、地元の新鮮野菜の販売や地元の魅力を地域内外に発信する「朝市」や「栄マルシェ」の開催、地域の魅力を現地で実際に体験する「街歩き」の開催等。

○谷田部

地域の歴史情報をまとめた「歩いて発見。谷田部街道めぐり歴史編（第2弾）」の発行、地域の回遊を目的とする「R8口ゲイニングin谷田部」の開催。

○高見原

地域住民からプレゼントを募り、高見原の子どもたちへ配布を行う「高見原サンプラザプロジェクト」の実施。

3 学校跡地地域運営拠点事業

旧小田小学校の一部教室と運動場を活用し、地域住民が主体となり、地域コミュニティ拠点を自主運営管理していく支援を行う。

【成果】

○地域コミュニティ拠点の運営支援

地域のまちづくり団体である小田地域まちづくり振興会による、小田小交流プラザの自主運営管理について、運営方法の助言や植栽管理等の支援を実施した。

事業名：地域開発振興に要する経費

都市計画部 地域開発振興室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	01	25	885				885		74	8.4	
			前年									
			比較	885				885		74	-	
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

需用費	30	備品購入費	45
-----	----	-------	----

概要及び成果

1 地域開発振興事業

関係部局と連携し、必要に応じた土地利用方を検討する。

【成果】

市内企業ヒアリングを産業振興課と連携して実施し、具体的な企業要望を把握した。
市街化調整区域における開発行為の新たな立地基準案を作成し、開発指導課等の庁内関係各課と協議を行い、基準化を実現した。

企業立地に関するアンケート

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
発送数	通	0	153	-	-	-
回収数	通	0	65	-	-	-

市内企業ヒアリング

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問数	件	12	0	-	-	-

事業名：街路整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	02	11	本年	405,425	173,857	9,600		569,682		552,096	96.9
				前年	508,651	170,866	49,277		630,240	173,857	411,623	92.9
				比較	103,226	2,991	39,677		60,558	173,857	140,473	-
【参考】前々年度				521,275	189,609	66,277		644,607	170,866	434,504	93.9	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	69	委託料	51,260	工事請負費	500,767
-----	----	-----	--------	-------	---------

概要及び成果

1 街路整備事業

都市再生整備計画に基づき、街路灯整備、歩道改修、歩行者通行帯整備及び電線共同溝の整備を進めている。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯整備を実施している。

【成果】

安全安心な住環境及び交通環境の整備のため、街路整備及び通学路整備を実施し、歩行者等の安全を確保することができた。自転車レーンについては、策定中の自転車ネットワーク計画に基づき整備予定。

街路整備

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
街路灯設置数	基	0	41	99	92	66
歩道改修延長	m	317	316.2	1,467.0	1,387.6	1,342.2

通学路整備

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
歩行者通行帯	m	2,404	1,249	931.0	1,174.2	2,307.0
自転車レーン	m	0	0	1,723	0	1,510

平成30年度までは街路維持管理費に要する経費で事業を執行していた。

事業名：街路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	03	11	本年	620,085		21,127		641,212		633,452	98.8
				前年	595,542			1,363	596,905		596,903	100.0
				比較	24,543		21,127	1,363	44,307		36,549	-
【参考】前々年度					619,517		3		619,514		617,530	99.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	61,839	委託料	538,693	工事請負費	32,920
-----	--------	-----	---------	-------	--------

概要及び成果

1 街路維持管理事業

市が管理する研究学園都市中心部及びTX沿線地区の道路、水路等の修繕・補修工事の処理
舗装修繕工事や排水修繕工事、街路樹剪定作業の実施
枯損木等の伐採、除去

【成果】

適切な街路管理の実施により、市民の安全な通行の確保ができた。

街路補修・維持工事

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
工事件数	件	27	43	43	55	36

街路樹維持管理（剪定・伐採本数）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
剪定本数	本	4,185	3,931	4,876	3,816	4,179
伐採本数	本	210	200	236	410	456

事業名：公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	04	11	本年	444,998				444,998	111,000	332,851	99.7
				前年	92,690	340,111			432,801		423,789	97.9
				比較	352,308	340,111			12,197	111,000	90,938	-
【参考】前々年度				385,915	271,851	25,152		632,614	340,111	287,225	99.2	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	49	役務費	453	委託料	28,764	工事請負費	175,945
公有財産購入費	57,755	負担金補助及び交付金	69,886				

概要及び成果

1 公園建設事業

- (1)近隣公園用地(萱丸地区1公園、萱丸源流の森(トンボ池)、中根・金田台地区1公園)の除草業務を実施する。
- (2)萱丸地区3号近隣公園整備積算業務を実施する。
- (3)萱丸源流の森基本設計業務を実施する。
- (4)萱丸源流の森公園の測量業務を実施する。
- (5)萱丸4号近隣公園整備工事を実施する。
- (6)スケートボードパーク設計業務委託及び整備工事を実施する。
- (7)萱丸源流の森(トンボ池)用地を購入する。

【成果】

- (1)除草を実施したことにより、安全・安心な環境を提供できた。
- (2)萱丸地区3号近隣公園整備工事の設計書が作成できた。
- (3)萱丸源流の森の基本設計書が作成できた。
- (4)萱丸源流の森の設計に必要な測量成果が得られた。
- (5)萱丸地区4号近隣公園が完成した。
- (6)スケートボードパークが完成した。
- (7)都市公園用地(1,578㎡)を取得できた。

2 生け垣設置奨励補助事業

戸建て住宅の生け垣に利用する樹木の購入費用の一部を補助する。

【成果】

交付件数及び設置延長数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付件数	件	14	10	9	6	17
設置延長数	m	178	152	92	63	255

市民による生け垣緑化を奨励することで、緑豊かなまちなみづくりを推進することができた。

事業名：中根・金田台地区公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	04	12	本年	5,436				5,436		4,787	88.1		
				前年	5,024				5,024		3,951	78.6		
				比較	412				412		836	-		
【参考】前々年度					5,545				5,545		4,149	74.8		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					134	旅費		10	需用費		19	役務費		6
委託料					4,499	使用料及び賃借料		119						
概要及び成果														
<p>1 中根・金田台地区公園整備事業 歴史緑空間用地52haの維持管理及び歴史公園の整備を実施する。</p> <p>【成果】 除草及び清掃業務を実施し、安全・安心な歴史緑空間を確保できた。 公園整備の事前調査のため、遺跡の一部を試掘調査し、保全する範囲の確認ができた。</p>														

事業名：公園維持管理に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	11	本年	880,337		19,441		899,778		894,276	99.4
				前年	882,821	18,721			901,542		898,283	99.6
				比較	2,484	18,721	19,441		1,764		4,007	-
【参考】前々年度					950,769		9,898		960,667	18,721	940,386	99.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	77	需用費	111,627	役務費	3,013	委託料	730,977
使用料及び賃借料	8,169	工事請負費	39,328	備品購入費	731	負担金補助及び交付金	353

概要及び成果

1 公園維持管理事業

- (1)公園維持管理としては、年間の業務委託契約を締結し、施設の状態に応じて維持管理を実施する。
- (2)公園施設管理としては、施設の修繕・改修を行い、遊具については有資格者による点検を年に一回実施する。
- (3)公園施設(管理事務所警備・管制装置など)の保守・点検業務を実施する。
- (4)運動施設の用具及び管理用備品を購入をする。
- (5)プレイパークの場所の提供を行う。

【成果】

- (1)中間検査等や担当職員の点検を実施することで適正な公園維持管理を実施し、景観の保全や公園利用者が快適で安全・安心に過ごせるような場を提供できた。(委託 461件 約708,610千円)
- (2)公園施設の修繕・改修や担当職員の点検による施設の予防修繕を実施することにより、利用者が安全・安心して利用することができた。(修繕 212件 約22,270千円、工事 20件 約39,328千円)
- (3)公園施設の保守・点検を実施することで安全な公園環境を提供できた。(12件 約16,948千円)
- (4)適正な運動施設環境を提供できた。(12件 約731千円)
- (5)さくら運動公園、中央公園、研究学園駅前公園の3公園で、プレイパークの場所を提供できた。

各有料施設の利用状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
テニスコートの件数	件	37,233	35,538	36,092	35,639	35,133
テニスコートの人数	人	165,236	156,318	155,908	177,572	175,236
野球場の件数	件	2,444	2,141	2,019	2,265	2,075
野球場の人数	人	61,334	49,389	47,467	68,700	65,544
多目的広場の件数	件	509	462	433	383	348
多目的広場の人数	人	23,423	19,740	18,234	18,518	20,864
総合計の件数	件	40,186	38,141	38,544	38,287	37,556
総合計の人数	人	249,993	225,447	221,609	264,790	261,644

2 アダプト・ア・パーク事業

- (1)空き缶やゴミ等の収集、除草、清掃、植栽の企画提案及びその実施、公園施設の破損などの通報を市民団体で実施してもらう。
- (2)活動の支援として、参加団体にごみ収集用具等の提供や収集ごみ等の処理を行う。

【成果】

- (1)参加登録団体(41団体)が延べ69公園の清掃や花壇手入れ等を実施することで、公園の環境美化だけでなく、市民の公園への愛護意識の向上につながった。
- (2)新型コロナウイルス感染症の影響により、活動休止になった団体が1団体あった。
- (3)登録団体のうち申請のあった25団体に対し清掃用具などを配布したことにより、円滑な環境美化活動が行われた。

アダプト・ア・パーク参加登録団体数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加登録団体数	団体	41	39	36	37	37
うち活動休止団体数	団体	1	1	1	0	0

3 水堀川防災調節池管理事業

池の機能及び施設の点検を月2回実施する。

【成果】

防災調節池の機能を維持するため月2回の点検を行い、大雨の際、調節池として機能が損なわないように管理できた。

4 公園管理（指定管理者）委託事業

有料施設のある公園の管理について、効果的・効率的な管理・運営を行う。

【成果】

管理方法について、直営・委託による管理もしくは、指定管理者制度の導入が良いのか関係各課と検討を実施した。

事業名：公園施設長寿命化対策に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	12	本年	60,611				60,611		59,388	98.0
				前年	31,418	43,640			75,058		70,441	93.8
				比較	29,193	43,640			14,447		11,053	-
【参考】前々年度					56,550				56,550	43,640	12,808	99.8

節別支出済額(単位:千円)

委託料	2,420	工事請負費	56,968
-----	-------	-------	--------

概要及び成果

1 公園施設長寿命化対策事業

公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の休憩施設・遊具について更新を行う。

・公園施設長寿命化対策更新工事 14公園 40施設

【成果】

休憩施設・遊具の更新により、安全・安心な公園環境を提供できた。

かきの木公園：3連低鉄棒、ブランコ

鍛冶畑児童公園：ブランコ、小型ジャングルジム、すべり台

千上児童公園：ブランコ、すべり台、3連低鉄棒

小野崎西児童公園：ブランコ、すべり台、回転遊具、スイング遊具

五十塚児童公園：ブランコ、すべり台、3連低鉄棒、スイング遊具

牧園児童公園：ブランコ、小型すべり台、ロープクライミング

どんぐり公園：砂場、すべり台

ひだまり公園：砂場、すべり台、健康遊具

東向児童公園：ブランコ、3連低鉄棒、すべり台、うんてい、スイング遊具

木内前児童公園：シーソー

高野台児童公園：ブランコ

筑波北部公園：複合遊具

二の宮公園：複合遊具

さくら運動公園：休憩施設

実施数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公園数	箇所	14	14	2	13	11
施設数	施設	36	19	6	16	16

事業名：地籍調査に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	06	11	本年	16,904		1,499		15,405		14,597	94.8
				前年	38,103		6,508		31,595		30,775	97.4
				比較	21,199		5,009		16,190		16,178	-
【参考】前々年度					42,644		2,736		39,908		39,636	99.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	142	需用費	452	役務費	53	委託料	13,185
使用料及び賃借料	715	負担金補助及び交付金	50				

概要及び成果

1 地籍調査に関する事業

調査区域の長狭物（道路・水路）、一筆地の土地ごとに所有者・地番・地目の調査・測量を行い、地籍簿・地籍図（縮尺500分の1）を作成し、その写しを法務局へ送付する。

小白碓地区（約0.50km²）*成果の認証・登記 事業年度：令和2年度～令和4年度

赤塚地区（約0.47km²）*成果の閲覧 事業年度：平成3年度～令和5年度

赤塚地区（約0.10km²）*一筆地調査・測量 事業年度：令和4年度～令和6年度

【成果】

(1) 公共事業の円滑化

精度の高い地籍図に基づき事業計画・設計・用地買収等が円滑に行えた。

(2) 土地の権利関係の明確化

一筆地ごとの筆界・面積が登記事務に反映され、所有権が確実に保護された。

(3) 公租・公課の負担の公平化

土地の正確な地番・地目・地積の測定が行われ、課税等の公平化が図られた。

(4) 小白碓地区の事業目標（0.50km²）を達成し、地籍調査進捗率が87.71%となった。

筑波 計画面積41.51km² (A) 調査面積40.42km² (B) 未調査面積 1.09km²：進捗率 97.37%

大穂 計画面積13.27km² (A) 調査面積11.65km² (B) 未調査面積 1.62km²：進捗率 87.79%

豊里 計画面積15.12km² (A) 調査面積15.12km² (B) 未調査面積 0.00km²：進捗率100.00%

桜 計画面積23.10km² (A) 調査面積23.10km² (B) 未調査面積 0.00km²：進捗率100.00%

谷田部 計画面積35.16km² (A) 調査面積20.00km² (B) 未調査面積15.16km²：進捗率 56.88%

荃崎 計画面積17.20km² (A) 調査面積17.20km² (B) 未調査面積 0.00km²：進捗率100.00%

合計 145.36km² (A) 127.49km² (B) 17.87km²：進捗率 87.71%

【地籍調査進捗率：% (B) / (A) 令和5年3月31日現在】

過去5年間の完了事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
地区名	-	小白碓地区	葛城地区	葛城地区	葛城地区	葛城地区
面積	km ²	0.50	0.33	0.41	0.53	0.61
筆数	筆	691	281	411	351	591
地権者数	名	358	112	166	140	200
地籍図	枚	45	40	35	64	53
地籍簿	冊	1	1	1	1	1

事業名：共同溝維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	07	11	本年	20,115		1,079		21,194		18,217	86.0		
				前年	19,872		581		20,453		18,157	88.8		
				比較	243		498		741		60	-		
【参考】前々年度					18,208		906		19,114		18,495	96.8		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					6,447	役務費		58	委託料		7,402	工事請負費		3,850
償還金利子及び割引料					460									
概要及び成果														
1 共同溝維持管理事業 共同溝の構内と共同溝管理センターの保守点検及び維持管理 【成果】 維持工事等を行うことにより、施設内の占用物の安全が確保できた。														
年間巡視点検回数														
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度							
点検回数		回	36	36	36	36	36							
維持補修工事														
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度							
工事件数		件	3	5	5	5	6							

事業名：駅前広場維持管理に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
08	04	08	11	本年	48,190		1,593		49,783		48,907	98.2		
				前年	46,273				46,273		46,241	99.9		
				比較	1,917		1,593		3,510		2,666	-		
【参考】前々年度					92,193		7,000		85,193		80,375	94.3		
節別支出済額(単位:千円)														
需用費					10,587	委託料		20,600	使用料及び賃借料		5,962	工事請負費		3,498
負担金補助及び交付金					8,261									
概要及び成果														
1 駅前広場維持管理事業 (1)駅前広場の維持管理を行う。 TX4駅(つくば駅・研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅)前広場の維持管理、施設修繕などの実施 (2)負担金(つくば駅地下自由通路管理者負担金)を支払う。 【成果】 (1)TX4駅(つくば駅・研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅)前広場を維持管理及び施設修繕などを行い、利用者へ安全・安心な環境を提供できた。 (施設管理委託:10件 約20,600千円、駐車場管制装置等賃借4件 約5,962千円、修繕工事5件 約3,498千円) (2)負担金の支出によって、関係機関と連携して適正な維持管理ができた。														

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	11	本年	13,747				13,747		12,052	87.7
				前年	7,851				7,851		6,428	81.9
				比較	5,896				5,896		5,624	-
【参考】前々年度					9,136		423		8,713		6,272	72.0

節別支出済額(単位:千円)

旅費	28	需用費	830	役務費	68	委託料	9,931
使用料及び賃借料	97	負担金補助及び交付金	1,098				

概要及び成果

- 1 建築基準法等による許可、認定、指定等に関する事務
- ・建築基準法に基づく許可、認定、指定及び認可申請の審査
 - ・長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定申請の審査
 - ・建築基準条例に基づく認定申請の審査
 - ・地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例に基づく許可又は認定申請の審査
 - ・敷地制限条例に基づく認定及び許可申請の審査

【成果】

- ・特例許可を行うことにより地域の実情にあつた土地の有効利用を図ることができた。
- ・長寿命化で省エネ性能の高い建築物のストックができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
建築基準法に基づく許可等件数	件	13	40	17	22	28
長期優良住宅認定件数	件	929	868	661	673	849
建築物省エネ法に基づく届出件数	件	69	73	101	144	179
低炭素化の促進に関する法律に基づく認定件数	件	22	39	9	7	3
敷地制限条例に基づく認定等件数	件	3	3	5	4	20

- 2 建築物等の防災・安全対策等に関する事務
- ・不特定多数の人が利用する特殊建築物、特殊建築物の防火設備及び昇降機を所有管理する者は専門技術者に調査させ、結果を市に報告する。
 - ・特殊建築物の立ち入り調査を消防部局と連携して実施し、防火避難規定の適合性を確認する。

【成果】

- ・特殊建築物報告件数132件、防火設備報告件数196件、昇降機報告件数1,841件
- ・特殊建築物の立ち入り調査について、令和5年3月に実施した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
定期報告書の報告件数	件	2,169	2,089	1,799	1,958	1,910
特殊建築物の立ち入り調査件数	件	4	0	0	4	6

- 3 建築基準法による建築確認の審査及び指導等に関する事務
- ・建築基準法及び都市計画法における違反建築等を防止するための建築パトロールを実施し、確認表示板の掲示や適正な工事監理の必要性などの啓発活動を行う。
 - ・建築基準法に基づく確認申請及び計画通知の審査
 - ・都市計画法に基づく地区計画の届出受理
 - ・建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（建設リサイクル法）に基づく届出受理

【成果】

- ・建築基準法による申請・届出の審査を行い、法令を遵守した適法な建築計画へ誘導することによって安全で安心なまちづくりを進めることができた。
- ・令和4年7月、10月及び令和5年1月に実施した建築パトロールにより、違反行為に対する一定の抑止効果があった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
届出件数(リサイクル法、ひとまち条例、地区計画)	件	1,655	1,826	1,671	1,822	2,147
建築確認件数	件	2,234	2,379	2,075	2,293	2,455
建築パトロール点検数	件	325	135	132	407	468
中高層建築物等指導要綱に基づく協議件数	件	96	110	81	106	164
確認審査及び検査件数	件	82	104	100	97	61

4 建築確認支援システムに関する事務

- ・建築確認申請時に添付された建築工事届について、建築着工統計調査を毎月行い、茨城県を経て国へ報告する。
- ・つくば市内の建築確認の処分を行った物件及び新たに建築基準法上の道として判定した道路について、電子データ化を行い、窓口やGISマップ上でそれらの情報提供、建築計画概要書等の写し交付及び台帳記載事項証明書交付等を行う。

【成果】

- ・建築確認に関する情報及び市内全域の建築基準法上における道の判定状況を電子データで管理することにより、建築時において必要な情報を把握し市民へ情報提供することができた。
- ・建築着工統計を報告することにより、建設総合統計、国民経済計算等に活用された。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
建築計画概要書等の写しの交付件数	件	4,119	3,836	3,387	3,267	3,052
建築確認等データの電子化件数	件	2,153	2,658	2,240	2,475	2,675
建築動態調査件数	件	1,999	2,187	1,897	2,113	2,336

5 安全安心な居住環境等の充実を図るための補助金交付事業

- ・建築基準法第42条第2項道路に接する敷地において、道路中心線から2m後退した敷地の部分内にある門塀等を撤去する者に対して、補助金の交付を行う。
- ・災害危険区域内にある既存不適格住宅の移転を行う者に対して、補助金の交付を行う。

【成果】

- ・後退敷地内の門塀等撤去費用の助成を行い、4m未満の道路を解消することにより、交通安全、防災機能等の改善が図られた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
門塀等撤去補助件数	件	9	11	13	6	8

事業名：建築審査会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	12	本年	546				546		324	59.3
				前年	666				666		344	51.6
				比較	120				120		20	-
【参考】前々年度				644		479		165		73	44.0	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	200	旅費	50	需用費	26	負担金補助及び交付金	48
----	-----	----	----	-----	----	------------	----

概要及び成果

1 つくば市建築審査会事業

特定行政庁の諮問機関であり、建築基準法に規定する同意、審査請求に対する審査、裁決を行う。

【成果】

- ・適正かつ円滑な建築審査会の運営を図ることができ、建築物の安全と安心を確保し、社会の要請に的確に応えることができた。

建築審査会の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	4	4	0	2	3

事業名：ホテル等建築審議会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
08	04	09	13	本年	141				141		50	35.6																					
				前年	141		70		71		0.0																						
				比較	0		70		70		50	-																					
【参考】前々年度					164		72		92			0.0																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報酬					40	旅費			10	需用費			0																				
概要及び成果																																	
<p>1 つくば市ホテル等建築審議会に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくば市ラブホテルの建築等規制条例」では、ラブホテル建築禁止区域を定め、ホテル等の用に供する建築物の建築等をしようとするときは、申請書を提出して市長の確認を受けなければならない。 ・この条例の施行に関する重要事項を調査審議するため、つくば市ホテル等建築審議会を置く。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラブホテルの建築等を制限し、健全な生活環境の保全及び青少年の健全な育成が保たれた。 <p>ホテル等建築審議会の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>件</td> <td>報告件数:3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>諮問件数:1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	開催回数	回	1	0	0	1	1	内容	件	報告件数:3	0	0	諮問件数:1	0
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
開催回数	回	1	0	0	1	1																											
内容	件	報告件数:3	0	0	諮問件数:1	0																											

事業名：建築物の耐震化の促進に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
08	04	09	14	本年	4,206		500		3,706		3,706	100.0																												
				前年	3,003		848		2,155		2,155	100.0																												
				比較	1,203		348		1,551		1,551	-																												
【参考】前々年度					3,140		1,727		1,413		100.0																													
節別支出済額(単位:千円)																																								
委託料					2,540	負担金補助及び交付金			1,166																															
概要及び成果																																								
<p>1 つくば市耐震改修促進計画に基づく事業</p> <p>木造住宅耐震診断士派遣事業、木造住宅耐震改修費補助事業、民間の住宅及び特定建築物の所有者に対して耐震化への啓発活動、危険ブロック塀の撤去補助事業</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断士派遣事業に10件の申し込みがあり、耐震診断士を派遣 ・木造住宅耐震改修費補助事業に1件の申し込みがあり、耐震改修完了 ・危険ブロック塀の撤去補助事業に7件の申し込みがあり、危険ブロック塀の撤去完了 ・民間の住宅及び特定建築物の耐震化について啓発活動を実施 <p>建築物の耐震化の促進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木造住宅耐震診断士派遣事業</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修補助事業</td> <td>棟</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀の撤去補助事業</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	木造住宅耐震診断士派遣事業	件	10	7	4	4	6	木造住宅耐震改修補助事業	棟	1	1	0	0	1	危険ブロック塀の撤去補助事業	件	7	5	5	-	-
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
木造住宅耐震診断士派遣事業	件	10	7	4	4	6																																		
木造住宅耐震改修補助事業	棟	1	1	0	0	1																																		
危険ブロック塀の撤去補助事業	件	7	5	5	-	-																																		

事業名：駐車場・駐輪場に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	10	11	本年	79,595		505		80,100		72,250	90.2
				前年	112,246		6,206		106,040		98,426	92.8
				比較	32,651		6,711		25,940		26,176	-
【参考】前々年度				117,694		2,014		115,680		113,668	98.3	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	5,265	役務費	128	委託料	40,608	使用料及び賃借料	25,037
工事請負費	874	備品購入費	311	償還金利子及び割引料	27		

概要及び成果

1 駐車場、駐輪場維持管理事業

- (1)つくば駅・研究学園駅・みどりの駅前駐車場の自転車駐車場維持管理を行う。<管制装置>
(2)つくば駅周辺自転車等駐車場(計17箇所)の施設管理、施設清掃、設備保守点検等を行う。
(3)研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅前自転車等駐車場施設管理、施設清掃、設備保守点検等を行う。
(4)放置自転車等の防止指導及び撤去を行う。
(5)施設の修繕を行う。

【成果】

(1)～(4)

自転車駐車場の維持管理、放置自転車の撤去、自転車駐車場の管制装置の管理を適正に実施したことにより、安全・安心な環境を提供できた。

(施設管理・委託14件 約40,608千円、管制装置賃借19件 約25,038千円)

(5)施設修繕工事を実施し、安全・安心な環境を提供できた。(5件 972千円)

つくば駅周辺自転車等駐車場利用状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
収容台数	台	3,431	3,431	3,395	3,395	3,395
利用台数(日平均)	台	2,670	2,436	2,296	2,885	2,928
利用率	%	78	71	67	85	86

放置自転車等の防止指導実務実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
警告件数	件	1,831	2,331	2,508	3,334	4,013
口頭指導件数	件	610	594	574	706	691

事業名：沿線コミュニティ支援に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	04	11	11	本年	2,344				2,344		1,920	81.9	
				前年	2,344				2,344		1,937	82.6	
				比較	0				0		17	-	
【参考】前々年度					2,435		765		1,670		1,432	85.8	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費					59	負担金補助及び交付金			1,861				
概要及び成果													
<p>1 つくばエクスプレス沿線コミュニティ補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会においては、視察研修や各種勉強会を実施することにより、住みよいまちづくりに向けた知識の習得、清掃や防犯活動を通じた安心安全な住環境の創出を図る取組みなどについて支援を行う。 ・各駅前イルミネーション実行委員会においては、イルミネーションの装飾や点灯式の開催にあたり必要な支援を行う。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島名地区まちづくり協議会においては、交付した補助金を活用し、沿線開発区域内及び周辺区域において植樹を行い景観形成を推進した。また、市民主体のまちづくりをテーマに講演会を開催し、他自治体での事例について理解を深めた。 ・駅周辺の住民が組織する各駅前イルミネーション実行委員会を中心にイルミネーションの装飾が行われ、住民同士が交流する機会を創出した。 													

事業名：景観緑地のある住宅地に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
08	04	11	12	本年	5,950			1,785	7,735		7,036	91.0			
				前年	6,064				6,064		5,478	90.3			
				比較	114			1,785	1,671		1,558	-			
【参考】前々年度					6,243				6,243		5,574	89.3			
節別支出済額(単位:千円)															
旅費					5	需用費			13	役務費		2	委託料		1,785
使用料及び賃借料					5,231										
概要及び成果															
<p>1 景観緑地のあるまちづくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者は管理組織を結成し、市が承認した整備・管理計画書に基づき緑地を整備・管理する。 ・市は、計画書に基づいて整備された緑地の所有者と「地上権設定契約」を締結し、景観緑地を設置する。 ・管理組織は、市からの地代をもとに景観緑地の管理を行う。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくらの森で6区画、流星台で1区画と地上権設定契約内容の承継に関する契約を締結した。 ・春風台の景観緑地に係る訴訟について、弁護士や市法務課と準備書面作成等の対応を行った。 															

事業名：つくばエクスプレス利用促進に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	13	本年	158				158		123	78.1
				前年	158				158		113	71.3
				比較	0				0		10	-
【参考】前々年度					215		85		130		119	91.6

節別支出済額(単位:千円)

旅費	14	需用費	10	負担金補助及び交付金	100
----	----	-----	----	------------	-----

概要及び成果

1 つくばエクスプレス利便性向上事業

沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。

【成果】

各団体との協議

11都市TX沿線都市連絡協議会

5月 総会(オンライン)

8月 第1回幹事会

10月 協議会イメージアップ事業第1回茨城県ブロック検討部会

1月 協議会イメージアップ事業第2回茨城県ブロック検討部会

2月 第2回幹事会

TX沿線7市首長懇談会

5月 担当課長会議(書面協議)

7月 首都圏新都市鉄道株式会社への要望書提出

8月 首長懇談会

11月 都心・臨海地下鉄新線推進大会

2月 首都圏新都市鉄道株式会社への要望書提出

(東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続について)

茨城県TX三市推進協議会

6月 幹事会

7月 総会

2月 茨城県及び首都圏新都市鉄道株式会社への要望書提出

茨城県TX等整備利用促進協議会(県交通政策課事務局)

6月 幹事会(書面協議)

7月 国土交通省への要望書提出

7月 総会(書面協議)

TX利用者推移(駅別一日平均乗車人員)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
みどりの駅	人	4,800	4,000	3,300	4,900	4,700
万博記念公園駅	人	3,200	2,600	2,200	3,300	3,200
研究学園駅	人	6,800	5,600	4,800	7,400	7,400
つくば駅	人	15,400	12,600	10,700	18,700	18,800
合計	人	30,200	24,800	21,000	34,300	34,100

事業名：圏央道推進に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	12	11	本年	584,058	80,172	7,805		656,425	87,506	568,167	99.9
				前年	137,030	138,731	32,576		243,185	80,172	105,935	76.5
				比較	447,028	58,559	24,771		413,240	7,334	462,232	-
【参考】前々年度				363,326	20,200	116,586		266,940	138,731	116,220	95.5	
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		6,050	公有財産購入費	207,712	負担金補助及び交付金	354,406						
概要及び成果												
<p>1 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（（仮称）つくばスマートIC） （仮称）つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路株式会社と基本協定を締結し、早期の供用開始に向けて、国・関係機関と連携を図りながら、東日本高速道路株式会社とともに事業を進めている。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本高速道路株式会社は、市と締結した年度契約に基づき、圏央道本線から一般道接続部までの切盛土工の工事に着手した。 ・市は、東日本高速道路株式会社との用地事務委託協定に基づく用地買収8,194.7㎡を実施し、全用地の取得を完了した。 												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
用地取得		㎡	8,194.7	941.1	14,608.7	-	-					

事業名：つくばエクスプレス関連土地区画整理事業に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	13	11	本年	89,871	63,000			152,871	64,165	88,586	99.9
				前年	100,263	96,480			196,743	63,000	133,603	99.9
				比較	10,392	33,480			43,872	1,165	45,017	-
【参考】前々年度				148,786	147,455	10		296,231	96,480	199,604	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		37	委託料	99	負担金補助及び交付金	88,450						
概要及び成果												
<p>1 つくばエクスプレス沿線まちづくり事業 毎年度、茨城県とつくば市とで、都市計画道路のうち将来市道となる部分の整備に要する費用負担協定書を締結し、負担金の支払いを行う。なお茨城県は、国の補助金と市からの負担金のほか、県費などを活用し土地区画整理事業を施行する。</p> <p>【成果】 都市計画道路（市道）の整備に要する経費の一部を負担した結果、土地区画整理事業の進捗につながった。</p>												

事業名：つくば中央インター北土地区画整理に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	14	11	本年	1,108	31,965			33,073		11,843	35.8
				前年	20,208	11,895	9,942		42,045	31,965	54	76.2
				比較	19,100	20,070	9,942		8,972	31,965	11,789	-
【参考】前々年度				10,265	53,566	134		63,697	11,895	30,295	66.2	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				53	委託料		1,792	負担金補助及び交付金	9,998			
概要及び成果												
<p>1 つくば中央インター北土地区画整理に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施行面積：69.3ha、施行場所：手代木、柳橋、新井、山中、島の各一部、地権者数：251人 ・ つくば市土地区画整理組合助成規則第5条に基づき、準備組合運営費や組合の設立認可に必要な図書の作成費及びこれに伴う測量調査設計費の補助金交付を行う。 ・ 土地区画整理法第75条第1項に規定する技術的援助を実施する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組合設立に向けた事業推進体制を強化するため、事務局業務を市が行うことで事業促進が図られた。 ・ 準備組合運営費や組合の設立認可に必要な測量、調査設計費に係る補助金を交付することにより、事業促進が図られた。 												

事業名：住宅維持管理に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	01	11	本年	120,844		5,000		115,844		111,688	96.4
				前年	115,698				115,698		109,704	94.8
				比較	5,146		5,000		146		1,984	-
【参考】前々年度					115,731		93		115,638		114,633	99.1

節別支出済額(単位:千円)

旅費	27	需用費	19,176	役務費	1,483	委託料	36,137
使用料及び賃借料	34,781	工事請負費	20,048	負担金補助及び交付金	36		

概要及び成果

1 市営住宅維持管理事業

- ・ 定期的な住宅及び付帯施設の保守点検管理業務、環境維持管理業務
- ・ 生活支障箇所の修繕及び入居時における住宅修繕

【成果】

- ・ 給水施設維持管理や植栽維持管理等の維持管理業務を25件委託し、住宅の環境維持に努めた。
- ・ 住宅修繕・工事を264件（公共施設整備課依頼7件を含む）を行い、生活支障箇所の解消を図るとともに、入居予定の部屋を整備した。
- ・ 委託による残置物処理を4件を行い、入居募集を行えるようにした。
- ・ 定期点検（駒形団地、ひがし谷田川団地、金田住宅）を行い、建物の劣化状況等の把握を図った。

業務委託による市営住宅維持管理の実施件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
維持管理業務委託件数	件	25	25	28	24	22

市営住宅の修繕件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
修繕件数	件	264	254	257	275	220

2 市営住宅入退去管理事務

- ・ 入居募集に伴う事務
- ・ 入居者からの申請に基づく親族の同居や家賃減免等の承認事務
- ・ 退去に伴う事務
- ・ 法令及び条例に基づく家賃の決定及び徴収事務並びに家賃滞納者への徴収事務

【成果】

- ・ 一部業務委託により年4回定期募集を行い、低額所得者へ低廉な家賃の住居を提供した。
- ・ 協定を締結した債務保証会社による法人保証制度を案内し、連帯保証人を立てられない入居希望者の入居機会の確保を図った。
- ・ 収入が減少した入居者からの相談に対し家賃減免や住居確保給付金の案内等を実施し、居住者の負担軽減を図った。
- ・ 一部業務委託により家賃滞納者に対し、納付指導を行い、債権の回収を図った。

市営住宅入居申込件数、新規入居件数及び退去件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
入居申込件数	件	67	56	37	73	69
新規入居件数	件	23	21	16	22	22
退去件数	件	26	30	38	54	46

家賃滞納者対応件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問による納付指導件数	件	1,114	1,123	1,160	1,288	1,378
住宅使用料督促状送付件数	件	1,014	1,144	1,091	1,295	1,420

家賃滞納者対応件数は延べ件数

事業名：住宅政策に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	02	11	本年	301,032		16,009		317,041	63,503	253,099	99.9
				前年	390,926		39,331		351,595	349,094	99.3	
				比較	89,894		55,340		34,554	63,503	95,995	-
【参考】前々年度					247,956		73,545		174,411		172,869	99.1

節別支出済額(単位:千円)

旅費	2	需用費	36	委託料	7,558	工事請負費	235,454
負担金補助及び交付金	9,707	補償・補填及び賠償金	342				

概要及び成果

1 住宅政策事業

- ・住宅セーフティネットの拡大のため、市営住宅以外の選択肢として民間賃貸住宅の活用（情報提供）を促進する。
- ・市内における住生活の質の向上を図るため、つくば市マンション連絡会への支援を行う。
- ・市内の住宅ストックの居住環境の向上及び地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム補助金の交付を行う。
- ・サービス付き高齢者向け住宅の、施設基準の審査及び検査を行う。

【成果】

- ・民間賃貸住宅及びセーフティネット登録住宅の情報提供を行い、低額な家賃の民間賃貸住宅の周知を図った。
- ・住宅リフォーム助成事業について、申請に対し104件の助成金の交付を行った。
- ・住宅確保要配慮者に対して、福祉部門を通じた相談が増え、個別状況に応じた情報提供を行った。
- ・住宅確保要配慮者の対応について、居住支援法人意見交換会で支援法人の活動内容等の情報共有を行った。

つくば市安心安全リフォーム補助金の交付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
補助金交付件数	件	104	50	58	-	-

2 市営住宅長寿命化計画実施事務

- ・社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、長寿命化計画に位置付けられた市営住宅改修設計及び工事を行う。
- ・社総交の要望及び交付金受領に係る申請事務
- ・市営住宅の用途廃止に伴う事務

【成果】

- ・社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、浴室のユニットバス化改修の設計、工事を行い、住宅の居住性向上を図った。（ひがし谷田川団地5号棟及び大砂住宅浴室改修工事、金田住宅及び台町団地浴室改修設計）
- ・社総交を活用し、屋根及び外壁、排水管改修工事及び設計を行い、住宅の長寿命化を図った。（ひがし谷田川団地3～5号棟屋根・外壁改修工事、駒形団地1・2号棟排水管改修工事）
- ・社総交を活用し、市営住宅の用途廃止に伴う解体工事設計（小沢団地）を行った。
- ・戸ノ山団地給水施設改修設計を行い、付帯設備更新による住宅の長寿命化を図った。

事業名：消防総務に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	11	本年	51,636			1,600	50,036		47,293	94.5
				前年	40,332		1,192		39,140		35,303	90.2
				比較	11,304		1,192	1,600	10,896		11,990	-
【参考】前々年度					48,368		4,903		43,465		38,833	89.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	650	報償費	534	旅費	1,492	交際費	33
需用費	27,337	役務費	760	委託料	5,421	負担金補助及び交付金	11,066

概要及び成果

1 消防職員教育訓練研修事業

県立消防学校、消防庁消防大学校及び救急救命研修所等への委託研修を実施、さらに労働安全衛生法に基づく研修を受講させる。

【成果】

教育計画に基づく入校研修が実施でき、研修において新たな知識及び技術を習得することができた職員により、他の職員へのフィードバック及び情報共有を行うことができた。

消防庁消防大学校

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
幹部科	人	1	0	0	0	0
救助科	人	1	0	0	0	0
危険物科	人	0	0	1	1	0
火災調査科	人	0	1	0	0	0
緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース	人	0	1	1	1	0
緊急消防援助隊教育科NBCコース	人	0	0	0	1	0
高度救助・特別高度救助コース	人	0	0	1	0	1
査察マネジメントコース	人	0	0	0	0	1
女性活躍推進コース	人	0	1	0	0	1

茨城県立消防学校

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
初任科	人	19	13	14	22	30
特殊災害科	人	3	3	0	3	2
火災調査科	人	3	2	2	1	1
救助科	人	3	3	3	3	2
救急科	人	7	8	2	4	3
予防査察科	人	0	3	0	1	0
危険物科	人	3	0	3	0	1
警防科	人	3	3	3	2	1
操法指導研修会	人	1	0	0	1	1

茨城県救急業務高度化推進協議会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
処置拡大研修	人	0	0	0	0	2
気管挿管再教育講習会	人	0	0	0	5	1
基本特定行為再講習	人	6	0	7	2	4

救急救命研修所

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
救急救命士新規養成研修	人	1	0	0	1	1
指導的救命士養成研修	人	2	0	1	1	1

地方公務員安全衛生推進協会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消防職員安全衛生研修会	人	3	0	0	4	4

量子科学技術研究開発機構 医療部門放射線医学総合研究所

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
NIRS放射線事故初動セミナー	人	3	3	2	0	0

陸上自衛隊化学学校

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
化学災害担当職員等教育訓練	人	0	1	0	0	0

警察庁科学警察

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
化学災害研修	人	0	1	0	0	0

茨城県危険物安全協会連合会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
危険物取扱者保安講習会	人	3	0	5	3	3

筑波大学

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
惨事ストレス初級研修	人	2	1	1	2	2

2 消防職員の健康管理事業

職員に対して健康診断及びストレスチェックを実施する。

現場活動を行う職員を対象として、B型肝炎抗原抗体検査を実施し、抗体陰性者に対しワクチンを接種する。

【成果】

健康診断及びストレスチェックにより、職員の健康状態の把握による健康管理体制を構築できた。また、交替制勤務者に対し特定業務従事者検診で各種検査を実施することで、健康管理を促すとともに組織における安全管理体制が確立できた。

3 消防吏員被服整備事業

規則に基づき消防吏員に対し災害現場活動又は事務執行時に適した被服品を貸与し、職務遂行時の消防吏員としての規律と品位を保持する。

【成果】

年間を通して被服給貸与品の業者との契約締結及び年2回の新規採用者に対し、適切な被服品の給貸与管理ができた。また、規程規則に基づいた被服給貸与品の新規・廃棄契約及び品種の変更調整等適切に業務遂行できた。

4 消防職員委員会運営事業

消防職員の中から推薦又は消防長から指名された計18人で構成された委員会で、消防職員から提出された意見に対し審議し、審議結果及び意見を消防長に提出する。消防長は意見の趣旨を尊重し実施することが適当であると認められるものについて、予算要求・調整を行う。

【成果】

適切に制度を運用し、職員の意見を消防事務に反映することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消防職員委員会審議数	件	1	3	4	4	3

5 消防統計、消防年報の編集発行事務

全国規模の消防統計調査におけるつくば市の消防現勢等を全国消防長会及び総務省消防庁へ回答する。
消防年報を編集発行し、つくば市ホームページへの掲載及び図書館等に冊子を提供する。

【成果】

各統計調査について、調査期日までに調査結果を報告することができた。

また、消防年報をホームページに掲載することで、市民及び庁内への適切な情報提供を行うことができた。

事業名： 予防広報業務に要する経費

消防本部 予防広報課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	12	本年	4,017				4,017		3,480	86.6
				前年	3,304				3,304		2,858	86.5
				比較	713				713		622	-
【参考】前々年度					4,352		776		3,576		2,527	70.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	468	旅費	234	需用費	1,292	役務費	75
備品購入費	979	負担金補助及び交付金	433				

概要及び成果

1 住宅用火災警報器設置促進事業

普及促進事業として、市ホームページ、市民べんり帳への掲載及び各種イベントや消防訓練、救急講習での広報活動並びに住宅への戸別訪問を実施して住宅用火災警報器の設置目的、重要性、機能及び奏功事例について説明し、設置の促進活動を実施する。併せて、設置義務となつて10年以上経過していることから、設置済み住宅については、電池交換、機器交換等の適切な維持管理について周知し持続的な設置を図っていく。

【成果】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、戸別訪問が中止となり、各イベント等も中止または縮小となったが、横断幕の設置、TX駅構内及び路線バスでのポスター掲示、並びにホームページ等での設置、維持管理に係る市民への広報や、消防訓練及び救急講習会等でリーフレットや奏功事例を活用した広報を実施した。

2 幼年・少年消防クラブ及び女性防火・防災クラブ指導育成事業

花火教室を開催して、花火の正しい遊び方を身につけさせる。
避難訓練を実施し、団体行動としての適切な避難要領を指導する。
消防署の見学を通して、消防の仕事に対する理解を高めてもらう。

【成果】

消防訓練や消防署見学を通じて、幼児・児童等に火災の恐ろしさ、火災時の適切な避難行動を伝えることにより、火遊びはしない等の正しい火の取り扱いに対する意識づけを行うことができた。
花火教室は実施できたが、イベント等への参加は中止になった。

3 防火・防災管理講習会事業

事業所等を対象とした防火・防災管理者の資格者養成のための講習会を適時開催する。

【成果】

それぞれの講習会を開催することにより、資格者を養成し、事業所における防火・防災管理の重要性を認識させることができた。一方で、新型コロナウイルス感染症に伴い、各講習会で受講人数の制限を行った。

防火・防災管理等各講習会 5回 修了証交付者 176人

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
甲種防火管理者資格取得者数	件	67	12	14	173	157
乙種管理者資格取得者数	件	-	62	0	56	47
防災管理者資格取得者数	件	30	24	24	26	46
甲種防火管理者再講習受講者数	件	53	51	19	28	32
防災管理者再講習受講者数	件	26	20	21	30	22

4 火災調査等事業

火災発生の原因及び損害の調査を実施し、消防庁に報告を行うとともに、関係者に対しり災に関する証明書の交付を行う。

【成果】

火災原因調査を実施することで、出火原因等の究明につながり、火災予防対策に役立てることができた。また、り災証明について、申請者の求めに対し、即時交付することができた。

火災件数 62件（歴年）

り災証明発行数 56件

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
り災証明発行件数	件	56	85	67	40	75

5 建築物等に対する消防同意、消防検査及び立入検査事業

建築物及び危険物施設等の立入検査、消防検査及び消防同意により、火災発生の未然防止と被害の軽減を図る。

【成果】

立入検査により、関係者に対する防火・防災意識の高揚が図れた。消防用設備等の検査及び検査済証の交付により、消防法令の遵守が図れた。消防同意により、消防法令適合と防火安全対策の確保が図れた。

立入検査実施数920件（うち危険物施設378件、火薬類2件）、検査済証交付数321件、消防同意数363件

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
防火対象物立入検査	件	540	468	468	423	549
危険物施設立入検査	件	378	173	152	300	338
消防用設備等検査済証交付件数	件	321	289	350	422	389
消防同意件数	件	363	380	344	409	529

6 火災予防広報事業

市内で行われる各種イベントや、火災予防運動週間等における火災予防広報の実施及び年間を通した消防訓練や消防音楽隊による啓発活動の実施する。

【成果】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策から各イベント等が中止または規模縮小となったため、消防音楽隊による火災予防広報活動は、つくばマラソン、つくば市民の日式典参加の2回となった。火災予防運動週間等における火災予防広報、消防訓練時に火災予防広報を実施し市民の防火・防災意識の高揚が図れた。消防訓練時の火災予防広報数（266回）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自衛消防訓練、防火講和等出向件数	件	266	231	157	419	459

7 危険物施設調査事業

危険物及び火薬類関係施設等において発生した災害、事故の調査及びつくば市内における危険物及び火薬類関係施設等の統計調査を行いオンラインにて関係機関に報告する。

調査結果に基づき再発防止等の効果的な保安指導及び統計調査による施設等の実態を把握する。

【成果】

前年度における危険物施設及び火薬類関係施設の実態（統計）調査及び事故発生状況（危険物施設において事故1件発生）の調査を行い、関係機関に報告した。

また、危険物・火薬類施設に立入検査を行い維持管理状況等を確認した。

8 危険物製造所等許認可事業

消防法第11条による製造所等の設置・変更許可申請及び第14条の2による予防規程の認可申請等並びに火薬類取締法第17条第1項による譲受・譲渡許可及び第25条第1項による煙火・譲受消費申請に対して、法令上の基準に適合し、かつ、貯蔵・取扱い等が公共の安全の維持又は、災害の発生の防止に支障を及ぼす恐れがないかを審査し許認可等を行う。

【成果】

危険物の許認可申請・火薬類に関する申請等については、法令に基づき適正に処理を行い、施設や煙火の消費場所の安全を確保した。

危険物設置・変更許可59件、予防規程の認可22件、火薬類譲受・譲受7件、煙火消費許可10件

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
危険物施設の設置・許可件数	件	59	56	61	64	66
予防規定の認可件数	件	22	12	17	20	0
火薬類の譲受・譲渡件数	件	7	5	5	22	21

9 つくば市消防音楽隊制服の更新

制服更新計画を作成し計画に沿って一定数の制服を更新する。

【成果】

平成30年度に制服38着を更新したため、平成31年度（令和元年度）から休止中である。

事業名：警防業務に要する経費

消防本部 消防救助課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	13	本年	36,040		1,931		37,971		36,086	95.0
				前年	20,607	721	2,591	960	24,879	22,169	89.1	
				比較	15,433	721	660	960	13,092	13,917	-	
【参考】前々年度					48,029		2,571		50,600	721	45,926	92.2

節別支出済額(単位:千円)

旅費	552	需用費	10,099	役務費	181	委託料	3,233
使用料及び賃借料	126	原材料費	239	備品購入費	21,603	負担金補助及び交付金	53

概要及び成果

1 消防機器整備事業

火災、災害、救助活動時における必要な資機材や装備品の保守点検及び購入を計画的に実施するとともに、修繕等にあつては、現場に支障をきたさないよう迅速に対応する。

【成果】

消防用資機材、救助用資機材、各装備品の保守点検を計画的に実施し、経年劣化及び頻度が著しい資機材は新しく購入したことにより、災害等に対する確実な対応力を保持することができた。

2 各種災害統計事業

火災出動、災害出動、救助出動に関して年間統計を取りまとめ、国等へ定期報告及び市民へ公表する。

【成果】

統計や算出した資料を、つくば市ホームページから市民に公表することにより、防火意識の高揚が図られた。

災害等出場状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
火災	件	92	73	54	61	76
救助	件	178	171	143	159	170
災害	件	457	373	446	465	535

3 大規模災害対応訓練事業

大規模災害対応訓練に参加する他、各種災害対応訓練を企画し実施する。

【成果】

緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡県開催地)、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(埼玉県開催地)、茨城県高速自動車道等消防協議会総合訓練(常総市開催地)に参加し、近隣並びに全国の各関係機関と合同訓練を実施し、連携体制の強化が図られた。警防本部設置訓練及び庁舎移転訓練を実施し、風水害発生時における組織の災害対応力を高められた。

4 消防隊員用防火服更新事業

消防隊全員の防火服を点検し、その状態並びに職員の採用等を把握し、ガイドラインの安全基準に沿った消防隊員用防火服更新計画を立て実施する。

【成果】

計画どおりに消防隊員用の防火服を更新できたことで、消防隊員の安全確保と充実強化を図ることができた。

毎年、防火服の購入を30着程度計画している。

5 特殊災害対策事業

特殊災害（NBC災害を含む）の発生危険を想定して、関係機関、若しくは単独で訓練を実施。また、茨城県内の消防職員に対し、特殊災害の訓練指導を実施した。

NBC災害とは、核（Nuclear）生物（Biological）化学物質（Chemical）による特殊災害である。

【成果】

解毒剤自動注射器のインストラクター講習を受講した4名の職員にて、緊急消防援助隊NBC対応即応部隊である本部指揮隊、中央消防署特別高度救助隊員及び特殊災害対応部隊である北消防署、南消防署の特別救助隊員に対して解毒剤自動注射器に関する教養及び取扱要領の訓練を実施した。茨城県立消防学校の救助科及び特殊災害科の学生に対して特殊災害に関する講義及び訓練指導の教育支援を行った。

事業名：消防指令業務に要する経費

消防本部 消防指令課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	14	本年	75,902		1,481	900	73,521		73,021	99.3
				前年	78,412		7,330		71,082		70,000	98.5
				比較	2,510		5,849	900	2,439		3,021	-
【参考】前々年度					65,623		10,494		55,129		53,825	97.6

節別支出済額(単位:千円)

旅費	2	需用費	2,509	役務費	8,402	委託料	24,642
使用料及び賃借料	4,481	備品購入費	13	負担金補助及び交付金	32,971		

概要及び成果

1 消防指令業務

高機能消防指令センターにて音声による119番通報受付の他、日本語が話せない外国人に対応した多言語コールサービス（英語、他20言語）の利用、更に音声通話が困難な方に対するNET119やFAX119及び電話リレーサービスを含む緊急通報システムにより、全ての市民が円滑に消防への通報を可能にすることで、迅速な災害対応を図る。併せて、救命率向上を図るため、応急手当の口頭指導を実施する。

【成果】

多言語コールサービスの利用、NET119やFAX119及び電話リレーサービスを含むシステムの活用により、通報者への適切な対応がとれた。FAX119登録者との通報訓練を実施し、通信状態の確認がとれた。既存データの見直しや新規データの投入により、速やかな災害現場特定につながり指令管制業務の強化が図れた。

119番着信件数 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
火災	件	105	116	98	102	110
救急	件	11,009	9,070	7,734	8,826	9,207
救助	件	128	124	96	95	82
災害	件	435	393	358	405	461
その他 2	件	3,457	3,733	3,314	3,668	3,711

多言語コールサービスの対応言語別通報件数 3

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
英語	件	20	14	11	16	6
中国語	件	1	3	3	1	0
その他の言語	件	2	2	0	0	0

音声以外の緊急通報件数 4

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
NET119 5	件	1	1	6	3	3
FAX119 6	件	17	17	29	31	31
電話リレーサービス 7	件	0	1	-	-	-

- 1 119番着信件数のため、実際の火災・救急・救助・災害の件数とは異なる。
- 2 その他は、まちがい・同報・問い合わせ・試験等
- 3 多言語コールサービスは平成30年5月14日運用開始、通訳を介した三者間通話で対応した通報件数
- 4 試験通報を含む。
- 5 NET119は平成30年12月1日運用開始
- 6 FAX119は平成11年10月1日運用開始
- 7 電話リレーサービスは令和3年7月1日運用開始

2 防災通信システムの運営管理事業

高機能消防指令センターの指令システムに、目標物、水利情報及び災害弱者情報等のデータ入力や見直しを行うことで、迅速な現場把握と出場指令運用を可能にするとともに、定期点検整備の実施により適正に維持管理を行う。

【成果】

指令システムの通常・精密点検を計画的に実施したことで、適正な指令管制業務の運用が図れた。指令システム用データベースの見直しで、災害等の現場特定が容易となり、迅速な対応がとれた。部分更新にて導入した非常用の地図検索・自動編成装置を活用した取扱い訓練を実施し、119番迂回時における危機管理の強化が図れた。

3 消防救急デジタル無線の共同運用及び通信施設・機器等の管理運用事業

茨城消防救急無線・指令センター運営協議会と共同にて無線整備等の調査、検討を図るとともに、消防救急無線基地局、遠隔制御器、車両移動局無線機、携帯無線機等の点検整備を行う。

【成果】

茨城消防救急無線・指令センター運営協議会 2 回、幹事会 2 回にオブザーバーとして参加。総務部会 2 回、共同運用検討部会 6 回の協議を実施した。

無線基地局、及び遠隔制御器、車載無線機42台、携帯無線機42台、可搬型移動局無線機 3 台、卓上型固定移動局無線機 9 台、署活動系携帯無線機82台の毎月点検を実施した。

事業名：救急業務に要する経費

消防本部 救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	15	本年	12,377			86	12,291		11,424	92.9
				前年	12,376		7,560	43	19,893		18,228	91.6
				比較	1		7,560	43	7,602		6,804	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

旅費	41	需用費	6,900	役務費	107	委託料	3,764
使用料及び賃借料	26	負担金補助及び交付金	586				

概要及び成果

1 救急機器整備事業

救急活動時に必要な資器材の点検、修繕及び救急用消耗品の購入を年度計画に基づいて実施する。

【成果】

救急活動時に必要な資器材の点検、修繕及び救急消耗品の購入がほぼ計画どおりに実施できた。

救急自動車の資器材点検と消耗品の補充

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高規格救急自動車	台	9	9	-	-	-

2 救急教育研修事業

病院研修や学会発表を通じて、救急業務に携わる職員への医学的な質の向上を図る。

【成果】

各医療機関の協力により、年度当初の予定どおりに病院実習、気管挿管研修、就業前研修を行えた。

救急救命士の研修

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
病院実習	人	64	55	-	-	-
気管挿管研修	人	5	4	-	-	-
就業前研修	人	8	7	-	-	-

3 救急講習会開催事業

市民を対象に応急手当の講習会を開催し救命率の向上を目指すとともに、救急現場で応急手当を実施してくれた市民にサンキューカードを配布する。また、応急手当指導員と応急手当普及員を養成する。

【成果】

昨年に続き、感染予防対策を取った上で救急講習会を実施したことで、各コースとも受講者数は増加した。また、応急手当を実施してくれた勇気ある市民へのサンキューカードも昨年以上に配布できた。

応急手当受講者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
普通救命講習	人	1635	626	-	-	-
普通救命講習	人	1	0	-	-	-
普通救命講習	人	758	701	-	-	-
上級救命講習	人	0	0	-	-	-
救命入門コース	人	473	210	-	-	-
その他の救命講習	人	427	272	-	-	-

応急手当指導員と応急手当普及員の養成

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
養成数	人	22	1	-	-	-

サンキューカード

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配布状況	枚	35	13	-	-	-

事業名：非常備消防運営に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	11	本年	164,625		25,748		138,877		126,929	91.4
				前年	162,325		12,749		149,576		120,002	80.2
				比較	2,300		12,999		10,699		6,927	-
【参考】前々年度					167,604		15,262		152,342		138,643	91.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	40,463	報償費	23,945	旅費	23,533	交際費	70
需用費	6,148	役務費	3,563	委託料	504	使用料及び賃借料	84
負担金補助及び交付金	28,618						

概要及び成果

1 消防団管理運営事業

地域の安全と安心を守る消防団が、災害対応や警戒及び点検等の活動を適切に実施できるよう、組織や団員の状況を十分に把握し円滑な運営を図る。

【成果】

令和5年度から消防団員の処遇改善を図るため、休団制度の制定、報酬額の見直し及び費用弁償等について条例改正を行った。

消防団活動としては、災害活動の他、火災予防啓発活動として、令和4年12月から翌年2月にかけて、市内全域で夜間警戒活動を実施した。

消防団

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
分団数	分団	47	47	47	47	48
団員	人	961	999	1,021	1,048	1,074
火災等出動件数	件	83	94	82	73	92
出動人員	人	2,113	2,386	2,884	2,318	3,198
警戒等	回	547	422	1,112	695	554
出動人員	人	1,641	1,266	3,329	2,094	1,706

2 消防技術向上事業

消防団員の強固な消防精神を養成し、厳正な規律と旺盛な士気のもとに教育訓練を行い、消防知識の向上と技能の高度化に努め、消防体制の強化を図ることで災害に対し迅速かつ適正な活動が可能となる。

【成果】

消防団員の消防技術の習得及び組織強化のため、各種訓練及び行事を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった行事もあった。その中で、新分団長・3年未満団員規律訓練、幹部訓練及び全国火災予防運動に合わせて行う秋季点検については、感染防止対策を十分に講じて実施することができた。

また、出初式についても、感染防止対策を徹底し、規模を縮小して開催することができた。

女性分団の救急講習会及び幼児防火教室も中止となったが、再開に向け練習を行った。

各種訓練

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新分団長及び3年未満団員規律訓練	人	66	0	0	112	117
幹部規律訓練(班長以上)	人	192	0	0	216	206
消防ポンプ操法訓練	人	0	0	0	延2,923	延3,112
消防ポンプ操法県南北部地区大会	支団	0	0	0	6	6
秋季点検	人	391	360	379	480	約1,000
出初式	人	229	230	0	約800	約1,000
救急講習会指導(女性消防団)	人	0	0	0	延278	延263
幼児防火教室(女性消防団)	人	0	0	延10	延65	延45

事業名：地域防災推進に要する経費

市長公室 危機管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
09	01	02	12	本年	228,250	18,155	4,644		241,761	39,084	196,779	97.6		
				前年	121,534	9,020	319		130,873	18,155	104,558	93.8		
				比較	106,716	9,135	4,963		110,888	20,929	92,221	-		
【参考】前々年度					98,533	4,935	65,222		168,690	9,020	152,226	95.6		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					3,600	旅費		233	需用費		21,315	役務費		2,384
委託料					10,037	使用料及び賃借料		3,336	工事請負費		145,036	備品購入費		5,336
負担金補助及び交付金					5,503									
概要及び成果														
<p>1 防災設備整備等関連事業 防災関連設備（防災行政無線、災害・防災メールの情報伝達手段や防災井戸等）の整備及び維持管理を行う。 交通手段の断絶や流通機構の停止等により、物資供給に大きな支障が生じるおそれがあるため、災害発生から3日間程度の物資確保を行う。 指定避難所（公共施設）の看板の整備及び非常用発電機の配備を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル防災行政無線について、荃崎地区（森の里、自由ヶ丘、上岩崎、泊崎、大舟戸、あしび野、細見）に令和3年度に7基設置し、令和4年度から運用を開始 ・2万人の3食3日分程度の食料、飲料水の備蓄を維持 ・指定避難所について、JIS規格に準拠したデザインの看板を整備 74箇所 交換71箇所（140枚）、新設3箇所（3枚） ・研究学園小中学校、香取台小学校へ災害用井戸及び施設の非常用発電機を整備 ・学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校（旧 筑波西中学校）に既設災害用井戸を使用するための非常用発電機を整備 														
<p>2 自主防災組織・地域防災活動支援事業 組織発足の際の支援や資機材購入の一部補助等を行う。 災害への備え（備蓄や家具の転倒防止、災害情報の収集など）の重要性について防災イベント等により啓発する。 出前講座、学校での啓発活動、地域等からの相談内容に応じた研修等を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動育成事業補助金 5団体 運営支援等補助金 1団体 資機材等補助金 4団体（資機材 2団体、土のう 2団体） ・商業施設において防災イベント等を実施 2回 防災イベント 1回、パネル展示 1回 ・シェイクアウト訓練の実施 1回（令和4年9月） 149団体 42,345名参加 ・出前講座を実施 29回（オンライン開催を含む。） 														
<p>3 地域防災計画事業 国・県の「防災基本計画」及び「地域防災計画」の改定や通達、ガイドラインを受け、地域防災計画の見直し等を行う。 東日本大震災、竜巻災害の経験等を反映させ、つくば市の防災体制を強化する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税課、資産税課、市民税課、社会福祉課と共同で、被災者生活再建システム運用のための訓練を実施 2回（令和4年7月、12月） ・茨城県と連携して、災害時外国人支援研修を実施 1回（令和5年1月） 														

事業名：国民保護に要する経費

市長公室 危機管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	13	本年	65				65		4	6.4
				前年	65				65		5	7.6
				比較	0				0		1	-
【参考】前々年度				80		14		66		10	14.9	
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					4							
概要及び成果												
<p>1 国民保護計画事業</p> <p>国民保護法に基づき、大規模テロや武力攻撃事態等が発生した場合において、国民の生命、身体及び財産を保護するとともに、国民生活に及ぼす影響が最小となるよう万全な態勢を整備し、的確かつ迅速に対応する。</p> <p>【成果】</p> <p>安否情報システム等を用いて、国民保護法及び災害対策基本法に基づく安否情報事務が円滑に出来るよう、システムの理解促進、操作習熟を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否情報システム全国一斉訓練実施 (令和4年6月、11月 計2回) ・全国瞬時警報システム(Ｊアラート)研修会の受講 (令和4年5月 計1回) ・全国瞬時警報システム(Ｊアラート)全国一斉情報伝達訓練実施 (令和4年5月、8月、11月、令和5年2月 計4回) ・Em-Net導通試験実施 (毎月1回 計12回) 												

事業名：常備消防施設に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	11	本年	122,965			4,400	127,365		116,778	91.7
				前年	389,400				389,400		301,282	77.4
				比較	266,435			4,400	262,035		184,504	-
【参考】前々年度				103,777		6,541		110,318		99,012	89.8	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	43,196	役務費	3,457	委託料	15,918	使用料及び賃借料	12,035
工事請負費	39,705	原材料費	58	備品購入費	2,213	公課費	196

概要及び成果

1 消防庁舎施設維持整備事業

消防庁舎の施設及び設備の整備改修

必要な工事に対して優先順位をつけ、計画的に実施するとともに、突発的な庁舎等の施設及び設備の改修・修繕について必要性・重要度を考慮し対応する。

【成果】

事業計画された修繕及び突発的に発生した庁舎施設等の不具合に対し修繕を実施し、庁舎の健全な機能を保持し、良好な職場環境を維持管理することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
床・窓清掃	件	8	8	16	16	16
空調設備点検	件	16	16	16	16	16
給水設備点検	件	60	60	60	60	60
電気工作物点検	件	36	36	36	36	30
浄化槽点検	件	12	12	12	12	12
工事件数	件	8	11	6	4	1
修繕件数	件	22	32	24	23	27

2 消防事務連絡車維持管理事業

消防事務車両の車検整備を行うとともに、各種修繕を行い公用車の安全運行を確保する。

【成果】

車検整備及び法定点検並びに各署への事務用連絡車配備を事業計画に沿って実施するとともに運行前点検の励行を促し異常・損傷の早期発見ができた。

また、損傷・劣化に伴う部品等の交換修繕を行い公用車の安全運転を確保し、業務における公用車の円滑な使用に努めることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
車検件数	件	5	3	6	5	9
修理件数	件	1	3	6	7	3
リース件数	件	14	11	10	3	6

事業名：常備消防車両に要する経費

消防本部 消防救助課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
09	01	03	12	本年	30,523			900	29,623		27,956	94.4																												
				前年	44,185	43,695			87,880		84,262	95.9																												
				比較	13,662	43,695		900	58,257		56,306	-																												
【参考】前々年度				167,311		42,695		210,006	43,695	162,900	98.4																													
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				12,500	役務費		1,350	委託料		3,766	備品購入費		9,009																											
公課費				1,330																																				
概要及び成果																																								
<p>1 緊急自動車更新整備事業 消防需要の変化に応じた緊急車両更新整備計画の見直しを定期的に行い、消防用車両の更新及び増強を行う。</p> <p>【成果】 緊急自動車更新整備計画に沿って2車両（桜指令車、荳崎指令車）を更新整備し、消防体制の充実強化が図られた。</p> <p>車両更新</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防自動車</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	消防自動車	台	2	2	2	1	1														
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
消防自動車	台	2	2	2	1	1																																		
<p>2 緊急自動車管理事業 緊急自動車の車検整備、法定点検及び日常点検を通年実施し、良好な状態を保つとともに、必要に応じて修繕等を行う。</p> <p>【成果】 消防用自動車の法定点検整備等を適正に実施した。専門業者に依頼することにより、車両の不具合を早期に発見して整備することで事故防止に努め、火災等に対して迅速に対応することができた。</p> <p>車両整備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車検整備</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>法定点検</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> <tr> <td>日常点検</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	車検整備	台	16	16	13	19	13	法定点検	台	31	31	31	31	31	日常点検	台	31	31	31	31	31
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
車検整備	台	16	16	13	19	13																																		
法定点検	台	31	31	31	31	31																																		
日常点検	台	31	31	31	31	31																																		

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	13	本年	99,388		17,793	500	81,095		71,505	88.2
				前年	129,632		15,288		114,344		96,882	84.7
				比較	30,244		2,505	500	33,249		25,377	-
【参考】前々年度				133,360	3,773	29,511		107,622		95,439	88.7	

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4,579	役務費	453	委託料	3,458	使用料及び賃借料	465
工事請負費	27,929	備品購入費	66	負担金補助及び交付金	34,555		

概要及び成果

1 消火栓新設及び修繕

消火栓の新設工事及び既存施設の維持管理を行い、消防水利の充実強化を図る。

【成果】

消火栓34基を新設し、12基の修繕を行ったことで、消防水利の充実強化が図られた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消火栓新設	基	34	34	41	28	23
消火栓修繕	基	12	18	11	13	8

消火栓新設箇所...篠崎、今鹿島、上郷、田倉、島名、真瀬、高須賀、中別府、下別府、上河原崎、下別府、松栄

消火栓修繕箇所...花畑、遠東、百家、上横場、小野崎、みどりの、二の宮、春日、金田、竹園、大角豆

2 耐震性貯水槽新設(40m³)及び防火水槽修繕

消火活動に必要な耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。

【成果】

耐震性貯水槽については、作谷地区の開放型防火水槽を撤去して新設する予定だったが、既存の防火水槽は140m³と大きいことから、蓋かけと修繕を行い継続して使用することとした。また、この防火水槽を含め3基の修繕を行い、これにより、災害に強い消防水利の充実強化が図られた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
耐震性貯水槽新設	基	0	1	1	1	1
防火水槽修繕	基	3	2	3	6	13

防火水槽修繕箇所.....長高野、東平塚、作谷

3 消防施設等改築・修繕・撤去

消防団詰所改築計画に基づく車庫兼詰所の改築や、損傷箇所の修繕をすることで、施設の適正管理を図る。

【成果】

分団の活動拠点となる谷田部第8分団の車庫兼詰所の改築設計を完了することができた。また、1箇所の詰所の修繕を行い、良好な施設の維持管理を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
詰所建築設計委託	箇所	1	0	1	1	0
詰所建築	箇所	0	1	1	0	2
詰所修繕	箇所	1	4	3	2	6
火の見櫓等改修	箇所	0	2	4	7	7
車庫兼詰所撤去	箇所	1	2	1	1	1

詰所建築設計箇所.....谷田部第8分団(島名)

詰所修繕箇所.....桜第6分団(吉瀬)

車庫兼詰所撤去箇所.....筑波第8分団(中菅間)

事業名：非常備消防車両に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	14	本年	46,967		500	500	45,967		43,587	94.8
				前年	47,485				47,485		42,164	88.8
				比較	518		500	500	1,518		1,423	-
【参考】前々年度					46,704				46,704		43,320	92.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	4,587	役務費	1,100	使用料及び賃借料	422	備品購入費	36,080
公課費	1,397						

概要及び成果

1 消防車両及び消防指令車等の維持管理

消防団に配備している消防車両及び消防指令車の点検整備を行い、災害時に迅速かつ円滑な消防団活動に繋げる。

【成果】

車両の修繕や車検を行い、適正に維持管理することで、消防団活動の充実強化を図ることができた。

消防ポンプ自動車等の台数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消防ポンプ自動車	台	49	49	49	50	50
消防可搬ポンプ積載車	台	2	3	3	3	3
消防指令車	台	2	2	2	2	2
ワゴン型貨物車	台	1	1	1	1	1
計	台	54	55	55	56	56
うち車検台数	台	25	28	25	29	27

2 消防ポンプ自動車購入

耐用年数を経過した消防車両について、車両総重量が3.5t未満の普通免許対応車両に更新する。

【成果】

車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車2台の更新を行った。

消防ポンプ自動車更新台数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
消防ポンプ自動車	台	2	2	2	2	2

内訳：桜第6分団（吉瀬）、荃崎第7分団（下岩崎）

事業名：救急車両に要する経費

消防本部 救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	15	本年	51,855			86	51,941		51,452	99.1
				前年	9,428		41,000	43	50,471		49,581	98.2
				比較	42,427		41,000	43	1,470		1,871	-
【参考】前々年度												

節別支出済額(単位:千円)

旅費	43	需用費	9,469	役務費	1,174	備品購入費	40,557
公課費	210						

概要及び成果

1 救急自動車更新整備事業

救急需要の増加に応じた救急車両更新整備計画の見直しを定期的に行い、救急自動車の更新を行う。

【成果】

令和4年度更新予定であった北消防署に配備している高規格救急車1台を更新した。

車両更新

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高規格救急自動車	台	1	2	-	-	-

2 救急自動車管理事業

救急自動車の車検整備、法定点検及び日常点検を通年実施し、良好な車両状態を保つとともに、必要に応じて修繕を行う。

【成果】

救急自動車の点検整備等を職員及び定期的に専門業者に依頼して実施したことにより、事故防止が図られ救急事案等に対し迅速に対応することができた。

車両整備

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
車検整備	台	5	4	-	-	-
法定点検	台	12	12	-	-	-
日常点検	台	12	12	-	-	-

事業名：水防訓練に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	04	11	本年	3,081		785		2,296		2,187	95.3
				前年	2,857		2,335		522		474	90.7
				比較	224		1,550		1,774		1,713	-
【参考】前々年度					3,575		2,262		1,313		1,165	88.7

節別支出済額(単位:千円)

旅費	458	需用費	160	委託料	473	使用料及び賃借料	165
負担金補助及び交付金	932						

概要及び成果

1 水防訓練(水害対策)事業

台風やゲリラ豪雨等による河川の氾濫や洪水に備え、水防資機材の備蓄及び体制の充実強化を図り、関係団体や訓練参加者への連絡調整を行う。

【成果】

今年度は、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練の事務局であったため、7月3日(日)につくば市小貝川スポーツ公園で訓練を実施した。出水期にあたり、水防体制の整備、水防工法の技術の向上に繋がった。

(1) 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催当番市町		つくば市	つくば市	つくば市	常総市	下妻市
実施日		7月3日(日)	中止	中止	7月2日(日)	7月1日(日)
実施場所		小貝川スポーツ公園	中止	中止	鬼怒川河川敷	鬼怒川河川敷
参加人数	人	110	0	0	55	58

(2) 利根川水系水防訓練

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催当番		茨城県	県南水防	県南水防	稲敷広域	県南水防
開催日		5月21日(土)	中止	中止	5月19日(日)	5月27日(日)
実施場所		利根川河川敷	中止	中止	小貝川河川敷	小貝川河川敷
参加人数	人	0(縮小開催のため不参加)	0	0	39	38

(1) 鬼怒川・小貝川沿岸の5市町で構成される「鬼怒・小貝水防連合体」による水防訓練を、毎年開催することで、水防工法の技術を習得し有事に備える。

構成市町：つくば市・常総市・下妻市・八千代町・つくばみらい市

(2) 利根川水系の二組合(利根川水系県南水防事務組合・稲敷地方広域市町村圏事務組合)による水防訓練を実施することで、水防工法の技術を習得し有事に備える。

令和4年度は、1都6県(茨城県・埼玉県・千葉県・栃木県・群馬県・東京都・神奈川県)による利根川水系連合総合水防演習であったが、縮小開催のため不参加となった。

利根川水系県南水防事務組合構成市：つくば市・取手市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市

事業名：教育委員会に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	01	11	本年	4,197			37	4,160		3,655	87.9
				前年	4,204				4,204		3,387	80.6
				比較	7			37	44	268	-	
【参考】前々年度					4,782		297		4,485		3,600	80.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,024	旅費	437	交際費	5	需用費	69
負担金補助及び交付金	120						

概要及び成果

1 教育委員会事業

定例教育委員会を毎月1回開催

必要に応じて臨時会を開催し、委員会における事務事業の適正化を図る。

【成果】

定例教育委員会 12回 臨時教育委員会 3回 教職員と教育委員との懇談会 1回

会議において、教育長と教育委員の合議により、大所高所からの基本方針を決定するとともに、具体的な施策についての審議を行い、教育行政の推進・充実を図ることができた。

委員会案件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
定例会議案	件	57	33	42	63	60
定例会報告	件	33	33	30	32	26
臨時会議案	件	4	2	6	5	2
臨時会報告	件	1	1	1	2	0

事業名：奨学資金に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	11	本年	1,892				1,892		1,878	99.3
				前年	1,892				1,892		1,838	97.1
				比較	0				0	40	-	
【参考】前々年度					1,892				1,892		1,844	97.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	56	旅費	22	負担金補助及び交付金	1,800
----	----	----	----	------------	-------

概要及び成果

1 奨学資金支給事業

奨学生選考委員会において選考し、教育委員会において決定した奨学生一人当たり月に月額6,000円を支給(1年間、定員25人)

【成果】

4月 奨学生の募集受付 7月 奨学生選考委員会の開催 7月、11月、3月 奨学金支給 3月 振り返りレポートの受付

勉学の意欲がありながら、経済的な理由によって修学が困難な者に対して、奨学金を支給し、教育の機会均等及び有用な人材育成を図ることができた。

申請者及び支給状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申請者数	人	48	59	54	45	34
支給人数	人	25	25	25	25	25
支給額/月	千円	6	6	6	6	6
支給額	千円	1800	1,752	1,752	1,800	1,650

令和3年度は1名、令和2年度は1名、平成30年度は3名が途中辞退した。

事業名：教育施設維持管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	12	本年	1,631				1,631		1,621	99.4
				前年	1,631				1,631		1,603	98.3
				比較	0				0		18	-
【参考】前々年度					30,111	12,138			42,249		42,202	99.9
節別支出済額(単位:千円)												
旅費				49	需用費		148	委託料		1,423		
概要及び成果												
<p>1 学校施設台帳加除事業 公立小学校、中学校、幼稚園並びに学校給食共同調理場ごとに学校施設台帳を作成する。 台帳には、当該学校の用に供される建物、建物以外の工作物、土地及び児童等の数、その他必要な事項を登載する。</p> <p>【成果】 国庫補助事業の執行に関する資料を得るとともに、施設の実態把握ができた。</p>												

事業名：公用車管理に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	01	02	13	本年	9,252			649	8,603		7,279	84.6																												
				前年	8,520		1,750	73	6,843		4,740	69.3																												
				比較	732		1,750	722	1,760		2,539	-																												
【参考】前々年度					9,616		3,000	36	6,652		4,538	68.2																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費				30	役務費		47	委託料		6,953		使用料及び賃借料	248																											
概要及び成果																																								
<p>1 学校教育専用バス管理事業 学校規模や前年度実績をもとに利用回数を配分し、学校教育用大型バス2台の円滑な利用と適正管理を行う。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響下であったが、バスの稼働日数は少しずつ増加傾向にある。園外保育、校外学習等を実施し、児童生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図ることができた。</p> <p>稼働日数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両番号5298</td> <td>日</td> <td>131</td> <td>93</td> <td>127</td> <td>181</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>車両番号22</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>廃車</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>車両番号20</td> <td>日</td> <td>106</td> <td>62</td> <td>56</td> <td>144</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> <p>老朽化のため車両番号22を廃車し、車両番号5298に買い替えた。</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	車両番号5298	日	131	93	127	181	-	車両番号22	日	-	-	-	廃車	168	車両番号20	日	106	62	56	144	179
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
車両番号5298	日	131	93	127	181	-																																		
車両番号22	日	-	-	-	廃車	168																																		
車両番号20	日	106	62	56	144	179																																		

事業名：情報教育振興に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	01	02	14	本年	6,220				6,220		4,877	78.4		
				前年	2,900		2,617		5,517		4,839	87.7		
				比較	3,320		2,617		703		38	-		
【参考】前々年度					4,427		1,417		3,010		2,236	74.3		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					130	旅費		180	需用費		750	役務費		188
使用料及び賃借料					3,616	負担金補助及び交付金		12						
概要及び成果														
<p>1 情報教育振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校に勤務する教職員の中から学校ICT教育推進委員を45名選出し、定期的に研修会を開催する。 総合教育研究所職員及び学校ICT教育推進委員が、文部科学省等が主催する外部研修会への参加を通じ、他自治体の状況等に関する見識を深めるとともに、本市からの外部発信も併せて実施する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校ICT教育推進委員に対し、集合型及び配信型による定期研修を4回開催し、学校ICT教育の推進を図った。 授業目的公衆送信補償金制度への登録・申請を通じて授業に必要な範囲での著作物の円滑な活用促進を図った。 ICT実践事例集を作成し、配付する等、情報教育に関する知見を深め、その成果を教育現場に還元した。 														
<p>2 ICT機器・ネットワーク・ホームページの維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、つくば市教育用ポータルサイトの維持管理を行う。 学校現場で運用されるネットワーク機器、コンピュータ端末等に関するヘルプデスク機能を担う。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校現場における情報端末及び通信トラブル等の技術支援について、学校ICT指導員等が迅速に支援を実施した。 総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、教育用ポータルサイトの維持管理を行った。 学校現場におけるICT機器・アプリケーションの設定作業等をサポートするICT支援員8名(前年度から2名の増)を採用した(会計年度任用職員としての採用のため、報償等は人事課計上)。 														
<p>3 SDGsシールコンテスト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒がSDGsの17の視点をテーマに作成したシールデザイン作品及びアニメーション作品のコンテストを開催し、優れた作品の表彰及び学校内外で掲示する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsをテーマにしたシールデザイン部門及びアニメーション部門に10,003作品の応募があり、情報活用能力及びICT活用能力の向上を図ることができた。 受賞作品について、当所が開設している「つくばキッズ」ウェブサイトで公開したことで、SDGsの理念を広く周知した。 本市独自の教科である「つくばスタイル科学園事業」においても、SDGsの理念を理解するための単元を設定し、教職員及び児童・生徒への周知や理解を図った。 														

事業名：学校教育活動支援・助成に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	01	02	15	本年	10,878			672	11,550		9,749	84.4																					
				前年	9,708				9,708		6,601	68.0																					
				比較	1,170			672	1,842		3,148	-																					
【参考】前々年度					15,108		7,734		7,374		4,208	57.1																					
節別支出済額(単位:千円)																																	
報償費		1,855		旅費		4		需用費		451		役務費		216																			
委託料		740		負担金補助及び交付金		6,484																											
概要及び成果																																	
<p>1 豊かな心育成事業 学園単位で芸術鑑賞会等の情操教育事業を実施するとともに、参加する児童生徒の交流会等を補助する。また、6年生を対象として、舞台芸術鑑賞事業を実施する。</p> <p>【成果】 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の芸術鑑賞の機会の確保が危ぶまれたが、12学園においては事業が実施でき、児童生徒の豊かな人間性を育むことができた。 一方で、同感染症の影響から、例年1月に実施していた6年生を対象にした劇団四季による無料での舞台芸術鑑賞事業が、昨年度に続き中止となったが、12月に劇団側の配慮によりオンラインの動画視聴形式で開催することができた。</p>																																	
<p>2 ゲストティーチャーと連携した体育の専門的な指導事業 ゲストティーチャーとして、NPO法人つくばFCのコーチングスタッフ（日本サッカー協会公認指導者）及びトレジムつくばのスタッフを、希望のあった小学校及び義務教育学校に派遣し、専門的な見地から子どもたちの指導を行う。</p> <p>【成果】 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もありつつも、つくばFCによる指導は20校、トレジムつくばによる指導は4校と、対前年度比で9校増となった。実施校においては、感染症対策の措置を十分に行った上で、専門的な見地から、地域との連携に基づく児童の健やかな体づくりを行うことができた。</p> <p>実施校数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校</td> <td>校</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	実施校	校	24	15	9	22	25							
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
実施校	校	24	15	9	22	25																											
<p>3 全国及び関東各種大会出場補助事業 小学校、中学校及び義務教育学校の児童及び生徒が、次に掲げる大会のうち、学校長の管理の下に関東大会以上の大会に県内の予選等を経て参加する際に交通費、宿泊費等の補助を行う。 日本中学校体育連盟が主催する体育大会 全日本吹奏楽連盟、全日本合唱連盟等が主催する音楽コンクール JOCジュニアオリンピックカップ その他教育長が必要と認めた事業</p> <p>【成果】 補助対象大会に出場する児童・生徒に対して補助を行うことにより、練習意欲の向上及び心身の健全育成を図ることができた。また、保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>交付件数等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>件</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>36</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>円</td> <td>3,258,638</td> <td>2,090,912</td> <td>264,641</td> <td>2,412,110</td> <td>3,097,513</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	交付件数	件	37	30	10	36	45	支給額	円	3,258,638	2,090,912	264,641	2,412,110	3,097,513
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
交付件数	件	37	30	10	36	45																											
支給額	円	3,258,638	2,090,912	264,641	2,412,110	3,097,513																											

4 学校ボランティア活動支援事業

ボランティア保険に加入し、ボランティア活動時の事故等の際に手続きを行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は学校におけるボランティア活動の実施が難しい状況もあったものの、年間で898名のボランティア登録があり、交通安全ボランティアや校外学習時の引率の補助などの活動を実施するに当たり、活動しやすい環境の整備及び充実を図ることができた。

加入者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加入者	名	898	727	867	878	1,157

5 市PTA連絡協議会への補助事業

市PTA連絡協議会、市立幼稚園PTA連絡協議会が運営する各種事業等に対し補助金を交付する。（市PTA連絡協議会 400千円 市立幼稚園PTA連絡協議会 30千円）

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響で市PTA連絡協議会の事業は中止となったが、要項作成、補助金の交付、実績報告・精算を行った。

6 地域との連携による学校の防災力強化推進事業

学校防災推進委員会を設置し、防災力強化を推進するとともに、防災研修会を実施する。

学校、地域と連携し、学校防災手帳を作製する。

【成果】

学校防災推進委員会の開催、学園の森義務教育学校、栗原小学校、前野小学校、柳橋小学校を対象とした防災マップの作製、各学校における地域と学校が連携した防災訓練等の取組を通じて、防災力強化を図ることができた。

7 つくば市教育長表彰事業

年度内に開催された各種大会やコンクール等において、優秀な成績を収めた市内の小中学校に在籍する児童生徒に対して、その功績を称えるためにつくば市教育長賞を授与する。

【成果】

小中学校及び義務教育学校から推薦のあった児童生徒のうち、選考基準に基づき、つくば市教育長賞（57件）を授与した。

スポーツや文化芸術、ボランティア活動など、多方面で優秀な実績を収めた児童・生徒に対して、褒状を授与することにより、その功績を称えとともに、さらなる飛躍や活躍を図ることができた。

8 学校評議員活動支援事業

各学校長及び各幼稚園長から推薦を受けた評議員に委嘱状を交付する。

【成果】

つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及びつくば市立幼稚園管理規則に基づき、各学校長及び幼稚園長から推薦のあった242名に、学校評議員を委嘱した。

評議員から幅広いご意見をいただくことで、学校が家庭や地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進が図れた。

9 小学校及び中学校体育連盟補助事業

つくば市内の小中学校で構成されている「つくば市小学校体育連盟」及び中学校で構成されている「つくば市中学校体育連盟」に、下記事業の開催を支援するため、補助金を交付する。（小体連 500千円 中体連 2,087千円）

陸上記録大会、総合体育大会、新人体育大会の開催

指導者実技講習会等の開催

審判技術講習会等の開催

【成果】

児童生徒の健康増進及び心身の健全な発達、成長を図ることができた。

また、教員の指導力向上を図ることができた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	16	本年	97,185		2,004	244	99,433		95,905	96.5
				前年	97,215		1,566	2,469	96,312		93,706	97.3
				比較	30		438	2,713	3,121		2,199	-
【参考】前々年度					97,160		3,849		93,311		92,210	98.8

節別支出済額(単位：千円)

給料	48	職員手当等	8,971	需用費	302	役務費	154
負担金補助及び交付金	86,430						

概要及び成果

1 指導主事の配置

学園・学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導を行うため、指導主事を配置し、小中一貫教育をはじめとするつくば市の教育をさらに充実させる。

【成果】

(1) 学び推進課内、総合教育研究所内に指導主事を配置

学び推進課内に指導主事13人、総合教育研究所内に指導主事2人（学び推進課兼務）を配置し、市内学校の総括を行い、各学校の教育目標の達成と教育力の向上に向けて指導助言を行うとともに学校教職員の資質向上を目指し各種研修講座を実施した。

(2) 教育相談センターに指導主事を配置

教育相談センターに指導主事2人（学び推進課兼務）を配置し、不登校やいじめ等に悩む子どもや保護者・教員等に対して、電話相談・面接相談・学校訪問相談を実施し、不登校の児童生徒の自主性、社会的適応力、自立心などをのばすための支援をした。

(3) 教員の指導力・授業力向上を目指すための指導・助言を行った。

計画指導訪問は、全幼稚園・学校で実施した。

要請指導訪問は、各園・学校の要請に応じて実施した。

基礎研修要請指導訪問は、初任者、2・3年次経験者配置校で実施した。

各園・学校の課題に対して指導助言を行ったことにより、経営の方針を明確にして教育活動を進めることができた。

特に学校においては、市の重点事項として、教えから学びへの授業転換を図る、他者を大切にすることを考えながら自分の行動を決定する力を育む、様々な環境を通して非認知能力を育む教育の実現に向けて取り組んだ。

(4) 学校指導訪問・研修講座

学校指導訪問 1

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問回数	回	320	328	300	355	357

研修講座 2

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
研修回数	回	115	136	33	61	50

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により集合研修は5回実施。それ以外はオンライン開催で28回実施。

令和3年度は集合研修を95回、オンラインでの研修を41回実施。

令和4年度は集合研修を73回、オンラインでの研修を42回実施。

1 学校指導訪問の訪問種別

管理訪問・計画指導訪問・研究指定校指導訪問・要請指導訪問・生徒指導訪問・不登校対策指導訪問・学校ICT教育推進指導訪問・特別支援教育指導訪問 等

2 研修講座の講座種別

管理職研修講座・学力向上研修講座・各種教育研修講座 等

事業名：つくば市教育相談センター運営に要する経費

教育局 教育相談センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	17	本年	35,946				35,946		35,783	99.5
				前年	22,584				22,584		22,469	99.5
				比較	13,362				13,362		13,314	-
【参考】前々年度					22,508		42		22,550		22,458	99.6

節別支出済額(単位：千円)

職員手当等	720	報償費	31,330	旅費	44	需用費	1,530
役務費	807	委託料	893	使用料及び賃借料	58	工事請負費	396
負担金補助及び交付金	5						

概要及び成果

1 教育相談事業

市内在住の未就学児、小中義務教育学校児童生徒、保護者、及び教職員を対象に、教育上の様々な悩みに対し電話相談及び面接相談を実施する。

「教育支援センター（つくしの広場）」では、登校できない状態になっている児童・生徒に人間的ふれあいを基盤にした集団生活の体験を通して、自主性・社会的適応力・自立心などをのばすよう援助、指導を行う。

スクールカウンセラー、学校生活相談員、スクールソーシャルワーカーを学校に配置し、児童生徒及び保護者へのカウンセリングや悩み相談の機会を与え、心の悩みに寄り添い、教員との情報共有や環境改善を図ることで、早期の立ち直りやケアを促す。

【成果】

コロナ禍であったが、相談を希望する方が多く、限られた相談員数の中スケジュールを調整し、出来るだけ多くの方に対し、近年複雑化した悩みに対し丁寧に対応した。

教育支援センター（つくしの広場）では、希望する児童・生徒に対し様々な活動を通して、他と関わることや学習する機会を与えることが出来た。

スクールカウンセラー、学校生活相談員、スクールソーシャルワーカーを学校に配置・派遣することで、相談機会の確保と相談体制の強化が図られた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
面接相談件数(延べ)	件	1,987	1,594	1,764	1,908	1,676
電話相談件数(延べ)	件	1,410	1,274	661	189	169
つくしの広場(通級者数)	名	35	16	16	11	12
つくしの広場(延べ)	名	995	671	765	783	605
スクールカウンセラー相談者数	名	1,291	1,040	1,001	1,136	1,289
スクールカウンセラー相談件数(延べ)	件	2,992	2,398	2,203	2,374	3,056
学校生活相談員学習支援件数	件	3,289	3,003	3,101	2,582	3,106
学校生活相談員悩み相談件数	件	3,146	3,358	2,784	2,903	1,801
学校生活相談員教育活動支援件数	件	2,064	1,988	2,728	1,884	1,928
スクールソーシャルワーカー相談者数(児童生徒)	名	1,388	925	618	502	-
スクールソーシャルワーカー支援件数	件	4,290	3,129	2,507	2,868	-
スクールソーシャルワーカー連携件数(福祉・医療・教育機関等)	件	1,911	1,138	1,075	492	-
スクールソーシャルワーカー連携職員人数	名	6,872	3,305	2,450	2,288	-

2 つくば市教育相談センター維持管理事業

施設の補修及び維持管理

清掃や警備委託等

業務に必要なとなる備品等の購入、借用及び維持管理

【成果】

清掃、警備等の委託業務、その他の維持管理により、教育相談等が実施できる環境が確保された。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	18	本年	6,587			54	6,641		6,641	100.0
				前年	6,330				6,330		6,281	99.2
				比較	257			54	311		360	-
【参考】前々年度					6,640			36	6,604		6,445	97.6

節別支出済額(単位:千円)

役務費	6,641
-----	-------

概要及び成果

- 1 学校災害賠償補償保険事務
 全国市長会の学校災害賠償補償保険に加入する。
 事故等の対応を実施する。
- 【成果】
 園児・児童・生徒の数に応じて適正な保険の加入状況の管理を行った。
 事故や災害等に対応し、円滑に保険料の支払いや受け取りができる体制を整え、保険金請求の対応に
 当たることができた。事故における学校災害賠償補償保険の対応を1件実施した。

保険加入状況(前年度5月1日現在児童・生徒数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
小学校	人	10,920	10,882	11,018	11,098	12,507
中学校	人	4,927	4,821	4,729	4,871	5,434
義務教育学校	人	5,990	5,540	4,954	4,407	2,054
幼稚園	人	623	749	836	893	924
事故件数	件	1	0	1	1	1

令和4年度事故概要

市内小学校に自家用車で来校した市民の方が、駐車場内に設置してある排水溝蓋の上を通過したところ、蓋が跳ね上がり車体の一部が破損した。本件の損害賠償金を支払った。

- 2 建物総合損害共済保険
 教育局管理施設について、全国市有物件災害共済会の建物損害保険に加入する。
 事故等の対応を実施する。

【成果】
 廃校施設の取壊しを行った建物の保険加入を解約して保険料の返戻を行ったり、新築校舎の新規建物
 保険加入を行った。

・加入施設

- 小学校36校 (廃校分を含む)
- 中学校13校 (廃校分を含む)
- 幼稚園18園 (休園分を含む)
- 義務教育学校4校
- その他4施設(総合教育研究所、教育相談センター、教育バス車庫、吾妻教職員住宅)

事業名：特別支援教育支援員配置に要する経費

教育局 特別支援教育推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	19	本年	310				310		263	84.8
				前年	307			47	260		186	71.5
				比較	3			47	50		77	-
【参考】前々年度					517		281		236		228	96.5

節別支出済額(単位:千円)

報償費	144	旅費	119
-----	-----	----	-----

概要及び成果

1 特別支援教育支援員配置事業(学校)

特別な配慮や支援を必要とする児童・生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該児童・生徒が在籍する公立小中学校・義務教育学校に会計年度任用職員(特別支援教育支援員)を配置する。

【成果】

令和4年度末までに144人の特別支援教育支援員を市内39校に配置し、児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導・支援を行うことができた。

配置校数及び人数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配置校数	校	39	40	39	39	39
配置人数	人	144	141	136	134	123

2 特別支援教育支援員配置事業(幼稚園)

特別な配慮や支援を必要とする幼児の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該幼児が在籍する公立幼稚園に会計年度任用職員(特別支援教育支援員)を配置する。

【成果】

令和4年度末までに、市内全園16園に42名の特別支援教育支援員を配置することにより、幼児一人一人のニーズに応じた適切な支援を行うことができた。

3 特別支援教育教職員研修会事業

各園・校に所属する管理職、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任教諭、特別支援教育支援員等を対象に、特別支援教育や発達障害等に関する研修会・協議会を開催する。

【成果】

学校長、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育支援員の参集型研修のみならず、各校で全職員対象の研修が可能となるよう研修動画を作成したことで、職員全体の意識に変化が見られ、児童生徒の実態把握に特別支援教育の視点が適切に加わった。

事業名：学校管理に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	20	本年	3,493				3,493		3,042	87.1
				前年	2,130				2,130		2,130	100.0
				比較	1,363				1,363		912	-
【参考】前々年度					2,147				2,147		2,147	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					30	委託料		3,012				
概要及び成果												
<p>1 就学事務事業 消耗品一式購入、就学事務電算処理委託、就学援助事務電算処理委託</p> <p>【成果】 住民基本台帳・個人住民税のデータとリンクした行政情報システムの使用により、事務を正確かつ効率的に進めることができた。</p>												

事業名：教育総務に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	01	02	21	本年	7,147			40	7,107		6,157	86.6		
				前年	9,053			73	8,980		6,882	76.6		
				比較	1,906			33	1,873		725	-		
【参考】前々年度					14,089		280		13,809		11,612	84.1		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					70	旅費		97	需用費		872	役務費		12
使用料及び賃借料					53	負担金補助及び交付金		5,053						
概要及び成果														
<p>1 人権教育推進事業 つくば市人権教育基本計画に基づき、人権教育研修会や講演会へ参加する。 人権啓発ポスター展を開催する。</p> <p>【成果】 5月・3月 人権教育推進協議会の開催、7月 人権啓発ポスター募集、11月 人権啓発ポスターを 展示、通年 人権教育研修会及び講演会への参加 同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、人権尊重の精神を基調とし、啓 発活動や人権研修を推進することにより、偏見を持たない児童・生徒の育成を図ることができた。</p>														
<p>2 学校事務の効率化・簡略化の推進事業 市内45校を5グループに分け、学校事務を共同で処理することにより、教職員の校務を軽減し、事務 職員の事務処理のスキルアップを図る。</p> <p>【成果】 ・各グループで事務を共同実施(月に2～3回)、グループ間の連絡調整のための企画会を実施 ・5月17日に学校事務共同実施協議会第1回会議を開催、第2回会議を2月22日に開催した。 各グループでの相互確認点検により、より適切かつ正確に事務が処理された。学校事務職員間で情報 共有を図ることができたほか、教育局からの情報提供や提案についても、効率よく周知することがで きた。</p>														
<p>3 教育広報事業 教育委員会の取り組み、成果、市立の小中学校・幼稚園における教育活動等に関する情報発信(ホー ムページへの掲載)</p> <p>【成果】 ホームページを利用して教育局の取組等を発信するなど、市民に対して積極的に教育に関する情報を 発信し、つくば市の教育に対する理解を深めることができた。</p>														
<p>4 教育統計調査事業 国及び県による各種統計調査の実施 学校基本調査、地方教育費調査、学校教員統計調査、中学校等生徒の卒業後の進路状況調査等</p> <p>【成果】 学校基本調査では、学校教育行政に必要な基本的事項の把握、進路状況調査では、進路指導等へ活用、 学校教員統計調査では、3年に1度の調査として教員の配置状況等を定量的に明らかにすることがで きた。また地方教育費調査では、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における地方公共 団体から支出された経費等の実態を明らかにし、今後の教育諸施策を検討・立案するための基礎資料 とすることができた。</p>														

<p>5 事務事業の点検評価及び教育振興基本計画の進行管理事務 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の事務事業の点検・評価を実施する。事務事業は内部評価を実施するほか、学識経験者等からの意見を受け、各事業の改善及び適正化に反映させる。 点検・評価の実施に当たっては、教育振興基本計画の進行管理を踏まえたものとする。</p> <p>【成果】 教育に関する事務の管理及び執行の状況について、内部評価及び、外部の学識経験者による評価を実施するとともに、教育振興基本計画の進行管理を実施した。</p>
<p>6 叙位・叙勲事務 春秋叙勲、高齢者叙勲受賞者の内申及び伝達を行う。 死亡叙位・叙勲の内申及び遺族への伝達を行う。（教育関係の職務に30年以上従事し、満88歳になる前に死亡したものに対して。）</p> <p>【成果】 高齢者叙勲を4名行った（内申中の者1名）。死亡者叙位を3名行った。 学校教育関係者（元学校長）で功績顕著な者について、その功勞に対し、叙勲の恩命に浴びせしめることができた。</p>
<p>7 教職員の人事に関する事務 年度末、年度始に行う教職員人事異動の内申事務手続き 辞令交付式の開催</p> <p>【成果】 年度末、年度始めに行う教職員人事異動の内申事務手続き及び辞令交付を行った。適材適所の人事配置により、組織の活性化及び教育効果の向上を図ることができた。 令和4年度末異動者 退職者52名、転出者（行政等への転出含む）68名 令和5年度始め異動者 新規採用100名、転入者97名</p>
<p>8 後援名義許可事業 団体等からの後援名義使用申請について、つくば市教育委員会の教育目標、方針等に沿った事業に後援名義の使用を承認する。</p> <p>【成果】 ・申請件数210件 ・承認件数210件、不承認件数0件 教育委員会の教育目標・方針等に沿った事業に対して、後援名義の使用を承認することで、教育、学術、文化、スポーツの振興を図ることができた。</p>
<p>9 省エネ法改正に伴う中長期計画書作成事業 教育委員会施設のエネルギー使用量について、定期報告書・中長期計画書を、7月末に国へ提出する。 使用量の調査・計画書作成は、管財課で一括委託</p> <p>【成果】 法令に基づき、7月に報告書及び中長期計画書を提出し、エネルギーの合理的使用を図った。</p>
<p>10 教育に関する団体等への負担金 関連団体等に負担金を納付する。 中学校体育連盟、教科書図書選定協議会 学校警察連絡協議会、学校長会、教頭会、教務主任会 教育研究会、事務職員会</p> <p>【成果】 関連団体に負担金を納付し、教育行政活動を円滑に遂行するための一助となった。 中学校体育連盟、教科書図書選定協議会、学校長会、教頭会、教務主任会、教育研究会、日本義務教育学会</p>
<p>11 庶務 消耗品及び図書等の計画的整備</p> <p>【成果】 消耗品や図書の整備を計画的に実施し、業務が円滑に進んだ。</p>

事業名：学校教育研究支援に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
10	01	02	22	本年	11,750		898	157	11,009		9,740	88.5			
				前年	27,647		2,317	198	25,132		24,080	95.8			
				比較	15,897		1,419	355	14,123		14,340	-			
【参考】前々年度					24,558		2,195	247	22,116		18,248	82.5			
節別支出済額(単位:千円)															
報償費					694	旅費			163	需用費		3,210	役務費		9
委託料					5,281	備品購入費			250	負担金補助及び交付金		24	補償・補填及び賠償金		110
概要及び成果															
<p>1 研究指定校支援事業 教育研究校を指定し、指導法や教材の研究開発を行い、市内幼稚園、小・中学校の指導法の向上を図る。教育委員会主催の各種研修講座に専門家の招聘や視察研修をする。 【成果】 研究指定校を、令和4年度は桜並木学園と高崎学園の2学園を指定した。指定校訪問と要請訪問を行い、令和5年度の発表会に向けて、授業実践を行った。</p>															
<p>2 サイエンスキッズリーグ事業 市内5年生と8年生を対象に科学に関する筆記問題や実技問題の取組を通して、相互の親睦を図るとともに、科学の面白さや楽しさを体験し、理科好きや科学好きの子供を育てる。 【成果】 令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。令和元年度の状況としては、1次リーグで小中学生合計で210名が参加した。その1次リーグの結果から、小中各8チーム、合計16チームの決勝リーグ進出を決定し、学園の森義務教育学校理科室において、課題実験等による実技を行い、優秀な結果を収めた児童生徒に対して、賞を贈った。真剣に課題に取り組む姿が見られた。</p>															

事業名：国際理解教育推進に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	01	02	23	本年	5,014				5,014		3,704	73.9		
				前年	2,657				2,657		1,860	70.0		
				比較	2,357				2,357		1,844	-		
【参考】前々年度					2,369			247	2,616		2,502	95.7		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					2,208	旅費			969	需用費		256	役務費	136
委託料					134									
概要及び成果														
<p>1 日本語ボランティア派遣事業 日本語の理解が十分でない児童生徒には、学習や生活に支障なく取り組むことができるようになるための通常学級での支援が必要である。日本語力は、児童生徒により程度が異なり、個に対応する支援を充実させるため、支援が必要な学校に日本語指導ボランティアの派遣を行う。</p> <p>【成果】 日本語指導ボランティアを市内20校に派遣し、個に応じた支援を継続したことで日本語理解が進んだ。 市内 20校 延べ1,710時間</p>														
<p>2 国際理解集会 児童生徒の多文化理解を促進するために、各校又は学園単位で国際理解集会等を計画・実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設ける。</p> <p>【成果】 市内小学校29校と義務教育学校4校で国際理解集会を実施し、異文化理解を深めることができた。 主な講師派遣元：保護者、国際交流協会、国際都市推進課、AET、ワールドキャラバン、JICA出前講座</p>														

事業名：つくばスタイル科振興に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
10	01	02	24	本年	1,412				1,412		541	38.3		
				前年	1,477		431		1,046		778	74.4		
				比較	65		431		366		237	-		
【参考】前々年度					2,010		901		1,109		596	53.8		
節別支出済額(単位:千円)														
報償費					187	旅費			18	需用費		200	使用料及び賃借料	136
概要及び成果														
<p>1 小中学校プレゼンテーションコンテスト事業 ・児童・生徒のつくばスタイル科での学習成果について、スタディノート及び電子黒板を使用したプレゼンテーションコンテストを開催する。 ・校内審査を経て選出された学校代表作品の中から市長賞、教育長賞を選び、発表会を開催する。</p> <p>【成果】 ・プレゼンテーションコンテストを開催し、児童・生徒のICT活用能力、表現力及び発信力等の向上を図った。 ・受賞作品をつくばプレコンWeb内で紹介することで、児童・生徒の学習成果を広く周知した。</p>														
<p>2 つくばスタイル科の振興事業 ・各学校に勤務する教職員をメンバーとする「つくばスタイル科ワーキンググループ」を編成し、単元プランの作成・見直しを実施する。</p> <p>【成果】 ・つくばスタイル科ワーキンググループ研修会を3回開催し、つくばスタイル科の方向性及び単元プランの見直しを図った。 ・つくばスタイル科の実践事例等を通じて、つくばスタイル科の円滑な取り組みへの支援を実施した。</p>														

事業名：幼保小連携教育推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	25	本年	495				495		490	98.9
				前年	495				495		465	94.0
				比較	0				0		25	-
【参考】前々年度					990				990		910	91.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					490							
概要及び成果												
<p>1 幼保小連携教育推進事業</p> <p>子供の非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。</p> <p>幼保小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。</p> <p>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を核としたアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムをとおして、円滑な幼保小の接続や幼保小の情報交換の充実を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>計画指導訪問時の指導を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。</p> <p>保育施設・学校間での幼児・児童の交流が困難であったため、同一施設内での異年齢交流や環境構成の工夫を通して共同的な遊びや様々な体験の充実を図った。</p>												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	26	本年	10,309		871		11,180		9,694	86.7
				前年	12,506				12,506		10,179	81.4
				比較	2,197		871		1,326		485	-
【参考】前々年度					16,845		1,559		15,286		14,311	93.6

節別支出済額(単位:千円)

職員手当等	720	報償費	343	旅費	417	需用費	3,574
役務費	1,210	委託料	1,716	使用料及び賃借料	712	備品購入費	55
負担金補助及び交付金	946						

概要及び成果

- 1 教員のICT活用指導力向上研修事業
- 各学校から選任されたICT担当の教職員を対象に、ICT機器の効果的な活用のための悉皆研修を設定し、実施する。
 - 各学校からの要請に応じ、情報担当指導主事及び学校ICT指導員の訪問による研修を実施する。併せて、研修に必要なICT機器を整備する。
- 【成果】
- 各学校に勤務するICT担当の教職員を対象に、学校ICT教育研修講座を4回実施し、教職員のICT機器の効果的な活用力、授業力及び実践力の向上を図った。
 - 各学校から要請に応じ、情報担当指導主事及び学校ICT指導員による訪問研修（オンライン型研修も含む）を16回実施した。

- 2 教職員研修補助事業
- 教職員が職務に関連する専門的知識を養うことを目的として開催される研修会への参加に必要な経費（受講料や参加費、図書等購入費）について、予算の範囲内で補助金として支援する。
- 【成果】
- 職務命令によらない外部研修会（オンライン型研修等も含む）への参加に要する経費を補助金として支援したことで、教職員の専門的知識の向上を図り、研修等で習得した知識及び技能を授業等に還元できた。

教職員研修費補助金実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人数	人	111	106	45校	45校	45校
延べ件数	件	172	175	45	45	45
補助確定額	円	552,400	485,150	2,990,000	2,989,000	2,985,000

* 補助対象者について、令和2年度まではつくば市立小中学校及び義務教育学校、令和3年度から補助金交付要項の改正に伴い、市立学校に勤務する教職員個人としたため、人数の単位が異なる。

- 3 教職員研修事業
- 各学校に勤務する教職員に対し、学級経営等に関する悉皆研修及び特別研修講座等を実施し、教職員として求められる資質、能力、授業力、実践力等の向上を図る。
- 【成果】
- 主に以下の研修を開催したことで、教職員として求められる資質、能力、授業力、実践力等の向上を図った。
- 悉皆研修1講座（学級経営講座）
 - 特別研修講座（ISAK研修）

総合教育研究所主催研修実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回数	回	11	5	5	6	21
延べ人数	人	511	233	229	282	563
訪問研修*オンライン型研修含む	人	1,098	1,136	197	488	約900

総合教育研究所施設使用実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回数	回	118	139	101	96	134
延べ人数	人	4,426	2,731	3,626	3,275	4,871

4 教育に関する調査・研究事業

- ・児童・生徒の学力や意識等の変容を捉えるため、アンケート及び各種調査を実施する。
- ・各学園での教育実践の取組、教職員及び児童・生徒の意識等について、変容を調査する。
- ・調査によって明らかとなった本市の教育の成果等を、広報誌やホームページ等を通じて発信する。

【成果】

- ・各学校に勤務する教職員に対し、アンケート及び調査の実施を通じて、教育課程内における取り組みに対し、積極的な実践への啓発を行うことができた。

5 小中一貫教育推進体制の整備事業

- ・教職員研修を通じて、小中一貫教育への理念の平準化を図る。
- ・小中一貫教育全国サミットに参加し、見識を広げるとともに本市の研究発表会に反映していく。

【成果】

- ・小中一貫教育全国サミットを参観したことで、本市の小中一貫教育のあるべき姿を改めて認識することができた。
- ・計画指導訪問等の学校訪問時に、教職員に対する小中一貫教育の周知を図った。

6 つくば市総合教育研究所維持管理事業

- ・施設の修繕及び維持管理に関する各種業務の委託契約（電気保安管理、消防施設点検、施設警備、施設内清掃、植栽維持管理、貯水槽清掃等）、総合教育研究所内で使用する情報機器の購入・賃借等に関する契約の締結他

【成果】

- ・研修会場や学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署として、施設修繕及び維持管理に必要な各種業務の委託契約を締結し、安全で使いやすい施設環境を維持した。
- ・情報機器の賃借等に関する契約を締結し、効率的な事務執行を図った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	27	本年	10,562		231	1,007	11,338		6,424	56.7
				前年	13,598		21,403	2,667	37,668		26,482	70.3
				比較	3,036		21,634	1,660	26,330		20,058	-
【参考】前々年度					16,724		4,939		21,663		13,464	62.2

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,610	旅費	398	需用費	96	負担金補助及び交付金	320
----	-------	----	-----	-----	----	------------	-----

概要及び成果

1 学校教育指導員の配置事業

教育内容・生徒指導・保護者対応など教育現場が抱える多くの問題に関し、電話相談に応じる。また、状況に応じ直接現場での面談や指導助言を行うことで、効果的で迅速な問題解決へ向けた支援となる。また、教員に対して適宜、研修会を開催することで教職員の質のさらなる充実を図った。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
人数	名	2	2	2	2	2
相談回数(延べ)	回	45	46	52	48	50
研修会実施回数	回	2	2	2	2	2
訪問回数	回	484	305	320	312	300

2 学校図書館司書教諭補助員の配置

学校図書館の環境整備のため、学校図書館司書教諭の補助として、学校図書館司書教諭補助員を市内全小中学校及び義務教育学校に配置する。学校図書館司書教諭補助員は、選書、登録、貸出・返却、修繕、ガイダンス、読み聞かせ等の業務を行う。

【成果】

児童数600人以上の小学校及び義務教育学校(前期課程)10校には週5日、児童数400人以上の小学校6校には週4日、児童数400人未満の小学校17校には週3日、中学校及び義務教育学校(後期課程)には週1日配置した。司書教諭補助員が学校図書館内の環境整備や読書活動の推進の補助にあたった結果、学校図書館に対する意識が高まり各学校の教育目標達成に効果を上げた。

- (1)学校図書館の環境が整備された。
- (2)蔵書の整理が行われ、本を選びやすい環境が整えられた。
- (3)読み聞かせなどの活動が行われ、読書意欲が高まった。
- (4)授業で活用できる選書のアドバイスなどにより、職員全体の学校図書館の活用に関する意識が高まり、授業での積極的な活用が見られ、児童の読書量が増えている。

3 理科支援員の配置

理科教育の向上という観点から、専門性のある理科支援員を市内全小学校及び義務教育学校(前期課程)に配置する。理科支援員は理科授業の準備・片付け・実験の補助等を行う。

【成果】

理科支援員の配置により、観察・実験等の体験的な授業が充実し、児童の関心・意欲が向上した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
小学校及び義務教育学校数	校	33	33	33	33	33
時間数	時間	6,237	6,813	5,145	5,155	5,067
支援員配置人数	人	33	33	37	33	33

事業名：不登校児童生徒学習支援に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	01	02	28	本年	22,252		22,923	155	45,330		45,308	100.0	
				前年									
				比較	22,252		22,923	155	45,330		45,308	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				26	需用費		424	役務費		274	委託料		42,900
使用料及び賃借料				1,320	備品購入費		364						
概要及び成果													
<p>1 公設の不登校児童生徒支援施設の運営</p> <p>不登校児童生徒に対し、集団ではなく個に応じた様々な学習機会や居場所、オンラインによる支援等を提供するため、つくば市が設置する不登校児童生徒支援施設の運営業務を、専門的知見を持つ民間事業者に委託し、不登校児童生徒の社会的自立へ向けた進路の選択肢を広げる支援を行った。</p> <p>主な実施内容：不登校児童生徒の学習機会、居場所の提供 実施場所：研究学園駅前事業所、つくば市産業振興センター 1 階 開設日：平日週 4 日 参考 不登校児童生徒数 令和 2 年度 399人 令和 3 年度 592人 令和 4 年度 838人</p> <p>【成果】 公民連携で運営する不登校児童生徒支援施設により、不登校の児童生徒が安心して通える学習場所及び居場所を確保した。 令和 4 年度利用者人数 ここにご広場 35人 むすびつくば 40人</p>													

事業名：特別支援教育に要する経費

教育局 特別支援教育推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	03	11	本年	4,091			110	3,981		2,122	53.3
				前年	1,144			47	1,191		736	61.8
				比較	2,947			157	2,790		1,386	-
【参考】前々年度					1,512				1,512		1,060	70.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	248	旅費	196	需用費	343	委託料	1,335
----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-------

概要及び成果

1 教育支援委員会運営事業

つくば市教育委員会の附属機関として「つくば市教育支援委員会」を設置し、特別な配慮や支援を必要とする未就学児及び在学児童・生徒に関する適切な就学先や教育措置の内容等について、各分野の専門家による審議を定期的を実施する。

【成果】

諸事情により継続困難となった委員1名については新たな委員を任命し、年間11回の教育支援委員会を開催した。審議対象幼児・児童生徒について適切な就学及び措置変更につなげることができた。

2 特別支援教育相談事業

未就学児を対象とした就学相談、在学児童・生徒を対象とした教育相談を通じ、医療的ケアを含めた特別な配慮や支援を必要とする者の実態を把握するとともに、各幼稚園・学校への巡回訪問を実施し、必要に応じて随時各園・校に対する指導及び助言を行う。

【成果】

保護者等の来所による就学・教育相談は507回、幼稚園・学校等への調査や観察訪問は671回、電話による相談等は3,561回を実施した。また、幼稚園や学校において、医療的ケアが必要な対象児1名に対し、看護師を配置したことで、安全な環境整備と保護者の負担軽減につなげることができた。

年間相談回数(延べ回数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談回数	回	507	496	505	431	486
調査・観察訪問回数	回	671	626	556	496	530
電話相談回数	回	3,561	2,849	3,140	2,828	1,948

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	11	本年	362,340	101,772	595,627	990	1,058,749	682,033	336,218	96.2
				前年	358,808	113,964	351,334	462	823,644	101,772	695,180	96.8
				比較	3,532	12,192	244,293	528	235,105	580,261	358,962	-
【参考】前々年度					302,610	137,759	72,945	10,849	524,163	113,964	390,580	96.3
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		20,868	使用料及び賃借料	260	工事請負費	315,090						
概要及び成果												
1 小学校施設工事・修繕事業 各学校の状況に応じ施設の整備を行う。 (1) 小学校施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託 【成果】 各小学校の修繕工事等を実施したことで教育環境の改善を図ることができた。(実施件数)												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
建築・土木・修繕工事		件	86	75	72	54	56					
工事の設計委託		件	10	8	13	7	7					
葛城小学校渡り廊下増築外工事 みどりの学園義務教育学校拡張用地駐車場整備工事 手代木南小学校体育館屋根改修工事 栄小学校プール改修工事 荃崎第一小学校屋内消火栓改修工事 竹園西小学校体育館屋根・外壁改修工事												
2 小学校教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。 【成果】 小野川小学校トイレ改修工事 児童用トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。												

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	12	本年	414,036		82,998	5,691	502,725		501,669	99.8
				前年	405,699			11,533	417,232		416,110	99.7
				比較	8,337		82,998	5,842	85,493		85,559	-
【参考】前々年度					425,010		1,980		423,030		392,420	92.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費		298,587	役務費	26,966	委託料	163,385	使用料及び賃借料	12,732				
概要及び成果												
1 スクールバス運行事業 スクールバスによる対象児童の送迎 【成果】 統廃合に伴う遠距離児童の通学手段及び安全を確保することができた。												
2 小学校管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。 【成果】 小学校及び義務教育学校(前期課程)に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。												

事業名：学校保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	13	本年	72,782				72,782		70,585	97.0
				前年	70,008				70,008		68,838	98.3
				比較	2,774				2,774		1,747	-
【参考】前々年度					71,206		3,135		68,071		65,974	96.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	41,868	旅費	1,036	需用費	5,637	役務費	4,346
委託料	2,008	使用料及び賃借料	1,046	負担金補助及び交付金	14,644		

概要及び成果

- 1 小学校学校保健管理事業
 (1)各学校に学校医(一般医:59名、眼科医:34名)、学校歯科医(59名)を配置し定期健康診断等を行い児童の健康管理を行う。
 (2)学校薬剤師(33名)による学校衛生管理検査(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し学校衛生の管理を行う。

【成果】

学校及び学校医等との連携により、児童の健康管理と学校教育環境の維持向上を図ることができた。

- 2 災害共済給付事業
 学校管理下における児童の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の支給等の手続きを行う。

【成果】

学校管理下における児童の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。

一人あたりの掛金 935円(うち保護者 460円、市負担 475円)

災害共済給付制度への加入者及び給付件数等

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加入者	人	15,697	15,395	15,062	14,697	14,420
給付件数	件	937	911	974	1,198	1,356
給付額	円	4,120,447	4,018,591	4,724,166	6,119,167	6,387,650

- 3 体力・運動能力調査集計業務

【成果】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策により、体力・運動能力調査は実施なし。

体力・運動能力調査実施者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
調査実施者	人	15,736	15,451	-	14,683	14,442

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	14	本年	35,267				35,267		32,920	93.3
				前年	42,466				42,466		40,500	95.4
				比較	7,199				7,199		7,580	-
【参考】前々年度					40,622				40,622		39,991	98.4
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				1,278	使用料及び賃借料	985		備品購入費	30,657			
概要及び成果												
<p>1 小学校管理備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら運営上必要となる管理備品の整備及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 学校運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。</p> <p>(2) 学校管理備品(机・椅子・棚等)を購入(市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校)した。</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	15	本年	146,908				146,908		146,907	100.0
				前年	146,858				146,858		146,857	100.0
				比較	50				50		50	-
【参考】前々年度					146,810				146,810		146,809	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料				146,907								
概要及び成果												
<p>1 小学校施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p>【成果】 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。</p> <p>対象校：東小(設計)、東小、二の宮小(増築)、大曾根小</p>												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	16	本年	126,561			368	126,193		121,739	96.5
				前年	134,162		1,294		132,868		124,763	93.9
				比較	7,601		1,294		6,675		3,024	-
【参考】前々年度					127,491			11,403	116,088		111,059	95.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	29,766	役務費	34	委託料	79,866	使用料及び賃借料	11,015
負担金補助及び交付金	1,058						

概要及び成果

1 小学校施設開放事業

つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。

【成果】

活動団体に対して、活動の場を提供できた。

2 小学校施設管理委託事業

- (1)小学校施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2)浄化槽法定点検
- (3)法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施
- (4)芝管理委託
- (5)校内植栽の維持管理等

【成果】

学校施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。

各小学校の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。 (実施件数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
(1)修繕	件	375	334	383	393	393
(2)浄化槽法定点検	校	4	4	4	4	4
(3)通常点検作業	件	48	48	48	48	48
(4)芝管理委託	校	10	10	10	10	10
(5)植栽剪定等	件	33	27	30	31	23

(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕

(2)浄化槽法定検査・・・沼崎、真瀬、谷田部南、旧作岡

(3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等

(4)芝管理委託・・・吉沼、葛城、上郷、九重、東、春日学園、竹園東、みどりの、学園の森、秀峰筑波

(5)植栽剪定・伐採

3 小学校用地借上げ事業

小学校9校 30筆 合計借上げ面積：30,428.07㎡(前野小学校、栄小学校、北条小学校、谷田部小学校、島名小学校、柳橋小学校、大曾根小学校、吉沼小学校、秀峰筑波義務教育学校)

【成果】

学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	01	17	本年	79,137				79,137		74,045	93.6	
				前年	76,134				76,134		71,667	94.1	
				比較	3,003				3,003		2,378	-	
【参考】前々年度					65,954				65,954		58,952	89.4	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				4,339	委託料		841	使用料及び賃借料		68,817	備品購入費		48
概要及び成果													
<p>1 小学校事務用パソコン整備事業 校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用</p> <p>【成果】 校務用コンピュータ及び周辺機器等を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。</p> <p>(1) 校務用コンピュータの整備(賃借期間:令和4年9月~令和9年8月) 不足分の整備:30台</p> <p>(2) 校務支援システムの運用 令和2年度に導入したシステムの効率的な運用を行うため、教職員を対象とした研修会を年6回開催した。 システム概要:出欠席管理、指導要録作成、保健管理、調査票作成等</p> <p>(3) 印刷機の整備 平成29年12月導入機器の更新:5台(賃借期間:令和4年12月~令和9年11月)</p> <p>(4) 複合機の整備 平成29年12月導入機器の更新:1台(賃借期間:令和4年12月~令和9年11月)</p> <p>(5) 令和4年度末設置台数 校務用コンピュータ:1,002台 印刷機:40台 複合機:33台</p>													

事業名：新型コロナウイルス学校内感染防止対策に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	18	本年			44,550		44,550	0	39,524	88.7
				前年			41,048		41,048		41,048	100.0
				比較			3,502		3,502	0	1,524	-
【参考】前々年度							49,000		49,000		48,116	98.2
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				9,808	備品購入費		29,717					
概要及び成果												
<p>1 学校における感染症対策等支援 学校教育活動の着実な継続のため、感染症対策に必要となる物品の購入等の支援を行う。</p> <p>【成果】 感染症対策に必要となる飛沫防止パーテーションや消毒液等を購入し、児童や教職員の感染症対策に寄与した。</p>												
<p>2 子供たちの学習保障支援 児童の学びの保障のため、感染の状況や児童の状況に応じた教育活動や家庭学習実施の支援を行う。</p> <p>【成果】 児童の学びの保障のため、電子黒板や配信用機材等の備品を購入し、オンライン授業の実施に寄与した。</p>												

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	11	本年	9,875				9,875		8,931	90.4
				前年	9,092				9,092		7,313	80.4
				比較	783				783		1,618	-
【参考】前々年度					8,468				8,468		7,677	90.7

節別支出済額(単位:千円)

扶助費 8,931

概要及び成果

- 1 小学校特別支援教育就学奨励事業
世帯の所得額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。

【成果】

264人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。

特別支援教育就学奨励費の支給人数及び支給額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	264	252	246	240	236
支給額	円	8,931,418	7,312,654	7,676,770	7,528,608	7,531,026

事業名：要保護等児童就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	12	本年	95,867		10,027		105,894		98,541	93.1
				前年	79,210		13,053		92,263		78,805	85.4
				比較	16,657		3,026		13,631		19,736	-
【参考】前々年度					71,855		32,885		104,740		98,372	93.9

節別支出済額(単位:千円)

扶助費 98,541

概要及び成果

- 1 小学校要保護等児童就学援助事業
世帯の所得額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費、体操服費の一部または全額を支給する。

【成果】

1,423人認定し、認定児童の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。

要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
要保護支給人数	人	2	5	0	3	0
準要保護支給人数	人	1,421	1,276	1,107	952	846
支給額	円	98,540,507	78,804,798	73,895,078	66,544,906	59,408,193

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	13	本年	34,471				34,471		34,055	98.8
				前年	42,722			3,467	39,255		39,255	100.0
				比較	8,251			3,467	4,784		5,200	-
【参考】前々年度					137,276		380		136,896		133,257	97.3
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				14,241	備品購入費		19,813					
概要及び成果												
<p>1 小学校教材整備事業 小学校及び義務教育学校（前期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。</p> <p>【成果】 小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、児童一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備し、学習環境の充実を図ることができた。</p>												

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	14	本年	9,389			2,458	6,931		6,824	98.5
				前年	9,195			2,582	6,613		6,613	100.0
				比較	194			124	318		211	-
【参考】前々年度					11,995		1,760		10,235		6,432	62.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				6,528	使用料及び賃借料		297					
概要及び成果												
<p>1 小学校音楽会及び陸上記録会への支援事業 市内全校参加で行われる音楽会、陸上記録会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給する。</p> <p>【成果】 合唱フォーラムに参加するに当たり、バスを借り上げたことで児童の会場への移動手段及び安全を確保することができた。</p>												
<p>2 小学校学校行事記念品購入事業 卒業記念品等の購入のための予算令達</p> <p>【成果】 小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。</p>												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	15	本年	8,813				8,813		8,621	97.8
				前年	8,595			158	8,437		8,437	100.0
				比較	218			158	376		184	-
【参考】前々年度					8,989				8,989		8,006	89.1

節別支出済額(単位:千円)

需用費	3,627	負担金補助及び交付金	4,994
-----	-------	------------	-------

概要及び成果

1 小学校遠距離通学費補助事業

4 km以上の距離を通学している児童の保護者及び4 km未満でバス、自転車で通学している児童の保護者に対して、通学費を補助する。

【成果】

対象児童に補助金を交付したことで、保護者の負担を軽減することができた。

4 km以上通学対象者支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	80	78	69	76	75
対象校数	校	6	7	6	6	6
支給額	円	2,175,900	2,010,000	1,971,500	2,217,900	2,205,000

4 km未満バス・自転車通学対象者支給実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	285	255	261	262	257
対象校数	校	7	7	7	6	6
支給額	円	2,817,800	2,654,700	2,578,000	2,589,000	2,555,500

2 小学校教育振興助成事業

小学校及び義務教育学校（前期課程）の在籍者で自転車通学を行っている児童に自転車用ヘルメットを支給

学力診断テスト用品等の予算令達

【成果】

自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。

また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。

ヘルメット配布実績表

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配布人数	人	22	20	22	26	5
対象校数	校	2	2	2	2	2

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	16	本年	20,181				20,181		18,931	93.8
				前年	20,181				20,181		19,273	95.5
				比較	0				0		342	-
【参考】前々年度					20,989				20,989		20,960	99.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				497	備品購入費				18,433			
概要及び成果												
<p>1 小学校教材備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら教育に必要な教材備品の整備及び修繕を行う。 予算は学校に配分し、学校の要望に沿って購入する。</p> <p>【成果】 学校運営に必要となる教材備品を整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 教材備品の修繕を行った。 (2) 各小学校の教材備品(理科・算数・体育教材等)を購入(市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校)した。</p>												

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	02	17	本年	334,862				334,862		325,349	97.2	
				前年	312,389	48,224		5,326	355,287		346,852	97.6	
				比較	22,473	48,224		5,326	20,425		21,503	-	
【参考】前々年度				122,620	460,374	90,991		673,985	48,224	563,701	90.8		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				2,928	役務費		18,655	委託料		356	使用料及び賃借料		302,926
備品購入費				483									
概要及び成果													
<p>1 小学校ICT教育推進事業 小学校及び義務教育学校（前期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備</p> <p>【成果】 文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に以下の成果を達成した。</p> <p>(1)児童1人当たり1台の教育用コンピュータの整備 児童の増加に対応するため、追加導入を行った。 導入台数：1,246台（賃借期間：令和4年5月～令和9年4月）</p> <p>(2)周辺機器の整備 不登校児童への授業ライブ配信等で使用するWebカメラを整備した。 導入台数：276台</p> <p>(3)Wi-Fiルータの貸出し 要保護、準要保護に該当かつ家庭にインターネット通信環境がない児童 24台（貸出期間：4月～3月）</p> <p>(4)電子黒板の追加整備 普通教室及び特別教室で使用する電子黒板の追加導入を行った。（賃借期間：令和4年9月～令和9年8月） 導入台数：140台</p> <p>(5)学習支援システムの更新 賃借期間終了に伴い、更新を行った。（使用期間：令和4年9月～令和7年8月）</p> <p>(6)令和4年度末設置台数（令和5年3月1日現在児童数：15,808人） 児童用教育用パソコン：16,177台 電子黒板（寄贈分を含む）：819台</p>													

事業名：小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	11	本年	258,665				258,665		258,663	100.0
				前年	189,985			462	190,447		190,445	100.0
				比較	68,680			462	68,218		68,218	-
【参考】前々年度				1,023,867		10,017	1,081	1,012,769		745,344	73.6	
節別支出済額(単位:千円)												
使用料及び賃借料				258,663								
概要及び成果												
<p>1 小学校建設事業 小学校校舎増築を実施し、教室不足を解消する。</p> <p>【成果】 栗原小学校リース校舎増築（3教室）により、教室不足となる学校を解消することができた。</p>												

事業名：（仮称）香取台地区小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	12	本年	2,275,479	354,989			2,630,468		2,620,439	99.6
				前年	954,124		53,015		901,109	354,989	546,000	100.0
				比較	1,321,355	354,989	53,015		1,729,359	354,989	2,074,439	-
【参考】前々年度					96,090	1,017	6,941		104,048		98,869	95.0
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		23	需用費		48	委託料		30,461	工事請負費		2,425,749	
備品購入費		161,420	負担金補助及び交付金		2,739							
概要及び成果												
<p>1 （仮称）香取台地区小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、島名地区周辺の就学人口増が見込まれ、島名小学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮称）香取台地区小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、令和3・4年度の2か年の建設工事を予定通りに完了させた。</p>												

事業名：（仮称）研究学園小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	13	本年	2,546,896	620,239		3,232	3,163,902	0	3,130,713	99.0
				前年	1,168,570	213,699	141,051		1,241,218	620,239	620,893	100.0
				比較	1,378,326	406,540	141,051	3,232	1,922,684	620,239	2,509,820	-
【参考】前々年度					67,449	1,338	228,297	1,635	298,719	213,699	78,324	97.8
節別支出済額(単位:千円)												
旅費		16	需用費		64	委託料		44,867	工事請負費		2,940,558	
備品購入費		145,208										
概要及び成果												
<p>1 （仮称）研究学園小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、葛城地区周辺の就学人口増が見込まれ、学園の森義務教育学校の教室数では、対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮称）研究学園小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、令和3・4年度の2か年の建設工事を予定通りに完了させた。</p>												

事業名：（仮称）みどりの南小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	14	本年	1,286,768		178,804	368	1,108,332	875,358	232,894	100.0
				前年	153,160	1	1,406		151,755		141,486	93.2
				比較	1,133,608	1	177,398	368	956,577	875,358	91,408	-
【参考】前々年度					1,152,752		158,797		1,311,549	1	1,311,547	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
委託料		13,747	工事請負費		218,839	負担金補助及び交付金		308				
概要及び成果												
<p>1 （仮称）みどりの南小学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、萱丸地区周辺の就学人口増が見込まれ、みどりの学園義務教育学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和6年4月開校を目標に（仮称）みどりの南小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和6年4月の開校に向けて、建設工事に着手した。</p>												

事業名：（仮称）中根・金田台地区小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	02	03	15	本年			52,668		52,668	8	52,660	100.0	
				前年									
				比較			52,668		52,668	8	52,660	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
委託料		52,660											
概要及び成果													
<p>1 （仮称）中根・金田台地区小学校建設事業 中根・金田台地区の開発に伴い、周辺の就学人口増が見込まれ、栗原・栄・九重の各小学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和8年4月開校を目標に（仮称）中根・金田台地区小学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和8年4月開校を目標に、基本・実施設計業務を委託した。</p>													

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																					
10	03	01	11	本年	517,230	413,545	374,837	184	555,754		508,493	91.5																					
				前年	197,730	393,475	524,406		1,115,611	413,545	603,996	91.2																					
				比較	319,500	20,070	899,243	184	559,857	413,545	95,503	-																					
【参考】前々年度				49,965	71,929	385,567	9,936	517,397	393,475	106,766	96.7																						
節別支出済額(単位:千円)																																	
旅費		120		委託料		33,647		工事請負費		474,726																							
概要及び成果																																	
<p>1 中学校施設工事・修繕事業 各学校の状況に応じ施設の整備行う。 (1) 中学校施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託</p> <p>【成果】 各中学校の修繕工事等を実施したことで教育環境の改善を図ることができた。 (実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築・土木・修繕工事</td> <td>件</td> <td>57</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>工事の設計委託</td> <td>件</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>教室外改修工事（高山、手代木） 特別教室空調設備設置工事（吾妻、大穂、谷田部東、並木、豊里、桜） 高崎中学校屋内運動場床改修工事</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	建築・土木・修繕工事	件	57	39	39	34	23	工事の設計委託	件	5	9	6	2	4
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																											
建築・土木・修繕工事	件	57	39	39	34	23																											
工事の設計委託	件	5	9	6	2	4																											
<p>2 中学校教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。</p> <p>【成果】 谷田部中学校トイレ改修工事 生徒用トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。</p>																																	

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	03	01	12	本年	160,420		41,595	4,764	206,779		205,311	99.3	
				前年	156,603			9,190	165,793		165,495	99.8	
				比較	3,817		41,595	4,426	40,986		39,816	-	
【参考】前々年度				173,287		1,881		171,406		158,729	92.6		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				157,420	役務費		13,791	委託料		30,737	使用料及び賃借料		3,363
概要及び成果													
<p>1 スクールバス運行事業 スクールバスによる対象生徒の送迎 【成果】 統廃合に伴う遠距離生徒の通学手段及び安全を確保することができた。</p>													
<p>2 中学校管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。 【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。</p>													

事業名：学校保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	13	本年	30,623				30,623		29,126	95.1
				前年	30,045				30,045		28,698	95.5
				比較	578				578		428	-
【参考】前々年度					30,677		1,642		29,035		27,716	95.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	16,577	旅費	314	需用費	3,783	役務費	945
委託料	840	使用料及び賃借料	551	負担金補助及び交付金	6,117		

概要及び成果

- 1 中学校学校保健管理事業
 (1)各学校に学校医(一般医:25名、眼科医:16名)、学校歯科医(25名)を配置し定期健康診断等を行い生徒の健康管理を行う。
 (2)学校薬剤師(12名)による学校衛生管理検査(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し学校衛生の管理を行う。

【成果】

学校及び学校医等との連携により、生徒の健康管理と学校教育環境の維持向上を図ることができた。

- 2 災害共済給付事業
 学校管理下における生徒の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の支給等の手続きを行う。

【成果】

学校管理下における生徒の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。
 一人あたりの掛金 935円(うち保護者 460円、市負担 475円)

災害共済給付制度への加入者及び給付件数等

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加入者	人	6,555	6,358	6,126	5,859	5,832
給付件数	件	898	980	761	1,122	1,123
給付額	円	5,689,224	5,998,278	5,398,981	6,258,477	7,397,888

- 3 体力・運動能力調査集計業務

【成果】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策により、体力・運動能力調査は実施なし。

体力・運動能力調査実施者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
調査実施者	人	6,582	6,502	-	5,935	5,937

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	14	本年	20,601				20,601		19,603	95.2
				前年	23,453				23,453		22,646	96.6
				比較	2,852				2,852		3,043	-
【参考】前々年度					20,197			1,717	21,914		21,870	99.8
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					1,162	使用料及び賃借料	555	備品購入費	17,886			
概要及び成果												
<p>1 中学校管理備品購入・修繕事業 学校規模に配慮しながら運営上必要となる管理備品の整備及び修繕を行う。</p> <p>【成果】 学校運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。</p> <p>(2) 学校管理備品(机・椅子・棚等)を購入(市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校)した。</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	15	本年	23,773				23,773		23,773	100.0
				前年	23,746				23,746		23,746	100.0
				比較	27				27		27	-
【参考】前々年度					23,721				23,721		23,720	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					23,773							
概要及び成果												
<p>1 中学校施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p>【成果】 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。</p> <p>対象校：谷田部東中設計(2期)、谷田部東中増築(2期)、手代木中増築設計、手代木中増築</p>												

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	03	01	16	本年	64,885				64,885		61,610	95.0																																			
				前年	65,967		511		65,456		63,047	96.3																																			
				比較	1,082		511		571		1,437	-																																			
【参考】前々年度					68,018			11,652	56,366		55,296	98.1																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費				12,493	役務費		13	委託料		40,790	使用料及び賃借料		8,314																																		
概要及び成果																																															
<p>1 中学校施設開放事業 つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。</p> <p>【成果】 活動団体に対して、活動の場を提供できた。</p>																																															
<p>2 中学校施設管理委託事業 (1)中学校施設の小規模な修繕や不具合の解消 (2)浄化槽法定点検 (3)法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 (4)校内植栽の維持管理等</p> <p>【成果】 学校施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。</p> <p>各中学校の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。 (実施件数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)修繕</td> <td>件</td> <td>159</td> <td>145</td> <td>162</td> <td>176</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>(2)浄化槽法定点検</td> <td>校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)通常点検作業</td> <td>件</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>(4)植栽剪定等</td> <td>件</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 (2)浄化槽法定検査・・・高山 (3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等 (4)植栽剪定・伐採</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	(1)修繕	件	159	145	162	176	156	(2)浄化槽法定点検	校	1	1	2	2	2	(3)通常点検作業	件	38	38	33	33	33	(4)植栽剪定等	件	15	14	17	13	14
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
(1)修繕	件	159	145	162	176	156																																									
(2)浄化槽法定点検	校	1	1	2	2	2																																									
(3)通常点検作業	件	38	38	33	33	33																																									
(4)植栽剪定等	件	15	14	17	13	14																																									
<p>3 中学校用地借上げ事業 中学校6校 13筆 合計借上げ面積：21,473.89㎡（筑波東中学校、桜中学校、高山中学校、荃崎中学校、高崎中学校、秀峰筑波義務教育学校）</p> <p>【成果】 学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。</p>																																															

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	17	本年	38,578				38,578		34,970	90.6
				前年	35,572				35,572		32,023	90.0
				比較	3,006				3,006		2,947	-
【参考】前々年度					31,266				31,266		26,880	86.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				2,978	委託料		576	使用料及び賃借料		31,416		
概要及び成果												
<p>1 中学校事務用パソコン整備事業 校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用</p> <p>【成果】 校務用コンピュータ及び周辺機器等を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。</p> <p>(1) 校務支援システムの運用 令和2年度に導入したシステムの効率的な運用を行うため、教職員を対象とした研修会を年6回開催した。 システム概要：出欠席管理、指導要録作成、保健管理、調査票作成等</p> <p>(2) 印刷機の整備 平成29年12月導入機器の更新：3台（賃借期間：令和4年12月～令和9年11月）</p> <p>(3) 複合機の整備 平成29年12月導入機器の更新：1台（賃借期間：令和4年12月～令和9年11月）</p> <p>(4) 令和4年度末設置台数 校務用コンピュータ：519台 印刷機：27台 複合機：16台</p>												

事業名：新型コロナウイルス学校内感染防止対策に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	18	本年			21,600		21,600	0	19,170	88.7
				前年			20,494		20,494		20,494	100.0
				比較			1,106		1,106	0	1,324	-
【参考】前々年度							23,500		23,500		22,311	94.9
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				4,327	備品購入費		14,843					
概要及び成果												
<p>1 学校における感染症対策等支援 学校教育活動の着実な継続のため、感染症対策に必要となる物品の購入等の支援を行う。</p> <p>【成果】 感染症対策に必要となる飛沫防止パーテーションや消毒液等を購入し、生徒や教職員の感染症対策に寄与した。</p> <p>2 子供たちの学習保障支援 生徒の学びの保障のため、感染の状況や生徒の状況に応じた教育活動や家庭学習実施の支援を行う。</p> <p>【成果】 生徒の学びの保障のため、電子黒板や配信用機材等の備品を購入し、オンライン授業の実施に寄与した。</p>												

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	11	本年	6,390				6,390		5,222	81.7
				前年	5,720				5,720		4,586	80.2
				比較	670				670		636	-
【参考】前々年度					5,520				5,520		3,593	65.1

節別支出済額(単位:千円)

扶助費 5,222

概要及び成果

- 1 中学校特別支援教育就学奨励事業
世帯の所得額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。

【成果】

93人認定し、認定生徒の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。

特別支援教育就学奨励費の支給人数及び支給額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	93	95	78	71	80
支給額	円	5,221,953	4,585,699	3,593,205	3,475,200	3,605,410

事業名：要保護等生徒就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	12	本年	92,212		3,417		95,629		88,307	92.3
				前年	81,460		904		82,364		69,034	83.8
				比較	10,752		2,513		13,265		19,273	-
【参考】前々年度					70,871		13,553		84,424		75,186	89.1

節別支出済額(単位:千円)

扶助費 88,307

概要及び成果

- 1 中学校要保護等生徒就学援助事業
世帯の所得額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、学校給食費、修学旅行費、体操服費の一部または全額を支給する。

【成果】

883人認定し、認定生徒の保護者に援助したことで、経済的な負担を軽減することができた。

要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
要保護支給人数	人	1	2	0	2	5
準要保護支給人数	人	882	814	727	651	645
支給額	円	88,306,839	69,033,551	60,309,815	63,470,664	62,995,286

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	13	本年	20,162			1,073	19,089		19,065	99.9
				前年	61,336			2,762	58,574		58,567	100.0
				比較	41,174			1,689	39,485		39,502	-
【参考】前々年度					20,020				20,020		19,760	98.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				7,989	備品購入費		11,076					
概要及び成果												
<p>1 中学校教材整備事業 中学校及び義務教育学校（後期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。</p> <p>【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、生徒一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備し、学習機能の充実を図ることができた。</p>												

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	14	本年	38,703				38,703		38,394	99.2
				前年	38,321			2,015	36,306		36,306	100.0
				比較	382			2,015	2,397		2,088	-
【参考】前々年度					38,373		374		37,999		27,791	73.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				7,003	使用料及び賃借料		31,391					
概要及び成果												
<p>1 中学校学校行事記念品購入事業 卒業記念品等の購入のための予算令達</p> <p>【成果】 中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。</p>												
<p>2 中学校部活動等支援事業 各部活動用具の購入 各種大会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給</p> <p>【成果】 各部活動用具の購入のための予算令達や各種大会へ参加するに当たりバスを借り上げたことで生徒の移動手段及び安全を確保することができ、部活動の円滑な推進や保護者の経済的負担軽減に寄与した。</p>												

事業名：教育振興助成に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	15	本年	11,392				11,392		9,974	87.6
				前年	10,594			1,006	9,588		9,588	100.0
				比較	798			1,006	1,804		386	-
【参考】前々年度					11,822				11,822		10,313	87.2

節別支出済額(単位:千円)

需用費	9,059	負担金補助及び交付金	915
-----	-------	------------	-----

概要及び成果

- 1 中学校遠距離通学費補助事業
6 km以上の距離を通学している生徒の保護者及び6 km未満でバス・自転車で通学している生徒の保護者に対し、通学費を補助する。

【成果】

対象生徒に補助金を支給したことで、保護者の負担を軽減することができた。

支給実績表

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	人	71	78	78	66	63
対象校数	校	4	4	4	4	4
支給額	円	915,400	944,200	886,600	803,600	937,200

- 2 中学校教育振興助成事業
中学生及び義務教育学校（後期課程）の在籍者で自転車通学を行っている生徒に自転車用ヘルメットを支給
学力診断テスト用品等の予算令達

【成果】

自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。
また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。

ヘルメット配布実績表

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配布人数	人	2,169	2,074	2,049	2,027	1,933
対象校数	校	16	16	16	16	16

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	16	本年	11,724				11,724		10,642	90.8
				前年	11,724				11,724		11,369	97.0
				比較	0				0		727	-
【参考】前々年度					11,900				11,900		11,233	94.4

節別支出済額(単位:千円)

需用費	542	備品購入費	10,100
-----	-----	-------	--------

概要及び成果

- 1 中学校教材備品購入・修繕事業
学校規模に配慮しながら教育に必要な教材備品の整備及び修繕を行う。
予算は学校に配分し、学校の要望に沿って購入する。

【成果】

学校運営に必要な教材備品を整備し教育環境の充実を図ることができた。
(1) 教材備品の修繕を行った。
(2) 各中学校の教材備品（理科・数学・体育教材等）を購入（市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校）した。

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	03	02	17	本年	173,063				173,063		166,461	96.2	
				前年	154,826			3,407	151,419		149,112	98.5	
				比較	18,237			3,407	21,644		17,349	-	
【参考】前々年度					74,433	258,961	16,188		349,582		316,866	90.6	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費					1,084	役務費		7,678	委託料		172	使用料及び賃借料	156,883
備品購入費					644								
概要及び成果													
<p>1 中学校ICT教育推進事業 中学校及び義務教育学校（後期課程）における教育用コンピュータ、電子黒板、学習支援システム等の整備</p> <p>【成果】 文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に以下の成果を達成した。</p> <p>(1)生徒1人当たり1台の教育用コンピュータの整備 生徒の増加に対応するため、追加導入を行った。 導入台数：1,132台（賃借期間：令和4年5月～令和9年4月）</p> <p>(2)周辺機器の整備 不登校生徒への授業ライブ配信等で使用するWebカメラを整備した。 導入台数：85台</p> <p>(3)Wi-Fiルータの貸出し 要保護、準要保護に該当かつ家庭にインターネット通信環境がない生徒 3台（貸出期間：4月～3月）</p> <p>(4)電子黒板の追加整備 普通教室及び特別教室で使用する電子黒板の追加導入を行った。（賃借期間：令和4年9月～令和9年8月） 導入台数：13台</p> <p>(5)学習支援システムの更新 賃借期間終了に伴い、更新を行った。（使用期間：令和4年9月～令和7年8月）</p> <p>(6)令和4年度末設置台数（令和5年3月1日現在生徒数：6,608人） 生徒用教育用パソコン：6,663台 電子黒板（寄贈分等を含む）：357台</p>													

事業名：つくば未来塾に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	03	02	18	本年	4,621		900		3,721		3,072	82.6	
				前年	4,621		1,711		2,910		2,266	77.9	
				比較	0		811		811		806	-	
【参考】前々年度					4,279				4,279		2,283	53.4	
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				2,650	旅費		186	需用費		197	役務費		39
概要及び成果													
1 つくば未来塾事業 大学生・大学院生（筑波大学及び近隣地域の大学と連携）及び地域ボランティアを市内全中学校及び義務教育学校(後期課程)へ派遣し、生徒の学習支援を行う。													
【成果】													
・生徒の学習支援において、大学生・大学院生及び地域住民の協力を得られた。													
・学習チューターの派遣に際しては、実施時期や時間帯など、学校側の要望に沿った派遣を行うことができた。													
・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けながらも、学校の実態に応じて会場を広くとったり、実施時間を午前と午後に分散したりする等の工夫により、前年度を上回る一定の事業実績を上げることができた。													
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
実施日数					日	161	123	137	212	198			
全チューター協力人数(延べ)					人	685	501	605	641	592			
参加生徒数(延べ)					人	8,926	8,248	7,099	11,851	11,793			

事業名：中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	11	本年	28,908	25,047			53,955		52,220	96.8
				前年	30,921	22,968	25,047		78,936	25,047	46,553	90.7
				比較	2,013	2,079	25,047		24,981	25,047	5,667	-
【参考】前々年度					48,554	41,525	6,989	777	96,291	22,968	69,390	95.9
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				878	使用料及び賃借料		28,908	工事請負費		22,435		
概要及び成果												
1 中学校耐震化事業 旧耐震基準で整備した中学校の校舎・屋内体育館について、つくば市耐震改修促進計画及び学校耐震化優先度調査結果に基づき、耐震診断を実施し、耐震性能の劣る建物から順次耐震工事を実施する。												
【成果】												
高山中学校武道場非構造部材耐震改修工事を実施し、安全で安心できる教育環境が確保できた。												

事業名：（仮称）研究学園中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	12	本年	1,946,550	473,221		3,691	2,416,080	0	2,402,411	99.4
				前年	894,442	106,849	111,171		890,120	473,221	416,856	100.0
				比較	1,052,108	366,372	111,171	3,691	1,525,960	473,221	1,985,555	-
【参考】前々年度					60,526	1,230	114,149	777	176,682	106,849	66,808	98.3
節別支出済額(単位:千円)												
旅費					8	需用費	32	委託料	34,058	工事請負費	2,250,613	
備品購入費					117,701							
概要及び成果												
<p>1 （仮称）研究学園中学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、葛城地区周辺の就学人口増が見込まれ、学園の森義務教育学校の教室数では、対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和5年4月開校を目標に（仮称）研究学園中学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和5年4月の開校に向けて、令和3・4年度の2か年の建設工事を予定通りに完了させた。</p>												

事業名：（仮称）みどりの南中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	03	13	本年	966,580		92,047	184	874,717	691,022	183,654	100.0
				前年	76,580	1	703		75,878	70,743	93.2	
				比較	890,000	1	91,344	184	798,839	691,022	112,911	-
【参考】前々年度							655,775		655,775	1	655,774	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
委託料					10,745	工事請負費	172,755	負担金補助及び交付金	154			
概要及び成果												
<p>1 （仮称）みどりの南中学校建設事業 つくばエクスプレス沿線開発に伴い、萱丸地区周辺の就学人口増が見込まれ、みどりの学園義務教育学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、令和6年4月開校を目標に（仮称）みどりの南中学校を建設する。</p> <p>【成果】 令和6年4月の開校に向けて、建設工事に着手した。</p>												

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	11	本年	236,035	218,138	195,852	909	259,230	23,980	210,920	90.6
				前年	14,633	22,858	223,044	1,277	259,258	218,138	36,616	98.3
				比較	221,402	195,280	418,896	2,186	28	194,158	174,304	-
【参考】前々年度					15,061	24,211	21,052		60,324	22,858	29,121	86.2
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				2,974	工事請負費		202,012	備品購入費		5,934		
概要及び成果												
1 幼稚園施設工事・修繕事業 各幼稚園の状況に応じ施設の整備を行う。 (1) 幼稚園施設の改修工事、土木工事、修繕工事の実施 (2) 改修工事等の設計業務委託 【成果】 各幼稚園の修繕工事等を実施したことで教育環境の改善を図ることができた。(実施件数)												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
建築・土木・修繕工事		件	16	13	12	15	20					
工事の設計委託		件	1	2	1	2	1					
茎崎地区幼稚園移転改修工事												
2 幼稚園教育環境整備工事トイレ改修事業 劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。 【成果】 手代木南幼稚園トイレ改修工事 園児用トイレの改修工事を行ったことで、衛生的な教育環境を確保した。												

事業名：幼稚園管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	04	01	12	本年	73,766		8,866		82,632		80,266	97.1	
				前年	73,986		3,200		77,186		74,329	96.3	
				比較	220		5,666		5,446		5,937	-	
【参考】前々年度					75,357		7,879		83,236		78,640	94.5	
節別支出済額(単位:千円)													
旅費				12	需用費		29,315	役務費		7,276		委託料	43,343
公課費				320									
概要及び成果													
1 幼稚園通園バス運行事業 通園バス運転業務委託(筑波幼稚園・谷田部幼稚園・上郷幼稚園・島名幼稚園・桜南幼稚園・高崎幼稚園・岩崎幼稚園・大穂幼稚園・桜幼稚園の9園) 【成果】 市立幼稚園のうち9園でバスを運行したことで、園児の登下校の安全を確保することができた。													
2 幼稚園管理運営事業 消耗品費や光熱水費等、各園の実情に合った予算執行管理を行う。 【成果】 市立幼稚園に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な園運営に寄与した。													

事業名：幼稚園保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	13	本年	8,306				8,306		8,132	97.9
				前年	8,866				8,866		8,212	92.6
				比較	560				560		80	-
【参考】前々年度					8,695				8,695		8,529	98.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	6,912	旅費	162	需用費	352	役務費	74
使用料及び賃借料	463	負担金補助及び交付金	168				

概要及び成果

1 幼稚園保健管理事業

- (1)各幼稚園に幼稚園医(一般医:16名)、幼稚園歯科医(16名)を配置し定期健康診断等を行い園児の健康管理を行う。
 (2)幼稚園薬剤師(16名)による学校衛生管理検査(飲料水の水質、換気、採光、照明等)を実施し幼稚園衛生の管理を行う。

【成果】

幼稚園及び幼稚園医等との連携により、園児の健康管理と幼稚園の環境の維持向上を図ることができた。

2 災害共済給付事業

幼稚園管理下における園児の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の支給等の手続きを行う。

【成果】

幼稚園管理下における園児の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。
 一人あたりの掛金 285円(うち保護者 210円)

災害共済給付制度への加入者及び給付件数等

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加入者	人	594	660	792	837	894
給付件数	件	12	19	23	18	23
給付額	円	39,601	71,389	212,094	72,809	56,066

事業名： 幼児教育振興に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	04	01	14	本年	5,230				5,230		4,499	86.0	
				前年	5,338				5,338		4,292	80.4	
				比較	108				108		207	-	
【参考】前々年度				5,980		72		5,908		4,713	79.8		
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				667	需用費		3,115	役務費		50	備品購入費		385
負担金補助及び交付金				282									
概要及び成果													
<p>1 幼稚園教職員研修事業 幼稚園教諭が各種研修会に参加できるよう必要な予算令達を実施 夏期講習会及び研修会への参加、県主催研修への参加 つくば市教育研究会が実施する特別支援関係研修及び論文発表会への参加 【成果】 研究会や協議会へ参加したことで、幼稚園教諭としての資質の向上が図られた。</p>													
<p>2 幼児教育振興事業 幼稚園で実施する行事等の経費を負担する。 【成果】 幼稚園で行事等を実施するための適正な予算令達及び執行管理を行い、幼児教育の振興を図ることができた。</p>													
<p>3 幼稚園要保護家庭助成事業 市立幼稚園に通う要保護世帯の園児に給食費を支給する。 【成果】 該当者なし。</p>													

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
10	04	01	15	本年	23,313			81	23,394		21,593	92.3																																			
				前年	19,216			1,277	20,493		19,926	97.2																																			
				比較	4,097			1,196	2,901		1,667	-																																			
【参考】前々年度					20,227				20,227		19,576	96.8																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
需用費				7,306	役務費		489	委託料		13,132	使用料及び賃借料		666																																		
概要及び成果																																															
<p>1 幼稚園施設管理委託事業 幼稚園施設の安全を確保するとともに、適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。</p> <p>【成果】 各幼稚園の適切な維持管理を行ったことで、教育環境の向上を図ることができた。 (実施件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)修繕</td> <td>件</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>(2)浄化槽法定点検</td> <td>園</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)通常点検作業</td> <td>件</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>(4)植栽剪定等</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕 (2)浄化槽法定検査・・・大穂、筑波 (3)消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検等 (4)園内植栽の維持管理</p>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	(1)修繕	件	64	70	60	60	66	(2)浄化槽法定点検	園	2	2	2	2	2	(3)通常点検作業	件	17	17	16	16	16	(4)植栽剪定等	件	12	7	9	14	11
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
(1)修繕	件	64	70	60	60	66																																									
(2)浄化槽法定点検	園	2	2	2	2	2																																									
(3)通常点検作業	件	17	17	16	16	16																																									
(4)植栽剪定等	件	12	7	9	14	11																																									
<p>2 幼稚園用地借上げ事業 幼稚園2園 3筆 合計借上げ面積：1,123㎡(高崎幼稚園、大穂幼稚園)</p> <p>【成果】 用地の借り上げにより、幼稚園保育環境の向上が図られた。</p>																																															

事業名：幼稚園施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	16	本年	29,044				29,044		29,044	100.0
				前年	29,029				29,029		29,028	100.0
				比較	15				15		16	-
【参考】前々年度					29,014				29,014		29,013	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利息及び割引料				29,044								
概要及び成果												
<p>1 幼稚園施設償還金返済事業 都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。</p> <p>【成果】 都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。 対象：東幼稚園、松代幼稚園</p>												

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	17	本年	5,910				5,910		5,120	86.6
				前年	6,261				6,261		6,109	97.6
				比較	351				351		989	-
【参考】前々年度					6,602				6,602		6,147	93.1
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				152	備品購入費		4,967					
概要及び成果												
<p>1 幼稚園管理備品購入・修繕事業 幼児教育に必要な備品の整備及び修繕をすることにより、幼稚園運営の効率化及び幼稚園教育の充実を図る。</p> <p>【成果】 幼稚園運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。 (2) 幼稚園管理備品(机・椅子・棚等)を購入(市内全ての幼稚園16園)した。</p>												

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	18	本年	2,711				2,711		2,151	79.3
				前年	2,676				2,676		2,139	79.9
				比較	35				35		12	-
【参考】前々年度					3,298				3,298		2,161	65.5
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				478	委託料		33		使用料及び賃借料	1,640		
概要及び成果												
<p>1 幼稚園事務用情報機器整備事業 複合機及び印刷機の整備</p> <p>【成果】 複合機及び印刷機を整備することで事務の利便性向上と効率化を図った。 (令和4年度:機器更新なし) (1) 令和4年度未設置台数 ・印刷機 16台 ・複合機 16台</p>												

事業名：私立幼稚園利用給付に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	19	本年	433,351				433,351		409,739	94.6
				前年	407,614		21,519	5,159	434,292		431,896	99.4
				比較	25,737		21,519	5,159	941		22,157	-
【参考】前々年度					599,594		110,384		489,210		439,555	89.9

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	4,259	扶助費	405,480
------------	-------	-----	---------

概要及び成果

- 1 私立幼稚園保育料にかかる給付
 幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（未移行）の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。

【成果】

法定代理受領により、対象施設からの請求に対して円滑に給付することができた。

3月末対象園児数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市内未移行幼稚園	人	1,062	1,108	1,109	1,104	-
市外未移行幼稚園	人	289	333	317	294	-

- 2 幼稚園預かり保育にかかる給付
 幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（新制度移行済及び未移行）及び認定こども園の利用者に対して、利用料の一部を給付することで負担軽減をする。

【成果】

償還払いの手続きを案内することで、保育を必要がある利用者に対して円滑に給付をすることができた。

3月末対象園児数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市内幼稚園・認定こども園(1号)	人	294	304	323	334	-
市外幼稚園・認定こども園(1号)	人	97	129	117	103	-

- 3 幼稚園副食費にかかる補助金
 幼児教育・保育無償化制度により、私立幼稚園（未移行）の補足給付該当世帯に対して、実費徴収となる副食費の一部を給付することで負担軽減をする。

【成果】

支援が必要な人に補助金の手続きを案内し、円滑に給付することができた。

補足給付費補助金実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付決定者	人	104	107	130	95	-
交付額	千円	4,260	4,130	4,509	2,300	-

事業名：社会教育振興に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	11	本年	2,199				2,199		1,386	63.0
				前年	2,199				2,199		1,294	58.9
				比較	0				0		92	-
【参考】前々年度					2,780		50		2,730		1,437	52.7
節別支出済額(単位:千円)												
報酬					240	報償費	109	旅費	68	需用費	47	
役務費					445	委託料	94	使用料及び賃借料	181	負担金補助及び交付金	202	
概要及び成果												
<p>1 社会教育振興事業</p> <p>(1)社会教育委員会議の開催 会議において社会教育事業に関する諮問に応じ、意見を述べるとともに、社会教育事業の調査・研究を実施する。社会教育委員16人(任期2年)</p> <p>(2)社会教育振興 ・社会教育講座3回(ファミリー講座1回、たのらく講座2回) ・保育所9回(動画配信3保育所、対面講座6保育所)</p> <p>(3)社会教育主事の配置 社会教育に関する専門的・技術的な指導・助言を行う社会教育主事1人を配置</p> <p>【成果】</p> <p>1 会議開催2回(令和4年8月22日、令和5年3月15日)</p> <p>2 生涯学習推進課所管の生涯学習施設等を管理し、事業の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>3 社会教育主事を1人配置したことにより、社会教育行政体制の強化を図ることができた。</p>												

事業名：地域改善対策に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	12	本年	3,094			671	3,765		3,167	84.1
				前年	3,094			49	3,045		2,427	79.7
				比較	0			720	720		740	-
【参考】前々年度					3,338			402	3,740		3,542	94.7
節別支出済額(単位:千円)												
需用費					980	役務費	58	委託料	1,865	使用料及び賃借料	264	
概要及び成果												
<p>1 地域改善地区集会所維持管理事業</p> <p>(1)各種研修会への参加、啓発活動の実施</p> <p>(2)施設の維持管理を地域に委託し、適切な管理を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>・集会所特殊建築物等定期調査を行い、快適な利用環境を提供し地域の交流の場となった。</p> <p>・高須賀地区集会所の延べ利用人数は1,125人。</p>												

事業名：家庭教育支援に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	13	本年	3,300		1,001	671	1,628		1,056	64.8
				前年	3,320		682	748	1,890	1,231	65.1	
				比較	20		319	77	262	175	-	
【参考】前々年度					5,083		554	1,104	4,533		2,691	59.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	770	需用費	121	役務費	120	使用料及び賃借料	45
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----------	----

概要及び成果

1 家庭教育学級支援事業

- (1)家庭教育学級への指導や助言を行う。
- (2)家庭教育セミナーの開催
- (3)社会教育講演会の開催

【成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、保護者同士が集まって課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会等を実施したりすることが困難な状況であったが、家庭教育学級向け動画を作成し、オンデマンドやオンラインにより、家に居ながらも学べる機会を提供することができた。

家庭教育学級数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
家庭教育学級数	学級	76	72	84	76	70
参加者数(延べ)	人	4,208	7,697	3,449	13,588	17,997
学級生数	人	15,979	14,664	14,363	12,392	12,158

家庭教育セミナー

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	60	24	18	60	57
参加者数	人	5,013	2,032	989	4,429	4,279

社会教育講演会の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	2	2	2	2	3
参加者数	人	72	136	704	293	779

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	14	本年	1,982				1,982		1,376	69.4
				前年	1,351		742		2,093		1,779	85.0
				比較	631		742		111		403	-
【参考】前々年度					3,867	1	594		3,274		2,832	86.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	240	報償費	152	旅費	60	需用費	18
役務費	156	委託料	649	使用料及び賃借料	100		

概要及び成果

1 生涯学習審議会開催事業

生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために、調査審議する審議会を開催する。また、庁内における検討のため、生涯学習推進本部会議を開催する。

【成果】

令和3年3月に策定した「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」の進捗管理を行った（開催日程 生涯学習審議会：8/19・3/8、生涯学習推進本部会議：10/25）。令和4年度は新たな試みとして生涯学習推進に関わるテーマでの意見交換を実施した。

2 つくば人間学講座

市民主体の実行委員会で講座の内容・講師選定などの企画全般を行い、協働で講座を開催する。

【成果】

企画から実施まで、市民（実行委員会）が主体となり、協働で、時代や市民のニーズを反映したテーマの講座を4回開催することができた。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮しながら対面実施により開催し、若年層から中高年層まで幅広い参加者が学ぶ場として、市民の生涯学習の推進を図ることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	4	4	1	4	4
受講者数	人	111	274	225	237	298

3 出前講座事業

市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策に関する講座等を行う。

【成果】

- ・利用促進を図るための出前講座ガイドブック等を活用した積極的な広報活動により、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講者数が大きく減少していた状態から一定の回復をすることができた。
- ・出前講座の充実を図るため、新規出前講座を2つ増やすことができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	53	36	13	115	140
受講者数	人	1,578	941	562	4,080	4,440

4 生涯学習指導者情報提供事業

生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報を提供する。

【成果】

指導者の登録状況を最新の状態にする調査を実施し、また、指導者情報がより検索しやすくなるよう指導者の登録カテゴリの改善を実施した。

調査の結果、指導者登録数は減少したものの、令和4年度の新規登録者数や情報提供数の数値は上昇しており、市民の生涯学習の推進に寄与することができている。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指導者登録数	人	96	256	245	237	223
新規登録数	人	15	11	9	19	32
情報提供数	人	37	10	45	64	79

5 障害者のための生涯学習支援事業

文化芸術やスポーツなど、障害者へ多様な学びの機会を提供する。

【成果】

市内の障害者関係団体と協働し、参加者である障害者自身が、自身がやってみたいことや興味のあることを企画化するという新たなアプローチで事業を実施することができた（12/3風船バレー教室）。また、障害者の生涯学習を進めていく上での前提となる障害者自身やその障害者を支える周囲の社会状況の理解を深めるため、「きょうだい児」をテーマとした講演会を実施した（2/5）。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
講座参加者の満足度	%	100	100	100	-	-

6 社会力講座事業

第3次つくば市生涯学習推進基本計画の施策の柱である、社会力を持った人材の育成をするため、講演会等の講座を開催する。

【成果】

社会力の育成を目的とした講座開催2年度目として、社会力をいかして活躍するロールモデルとしての「社会力コーディネーター」の存在にスポットを当て、市内外における先進事例を実際に運営する人物（＝社会力コーディネーター）を講師として招き、参加者への学びと動機付けを5回の講座を通して実施することができた（参加者198人）。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
講座開催数	回	5	4	-	-	-

事業名：生涯学習施設管理に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	15	本年	30,140				30,140		29,193	96.9
				前年	29,454			797	30,251		29,933	98.9
				比較	686			797	111		740	-
【参考】前々年度					30,322		2		30,320		29,951	98.8

節別支出済額(単位:千円)

需用費	381	役務費	432	委託料	25,989	工事請負費	2,390
-----	-----	-----	-----	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

1 市民研修センター管理運営事業

利用者が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、指定管理者制度による民間活力を用いた施設運営を行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、浴室が密にならないよう、入浴時間と人数に制限を設け、公平な利用ができるよう配慮しながらも、前年度より利用者を増やすことができた。

施設の花の植替え等を地域の方が積極的に行うなど、地域住民と良好な関係を築き地域の活性化に取り組むことができた。

施設貸出業務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
研修室利用件数	件	852	485	580	1,305	1,650
研修室利用者数	人	8,174	6,279	5,165	13,223	15,862
浴室利用者数	人	13,039	11,631	8,924	19,980	17,810

自主事業運営業務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
講座等開催件数	講座	31	26	14	28	35
延べ受講者数	人	3,679	2,682	1,761	3,905	3,978

2 さくら民家園施設管理事業

日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。

【成果】

建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。

業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。

民家園管理

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
見学者(年間来場者数)	人	7,607	6,214	4,780	7,705	7,009
施設利用団体	団体	35	11	8	65	56

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	16	本年	9,747		995		8,752		8,227	94.0
				前年	2,385		58		2,327		1,908	82.0
				比較	7,362		937		6,425		6,319	-
【参考】前々年度					10,406		8,742		1,664		347	20.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	46	需用費	3,823	役務費	498	委託料	3,775
使用料及び賃借料	86						

概要及び成果

1 つくば科学出前レクチャー事業

学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、現役研究員等を専門テーマの講師として派遣する。

【成果】

講座の実施回数を増やすため、以下の2つに取り組み、講座実施回数を増やすことができた。

- ・科学出前レクチャー登録講座と小中学校理科教科の各単元との関連性に関する資料を作成、配布した。
- ・次年度の授業計画に取り入れやすくなるよう、事業広報時期を例年より早く実施した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施回数	回	7	2	6	15	17
参加者数	人	817	61	239	793	670

2 つくばちびっ子博士事業

小中学生が研究機関等を巡り、科学技術に触れ科学への関心を高めてもらい、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりになってもらう事業で、最優秀つくばちびっ子博士・優秀つくばちびっ子博士・つくばちびっ子博士を認定する。

【成果】

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施ができるよう、感染対策を実施した上での現地開催と動画配信それぞれでクイズに回答する形式で実施した。現場での参加者数が令和3年度に比べ回復するとともに、動画の再生回数も41,954回を達成し、堅調に事業を運営できている。

令和4年度は、ホームページ「つくばSTEAMコンパス」との連携を強化し、ちびっ子博士開催期間中に、児童生徒がちびっ子博士の現地見学や動画視聴で生じた疑問に各研究機関が回答する「『なぜなぜ』スペシャル!」をホームページ内で開催することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来場者数(延べ)	人	25,431	7,112	-	134,506	113,385

3 つくば科学フェスティバル事業

市内の各学校、高校、大学、研究機関等がつくばカピオを会場に科学実験等を出展した。青少年に科学の楽しさや不思議などを体験してもらい、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めるイベントを実施する。

【成果】

新型コロナウイルス感染症への対策を実施し、イベントを開催することができた。さらに、来場する児童生徒の科学への気づきを生むため、以下の取組を実施した。

- ・ホームページ「つくばSTEAMコンパス」を活用し、当日の疑問を質問できる環境を新たに構築した。
- ・つくば科学教育マイスターと児童生徒のコミュニケーションを生むため、特別スタンプラリーを実施した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来場者数(約)	人	10,495	-	-	16,808	14,464

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	17	本年	13,642		1,179		12,463		10,130	81.3
				前年	12,268		1,463		13,731		11,677	85.0
				比較	1,374		2,642		1,268		1,547	-
【参考】前々年度					13,822		26,032		39,854		33,914	85.1

節別支出済額(単位:千円)

報償費	1,613	需用費	515	役務費	195	委託料	4,642
使用料及び賃借料	331	負担金補助及び交付金	2,833				

概要及び成果

1 青少年体験学習事業

青少年が学外の体験学習で、自然体験や集団での活動を通じ、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、企画を運営することで身につく企画計画力、コミュニケーション力、チームワークを生かし、地域社会の担い手として様々な場面で活躍できる「社会力」の育成を図ることを目的とする。

(1)夏休み体験学習事業

市内に在住・在学する小・中学生（4年生から9年生まで）を対象にし、つくば市の地域資源を活用した実験教室等で科学や自然環境を体感することで、科学や自然への興味や関心を高める。

(2)「この指とーまれ！」事業

市内に在住・在学する中学生・高校生を対象に自主企画を募集し、企画実現に向けて活動を支援する。

【成果】

(1)「課題解決ロボットワークショップ」を実施し、ロボットの仕組みや、ロボット操作について学ぶ場を提供することができた。

(2)参加者が自主企画を実現することによって、企画計画力・コミュニケーション力・チームワークが生まれ、社会力の育成につなげることができた。

(1)夏休み体験学習事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者	人	60	-	30	137	78
申込件数	件	138	113	30	247	196
コース数	コース	1	1	2	3	3

(2)「この指とーまれ！」事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
企画数	件	10	5	5	7	5
中学生参加者	人	1	4	3	7	1
高校生参加者	人	47	42	16	37	15

2 二十歳の集い開催事業

次世代のつくば市を担う二十歳の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を育成するとともに、日頃学業などでつくば市を離れている二十歳の方々の交流の機会として、つくば市二十歳の集いを開催する。

【成果】

(1)二十歳の方々に実行委員会を組織し、自ら企画・運営する二十歳の集いを開催することができた。

(2)つくば警察署の協力を得て、会場警備、違法車両対策、大清水公園入口信号付近から会場付近までの車両進入禁止等を実施し、安心・安全な式典を実施することができた。

式典参加者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者数	人	2,780	2,666	2,747	2,720	2,764
参加者数	人	1,828	1,621	-	1,844	1,777
参加率	%	65.8	60.8	-	64.3	62.3

式典終了後、式典に参加できなかった新成人のため、令和5年3月31日まで式典の動画を公開した。

- ・内容 誓いの言葉、市長挨拶

3 青少年相談員活動

青少年の健全育成と非行防止を推進するために、青少年相談員を委嘱し、青少年の声かけ・相談、青少年を取り巻く社会環境健全化活動等を青少年に関する機関と連携して進める。

【成果】

- (1)通学路等での挨拶活動を実施した。
- (2)普及啓発活動及び社会環境健全化活動を実施した。
- (3)各地域での「青少年の健全育成に協力する店」の登録等活動を実施した。
- (4)各月1回程度、支部長会議を実施し、各支部と情報共有及び連携を図ることができた。

4 青少年育成団体支援事業

青少年の健全育成活動の推進を図ることを目的として、青少年健全育成団体に対して補助金を交付し、各団体の活動を支援する。

- (1)つくば市子ども会育成連合会に対し補助金を交付し、団体が行う子供たちへの健全育成活動の支援を図る。
- (2)青少年を育てるつくば市民の会に対し補助金を交付し、団体が行う市民総ぐるみの青少年育成活動を支援する。
- (3)子供たちが生きる力を育むために有益な体験事業への参加を促進することを目的として、つくば市子ども体験事業補助金を交付する。

【成果】

- (1)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の制限があったが、異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の保護者と共に行う活動を通して、地域コミュニティ構築の一翼を担えた。
- (2)青少年育成関係諸団体、地域や学校等と協力しながら事業を展開することにより連携が強化され、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。
- (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の制限があったが、青少年の健全育成を図り、子供たちが生きる力を育むために有益な体験事業への参加を促進でき、社会力を育成することができた。

補助金交付件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
つくば市子ども会育成連合会	件	3	1	3	4	4
青少年を育てるつくば市民の会	件	5	5	5	5	5
つくば市子ども体験事業	件	9	9	10	26	23

事業名：放課後子供教室推進に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	18	本年	9,002				9,002		7,557	83.9
				前年	7,508				7,508		5,556	74.0
				比較	1,494				1,494		2,001	-
【参考】前々年度					7,535		11		7,524		5,931	78.8

節別支出済額(単位:千円)

報償費	4,922	需用費	2,177	役務費	244	備品購入費	213
-----	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----

概要及び成果

1 放課後子供教室推進事業

市内小学校及び義務教育学校において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。

【成果】

- ・各学校と協議を重ね、学校側や児童等のニーズを的確に把握したことで、児童が楽しめるプログラムや日程を計画することが可能となり、児童にとって魅力ある教室を開催することができた。
- ・募集チラシの配布や会場への誘導等について、学校側と綿密な連携体制が構築されたことで、スムーズに教室を開催することができた。

放課後子供教室実施状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象学校数	校	34	34	34	34	34
実施回数	回	491	326	359	436	217
参加児童数	人	16,599	10,707	10,769	16,967	11,310
地域の方々の協力スタッフ数(延べ)	人	1,939	1,276	1,390	1,804	1,379

事業名：ふれあいプラザ維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	19	本年	66,744		4,714		71,458		68,005	95.2
				前年	104,901		6,761		98,140		96,991	98.8
				比較	38,157		11,475		26,682		28,986	-
【参考】前々年度					61,356		1,101	702	63,159		62,989	99.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	2,074	役務費	150	委託料	64,027	工事請負費	1,753
-----	-------	-----	-----	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

1 ふれあいプラザ管理運営事業(指定管理者制度)

ふれあいプラザの施設管理は、平成17年度から指定管理者制度を導入して、管理運営を行っている。

(指定管理期間：H30～R4)

(1)施設貸出業務

フィットネスプール、多目的ホール、研修室A・B・C、会議室、視聴覚室、

軽運動室、調理実習室、市民活動室、録音室、保育室、展示コーナー

(2)自主事業運営業務

【成果】

(1)施設貸出状況(利用件数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
多目的ホール及び研修室等施設	件	4,326	3,519	2,730	4,933	5,299
フィットネスプール施設	件	8,665	7,253	6,865	10,500	11,895
合計	件	12,991	10,772	9,595	15,433	17,194

施設貸出状況(延利用者数)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
多目的ホール及び研修室等施設	人	33,921	24,099	17,363	47,589	53,078
フィットネスプール施設	人	12,928	11,147	9,468	15,164	16,925
合計	人	46,849	35,246	26,831	62,753	70,003

(2)自主事業運営業務

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自主事業講座数	講座	611	491	308	620	655
延受講者数	人	11,764	10,092	5,854	10,948	11,411

2 ふれあいプラザ施設整備事業

ふれあいプラザ内の各種設備や施設の修繕について、計画的に実施した。

【成果】

令和4年度修繕実績

プール照明設備修繕工事	1,078千円
ジャグジー修繕工事	676千円
機械室配管修繕工事	572千円
調理室コンロ等修繕	527千円
プール機械室ポンプ修繕	341千円
ギャラリー及び玄関ポーチ電気設備修	269千円 ほか

事業名：コミュニティ・スクールに要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	05	01	20	本年	692		216		476		241	50.7	
				前年									
				比較	692		216		476		241	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				115	旅費		52	需用費		39	役務費		35
概要及び成果													
<p>1 コミュニティ・スクール導入事業</p> <p>保護者や地域住民が学校運営に参画し、学校と地域が力を合わせることによって、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めるためコミュニティ・スクールを全学園に段階的に導入する。</p> <p>【成果】</p> <p>令和4年度は吾妻学園をモデル地域とし、本格導入の前段階として「コミュニティ・スクール推進会議」を3回開催し、法に定められた学校運営協議会の導入に向けた理解等を深めることができた。また、その他の学園に対しても事業に関する説明会や研修会を開催することで、次年度以降を見据えた事業の展開を図ることができた。</p>													
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
導入学園数					学園	1	-	-	-	-			

事業名：図書館維持管理に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	05	02	11	本年	158,998		8,247		167,245		160,079	95.7	
				前年	144,950		3,804		141,146		130,695	92.6	
				比較	14,048		12,051		26,099		29,384	-	
【参考】前々年度				163,386		27,144		136,242		128,417	94.3		
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				40,754	役務費		1,210	委託料		39,382	使用料及び賃借料		50,311
工事請負費				28,303	備品購入費		100	償還金利息及び割引料		19			
概要及び成果													
<p>1 図書館及び視聴覚センターの維持管理事業</p> <p>年間を通して施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。</p> <p>【成果】</p> <p>図書館及び文化会館アルス（共用部分）の環境を充実させ、市民に快適な生涯学習の場を提供した。</p> <p>(1) 工事等</p> <p>アルス非常用バッテリー外改修工事、アルストイレ修繕工事、アルス中央監視装置修繕工事、アルス冷温水ポンプ修繕工事、アルス自動ドア改修工事</p> <p>(2) 修繕等</p> <p>アルス1階女子トイレ水栓修繕、中央図書館無停電電源装置交換修繕、アルス蒸気配管修繕工事、アルス消防設備修繕工事、中央図書館職員通用口扉修繕、アルス給水ポンプユニット圧力タンク交換、アルスホール倉庫ドア修繕</p> <p>(3) 備品購入</p> <p>コミュニティ棟予約本貸出事業用保管棚</p>													

事業名：図書館運営に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	12	本年	49,669		1,100		48,569		47,944	98.7
				前年	53,025		1,050		51,975		51,115	98.3
				比較	3,356		50		3,406		3,171	-
【参考】前々年度					44,237				44,237		42,915	97.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	128	旅費	40	需用費	5,302	役務費	277
委託料	858	使用料及び賃借料	11,547	備品購入費	29,746	負担金補助及び交付金	46

概要及び成果

1 読書推進事業

学校訪問ブックトーク、団体貸出し（調べ学習支援・学級文庫支援）、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、学校図書館支援（司書教諭及び司書教諭補助員等の研修会への講師派遣）や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベントの多くが中止となったが、実施した事業の成果として読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。

(1)学校図書館司書教諭・司書教諭補助員研修事業

事前に録画したものを各学校において視聴することにより研修を実施

(2)学校訪問ブックトーク

希望する小中学校に職員が出向き、テーマに沿った図書を紹介する事業

(3)学校関係への団体貸出

(4)ジュニア図書館員（対象：5・6年生） 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(5)職場体験学習（対象：8年生）

(6)図書リサイクル

(7)ファーストブック講座

「赤ちゃん絵本の楽しみ方」赤ちゃんへの読み聞かせのコツや、赤ちゃん向け絵本の紹介

(8)その他の事業

ぬいぐるみたちのおとまり会 12月16日・17日

学校訪問ブックトーク（小学校）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問校数	校	25	20	19	29	29
対象		4年生	4年生	4年生	4年生	4年生
テーマ		「魔法」	「いのち」	「自然」	「かず」	「家族」
備考		-	-	4校中止	-	-

学校訪問ブックトーク（中学校）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問校数	校	4	3	4	9	9
対象		7年生	7年生	7年生	7年生	7年生
テーマ		「仕事」	「仕事」	「仕事」	「仕事」	「仕事」
備考		-	-	2校中止	-	-

学校関係団体貸出

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用回数	回	34	29	31	51	57
利用冊数	冊	3,601	3,416	3,808	6,866	8,499

ジュニア図書館員

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加人数	回	-	-	-	47	51

職場体験学習

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加校数	校	5	-	-	8	7
参加人数	人数	16	-	-	25	23

図書リサイクル

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配布総数	冊	12,046	11,147	10,789	9,368	10,772
参加人数	人	-	-	-	-	985

2 自動車図書館の運営事業

市内54か所に設けたステーションへ、火曜日から土曜日に自動車図書館車3台を使って巡回し、貸出及び返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。

【成果】

図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。

既存の2台の移動図書館車両に加え、右左外架書架設備による最大約600冊積載可能な移動図書館車両1台の運行を新たに開始した事により、サービスの拡充を図るとともにコロナ禍における中央図書館への来館者の分散化を図る事ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	人	12,257	9,678	12,711	12,033	13,279
貸出冊数	冊	43,141	37,244	44,414	46,887	50,226
運行日数	日	191	168	179	180	167

3 図書館ボランティア事業

図書館のボランティアに登録し、図書館の支援や生涯学習の一環として、その知識・技能を無償で提供いただく。

【成果】

図書館ボランティアの活躍により、図書館サービスを充実させることができた。また、市民に活躍の場を提供できた。

活動分野：10分野（おはなし、地域文化、地域資料、修理、配架、音訳、点訳、国際文化サービス、児童サービス、図書館サポーター）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア登録者数	人	156	166	150	159	142

4 読書環境の充実と集いの場の創出

会話や飲食が可能な状況下で読書環境を提供するライブラリーピクニックを行う。

【成果】

新型コロナウイルス感染症により、感染防止の観点からライブラリーピクニックの実施を見送った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ライブラリーピクニック開催回数	回	-	-	-	2	-
図書館外イベントへの参加回数	回	1	-	-	2	-

5 つくば市図書館協議会運営事業

図書館協議会を開催し、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機会を設ける。

【成果】

つくば市図書館協議会（委員数11人）を開催し、図書館に対する意見を頂いた。（2回：9月、3月）

会義の主な内容

第1回協議会

令和4年度重点事業等について、令和4年度事業計画について、令和3年度蔵書点検報告について、令和3年度図書館運営上の指標に対する実績評価について、令和3年度利用者満足度調査について、令和4年度図書館情報システムの更新について

第2回協議会

令和4年度事業の経過報告について、令和4年度新規事業について（自動車図書館事業、広域利用制度、電子図書館の利用状況、コミュニティ棟予約本貸出の利用状況）

6 図書館資料の収集、整理及び保存事務

利用傾向や市民要望を判断しつつ図書資料、視聴覚資料を購入し、利用に供するため資料を整理し保存する。

【成果】

適切な資料を受け入れ、利用サービスに供した。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間図書資料受入点数	点	17,936	18,197	19,905	20,930	21,549
年間視聴覚資料受入点数	点	361	392	466	420	487
年間電子書籍受入点数	点	1,468	-	-	-	-
計	点	19,765	18,589	20,371	21,350	22,036

7 図書館資料の貸出事務

つくば市在住、つくば市通勤、通学者及び保育園、小学校等の団体利用者に対し利用カードを発行し、図書資料及び視聴覚資料の貸出しを行う。また、旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す。

【成果】

利用カードを発行し、資料の貸出しを行うことで、生涯学習に寄与した。また、令和4年9月から土浦市、下妻市在住の方への広域利用を開始した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間貸出資料点数	点	1,027,038	963,453	897,196	1,031,408	1,035,291
年間貸出人数	人	238,203	220,517	203,890	243,386	245,768

年間貸出資料点数は、団体、自動車図書館、コミュニティ棟を含む。

8 調査・研究の支援事務

参考資料を充実させる。また、電話やインターネットからの調査・研究の質問を受け付け、専門職員（司書）から資料情報等を提供する。

【成果】

利用者の調査研究の支援を行った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
レファレンス受付件数	件	1,458	1,440	1,389	1,608	1,808

9 図書返却事業

大穂・豊里・並木・広岡・島名の各交流センター、市役所コミュニティ棟及びオンラインの4交流センターで図書資料の返却ができるようにする。

【成果】

返却本の広岡交流センター窓口受取のほか、大穂・豊里・並木・島名の各交流センター及び市庁舎（コミュニティ棟）にブックポストを設置し図書の返却を可能としている。

市内各所で図書を返却できることで、利用者の利便性が向上した。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
大穂	冊	4,280	3,510	3,581	4,436	4,317
豊里	冊	1,840	1,553	1,430	1,761	2,020
並木	冊	7,276	6,774	4,999	6,932	7,586
広岡	冊	115	40	72	78	50
市庁舎	冊	22,317	17,807	14,135	20,835	16,525
島名	冊	1,276	166	-	-	-
計	冊	35,836	29,850	24,217	34,042	30,498

事業名：オンライン地域交流センター図書室運営に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	13	本年	40,407				40,407		40,351	99.9
				前年	40,405				40,405		40,228	99.6
				比較	2				2		123	-
【参考】前々年度					40,397				40,397		40,215	99.5

節別支出済額(単位:千円)

需用費	1,087	委託料	33,277	備品購入費	5,987
-----	-------	-----	--------	-------	-------

概要及び成果

- 1 オンライン地域交流センター図書室運営事業
中央図書館とオンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託する。

【成果】

交流センター図書室の資料や環境を整備し、地域交流センター図書室の利便性を向上させた。

谷田部交流センター図書室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間受入資料冊数	冊	1,555	1,560	1,711	1,739	1,517
年間貸出資料冊数	冊	178,133	160,093	125,842	142,813	131,898
年間貸出人数	人	38,767	35,193	27,900	31,877	28,877

筑波交流センター図書室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間受入資料冊数	冊	1,368	1,323	1,455	1,392	1,472
年間貸出資料冊数	冊	60,422	57,796	50,344	59,374	59,699
年間貸出人数	人	14,260	13,152	11,186	13,800	14,229

小野川交流センター図書室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間受入資料冊数	冊	1,376	1,434	1,570	1,452	1,458
年間貸出資料冊数	冊	123,963	111,479	93,742	112,063	102,593
年間貸出人数	人	30,132	27,218	22,196	26,709	24,433

荃崎交流センター図書室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間受入資料冊数	冊	1,424	1,480	1,655	1,578	1,523
年間貸出資料冊数	冊	100,272	91,251	76,350	93,511	87,287
年間貸出人数	人	24,935	22,820	19,084	24,428	23,330

事業名：文化財保護審議会に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	11	本年	252		100		152		142	93.4
				前年	228				228		196	86.0
				比較	24		100		76		54	-
【参考】前々年度					228				228		152	66.7

節別支出済額(単位:千円)

報酬	104	旅費	38
----	-----	----	----

概要及び成果

1 文化財保護審議会事業

文化財保護行政全般について、広範な知識を持つ外部有識者及び市民委員の10名によって構成される審議会を年2、3回開催し、市の文化財保護行政全般に関し適切かつ公平に審議を行うほか、文化財の保存と活用に関する重要事項について協議、検討及び報告を行う。また、必要に応じて現地調査を行う。

【成果】

文化財保存活用計画に基づき、前年度事業の実績及び成果を報告するとともに、現年度事業の計画及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、文化財指定・登録・認定の候補物件に対する今後の道筋についても同様に意見を聴取することができた。

年度別会議開催回数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	2	3	2	2	3

令和4年度の開催日：7月4日、1月17日

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	12	本年	13,221		1,122	3,207	15,306		14,445	94.4
				前年	33,311		11,126		22,185		21,172	95.4
				比較	20,090		10,004	3,207	6,879		6,727	-
【参考】前々年度				9,601		548	2,298	11,351		10,948	96.5	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	9,280	旅費	664	需用費	392	役務費	6
委託料	2,085	使用料及び賃借料	1,919	原材料費	2	備品購入費	97

概要及び成果

1 各種文化財基本調査事業

- 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である悉皆調査の実施
- 巡視等により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施

【成果】

悉皆調査では、これまで行ってきた巨樹古木調査を報告書としてまとめることができた。国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査について、国立公文書館や茨城県立歴史館などの史料保存利用機関が所有する資料の所在確認を進めた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
悉皆調査件数	件	1	1	1	1	1
巡視による現況確認文化財件数	件	26	26	25	25	25

2 埋蔵文化財調査・保存事業

- 各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、試掘・確認調査、非営利目的での本発掘調査等
- 民間調査機関による記録保存調査の調整

【成果】

埋蔵文化財の有無照会に対応し、手続き等を適切に行った。また、各種開発に伴う試掘・確認調査や、個人住宅開発に伴う本発掘調査を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織による本発掘調査の調整・協議・監督をした。調査等で得た出土品や記録は市の貴重な財産になった。

(1) 史跡内現状変更

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
史跡内現状変更申請数	件	5	8	9	6	8
現状変更に伴う確認調査件数	件	0	1	1	0	0

(2) 開発事業調整

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
埋蔵文化財の有無照会:文書	箇所	309	262	200	206	217
埋蔵文化財の有無照会:窓口等	箇所	2,420	2,632	2,392	2,382	2,241
試掘・確認調査(場所数)	箇所	50	43	38	35	27
試掘・確認調査(面積)	m ²	4,727	2,322	2,559	2,564	1,630

(3) 本発掘調査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
市による本発掘調査数	箇所	3	7	2	3	2
市による本発掘調査面積	m ²	160	414	226	201	220
民間調査組織による本発掘調査数	箇所	3	6	1	0	2
民間調査組織による本発掘調査面積	m ²	3,444	6,395	108	0	1,856

事業名：文化財維持管理に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	13	本年	6,767		720		6,047		5,192	85.9
				前年	6,241		528		5,713		4,819	84.3
				比較	526		192		334		373	-
【参考】前々年度					7,181		243	230	7,168		7,053	98.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	80	旅費	111	需用費	10	委託料	3,617
使用料及び賃借料	707	工事請負費	87	負担金補助及び交付金	580		

概要及び成果

1 市管理文化財維持管理事業

○文化庁、茨城県及び市文化財保護審議会委員その他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財を適切に維持・管理・整備等を実施

○市指定史跡保存のための民有地の賃貸借

○史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を実施

【成果】

市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や市指定文化財の天部形立像及び薬師堂・薬師堂仏像の解説板の修繕を通して、指定等文化財の維持管理を適切に行った。また、地元団体や住民による草刈り等を通して、小田城跡内公有地等の景観美化が図れた。

市加盟協議会による研修会等は、昨年度と比較して通常開催が多く、参加機会が増えた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指定文化財草刈り等業務委託	件	8	8	8	8	8
指定文化財管理業務委託	件	1	1	1	1	1
指定文化財修繕工事	件	0	0	2	0	0
文化財解説板設置工事	件	2	1	1	2	1

2 民有文化財補助事業

指定等文化財の管理・修理について、予算の範囲内で経費の一部を補助する。

【成果】

交付決定した1件の補助事業がコロナの影響により取り止めになったものの、国重要文化財大塚家住宅火災報知設備点検事業、同火災報知器修繕事業、市指定民俗文化財田倉三匹獅子保存事業、市指定天然記念物大つけ保存事業、市指定天然記念物大けやき保存事業の5件に対して補助をすることで、適切な保存・維持管理・修繕等工事ができるような所有者への支援ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
火災報知設備管理事業補助	件	1	1	1	1	1
指定文化財修繕事業補助	件	0	0	1	2	1
指定文化財管理事業補助	件	3	1	2	1	0
無形民俗文化財保存事業補助	件	1	1	1	2	3

事業名：市史編纂に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	14	本年	1,514		620	10	884		607	68.6
				前年	665				665		664	99.9
				比較	849		620	10	219		57	-
【参考】前々年度					687		500		187		119	63.6
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				513	委託料		63	備品購入費		31		
概要及び成果												
<p>1 市史編纂事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。） ○整理・解読後の史・資料を市史史料集として刊行 ○未発見の史・資料を調査し、写真やデジタルデータとして記録 ○市関連史資料の入手（古書店等からの購入を含む。） <p>【成果】</p> <p>史料集の原稿作成のための「旗本本多家寺具陣屋日記」を調査した。</p> <p>また、新たに発見された洞下村の名主を務めた家の近世近代史料群の調査を進め、市の歴史を知るための資料が得られた。史資料の収集については、逗子小田家史料、うなぎかき、市内遺跡表採遺物など計4件の寄贈を受けた。</p>												

事業名：小田城跡に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
10	05	03	15	本年	9,146		1,210	0	7,936		7,028	88.6														
				前年	10,317		1,953		8,364		7,966	95.2														
				比較	1,171		743	0	428		938	-														
【参考】前々年度					32,499		6,250	1,700	24,549		24,529	99.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				6	役務費		605	委託料		560		公有財産購入費	5,485													
補償・補填及び賠償金				373																						
概要及び成果																										
<p>1 小田城跡保存事業</p> <p>土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、平成19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収している。</p> <p>また、発掘調査出土品の保存処理を継続して実施している。</p> <p>【成果】</p> <p>市街化調整区域（D地区）内の指定地、772.51㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施した。10～1月に地権者交渉を行い合意、3月に売買契約を締結した。土地の公有化によって、史跡を良好な状態で保存することができるようになった。</p> <p>出土品の保存処理については、木製品2点を実施し、恒久的な保存が可能となった。</p>																										
<p>土地公有化</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有化面積</td> <td>㎡</td> <td>772</td> <td>335</td> <td>1,425</td> <td>2,135</td> <td>748</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	公有化面積	㎡	772	335	1,425	2,135	748
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
公有化面積	㎡	772	335	1,425	2,135	748																				

事業名：文化財展示施設管理に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	16	本年	72,617		6,073	3,743	62,801		59,461	94.7
				前年	68,269		5,567		62,702		60,870	97.1
				比較	4,348		506	3,743	99		1,409	-
【参考】前々年度					62,115		4,442	593	65,964		64,316	97.5

節別支出済額(単位:千円)

報償費	98	需用費	4,767	役務費	1,083	委託料	51,047
使用料及び賃借料	443	工事請負費	821	原材料費	649	備品購入費	538
負担金補助及び交付金	15						

概要及び成果

- 1 文化財展示施設管理事業
 ○収蔵資料の収集及び適切な管理
 ○申請に応じた施設使用・資料利用への対応
 ○法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等の専門業者への委託

【成果】

各展示施設の利用者数及び学校や一般団体からの解説等の依頼件数は、コロナの流行前より少ないものの、昨年度より増加した。所蔵資料・施設の利用許可申請等を適切に事務処理したほか、所蔵資料は出前講座等の教材としても有効活用した。また、来場者からの要望が多かった小田城御城印の販売を開始した。以上の業務を通じて、市の歴史と文化への理解を深めてもらう場を提供するとともに、併せて学術の発展に資することができた。

各展示施設の見学等利用者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
桜歴史民俗資料館	人	3,166	2,568	1,705	8,064	7,809
出土文化財管理センター	人	110	78	64	58	126
平沢官衙遺跡歴史ひろば	人	42,812	38,024	35,722	50,689	46,508
谷田部郷土資料館	人	1,731	813	505	3,948	4,591
小田城跡歴史ひろば	人	19,231	13,888	15,317	19,853	21,204

依頼・申請件数 アの()内は小中義務教育学校、ウの()内は行政財産使用料の件数。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ア 講師派遣・解説依頼等	件	38(16)	18(5)	11(6)	60(29)	57(27)
イ 収蔵資料の閲覧・貸出等の利用件数	件	23	25	24	48	35
ウ 施設利用許可申請	件	25(3)	13(3)	15(0)	24(1)	21(4)

2 平沢官衙遺跡再整備事業

立体復元した高床倉庫の屋根や舗装などの経年劣化が進んでいることから、安全性や耐久性、わかりやすさを改善するための再整備工事を実施する。

【成果】

史跡平沢官衙遺跡再整備懇話会を2回(10、1月)開催し、助言と指導を受けながら、平沢官衙遺跡実物大復元建物再整備実施設計を作成した。現況調査を詳細に実施して課題を整理し、復元建物としての本物らしさを保ちつつ、より長く維持管理できるよう工夫をし、今後の再整備工事への道筋をつけた。

事業名：金田官衙遺跡に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	05	03	17	本年	11,945			10	11,955	0	11,955	100.0																												
				前年	426,095				426,095		426,094	100.0																												
				比較	414,150			10	414,140	0	414,139	-																												
【参考】前々年度				185,746		3,579		182,167		182,121	100.0																													
節別支出済額(単位:千円)																																								
需用費		10		役務費		363		委託料		484		公有財産購入費	11,098																											
概要及び成果																																								
<p>1 金田官衙遺跡保存事業</p> <p>平成15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市の間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市の間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」等により、史跡内の公有地除く約7.3haを、国庫補助を受けて同機構から平成22～令和3年の12年計画で買収する。区画整理地外の個人所有地1筆については令和4年度に買収する。</p> <p>【成果】</p> <p>区画整理地外の史跡指定地である個人所有地1筆を国庫補助を受けて公有化したことで、史跡指定地公有化率が100%となった。</p> <p>買収状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買収面積</td> <td>m²</td> <td>645.25</td> <td>15,270.61</td> <td>6,500.03</td> <td>6,500.04</td> <td>6,773.77</td> </tr> <tr> <td>累計買収面積</td> <td>m²</td> <td>73,362.06</td> <td>72,716.81</td> <td>57,446.20</td> <td>50,946.17</td> <td>44,446.13</td> </tr> <tr> <td>区画整理地の買収率</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>79.0</td> <td>70.1</td> <td>61.1</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	買収面積	m ²	645.25	15,270.61	6,500.03	6,500.04	6,773.77	累計買収面積	m ²	73,362.06	72,716.81	57,446.20	50,946.17	44,446.13	区画整理地の買収率	%	100.0	100.0	79.0	70.1	61.1
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
買収面積	m ²	645.25	15,270.61	6,500.03	6,500.04	6,773.77																																		
累計買収面積	m ²	73,362.06	72,716.81	57,446.20	50,946.17	44,446.13																																		
区画整理地の買収率	%	100.0	100.0	79.0	70.1	61.1																																		

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	18	本年	4,359		4,050	536	8,945		8,785	98.2
				前年	4,367		400		3,967		3,580	90.2
				比較	8		4,450	536	4,978		5,205	-
【参考】前々年度					4,680			235	4,445		3,494	78.6

節別支出済額(単位:千円)

報酬	1,836	報償費	122	旅費	89	需用費	821
役務費	217	委託料	4,884	使用料及び賃借料	816		

概要及び成果

1 学校での伝統文化教育支援事業

出前講座や文化財施設見学の際の説明、学校教員対象の説明研修会を開催するとともに伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供する。

【成果】

筑波高校・島名小学校・つくば秀英高校・秀峰筑波義務教育学校で出前講座を行った(つくば秀英高はオンラインで実施)。教員向け研修講座は、コロナの影響により中止となったが、代わりに資料を配布したことで、学校教育への支援ができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
出前講座回数	回	4	4	2	10	3
教員向け研修講座回数	回	0	0	0	1	0

教職員向け研修講座は、平成30年度は台風、令和2～4年度はコロナの影響により中止。

2 文化財催事講座等事業

○展示施設等を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施

○古文書読解等の文化財講座の実施

○平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催

【成果】

史跡活用催事の一部及び古文書講座を、感染症対策や内容を検討した上で開催することができた。

巡回企画展「鎌倉殿の御家人『八田知家』とつくば」を9月から2月に開催し、関連する講演会、ウォーキングイベントをあわせて実施、参加者アンケートの満足度も高く、歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むことができた。古文書講座は、定員18名を上回る多くの応募があった。そのほか、大河ドラマと連携したトークショーでは約1,000人、史跡活用催事として実施した「小田城冬の陣・どんど焼き」では約2,600人の来場者数を得た。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
企画展来場者数	人	2,469	1,187	1,565	1,467	2,769
企画展関連講演会参加者数	人	82	62	58	83	295
企画展関連行事参加者数	人	22	12	18	14	6
文化財講座参加者数	人	26	18	0	54	55

3 文化財サポーター事業

○解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催

○講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設の解説等の各種業務に参画

【成果】

第4回解説ボランティア養成講座を開催し、修了者8名全員が新規登録した。登録者を対象とした研修講座を2回行い、延べ24名の参加者を得たほか、8件の学校解説の依頼に延べ32名の協力を得た。また、年間を通じて、民間ボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施した。市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
解説ボランティア登録者数	人	31	23	15	10	-

事業名：スポーツ振興に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	11	本年	33,620		3,670		29,950		27,166	90.7
				前年	28,613		2,784		25,829		21,403	82.9
				比較	5,007		886		4,121		5,763	-
【参考】前々年度				29,971	9,687	4,371		35,287		32,119	91.0	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,424	報償費	565	旅費	780	需用費	136
委託料	3,481	使用料及び賃借料	80	備品購入費	99	負担金補助及び交付金	16,601

概要及び成果

- 1 スポーツ推進審議会事業
つくば市が実施するスポーツの推進に関する施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考に
する。

【成果】

スポーツ推進計画の進行管理調査票の評価や、第2次スポーツ推進計画策定に関して、意見や助言を
伺うことができた。

- 2 スポーツ推進委員事業
スポーツ推進委員を委嘱し、つくば市スポーツ推進協議会の活動を通じて、委員相互の交流・情報交
換、市主催事業への協力、各種研修会への参加による資質向上などを図る。

【成果】

研修会では推進委員の経験や知識の蓄積とともに、交流や情報交換が図られた。また、市主催事業に
多くの推進委員が参加しスムーズな運営の一翼を担った。

スポーツ推進委員事業等参加者数実績

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ参加者数	人	266	84	12	312	304

- 3 スポーツ推進計画の施策推進の取組
つくば市スポーツ推進計画の「施策の推進のために取り組む事項」の実現を目指すため、様々な取組
を実施する。

また、現在の推進計画の期間が令和5年度末で満了となるため、令和4年度から5年度にかけて、次
期つくば市スポーツ推進計画の策定を行う。

【成果】

障害者スポーツ活動を促進するため、筑波大学とともに調査研究を実施し、ニーズ及び課題の洗い出
しを行った。また、新たなスポーツ推進計画の策定に関し、アンケート調査を実施し、市民のスポー
ツ活動の現状を把握した。

- 4 (一社)つくば市スポーツ協会等補助
スポーツレクリエーション活動を展開する(一社)つくば市スポーツ協会及びつくば市レクリエーシ
ョン協会に補助金を交付し、活動を支援する。

【成果】

各団体が行う地域や市民スポーツ、レクリエーション活動を推進することができたが、新型コロナウ
イルス感染症の影響で一部中止となった活動もあった。また、スポーツ協会について、適正な事務執
行や経理処理が行えるよう市から事務局長を派遣するとともに、スケジュールや業務の進捗等の確認
を行うなど、情報の共有を図った。

事業名：スポーツ教室開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	12	本年	3,354		1,555		1,799	0	1,315	73.1
				前年	3,356		992		2,364		1,613	68.3
				比較	2		563		565	0	298	-
【参考】前々年度					6,402		5,175		1,227		671	54.7

節別支出済額(単位:千円)

報償費	138	需用費	15	役務費	12	委託料	1,128
使用料及び賃借料	22						

概要及び成果

1 スポーツ教室開催事業

スポーツ教室を開催することにより、市民のスポーツ振興の啓発、習慣の定着、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。また、民間事業者のノウハウの活用や発展を促すため、共催・協力型の教室を実施する。

【成果】

当初は13教室の開催を計画していたが、市主催を10教室（下表参照）、民間事業者主催の5教室（ブラインドサッカー、かけっこ×2、ゴールボール、カンタン・ポッチャ）について開催支援を行い、市民スポーツ振興の啓発等を実施することができた。

教室参加者数実績（延べ人数）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1 テニス	人	中止	96	中止	-	-
2 体幹トレーニング	人	83	116	105	386	326
3 トレイルラン	人	56	101	中止	123	119
4 ランニング	人	60	中止	36	103	73
5 バドミントン	人	64	85	84	-	-
6 ヨガ	人	78	75	中止	-	-
7 車いすバスケ	人	中止	中止	16	中止	6
8 子どもの運動教室(低学年)	人	89	134	中止	-	-
9 子どもの運動教室(高学年)	人	31	中止	-	-	-
10 スプリント	人	75	107	-	-	-
11 親子ヨガ	人	中止	中止	-	-	-
12 車いすバドミントン	人	-	中止	-	-	-
13 スラックライン	人	46	中止	33	-	-
14 車いすに座ってできるスポーツ体験	人	38	-	-	-	-

14はR4新規

事業名：スポーツ大会開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	13	本年	24,324		1,970		22,354		21,356	95.5
				前年	24,661		2,846		21,815		17,158	78.7
				比較	337		876		539		4,198	-
【参考】前々年度				24,212		11,953		12,259		10,527	85.9	

節別支出済額(単位：千円)

報償費	670	需用費	1,340	役務費	362	委託料	3,749
使用料及び賃借料	235	負担金補助及び交付金	15,000				

概要及び成果

1 スポーツ大会開催事業

スポーツ大会やイベントを開催することにより、スポーツの楽しみや健康の増進、さらには技術の向上並びに参加者の交流の場を提供する。また、集客力のある大規模なイベントを開催することで、市のPRや、スポーツでつながるまちづくりに寄与する。(5月つくばウォークラリー大会、9月つくばスポーツフェスティバル、11月つくばマラソン、2月つくば健康マラソン等)

【成果】

令和4年度は予定していた大会及びイベントを全て開催することができ、スポーツの楽しみや健康の増進等の場を提供することができた。つくばマラソンにおいては47都道府県から参加者が集まり、市のPRに寄与することができた。

(1) つくばウォークラリー大会

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申込者数	人(組)	341(100)	354(104)	中止	539(154)	526(149)
参加者数	人(組)	261(77)	中止	中止	403(121)	398(119)

(2) つくばスポーツフェスティバル

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	人	603	中止	中止	805	1,212

(3) つくばマラソン

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申込者数(42.195km)	人	8,443	中止	中止	15,327	15,270
(うちふるさと納税エントリー)	人	50	中止	中止	175	141
申込者数(10km)	人	1,420	中止	中止	2,785	2,843
申込者数合計	人	9,863	中止	中止	18,112	18,113
出走者数(42.195km)	人	7,284	中止	中止	12,353	13,002
出走者数(10km)	人	1,163	中止	中止	2,009	2,353
出走者数合計	人	8,447	中止	中止	14,362	15,355

(4) つくば健康マラソン

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
申込者数	人	1,794	1,136	中止	1,930	1,960
参加者数	人	1,581	中止	中止	1,708	1,645

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	14	本年	74,499		15,880		58,619		55,217	94.2
				前年	73,235		4,397		68,838		65,752	95.5
				比較	1,264		11,483		10,219		10,535	-
【参考】前々年度					46,908		25,695		72,603		68,812	94.8

節別支出済額(単位：千円)

報酬	100	旅費	4	需用費	4,875	役務費	388
委託料	45,823	使用料及び賃借料	3,381	負担金補助及び交付金	645		

概要及び成果

1 各種健康診断事業

学校保健安全法の規定に基づく各種検診を実施することで、園児、児童、生徒及び教職員の健康管理と疾病異常の早期発見に努めた。

検診種類

尿検査(全児童・生徒・園児)、寄生虫検査(全園児)、心臓病検診(1年生、4年生及び7年生)

結核精密検査(全児童生徒のうち精密検査対象者)、運動器検診(全児童・生徒)、教職員定期健康診断(該当者)

【成果】

必要な検診を実施することで、疾病異常の早期発見に努め、園児、児童、生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることができた。

(1)園児・児童・生徒を対象とした受診者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
尿検査	人	22,616	22,235	22,134	21,687	21,386
寄生虫検査	人	561	628	783	844	902
心臓病検診一次	人	7,585	7,338	7,090	7,055	6,816
心臓病検診二次	人	371	382	283	300	352
結核検診	人	45	30	45	35	37

(2)教職員の定期健康診断受診者数(健診内容：尿、胸部X線、胃がん、血圧、心電図等)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診者	人	457	419	416	426	394

2 教職員安全衛生管理業務

(1)つくば市立学校に勤務する教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、学校衛生委員会の開催及び産業医を配置した。

(2)教職員のメンタルヘルスケアを図るため、ストレスチェックを実施した。

【成果】

教職員が安心して職務に専念できるよう、職場環境の改善やメンタルヘルス対策に取り組んだ。

(1)産業医の配置(4名)

(2)ストレスチェック実施校(全45校)

ストレスチェック受診者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
対象者	人	1,383	1,337	1,306	1,275	1,245
受験者数	人	1,381	1,325	1,295	1,258	1,218
受験率	%	99.86	99.10	99.16	98.60	97.80
高ストレス者率	%	9.34	11.47	10.73	10.96	12.80

3 新型コロナウイルス感染症対策

(1)感染症対策として、衛生医療用消耗品（手指用消毒液、小児用マスク、グローブ等）を購入し、各学校へ配布した。

(2)医療相談アプリLEBERを導入し、児童生徒の検温結果及び出欠連絡を学校ごとに集約して体調管理を行った。

【成果】

(1)感染症拡大防止対策を円滑に進めることができた。

(2)児童生徒の体調管理をアプリを通して行うことで、教職員の負担軽減を図ることができた。

事業名：体育施設維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	02	11	本年	383,335		17,602		400,937		391,024	97.5
				前年	520,963	2	8,980		511,985		502,972	98.2
				比較	137,628	2	26,582		111,048		111,948	-
【参考】前々年度					471,616		715,417		1,187,033	2	1,172,104	98.7

節別支出済額(単位:千円)

需用費	29,696	役務費	1,624	委託料	199,641	使用料及び賃借料	18,452
工事請負費	135,284	備品購入費	3,650	補償・補填及び賠償金	2,677		

概要及び成果

- 1 体育施設維持管理事業(グラウンド・テニスコート・柔剣道場・体育館)
 体育施設17施設(体育館7、テニスコート2、野球場2、サッカー場1、ソフトボール場1、多目的広場3、柔剣道場1)の維持管理を行う。

【成果】

4市単吉沼体育館トイレ改修工事及び4市単筑波総合体育館照明外改修工事等の工事11件、4筑波総合体育館笠木修繕等の修繕67件、工事設計・測量5件を実施した。

筑波総合体育館については、改修工事により9月12日から2月1日まで休館とした。

利用者数(下表は有料施設のみ)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
谷田部総合体育館	人	71,702	56,970	54,271	81,574	75,396
豊里体育館、柔剣道場	人	23,985	17,776	15,401	23,996	26,746
東光台体育館	人	20,597	16,538	13,595	20,334	20,109
吉沼体育館	人	15,966	12,335	10,078	40,380	30,433
大穂体育館	人	12,341	10,758	10,523	15,266	16,164
筑波総合体育館	人	14,400	21,772	18,923	28,027	30,123
桜総合体育館	人	74,019	56,515	56,752	79,845	88,527
谷田部野球場	人	9,146	6,303	5,780	9,909	10,717
吉沼野球場	人	5,376	4,397	3,767	14,989	8,853
豊里多目的広場	人	3,896	4,182	2,885	4,312	4,890
高見原ソフトボール場	人	11,507	8,904	8,959	10,498	10,865
高崎サッカー場	人	15,513	14,413	9,860	15,178	17,035
谷田部テニスコート	人	27,532	23,831	24,060	30,743	27,960
豊里テニスコート	人	11,164	9,152	4,607	15,676	14,840

施設管理委託、清掃委託、植栽維持管理委託

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
谷田部総合体育館外2施設	千円	29,207	27,683	27,415	26,837	27,767
豊里体育館、柔剣道場	千円	14,137	14,004	14,090	14,071	14,309
東光台体育館	千円	3,980	3,861	3,867	3,763	4,282
吉沼体育館	千円	14,409	14,208	14,369	14,368	14,519
大穂体育館	千円	49	105	55	48	51
筑波総合体育館	千円	3,916	3,916	3,916	3,826	4,201
桜総合体育館	千円	12,749	12,914	12,189	12,400	13,057
高崎サッカー場外2施設	千円	21,055	21,399	20,895	16,410	18,833

修繕、工事請負、設計委託

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
谷田部総合体育館外2施設	千円	6,714	8,653	5,196	6,285	93,272
豊里体育館、柔剣道場	千円	20,906	3,304	2,444	43,108	2,986
東光台体育館	千円	968	1,496	103	6,091	32,946
吉沼体育館	千円	16,934	2,155	3,001	1,239	3,229
大穂体育館	千円	43,639	1,327	2,093	792	3,443
筑波総合体育館	千円	49,208	619	1,636	7,047	2,943
桜総合体育館	千円	3,624	12,604	17,537	2,818	8,312
高崎サッカー場外2施設	千円	2,559	336	255	17	1,775

2 ウェルネスパーク管理事業

つくばウェルネスパークのヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば（セキショウチャレンジスタジアム）、スポーツフィールドの維持管理を行う。

【成果】

4 つくばウェルネスパーク湧水ポンプ修繕工事等の工事3件、4 つくばウェルネスパークドッグラン修繕等の修繕3件、工事設計1件を行った。

利用者数(下表は有料施設のみ)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ヘルスプラザ	人	132,886	102,168	97,598	149,974	164,792
フットボールスタジアムつくば	人	51,541	22,297	32,757	45,133	49,073
スポーツフィールド	人	4,731	4,596	3,143	8,365	7,907

施設管理

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
指定管理委託	千円	86,318	75,000	75,000	74,000	76,474
植栽維持管理委託	千円	0	0	484	594	367
修繕、工事請負、設計委託	千円	4,912	164,093	3,284	5,102	6,640
指定管理施設運営補償金	千円	2,677	17,569	16,753	-	-

事業名：(仮称)みどりの学校プール建設に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	06	02	12	本年	1,118,618				1,118,618	870,976	246,102	99.9	
				前年									
				比較	1,118,618				1,118,618	870,976	246,102	-	
【参考】前々年度													

節別支出済額(単位:千円)

委託料	7,434	工事請負費	238,668
-----	-------	-------	---------

概要及び成果

- 1 (仮称)みどりの学校プール建設事業
(仮称)みどりの南小・中学校が開校する令和6年4月の供用開始に向けて、令和2年度に現況測量、令和2年度から令和3年度に基本・実施設計業務、令和4年度から令和5年度にプール建設工事を行う。
- 敷地面積 約25,000㎡
 - 建物規模 約3,000㎡(RC造一部S造、SRC造)
 - 主要施設 プール(1,600㎡) 25mプール2槽(6レーンと7レーン)、1槽は可動床
幼児用プール、採暖室
トレーニングルーム(120㎡) ダンスや体操での利用が可能
会議室(90㎡) 可動間仕切りにより、大きさを変更可能
普段はコミュニティスペースとしてロビーと一体的に利用可能

【成果】

令和4年7月よりプール施設の建設工事に着手した(令和5年12月工事完了予定)。
また、学校授業利用時の大型バス進入路を確保するため、接続道路の拡幅工事を実施した。

建設費用

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
用地取得	千円	-	-	855,952	-	-
設計委託	千円	-	65,542	25,731	-	-
建設工事	千円	216,763	-	-	-	-
工事監理委託	千円	5,758	-	-	-	-
道路拡幅工事	千円	21,906	-	-	-	-

事業名：(仮称)つくば市陸上競技場整備に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	06	02	13	本年			33,129		33,129	0	28,185	85.1	
				前年									
				比較			33,129		33,129	0	28,185	-	
【参考】前々年度													
節別支出済額(単位:千円)													
報償費				190	委託料		27,995						
概要及び成果													
<p>1 (仮称)つくば市陸上競技場整備事業 市内に公式記録(日本陸上競技連盟が認める記録)の取れる陸上競技場がなく、他自治体などの施設を借用していることや市内スポーツ団体の意向等を踏まえて、市内の小・中学生の公式陸上記録会・競技会及びつくば陸上競技選手権大会開催が可能であり、障害者や高齢者等誰もが利用できる陸上競技場を上郷高校跡地に整備する。</p> <p>整備スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度...基本構想の策定、大規模事業評価 ・令和4年度...市の方針決定、基本計画の策定 ・令和5年度...基本計画の策定(令和4年度から継続) ・令和6～7年度...基本設計・実施設計 ・令和8～9年度...工事施工 ・令和9年度下旬...供用開始 <p>【成果】 つくば市大規模事業評価委員会からの答申が「概ね妥当」との結果であったことから、令和4年4月27日庁議にて「事業を進める」と決定した。 「(仮称)つくば市陸上競技場整備基本計画」を策定するに当たり、学識経験者、スポーツ団体の代表者、市議会議員、市民の合計11名で構成された「(仮称)つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議」を、令和4年11月4日と令和5年2月27日に開催した。また、庁内における検討会議を、令和4年11月16日と令和5年2月20日に開催した。</p>													

事業名：給食センター運営審議会に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	11	本年	216				216		148	68.5
				前年	216				216		118	54.6
				比較	0				0		30	-
【参考】前々年度				279		7		272		132	48.5	
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				104	旅費		44					
概要及び成果												
<p>1 給食センター運営審議会事務 学校給食の運営に関する重要事項について運営審議会を開催し審議する。</p> <p>【成果】 令和4年度、2回の審議会を開催し、令和3年度つくば市学校給食の在り方懇談会活動報告や令和4年度学校給食運営における食材費高騰への対応などについて、報告することができた。</p>												

事業名：給食センター管理運営に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	12	本年	2,107,883		185,697		2,293,580		2,238,049	97.6
				前年	2,038,544	2,474	6,080		2,047,098		1,803,665	88.1
				比較	69,339	2,474	179,617		246,482		434,384	-
【参考】前々年度				1,974,522		25,962		2,000,484	2,474	1,778,638	89.0	

節別支出済額(単位:千円)

報償費	375	旅費	37	需用費	1,702,685	役務費	29,510
委託料	452,125	使用料及び賃借料	2,137	工事請負費	19,458	備品購入費	31,316
負担金補助及び交付金	406						

概要及び成果

1 給食センター管理事業

- (1) 建物の法的な点検、害虫駆除やボイラー等の日常点検を行う。
- (2) 厨房備品及び施設修繕等を行う。
- (3) 給食センター4施設において、安心・安全な学校給食を安定して調理、提供する。

【成果】

- (1) 施設管理業務委託を実施することにより、安定したセンター運営を行うことができた。
警備委託、消防設備点検委託、ボイラー保守管理委託等
- (2) 給食施設や厨房備品等を修繕し、安定したセンター運営を行うことができた。
筑波学校給食センター手洗い器修繕工事
つくばすこやか給食センター豊里カゴごと食器洗浄機修繕工事
4 茎崎学校給食センター食器自動供給整理装置修繕工事
- (3) 1日当たり25,524食の給食を調理・提供した。(年間197回)

内訳

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
幼稚園	名	546	622	747	838	861
小学校	名	15,786	15,436	15,084	14,800	14,326
中学校	名	7,148	6,877	6,621	6,382	6,317
教職員等	名	2,044	1,969	2,096	1,881	1,868
合計	名	25,524	24,904	24,548	23,901	23,372

2 給食食材放射性物質測定検査事業

毎日2施設分の給食センターに係る前日納品の食材4品目と毎日1施設分の給食センターに係る給食一週間分を独自に検査し、結果をホームページ上で公開する。

【成果】

食材の放射性物質検査測定値を市ホームページに掲載し、公開することで学校給食食材の安全性を周知できた。

3 学校給食食物アレルギー対応事業

事故防止に努めるとともに、緊急時に迅速に対応できるよう学校、保護者、教育局で連携を図る。

【成果】

- ・年間を通して、エピペン講習会を実施し、教職員等のアレルギー対応に関する知識の向上を図ることができた。
- ・年間を通して、食物アレルギー個別面談を実施し、学校における食物アレルギー対応及び事故防止を円滑に行うことができた。

4 給食食材の地産地消の実施

給食食材として地場産物を安定的に供給できる体制をつくり、学校給食における地場産物の利用拡大を図る。

【成果】

つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドラインに基づき、令和3年度当初に地産地消率の目標値を20%と設定した。

目標値に届かなかったものの、各給食センターの献立に地産地消献立を取り入れ、つくば市産食材の導入を推進した。また、つくば市産小麦のコメシホウパンや、さつまいもコロッケなどの商品を開発し、給食提供を行った。

つくば市産地産地消率(食品数ベース)：18.4%

(参考値)

つくば市産地産地消率(金額数ベース)H30：35%、R1：47%、R2：48%、R3：39.9%、R4：40.3%

つくば市産地産地消率(重量数ベース)H30：26%、R1：25%、R2：32%、R3：26%、R4：28%

事業名：給食配送業務に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	13	本年	162,745				162,745		162,745	100.0
				前年	183,105				183,105		182,817	99.8
				比較	20,360				20,360		20,072	-
【参考】前々年度					183,105				183,105		182,732	99.8

節別支出済額(単位:千円)

委託料 162,745

概要及び成果

1 給食配送業務事業

各学校・幼稚園への給食の配送(業務委託)

【成果】

各学校への配送時間を設定し、給食配膳に必要な時間までに、安全で安定した学校給食の配送業務を実施することができた。

年間配送回数：197回

配送事業内訳

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
配送台数	台	30	27	27	27	26
配送学校数	施設	62	62	62	62	62
給食対象人員	人	25,524	24,904	24,548	23,901	23,372

事業名：学校給食費徴収管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	14	本年	5,114				5,114		4,432	86.7
				前年	6,052				6,052		4,551	75.2
				比較	938				938		119	-
【参考】前々年度					2,402		1,650		4,052		3,770	93.0
節別支出済額(単位:千円)												
需用費				183	役務費		4,242		償還金利子及び割引料	7		
概要及び成果												
<p>1 学校給食費徴収管理事業 学校給食費管理における透明性、公平性を確保するため、口座振替による学校給食費の収納を行う。 また、納付書による給食費納入者に対して、納付書等を作成し、発送する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教職員の負担軽減、保護者負担の公平性の確保、歳入・歳出予算に係る透明性の向上に寄与することができた。 ・給食費の口座振替の際、振替手数料を市が負担することとなり、また複数の金融機関口座が利用可能となったことによって、保護者の利便性の向上につながった。 ・25,524名の対象者から、1,027,672,220円の給食費を徴収することができた。徴収率：98.99% 												

事業名：給食センター建設に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	15	本年	245,568	16,456	44,330		217,694		217,414	99.9
				前年	28,922		5,113		23,809	16,456	6,654	97.1
				比較	216,646	16,456	39,217		193,885	16,456	210,760	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
委託料				55,714	工事請負費		161,700					
概要及び成果												
<p>1 (仮称)新桜学校給食センター整備事業 将来予想される調理能力不足、既存センターの老朽化等に対応する新しい学校給食センターを建設する。旧桜学校給食センターの跡地に建設することにより、速やかに事業を進め、安心・安全な学校給食の継続提供を図る。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)新桜学校給食センターの基本設計・実施設計を行い、調理能力7,000食、炊飯設備を備えた施設計画を策定することができた。 ・旧桜学校給食センター解体工事を行い、令和5年度から行われる建設工事に備えることができた。 												

事業名：災害復旧に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
11	01	01	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 被災した公共施設の復旧に係る予算措置</p> <p>【成果】 災害が発生しなかったため、執行しなかった。</p>												

事業名：元金の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
12	01	01	11	本年	6,159,149		2,252		6,156,897		6,156,894	100.0
				前年	6,521,507		977		6,520,530		6,520,526	100.0
				比較	362,358		1,275		363,633		363,632	-
【参考】前々年度					6,203,665		2,589		6,201,076		6,201,072	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					6,156,894							
概要及び成果												
1 市債元金の償還												
【成果】												
市債発行時の約定に従い、償還期日までに所要額を全額償還した。												
また、エクスプレス関連土地区画整理事業債等の償還終了に伴い、償還額が前年比363,632千円が減少した。												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
元金償還額					千円	6,156,894	6,520,526	6,201,072	5,924,124	5,722,693		

事業名：利子の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
12	01	02	11	本年	194,234		5,148		189,086		188,311	99.6
				前年	213,191		5,038		208,153		207,146	99.5
				比較	18,957		110		19,067		18,835	-
【参考】前々年度					265,838		11,949		253,889		252,635	99.5
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					188,311							
概要及び成果												
1 市債利子の償還												
【成果】												
市債発行時の約定に従い、償還期日までに所要額を全額償還した。												
また、令和4年度に償還した利子の総額は、臨時財政対策債の利率見直し(0.9% 0.1%)による減に加え、近年1%を下回る低金利で市債を発行していることから、前年比18,835千円減少した。												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
利子支払額					千円	188,311	207,146	252,635	300,594	344,977		

事業名：土地取得に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	01	01	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
1 普通財産の取得に関すること												
【成果】												
普通財産の取得がなかったため、執行しなかった。												

事業名：財政調整基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
13	02	01	11	本年	357		7,845,445		7,845,802		7,845,777	100.0														
				前年	243		2,285,133		2,285,376		2,285,375	100.0														
				比較	114		5,560,312		5,560,426		5,560,402	-														
【参考】前々年度					600,447		3,356,699	7	3,957,153		3,957,153	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
積立金					7,845,777																					
概要及び成果																										
<p>1 財政調整基金への積立て 災害により生じた経費、市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費、その他やむを得ない理由により生じた経費の財源に充てることで、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置された、つくば市財政調整基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)安定的な財政運営に資するため、つくば市土地開発公社貸付金元金及び剰余金7,845,644,894円及び預金利子131,869円を積み立てた。</p> <p>(2)基金を744,466,000円取り崩し、新型コロナウイルス感染症による影響に対応するための予算、民生費・教育費等の予算の財源として充当した。</p> <p>(3)令和4年度末基金残高は、11,325,388,425円。</p>																										
<p>財政調整基金の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末基金残高</td> <td>千円</td> <td>11,325,388</td> <td>4,224,078</td> <td>2,214,302</td> <td>4,625,972</td> <td>4,871,680</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	年度末基金残高	千円	11,325,388	4,224,078	2,214,302	4,625,972	4,871,680
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
年度末基金残高	千円	11,325,388	4,224,078	2,214,302	4,625,972	4,871,680																				

事業名：減債基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	02	11	本年	46		38		8		7	92.9
				前年	134		100		34		30	87.0
				比較	88		62		26		23	-
【参考】前々年度					164		93	4	261		261	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					7							
概要及び成果												
<p>1 減債基金への積立て 市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置された、つくば市減債基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子7,430円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、378,085,279円</p>												

事業名：土地開発基金繰出金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	03	11	本年	4				4		4	91.4
				前年	19		14		5	4	82.8	
				比較	15		14		1	0	-	
【参考】前々年度					19		7		12		12	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					4							
概要及び成果												
<p>1 土地開発基金への積立て 公用若しくは公共用に供する土地、又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置された、つくば市土地開発基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子3,654円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、土地24,706,000円、預金180,146,794円。</p>												

事業名：奨学金基金積立金

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	04	11	本年	1		5,000		5,001		5,000	100.0
				前年	1				1	0	6.9	
				比較	0		5,000		5,000	5,000	-	
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					5,000							
概要及び成果												
<p>1 奨学金基金積立金 高等学校に在籍する者で経済的理由により修学が困難であると認められる者に奨学金を給付するために設置された、つくば市奨学金基金に積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子37円を積み立てた。</p> <p>(2)今年度は基金からの取り崩しは行わず、企業からの寄附金1,800,000円を奨学資金給付事業の財源として充当した。また、別企業からの寄附金5,000,000円を基金へ積立てた。</p> <p>(3)令和4年度末基金残高は、6,866,106円。</p>												

事業名：公共施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	05	11	本年	151		123		28		24	86.0
				前年	176		101		75	74	99.3	
				比較	25		22		47	50	-	
【参考】前々年度					164		97	6	267		267	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					24							
概要及び成果												
<p>1 公共施設整備基金への積立て 公共施設整備資金に充てるために設置された、つくば市公共施設整備基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子24,074円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、1,337,123,713円。</p>												

事業名：国際交流基金積立金

市長公室 国際都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	06	11	本年	2		1		1		0	24.0
				前年	2				2		0	11.5
				比較	0		1		1		0	-
【参考】前々年度					2				2		2	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
<p>1 国際交流基金積立金 国際交流事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市国際交流基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子240円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、11,847,223円。</p>												

事業名：つくばエクスプレス対策基金積立金

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	07	11	本年	2				2		1	65.0
				前年	7		5		2		1	61.7
				比較	5		5		0		0	-
【参考】前々年度					7		2		5		5	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					1							
概要及び成果												
<p>1 つくばエクスプレス対策基金への積立て つくばエクスプレスの建設促進及びこれに係る地域整備に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市つくばエクスプレス対策基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子1,299円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、63,443,730円。</p>												

事業名：福祉振興基金積立金

福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	08	11	本年	6		5		11		10	93.0
				前年	29		23		6		6	97.5
				比較	23		28		5		4	-
【参考】前々年度					29		11		18		18	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					10							
概要及び成果												
<p>1 福祉振興基金への積立て 福祉事業を推進し、快適な生活環境の形成を図るために設置された、つくば市福祉振興基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子10,226円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、283,019,074円。</p>												

事業名：ふるさと創生基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	09	11	本年	1				1		0	5.2
				前年	1				1		0	7.0
				比較	0				0		0	-
【参考】前々年度				1				1		1	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					0							
概要及び成果												
<p>1 ふるさと創生基金への積立て つくば市が自ら考え自ら実践する地域づくり事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市ふるさと創生基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子52円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、2,541,122円。</p>												

事業名：学校教育施設整備基金積立金

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	10	11	本年	439		3,266,491		3,266,930		3,266,923	100.0
				前年	178		1,200,581		1,200,759		1,200,759	100.0
				比較	261		2,065,910		2,066,171		2,066,164	-
【参考】前々年度				12,109		2,204	0	9,905		9,905	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					3,266,923							
概要及び成果												
<p>1 学校教育施設整備基金積立金 学校教育施設の整備の財源に充てるために設置された、つくば市学校教育施設整備基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子44,828円を積み立てた。</p> <p>(2)積立金として3,266,878,000円を積み立てた。</p> <p>(3)新設校整備の財源に充てるため、945,172,000円を取崩した。</p> <p>(4)令和4年度末基金残高は、4,887,895,717円。</p>												

事業名： アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	11	11	本年	412,453		2		412,451		178,287	43.2
				前年	132,107		236,133		368,240		210,852	57.3
				比較	280,346		236,135		44,211		32,565	-
【参考】前々年度					102,986		84,816	4,962	192,764		192,764	100.0

節別支出済額(単位:千円)

積立金	178,287
-----	---------

概要及び成果

- 1 アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金
つくば市を応援するための寄附金(アイラブつくばまちづくり寄附金)を適正に管理し、市民団体の活動資金及び市が行う事業の財源に充てるために設置された、アイラブつくばまちづくり寄附基金へ積立てを行う。

【成果】

- (1)アイラブつくばまちづくり寄附金178,283,721円を積み立てた。
- (2)預金利子2,985円を積み立てた。
- (3)基金を212,965,000円取り崩し、アイラブつくばまちづくり活動支援事業や第2期つくば市戦略プランにひも付く事業の財源として充当した。
- (4)令和4年度末基金残高は、116,150,513円。

アイラブつくばまちづくり寄附基金の推移

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
積立額	千円	178,287	210,852	192,764	107,455	47,554
取崩額	千円	212,965	257,525	111,982	42,527	57,274
残高	千円	116,151	150,829	197,502	116,719	51,791

事業名： 地域雇用創出推進基金積立金

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	12	11	本年	1				1		1	52.2
				前年	7		1		6		1	22.0
				比較	6		1		5		0	-
【参考】前々年度					17		4		13		13	100.0

節別支出済額(単位:千円)

積立金	1
-----	---

概要及び成果

- 1 地域雇用創出推進基金への積立て
地域における雇用の創出を推進するための事業の財源に充てるために設置された、つくば市地域雇用創出推進基金へ積立てを行う。

【成果】

- (1)預金利子522円を積み立てた。
- (2)基金を10,000,000円取り崩し、産業活性化促進奨励金の財源として充当した。
- (3)令和4年度末基金残高は、14,850,842円

事業名：医療環境整備基金積立金

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	13	11	本年	3				3		3	87.3
				前年	18		14		4	3	86.5	
				比較	15		14		1	0	-	
【参考】前々年度					18				18		18	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					3							
概要及び成果												
<p>1 医療環境整備基金の設置</p> <p>筑波大学との「寄附講座の設置に係る協定」に基づき、寄附講座の開設及び附属病院内へのつくば市バースセンター整備や、産婦人科施設開設支援事業助成金を交付するため、基金へ積立てを行う。この取組により、実際の診療を通じた研修教育等を行い、周産期医療を担う産科医、助産師の人材育成を図るとともに、市民の安全で安心な出産の場を確保し、安定的な周産期医療体制を構築する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)預金利子2,620円を積み立てた。</p> <p>(2)令和4年度末基金残高は、127,867,078円。</p>												

事業名：環境都市推進基金積立金

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
13	02	14	11	本年	1		46,700		46,701		46,701	100.0																												
				前年	1		32,500		32,501	32,501	100.0																													
				比較	0		14,200		14,200	14,200	-																													
【参考】前々年度					10,002		30,000		40,002		40,002	100.0																												
節別支出済額(単位:千円)																																								
積立金					46,701																																			
概要及び成果																																								
<p>1 環境都市推進基金積立金</p> <p>低炭素な街づくりを推進し、持続可能な都市の実現に向けた事業予算の財源に充てるために設置された、環境都市推進基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)積立金として46,700,000円及び預金利子799円を積み立てた。</p> <p>(2)基金3,070,000円を取崩し、クリーンエネルギー機器設置事業補助金(120件)、クリーンエネルギー自動車購入補助金(78件)、低炭素ガイドラインに基づく認定補助金(111件)及び宅配ボックス設置促進補助金(14件)の財源として充当した。</p> <p>環境都市推進基金の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積立額</td> <td>千円</td> <td>46,701</td> <td>32,501</td> <td>40,002</td> <td>25,004</td> <td>10,008</td> </tr> <tr> <td>充当額</td> <td>千円</td> <td>30,700</td> <td>28,940</td> <td>32,180</td> <td>28,690</td> <td>54,350</td> </tr> <tr> <td>残高</td> <td>千円</td> <td>56,197</td> <td>40,196</td> <td>36,635</td> <td>28,813</td> <td>32,499</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	積立額	千円	46,701	32,501	40,002	25,004	10,008	充当額	千円	30,700	28,940	32,180	28,690	54,350	残高	千円	56,197	40,196	36,635	28,813	32,499
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																		
積立額	千円	46,701	32,501	40,002	25,004	10,008																																		
充当額	千円	30,700	28,940	32,180	28,690	54,350																																		
残高	千円	56,197	40,196	36,635	28,813	32,499																																		

事業名：つくばこどもの青い羽根基金積立金

こども部 こども未来課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	15	11	本年	10,001		4,200	662	14,863		14,862	100.0
				前年	8,601		5,500	93	14,194		14,194	100.0
				比較	1,400		1,300	569	669		668	-
【参考】前々年度					8,601		6,268	0	14,869		14,480	97.4
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					14,862							
概要及び成果												
<p>1 つくばこどもの青い羽根基金積立金 つくば市の子どもの未来支援のために寄付された寄付金を適正に管理し、市が行う子どもの未来支援事業の財源に充てるために設置された、つくばこどもの青い羽根基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)つくばこどもの青い羽根寄付金の実績額14,861,720円を積み立てた。 (2)預金利子463円を積み立てた。 (3)基金を取り崩し、13,897,000円を子どもの未来支援事業の財源として充当した。 (4)令和4年度末基金残高は、24,073,797円。</p>												
つくばこどもの青い羽根基金基金の推移												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
積立金					千円	14,862	14,194	14,480	7,181	-		
充当額					千円	13,897	7,000	6,500	1,600	-		
残高					千円	24,074	23,355	16,161	7,181	-		

事業名：森林環境譲与税基金積立金

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	16	11	本年	30,925		1,497		32,422		32,421	100.0
				前年	23,565			992	24,557		24,557	100.0
				比較	7,360		1,497	992	7,865		7,864	-
【参考】前々年度					23,593				23,593		23,566	99.9
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					32,421							
概要及び成果												
<p>1 森林環境譲与税基金事業 森林環境譲与税は森林整備や森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用促進等に関する施策に充てるために導入され、森林環境税を財源として令和元(2019)年度から人工林面積及び林業就業者数、人口に応じて市町村に配分されている。 つくば市は主に、森林整備や木育事業等に活用している。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)手入れの行き届いていない平地林・里山林の間伐や下刈りにより、森林の公益的機能を高めることができた。 (2)木のおもちゃに触れあってもらいイベントを開催し、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を実施することができた。</p>												
森林環境譲与税基金の推移												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
積立金					千円	32,420	24,556	23,566	11,089	-		
充当額					千円	13,061	2,998	1,705	0	-		
残額					千円	73,867	54,508	32,950	11,089	-		

事業名：地方創生応援基金積立金

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	17	11	本年	1		5,050	5,353	10,404		10,403	100.0
				前年			5,050		5,050		5,050	100.0
				比較	1		0	5,353	5,354		5,353	-
【参考】前々年度												
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					10,403							
概要及び成果												
<p>1 地方創生応援基金積立金 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）による企業からの寄附金を適正に管理し、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の財源に充てるために設置された、つくば市地方創生応援基金へ積立てを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)企業版ふるさと納税寄附金のうち基金に積み立てる必要がある10,300,000円に、一般財源103,000円を加えた、10,403,000円を積み立てた。</p> <p>(2)預金利子99円を積み立てた。</p> <p>(3)令和4年度末基金残高は、15,453,099円。</p>												
地方創生応援基金の推移												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
積立額		千円	10,403	5,050	-	-	-					
取崩額		千円	0	0	-	-	-					
残高		千円	15,453	5,050	-	-	-					

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
14	01	01	11	本年	100,000			39,506	60,494			0.0
				前年	100,000			38,379	61,621			0.0
				比較	0			1,127	1,127			-
【参考】前々年度					100,000			29,081	70,919			0.0
概要及び成果												
<p>1 必要が生じた事業への充用</p> <p>【成果】</p> <p>予備費を下記の通り充用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な充用先事業 公有地利活用推進に要する経費、地方創生応援基金積立金、庁舎維持管理に要する経費等 												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
充用額		千円	39,506	38,379	29,081	27,847	32,567					

国民健康保険特別会計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市国民健康保険特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度国民健康保険特別会計予算執行の概要について

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の中核として国民生活を支える重要な役割を担い、加速する高齢化や医療技術の高度化に加え、生活習慣病の増加等に伴う医療費の増大により、大変厳しい財政運営を強いられています。平成30年度からは、都道府県が国保の財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営を確保し、制度の安定化を図るべく広域化が開始されました。市区町村においては、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担っています。

このような中で、収納率の向上や資格及び医療費の適正化について、積極的に取り組み、国保財政の健全化に努めました。

また、健康寿命を延ばすための健康づくりの推進、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に取り組むとともに、生活習慣病の早期発見や糖尿病重症化予防などを重要課題と位置づけ、レセプトデータの分析により効果的・効率的な保健事業の実施に向け、第2期データヘルス計画に基づき各種保健事業を実施しました。

なお、第2期データヘルス計画が令和5年度までとなることから、現計画の実施に対する評価及び被保険者に対するアンケート調査を実施するなど、令和6年度からの新たな第3期データヘルス計画の策定準備に着手しました。

対象者	0歳から74歳までの方（社会保険加入者、後期高齢者医療保険被保険者及び生活保護受給者等を除く）
医療費の負担	原則3割 義務教育就学前の方は2割 70歳から74歳までの方は2割（現役並み所得者は3割）
保険税	国民健康保険税は、被保険者の人数と前年の課税対象額をもとに、世帯単位で計算します。
被保険者数	42,321名（令和5年3月31日現在） 前年度比684人減

令和4年度国民健康保険特別会計の歳入は前年度比40,106千円増（0.21%）の19,002,006千円、歳出は前年度比412,120千円増（2.27%）の18,576,535千円となりました。

決算規模	歳入総額	19,002,006千円
	歳出総額	18,576,535千円
	歳入歳出差引額	425,471千円

以上、令和4年度つくば市国民健康保険特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和4年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
01				国民健康保険	18,082,030		820,686	18,902,716	20,150,970	19,002,006	100.5	
				国民健康保険税	4,207,618			4,207,618	5,627,754	4,485,002	106.6	
	01			国民健康保険税	4,207,618			4,207,618	5,627,754	4,485,002	106.6	
		01		一般被保険者国民健康保険税	4,207,426			4,207,426	5,626,146	4,484,864	106.6	
			01	医療給付費分現年課税分	本年度 2,640,186 前年度 2,658,016 比較 17,830			2,640,186 2,658,016 17,830	2,976,689 3,280,954 304,265	2,786,453 3,050,280 263,827	105.5 114.8	
			02	後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 1,018,849 前年度 868,247 比較 150,602			1,018,849 868,247 150,602	1,145,539 1,070,021 75,518	1,068,928 991,618 77,310	104.9 114.2	
			03	介護納付金分現年課税分	本年度 342,035 前年度 285,957 比較 56,078			342,035 285,957 56,078	379,959 352,887 27,072	346,656 320,692 25,964	101.4 112.1	
			04	医療給付費分滞納繰越分	本年度 142,233 前年度 146,563 比較 4,330			142,233 146,563 4,330	776,465 857,348 80,883	194,170 206,772 12,602	136.5 141.1	
			05	後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 44,483 前年度 44,637 比較 154			44,483 44,637 154	240,593 253,181 12,588	61,543 62,788 1,245	138.4 140.7	
			06	介護納付金分滞納繰越分	本年度 19,640 前年度 20,327 比較 687			19,640 20,327 687	106,901 117,726 10,825	27,114 29,413 2,299	138.1 144.7	
			02	退職被保険者等国民健康保険税	192			192	1,607	138	71.9	
				01	医療給付費分現年課税分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1			
				02	後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1			
				03	介護納付金分現年課税分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1			
				04	医療給付費分滞納繰越分	本年度 122 前年度 372 比較 250			122 372 250	1,074 1,573 499	83 177 94	68.0 47.6
				05	後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 36 前年度 84 比較 48			36 84 48	287 405 118	22 42 20	61.1 50.0
				06	介護納付金滞納繰越分	本年度 31 前年度 76 比較 45			31 76 45	247 373 126	33 35 2	106.5 46.1
02				使用料及び手数料	1,459			1,459	782	782	53.6	
		01		手数料	1,459			1,459	782	782	53.6	
			01	督促手数料	1,459			1,459	782	782	53.6	
				01	督促手数料	本年度 1,459 前年度 1,643 比較 184			1,459 1,643 184	782 1,406 624	782 1,406 624	53.6 85.6
03				国庫支出金	1			1	786	786	78,600.0	
		01		国庫補助金	1			1	786	786	78,600.0	
			01	国庫補助金	1			1	786	786	78,600.0	
				01	国庫補助金	本年度 1 前年度 1 比較			1 1 3,415 2,629	786 786 3,415 2,629	78,600.0 78,600.0 341,500.0	
04				県支出金	12,374,253			12,374,253	12,195,845	12,195,845	98.6	
		01		県補助金	12,374,253			12,374,253	12,195,845	12,195,845	98.6	
			01	県補助金	12,374,253			12,374,253	12,195,845	12,195,845	98.6	
				01	保険給付費等交付金(普通交付金)	本年度 12,094,252 前年度 12,030,935 比較 63,317		86,300	12,094,252 12,117,235 22,983	11,866,308 11,888,070 21,762	11,866,308 11,888,070 21,762	98.1 98.1
				02	保険給付費等交付金(特別交付金)	本年度 280,001 前年度 275,912 比較 4,089			280,001 275,912 4,089	329,537 306,958 22,579	329,537 306,958 22,579	117.7 111.3
05				財産収入	2		30	32	32	32	100.0	
		01		財産運用収入	2		30	32	32	32	100.0	
			01	利子及び配当金	2		30	32	32	32	100.0	
				01	利子及び配当金	本年度 2 前年度 3 比較 1		30 1 31	32 2 30	32 1 31	100.0 50.0	

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
06			繰入金	1,414,678		23,172	1,437,850	1,437,848	1,437,848	100.0
	01		一般会計繰入金	1,204,693		23,172	1,227,865	1,227,863	1,227,863	100.0
		01	一般会計繰入金	1,204,693		23,172	1,227,865	1,227,863	1,227,863	100.0
		01	保険基盤安定繰入金	本年度 907,684 前年度 987,469 比較 79,785		6,229 35,632 29,403	913,913 1,023,101 109,188	913,912 1,023,101 109,189	913,912 1,023,101 109,189	100.0 100.0 100.0
		02	その他一般会計繰入金	本年度 297,009 前年度 292,768 比較 4,241			297,009 294,848 2,161	297,009 294,848 2,161	297,009 294,848 2,161	100.0 100.0 100.0
		03	未就学児均等割保険料繰入金	本年度 前年度 比較		16,943 16,943 0	16,943 16,943 0	16,942 16,942 0	16,942 16,942 0	100.0 100.0 100.0
	02		基金繰入金	209,985			209,985	209,985	209,985	100.0
		01	国民健康保険支払準備基金繰入金	209,985			209,985	209,985	209,985	100.0
		01	国民健康保険支払準備基金繰入金	本年度 前年度 比較			209,985 209,985 0	209,985 209,985 0	209,985 209,985 0	100.0 100.0 100.0
07			繰越金	1		797,484	797,485	797,485	797,485	100.0
	01		繰越金	1		797,484	797,485	797,485	797,485	100.0
		01	繰越金	1		797,484	797,485	797,485	797,485	100.0
		01	繰越金	本年度 前年度 比較		797,484 681,592 115,892	797,485 681,593 115,892	797,485 681,592 115,893	797,485 681,592 115,893	100.0 100.0 100.0
08			諸収入	84,018			84,018	90,438	84,225	100.2
	01		延滞金加算金及び過料	49,902			49,902	55,608	55,608	111.4
		01	一般被保険者延滞金	49,901			49,901	55,608	55,608	111.4
		01	一般被保険者延滞金	本年度 前年度 比較			49,901 47,938 1,963	55,608 64,512 8,904	55,608 64,512 8,904	111.4 134.6 100.0
		02	退職被保険者等延滞金	1			1			
		01	退職被保険者等延滞金	本年度 前年度 比較			1 129 128			
	02		雑入	34,116			34,116	34,829	28,617	83.9
		01	一般被保険者第三者納付金	28,140			28,140	16,479	12,171	43.3
		01	一般被保険者第三者納付金現物分	本年度 前年度 比較			28,000 28,000 0	11,963 18,793 6,830	11,963 18,793 6,830	42.7 67.1 100.0
		02	一般被保険者第三者納付金現金分	本年度 前年度 比較			140 208 68	4,517 4,489 28	208 156 52	148.6 75.0 100.0
		02	退職被保険者等第三者納付金	3			3			
		01	退職被保険者等第三者納付金現物分	本年度 前年度 比較			1 1 0			
		02	退職被保険者等第三者納付金現金分	本年度 前年度 比較			2 2 0			
	03		一般被保険者返納金	5,970			5,970	18,350	16,446	275.5
		01	一般被保険者返納金現物分	本年度 前年度 比較			4,644 5,040 396	15,098 9,646 5,452	15,083 9,646 5,437	324.8 191.4 100.0
		02	一般被保険者返納金現金分	本年度 前年度 比較			1,326 1,367 41	3,252 9,498 6,246	1,363 7,581 6,218	102.8 554.6 100.0
	04		退職被保険者等返納金	3			3			
		01	退職被保険者等返納金現物分	本年度 前年度 比較			1 1 0		2 2	200.0 100.0
		02	退職被保険者等返納金現金分	本年度 前年度 比較			2 2 0			
	x		指定公費交付金							
		x	指定公費交付金	本年度 前年度 比較			1 1 0			

事業名：国民健康保険事務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
01	01	01	11	本年	64,839			3,364	68,203		63,065	92.5			
				前年	71,006			2,346	73,352		59,684	81.4			
				比較	6,167			1,018	5,149		3,381	-			
【参考】前々年度					61,305		265		61,040		58,486	95.8			
節別支出済額(単位:千円)															
報酬					20,279	職員手当等			1,971	旅費		1,106	需用費		2,206
役務費					13,197	委託料			18,422	使用料及び賃借料		111	負担金補助及び交付金		5,774
概要及び成果															
<p>1 国保資格の得喪 法令に基づき、国民健康保険の資格取得、資格喪失等事務及び被保険者証等の交付事務を行う。 限度額認定証、特定疾病療養受給者証の交付申請があった者について、審査をした上で各種証書を交付する。</p> <p>【成果】 被保険者が届出の必要性を理解するよう周知に努め、また届出しやすいよう環境を整えることで、業務の円滑な推進を図ることができた。</p>															
<p>2 高額療養費と出産育児一時金の貸付 被保険者から申請時に提出された医療費証明に基づき、貸付額の算出及び審査を行う。 貸付額決定後、その貸付額を医療機関へ振り込み、後日高額療養費（出産育児一時金）の支給金額を返還に充当する。</p> <p>【成果】 高額療養費貸付申請に対して速やかに支給することができた。</p>															

事業名：レセプト点検整理に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)			
01	01	01	12	本年	11,197				11,197		10,953	97.8			
				前年	11,180			49	11,131		9,627	86.5			
				比較	17			49	66		1,326	-			
【参考】前々年度					11,621				11,621		10,108	87.0			
節別支出済額(単位:千円)															
報酬					7,317	職員手当等			880	旅費		473	需用費		67
役務費					2,216										
概要及び成果															
<p>1 レセプト点検整理事務 会計年度任用職員（レセプト点検員）による診療内容点検により、請求内容に疑義があるものについて茨城県国民健康保険団体連合会へ再審査請求を行う。 資格点検により国保資格喪失後に受診したレセプトを抽出し、医療機関に返戻して過誤調整を行う。 又は、被保険者へ返納金の直接請求を行う。</p> <p>【成果】 レセプトの内容点検及び資格点検を行うことで、医療費の適正化を推進することができた。</p>															
レセプト点検件数と点検による財政効果額															
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度								
件数		件	667,915	655,816	621,240	684,327	706,846								
財政効果額		円	48,974,894	35,502,123	40,802,831	73,614,729	85,488,609								

事業名：徴税総務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	7,365				7,365		6,971	94.6
				前年	7,408				7,408		7,264	98.1
				比較	43				43		293	-
【参考】前々年度					6,522		648		7,170		6,915	96.4
節別支出済額(単位:千円)												
役務費					6,971							
概要及び成果												
<p>1 国民健康保険税徴収事業 国民健康保険税の収納管理及び過誤納金の還付処理を実施する。住民税の賦課期日以降の転入者が国民健康保険に加入した場合などは、所得が不明なため前住所地の自治体に所得照会を行う。</p> <p>【成果】 国民健康保険税の賦課に必要な課税資料の収集や被保険者への国保税還付を適正に実施することができた。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
口座振替納付件数					件	51,729	53,431	54,163	55,264	57,351		
口座振替納付額					円	1,499,390,600	1,571,337,100	1,584,703,100	1,601,184,900	1,670,687,700		
コンビニ利用による納付件数					件	97,095	90,805	93,413	93,380	90,808		
コンビニ利用による納付額					円	1,245,306,974	1,272,482,393	1,323,268,706	1,311,096,170	1,302,651,284		

事業名：賦課徴収事務に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	02	11	本年	21,295				21,295		19,889	93.4
				前年	21,975				21,975		19,479	88.6
				比較	680				680		410	-
【参考】前々年度					21,819		469		21,350		19,711	92.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,745	職員手当等	809	旅費	376	需用費	1,832
役務費	9,127						

概要及び成果

1 国民健康保険税賦課徴収事業

条例に基づき、国民健康保険加入世帯に対し適正に国民健康保険税を賦課し、納付書を発送する。
 収納率向上対策として制度改正のお知らせや口座振替促進用パンフレット等を作成し配布する。

【成果】

国民健康保険税の賦課に必要な課税資料の収集を行い、適正な賦課を実施できた。

国民健康保険税納税通知書件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
普通徴収分	件	39,928	37,707	38,564	38,817	39,377
特別徴収分	件	4,463	4,641	4,611	4,433	4,589

国民健康保険税収納額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
現年度分	円	4,202,036,754	4,362,589,770	4,354,398,752	4,379,100,550	4,514,485,288
滞納繰越分	円	282,965,438	299,226,796	314,804,409	364,870,347	336,442,723

国民健康保険税収納率

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
現年度課税分	%	93.05	92.47	91.84	91.56	91.31
滞納繰越分	%	25.08	24.25	23.73	24.13	19.33

事業名： 運営協議会に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
01	03	01	11	本年	609				609		370	60.7														
				前年	951				951		456	47.9														
				比較	342				342		86	-														
【参考】前々年度					853				853		484	56.7														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬					228	旅費			56	需用費		6	委託料		42											
負担金補助及び交付金					39																					
概要及び成果																										
<p>1 国民健康保険運営協議会の開催 国民健康保険運営協議会は市長の諮問機関であり、委員の構成は被保険者代表4名、医師・薬剤師代表4名、公益代表4名、被用者保険代表2名となっており、市長の諮問に応じて各々の立場から、議題等を審議検討し、諮問事項に対する意見を市長に答申する。</p> <p>【成果】 運営協議会委員それぞれの視点から多面的に意見を聴取し、国民健康保険会計予算、決算、その他国民健康保険事業の運営に係る重要事項について審議を行うことができた。</p> <p>国民健康保険運営協議会</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	開催回数	回	3	4	3	2	2
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
開催回数	回	3	4	3	2	2																				

事業名： 一般被保険者療養給付費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																			
02	01	01	11	本年	10,487,583			2,181	10,485,402		10,382,509	99.0																																			
				前年	10,388,429		86,300	1,161	10,473,568		10,403,808	99.3																																			
				比較	99,154		86,300	1,020	11,834		21,299	-																																			
【参考】前々年度					10,503,904				10,503,904		9,909,033	94.3																																			
節別支出済額(単位:千円)																																															
負担金補助及び交付金					10,382,509																																										
概要及び成果																																															
<p>1 一般被保険者療養給付費 一般被保険者に係る医科、歯科、調剤などの医療費を被保険者の負担割合に応じて保険者が負担する。国民健康保険の広域化に伴い、茨城県が審査支払機関へ診療報酬の直接支払いを行うため、市町村においては国保連の診療報酬支払額と県から歳入で受ける保険給付費等交付金の振替業務となる。</p> <p>【成果】 医療機関を通して請求のあった一般被保険者に係る疾病や負傷等の診療に対する医療費の給付事務を適切に行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者数(年間平均)</td> <td>人</td> <td>43,634</td> <td>44,008</td> <td>44,553</td> <td>45,611</td> <td>47,149</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者受診件数</td> <td>件</td> <td>663,124</td> <td>598,861</td> <td>613,271</td> <td>685,916</td> <td>697,139</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者費用額</td> <td>円</td> <td>14,144,042,383</td> <td>13,054,494,293</td> <td>13,537,981,212</td> <td>14,479,697,703</td> <td>14,301,014,918</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者一部負担金等</td> <td>円</td> <td>3,299,825,030</td> <td>3,081,842,037</td> <td>3,303,628,711</td> <td>3,931,381,188</td> <td>3,909,065,042</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	一般被保険者数(年間平均)	人	43,634	44,008	44,553	45,611	47,149	一般被保険者受診件数	件	663,124	598,861	613,271	685,916	697,139	一般被保険者費用額	円	14,144,042,383	13,054,494,293	13,537,981,212	14,479,697,703	14,301,014,918	一般被保険者一部負担金等	円	3,299,825,030	3,081,842,037	3,303,628,711	3,931,381,188	3,909,065,042
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																									
一般被保険者数(年間平均)	人	43,634	44,008	44,553	45,611	47,149																																									
一般被保険者受診件数	件	663,124	598,861	613,271	685,916	697,139																																									
一般被保険者費用額	円	14,144,042,383	13,054,494,293	13,537,981,212	14,479,697,703	14,301,014,918																																									
一般被保険者一部負担金等	円	3,299,825,030	3,081,842,037	3,303,628,711	3,931,381,188	3,909,065,042																																									

事業名：退職被保険者等療養給付費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	197				197			0.0
				前年	197				197	30	15.2	
				比較	0				0	30	-	
【参考】前々年度					200				200			0.0

概要及び成果

1 退職被保険者等療養給付費

退職被保険者に係る医科、歯科、調剤などの医療費を被保険者の負担割合に応じて保険者が負担する。国民健康保険の広域化に伴い、茨城県が審査支払機関へ診療報酬の直接支払いを行うため、市町村においては国保連の診療報酬支払額と県から歳入で受ける保険給付費等交付金の振替業務となる。

【成果】

令和4年度は支給該当者なし。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
退職被保険者等数(年間平均)	人	-	0	-	39	220
退職被保険者等受診件数	件	-	3	-	756	3,878
退職被保険者等費用額	円	-	27,587	-	17,044,842	87,384,652
退職被保険者等一部負担金等	円	-	9,279	-	5,332,761	26,567,063

平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。

事業名：一般被保険者療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	87,206				87,206		70,215	80.5
				前年	87,621			68	87,553	74,658	85.3	
				比較	415			68	347	4,443	-	
【参考】前々年度					92,172				92,172		75,445	81.9

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	70,215
------------	--------

概要及び成果

1 一般被保険者療養費

一般被保険者に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支給する。

【成果】

給付により一般被保険者の負担の軽減を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般被保険者療養費支給件数	件	10,399	9,715	11,021	12,558	13,131
一般被保険者療養費費用額	円	96,318,239	95,028,097	104,511,836	116,492,957	131,313,133
一般被保険者療養費一部負担金等	円	26,448,375	26,051,349	28,619,790	32,017,341	33,438,612

事業名：退職被保険者等療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1		0.0	
				比較	0			0		-		
【参考】前々年度					1				1		0.0	

概要及び成果

1 退職被保険者等療養費

退職被保険者に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支給する。

【成果】

令和4年度は支給該当者なし。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
退職被保険者等療養費支給件数	件	-	-	-	8	47
退職被保険者等療養費費用額	円	-	-	-	115,486	357,988
退職被保険者等療養費一部負担金等	円	-	-	-	34,647	107,405

平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。

事業名：審査支払に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	11	本年	48,211				48,211		46,060	95.5
				前年	36,817				36,817		35,489	96.4
				比較	11,394				11,394		10,571	-
【参考】前々年度					38,051				38,051		33,553	88.2

節別支出済額(単位:千円)

役務費 46,060

概要及び成果

1 審査支払に要する経費

診療報酬明細書(レセプト)の審査及び支払事務を適切に行う。

【成果】

診療報酬明細書の審査及び支払事務を円滑に処理することができた。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
療養給付費審査件数	件	650,956	650,921	614,685	688,691	701,934
療養給付費審査手数料	円	44,915,946	34,498,813	32,564,763	33,745,859	34,394,766
療養費審査件数	件	10,239	10,335	10,795	12,408	12,909
療養費審査手数料	円	693,691	547,755	568,007	607,992	632,541
レセプト電算処理件数	件	663,832	651,060	614,685	688,691	701,934
レセプト電算処理手数料	円	451,400	442,622	420,627	468,305	477,310

事業名：一般被保険者高額療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	01	11	本年	1,468,008				1,468,008		1,397,203	95.2
				前年	1,552,549			951	1,551,598		1,411,853	91.0
				比較	84,541			951	83,590		14,650	-
【参考】前々年度					1,435,329				1,435,329		1,407,083	98.0

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	1,397,203
------------	-----------

概要及び成果

- 1 一般被保険者高額療養費
一般被保険者が支払った医療費の自己負担額が限度額を超えた場合に、その超えた分を高額療養費として支給する。

【成果】

一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般被保険者高額療養費支給件数	件	23,287	23,313	22,103	22,819	21,806
一般被保険者高額療養費支給額	円	1,397,203,353	1,411,853,262	1,407,083,388	1,476,297,089	1,401,692,076

事業名：退職被保険者等高額療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1			44	45		45	100.0

概要及び成果

- 1 退職被保険者等高額療養費
退職被保険者が支払った医療費の自己負担額が限度額を超えた場合に、その超えた分を高額療養費として支給する。

【成果】

令和4年度は支給該当者なし。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
退職被保険者等高額療養費支給件数	件	-	-	2	22	133
退職被保険者等高額療養費支給額	円	-	-	45,114	1,325,891	9,996,287

平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。

事業名：一般被保険者高額介護合算療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	3,870				3,870		1,130	29.2
				前年	650			951	1,601	1,601	100.0	
				比較	3,220			951	2,269	471	-	
【参考】前々年度					650			232	882	882	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,130							
概要及び成果												
<p>1 一般被保険者高額介護合算療養費 医療費が高額になった一般被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に合算して年額の限度額を超えた際、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】 一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
一般被保険者高額介護合算療養費支給件数					件	52	57	41	32	6		
一般被保険者高額介護合算療養費支給額					円	1,130,219	1,600,507	882,264	515,893	117,432		

事業名：退職被保険者等高額介護合算療養費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	04	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1		0.0	
				比較	0				0		-	
【参考】前々年度					1				1		0.0	
概要及び成果												
<p>1 退職被保険者等高額介護合算療養費 医療費が高額になった退職被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に合算して年額の限度額を超えた際、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】 平成30年度、令和元年度、2年度、3年度、4年度の支給該当者なし。</p>												

事業名：一般被保険者移送に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	11	本年	1				1			0.0
				前年	1			68	69		69	100.0
				比較	0			68	68		69	-
【参考】前々年度					1				1			0.0

概要及び成果

- 1 一般被保険者移送に要する経費
一般被保険者が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する。

【成果】

令和4年度は、請求はなかった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般被保険者移送費件数	件	-	1	-	-	-
一般被保険者移送費件数支給金額	円	-	68,530	-	-	-

事業名：退職被保険者等移送に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0

概要及び成果

- 1 退職被保険者等移送に要する経費
退職被保険者等が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する。

【成果】

平成30年度、令和元年度、2年度、3年度、4年度の支給該当者なし。

事業名：葬祭に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	01	11	本年	10,550				10,550		10,450	99.1
				前年	11,550				11,550		10,050	87.0
				比較	1,000				1,000		400	-
【参考】前々年度					10,250				10,250		10,150	99.0

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	10,450
------------	--------

概要及び成果

- 1 葬祭に要する経費
国民健康保険被保険者が死亡した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき葬祭を行った方の負担を軽減するため、葬祭費を支給する。

【成果】

葬祭費の支給により、葬祭を行った方の経済的負担軽減を図った。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
葬祭費支給件数	件	209	201	203	221	198
葬祭費支給額	円	10,450,000	10,050,000	10,150,000	11,050,000	9,900,000

事業名： 出産育児一時金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	05	01	11	本年	76,899				76,899		63,087	82.0	
				前年	71,016				71,016		68,051	95.8	
				比較	5,883				5,883		4,964	-	
【参考】前々年度					78,160				78,160		70,286	89.9	
節別支出済額(単位:千円)													
役務費					29	負担金補助及び交付金			63,058				
概要及び成果													
<p>1 出産育児一時金に要する経費 国民健康保険被保険者が出産した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき、世帯の負担軽減を図るため、出生児一人ごとに出産育児一時金を支給する。</p> <p>【成果】 出産育児一時金の支給により、世帯の負担軽減を図った。</p>													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
出産育児一時金支給件数		件	150	162	175	189	197						
出産育児一時金支給額		円	63,058,029	68,019,050	70,252,950	79,307,960	83,248,472						
支払業務手数料		円	29,400	31,710	33,180	37,170	39,060						
出生児1人あたり、408,000円。産科医療補償制度加入医療機関での出産は、12,000円加算													

事業名： 傷病手当に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	11	本年	720			2,181	2,901		2,901	100.0
				前年	1			1,161	1,162		1,162	100.0
				比較	719			1,020	1,739		1,739	-
【参考】前々年度							5,738		5,738		169	2.9
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					2,901							
概要及び成果												
<p>1 傷病手当に要する経費 新型コロナウイルス感染症に感染したこと等により労務に服することができない期間に対し、事業主から給与の一部又は全部が受けられない場合に、傷病手当金を支給する。</p> <p>【成果】 傷病手当金の支給により、世帯の負担軽減を図った。</p>												
傷病手当		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
支給件数		件	75	15	3	-	-					
支給金額		円	2,901,384	1,162,420	168,669	-	-					

事業名：一般被保険者医療給付費分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	3,520,967				3,520,967		3,520,967	100.0
				前年	3,176,622				3,176,622		3,176,621	100.0
				比較	344,345				344,345		344,346	-
【参考】前々年度					3,361,483		19,673		3,341,810		3,341,809	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					3,520,967							
概要及び成果												
1 一般被保険者医療給付費分 県から通知される国保事業費納付金のうち、一般被保険者医療給付費分について、分割により8月～4月の9回で支払う。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
一般被保険者医療給付費					円	3,520,966,939	3,176,621,012	3,341,809,383	4,177,805,016	4,747,914,381		

事業名：退職被保険者等医療給付費分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	33				33		32	97.3
				前年								
				比較	33				33		32	-
【参考】前々年度					1,451		1,450		1			0.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					32							
概要及び成果												
1 退職被保険者等医療給付費分 県から通知される国保事業費納付金のうち、退職被保険者医療給付費分について、分割により8月～4月の9回で支払う。												
【成果】 手続きが遅滞なく実施された。												

事業名：一般被保険者後期高齢者支援金等分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	1,366,179				1,366,179		1,366,179	100.0
				前年	1,382,387				1,382,387		1,382,387	100.0
				比較	16,208				16,208		16,208	-
【参考】前々年度					1,341,418		17,146		1,358,564		1,358,563	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,366,179							
概要及び成果												
1 一般被保険者後期高齢者支援金等分 県から通知される国保事業費納付金のうち、一般被保険者後期高齢者支援金等分について、分割により8月～4月の9回で支払う。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
一般被保険者後期高齢者支援金等分					円	1,366,178,643	1,382,386,995	1,358,563,150	1,438,347,895	1,482,456,719		

事業名：退職被保険者等後期高齢者支援金等分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	02	11	本年	14				14		13	93.0	
				前年									
				比較	14				14		13	-	
【参考】前々年度					535		534		1			0.0	
節別支出済額(単位:千円)													
負担金補助及び交付金					13								
概要及び成果													
1 退職被保険者等後期高齢者支援金等分 県から通知される国保事業費納付金のうち、退職被保険者医療給付費分について、分割により8月～4月の9回で支払う。 【成果】 手続きが遅滞なく実施された。													

事業名：介護納付金分

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	490,695				490,695		490,694	100.0
				前年	471,077				471,077		471,076	100.0
				比較	19,618				19,618		19,618	-
【参考】前々年度					498,558				498,558		100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					490,694							
概要及び成果												
1 介護納付金 県から通知される国保事業費納付金のうち、介護納付金分について、分割により8月～4月の9回で支払う。 【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
介護納付金分					円	490,694,324	471,076,150	498,557,094	504,925,800	482,500,164		

事業名：共同事業拠出金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	4				4		0	7.8
				前年	4				4		0	7.6
				比較	0				0		0	-
【参考】前々年度					4				4		2	49.5
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					0							
概要及び成果												
1 共同事業拠出金 退職医療制度に該当する年金受給者を確認するために、年金受給者一覧表の作成費を保険者が共同で拠出する。 【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
共同事業拠出金					円	311	304	1,980	2,300	2,373		

事業名：保健事業に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	21,715				21,715		16,093	74.1
				前年	21,300			35	21,265		17,512	82.3
				比較	415			35	450		1,419	-
【参考】前々年度					21,907				21,907		15,136	69.1

節別支出済額(単位:千円)

報酬	5,581	旅費	252	需用費	295	役務費	5,908
委託料	3,165	負担金補助及び交付金	893				

概要及び成果

1 保健事業

健康増進課と連携して行う保健事業(頻回受診・重複受診者訪問指導の実施、各種出前健康体操教室や料理講習会等)の推進

医療費通知の送付(年5回)

ジェネリック医薬品希望カード、シール配布(年4回)

人間ドック受診費用助成(30~39歳)等

【成果】

人間ドック(30~39歳対象)の助成件数が微減となった。

医療費通知の1月発送分については、通常7月・8月診療分に加え、確定申告を考慮し9月・10月診療分も含め送付した。

新型コロナウイルス感染防止対策を行い、各種出前健康体操教室を実施した。

人間ドック

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成件数	件	51	58	22	31	43
助成額	円	892,500	1,015,000	385,000	542,500	752,500

医療費通知

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	件	103,242	102,517	101,134	121,020	123,120

運動教室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
企画教室・企業連携教室団体数	団体	4	4	4	9	14
企画教室実施回数	回	30	15	18	63	86
企画教室参加延べ人数	人	345	117	214	1,160	1,681

事業名：特定健診事業に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	12	本年	193,686		2,659		191,027		143,418	75.1
				前年	181,878		2,310	35	179,603		151,083	84.1
				比較	11,808		349	35	11,424		7,665	-
【参考】前々年度				173,364		3,246		176,610		101,743	57.6	

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,652	報償費	149	旅費	231	需用費	3,440
役務費	8,553	委託料	80,649	使用料及び賃借料	527	負担金補助及び交付金	46,218

概要及び成果

1 特定健診事業

40歳以上を対象に、2つの受診形態（保健センター等で行う集団健診、協力医療機関で行う医療機関健診）で、生活習慣病の予防を目的とした特定健康診査を実施する。また、受診費用の一部を助成して人間ドック等健診を実施する。

【成果】

集団健診は、新型コロナウイルス感染防止のため密にならないよう健診受診者数を制限するなどの対策を行い、予定日程を全て実施することができた。人間ドックの受診者数を増やすことができた。

特定健康診査

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受診者数	人	8,615	8,667	6,189	10,898	10,701
受診率	%	33.0	31.6	22.1	38.9	37.2
健診委託料	円	66,313,737	67,235,876	43,425,780	78,934,448	77,805,982

人間ドック等助成

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成件数	件	2,501	2,247	1,805	2,252	2,249
助成額	円	45,335,000	40,665,000	32,457,500	43,437,500	43,625,000

(令和4年度特定健康診査受診者数、受診率は、令和5年4月速報値)

2 特定保健指導事業

特定保健指導

特定健診の結果をもとに、2つの方法（保健センターでの保健師・栄養士による指導、委託した医療機関での指導）で実施する。

【成果】

集団健診受診した保健指導（動機付け支援）対象者に、初回面談（1回目）を健診受診場所で行うことで、利用者を増やし、初回面談（2回目）の電話により保健指導継続につなげた。

筑波メディカルセンター病院ほか医療機関等にて、保健指導（動機付け支援、積極的支援）業務を委託し、実施した。

特定保健指導

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
終了者数	人	299	128	80	333	393
終了率	%	27.5	11.3	10.9	23.7	28.9

(令和4年度特定保健指導終了者数、終了率は、令和5年4月速報値)

事業名：基金積立金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	2		807,061		807,063		807,063	100.0
				前年	3		682,686		682,689		682,688	100.0
				比較	1		124,375		124,374		124,375	-
【参考】前々年度				5		16,866		16,871		16,871	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					807,063							
概要及び成果												
1 国民健康保険支払準備基金積立金 余剰金や積立基金利子を、国民健康保険支払準備基金へ積み立てる。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
基金積立金					円	807,062,684	682,688,484	16,871,000	3,000	4,000		
年度末基金現在高					円	1,315,183,259	718,105,575	35,417,091	18,546,091	18,543,091		

事業名：一般被保険者保険税還付金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	22,482			9	22,473		22,461	99.9
				前年	22,432		5,389		27,821		23,229	83.5
				比較	50		5,389	9	5,348		768	-
【参考】前々年度				20,724		13,288	2	34,010		30,279	89.0	
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					22,461							
概要及び成果												
1 一般被保険者保険税還付事業 納付された一般被保険者国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し適正な賦課徴収を図る。												
【成果】 一般被保険者国民健康保険税の賦課徴収を適正に実施した。												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
還付件数					件	887	824	1,043	716	621		
還付金額					円	22,347,376	23,025,337	29,940,300	20,968,351	19,385,676		
還付金額には、還付加算金は含まれず。												

事業名：退職被保険者等保険税還付金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	19				19			0.0
				前年	25		95		120	94	78.5	
				比較	6		95		101	94	-	
【参考】前々年度					70				70			0.0

概要及び成果

1 退職被保険者等保険税還付事業

納付された退職被保険者等国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し適正な賦課徴収を図る。

【成果】

令和4年度は該当者なし。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
還付件数	件	-	3	-	-	1
還付金額	円	-	94,186	-	-	70,200

還付金額には、還付加算金を含まず。

事業名：特定健診返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	11	本年	1		873		874		874	100.0
				前年	1		12,794		12,795	12,794	100.0	
				比較	0		11,921		11,921	11,920	-	
【参考】前々年度					1		792		793		792	99.9

節別支出済額(単位:千円)

償還金利子及び割引料 874

概要及び成果

1 特定健診返還金に要する経費

国民健康保険給付費等交付金特別交付金(特定健康診査等分)は、当年概算払いで交付され、実績に基づき翌年度精算する。補助金に超過交付があった場合精算を行う。

【成果】

特定健康診査等分精算額

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
精算額	円	874,000	12,794,000	792,000	-	1,736,000

事業名：特別調整交付金返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	12	本年	1		2,644	374	3,019		3,019	100.0
				前年			1,718		1,718	1,718	100.0	
				比較			926	374	1,301	1,301	-	
【参考】前々年度							283		283		283	100.0

節別支出済額(単位:千円)

償還金利子及び割引料 3,019

概要及び成果

1 特別調整交付金返還金

国民健康保険給付費等交付金特別交付金(特別調整交付金分)は、当年概算払いで交付され、実績に基づき翌年度精算する。補助金に超過交付があった場合精算を行う。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
返還金	円	3,018,636	1,718,000	283,000	-	-

事業名：災害臨時特例補助金返還金に要する経費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	13	本年				9	9		9	100.0
				前年			79		79		79	100.0
				比較			79	9	70		70	-
【参考】前々年度							2	2		2	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					9							
概要及び成果												
1 災害臨時特例補助金返還金												
【成果】												
災害臨時特例補助金は、当年概算払いで交付され、実績に基づき精算する。補助金に超過交付があった場合は精算を行う。												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
災害臨時特例補助金返還金					円	9,000	79,000	2,000	-	-		

事業名：一般会計繰出金

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	02	01	11	本年	1		12,767		12,768	0	12,768	100.0
				前年	1		16,772		16,773		16,772	100.0
				比較	0		4,005		4,005	0	4,004	-
【参考】前々年度				1		281,270		281,271		281,271	100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					12,768							
概要及び成果												
1 一般会計繰出金												
国民健康保険特別会計の繰越金について、前年度に一般会計から繰入した金額の範囲内で一般会計へ繰り出しを行う。												
【成果】												
国民健康保険財政の安定化が図られた。												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
精算額					円	12,768,000	16,772,285	281,271,000	121,648,119	385,950,000		

事業名：予備費

保健部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	50,000			374	49,626			0.0
				前年	50,000				50,000			0.0
				比較	0			374	374			-
【参考】前々年度					50,000			276	49,724			0.0

概要及び成果

1 予備費

保険給付費等の予測しがたい支出があった場合、充用する。

【成果】

平成30年度は、葬祭費に充用した。

令和元年度は、退職被保険者等高額療養費、葬祭費、指定公費負担金に充用した。

令和2年度は、退職被保険者等高額療養費、一般被保険者高額介護合算療養費に充用した。

令和4年度は、特別調整交付金返還金に充用した。

予備費

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
金額	円	373,636	-	276,378	894,957	200,000

後期高齡者医療特別会計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市後期高齢者医療特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度後期高齢者医療特別会計予算執行の概要について

後期高齢者医療制度の運営は、県内の全市町村が加入する茨城県後期高齢者医療広域連合が保険料の算定や賦課、被保険者の資格管理、給付等の審査支払いを行い、市は保険料徴収、被保険者証の交付及び各種申請や届出の受付事務を行っています。

医療給付の財源は、公費（国・県・市町村の定率負担等）、現役世代が負担する後期高齢者支援金、被保険者からの保険料によって賄われています。安定した財源を確保するため、訪問等による保険料の徴収を積極的に行い、収納率の向上に努めました。

対象者	75歳以上の方 一定の障害がある65歳以上75歳未満の方
医療費の負担	原則として1割負担 ・一定以上の所得がある方は2割負担 (令和4年10月1日施行) ・現役並み所得者は3割負担
保険料	茨城県後期高齢者医療広域連合が決定し、県内は同一の保険料率となり、財政均衡を保つため2年毎に設定される。
被保険者数	24,334人（令和5年3月31日現在）前年度比1,256人増

令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入総額は2,427,725千円、歳出総額は2,380,510千円となりました。

決算規模	歳入総額	2,427,725千円
	歳出総額	2,380,510千円
	歳入歳出差引額	47,215千円

以上、令和4年度つくば市後期高齢者医療特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率				
01	01	01	01	後期高齢者医療	2,284,670		164,782	2,449,452	2,445,424	2,427,725	99.1				
				後期高齢者医療保険料	1,860,692		145,024	2,005,716	2,003,690	1,985,991	99.0				
				後期高齢者医療保険料	1,860,692		145,024	2,005,716	2,003,690	1,985,991	99.0				
				特別徴収保険料	899,795		70,499	970,294	909,645	915,526	94.4				
				01	01	01	現年度分特別徴収	899,795		70,499	970,294	909,645	915,526	94.4	
							保険料	前年度	864,898		48,390	913,288	875,497	880,449	96.4
							比較		34,897		22,109	57,006	34,148	35,077	
				02	01	01	普通徴収保険料	960,897		74,525	1,035,422	1,094,045	1,070,466	103.4	
							現年度分普通徴収	951,188		74,525	1,025,713	1,066,225	1,061,533	103.5	
							保険料	前年度	921,513		51,636	973,149	947,826	940,688	96.7
						比較		29,675		22,889	52,564	118,399	120,845		
				02	02	01	滞納繰越分普通徴	9,709			9,709	27,820	8,932	92.0	
収保険料	前年度	10,710					10,710	28,361	5,878	54.9					
比較		1,001					1,001	541	3,054						
02	01	01	01	使用料及び手数料	100			100	29	29	29.0				
				手数料	100			100	29	29	29.0				
				督促手数料	100			100	29	29	29.0				
				01	01	督促手数料	100			100	29	29	29.0		
						前年度	100			100	52	52	52.0		
		比較					23	23							
03	01	01	01	繰入金	417,741		7,135	424,876	424,876	424,876	100.0				
				一般会計繰入金	417,741		7,135	424,876	424,876	424,876	100.0				
				一般会計繰入金	417,741		7,135	424,876	424,876	424,876	100.0				
				01	01	保険基盤安定繰入	341,242		6,865	348,107	348,107	348,107	100.0		
						金	前年度	322,851		7,971	330,822	330,821	330,821	100.0	
						比較		18,391		1,106	17,285	17,286	17,286		
02	01	01	その他一般会計繰	76,499		270	76,769	76,769	76,769	100.0					
			入金	前年度	69,467		69,467	69,467	69,467	69,467	100.0				
		比較		7,032		270	7,302	7,302	7,302						
04	01	01	01	繰越金	1		7,623	7,624	7,624	7,624	100.0				
				繰越金	1		7,623	7,624	7,624	7,624	100.0				
				繰越金	1		7,623	7,624	7,624	7,624	100.0				
				繰越金	本年度	1		7,623	7,624	7,624	7,624	100.0			
		前年度	1		4,707	4,708	4,708	4,708	100.0						
		比較					2,916	2,916	2,916						
05	01	01	01	諸収入	6,136		5,000	11,136	9,205	9,205	82.7				
				延滞金、加算金及び過料	500			500	392	392	78.4				
				延滞金、加算金及び過料	500			500	392	392	78.4				
				01	01	延滞金	500			500	392	392	78.4		
						前年度	500			500	105	105	21.0		
						比較					287	287			
				02	01	01	雑入	1			1				
							雑入	1			1				
							雑入	本年度	1		1				
						前年度	1		1						
						比較									
03	01	01	01	償還金及び還付加算金	5,635		5,000	10,635	8,813	8,813	82.9				
				保険料還付金	5,500		5,000	10,500	8,790	8,790	83.7				
				保険料還付金	本年度	5,500		5,000	10,500	8,790	8,790	83.7			
				前年度	5,500		5,500	4,807	4,807	87.4					
				比較			5,000	5,000	3,983	3,983					
02	01	01	還付加算金	135			135	23	23	17.0					
			還付加算金	本年度	135		135	23	23	17.0					
		前年度	135		135	4	4	3.0							
		比較					19	19							

事業名：後期高齢者医療事務に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	27,566		270		27,836		27,254	97.9
				前年	20,706			166	20,872		20,460	98.0
				比較	6,860		270	166	6,964		6,794	-
【参考】前々年度					18,687				18,687		17,858	95.6

節別支出済額(単位：千円)

報酬	5,359	職員手当等	579	旅費	484	需用費	485
役務費	17,417	委託料	2,831	使用料及び賃借料	100		

概要及び成果

1 後期高齢者医療事務

各種申請書の受付、被保険者証等の交付及び納入通知書発行等による収納事務の執行

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
被保険者数	人	24,334	23,078	22,188	21,882	21,221

(1) 資格関係の主な申請等件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
資格取得・変更・喪失	件	437	348	347	371	-
限度額適用認定	件	513	314	494	506	-
標準負担額減額認定	件	1,095	638	1,029	1,122	-
特定疾病認定	件	63	57	55	51	-
基準収入額適用	件	8	137	193	236	-
被保険者証等再交付	件	830	593	681	807	-

(2) 給付関係の主な申請等件数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
療養費	件	458	575	460	494	-
高額療養費	件	1,620	1,390	1,272	1,350	-
高額介護合算療養費	件	1,282	1,269	1,681	684	-
葬祭費	件	1,588	1,389	1,273	1,280	-
第三者による被害等	件	37	35	29	57	-

資格取得・変更・喪失は年齢到達・更新・死亡を含まない。

事業名：後期高齢者医療広域連合納付金事務に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	2,202,435		151,907		2,354,342		2,304,253	97.9
				前年	2,120,473		108,088		2,228,561		2,157,113	96.8
				比較	81,962		43,819		125,781		147,140	-
【参考】前々年度					1,957,972		144,183		2,102,155		2,092,779	99.6

節別支出済額(単位：千円)

負担金補助及び交付金	2,304,253
------------	-----------

概要及び成果

1 後期高齢者医療広域連合納付金事務

被保険者が納付した後期高齢者医療保険料及び低所得者に係る保険基盤安定負担金（軽減相当額）を茨城県後期高齢者医療広域連合へ納入する。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
保険料負担金	千円	1,955,790	1,826,109	1,767,958	1,551,043	1,425,602
保険基盤安定負担金	千円	348,107	330,822	324,589	268,856	285,291
延滞金分負担金	千円	338	93	233	241	247
後期高齢者医療負担金(過年度精算分)	千円	19	91	0	0	18,767

(1) 保険料の収納状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
現年度分	%	99.56	99.24	99.39	99.12	99.10
滞納繰越分	%	32.11	20.73	28.84	29.96	36.70

(2) 納付方法別の収納割合

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
特別徴収(構成比)	%	46.04	48.01	48.60	65.32	65.77
口座振替(構成比)	%	27.24	28.02	26.69	10.71	10.22
口座振替(収納率)	%	99.11	98.65	98.62	98.41	98.52
自主納付(構成比)	%	26.72	23.97	24.71	23.97	24.01
自主納付(収納率)	%	99.99	99.92	96.53	95.21	95.20

(3) 徴収員による訪問等の状況

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問	件	801	1,142	1,105	829	577
徴収	件	236	249	222	312	183

保険基盤安定負担金の負担割合は県3/4・市1/4。

事業名：保険料返還に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	5,500		5,000	837	11,337		8,170	72.1
				前年	5,500				5,500	5,434	98.8	
				比較	0		5,000	837	5,837	2,736	-	
【参考】前々年度					5,000		1,553		6,553		5,028	76.7
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					8,170							
概要及び成果												
1 保険料返還事務 後期高齢者医療被保険者の資格異動(死亡等)や二重納付により保険料、延滞金又は督促手数料に過誤納金が生じた際に、被保険者又は相続権者にその過誤納金を返還する。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
還付件数					件	637	517	569	488	304		
還付金額					千円	8,170	5,434	5,028	4,000	2,877		

事業名：還付加算金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	135			73	62		9	14.1
				前年	135				135	17	12.5	
				比較	0			73	73	8	-	
【参考】前々年度					135				135		22	16.4
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					9							
概要及び成果												
1 還付加算金に要する経費 後期高齢者医療保険料の過誤納金に生じた加算金を、保険料に付加し還付する。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
還付件数					件	6	6	11	10	16		
還付金額					千円	9	17	23	20	37		

事業名：一般会計繰出金に要する経費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	1		7,605		7,606		7,606	100.0
				前年	1		4,616		4,617	4,617	100.0	
				比較	0		2,989		2,989	2,989	-	
【参考】前々年度					1		8,641		8,642		8,642	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					7,606							
概要及び成果												
1 一般会計繰出金に要する経費 後期高齢者医療特別会計の前年度繰越金を一般会計へ繰り出す。												
【成果】												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
繰出金					千円	7,606	4,617	8,642	11,753	8,937		

事業名：予備費

保健部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	5,000			764	4,236			0.0
				前年	5,000				5,000			0.0
				比較	0			764	764			-
【参考】前々年度					5,000				5,000			0.0

概要及び成果

1 予備費

後期高齢者医療制度の予測しがたい支出の増加に備える。

【成果】

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
予備費	千円	764	0	0	0	3,679

作岡財産区特別会計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市作岡財産区特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度つくば市作岡財産区特別会計予算執行の概要について

令和4年度決算につきましては、歳入総額74千円、歳出総額51千円であり、歳入歳出差引額は、23千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				作岡財産区	114			114	74	74	64.9
01				財産収入	1			1	0	0	0
	01			財産運用収入	1			1	0	0	0
		01		利子及び配当金	1			1	0	0	0
			01	利子及び配当金	1			1	0	0	0
				本年度	1			1	0	0	0
				前年度	1			1	0	0	0
				比較							
02				繰越金	62			62	74	74	119.4
	01			繰越金	62			62	74	74	119.4
		01		繰越金	62			62	74	74	119.4
			01	繰越金	62			62	74	74	119.4
				本年度	62			62	74	74	119.4
				前年度	74			74	74	74	100.0
				比較	12			12			
03				繰入金	51			51			
	01			基金繰入金	51			51			
		01		基金繰入金	51			51			
			01	基金繰入金	51			51			
				本年度	51			51			
				前年度	39			39			
				比較	12			12			

事業名：財産区管理に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	103				103		51	49.4
				前年	103				103		1	0.8
				比較	0				0		50	-
【参考】前々年度					103				103		1	0.8
節別支出済額(単位:千円)												
報酬				36	旅費		14		役務費		1	
概要及び成果												
1 作岡財産区管理事務 次年度予算案及び決算報告の作成、土地使用貸借契約の調整等を行う。 また、作岡財産区管理会を開催し、決算及び予算等について審議する。 【成果】 管理会を2回開催(内書面開催1回)し、決算、予算及び管理行為(敷地内の樹木伐採)について 管理会の同意に基づき、滞りなく執行できた。												

事業名：作岡財産区基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	1				1		0	5.2
				前年	1				1		0	5.0
				比較	0				0		0	-
【参考】前々年度					1				1		100.0	
節別支出済額(単位:千円)												
積立金				0								
概要及び成果												
1 作岡財産区基金への積立て 【成果】 (1)預金利子52円を積み立てた。 (2)令和4年度末基金残高は、2,618,735円。												

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	10				10			0.0
				前年	10				10			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					10				10		0.0	
概要及び成果												
1 必要が生じた事業への充用 【成果】 予備費の充用はなかった。												

つくば市等公平委員会特別会計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市等公平委員会特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度つくば市等公平委員会特別会計予算執行の概要について

令和4年度決算につきましては、歳入総額672千円、歳出総額219千円であり、歳入歳出差引額は、453千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				公平委員会	1,086			1,086	672	672	61.9
x				分担金及び負担金							
	x			負担金							
		x		総務費負担金							
			x	総務管理費負担金							
				本年度	811			811	812	812	100.1
				前年度							
				比較	811			811	812	812	
01				財産収入	1			1			
	01			財産運用収入	1			1			
		01		利子及び配当金	1			1			
			01	利子及び配当金							
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
02				繰入金	416			416			
	01			基金繰入金	416			416			
		01		公平委員会基金繰入金	416			416			
			01	公平委員会基金繰入金							
				本年度	416			416			
				前年度	43			43			
				比較	373			373			
03				繰越金	668			668	672	672	100.6
	01			繰越金	668			668	672	672	100.6
		01		繰越金	668			668	672	672	100.6
			01	前年度繰越金	668			668	672	672	100.6
				本年度	185		819	1,004	1,004	1,004	100.0
				前年度							
				比較	483		819	336	332	332	
04				諸収入	1			1			
	01			預金利子	1			1			
		01		預金利子	1			1			
			01	預金利子							
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							

事業名：公平委員会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
01	01	01	11	本年	1,051				1,051		219	20.8		
				前年	1,006		819		1,825		1,144	62.7		
				比較	45		819		774		925	-		
【参考】前々年度					1,011		341		1,352		341	25.2		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					114	旅費		24	需用費		50	役務費		3
備品購入費					13	負担金補助及び交付金		15	積立金		0			
概要及び成果														
<p>1 職員の勤務条件に関する措置要求の審査及び不利益処分についての審査請求の審査並びに職員の苦情処理 【成果】 措置要求 0件、 審査請求 0件、 苦情相談 2件</p>														
<p>2 会議の開催 【成果】 管理職員等の範囲を定める規則の一部改正等を行い、公平公正な活動ができる環境を整備することができた。 つくば市等公平委員会（委員3名）を4回開催</p>														
<p>3 総会等への公平委員会委員の参加 【成果】 全国及び県内の公平委員会連合会業務に寄与することができた。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面にて開催 全国公平委員会連合会通常総会（令和4年11月） 全国公平委員会連合会関東支部定期総会（令和4年6月） 茨城県公平委員会連合会定期総会（令和4年6月） 研究会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止又は書面</p>														

事業名：予備費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	35				35			0.0
				前年	35				35			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					35				35			0.0
概要及び成果												
<p>1 予備費 予想し難い支出の増加が生じた場合に充用する。 【成果】 令和4年度の充用なし。</p>												

介護保険事業特別会計

主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和4年度つくば市介護保険事業特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和5年9月5日

つくば市長 五十嵐立青

令和4年度つくば市介護保険事業特別会計予算執行の概要について

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組みとして2000年に創設され、支援の必要な高齢者に対するサービスを適正に提供する制度として定着してきました。

今後、高齢化の進展に伴い、要介護高齢者や認知症高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズがますます増大する中、医療や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、高齢者の自立支援と重度化防止に向けた保険者機能の強化、地域共生社会の実現に向けた取組、医療と介護の連携の推進など、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組を進めています。

令和4年度は、介護予防と孤立の防止に資する地域の憩いの場を提供する団体への助成、地域ごとの協議体で話し合いながら、高齢者の居場所づくりや見守り、地域の支えあいを充実するなど、第8期高齢者福祉計画の推進に取り組みました。

また、公費による所得の低い高齢者の介護保険料の軽減を強化するとともに、安定した財源を確保するため、収納率の向上に努めました。

このような状況の中で運営された、令和4年度つくば市介護保険事業特別会計決算は以下のとおりとなり、歳入歳出差引額573,577千円は、令和5年度つくば市介護保険事業特別会計に繰越しいたします。

決算規模	歳入総額	14,639,869千円
	歳出総額	14,066,292千円
	歳入歳出差引額	573,577千円

以上、令和4年度つくば市介護保険事業特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
			介護	14,513,661		551,268	15,064,929	14,781,489	14,639,869	97.2
01			保険料	3,617,532			3,617,532	3,762,666	3,621,869	100.1
	01		介護保険料	3,617,532			3,617,532	3,762,666	3,621,869	100.1
		01	第1号被保険者保険料	3,617,532			3,617,532	3,762,666	3,621,869	100.1
		01	現年度分特別徴収保険料	本年度 3,245,048 前年度 3,239,108 比較 5,940			3,245,048 3,239,108 5,940	3,227,160 3,172,726 54,434	3,234,766 3,178,250 56,516	99.7 98.1
		02	現年度分普通徴収保険料	本年度 348,516 前年度 280,144 比較 68,372			348,516 280,144 68,372	400,083 386,082 14,001	366,534 350,459 16,075	105.2 125.1
		03	滞納繰越分普通徴収保険料	本年度 23,968 前年度 20,397 比較 3,571			23,968 20,397 3,571	135,423 141,736 6,313	20,569 25,401 4,832	85.8 124.5
02			使用料及び手数料	200			200	114	114	57.0
	01		手数料	200			200	114	114	57.0
		01	督促手数料	200			200	114	114	57.0
		01	督促手数料	本年度 200 前年度 400 比較 200			200 400 200	114 215 101	114 215 101	57.0 53.8
		x	総務手数料					0	0	0
		x	総務手数料	本年度 前年度 比較				0 0 0	0 0 0	0 0 0
03			国庫支出金	2,965,847		881	2,964,966	2,795,132	2,795,132	94.3
	01		国庫負担金	2,450,149			2,450,149	2,430,368	2,430,368	99.2
		01	介護給付費負担金	2,450,149			2,450,149	2,430,368	2,430,368	99.2
		01	現年度分	本年度 2,450,149 前年度 2,445,716 比較 4,433			2,450,149 2,445,716 4,433	2,430,368 2,364,381 65,987	2,430,368 2,364,381 65,987	99.2 96.7
	02		国庫補助金	515,698		881	514,817	364,765	364,765	70.9
		01	調整交付金	276,591		90	276,501	125,359	125,359	45.3
		01	現年度分調整交付金	本年度 276,591 前年度 275,566 比較 1,025		90	276,501 275,566 935	125,359 160,129 34,770	125,359 160,129 34,770	45.3 58.1
		02	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	60,693		901	59,792	63,480	63,480	106.2
		01	現年度	本年度 60,693 前年度 57,840 比較 2,853		901	59,792 57,840 1,952	63,480 61,227 2,253	63,480 61,227 2,253	106.2 105.9
		03	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	138,647			138,647	134,624	134,624	97.1
		01	現年度	本年度 138,647 前年度 145,910 比較 7,263		8,808	137,102 137,102 1,545	139,817 139,817 5,193	139,817 139,817 5,193	102.0
		04	介護保険災害臨時特例補助金	451			451	401	401	88.9
		01	介護保険災害臨時特例補助金	本年度 451 前年度 711 比較 260			451 711 260	401 427 26	401 427 26	88.9 60.1
		05	保険者機能強化推進交付金	23,438			23,438	23,438	23,438	100.0
		01	保険者機能強化推進交付金	本年度 23,438 前年度 23,776 比較 338			23,438 23,776 338	23,438 23,438 338	23,438 23,438 338	100.0 98.6
		06	介護保険保険者努力支援交付金	15,878			15,878	17,353	17,353	109.3
		01	介護保険保険者努力支援交付金	本年度 15,878 前年度 16,313 比較 435			15,878 16,313 435	17,353 15,878 1,475	17,353 15,878 1,475	109.3 97.3
		07	介護保険事業費補助金			110	110	110	110	100.0
		01	介護保険事業費補助金	本年度 前年度 比較		110	110 110 110	110 456 346	110 456 346	100.0
		x	災害等臨時特例補助金							
		x	災害等臨時特例補助金	本年度 前年度 比較				94 94	94 94	
04			支払基金交付金	3,709,654		393	3,710,047	3,446,397	3,446,397	92.9
	01		支払基金交付金	3,709,654		393	3,710,047	3,446,397	3,446,397	92.9
		01	介護給付費交付金	3,627,717			3,627,717	3,370,986	3,370,986	92.9
		01	現年度分	本年度 3,627,717 前年度 3,627,656 比較 61			3,627,717 3,627,656 61	3,370,986 3,427,568 56,582	3,370,986 3,427,568 56,582	92.9 94.5

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率					
×	×	×	×	過年度分	本年度											
				前年度			3,016	3,016	3,016	3,016	100.0					
				比較			3,016	3,016	3,016	3,016						
				02	地域支援事業支援交付金		81,937		393	82,330	75,411	75,411	91.6			
				01	現年度分	本年度	81,937		393	82,330	73,801	73,801	89.6			
						前年度	78,084			78,084	66,774	66,774	85.5			
						比較	3,853		393	4,246	7,027	7,027				
				02	過年度分	本年度						1,610	1,610			
						前年度										
						比較						1,610	1,610			
				05	01	01	県支出金		2,023,802		562	2,023,240	2,021,879	2,021,879	99.9	
							県負担金		1,916,546			1,916,546	1,916,634	1,916,634	100.0	
介護給付費負担金		1,916,546						1,916,546	1,916,634	1,916,634	100.0					
01	現年度分	本年度	1,916,546						1,916,546	1,916,634	1,916,634	100.0				
		前年度	1,920,906						1,920,906	1,863,959	1,863,959	97.0				
		比較	4,360						4,360	52,675	52,675					
02	県補助金		107,256					562	106,694	105,245	105,245	98.6				
		01	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)				37,933		562	37,371	37,934	37,934	101.5			
							01	現年度分	本年度	37,933		562	37,371	37,934	37,934	101.5
									前年度	36,150			36,150	36,151	36,151	100.0
		比較	1,783					562	1,221	1,783	1,783					
		02	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)				69,323			69,323	67,312	67,312	67,312	97.1		
01	現年度分			本年度	69,323			69,323	67,312	67,312	97.1					
				前年度	72,955		4,404	68,551	69,909	69,909	102.0					
比較	3,632		4,404	772	2,597	2,597										
06	01	01	財産収入		154		79	75	75	75	100.0					
			財産運用収入		154		79	75	75	75	100.0					
			利子及び配当金		154		79	75	75	75	100.0					
			01	利子及び配当金	本年度	154			75	75	75	100.0				
					前年度	135		8	143	143	143	100.0				
					比較	19		87	68	68	68					
07	01	01	繰入金		2,192,831		4,195	2,197,026	2,197,026	2,197,026	100.0					
			一般会計繰入金		2,192,831		4,195	2,197,026	2,197,026	2,197,026	100.0					
			01	介護給付費繰入金	1,679,498			1,679,498	1,679,498	1,679,498	1,679,498	100.0				
					01	現年度分	本年度	1,679,498			1,679,498	1,679,498	1,679,498	100.0		
							前年度	1,679,470			1,679,470	1,679,470	1,679,470	100.0		
			比較	28			28	28	28							
			02	その他一般会計繰入金	253,477		4,757	258,234	258,234	258,234	258,234	100.0				
					01	職員給与費等繰入金	109,613			109,613	109,613	109,613	100.0			
							01	現年度分	本年度	109,613			109,613	109,613	100.0	
									前年度	112,822		1,110	111,712	111,712	111,712	100.0
					比較	3,209		1,110	2,099	2,099	2,099					
					02	事務費繰入金	143,864		4,757	148,621	148,621	148,621	148,621	100.0		
			01	現年度分			本年度	143,864			148,621	148,621	148,621	100.0		
							前年度	134,486			134,486	134,486	134,486	100.0		
			比較	9,378		4,757	14,135	14,135	14,135							
			03	地域支援事業繰入金(介護予防・日常生活支援総合事業)	37,935		562	37,373	37,373	37,373	37,373	100.0				
					01	現年度分	本年度	37,935		562	37,373	37,373	37,373	100.0		
							前年度	36,152			36,152	36,152	36,152	100.0		
比較	1,783		562	1,221	1,221	1,221										
04	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	69,324			69,324	69,324	69,324	69,324	100.0							
		01	現年度分	本年度	69,324			69,324	69,324	69,324	100.0					
				前年度	72,955		4,404	68,551	68,551	68,551	100.0					
比較	3,631		4,404	773	773	773										
05	低所得者保険料軽減繰入金	152,597			152,597	152,597	152,597	152,597	100.0							
		01	現年度分	本年度	152,597			152,597	152,597	152,597	100.0					
				前年度	149,488			149,488	149,488	149,488	100.0					
比較	3,109			3,109	3,109	3,109										
08	01	01	繰越金		1		548,202	548,203	548,203	548,203	100.0					
			繰越金		1		548,202	548,203	548,203	548,203	100.0					
			繰越金		1		548,202	548,203	548,203	548,203	100.0					
			01	繰越金	本年度	1		548,202	548,203	548,203	548,203	100.0				
					前年度	1		375,488	375,489	375,490	375,490	100.0				
比較			172,714	172,714	172,713	172,713										
09	01	01	諸収入		3,403			3,403	9,824	9,001	264.5					
			雑入		2,596			2,596	9,078	8,255	318.0					
			01	第三者納付金	1			1	5,408	5,408	540800.0					
					前年度	1			1	5,408	5,408	540800.0				
					比較					6,439	6,439	643900.0				
比較					1,031	1,031										

令和4年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
09	01	02		雑入	2,594			2,594	3,643	2,820	108.7			
			01	雑入	本年度	38			38	1,708	885	2328.9		
					前年度	74			74	1,290	547	739.2		
					比較	36			36	418	338			
			02	一般介護予防事業 参加費	本年度	2,556			2,556	1,935	1,935	75.7		
					前年度	2,592			2,592	1,374	1,374	53.0		
					比較	36			36	561	561			
			03	01	成年後見申立費用 納付金	本年度	1			1	27	27	2700.0	
						前年度	1			1	27	27	2,700.0	
						比較	1			1	27	27		
			02	01	01	延滞金、加算金及び過料 第1号被保険者延滞金	本年度	807			807	746	746	92.4
							前年度	807			807	746	746	92.4
							比較	354			354	223	223	
							本年度	807			807	746	746	92.4
						比較	453			453	969	969	213.9	
			比較	354			354	223	223					
10	01	01	01	介護サービス収入	237			237	174	174	73.4			
				介護予防支援費収入	237			237	174	174	73.4			
				介護予防支援費収入	237			237	174	174	73.4			
				現年度分	本年度	237			237	174	174	73.4		
					前年度	861			861	56	56	6.5		
		比較	624			624	118	118						

事業名：介護保険事務に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	31,392				31,392		28,581	91.0
				前年	30,452				30,452		27,293	89.6
				比較	940				940		1,288	-
【参考】前々年度					17,168		950		18,118		15,460	85.3
節別支出済額(単位:千円)												
報酬					12,836	職員手当等	1,524	旅費	759	需用費	1,143	
役務費					12,218	委託料	102					
概要及び成果												
<p>1 介護保険事務 介護保険事務事業を円滑に行う経費及び国・県・支払基金・一般会計繰出金等の運営予算の執行、事業所を紹介するサービスマップの作成</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の介護事業所の一覧を掲載した冊子（つくば市在宅医療と介護のサービスマップ）を作成し、窓口等での配布を行った。 ・介護保険事業を円滑に行うための事務を実施し、高齢者の暮らしを支えることができた。 												

事業名：資格管理に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
01	01	01	12	本年	599				599		586	97.8																																										
				前年	459				459		439	95.7																																										
				比較	140				140		147	-																																										
【参考】前々年度					595				595		542	91.1																																										
節別支出済額(単位:千円)																																																						
需用費					586																																																	
概要及び成果																																																						
<p>1 被保険者資格管理事業 介護保険資格管理システムで住基異動による転入者の確認と一括処理による65歳到達者の把握を行い、資格取得者に対して被保険者証を送付する。 住所地特例施設への入所者を把握し市町村間の資格処理業務を行う。</p> <p>【成果】 資格取得者や資格喪失者、住所地特例制度該当者の資格管理を適正に実施できた。</p> <p>被保険者の資格取得に伴う被保険者証の発行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入、65歳到達者への新規被保険者証交付</td> <td>人</td> <td>2,625</td> <td>2,518</td> <td>2,687</td> <td>2,760</td> <td>2,584</td> </tr> <tr> <td>転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等</td> <td>人</td> <td>258</td> <td>408</td> <td>308</td> <td>279</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>被保険者証の要介護認定交付</td> <td>人</td> <td>7,647</td> <td>7,237</td> <td>5,126</td> <td>6,483</td> <td>5,923</td> </tr> </tbody> </table> <p>住所地特例被保険者台帳の管理（市町村及び事業所からの各種異動連絡票処理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住所地特例施設入・退所連絡票</td> <td>人</td> <td>460</td> <td>480</td> <td>421</td> <td>497</td> <td>643</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	人	2,625	2,518	2,687	2,760	2,584	転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等	人	258	408	308	279	237	被保険者証の要介護認定交付	人	7,647	7,237	5,126	6,483	5,923		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	住所地特例施設入・退所連絡票	人	460	480	421	497	643
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																
転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	人	2,625	2,518	2,687	2,760	2,584																																																
転居、紛失等による被保険者証交付・再交付等	人	258	408	308	279	237																																																
被保険者証の要介護認定交付	人	7,647	7,237	5,126	6,483	5,923																																																
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																																																
住所地特例施設入・退所連絡票	人	460	480	421	497	643																																																

事業名：介護台帳システムに要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	13	本年	913		220		1,133		1,132	99.9
				前年	913				913		912	99.9
				比較	0		220		220		220	-
【参考】前々年度					921		2,750		3,671		3,118	84.9
節別支出済額(単位:千円)												
委託料					220	使用料及び賃借料	912					
概要及び成果												
<p>1 介護台帳システムに関する事業 介護サービス事業者の新規指定や変更届出に伴う事業所の基本情報、人員基準・介護報酬体制などに関する項目を、茨城県及び県内市町村共通の電子データとして連携、共有し使用している。 情報管理を安定して行うために令和元年度からシステムの5年間の保守付きリースを行い、また、介護報酬改定等の制度変更に対応するため、システム改修を行う。</p> <p>【成果】 介護サービス事業者の情報管理を安定して行うことができた。令和4年10月の介護報酬改定への対応としてシステム改修を実施した。</p>												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
賃借料					千円	912	912	912	912	-		
委託料(システム改修費)					千円	220	-	2,200	-	-		

事業名：賦課徴収に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	12,058				12,058		10,009	83.0
				前年	12,696				12,696		11,246	88.6
				比較	638				638		1,237	-
【参考】前々年度					14,670				14,670		13,565	92.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	2,778	職員手当等	252	旅費	171	需用費	558
役務費	993	委託料	125	負担金補助及び交付金	102	償還金利息及び割引料	5,031

概要及び成果

- 1 介護保険料賦課徴収事業
 被保険者の所得等を把握し、保険料を賦課する。
 保険料の収納方法（特別徴収・普通徴収）を管理する。
 普通徴収者が納付方法（口座振替・コンビニ納付等）を選択できるような環境を整備する。
 未納者に対する滞納整理事務を行う。

【成果】

法令、条例に基づいた賦課と保険料還付を適正に実施できた。

介護保険料の賦課を適正に行うために所得を調査し、賦課決定後は納付書を送付

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
所得照会件数	件	1,353	1,462	1,382	1,576	1,578
介護保険料納付書発送件数	件	11,310	11,045	10,588	9,935	9,782

介護保険料の収納率向上のための口座振替の推進

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
口座振替依頼件数	件	6,094	6,034	5,714	5,320	5,054

介護保険料滞納者に対する徴収

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
従事職員数	人	296	339	447	349	378
滞納整理件数	件	408	534	537	1,593	1,327
電話発信数	発信	1,484	1,879	1,831	1,582	1,656
収納額	円	31,580,900	39,036,200	33,135,100	29,130,300	18,060,825

事業名：介護認定審査会に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
01	03	01	11	本年	66,048				66,048		58,389	88.4	
				前年	60,871				60,871		41,759	68.6	
				比較	5,177				5,177		16,630	-	
【参考】前々年度					63,927				63,927		41,231	64.5	
節別支出済額(単位:千円)													
報酬					19,060	旅費			604	需用費	1,803	役務費	35,279
使用料及び賃借料					1,643								
概要及び成果													
1 介護認定審査会事業 申請受付事務や医師意見書等の必要書類の入手を行い、介護認定区分を判定する審査会の運営全般を行う。審査会委員（合議体8、委員定数5名、委員数40名）の資質の向上のため必要な研修を行う。 【成果】 新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いが終了したことにより、有効期間満了による更新件数が増加した。このため、審査委員の負担を勘案しながら審査件数を可能な限り多くし対応した。また、審査会委員の負担軽減を図るために、ICT（zoom）を活用した審査を開始した。													
審査会の実施 委員40名 報酬 1回当たり20,000円 費用弁償 1回当たり2,000円													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
審査会開催回数		回	191	151	135	184	188						
審査会処理件数		件	7,538	4,163	3,718	6,483	5,923						
令和4年度審査会処理件数：7,538件の内訳（新規：1,811件 更新：4,828件 区分変更：899件）													

事業名：認定調査等に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
01	03	02	11	本年	40,927		4,647		45,574		37,780	82.9	
				前年	37,014				37,014		27,578	74.5	
				比較	3,913		4,647		8,560		10,202	-	
【参考】前々年度					42,605				42,605		31,369	73.6	
節別支出済額(単位:千円)													
報酬					18,682	職員手当等			2,096	旅費	706	需用費	171
役務費					312	委託料			15,407	備品購入費	405		
概要及び成果													
1 介護認定調査事業 介護認定調査員（会計年度任用職員）の雇用、指定居宅介護支援事業所への委託により、認定調査を実施する。 【成果】 職員及び認定調査員による調査、委託（64者）による調査を実施し、認定審査会につなぐことができた。また、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いが終了したことにより、認定調査件数が増えた。 認定調査件数 7,528件（うち市職員調査3,980件 52.9% 委託調査3,548件 47.1%） 調査員の県主催新規・現任研修等への参加、また、日々調査票の点検等を行い、正確な審査会資料の作成に努めた。													
認定調査													
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
認定調査件数		件	7,528	4,579	3,523	6,409	5,927						

事業名：居宅介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	5,406,351				5,406,351		5,017,792	92.8
				前年	5,184,448				5,184,448		5,031,002	97.0
				比較	221,903				221,903		13,210	-
【参考】前々年度					4,981,527				4,981,527		4,966,690	99.7

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	5,017,792
------------	-----------

概要及び成果

- 1 居宅介護サービス給付事業
要介護認定者がケアプランに基づき訪問介護や通所介護等の居宅サービスを利用した場合に、給付費を支給する。

【成果】

- ・要介護認定者が居宅での生活を継続するためのサービスとして、訪問介護や通所介護、通所リハビリテーションなどのサービスを提供した。
- ・ケアプラン点検とともに、サービス提供事業所への介護報酬請求事務に係る助言指導を実施した。

サービス給付を受けた受給者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受給者数	人	47,509	47,696	47,064	46,101	44,924

事業名：特例居宅介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0

概要及び成果

- 1 特例居宅介護サービス給付事業
緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定居宅サービス等を受けた場合に行われる保険給付。

【成果】

特例居宅介護サービス給付費の請求はなかった。

事業名：施設介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	4,128,337				4,128,337		3,924,442	95.1
				前年	4,219,743				4,219,743		3,949,597	93.6
				比較	91,406				91,406		25,155	-
【参考】前々年度					4,081,891				4,081,891		3,993,666	97.8

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	3,924,442
------------	-----------

概要及び成果

1 施設介護サービス給付事業

要介護認定者が必要に応じて介護老人福祉施設や介護老人保健施設等の施設を利用した場合に、給付費を支給する。

【成果】

- ・要介護認定者が、介護老人福祉施設などの介護保険施設に入所し、施設で生活しながら介護を受けられるようサービスを提供した。
- ・サービス提供事業所への介護報酬請求事務に係る助言指導を、年間を通して実施した。

サービスを受けた受給者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受給者数	人	1,164	1,197	1,208	1,204	1,196

事業名：特例施設介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1		0.0	

概要及び成果

1 特例施設介護サービス給付事業

緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定施設サービス等を受けた場合に行われる保険給付。

【成果】

特例施設介護サービス給付費の請求はなかった。

事業名：居宅介護福祉用具購入に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	05	11	本年	12,318				12,318		12,015	97.5														
				前年	11,406				11,406		11,146	97.7														
				比較	912				912		869	-														
【参考】前々年度					9,502			2,055	11,557		11,535	99.8														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					12,015																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護福祉用具購入事業 要介護認定者が必要に応じて福祉用具を購入し、領収書を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書受付後、内容審査、国保連合会への申請情報送付と審査後のデータ受取、支給事務等を行い、受付から償還払いまでの事務を速やかに実施した。 ・福祉用具購入費用の一部を助成することで、日常生活がより快適に送れるよう要介護認定者を支援することができた。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>413</td> <td>403</td> <td>422</td> <td>389</td> <td>388</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	413	403	422	389	388
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	413	403	422	389	388																				

事業名：居宅介護住宅改修に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	06	11	本年	27,347				27,347		21,817	79.8														
				前年	26,156				26,156		22,202	84.9														
				比較	1,191				1,191		385	-														
【参考】前々年度					26,554			2,055	24,499		21,047	85.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					21,817																					
概要及び成果																										
<p>1 居宅介護住宅改修事業 要介護認定者が必要に応じて手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修を行い、領収書を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅で安心して生活を継続できるよう、要介護認定者を支援し生活環境を整えることができた。 ・事前申請の書類の内容審査、事後申請時の内容審査を行い、内容に疑義がある場合や書類のみでの確認が困難な場合は、必要に応じて現場確認を行った。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>262</td> <td>240</td> <td>226</td> <td>265</td> <td>269</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	262	240	226	265	269
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	262	240	226	265	269																				

事業名：居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	11	本年	706,166				706,166		675,411	95.6
				前年	714,679				714,679		670,966	93.9
				比較	8,513				8,513		4,445	-
【参考】前々年度					679,987				679,987		655,430	96.4

節別支出済額(単位:千円)

負担金補助及び交付金	675,411
------------	---------

概要及び成果

- 1 居宅介護サービス計画給付事業
 要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等、指定居宅介護支援を受けた場合に行われる保険給付。
 本給付は10割給付であり利用者負担はない。

【成果】

居宅介護サービスにより要介護被保険者の居宅生活を支援した。

サービス給付を受けた受給者数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受給者数	人	47,786	47,696	47,064	46,101	44,924

事業名：特例居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0

概要及び成果

- 1 特例居宅介護サービス計画給付事業
 要介護被保険者が、指定居宅介護支援以外の居宅介護支援又はこれに相当するサービス（基準該当介護支援）、又は離島等において相当するサービスを受けた場合について行われる保険給付。

【成果】

特例居宅介護サービス計画給付費の請求はなかった。

事業名：地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	01	09	11	本年	2,071,620				2,071,620		2,012,539	97.1														
				前年	2,186,070				2,186,070		1,965,718	89.9														
				比較	114,450				114,450		46,821	-														
【参考】前々年度					1,977,599			6,656	1,970,943		1,884,630	95.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					2,012,539																					
概要及び成果																										
<p>1 地域密着型介護サービス給付事業 要介護認定者が必要に応じて地域密着型サービスを利用した場合に、給付費を支給する。</p> <p>【成果】 要介護認定者が、地域密着型通所介護や認知症対応型共同生活介護等の地域密着型介護サービスを受けて住み慣れた地域で生活を継続していけるよう支援することができた。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>10,068</td> <td>9,875</td> <td>9,388</td> <td>9,732</td> <td>9,739</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	受給者数	人	10,068	9,875	9,388	9,732	9,739
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
受給者数	人	10,068	9,875	9,388	9,732	9,739																				

事業名：特例地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	10	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例地域密着型介護サービス給付事業 つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から行われる保険給付。「償還払い」の方式で給付する。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：高額介護サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	01	11	本年	358,460				358,460		300,942	84.0														
				前年	381,172				381,172		311,536	81.7														
				比較	22,712				22,712		10,594	-														
【参考】前々年度					403,959				403,959		333,416	82.5														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					300,942																					
概要及び成果																										
<p>1 高額介護サービス事業 要介護認定者が同じ月に利用したサービスの利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会提供データからの申請勧奨及び申請受付から償還払いまでの事務を速やかに行った。 ・利用者負担が高額になった方に、適切な申請勧奨を行い、サービス利用者に費用の一部を助成することで負担を軽減することができた。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>23,234</td> <td>23,785</td> <td>23,980</td> <td>23,502</td> <td>19,971</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	23,234	23,785	23,980	23,502	19,971
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	23,234	23,785	23,980	23,502	19,971																				

事業名：高額介護予防サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	02	11	本年	275				275		125	45.6														
				前年	314				314		137	43.6														
				比較	39				39		12	-														
【参考】前々年度					274				274		225	82.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					125																					
概要及び成果																										
<p>1 高額介護予防サービス事業 要介護認定者が同じ月に利用したサービスの利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会提供データからの申請勧奨及び申請受付から償還払いまでの事務を速やかに行った。 ・利用者負担が高額になった方に、適切な申請勧奨を行い、サービス利用者に費用の一部を助成することで負担を軽減することができた。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>106</td> <td>137</td> <td>157</td> <td>191</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	106	137	157	191	136
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	106	137	157	191	136																				

事業名：高額医療合算介護サービス費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	03	11	本年	46,782				46,782		36,397	77.8														
				前年	41,936				41,936		36,666	87.4														
				比較	4,846				4,846		269	-														
【参考】前々年度					39,903				39,903		38,271	95.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					36,397																					
概要及び成果																										
<p>1 高額医療合算介護サービス事業 要介護認定者が年間（8月から7月）に負担した医療保険と介護保険の利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 対象者からの申請に対して実績等を確認しサービス費の支給を行い、利用者の負担軽減を図った。</p> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>1,290</td> <td>1,281</td> <td>1,244</td> <td>1,176</td> <td>1,063</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	1,290	1,281	1,244	1,176	1,063
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	1,290	1,281	1,244	1,176	1,063																				

事業名：高額医療合算介護予防サービス費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	02	04	11	本年	256				256		103	40.3														
				前年	256				256		62	24.3														
				比較	0				0		41	-														
【参考】前々年度					256				256		85	33.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					103																					
概要及び成果																										
<p>1 高額医療合算介護予防サービス事業 要介護者が年間（8月から7月）に負担した医療保険と介護保険の利用者負担の合計額が上限額を超えた場合に、申請により超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 対象者からの申請に対して実績等を確認しサービス費の支給を行い、利用者の負担軽減を図った。</p> <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	15	12	17	16	18
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	15	12	17	16	18																				

事業名：特定入所者介護サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	03	01	11	本年	452,174				452,174		341,784	75.6														
				前年	462,486				462,486		394,110	85.2														
				比較	10,312				10,312		52,326	-														
【参考】前々年度					427,922			6,656	434,578		434,578	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					341,784																					
概要及び成果																										
<p>1 特定入所者介護サービス事業 申請により所得に応じて負担限度額を決定する。 低所得者の負担する食費・居住費がこの負担限度額を超えた場合に、超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 更新手続きを円滑に進めることで、低所得者の要介護者が介護保険施設等に入所したときやショートステイを利用したときの食費・居住費の利用者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>低所得者であるために施設等の利用費の軽減が認められた件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定件数</td> <td>件</td> <td>1,327</td> <td>1,380</td> <td>1,532</td> <td>1,517</td> <td>1,402</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	認定件数	件	1,327	1,380	1,532	1,517	1,402
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
認定件数	件	1,327	1,380	1,532	1,517	1,402																				

事業名：特例特定入所者介護サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例特定入所者介護サービス費に要する経費 低所得者が、緊急その他やむを得ない理由により施設サービスを利用した場合に負担する食費や居住費について、負担限度額を超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 特例特定入所者介護サービス費の請求はなかった。</p>												

事業名：特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	03	03	11	本年	298				298		67	22.3														
				前年	298				298		44	14.7														
				比較	0				0		23	-														
【参考】前々年度					232				232		117	50.4														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					67																					
概要及び成果																										
<p>1 特定入所者介護予防サービス事業 申請により所得に応じて負担限度額を決定する。 低所得者の負担する食費・居住費がこの負担限度額を超えた場合に、超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 更新手続を円滑に進めることで、低所得者の要介護者が介護保険施設等に入所したときやショートステイを利用したときの食費・居住費の利用者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>低所得者であるために施設等の利用費の軽減が認められた件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定件数</td> <td>件</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	認定件数	件	8	12	14	11	14
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
認定件数	件	8	12	14	11	14																				

事業名：特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	04	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例特定入所者介護予防サービス事業 低所得者が、緊急その他やむを得ない理由により施設サービスを利用した場合に負担する食費や居住費について、負担限度額を超えた分を支給する。</p> <p>【成果】 特例特定入所者介護予防サービス費の請求はなかった。</p>												

事業名：介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	01	11	本年	147,838				147,838		142,759	96.6														
				前年	133,858				133,858		132,997	99.4														
				比較	13,980				13,980		9,762	-														
【参考】前々年度					132,810				132,810		124,298	93.6														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					142,759																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、指定介護予防サービスを利用したときに、介護予防サービス給付費を支給する。</p> <p>【成果】 介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>7,228</td> <td>6,786</td> <td>6,167</td> <td>5,749</td> <td>5,100</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	受給者数	人	7,228	6,786	6,167	5,749	5,100
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
受給者数	人	7,228	6,786	6,167	5,749	5,100																				

事業名：特例介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により指定介護予防サービスを利用したときに、介護予防サービス給付費を支給する。</p> <p>【成果】 特例介護予防サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	03	11	本年	15,434				15,434		9,589	62.1														
				前年	15,434				15,434		7,409	48.0														
				比較	0				0		2,180	-														
【参考】前々年度					15,434				15,434		8,182	53.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					9,589																					
概要及び成果																										
<p>1 地域密着型介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所（介護予防認知症対応型共同生活介護（要支援2のみ）・介護予防小規模多機能型居宅介護・介護予防認知症対応型通所介護等の各事業所）から、地域密着型介護予防サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 つくば市が指定した事業所において、地域に必要な介護サービスを提供した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>98</td> <td>77</td> <td>101</td> <td>119</td> <td>134</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	受給者数	人	98	77	101	119	134
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
受給者数	人	98	77	101	119	134																				

事業名：特例地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	04	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例地域密着型介護予防サービス給付事業 要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により、指定地域密着型介護予防サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護予防サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：介護予防福祉用具購入に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	05	11	本年	2,580				2,580		2,288	88.7														
				前年	2,294				2,294		2,218	96.7														
				比較	286				286		70	-														
【参考】前々年度					1,813			320	2,133		2,133	100.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					2,288																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防福祉用具購入事業 要支援認定者が必要に応じて福祉用具を購入し、領収書を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請書受付後、内容審査、国保連合会への申請情報送付と審査後のデータの受取、支給事務等を行い受付から償還払いまでの事務を速やかに実施した。 福祉用具購入費用の一部を助成することで、日常生活がより快適に送れるよう要支援認定者を支援することができた。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>97</td> <td>91</td> <td>95</td> <td>72</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	97	91	95	72	73
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	97	91	95	72	73																				

事業名：介護予防住宅改修に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	06	11	本年	13,008				13,008		11,563	88.9														
				前年	13,103				13,103		9,817	74.9														
				比較	95				95		1,746	-														
【参考】前々年度					14,015			320	13,695		8,669	63.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					11,563																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防住宅改修事業 要支援認定者が必要に応じて手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修を行い、領収書を添えて申請した場合に、自己負担割合に応じて対象費用の7割から9割を支給する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 居宅で安心して生活を継続できるよう、要支援認定者を支援し生活環境を整えることができた。 事前申請の書類の内容審査、事後申請時の内容審査を行い、内容に疑義がある場合や書類のみでの確認が困難な場合は、必要に応じて現場確認を行った。 <p>サービス給付を行った件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>件</td> <td>125</td> <td>99</td> <td>91</td> <td>104</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	支給件数	件	125	99	91	104	96
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
支給件数	件	125	99	91	104	96																				

事業名：介護予防サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
02	04	07	11	本年	35,407				35,407		34,572	97.6														
				前年	31,333				31,333		31,281	99.8														
				比較	4,074				4,074		3,291	-														
【参考】前々年度					33,406				33,406		27,832	83.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
負担金補助及び交付金					34,572																					
概要及び成果																										
<p>1 介護予防サービス計画給付事業 要支援被保険者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成等、指定介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。この給付は10割負担であり、利用者負担はない。</p> <p>【成果】 介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <p>サービス給付を受けた受給者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>人</td> <td>6,972</td> <td>6,402</td> <td>5,813</td> <td>5,749</td> <td>5,100</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	受給者数	人	6,972	6,402	5,813	5,749	5,100
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
受給者数	人	6,972	6,402	5,813	5,749	5,100																				

事業名：特例介護予防サービス計画給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	08	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					1				1			0.0
概要及び成果												
<p>1 特例介護予防サービス計画給付事業 要支援被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により、指定介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例介護予防サービス計画給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	01	11	本年	11,330				11,330		10,911	96.3
				前年	10,768				10,768		10,631	98.7
				比較	562				562		280	-
【参考】前々年度					10,558				10,558		10,326	97.8
節別支出済額(単位:千円)												
役務費					10,911							
概要及び成果												
<p>1 審査支払手数料事業 介護サービス事業者及び介護予防サービス事業者の給付費の請求及び償還払い事務に対する審査手数料を支払う。</p> <p>【成果】 サービス事業費の請求に対する審査支払いにより、費用支給事務の円滑化が図られた。</p>												
審査支払手数料												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
審査件数					件	191,424	186,516	181,151	178,849	170,598		

事業名：災害臨時特例給付に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	11	本年	1,463				1,463		1,047	71.6
				前年	1,117				1,117		932	83.4
				比較	346				346		115	-
【参考】前々年度					1,117				1,117		855	76.5
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					1,047							
概要及び成果												
<p>1 災害臨時特例給付事業 東日本大震災に係る原子力発電所事故によって避難した方や水害等によって被害を受けた方が、介護サービスを利用した場合の自己負担分を減免する。</p> <p>【成果】 東日本大震災により被害を受けた方のサービス利用の負担を軽減することができた。</p>												
東日本大震災												
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
対象件数					件	144	137	137	125	117		
減免額					円	1,047,234	931,598	854,983	780,911	893,310		

事業名：介護予防・生活支援サービス事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	239,980			672	239,308		221,065	92.4
				前年	224,803				224,803		207,810	92.4
				比較	15,177			672	14,505		13,255	-
【参考】前々年度					264,230				264,230		192,720	72.9
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					221,065							
概要及び成果												
<p>1 介護予防・生活支援サービス事業 要支援認定者等に対して、ケアマネジメントに基づき訪問型サービス及び通所型サービスを提供し、要介護状態になることの予防または軽減若しくは悪化の防止を図る。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレット作成やホームページ掲載により、制度の周知を実施した。 要支援認定者が要介護状態となることの予防または軽減、もしくは悪化の防止を図るためのサービスを提供し、高齢者の暮らしを支えることができた。 												

事業名：高額介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	713				713		222	31.2
				前年	518				518		375	72.4
				比較	195				195		153	-
【参考】前々年度					617				617		370	60.0
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					222							
概要及び成果												
<p>1 高額介護予防・生活支援サービス事業 自己負担が高額となった場合に、要支援被保険者の負担が、一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う保険給付。</p> <p>【成果】</p> <p>総合事業費負担が高額になった要支援被保険者の負担軽減が図られた。</p>												

事業名：高額医療合算介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	13	本年	459				459		235	51.2
				前年	354				354		313	88.5
				比較	105				105		78	-
【参考】前々年度					256				256		127	49.7
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					235							
概要及び成果												
<p>1 高額医療合算介護予防・生活支援サービスに要する経費 要支援被保険者及びチェックリスト該当者のサービス費と医療費の合算額が高額となった場合に、負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う給付。</p> <p>【成果】</p> <p>総合事業費と医療費の合算額が高額になった要支援被保険者等の負担軽減が図られた。</p>												

事業名：短期集中予防サービスに要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	01	01	14	本年	960			672	1,632		1,320	80.9														
				前年	1,920				1,920		544	28.3														
				比較	960			672	288		776	-														
【参考】前々年度					1,920		1,000		920		896	97.4														
節別支出済額(単位:千円)																										
委託料					1,320																					
概要及び成果																										
<p>1 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」 要支援1、2または事業対象者に対して、専門職が訪問指導及び心身機能の改善と自立した生活への支援を行う。運動機能向上プログラム、低栄養改善・口腔機能向上プログラムの2つからなり、高齢者が心身機能を改善するとともに、活動や参加を促進し、自立した生活を送ることができるよう、個々の状態に応じた適切な支援を行うサービスである。</p> <p>【成果】 【利用実績】 運動機能向上プログラム利用者数：15名 低栄養改善・口腔機能向上プログラム利用者数：2名</p> <p>訪問型サービスC利用者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>人</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	利用者数	人	17	7	11	6	5
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
利用者数	人	17	7	11	6	5																				

事業名：介護予防ケアマネジメント事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	24,527				24,527		24,178	98.6
				前年	27,974				27,974		22,160	79.2
				比較	3,447				3,447		2,018	-
【参考】前々年度					31,745				31,745		20,567	64.8
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金					24,178							
概要及び成果												
<p>1 介護予防ケアマネジメント事業 要支援被保険者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成等、介護予防ケアマネジメントを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 介護予防・生活支援サービスにより、要支援被保険者等の居宅生活を支援した。</p>												

事業名：こころとからだの健康教室事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	412				412	0	355	86.3
				前年	1,680				1,680		346	20.6
				比較	1,268				1,268	0	9	-
【参考】前々年度					1,909		1,354		555		194	35.0

節別支出済額(単位:千円)

報償費	92	需用費	176	役務費	88
-----	----	-----	-----	-----	----

概要及び成果

1 こころとからだの健康教室

一般介護予防事業として、認知機能向上を目的とした「脳元気アップ教室」を開催する。

【成果】

1 教室参加者 実44名 / 延225名

(1) 第1クール：実12名 / 延62名

(2) 第2クール：実13名 / 延59名

(3) 第3クール：実19名 / 延104名

2 内容 5回1クール

1回目：認知症総論（筑波大学附属病院 江湖山さおり氏）

2回目：口腔ケア（つくば市歯科医師会 門井喜美江氏）

3回目：栄養（健康増進課 管理栄養士）

4回目：運動（茨城県リハビリテーション専門職協会 リハ専門職）

5回目：認知症への理解を深める（当課職員）

3 第4回目を体験会とし、血管年齢計や体組成計、脳年齢計等測定、認知機能チェック体験、個別相談を実施した。

こころとからだの健康教室の参加人数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
教室参加者実人数	人	44	23	18	225	594

平成30年度までは閉じこもり予防・運動機能向上・認知機能向上の3種、令和元年度は運動機能向上・認知機能向上の2種、令和2～4年度は認知機能向上教室の1種の教室を開催

事業名：出前教室事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	12	本年	17,726				17,726		14,073	79.4
				前年	17,700				17,700		11,666	65.9
				比較	26				26		2,407	-
【参考】前々年度					20,490				20,490		11,371	55.5

節別支出済額(単位:千円)

報酬	7,709	職員手当等	222	報償費	367	旅費	376
需用費	529	役務費	46	委託料	4,824		

概要及び成果

1 出前健康教室事業

- ・65歳以上で構成される5名以上の団体に対し、地区の集会所や研修センターに出向き体操や健康講話を実施する。健康体操教室(65歳以上)とシルバーリハビリ出前体操教室がある。
- ・運動普及推進員、シルバーリハビリ体操指導士を広く募集し、応募のあった市民に対しての養成講座等を行う。
- ・低栄養予防事業として栄養講話と調理講習会を行う。

【成果】

- ・健康体操教室(65歳以上)及びシルバー出前体操教室：新型コロナウイルス感染症の感染対策を万全に行い、年間を通じて事業を実施し、いずれも昨年度より実施回数が増加し、介護予防に繋がった。
- ・運動普及推進員養成講座及びシルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会：感染対策を万全に行い、推進員及び指導士を養成することができた。
- ・低栄養予防事業：フレイルの自覚がある市民を対象とした調理講習会を新設し開催した。

(1) 健康体操教室(65歳以上)

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
団体数	団体	63	60	60	81	83
実施回数	回	578	406	311	641	586
参加延人数	人	4,828	3,446	2,830	6,576	6,151

(2) 運動普及推進員養成講座 概ね2年に1回実施、令和3年度は延期

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
養成人数	人	13	-	-	23	-

(3) 運動普及推進員継続講座 年5回計画

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加延人数	人	151	59	63	187	267

(4) シルバーリハビリ出前体操教室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施団体数(実)	団体	119	111	85	178	174
実施回数(延)	回	2,203	428	164	2,950	3,096
参加延人数	人	16,873	3,403	1,281	25,180	27,505

(5) シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期及び中止

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
養成人数	人	18	14()	-	15	23

(6) 低栄養予防事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
調理講習会実施回数	(回)	11	17	14	15	2
調理講習会参加延人数	(人)	138	177	141	204	30

事業名：いきいき・元気はつらつ運動教室事業に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	13	本年	6,735				6,735		6,633	98.5
				前年	6,727				6,727		6,050	89.9
				比較	8				8		583	-
【参考】前々年度					6,748				6,748		5,458	80.9

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,609	職員手当等	243	旅費	105	需用費	40
委託料	2,611	備品購入費	24				

概要及び成果

1 いきいき・元気はつらつ運動教室
介護予防を目的として、いきいき運動教室（対象65歳以上）元気はつらつ運動教室（対象75歳以上）を実施する。

【成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を万全に行い、年間を通じて事業を実施し、いずれも昨年度の実施回数、参加延人数等が増加した。
- ・元気はつらつ運動教室参加者に対してフレイルに関するアンケートの実施とオーラルフレイルの講話を行った。

いきいき運動教室（65歳から74歳対象） H30年度より年齢区分でコース変更

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース数		3	3	3	3	3
実施回数	回	129	96	77	129	129
参加実人数	人	96	80	85	119	128
参加延人数	人	2,913	1,932	1,567	3,824	4,099

元気はつらつ運動教室（75歳以上対象）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース数		4	4	4	4	4
実施回数	回	173	128	101	172	171
参加実人数	人	91	82	100	124	127
参加延人数	人	2,837	1,945	2,049	4,050	4,133

事業名：介護支援ボランティア事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	14	本年	2,181				2,181		1,799	82.5	
				前年	2,337				2,337		1,735	74.2	
				比較	156				156		64	-	
【参考】前々年度					2,542				2,542		1,816	71.5	
節別支出済額(単位:千円)													
需用費				55	役務費		1	委託料		1,716	負担金補助及び交付金		27
概要及び成果													
<p>1 介護支援ボランティア事業 市内に住所を有する65歳以上(つくば市第1号被保険者)の高齢者が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、申出によりポイントに応じた交付金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>1 今後の介護支援ボランティア受入れについて、協力施設に電話でのヒアリングを実施した。令和3年度は受入れ可能な施設は5施設だったが、令和4年度は21施設まで増加した。また、施設内で活動可能な施設も7施設へ増加した。</p> <p>2 コロナウイルス感染症の感染が収まってきたこともあり、令和4年度は前年度より増加し、5名の方が各施設でボランティア活動をすることが出来た。</p>													
介護支援ボランティア実活動者													
				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
実活動者数		人			5	4	2	71	77				

事業名：高齢者の居場所づくりに要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	15	本年	6,650				6,650		3,680	55.3
				前年	6,650				6,650		2,750	41.4
				比較	0				0		930	-
【参考】前々年度					2,300		5,700		8,000		3,550	44.4
節別支出済額(単位:千円)												
負担金補助及び交付金				3,680								
概要及び成果												
<p>1 つくば市高齢者憩いの広場活動支援事業 週1回以上、高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のための活動を行う団体へ補助金を交付する。</p> <p>【成果】 民生委員総会で事業周知を行ったことで、民生委員や民生委員から話を聞いた市民から相談を受け、新年度に向けて前向きに考えている団体が複数あった。今年度の新規活動団体が3団体増加した。</p>												
高齢者憩いの広場活動団体数												
				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
団体数		団体			13	10	9	6	1			
平成30年度にモデル事業を実施し、令和元年度より事業実施。												

事業名：地域リハビリテーション活動支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																						
03	02	01	16	本年	359				359		173	48.1																						
				前年	359				359		218	60.6																						
				比較	0				0		45	-																						
【参考】前々年度				147				147		50	34.0																							
節別支出済額(単位:千円)																																		
委託料					173																													
概要及び成果																																		
<p>1 地域リハビリテーション活動支援事業 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などのリハビリテーション専門職を、個人宅やサービス提供事業所、住民主体の通いの場等へ派遣し、介護予防に関する技術的助言、サービス担当者会議におけるケアマネジメント支援を行う。</p> <p>【成果】 【派遣件数 29件】 以下延べ件数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1 介護予防活動普及促進支援</td> <td style="text-align: right;">4回</td> </tr> <tr> <td>2 ケアマネジメント支援</td> <td style="text-align: right;">22回</td> </tr> <tr> <td>3 福祉環境コーディネート支援</td> <td style="text-align: right;">3回</td> </tr> <tr> <td>4 介護予防ケア向上支援</td> <td style="text-align: right;">0回</td> </tr> </table> <p>専門職による訪問</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問回数</td> <td>回</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>													1 介護予防活動普及促進支援	4回	2 ケアマネジメント支援	22回	3 福祉環境コーディネート支援	3回	4 介護予防ケア向上支援	0回		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	訪問回数	回	29	34	12	11	-
1 介護予防活動普及促進支援	4回																																	
2 ケアマネジメント支援	22回																																	
3 福祉環境コーディネート支援	3回																																	
4 介護予防ケア向上支援	0回																																	
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																												
訪問回数	回	29	34	12	11	-																												

事業名：包括的支援事業総務に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	152,882			379	153,261		146,590	95.6
				前年	156,060			180	156,240		147,428	94.4
				比較	3,178			199	2,979		838	-
【参考】前々年度					161,627		13,000		148,627		145,693	98.0

節別支出済額(単位:千円)

報酬	4,471	職員手当等	269	報償費	324	旅費	167
需用費	773	役務費	218	委託料	138,943	使用料及び賃借料	1,222
備品購入費	190	負担金補助及び交付金	13				

概要及び成果

1 地域包括支援センターの運営指導事務

地域包括支援センター定例会を実施し、活動状況や困難事例の共有・検討を行うことで、地域包括支援センター間の連絡調整やネットワーク強化を行う。各地域包括支援センターの事業計画・実績報告作成の際に内容を確認し、助言を行う。

毎月提出される相談票や実績報告を把握し、適切な相談支援に向けた指導を行う。

市職員が各地域包括支援センターに出向いて、ケース共有会議を実施し、ケース支援について助言を行う。併せて、各センターの運営体制状況の確認を行い、不足事項についての指導を実施する。

【成果】

・毎月の定例会等を通して各センター職員の相談力の向上、地域連携ネットワークの構築、事業に対する共通理解の形成ができた。

地域包括支援センター相談対応

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数(直営・委託包括)	件	9,316	10,394	9,417	7,414	5,205

相談件数は相談の形態別

2 総合相談・支援事業

相談を受け、対象者のニーズに応じた適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行う。市内6か所に委託設置している各圏域担当の地域包括支援センターと市地域包括支援課に設置している直営の地域包括支援センターにおいて総合相談・支援を実施する。

【成果】

相談対応実践力の向上につなげることができた。また、職種別ミーティングにより各専門職の対応力が向上し、センター間の新たな連携体制が構築された。

地域包括支援センター相談対応

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数(直営)	件	1,398	1,665	2,575	3,152	3,309
相談件数(委託包括)	件	15,295	22,047	17,639	11,053	5,420
対応件数(直営)	件	2,036	2,320	2,935	3,880	4,158
対応件数(委託包括)	件	32,365	33,010	23,110	17,182	9,421
実相談対象者数	人	4,052	4,100	-	-	-

相談件数は相談の内容別、対応件数は対応の仕方別

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員の相談、担当者会議支援

各会議等への出席（ケアマネジャー連絡会、役員会、圏域別地域ケア会議等）

主任介護支援専門員に対する支援（連絡会の開催）

保健福祉関係者のための市内の保健福祉サービス民間関連サービス概要の作成

【成果】

- 1 介護支援専門員の相談2,629件（うち同行訪問168件）
- 2 困難事例の会議125回
- 3 各会議の出席延人数（つくばケアマネジャー連絡会定例会10回/599名、役員会12回/199名）
- 4 法定外研修3回実施。

介護支援専門員からの相談対応

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	件	2,629	2,816	1,495	868	234

4 権利擁護事務

成年後見制度、日常生活自立支援事業等の活用促進

老人福祉施設等への措置支援

高齢者虐待防止、養護者支援

困難事例への対応

【成果】

- ・権利擁護支援が必要な対象者に対して、相談支援や受任者調整会議を実施し、制度利用に繋げる体制を整備することができた。
- ・高齢者虐待対応を実施し、高齢者と養護者に対して必要な支援と権利擁護を実施した。
- ・高齢者虐待の防止、早期発見のために、市民に向けて相談・通報先を広く周知することができた。
- ・介護保険サービス提供事業所にて虐待防止研修を実施し、現場のニーズに即した研修を提供することができた。

権利擁護相談対応

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	件	109	137	139	159	170

5 実態把握訪問

閉じこもりや生活能力低下、認知機能低下、社会性の低下、医療等で関わり支援が必要な対象者を抽出し訪問等を実施する。

【成果】

- ・把握数延387名

【訪問種別内訳】

過去5年間未受診（医療・健診）かつ介護保険未利用者 91名
 70～80歳で過去2年間治療中断者かつ介護保険未利用者 88名
 令和2年度介護保険認定期限切れ者及びサービス未利用者 106名
 低栄養・口腔機能低下者 99名
 その他 3名

実態把握訪問の実施

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問者数	人	387	328	595	249	261

事業名：在宅医療・介護連携推進に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
03	03	01	12	本年	3,963				3,963		2,822	71.2		
				前年	4,234				4,234		2,760	65.2		
				比較	271				271		62	-		
【参考】前々年度					4,648		1,484		3,164		2,586	81.7		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					1,469	報償費		797	旅費		68	需用費		408
役務費					81									
概要及び成果														
<p>1 在宅医療・介護連携推進事業 市民や関係機関に意識調査を実施し、課題を把握する。 推進協議会を開催し、在宅医療・介護連携に関する課題抽出と対応策の検討を行い、方針を決定する。 医療介護の関係機関を対象とした意見交換会や研修会の開催、市民啓発を行い、医療と介護の連携が 推進される仕組みづくりを行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の評価指標を絞り込み、関係団体の意見も取り入れた数値目標を設定することができた。 ・介護保険認定更新者へのアンケートを開始し、評価指標の収集につなげることができた。 ・感染症拡大の時期でも、オンライン活用により会議、研修や市民への普及啓発を行うことができた。 ・お薬手帳を活用した連携ツールを介護保険課と協働し、全介護保険認定者に送付することができた。 ・市民への普及啓発として、市YouTubeにおいて在宅医療・介護に関する情報を配信し、周知を図ることができた。 														
多職種研修会等の参加者数														
					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
参加者数					人	781	970	323	441	867				

事業名：認知症総合支援に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
03	03	01	13	本年	12,316				12,316		8,716	70.8		
				前年	11,830				11,830		7,457	63.0		
				比較	486				486		1,259	-		
【参考】前々年度					9,209		821		8,388		7,153	85.3		
節別支出済額(単位:千円)														
報酬					1,479	報償費		208	旅費		49	需用費		136
役務費					16	委託料		6,484	負担金補助及び交付金		344			
概要及び成果														
<p>1 認知症総合支援事業</p> <p>認知症カフェは認知症の人やその家族だけでなく、地域の方々も参加できる交流の場。 認知症初期集中支援チームは認知症専門医の指導の下、専門職が認知症が疑われる人又は認知症の人 やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、か かりつけ医と連携しながら認知症に対する適切な治療につなげて、自立生活のサポートを行う。</p> <p>【成果】</p> <p>認知症カフェは新型コロナウイルスの影響で参加者が減少していたが、今年度は参加人数が徐々に回 復。委託事業所より感染対策のため人数把握ができた方がよいとの意見もあり、予約制を継続して実 施した。中止になった場合は、参加者のフォローアップを実施した。 初期集中支援チームが介入することで、認知症サポート医や認知症疾患医療センターと連携してケー ス支援することでき、より適した支援方針を検討することができている。</p>														
認知症カフェの開催														
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度							
カフェ開催数		回	69	40	27	43	36							
認知症カフェへの参加														
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度							
参加者数		人	573	359	244	830	672							

事業名：地域ケア会議推進に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	14	本年	438				438		325	74.2
				前年	584				584		352	60.4
				比較	146				146		27	-
【参考】前々年度					562				562		283	50.4

節別支出済額(単位:千円)

報償費	296	役務費	29
-----	-----	-----	----

概要及び成果

1 地域ケア会議推進事業

つくば市全域・圏域別・個別の3種のケア会議を開催する。

市全域会議では、抽出された地域課題について協議し、その課題解決に向けた社会資源の開発や政策提言につなげる。圏域別会議では個別事例の解決に向けた検討、また個別会議では、自立支援・重度化予防の観点に基づいた検討を中心に開催する。

【成果】

1 つくば市地域ケア会議

5回 / 延170名参加

(内訳：委員20名、関係者21名(委託地域包括支援センター6名、生活支援コーディネーター7名、高齢福祉課2名、地域包括支援課6名))

2 圏域別ケア会議

36回(全圏域) / 延817名参加

3 自立支援型個別ケア会議

24事例(新規15事例、振り返り9事例) / 11回

振り返り9事例中、改善6件、維持3件

つくば市地域ケア会議の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	5	4	3	3	3

圏域別地域ケア会議の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	36	36	26	33	36

自立支援型個別ケア会議の開催

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	11	11	8	10	-

事業名：生活支援体制整備に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	15	本年	31,063				31,063		28,353	91.3
				前年	30,906				30,906		30,636	99.1
				比較	157				157		2,283	-
【参考】前々年度					29,179				29,179		28,680	98.3

節別支出済額(単位:千円)

報償費	584	役務費	23	委託料	27,746
-----	-----	-----	----	-----	--------

概要及び成果

1 生活支援体制整備事業

地域の多様な主体を中心に支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「第2層協議体」を各圏域ごとに設置する。協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、「生活支援コーディネーター（SC）」の配置を行う。その上で、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。

【成果】

1 第1層会議

年5回開催し、2つの地域課題の解決に向けて、タスクフォースを形成し、より深く検討、実働し、課題解決に向けてより具体的な提言やセミナー実施などにつなげることができた。

2 第2層（生活圏域）

生活支援コーディネーターが地域住民と連携を持ち協働する中で、住民主体の新たな集いの場、生活支援の場など市内27か所に創設することができ、地域住民活動を広げることができた。

3 関係各課と連携、協働

当事業を周知し、課題について協議し、協働して地域課題に対する取組みを行うことができた。

第2層協議体の設置数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
協議体数	箇所	7	7	7	7	4

第2層生活支援コーディネーターの数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コーディネーター数	人	7	7	7	4	0

事業名：介護保険適正化に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	11	本年	5,740				5,740		5,179	90.2
				前年	5,686				5,686		5,064	89.1
				比較	54				54		115	-
【参考】前々年度					5,435				5,435		4,854	89.3

節別支出済額(単位:千円)

報酬	3,533	職員手当等	426	旅費	138	役務費	1,083
----	-------	-------	-----	----	-----	-----	-------

概要及び成果

1 介護給付費適正化事業

介護保険サービス利用者に対して給付費通知を発送することで、介護給付等に要する費用への理解を求め、併せて実際に利用者が受けたサービス内容と合致しているか等の確認をしてもらう。

居宅介護支援事業所からケアプランを提出してもらい、プランを作成した介護支援専門員との面談による内容点検を行い、自立支援に資するプランとなっているかの確認を行う。

【成果】

- ・ケアプラン点検実施後に、質問があった事項等の情報共有を行い、点検についての見直しを実施した。

- ・介護給付費通知を年2回送付し、介護保険給付に要する費用への理解と実際に利用者が受けたサービスの確認を行った。

給付費通知

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
発送件数	件	14,416	14,204	13,944	13,692	12,967

ケアプラン点検

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
点検件数	件	51	28	37	53	54

事業名：高齢者生活支援に要する経費

福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	12	本年	38,953				38,953		34,026	87.4
				前年	38,551				38,551		34,727	90.1
				比較	402				402		701	-
【参考】前々年度					47,595		3,393	290	51,278		51,278	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
扶助費					34,026							
概要及び成果												
<p>1 在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業 65歳以上の要介護1以上で次のいずれかに該当する在宅高齢者に対し、年間1回紙おむつ購入費助成券を発行する。要介護1～3認定者の場合は市民税非課税かつ排尿・排便において介助等が必要であると認められる方、要介護4・5の場合は市民税非課税かつ日常生活で紙おむつなどを必要とされる方を対象とする。助成券は1,000円券×24枚、なお、申請時期により、給付枚数が少なくなる。</p> <p>【成果】 紙おむつ等を必要とする高齢者及びその家族の経済的負担を軽減できた。</p>												
交付者数												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
要介護1		人	642	650	908	839	820					
要介護2		人	683	696	932	912	818					
要介護3		人	382	350	544	497	508					
要介護4		人	208	229	296	275	302					
要介護5		人	102	114	176	147	163					
合計		人	2,017	2,039	2,856	2,670	2,611					
金額		円	34,026,415	34,727,475	51,277,863	48,039,247	44,830,260					

事業名：介護相談員派遣事業に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	13	本年	724				724		70	9.7
				前年	965				965			0.0
				比較	241				241		70	-
【参考】前々年度					1,138			290	848		77	9.1
節別支出済額(単位:千円)												
報償費					70							
概要及び成果												
<p>1 介護相談員派遣事業 介護サービス相談員を介護サービス提供事業所に派遣し、より多くの利用者の相談に応じることにより、利用者の抱える疑問や不安の解消を図り、安心して介護サービスを利用できるように支援する。</p> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により相談活動を12月まで実施できなかったが、1月より入所施設のみ対象として実施した。</p>												
相談員派遣												
		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度					
相談員訪問回数		回	10	0	0	143	159					

事業名：成年後見制度利用支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	14	本年	2,279				2,279		197	8.7														
				前年	2,242				2,242		47	2.1														
				比較	37				37		150	-														
【参考】前々年度					1,243				1,243		786	63.3														
節別支出済額(単位:千円)																										
需用費				7	役務費		61	扶助費		129																
概要及び成果																										
<p>1 成年後見制度活用支援 親族がいる場合は、親族による成年後見開始等審判の申立てを支援する。 成年後見制度の利用が必要だが、親族がいない場合や親族による申立てが見込まれない場合は、市長申立ての手続きを行う。 また、成年後見制度を利用する被後見人等で、資力が少ない者等に対して報酬等を助成する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度市長申立て 2件 ・つくば市成年後見制度利用支援事業助成金支給 1件 <p>成年後見制度相談対応(市地域包括支援課)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>件</td> <td>25</td> <td>38</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	相談件数	件	25	38	70	65	82
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
相談件数	件	25	38	70	65	82																				

事業名：認知症サポーター養成事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	15	本年	2,742				2,742		1,957	71.4														
				前年	2,787				2,787		1,946	69.8														
				比較	45				45		11	-														
【参考】前々年度					2,871				2,871		1,863	64.9														
節別支出済額(単位:千円)																										
報酬				1,498	報償費		20	旅費		195	需用費		201													
役務費				43																						
概要及び成果																										
<p>1 認知症サポーター養成事業 認知症サポーター養成講座を開催することにより、同サポーターを養成するとともに、認知症の正しい理解を周知する。</p> <p>【成果】</p> <p>認知症サポーター養成講座のオンライン開催を取り入れたことで、職員向け、企業等への講座開催に繋がった。令和3年度に比べて講座開催数も約2倍となった。高校生向けや小学生向けの講座では若い世代に認知症の正しい理解や対応について伝えることができた。 認知症サポーターステップアップ講座を2回開催し、2か所で行ったつくば市チームオレンジの活動が開始となった。</p> <p>認知症サポーターの養成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サポーター養成者数</td> <td>人</td> <td>837</td> <td>478</td> <td>452</td> <td>3,082</td> <td>3,079</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	サポーター養成者数	人	837	478	452	3,082	3,079
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
サポーター養成者数	人	837	478	452	3,082	3,079																				

事業名：認知症高齢者等保護支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)														
03	03	02	16	本年	527				527		92	17.5														
				前年	480				480		56	11.7														
				比較	47				47		36	-														
【参考】前々年度					506				506		25	5.0														
節別支出済額(単位:千円)																										
役務費					44	扶助費			48																	
概要及び成果																										
<p>1 認知症高齢者等保護支援事業 認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者に位置情報端末機を貸し出し、万が一行方がわからなくなった場合に位置情報等を特定し、知らせることで、家族が保護できるように支援する。</p> <p>【成果】 事業の利用により、認知症高齢者等を介護する家族の負担軽減につながった。 行方不明となるおそれのある方の家族に対しGPSの貸出、GPS利用に関する相談を行った。新規申請者がここ数年で一番多かった。 ・令和4年度支援サービスの利用者数14（内訳：継続者7名 年度内中止者7名）</p> <p>支援サービス利用者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>端末機貸与人数</td> <td>人</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>														単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	端末機貸与人数	人	14	12	9	8	9
	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																				
端末機貸与人数	人	14	12	9	8	9																				

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	04	01	11	本年	854				854		753	88.1	
				前年	848				848		706	83.3	
				比較	6				6		47	-	
【参考】前々年度					901				901		664	73.7	
節別支出済額(単位:千円)													
役務費					753								
概要及び成果													
<p>1 審査支払手数料事業 介護予防・生活支援サービス事業者のサービス事業費の請求に対する審査の手数料を支払う。</p> <p>【成果】 サービス事業費の請求に対する審査支払により、費用支給事務の円滑化が図られた。</p>													

事業名：財政安定化基金拠出金に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	1				1			0.0
				前年	1				1		0.0	
				比較	0			0		-		
【参考】前々年度					1				1		0.0	

概要及び成果

1 財政安定化基金拠出金事業

(1) 基金の財源は国・県の負担、市の拠出金（財源は第1号被保険者の保険料）で、それぞれ1/3ずつ負担する。基金から市には交付又は貸付を行うこととなる。

(2) 交付は保険料の収納率の悪化により、介護保険財政に不足が生じる場合であり、貸付は給付の見込み誤り、収納率の悪化を理由として財政収支の不均衡が生じた時に行われる。

【成果】

財政安定化基金制度（介護保険法第147条）により積み立てるが、今年度の支出はなかった。

事業名：指定介護予防支援事業に要する経費

福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	237				237		96	40.6
				前年	861				861	59	6.8	
				比較	624			624	37	-		
【参考】前々年度					10,730		6,977		3,753	3,694	98.4	

節別支出済額(単位:千円)

委託料 96

概要及び成果

1 介護予防支援事業

- ・介護予防ケアマネジメント実施のため居宅介護支援事業所と委託契約を締結
- ・適切なケアプラン作成、サービス提供に向け介護支援専門員からの相談等に対する支援
- ・介護支援専門員から提出された書類の確認審査
- ・国民健康保険団体連合会への請求業務、居宅介護支援事業所への委託料支払業務

【成果】

・居宅介護支援事業所業務委託後、介護予防支援等の事業の運営基準関連の委託仕様書に記載する業務が適切に行えているか、毎月の委託料請求時に業務確認表にて確認するとともに、必要書類の提出状況を確認することで、介護予防及び総合事業請求及び委託料支払いの適切な管理が行えた。

・委託地域包括支援センターから、チェックリストによる事業対象者のサービス利用についての相談が増えた。自立支援・重度化予防の視点で、サービスの必要性の有無について、ケアマネジメントを行う者が適切に判断できるよう、アセスメントの徹底を指導し、円滑な運営に寄与することができた。

介護予防支援の委託

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
委託件数	人	2	1	160	521	824

各地域包括支援センターに引き継いでいるため、地域包括支援課からの委託件数は少なくなっている。

事業名：介護給付費準備基金積立金に要する経費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	118,227		194,989		313,216	0	313,216	100.0
				前年	37,291		185,348		222,639		222,639	100.0
				比較	80,936		9,641		90,577	0	90,577	-
【参考】前々年度					69,242		127,505		196,747		196,747	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
積立金					313,216							
概要及び成果												
<p>1 介護給付費準備基金積立金事業 介護保険財政については、中期財政運営を行うため、余剰金を給付金の財源に充てることから、余剰金を適正に管理するために設置する、介護給付費準備基金への積立を行う。</p> <p>【成果】 介護保険財政を適正に運営し、余剰金の積立を行った。</p>												

事業名：一般会計繰出金

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	1		146,987		146,988		146,988	100.0
				前年	1		90,882		90,883		90,883	100.0
				比較	0		56,105		56,105		56,105	-
【参考】前々年度					1		45,629		45,630		45,629	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
繰出金					146,988							
概要及び成果												
<p>1 一般会計繰出金事業 介護給付費の実績に基づき、一般会計への過年度の精算返還分の繰出しを行う。</p> <p>【成果】 介護給付費実績等に基づき、精算返還分を一般会計に繰出した。</p>												

事業名：国庫支出金等返還金

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	02	01	11	本年	1		208,930		208,931		208,928	100.0
				前年	1		107,545		107,546		107,545	100.0
				比較	0		101,385		101,385		101,383	-
【参考】前々年度					1		154,878		154,879		154,878	100.0
節別支出済額(単位:千円)												
償還金利子及び割引料					208,928							
概要及び成果												
<p>1 国庫支出金等返還事業 介護給付費等の精算により、国・県及び社会保険診療報酬支払基金へ負担金の返還を行う。</p> <p>【成果】 介護給付費実績等に基づき、国や県、社会保険診療報酬支払基金へ過年度分交付金の返還を行った。</p>												

事業名：予備費

保健部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	30,000				30,000			0.0
				前年	30,000				30,000			0.0
				比較	0				0			-
【参考】前々年度					30,000				30,000			0.0

概要及び成果

1 予備費
 予算外の支出や予算超過の支出に充てる。

【成果】
 予備費の支出はなかった。

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
充用額	円	0	0	0	0	216,000

附 表

基金の状況について

(単位:千円)

基金名	令和3年度末 現在高	積立て及び取崩し状況						令和4年度末 現在高	
		積立て	取崩し	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額		決算額
財政調整基金	4,224,078	積立て		357	7,845,445	0	7,845,802	7,845,776	11,325,388
		取崩し		0	744,466	0	744,466	744,466	
減債基金	378,078	積立て		46	38	0	8	7	378,085
		取崩し		0	0	0	0	0	
奨学金基金	1,866	積立て		1	5,000	0	5,001	5,000	6,866
		取崩し		1,800	0	0	1,800	0	
公共施設整備基金	1,337,100	積立て		151	123	0	28	24	1,337,124
		取崩し		0	0	0	0	0	
国際交流基金	11,847	積立て		2	1	0	1	0	11,847
		取崩し		0	0	0	0	0	
つくばエクスプレス対策 基金	63,442	積立て		2	0	0	2	2	63,444
		取崩し		0	0	0	0	0	
福祉振興基金	283,009	積立て		6	5	0	11	10	283,019
		取崩し		0	0	0	0	0	
ふるさと創生基金	2,541	積立て		1	0	0	1	0	2,541
		取崩し		0	0	0	0	0	
学校教育施設整備基 金	2,566,145	積立て		439	3,266,491	0	3,266,930	3,266,923	4,887,896
		取崩し		1,006,469	61,297	0	945,172	945,172	
アイラブつくばまちづく り寄附基金	150,829	積立て		412,453	2	0	412,451	178,287	116,151
		取崩し		309,877	1,889	0	307,988	212,965	
地域雇用創出推進基 金	24,850	積立て		1	0	0	1	1	14,851
		取崩し		24,856	14,856	0	10,000	10,000	
医療環境整備基金	127,864	積立て		3	0	0	3	3	127,867
		取崩し		50,000	0	0	50,000	0	
環境都市推進基金	40,196	積立て		1	46,700	0	46,701	46,701	56,197
		取崩し		32,500	0	0	32,500	30,700	
つくばこどもの青い羽根 基金	23,355	積立て		10,001	4,200	662	14,863	14,862	24,320
		取崩し		14,919	0	0	14,919	13,897	
森林環境譲与税基金	54,509	積立て		30,925	1,497	0	32,422	32,421	73,869
		取崩し		18,421	2,540	0	15,881	13,061	
地方創生応援基金	5,050	積立て		1	5,050	5,353	10,404	10,403	15,453
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	9,294,759	積立て		454,390	11,174,224	6,015	11,634,629	11,400,420	18,724,918
		取崩し		1,458,842	663,884	0	2,122,726	1,970,261	
国民健康保険支払準 備基金	718,105	積立て		2	807,061	0	807,063	807,063	1,315,183
		取崩し		209,985	0	0	209,985	209,985	
作岡財産区基金	2,619	積立て		1	0	0	1	0	2,619
		取崩し		51	0	0	51	0	
公平委員会基金	5,770	積立て		1	0	0	1	0	5,770
		取崩し		416	0	0	416	0	
介護給付費準備基金	1,761,534	積立て		118,227	194,989	0	313,216	313,216	2,074,750
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	2,488,028	積立て		118,231	1,002,050	0	1,120,281	1,120,279	3,398,322
		取崩し		210,452	0	0	210,452	209,985	
(預金)	180,143	積立て		4	0	0	4	4	180,147
		取崩し		210,452	0	0	210,452	209,985	
土地開発基金 (土地)	24,706	-		-	-	-	-	-	24,706
		(計)		204,849	-	4	0	0	
高額療養費貸付基金	25,000	積立て		0	0	0	0	0	25,000
		取崩し		0	0	0	0	0	
高額介護サービス費貸 付基金	3,000	積立て		0	0	0	0	0	3,000
		取崩し		0	0	0	0	0	
出産費資金貸付基金	5,000	積立て		0	0	0	0	0	5,000
		取崩し		0	0	0	0	0	
小計	237,849	積立て		4	0	0	4	4	237,853
		取崩し		0	0	0	0	0	
合計	12,020,636	積立て		572,625	12,176,274	6,015	12,754,914	12,520,703	22,361,093
		取崩し		1,669,294	663,884	0	2,333,178	2,180,246	

常勤特別職員給与関係経費明細

1 一般会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費							共 済 費 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	期末手当 (千円)	期末手当 年間支給率 (月分)	地域手当 (千円)	寒冷地 手 当 (千円)	その 他 の 手 当 (千円)	計 (千円)		
令和4年度	4	37,572	11,522	3.30			5,072	54,166	7,593	61,759
令和3年度	4	37,572	12,062	3.35			5,072	54,706	7,597	62,303
比較			540	0.05				540	4	544

一 般 職 員 給 与 関 係 経 費 明 細

1 一般会計

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共 済 費 等 (千円)	合 計 (千円)	児童手当
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	1,881 ⁽¹¹⁵⁾		6,746,411	6,433,131	13,179,542	2,463,696	15,643,238	86,600
令和3年度	1,836 ⁽⁹⁴⁾		6,643,289	6,507,970	13,151,259	2,466,991	15,618,250	83,275
比較	45 ⁽²¹⁾		103,122	74,839	28,283	3,295	24,988	3,325

職員数欄の()内は、再任用職員数を内書き。

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	日直手当	管理職 手 当	期末手当
		令和4年度	154,131	132,304	201,918	35,927	394,246	720	254,977
	令和3年度	158,958	124,266	195,709	30,253	383,189	390	252,138	1,709,052
	比較	4,827	8,038	6,209	5,674	11,057	330	2,839	194,500
区 分	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当	特定任期付職 員業績手当	
	令和4年度	1,395,425	1,088,971	95,514	20,124	75	1,143,639	608	
	令和3年度	1,318,537	1,090,010	98,002	19,913	135	1,127,418		
	比較	76,888	1,039	2,488	211	60	16,221	608	

(2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	1,667 ^(1,574)	1,838,776	209,428	219,108	2,267,312	292,964	2,560,276	90,646
令和3年度	1,610 ^(1,522)	1,711,628	199,097	208,090	2,118,815	268,342	2,387,157	81,906
比 較	57 ⁽⁵²⁾	127,148	10,331	11,018	148,497	24,622	173,119	8,740

職員数欄の()内は、短時間勤務職員数
費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和4年度	6,765	33,617	3,787	146,094	28,845			
	令和3年度	6,716	31,856	2,969	139,410	27,139			
	比 較	49	1,761	818	6,684	1,706			

2 国民健康保険特別会計

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	児童手当
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	16		50,483	48,898	99,381	18,258	117,639	500
令和3年度	16		53,865	50,931	104,796	19,805	124,601	480
比 較			3,382	2,033	5,415	1,547	6,962	20

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	期末手当
	令和4年度	900	1,093	1,656		5,377		1,260	11,927
	令和3年度	786	1,069	1,621		3,791		1,800	14,232
	比 較	114	24	35		1,586		540	2,305
	区 分	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特別 勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当	特定任期付職 員業績手当
令和4年度	10,620	7,642					8,423		
令和3年度	11,051	7,549					9,032		
比 較	431	93					609		

(2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	30 (30)	44,573		3,660	48,233		48,233	2,439
令和3年度	23 (23)	39,103		3,523	42,626		42,626	2,261
比 較	7 (7)	5,470		137	5,607		5,607	178

職員数欄の()内は、短時間勤務職員数
費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和4年度				3,660				
	令和3年度				3,523				
	比 較				137				

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	児童手当
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	5		14,016	13,044	27,060	5,499	32,559	660
令和3年度	6		17,467	17,135	34,602	6,452	41,054	660
比 較	1		3,451	4,091	7,542	953	8,495	

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	日直手当	管理職 手 当	期末手当
	令和4年度	678	56	905		570			3,420
	令和3年度	600		908		1,441			4,971
	比 較	78	56	3		871			1,551
内 訳	区 分	勤勉手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特別 勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当	特定任期付職 員業績手当
	令和4年度	2,808	2,256				2,351		
	令和3年度	3,698	2,626				2,891		
	比 較	890	370				540		

(2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	3 (3)	5,358		579	5,937		5,937	484
令和3年度	3 (3)	5,485		573	6,058		6,058	421
比 較		127		6	121		121	63

職員数欄の()内は、短時間勤務職員数
費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負担金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和4年度				579				
	令和3年度				573				
	比 較				6				

4 介護保険事業特別会計

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	児童手当
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	26		90,033	78,549	168,582	31,986	200,568	1,040
令和3年度	27		88,874	79,026	167,900	31,538	199,438	815
比 較	1		1,159	477	682	448	1,130	225

(単位:千円)

職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	期末手当
	令和4年度	1,374	1,008	2,221		4,951		2,520	20,488
	令和3年度	1,056	896	2,168		4,343		3,060	23,012
	比 較	318	112	53		608		540	2,524
区 分	勤勉手当	退職手当 負担金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特別 勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当	特定任期付職 員業績手当	
令和4年度	19,093	11,866				15,028			
令和3年度	17,040	12,572				14,879			
比 較	2,053	706				149			

(2) 会計年度任用職員

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等 (千円)	合 計 (千円)	費用弁償
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)			
令和4年度	35 (35)	58,065		5,032	63,097		63,097	2,734
令和3年度	36 (36)	59,104		5,358	64,462		64,462	2,951
比 較	1 (1)	1,039		326	1,365		1,365	217

職員数欄の()内は、短時間勤務職員数
費用弁償は、短時間勤務職員の通勤に係るもの

(単位:千円)

職員 手当 の内 訳	区 分	通勤手当	特殊勤務 手 当	時 間 外 勤務手当	期末手当	退職手当 負 担 金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	地域手当
	令和4年度				5,032				
	令和3年度				5,358				
	比 較				326				